

**横浜市中期 4 か年計画  
2018～2021（素案）に関する  
パブリックコメントの実施結果について**

**平成 30 年 9 月  
横浜市**

# 目 次

はじめに	1
1 パブリックコメント実施概要	2
2 パブリックコメント実施結果	2
3 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方	4
計画全体	4
中長期的な戦略及び38の政策	19
行財政運営	213
大都市制度	222
その他	223

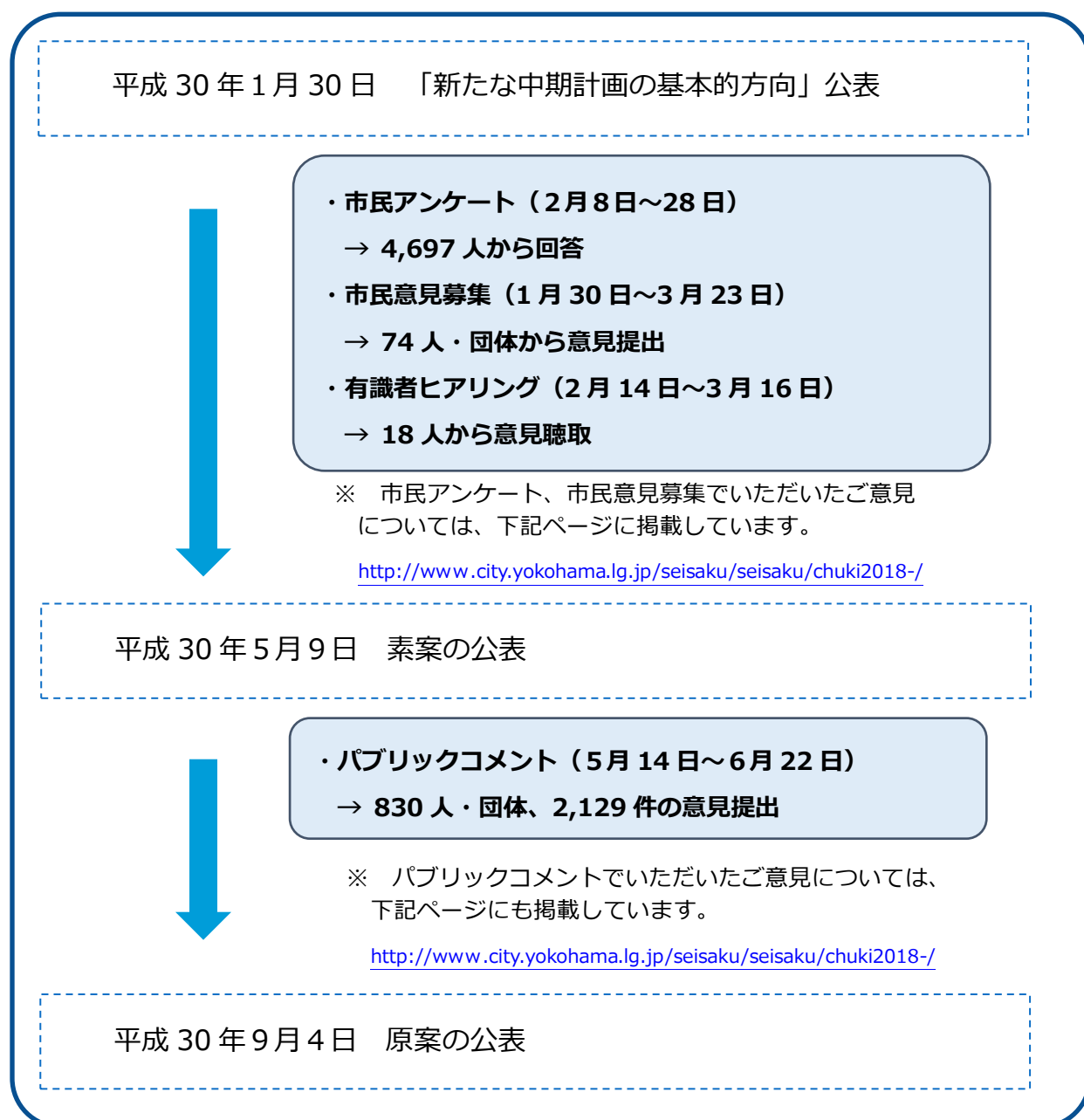
## はじめに

「横浜市中期4か年計画 2018～2021」の策定にあたり、市民の皆さまから多くのご意見をいただくために、様々な段階において、幅広くご意見を募集しました。

平成30年1月に「新たな中期計画の基本的方向」公表後、市民アンケートや市民意見募集を実施し、大変多くのご意見をいただいたほか、横浜市専門委員<sup>※</sup>をはじめとする外部有識者の皆さまからもご意見をいただきました。また、素案公表後はパブリックコメントを実施し、原案策定の参考とさせていただきました。

なお、パブリックコメントでいただいたご意見とご意見に対する本市の考え方は市民情報センター及び各区広報相談係で閲覧いただけます。また、本計画のホームページにも掲載しています。

※横浜市専門委員：外部の専門的視点から市政へ助言等を行う学識経験者



## 1 パブリックコメント実施概要

### (1) 実施期間

平成 30 年 5 月 14 日～6 月 22 日

### (2) 周知方法

#### ア 素案冊子（約 2,700 部）及び概要版（約 991,000 部）の配布

素案冊子及び概要版（広報よこはま特別号）を市民情報センター、各区広報相談係において配布し、閲覧に供しました。また、概要版については、新聞折り込み（朝刊 7 紙）により市内各世帯へ配布したほか、地域ケアプラザ等に配架しました。

#### イ 関係団体への説明

横浜市町内会連合会、区連合町内会（18 区）等で素案内容とパブリックコメント実施について説明を行いました。

### (3) 意見提出方法

#### ア 郵送

冊子、概要版に専用はがき、封筒を添付（切手不要）

#### イ F A X

政策局政策課あて

#### ウ 電子メール

受付専用アドレスあて

#### エ 直接持参

政策局政策課あて

## 2 パブリックコメント実施結果

830 人・団体から 2,129 件のご意見が寄せられました。

### (1) 意見提出状況

提出方法	通数
郵送	329
F A X	292
電子メール	187
窓口持参	22
合計	830

### (2) 項目別意見数

政策体系等	意見数
計画全体	122
中長期的な戦略	550
38の政策	1,237
行財政運営	71
大都市制度	5
その他	144
合計	2,129

(3) 戦略別意見数（中長期的な戦略及び38の政策）

戦略に寄せられたご意見と各政策に寄せられたご意見を戦略ごとにまとめています。

戦略名	政策No.	意見数
戦略1 『力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現』	1～8	118
戦略2 『花と緑にあふれる環境先進都市』	9～13	125
戦略3 『超高齢社会への挑戦』	14～18	117
戦略4 『人が、企業が集い躍動するまちづくり』	19～22	591 ※1
戦略5 『未来を創る多様な人づくり』	23～33	631 ※2
戦略6 『未来を創る強靱な都市づくり』	34～38	140
戦略全体		65
合計（中長期的な戦略及び38の政策）		1,787

～ 特にご意見の多かった項目（上表※1、2）～

※1 統合型リゾート（IR）に関するご意見	433件（意見総数の20.3%）
【内訳】 否定的なもの	407件（94.0%）
肯定的なもの	12件（2.8%）
その他	14件（3.2%）
※2 中学校昼食に関するご意見	326件（意見総数の15.3%）
【内訳】 中学校給食を実施してほしい	309件（94.8%）
その他	17件（5.2%）

(4) いただいたご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
修正	素案を変更する際に、ご意見の趣旨を参考としたもの	39
賛同	素案と同趣旨及び賛同いただいたもの	98
参考	今後の事業・取組の参考とさせていただくもの	1,955
その他	その他	37
合計		2,129

次ページ以降では、皆様からいただいたご意見とその分類、本市の考え方を掲載しています。

○ご意見の内容により分類して掲載しています。

○横浜市パブリックコメント実施要綱・運用指針に基づき、要約等を行ったり、非公表としている場合があります。

○判読できなかった文字は\*で表示しています。

○複数のご意見に対して一括で考え方を掲載しているものもあります。

### 3 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

#### 計画全体

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>計画期間中に、内陸部に立地している市役所を、海に面した場所に移設工事が完成を迎える。この世紀の大事業を、横浜市の将来に向けて、新たな且つ、大きなスタートをすることを念頭に、「中期4カ年計画」を作成すべきと考えます。</p> <p>横浜市の「中期4カ年計画2018～2021」(素案)は、大変良く纏められていると思います。だが、行政の対象である市民や企業にどれだけこの素案が理解されているかと言う視点で見た場合どうでしょうか。</p> <p>3月の時点で、「新たな中期計画」に対しパブリックコメントが求められましたが、「新たな」と言う言葉に重要な意味があると感じました。</p> <p>閉塞感が漂う国内状況の中で、従来から立場の延長でない方法で計画されていると理解しました。</p> <p>これからの行政には、市民・企業の理解と協力を得て、市民・企業の力を大胆に結集した“まちづくり”が必要です。激化する世界レベルの都市間競争の中で、注目される都市になる事が求められます。「市民・企業が夢を持ち、豊かな生活・誇りを持てる都市。自立した都市」を再確認の上“まちづくり”をする事が必要と思います。</p>	賛同	<p>中期4か年計画に対するご期待と捉え、これまでの取組を加速させ、市民や事業者の皆様との共創・協働をさらに進めるなど、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>この中期計画に賛成です。</p> <p>基礎自治体であるからにはある程度総花的にならざるを得ないと思う。この横浜が巨大都市東京に隣接する位置にあるため、高度経済成長期には東京のベッタタウン化してしまった苦い経験がある。時代は移り現在は都市間競争が激しく、それに勝ち抜くための施策が必要だと思う。その土台となるのが横浜の個性でありアイデンティティーである港だと思う。何の歴史もない一寒村だった横浜が明治政府により強制的に開港したことにより今日の繁栄を手に入れたと思う。したがって、東京スカイツリーに例えれば横の個性を心柱に据え、それを軸にして諸施策を実行するのがよいと思う。市民一人一人が横浜に住んで良かったなあと思えるような都市になってほしいと思う。首都圏、日本の中でキラリと光る、個性的な都市になってほしいと思う。</p>	賛同	<p>中期4か年計画に対するご期待と捉え、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるために、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>日頃市政運営にご努力頂いていること感謝しております。今回の「中期4カ年計画」も当市の将来について熟慮の政策とお見受けいたしました。これからの少子高齢化に向けて至難のことと存じますがよろしく計画を遂行されることをお祈りしております。</p>	賛同	<p>中期4か年計画に対するご期待と捉え、少子高齢化により生じる解決すべき課題にしっかりと取り組み、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>中計素案ですが、以下新中計と略します。・・はよくできている。前中計に比べPDCAのCも改善。基本賛成です。</p> <p>良い点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 花と緑、グリーンインフラ、「民との協働、提携」、他の政令指定都市(以下指定都市)よりもリードしている面がいくつか見える。</li> <li>2. ICTの活用が見られる。</li> <li>3. 事実を観察し(状況、現状)、確証を検証分析し(課題)、アクション(戦略、施策、政策、事業の見直し)が取られ、計画を変えている。(政策、施策、成果指標の見直し)管理のセオリー通り</li> <li>4. 読みやすい。「文が左、図表が右」のセオリー通り書いてある。現状を示す写真やグラフが増えた(対前中計)</li> </ol>	賛同	<p>中期4か年計画に対するご期待と捉え、いただいたご意見も踏まえながら6つの戦略、38の政策、行財政運営のそれぞれについて、PDCAサイクルによる検証をしっかりと行いながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>すてきな横浜を創造・維持していただきありがとうございます。</p>	賛同	<p>中期4か年計画に対するご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>市民の為に、良い戦略ありがとうございます。やりすぎでない様をお願いします。老人が増え、税収も減るなかでこれ以上は必要ないのではと思います。甘えすぎの人が多からず。</p>	賛同	
<p>全般に過不足のないよくできたプランだと思いました。</p>	賛同	
<p>足立区から越して10年。なにかとニュースになる足立区ですが、足立区の方が手をかけていると思う所があったり、地元にはないこちらの良さも感じつつ、今住んでいる横浜旭区が、更に住みよい町になってくれることを期待しています。</p>	賛同	
<p>戦略的発展は必要な事です。どれも実現させてもらいたいものです。</p>	賛同	<p>中期4か年計画に対するご期待に添えるよう、6つの戦略を連動させながら計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>とても生活しやすいよい市だと満足しています。</p>	賛同	<p>中期4か年計画へのご期待と捉え、住みたいまち・住み続けたいまちの実現に向け、計画を着実に推進してまいります。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>長期政策ビジョン・中期計画等に関しては 継続的な PDCA プロセスについて下記事項などの 履歴を示した上で 新たな「4年計画」が「如何なる視点・如何なる根拠」で改善・改定・見直しをおこなったのかを お示し下さい。</p> <p>市民は 上記情報を「知ったうえで」 的を絞った・有意義なコメントをしたく思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進捗管理状況</li> <li>・ 達成/未達成状況</li> <li>・ 見直し事項 と 根拠明示</li> <li>・ 継続的な進展状況を示す主要情報提示</li> </ul>	参考	<p>「中期4か年計画2014～2017」の取組状況については毎年度公表しており、最終振り返りについても、29年度決算と連動してとりまとめ、公表しております。本計画でも、前中期計画の振り返りを踏まえ、6つの戦略、38の政策、行財政運営のそれぞれについて、PDCAサイクルによる検証をしっかりと行いながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>この機会ですので、「将来の横浜市の姿」を検討し、討議することは必要ではないでしょうか？ 提示されていたなら、ご容赦願います。</p>	参考	<p>2030年を展望した中長期的な戦略の考え方などを示した「新たな中期計画の基本的方向」を30年1月に公表し、市民アンケート、市民意見募集、有識者ヒアリングなどによりいただいた貴重なご意見を踏まえて素案を策定しました。いただいたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>提案： 「近代日本の発祥の地である横浜市は、世界の「海洋都市横浜」を実現すべく挑戦します」と言うビジョンを掲げる。 ～「海洋の研究開発と海洋産業のメッカ」と評価される都市になる～</p> <p>このビジョンの実現を、「中期4か年計画」の目標とする。基本的には、現行計画を活かし、ビジョンとの関係を再修正する。 具体的に取組む事業分野とその方策 学問的協力体制の強化、環境整備、市民・企業の全面的協力を得る方策 2020年新市庁舎の完成を、最大限活用する方策</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策2「イノベーション創出と戦略的な企業誘致」の主な施策5「海洋都市横浜の取組による産業の振興」及び、政策12「環境にやさしいライフスタイルの実践と定着」の主な施策5「多様な生き物を育む場づくり・豊かな海づくり」などを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市諸税負担高い。サービスは低い。何でか。 考え方の変更によって上昇あるいは下降に結びつく。(今の横浜の考えでは下降一途が増すばかりになる。) 〇〇計画など不要で、計画するとはや実現したように錯覚してきた横浜市、今までに変化はないことから判る。 住民の為にやるべきこと乗せて、これをすぐに実現すべきである。他市通りやるべきことは、すぐやること。最も大切ではないのか！ あまりのスローモーションに若し、企業では倒産の憂き目確実である。 何をすることもスピーディーに今の横浜市に最も求めなければ住民はたまらない。税金〇〇と言わざるを得なくなる。</p>	参考	<p>いただいたご意見も参考に、効率的・効果的な施策の実施により、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>本素案では多くの分野・項目テーマを理路整然と上手に卓上の案を書き上げられているが、昔風の古いタイプの計画書案で非常に残念に拝見しました。世界に向かい「環境未来都市の YOKOHAMA」らしい斬新さがほしいです。</p>	参考	<p>いただいたご意見も参考に、戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』をはじめ様々な取組を連動させ、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>中計は各分野(環境、交通、福祉・・・他)の中期計画、長期計画の政策のトピックを集めたものと考えます。すでにある計画、例えば、横浜みどりアップ計画(計画期間:平成 26～30 年度)「横浜市地震防災戦略」です。これらが、出てこない。 →提案 各戦略別でも、市政全体でもよいので、「主だった戦略、計画、の行程一覧表」及び、「各計画の関連図」を載せる。巻末資料でもよい。</p>	参考	<p>資料等については、紙面の問題もあり、そのすべてを記載することは難しいと考えます。いただいたご意見は、今後の計画推進の参考とさせていただきます。</p>
<p>計画に陶醉しきっているのではないかと？ 全く発展性がなく停滞の一途にあるのではないかと！ 長期計画無策のために経験したことのない社会状況等と平然と云々・・・これら当然 20 年前に判りきっていたこと無責任もしい加減にしてみらわないと！！ これら問題を計画することこそ必須であって中期〇年計画等不要である。 分かりきったこと、今更責任のがれ許されない問題。 このことを実現するのが行政目的。そのために高い諸税を納めている。 現在問題について提起し解決させること。公*の仕事の何ものでもないことの重責を、他人事ではないのだ。自責なのである。はき違えるな！ 発展大の都市があること。このような都市を(外国も含めて)ひながたに見習うように。 横浜市について、すべてに遅い。そして無責任。改革すべきことわかっている事、それをスピーディーに実現させることで仕事力があるはず。</p>	参考	<p>素案では、2030年を展望した6つの中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」をとりまとめました。計画に基づき戦略・施策を着実に推進することにより、直面する課題や社会経済状況の変化にしっかりと対応してまいります。</p>

## 計画全体

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>期待します。 先見性見いだせないとするなら企業に一任。あなた方公僕は辞すべきです。これあたり前です。実現している諸都市が多くあるのであること忘れるな！責任の重大性心得ること。〇〇計画等の策定不要。すみやかに問題解決を図ること。それにつきる。言い訳無用すばやく解決するのみ。</p>		
<p>あまりにも大規模膨大でとって読むことが出来ない。</p>	参考	<p>素案では、横浜を取り巻く状況を踏まえ、2030年を展望した中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」としてとりまとめております。ご意見の趣旨を踏まえ、注釈を加えるなど、分かりやすい表現・説明に努めてまいります。</p>
<p>中期4か年計画 2018～2021(素案)では、38の政策等々全体を網羅した形での政策が記載されています。しかし、ここには現在の情勢、原因、課題が記載されていないように思います。 理由は、やっぱり、「地方公共団体は、福祉の増進を図る」事が基本と考えますと、現在の市民全体を網羅している問題点、原因を記載してそこから、それらの解決策として、今後どのような横浜市を展望するかという視点が「素案」から見えないからです。それは必要ではないでしょうか？現代は、非正規、派遣労働が社会全体で、40%以上を超えるまでになっており、今まで営々と戦後の社会を復興させた先人達が築き上げた各種のシステムがボロボロと崩壊しつつあるといえます。そこで、このような状況を分析し、現在という時代の問題点、原因をしっかりと把握し、そこから、それらを解決する方法、将来の市の姿、各種分野での方針を提示することが必要と考えます。 でも、そんなことを中期計画に求めるのは適当でないかもしれません。</p>	参考	<p>素案では、横浜を取り巻く状況を踏まえ、2030年を展望した中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」としてとりまとめております。また、各政策では、政策の目標や方向性、現状と課題、政策の成果を示す指標、主な施策(事業)を掲載しております。横浜の持続的な成長・発展を実現するため、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>あまりにも抽象的で、このような理想的な横浜市が実現するの心配になりました。</p>	参考	<p>素案では、各政策ごとに4年間で達成を目指す目標値や、主な施策(事業)の4年間で想定される事業費・事業量を示しております。PDCAサイクルによりしっかりと検証を行いながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>「横浜市中期4か年計画 2018～2021」素案読みました。重厚な資料でしたが最後の「財政見通」と「コラム」が一番参考となりました。この魅力ある「ヨコハマ」の現状とこれからの「ヨコハマ」の「維持」と「発展」を考えると、「人材の育成」「地産地消」「事業経営の自律・自立」「美しい街づくり」「ヨコハマ港」の利用、「海外との交流」「伝統文化・楽しい街づくり」に市民の力を結集して「日々経営」にあたる方式を採り得る事に努力しましょう！！</p>	参考	<p>素案では、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるための6つの中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」、政策推進の土台となる「行財政運営」をとりまとめました。基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、市民や事業者の皆様との共創・協働をさらに進めるとともに、「施策の推進」と「財政の健全性の維持」の両立に向け、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>内需拡大を、福祉のこと受け皿がない。希望を持ってない。計画性はありながら実現が少ない。</p>	参考	<p>素案には、市内経済の活性化をはじめ、子ども・子育て、教育、医療・福祉、女性活躍、まちづくり、防災など市民の皆様暮らしを守るための戦略・政策を含んでおります。いただいたご意見も参考に、PDCAサイクルによりしっかりと検証を行い、計画を着実に進めてまいります。</p>
<p>経済はこれからは成長より安定です。お金の幸せより心のつながりの幸せです。</p>	参考	<p>誰もが安心していきいきと暮らせる社会の実現に向け、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>2、3、4、5、6についてカタカナ語が多用されていて高齢者にはわかりづらいです。日本語を使ってください。</p>	参考	<p>中期4か年計画の策定・推進にあたっては、ご意見の趣旨を踏まえ、分かりやすい表現に努めてまいります。</p>
<p>これからの4～8年間でやるべき課題を確実にこなすことで、横浜は日本の中で必ず最後に笑える、いや最初から笑える都市になる。</p>	参考	<p>中長期的な戦略、38の政策、行財政運営のそれぞれのPDCAサイクルによりしっかりと検証を行いながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>目次をもう少し細かくしてほしい。目次と用語解説、索引が大事</p>	参考	<p>目次や用語解説の記載については、紙面の問題もあり、そのすべてを細かく記載することは難しいと考えます。いただいたご意見は、今後の計画推進の参考とさせていただきます。</p>



計画全体（横浜を取り巻く状況）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
5ページ 羽沢駅は羽沢横浜国大駅ではないですか？21p も同じです。戸塚区の市民は藤沢駅が最寄り駅の方もいるので、藤沢駅を地図に追加してほしい。	修正	「羽沢横浜国大駅」の名称は鉄道事業者が横浜市等と協議を進めている段階であり、確定したものではありません。そのため駅名ではなく地名として「羽沢」と記しております。鉄道路線については、ご指摘を踏まえ市境付近の記載を見直しました。
2ページ 図2 3区分別人口 65歳以上を65歳～74歳、75歳以上の2区分に分けてはどうか？	修正	人口区分のデータについては、少子高齢化の進展を示すために、傾向を簡潔に記載したのですが、75歳以上の人口が増えていくことを分かりやすくするため、「I 横浜を取り巻く状況」の2ページの図2、図3について75歳以上の人口及び割合を図示しました。
一番気になるのは、「6」の「観光、MICEの推進」です。「MICE」という、わかりにくい言葉が使われていますが、具体的には何を指していますか？国際会議場、展示場の総称として使用したのですか？この中に「カジノ」は含まれていないのですか？中期4カ年計画の施策に際し、「MICE」の中身について具体的に記述するよう要望致します。	修正	MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です(観光庁HPより抜粋)。いただいたご意見を踏まえ、MICEの定義がわかるように修正しました。
「計画のねらい」について 人口の減少、超高齢社会を負の視点のみから見ているのではないか。維新のころ約3000万人、第2次大戦のころ7000万(朝鮮、台湾を含め1億と称した)現在1億2000万を越える。人口論は為政者によって度々利用される。戦前は「このせまい国土で1億人が暮らすことは困難」と叫び「満洲は日本の生命線」と侵略戦争を正当化した。今また人口減少と超高齢化を口実に国民に過重な負担を強いている。「適正な人口は？」という論議を聞いたことがない。高齢化もやがてピークを越え、絶対数は減っていく。適切な政治が行われればバランスのとれた社会を作ることが可能ではないだろうか。いたずらに危機感をあおるのではなく、もっと長期的な展望に立ち、市民に安心感と夢と希望を持ってもらうことが大切。	参考	素案では、既に進行している生産年齢人口の減少や、2019年をピークとする人口減少など、横浜を取り巻く状況を踏まえ、2030年を展望した中長期的な戦略と、重点的に推進すべき政策を取りまとめました。いただいたご意見も参考に、安全・安心な市民生活を守るため、計画を着実に推進してまいります。
I「横浜を取り巻く状況」について ◆人口減少社会の到来、超高齢社会の進展 この数年の各方面からの事業提案に対して、できないこと、やれないことの言い訳に使われてきたデータ(数字)が羅列されているように思える。 横浜市が人口減少社会になってしまったのは、人を集める努力が十分でなかったから。また、高齢社会の進展は、人の流入に対する積極的対策を怠ってきたからで、国が広報する内容にそって、自治体分析を行うとよろしくないと思う。国内には1億2千万人の人がいる。自治体経営は、その1億2千万人の取り合いであり、極論であるが、現在の横浜市の人口370万人と国の人口が同数になるまで、市内人口を増やす努力は継続できるということを確認したい。 横浜市の花はバラである。女性が活躍する都市というイメージにはピッタリであると思う。可能であれば、女性が中心になって働いている企業の積極誘致がかなうとよいと思う。企業周辺での消費活動が盛んになることも想定できる。	参考	いただいたご意見も参考に、誰もが住みたいまち・住み続けたいまちの実現に向け、計画を着実に推進してまいります。
素案の「都市間競争の加速」で「横浜市外転出者意識調査の結果は、横浜への再転入意向のある方が約8割を占めるなど、横浜の魅力が裏付けるものとなっています」としています。このことが、本当に横浜の魅力を裏付けるものなのか疑問に思いました。 私は、中学校給食が実施されていないことや、小児医療費助成制度が中学校卒業まで所得制限なしで拡充されていないことなど、子育て支援が不十分ことから、横浜には魅力がないと感じています。 調査結果には、「横浜市について」「再転入意向について」で、「家賃・土地代や税金が高いこと、子育て環境などが改善されれば、また戻ってきたいという意見もあった」と書かれていますし、自由記述に「子育て支援(待機児童対策、中学校給食、小児医療費助成など)や子育て環境(身近な公園、自然など)について否定的な意見が多かった」と書かれています。こうした子育て支援を充実すれば、横浜に魅力を感じる人たちが増えるのではないのでしょうか。	参考	いただいたご意見も踏まえ、子ども・子育て支援・教育の推進にしっかりと取り組み、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。

計画全体（横浜を取り巻く状況）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>I「横浜を取り巻く状況」◆都市間競争の加速                      横浜への再転入の意向約 8 割を魅力という言葉で前向きに評価しているが、市外転出者の転出理由は何か実際のところはわからない。例えば、育児が終わり年をとってから帰浜しても、行政としては負債を背負うことにつながるという認識も必要。だから戻ってこないでという事ではなく、具体的にターゲットを絞って、世帯種類ごとの行政としてのアプローチ戦略を考えることが必要になる。人口の増減数だけに一喜一憂すると考え方は危うい。</p> <p>世界でも確固たる存在感…は何のために必要なのか？市民や市内事業者の方を向いた仕事をするのが、最終的には国内外から注目される本物であり続けることができる自治体ということである。実のところ、存在感を示したいのは企業や資金の誘致のためであり、そのために存在感を示すことが必要である、という理由を省略することなく説明が必要である。PR されるのは華やかな都心部であり、多くの市民が住む山坂の多い横浜は、市の魅力として世界に発信されることはないのだから。地方自治は、ショービジネスではない。見せる工夫は必要だが、見せること自体が仕事の目標にならないように気をつけたい。</p>	参考	<p>いただいたご意見を踏まえ、直面する課題を乗り越え、都市の持続的な成長・発展を実現するために、様々な取組を連動させながら実行してまいります。</p>
<p>3ページ 市内総生産について、横浜市が東京都、東京都区部に比較して、総生産が低いのは人口が違うからで一人当たりの総生産の比較も見たかった。</p>	参考	<p>どの程度データを盛り込むかについては、程度や紙面の問題もあり、そのすべてを掲載することが難しいと考えます。いただいたご意見は、今後の計画推進の参考とさせていただきます。</p>
<p>4ページ 上から3行目、～サービスの高度化～とありますが、高度化だけでなく、「低コスト化」も必要です。</p>	参考	<p>先端技術の活用には様々な効果が期待できることから、いただいたご意見を参考に取組を進めてまいります。</p>
<p>I「横浜を取り巻く状況」◆交通ネットワークの変化                      環状系の交通網の完成と共に心配されるのが中心部の空洞化。相鉄の延伸により、間違いなく横浜 passing 現象が起き、横浜駅周辺の客足はおちる。横浜駅周辺を起点とする観光スポットの整備・遊覧コースの設定等、人がそこを経由せざるを得ない、経由したくなる仕掛けづくりを考えたい。</p> <p>新横浜地区の篠原口を含めた、総合的開発を行い、新横浜を「皆が行きたい、行く必要がある街」に変えていくことも、横浜で減収となる分を回収する方策と思う。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>1. 基本姿勢に関する意見                      問題は人口減少であり、これに対応するには経済的成長と労働力確保が基本的な戦略となる。38 の政策はそれぞれ実績と目標値を示しているが全体としての目標値がなく、経済成長と労働力確保に関する長期計画のなかで中期目標を示した政策が必要だと思う。</p> <p>2. 横浜を取り巻く状況に関する意見                      2.1 人口について                      出生率の目標を示す…アンケートを行って施策に活用する                      老年人口は 75 歳以上とする…企業等の協力に対し支援を行う</p> <p>2.2 経済成長について                      税収や GDP など目標を示す                      必要な生産年齢人口、就職率を示す…女性、外国人、65～75 歳を区分する</p> <p>2.3 人口の転出入について                      周辺地域との連携を深め、互いの経済発展につなげる</p>	参考	<p>人口減少社会の到来、超高齢社会の進展を踏まえ、誰もが自分らしく活躍できる社会を実現するための取組がより一層重要になるものと考えます。いただいたご意見も参考に、様々な取組を連動させながら実行し、横浜の持続的な成長・発展を実現するため、計画を着実に推進してまいります。なお、老年人口については、75歳以上の人口が増えていくことを分かりやすくするため、素案の「I 横浜を取り巻く状況」の2ページの図2、図3について75歳以上の人口及び割合を図示しました。</p>
<p>I「横浜を取り巻く状況」◆文化芸術への関心の高まり                      横浜市は、文化芸術に市民の関心が高まっている（ある）と勘違いしている。企画をしている横浜市の職員と市民感覚のズレは大きいと思う。市民の中に芸術に対する関心が高いとは思えない。市外からの来客が一定割合存在するというのが評価に欠けている。また、横浜市が文化芸術創造都市って本当？と思う。文化創造都市になりたいのであれば理解はできる。まだ機は熟していない。</p> <p>芸術はパフォーマンスに限らないのに、パフォーマンスに傾倒した文化都市を目指すとしてされているのは、本質的には、観光都市としての集客を目標としているからで、市民の文化芸術力をあげることは二の次であるという事実は確認しておいた方がよい。</p> <p>本当に市民の文化芸術の力を向上させるのであれば、教育現場の実技4教科に対する意識から変えていきたい。文化芸術創造都市と宣言するには、市民が欧米・アジアの教養人と一般会話において作品・作者・時</p>	参考	<p>文化芸術創造都市施策に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>

計画全体（横浜を取り巻く状況）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
代背景等々が語れるくらいの下地が市民の多くにあることが必要条件のように思う。		
I「横浜を取り巻く状況」◆郊外部の活性化 郊外部の住宅地で、横浜の魅力を最大限に引き出してきたとあるが、横浜の魅力とは何かわからない。耳触りの良い単語に具体性がほしい。	参考	本市を取り巻く状況の課題認識に対するご意見として、参考とさせていただきます。
I「横浜を取り巻く状況」◆地域コミュニティの活力向上 市内に約140ある地域ケアプラザと自治会町内会を中心とした地域づくりを考えるべき時と思う。自分たちの集団・組織の利害を度外視して活動できる仕組みがこの2つと思う。学校も、企業も、NPOも自分たちの組織の存続を優先させるという点では、純粋に地域のためだけを考えられないと思うからである。	参考	地域コミュニティに関するご意見として、参考にさせていただきます。
市民同士が知り合いになるために「挨拶・声かけ運動」を推進すべきだ。	参考	地域のつながりづくりに関するご意見として、政策33「参加と協働による地域自治の支援」を進める上で、参考にさせていただきます。
地域の活性化 各区としての施策を作成する 区民としての意識を高める	参考	地域の活性化に関するご意見として、参考にさせていただきます。
6ページ 前中計の状況と対応(p10)では、「郊外部の活力低下」とか、「まちへの再生」のポジティブでない用語が散見したが、新中計ではなくなり、状況はよくなった様に見える。	参考	本市を取り巻く状況の課題認識に対するご意見として、参考とさせていただきます。
I「横浜を取り巻く状況」◆戦略的・計画的な土地利用 瀬谷区・泉区等の土地利用を見るにつけ、メリハリある土地利用とはどこのことかと思う。一方、横浜中心部のMM21地区や新横浜駅前地区、港北ニュータウンや青葉区については、文面のとおり。今後、住宅地内にある農地(宅地並み課税を避けるために果樹が植えてある土地)の住宅市場への放出(供給)が始まったとき、どのようにして、混乱を収束させていくかを考えておきたい。 市内全体、商業地以外にも、空き家問題が顕著になりつつあり、交通の便の悪い地域の賃貸物件の空室率はより高くなっている。その現状をとらえて、今後の住宅施策どのように進めていくのか考えたい。 地域の活性化を進めるための土地利用に関しては、先行投資の発想が必要であると思う。財政担当は使わないことのみを考えるのではなく、リターンを生み出す仕掛けづくりをその頭脳で作り出すべきである。	参考	
7ページ 学校は課題が大きいです。複合化するのだと推測しますが、学校と保育園が複合化したような画期的事例はないのでしょうか？	その他	29年5月に策定しました「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」の建替校選定において重視する点として、複合化を位置付けております。建替えを契機としておりませんが、これまでも余裕教室を活用した保育所の整備等を行ってきております。

計画全体（中期4か年計画 2018～2021 の枠組み）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「計画のねらい」に記載のとおり、今後の社会、特に住民生活に直結している地方公共団体にとっての最重要課題は「①人口減少・超高齢社会が進展するに当たり生じる解決すべき課題」と「②老化化する公共施設の再編や更新のあり方、具体的な取り組み」の2点への対応であると考えます。ご承知のとおり、いずれも事前に見通せる事項ばかりですので、対応は既におり込み済みであると思いますが、それでも実現するためには、市政運営に欠かすことのできない「市民の共感」を必要とします。そのためには「世代間の公平性への一定の回答」や「行政サービスの取捨選択と行財政運営の安定化策」の説明は重要です。さらに首都圏直下型地震が想定され、国家的な危機管理などが提起されているときに「安全・安心施策」を前提とすることも引き続き必要不可欠です。</p>	賛同	<p>計画に対するご期待と捉え、いただいたご意見も踏まえながら6つの戦略、38の政策、行財政運営のそれぞれについて、PDCAサイクルによる検証をしっかりと行いながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>「1、横浜を取り巻く状況」では、市の人口が「2016年に戦後初めて自然減に転じました」とあり、「子育て世代の転入にもつながる、子ども・子育て支援、教育の推進、女性・シニア・若者の活躍支援」が「より一層重要になります」とあります。</p> <p>つまりは、現在行われている支援は、転入して欲しい層の転入を促すには不足しており、充実することが求められているという結論に至ると思います。</p> <p>ところが、今回の計画が何を書いているのかと思うと、これまでの横浜市路線がまったく修正されることなくそのまま進めるといった内容のもので、これでは転入増はおろか、転出増を招くものでしかないとの思いを強くしました。</p> <p>もっと根本的な問題、これまで進めてきた施策がどうだったのかという問題にまで目を向け、自己批判的な検討をすべきではないでしょうか。</p>	参考	<p>いただいたご意見も参考に、これまで力を入れてきた、子ども・子育て支援をはじめとする、子育て世代の転入にもつながる取組を推進してまいります。計画の推進にあたっては、PDCAサイクルによりしっかりと検証を行い、計画を着実に進めてまいります。</p>
<p>人口減少問題、晩婚化、晩産化対策を具体的に中期計画に盛り込む必要がある。また、転出超過対策、特に南部地域の対策を盛り込むべきである。</p>	参考	<p>いただいたご意見も参考に、これまで力を入れてきた、子ども・子育て支援をはじめとする、子育て世代の転入や出生率の向上にもつながる取組を推進してまいります。また、誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部の実現に向けたまちづくりを進めてまいります。</p>
<p>2030年を展望した中計として、その中核となる横浜市のイメージ/アイデンティティが不明確。計画期中の国際的イベントがラグビーとオリンピックでは横浜の特長が出せているとは言えない。長期的目線で横浜像を形作る根源的検討を進めて欲しい。(例えば 2025 大阪万博の基本構想には中村桂子さんの生命誌がベースとなっている)国際都市・先進都市・高尚都市横浜の文化を永続的に作り上げる為の催事(イベント)と企画して欲しい。根源的に検討する為の委員会が必要だが、その人選がポイント。何回かの市民とのやりとりも重要。(現在の大都市問題の進め方では根源的問題の解決にはならない)このイベントを材料(土台)にして、市民の信頼性を高められれば「住みつけたい市」のイメージ(横浜らしさ)が出来上ると思う。</p>	参考	<p>いただいたご意見も参考に、計画期間中に開催される国際的ビッグイベントなどのチャンスをいかし、横浜の魅力を発信し、都市の持続的な成長・発展へとつなげてまいります。</p>
<p>中期事業計画がこんな多項目あるのがそもそもおかしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. まず問題点をしぼると、             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人口減少、超高齢者社会</li> <li>(2) 大災害(大地震)</li> <li>(3) オリンピック</li> </ol> </li> <li>2. 上記に対応した簡潔な目標/具体策</li> </ol> <p>これでよい。</p> <p>中期計画に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やたらと無意味な形容詞(例 躍動する、多様な、強靱な etc)を使うな。</li> <li>・各部門の単年度計画的な項目は省け。(やることは当たり前。例 …人材の確保…など)</li> <li>・要“骨太”だ。</li> <li>・皆の意見をみんな書き出す愚は避けてほしい。(新人社員の文章ではないか)</li> </ul>	参考	<p>基礎自治体の施策は、すべてが連動しており重要なものと考えております。いただいたご意見を踏まえ、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>中期戦略について</p> <p>仕事でも、何でもやってあたり前。「戦略」なんて、おこがましいものでない。世界中が目にする様な横浜独自のオリジナリティが見られない。</p> <p>5年一昔、4年計画では現代では長すぎる。</p> <p>ハードではなく、精神的な豊かさこそ人として横浜に暮らして良かったと思う様な企画を。</p>	参考	<p>本計画は、これまで築いてきた実績を礎に、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるため、2030年を展望した中長期的な戦略と、計画期間の4年間で取り組む、38の政策及び行財政運営で構成しております。いただいたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。</p>

計画全体（中期4か年計画 2018～2021 の枠組み）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>これからは、「人間力」の時代。機械や技術は、物理の世界。公務員の方々も、社会を構成している消費者の一人。コーポレートガバナンス、コンプライアンス、SCR、先人達が築き上げた上に、今の我々が存在できる事を忘れてはならない。未来の人達に、今の未来の先人である自分たちがほこれる様な事をこれからすべき。継承する義務がある。企業で言う大企業病、寄らば大樹の影にならぬ様、夢のある公務員になって下さい。 「企業は人なり」「国も人なり」</p>		
<p>あれもこれもは出来ませんので重点を決めてください。</p>	参考	<p>計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」にとりまとめました。基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>随分と総花的だというのが第一印象です。</p> <p>横浜市の大きな特徴は、第一に横浜市は国際都市であること(開港 150周年を迎えたことが示すようにわが国でいち早く外に開かれ、そしてどこよりもはやく国際化が進んだのが横浜市である。)、第二に緑に溢れた都市であることだと考えます。このどこにも負けない強みを将来にわたってさらに発展させようとの思いがこの中計の中で感じられるかがポイントだろうと考えます。</p>	参考	<p>計画期間中に開催される東京2020オリンピックなどの国際的なビッグイベントや、全国都市緑化よこはまフェアの成果などをいかして、横浜の魅力・ブランド力を向上させます。いただいたご意見を参考に、横浜の持続的な成長・発展を実現するために、取組を進めてまいります。</p>
<p>まず、ここまでまとめられた関係者の皆様の努力に敬意を表します。全体的に見て様々な課題をカバーする施策が散りばめられておりますが、横浜市という他の都市とは違うものが見えないような印象です。</p> <p>・特に横浜は海に面し歴史的にも日本の窓口であり、国際都市という視点からの施策が、よりその意味を高めるのではないかと考えております。</p> <p>海に面した国際都市という視点から主な“スローガン”を表してキーワードとして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海と共に栄える国際都市</li> <li>・海上ハブ交通の充実(東京との連携)</li> <li>・自然エネルギーの活用(海上風力発電)</li> <li>・国際大学、国際芸術施設の設置</li> <li>・レジャー大型施設の誘致 テーマパーク</li> <li>・海上人工飼育施設</li> <li>・海上ホテルの設置</li> </ul> <p>等々、横浜らしさの追求と実現に向けての施策の検討を期待しております。</p>	参考	<p>素案では、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるための6つの中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」をとりました。いただいたご意見を参考に、政策4『グローバル都市横浜の実現』をはじめとした、計画に掲げた取組を着実に推進してまいります。</p>
<p>中長期的な計画の構成について</p> <p>1. 「計画のねらい」人口の減少を大前提に据えるのは良い。国内や海外からの観光客など、プラン策定側の深層で目論みを過大に期待する傾向が往住あり、結果、費用対効果で失敗する。(財政投融資)</p> <p>2. オンリーワンを目指せ。二番煎じはよく咀嚼する。</p> <p>例</p> <p>① 京都＝千年の古都</p> <p>② 大阪＝食い道楽</p> <p>③ 東京＝首都、徳川幕府</p> <p>④ 鎌倉＝武家の都</p> <p>横浜の魅力(唯一の)素材のヒント</p> <p>① 国際貿易港の充実 近代国家の幕開け</p> <p>② 首都圏第3の国際空港 成田空港と同等以上にコース利用に湾を使用</p> <p>3. 定住者を増やせ</p> <p>「計画のねらい」で示した人口減少、超高齢化社会</p> <p>① 戦略4の(1)に範囲明示必要なし。(2)をお義理に添加。切捨てか？</p> <p>●コメント:市に隣接する都市部、三浦半島の人口減少が甚だしい。当市南部もスプロール現象で人口減少が続いている。重視を望む。</p>	参考	<p>素案では、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるための6つの中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」をとりました。少子高齢化により生じる解決すべき課題にしっかりと取り組み、横浜をさらに飛躍させるため、計画を着実に推進してまいります。</p>

計画全体（中期4か年計画 2018～2021 の枠組み）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
全国的に少子高齢化の問題が蔓延しているが、横浜市は未だ恵まれている、しかし、経済は期待できても成長は超難題です。高度技術や芸術を有する外国人移住の為に更なる環境整備で高度文化都市を目指し、市民が身近で手軽に楽しめる社会として欲しい。 要するに、高齢化社会の幸福の再定義が必要ではないでしょうか。	参考	人口減少社会の到来や超高齢社会の進展など、本市を取り巻く状況を踏まえた上で、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるために、中長期的な戦略と計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を掲げております。いただいたご意見も参考に、超高齢社会への挑戦など、計画を着実に推進してまいります。
8ページ 瀬谷区はすでに人口減少が定着しています。戸塚区の西部や、栄区の東部、駅から離れた郊外では、学校統合などすでにかなりの良くない状況が起きています。	参考	人口減少社会の到来や超高齢社会の進展などの直面する課題を乗り越え、都市の持続的な成長・発展を実現するため、様々な戦略・政策を連動させながら実行してまいります。いただいたご意見も参考に、戦略4(2)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部～をはじめ、計画を着実に推進します。
II 中期4か年計画2018～2021の枠組み 1ねらい 2018～2021までの間にこれまで経験したことのない社会状況をむかえることは、震災でも起こらない限りないと思う。表現が大きさである。個人的には、表現の失敗であると思う。これからの4年間は2017年が淡々と4回年間繰り返される感覚の方が正しいのではないだろうか。少子化と言っても、横浜の出生数は日本で一番であるし、高齢化と言っても、豊かな方が多い団塊の世代は、豊か故に元気で、年齢は確かに上がるかもしれないが、危惧している(支援が必要な)急速かつ全体的な高齢化が一斉に来るとは思えない。この4年間は落ち着いて5年後以降の具体的な取り組みを考えるとときと思う。 その意味ではこの中期計画はこれからの横浜にとって真に大切なものとなる。	参考	素案では、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるために、2030年を展望した中長期的な6つの戦略と、計画期間の4年間に重点的に推進すべき38の政策をお示しました。いただいたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。
観光立国は、ほどほどにしないと、ギリシャ、イタリアの様に破綻する。物づくり、貿易、自然美、国際化すべてバランス良く智恵を絞ってほしい。	参考	素案では、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるための6つの中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」をとりまとめました。基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、横浜の持続的な成長・発展の実現に向け、計画を着実に推進してまいります。
「力強い経済成長と文化芸術創造をしっかりと位置付けているのが特徴」とうたっています。しかし、国家戦略特区を使った高層ビルをいくつも建てる街造りは、市民にとってどんな利益をもたらすのでしょうか？文化芸術創造といいますが、市民に鑑賞の機会や利用料金が安くなるという風には受け取れません。 そもそも、横浜市は結婚して家庭を持った世帯が、やがて子供の生活経費が嵩んでくる年齢になると、ほかの自治体に移り住む傾向が横浜市の発表するデータにも表れています。 これは明らかに、住みづらい街を証明しています。 どうみても、横浜市の税収を手っ取り早く上げるために観光客や、国内外のイベントに集客を期待しているようにしか見えません。 IR 統合リゾート(賭博場付き)に期待したり、スポーツ・イベントがたまたま当地で開催されるなど、にあやかっているようにしか見えません。 市民にとって、住みやすい安全な、自然と共生する街造りを行うべきです。 横浜市に住んでみたいと思える施策を打ち出してください。	参考	素案では、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるための6つの中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」をとりまとめました。基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。
横浜市中期4ヶ年計画素案は総花的で何に重点を置いたものか不明です。予算的に無理なものはカットすべきです。21世紀は環境世紀ですから、それに重点的な政策に取り組むべきです。 更に益々高齢化社会に突入する訳ですから、市税の減少に対応した政策を立案すべきです。	参考	素案では、前計画から新たに「花と緑にあふれる環境先進都市」、「超高齢社会への挑戦」を2030年を展望した中長期的な戦略に位置付けました。いただいたご意見を参考に、今後の取組を進めてまいります。
100年の計画を立てて。	参考	素案では横浜を取り巻く状況を踏まえ、2030年を展望した中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」としてとりまとめました。いただいたご意見は今後の計画策定の参考とさせていただきます。
2030年を見据えて、住み続けたいまちの実現、横浜市の持続的な成長・発展を実現するための中期4か年計画として、6つの戦略を策定していますが、その優先順位、有機的つながりがよく理解できません。財政が豊かにならねば、何も出来ないでしょう。財政向上と市民サービス、この	参考	様々な政策を連動させて実行し、横浜経済を活性化させ、財政基盤を確保し、都市の持続的な成長・発展を実現します。いただいたご意見を参考に、今後の取組を進めてまいります。

計画全体（中期4か年計画2018～2021の枠組み）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
4年間こうやって増やすんだ、このようなサービスを提供するんだということをもっと具体的に分かりやすく、伝えてほしいと思います。		
<p>中期計画の基本姿勢「SDGs」のG(目標)は「到達点」です。中期計画には実現したい「項目」は提示されていますが、「取組み順序」や「実現程度」など、どちらへどの程度向かえば、goal(SDGsのG)に到達できるのかが観えてきません。</p> <p>目的に到達するための手法にPDCAサイクルがあります。計画の方向性である戦略と実現のための政策など、様々な取組みが求められることは理解できるのですが、ならば、尚更のこと、それぞれの優先順位や連携を踏まえて進めなければ、目標への到達は基より、費用や時間の無理・無駄の発生も多いと考えられます。</p> <p>あたかもピラミッドの様に、最初の石のひと積みと、最後のひと積みの石が見える様に、市民みんなが計画に参加できるために、この中期計画とあわせて、PDCAサイクルを廻すことのできる実行計画の作成と市民への開示を、是非、お願い致します。</p>	参考	SDGsのゴールは2030年であり、本計画での2030年を展望した中長期的な戦略と重なることから、その関連性を示しました。また、計画の素案の冊子において、各政策ごとに4年間で達成を目指す目標値や、主な施策の4年間で想定される事業量などを示しております。PDCAサイクルによりしっかりと検証を行い、計画を着実に進めてまいります。
<p>Ⅱ 中期4か年計画2018～2021の枠組み</p> <p>2基本姿勢</p> <p>“お互い協力していく・・・”というねらい(目標)の前提に誤りがある。人は基本的に”放っておいて”のベースが心の中にある。これを忘れていて、協力することが大切だとか協力をお願いという発言は各人に届かない。</p> <p>地域で活動する団体のリーダーは、その活動をする必然性・必要性を感じ取ることができる貴重な人々である。皆があのようなことはまずありえない。そのあたりを施策立案の側が現場を歩き理解した方がよい。</p> <p>個人の考え方・生き方を変えるのは本当に難しい。市民370万を一つの組織と考え、一人ひとりとその構成員として考えるマネジメントの発想が市長にそのリーダーシップと共に求められると思う。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、地域において様々な取組を進める方々に寄り添いながら、地域コミュニティを支える取組を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>基本姿勢について：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口成長・高齢化社会の進展という社会状況の下では、従来型の高成長・高投資の行政の姿勢は時代に逆行するものと考えます。</li> <li>・SDGs(持続可能な開発目標)と「素案」にはあるが、むしろ持続可能な福祉重視の行財政運営への”発想転換“が必要と思います。</li> </ul>	参考	横浜の持続的な成長・発展に向け、いただいたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。
<p>国際的視野からSDGs、イノベーションの方向を探るビッグデータの解析、固定観念からの意識改革、新しい社会生活の技術の習得支援等にも政策の具体案と新戦略を期待します。</p>	参考	国際社会の主要目標であり基礎自治体にとっても重要な課題であるSDGsをあらゆる施策において意識して取り組むとともに、社会的課題の解決や新たな価値・サービスの創出に向け、データ活用やオープンイノベーションの取組などを進めてまいります。いただいたご意見も参考に、将来に向け、横浜を飛躍させるために、計画を着実に推進してまいります。
<p>まず、「戦略」という言葉の選択がおかしい。それは「やり方」を示すのであって、「目標」があってこそその複数の戦略である。では、目標がどこにあるのかと探すと、「計画のねらい」の中に「住みたいまち・住み続けたいまちを実現します」とあり、それは賛成できても、その前に書かれていることは、現状分析、そして「公共施設への対応にしっかり取り組み」という具体的すぎる行動予定。あまり考え方の整理が出来ていないと言わざるを得ない。現状の分析も、人口減少をネガティブにしか捉えていないのでは？人が集まること、商業施設のオープンを手ばなしでポジティブに歓迎していないか？と客観性に欠ける。</p> <p>「戦略」のいくつかはむしろ「目標」と言い換えた方がよい。それらを概観して受ける印象は、はっきり言って「ハコモノ行政」この手法はSDGsの方向性とはかなり異なると思われるため、〈基本姿勢〉にうたう「SDGsの視点を踏まえ・・・」のため再検討すべきと考える。市民の視点ソフトパワーを生かす計画を望む。</p>	参考	いただいたご意見も参考に、横浜の持続的な成長・発展を実現するために、様々な取組を連動させながら実行してまいります。
<p>他の所の使い方を研究して、施策実施をしてほしい。高い税金をどこに使っているのか不思議です！</p>	参考	素案では、各政策ごとに4年間で達成を目指す目標値や、主な施策(事業)の4年間で想定される事業費・事業量を示しております。PDCAサイクルによりしっかりと検証を行いながら、計画を着実に推進してまいります。

計画全体（中期4か年計画 2018～2021 の枠組み）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
戦略名称が長く、政策数が多すぎて、なかなかはじめません。戦略 3 つ、政策 10 ぐらいにまとめられないでしょうか。誰にでもすぐ覚えられる方が、市民にとっては大切。逆に行政担当は、自分の仕事ははっきりするような細かさが必要かもしれませんが、共有可能なものであって欲しいです。	参考	都市の持続的な成長・発展を実現するため、2030年を展望した6つの中長期的な戦略と計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」としてとりまとめ、そのねらいや内容を表す標題を付けております。名称の長さなど、いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
人材確保に関して 関連政策：1, 2, 3, 8, 13, 16, 18, 24, 25, 26, 27, 35, 38 38 件の政策の中には、人材育成について①中小企業のための人材、②海洋都市横浜の産業創成人材、③若者たちの留学支援、④海洋都市横浜の産業振興のための人材育成、⑤留学生の就職促進、⑥介護人材確保・定着支援、⑦都市農業の担い手の育成、⑧医療従事者の確保・育成、⑨保育・幼児教育を担う人材確保、⑩国際社会で活躍できる人材育成、⑪教員の確保・育成、⑫女性リーダーの育成、⑬地域防災の担い手育成、⑭公共事業の担い手育成等々、多岐にわたった人材育成や確保策が掲げられています。他の政策の推進にもそれなりの人材が必要です。 然るに、これらの人材育成は縦割行政の為せる技なのでしょうが、各政策担当部局に任されています。 2030 年を展望して横浜市が勝ち残るためには様々な分野の人材が重要です。生産年齢人口が減少する中で、人材は各都市間で大きな取り合いになるのは目に見えています。このような状況のなかで 6 つの戦略を横断した人材確保や育成を担う戦略が必要と考えます。	参考	人口減少社会の到来、超高齢社会の進展を踏まえ、誰もが自分らしく活躍できる社会を実現するための取組がより一層重要になるものと考えます。いただいたご意見も参考に、横浜の未来を創るあらゆる人への投資に力を入れ、計画を着実に推進してまいります。
税金を保ち(増やし)、サービスを向上させる具体的な目標(どこを向いているのか、数的指標)を出さないで評価もできないし、絵に描いた餅になってしまいます。2018は既に始まっています。税金を増やすためには、何に注力するのか、市民サービスの目玉は、これだ！と明確にし、その他も含め、収支のバランスを見せてほしいと思います。	参考	38の政策、及び行財政運営では、取組の成果を分かりやすく示すため、指標を設定しております。様々な政策を連動させて実行し、横浜経済を活性化させ、財政基盤を確保し、都市の持続的な成長・発展を実現します。いただいたご意見を参考に、今後の取組を進めてまいります。
僅か 4 年程度の計画で、ここに掲げられた抽象的プランが咀嚼され達成できるか疑問 国や県レベルよりも具体的、分業的な事業計画の逆権検討説明が必要	参考	中長期的な戦略、38の政策、行財政運営のそれぞれのPDCAサイクルによりしっかりと検証を行いながら、計画を着実に推進してまいります。
子どもとお年寄りももっと住みやすい横浜になるよう、私たちの税金を使って欲しい。	参考	いただいたご意見の趣旨は、素案の戦略5『未来を創る多様な人づくり』に含まれております。誰もが住みたいまち・住み続けたいまちの実現に向け、計画を着実に推進してまいります。
横浜愛 先述の米国、或いは日本でも広島市などでは、自分の住む市への愛が半端なものではない。 そのような地元愛は、地元で何世代にも渡るという誇りに加えて、地元企業や市政、或いは教育、スポーツなど何らかの形で市民参加型運営に参加してきた結果ではないか。 今後将来的には、市の運営がネット化、AI、マネーの電子化、などによって代替される部分が多くなれば、このような感性的な価値こそが市民が求めると共に、市民が貢献できる領域となるものと考えます。	参考	いただいたご意見も参考に、市民や企業の皆様と連携し、誰もがポテンシャルを存分に発揮できる社会の実現に向け、計画を着実に推進してまいります。
少子化少子化とさわがず、少子化によって、何が悪い点か、良い点を明確に位置づけ、その対応をすれば良い！！少子化によって、その分だけ全ての経費が少なくなる。それでの対応をすれば良い。	参考	いただいたご意見も参考に、少子化により生じる解決すべき課題にしっかりと取り組んでまいります。
林市長は、本当に助けを必要としている弱者の方ではなく、営利を追求する大企業や事業者の方ばかりを向いている感じです。 大型開発で発展させるという旧来の発想ばかりを向いている感じです。 未来を担う市民の健全な育成に税を投入することこそが、すぐに目に見える成果はなくても、結局は市の発展に資する道だと肝に銘じていただきたいと思います。	参考	ご意見の趣旨は、素案の戦略5『未来を創る多様な人づくり』、政策23～33の様々な取組に含まれております。基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、横浜の未来を創るあらゆる人への投資に力を入れ、計画を着実に推進してまいります。
劇場整備は無用。何年前に横浜市は整備から維持へと言っていたはずだ。 公費の投入は必要最低限に抑えるべき。 コミハケアプラも再整備時は統合でいい地区センターも、公会堂があるのに区民文化センターはいらない。 箱物にかかる金を減らして福祉に回すべき。 団塊ジュニアが高齢者になったら財政が回らない。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、「施策の推進と財政の健全性の維持」を両立し、安全・安心な市民生活を守るために、計画を着実に進めてまいります。 新たな劇場整備については、文化芸術の風土醸成、子どもたちの育成に加え、さらなる魅力・賑わいの創出による都市の活性化の観点から、整備手法や効果等、多角的な視点で検討を進めてまいります。



計画全体（中期4か年計画2018～2021の枠組み）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>大企業がうるおえば私の暮しがよくなる幻想は、もう振りまいても信じられませんよ！ 多くの予算が福祉ではなく、大型事業の建設費に費やすのはやめて下さい。 高齢化社会の福祉第1の予算にして下さい。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、これまで力を入れてきた、子ども・子育て支援をはじめとする、子育て世代の転入や出生率の向上につながる取組をはじめ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります</p>
<p>地方自治体の主な仕事は市民の福祉暮らしを守る事ではありませんか。安心して横浜に住み続けることが出来る様、予算の使い方を市民本位に検討して頂くよう宜しくお願い致します。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>横浜市中期4か年計画(素案)は市民の暮らしをよくするためというより、大企業に巨額の横浜市予算を使って大きな利益を得させる案のようです。これでは大型公共事業の予算が財政を圧迫するものではありませんか。市民の願いである中学校の給食さえ素案を見る限りわかりません。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、安全・安心な市民生活を守るとともに、「施策の推進と財政の健全性の維持」の両立に向け、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>「力強い経済成長、文化芸術創造」を位置づけるという林市長。しかし、その方向性は、私たち住民(市民)の声、要求に根ざしているのかという点に、根本的な疑問がある。 横浜に住んで50年あまり、国際都市というのはなやかなイメージとは裏腹に、住民の福祉や文化的要求の充足に背を向けた行政の施策の貧困さはひどい。区に一館しかない図書館、資料費も不足している。 特別支援教育の体制の不備、保育園の不足、保育士の待遇改善、学童保育への責任ある取り組みなど、中学校給食の実施とともに、未来の子どもたちのために私たちの税金を使うべきです。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、子ども・子育て支援・教育の推進にしっかりと取り組み、誰もが住みたいまち・住み続けたいまちの実現のため、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>市民の生活関連、防災等の公共事業に税金を使って下さい。地元の業者の仕事を増やして経済の活性化につなげて下さい。 市長や市会議員のみなさんは市民の声にもっと耳をかたむけて、市民が望む施策に私達市民の税金を使って下さい。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、横浜の持続的な成長・発展を実現するため、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>生活、くらしに税金を使ってほしい。介護保険も国保も値上げ。年金生活者は、ものをできるだけ買わない実態があると思いますが。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>医療、福祉、子育て、難題は山積です。 大規模計画よりきめの細かい行政が求められています。 税金をより庶民の為に使うように求めます。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>横浜市の中期4か年計画を見ると、大型開発に予算が集中して、市民向け施策は貧しいものになっています。人口減少、低成長という時代背景の中では、従来型の大型開発の見直しが必要です。市民生活を最優先にした税金の使い方を考えていただきたいです。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>横浜市中期4か年計画を見せていただきましたが、不安と不満があります。 大型開発に予算が集中していて、市民の生活が後回しになっていると思います。 大阪で大きな地震があり、地震対策も必要なのに危険な崖の対策は進んでおらず、過度に立派な新市庁舎建設などは不要です。先日の開港記念祭でも、いずもの催しなどは軍事色が漂うばかりで、不要でした。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>横浜市長は「公共事業は大切」というが、最優先するのは、市民の生活です。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>経済の活性化、企業や集客施設の集積、国際競争力、国際ビジネス等々の言葉が並び横浜観光株式会社の計画ではと見まちがえるようだ。自治体の使命は市民の安全、安心、住みよい生活を保障することが第一だ。市民の目線に立った計画を望む。大型開発より市民生活最優先へ！！</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>高速道路、巨大岸壁等港湾整備、新市庁舎関連、横浜駅周辺・東神奈川臨海部周辺とみなとみらい21地区の開発・再開発などの大型支出を見直し、学校給食、少人数学級化促進、防災対策、地球温暖化対策など喫緊かつ必要不可欠の分野に回すべきです。多くの市民の望みです。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>市の予算の使い道は市民のくらしを優先に 年金だけの生活は大変です。様々な保険料・税金負担が重くて、どんなに工夫しても苦しくなるばかりです。大型開発・新市庁舎に使うより、市民のくらしを考えて下さい。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。</p>

計画全体（中期4か年計画 2018～2021 の枠組み）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
市民に直結しないものはやめるべきです。子供の貧困が叫ばれている時、これらの予算を充当すべきだと思います。	参考	基礎自治体の施策はすべてが運動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。
市民生活に直結する事を優先して予算を！	参考	
市民生活の安定なくして、市の経済発展はあり得ません。地方自治体の基本的職務を完全に履行する立場に立てば、住民福祉より、大型公共事業を優先させることは、正に本末転倒です。	参考	
事業費の配分について 総事業費の配分をみると、住民福祉や生活関連事業より大型開発事業へ予算が偏っています。 人口減少、超高齢化社会の進展を見据え、大型開発より市民生活重視の予算配分に見直して欲しいです。	参考	
住民の福祉が優先されるべきである。	参考	
住民の福祉のために地方政治を推進して下さい。	参考	
新市庁舎、高速道路など大型開発に予算を集中させ、市民のための生活・福祉や防災の公共事業が犠牲になっています。	参考	
新市庁舎、高速道路など不要不急な大型開発で一部のゼネコンを助ける根拠が乏しい。防災の公共事業、市民生活への目配りへと転換し、市民のための市政を充実させ、愚劣極まるこれまでの市政を即刻改めてほしい。	参考	
政令市が行う経済政策としては愚策であると断ぜざるを得ない。 財政が厳しい(税収が厳しい)と言うのであれば、税収と正の相関関係にある経済(国民・市民の所得)の成長を促す施策が講じられなければならないところ、高速道路に1,426億円・巨大岸壁等港湾整備に953億円・新市庁舎に909億円・横浜駅周辺や臨海部の整備に275億円もの巨費を投じることが、中長期的に見て、横浜市の経済成長にどれだけ寄与するのか大いに疑問である(全く効果がないものと考えているが、市長はいかなる根拠があって、これら大型開発が市民所得の向上に資するとしているのかを論証して貰いたい。) 行政の役割を一言で表現すると安全保障である。それは、防災安全保障・医療安全保障・物流安全保障・食糧安全保障・エネルギー安全保障・治安(消防)を確保することにある。どれ1つが欠ければ、市民の生活は成り立たないのである。生活関連道路・木造住宅耐火化補助・崖地対策・住宅政策の充実こそが中長期的には市民の所得向上に資することになる。なぜならば、これらの市民向けの施策こそが地方経済活動の基盤を提供することになるので、中長期的には地方経済(市民の所得)の成長に着実に寄与することは経済理論の基礎を持ち出すまでもなく明白である。経済(所得)の向上こそが、福祉施策の財源を増やす端緒となるところ、大型開発は線香花火みたいなもので、それに伴う財政支出は、海外へ流れるか、大手ゼネコンを通して株式資本(主)に流れて、格差と貧困を助長するだけである。	参考	
税の使い方は大型プロジェクトに重点を置くのではなく、自治体本来の使命・役割ともいうべき市民の生活を守り医療・福祉、学校教育や文化等に重点を置いた施策こそ必要。	参考	
大型開発に予算が集中し、巨費が振り向けられている。一方、通学路・歩道等の生活道路関連、防災等の公共事業が非常に低く抑えられている。市民向け施策に重点を置き、予算を振り向け、増額すべきです。	参考	
大型開発に予算集中しているので公共事業に予算を！	参考	
大型開発の予算をへらし、教育や市民生活への予算を増やして下さい。	参考	
大型開発や新市庁舎に予算が集中しすぎています。市民生活の支援に力を入れて下さい。	参考	
大型開発より市民生活関連事業に予算を。 高速道路や巨大岸壁、新市庁舎に莫大な予算を市民生活に密着したところに予算を回してほしい。通学路・生活道路・木造耐火補助・市営住宅建設など。	参考	
目先のイベントの華々しさをつくるより、シンプルで底力のある市民生活を目指すことを望みます。	参考	

計画全体（中期4か年計画2018～2021の枠組み）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
目立つ高層ビルや派手な街づくりは自粛し、地域企業の応援、自然の保護、災害時に備えた公共施設の補強、ガケ地対策等を真剣に取り組んで下さい。これらが生活の中で実感できれば「みどり税」もやむを得ないと思えることでしょう。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、計画を着実に推進してまいります。
予算の振り分けは厳しいですが、子ども（乳幼児、小中高生）、働き世代、高齢者の配分を、市民全体に方針を出して下さい。	参考	
予算は市民の生活に密着した項目に優先的にお願いします。	参考	
予算を市民向け施策に使って下さい。	参考	
1. 全体に総花的、項目羅列的で目玉が見えない。焦点ボケ。 2. 前期中期の総括、反省に基づく連関が不明。 3. 市を取りまく、内外の環境情勢変化、ならびに予測に基づく定量的な根拠をベースに戦略を策定すべき。（戦略策定の根拠が不明、定量的な戦略目標も設定すべき）	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見を参考に、PDCAサイクルによりしっかりと検証を行いながら、計画を着実に推進してまいります。
この素案は総花的であらゆる分野に就いて網羅しています。4年間で成せることは神でも不可能の筈。多くの時間と職員そして税金をかけ状況は市トップの指導力を疑います。 私は次のA及びBの政策を掲げ大、中、小項について工程表を練りあげPDCをまわしながら取り組んでもらいたい。 A 地球温暖化対策と実施 B 超高齢化社会への対策と実施	参考	
予算が、仮に、余っているならば、小さな子供のいる家庭、病気を抱えているひとへの福祉、社会的弱者の人々にお金を使うべきです。それが、ひいては社会全体の豊かさ、犯罪の抑止になるのではないのでしょうか。 人の命を大事に—それこそが、本来、政治があるべき理由なのではないでしょうか。今、助けを必要としている人達、社会的弱者が、横浜市にはたくさんおります。犯罪の抑止のためにも、お金のない方、社会的弱者の方のために、予算を使っていたきたい。 社会的セーフティーネットワークが整ってからこそ、ぜいたく品であると思います。 未だ、ほかにもっと予算を使うべき大事な命がございます。 どうか、福祉、社会的弱者の方への援助のためにまず、お金を使って下さい。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見を参考に、戦略3『超高齢社会への挑戦』、戦略5『未来を創る多様な人づくり』をはじめ、計画に掲げた取組を着実に推進してまいります。
市民生活や防災に税金を使って下さい。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、戦略5『未来を創る多様な人づくり』や、戦略6『未来を創る強靱な都市づくり』に含まれております。いただいたご意見も参考に、誰もが住みたいまち・住み続けたいまちの実現に向け、計画を推進してまいります。
横浜は税金が高すぎる。そのわりに福祉、教育、文化がおそまつ。	参考	市民の皆様が納めていただいている税金により、市民生活の安全・安心確保や市内経済を支える取組を進めております。素案では、2030年を展望した6つの中長期的な戦略と計画期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」を掲げ、福祉、教育、文化芸術などの取組を盛り込んでおります。いただいたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。
全体的に、大型開発に傾きすぎています。アベノミクスの下請けは、止めるべきです。	参考	素案では、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるための6つの中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」をとりまとめました。基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も踏まえ、計画を着実に推進してまいります。
大型開発は、市民生活を切りつめなくても良い程予算のある時はやっても良いと考えるが、大企業やゼネコンの為にやるのはダメです。市民が望む時だけです。「横浜に住んで良かった」と思える所であって欲しいと願っています。市民の方を向いていない、林市長には止めてもらいたいと思っています。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、誰もが住みたいまち・住み続けたいまちの実現に向け、計画を推進してまいります。
横浜市は財政は小さな国ほどあります。だからと言って大型開発にお金を使わず、もっと子どもの医療費のことや保育、学校給食(中学)にお金をかけてほしい。 大きすぎる都市、計画には美しい言葉が並んでいますが、戦略5を見て	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、子ども・子育て支援・教育の推進にしっかり取り組み、誰もが住みたいまち・住み続けたいまちの実現のため、計画を着実に推進してまいります。

計画全体（中期4か年計画 2018～2021 の枠組み）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
も実感がありません。カジノに使うよりハマ弁に 43 億使うより⑤この言葉通りの市政を行って下さい。		
子どもの貧困や格差の問題が深刻になってきているなか、市として一番に「力強い経済成長」を追い求めるのは違和感があります。外向けの事業にお金をだすよりも、まずは市民の暮らしや生活に、特に困っている市民への支援等にあてるべきだと思います。外からのイメージはよかったのに、実際に住んでみて福祉や教育関係ではがっかりすることが多く、市民として残念です。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、戦略5『未来を創る多様な人づくり』をはじめ、計画を着実に進めてまいります。
カジノなぞ無くし、子供の未来のため、教育充実を望みます。	参考	いただいたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。
カジノの予算を子ども医療費、中学校給食の為に使って下さい。	参考	IRについては、本市ではIRを導入する・しないについて決定していませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かとということを検討してまいります。

中長期的な戦略及び38の政策

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
11 ページ 前中計に比較して、データ、図が増えて、PDCAのCが改善して良くなりました。	賛同	本計画はデータ活用を重視して、推進してまいります。中期4か年計画の各戦略に対するご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。
戦略 3, 5, 6 については、関連付けて進める必要がある。①高齢(者)層と②若年層(子育て世代)、③子供たち、の交流の機会、その(交流の)場を積極的に整備していき、①、②、③の世代の相互見守り体制を確立し、安心・安全な街づくり(災害に強い街づくり)を推進すれば、高齢者、若者の悲惨な事故(例:認知症患者の様々な事故、若者・年少者の自殺)も防止できる。これらの取組みが進めば、災害時の互助体制の確立にもなる。これらの取組みには、戦略 3, 5, 6 を有機的に推進する必要がある為行政内部の横のつながりが不可欠となる(この取組みは、横浜市の進める SDGs の延長線にもあると考える)。推進にあたっては、地域の企業や自治体のやる気を大いに活用し、官民で進めれば、財政支出の軽減も可能になると考えます。	参考	2030年を展望した6つの戦略は、そのすべてが連動しており重要なものと考えます。また、素案の財政運営4「効率的な財政運営の推進」の主な取組2「多様な公民連携手法・民間資金活用の検討・導入」に関するご意見でもあり、今後の取組の参考にさせていただきます。
高齢者や子育て世代の定義を広義で見直す必要性について人口減少社会と超高齢社会に対する現状の 4 か年計画は、市民が高齢になったり子供を産んだあとの事後対策でしかないと思います。自分がいつか高齢者になるなんて想像もつかない働き盛りのアラサー世代。まだ恋人すらおらず結婚や子育てが(いまは)苦痛にしか見えない独身者。かれらも、いつかは高齢者世代・子育て世代になりうる予備軍です。「高齢者」や「子育て世代」の定義を、このような予備軍にまで広げて考えてはいかがでしょうか。	参考	いただいたご意見につきましては高齢者や子育て世代を対象とした施策を進める上で、参考にさせていただきます。
○今、地域が疲弊しているのに、大きなはこもの事業が最優先されている。もっと、地元の中小企業に仕事を回し活性化せよ！ ○市民の生活が向上しなければ景気は今以上に落ち込むのは火を見るより明らか！ ○貧富の差をこれ以上拡大するな！ 中小零細企業より	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。また、いただいたご意見につきましては、政策1「中小企業の経営革新と経営基盤の強化」などを進めるにあたり、参考にさせていただきます。
この計画を読んで(見て)いると何も横浜という特定の都市ではなく××市、〇〇市、△△市と別の市町村でもよいような感じがする。横浜らしさというものを全く読みとることができない。もっと具体的な計画、数値を出すことはできないのだろうか。又、計画のなかで、市(行政)の責任がどこまであるか全くみえない。	参考	素案では、横浜を取り巻く状況を踏まえ、2030年を展望した中長期的な戦略と、計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」としてとりまとめております。また、各政策では、政策の目標や方向性、現状と課題、政策の成果を示す指標、主な施策(事業)を掲載しております。横浜の持続的な成長・発展を実現するため、計画を着実に推進してまいります。
戦略の幹の明確化(いわば、目標の明確化ともいえる)をする必要がある。今回提示された戦略1～6が間違っているということではないが、あれもこれも総花的な感を強く感じ、焦点がはっきりしない。1本の明確な基幹(基本)戦略を掲げるべきである。日本、特に首都圏における現今の最大の必然性の高い課題は、災害に耐えられる強い都市を目指すことである。この30年以内での地震災害の発生確立が80%と言われている。従って最も重要な必然事項は、対災害耐性の強い町作りであろうと言えます。それを具体化したものを基幹戦略とするべきである。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、市民の安全・安心の実現に向け、戦略6(1)『未来を創る強靱な都市づくり』～災害に強い安全で安心な都市～をはじめ、計画を着実に推進してまいります。
6つの戦略の順(どうしても1→6とディクレンシンド的に思ってしまうので)を私としては変更されたほうが良いと考えます。 ①未来を創る(→未来に対応できる)強靱な都市づくり ②未来を創る多様な人づくり ③人が企業が集い躍動するまちづくり ④超高齢化社会への挑戦(→挑戦以外の言葉の方が良い) ⑤花と緑にあふれる環境先進都市 ⑥力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現 超長期的に思えば高齢者社会と云われるのも一過性。それより、将来の為に、まだ余力があるかもしれない今、①未来を創る(→未来に対応できる)強靱な都市づくり、②未来を創る多様な人づくり、③人が企業が集い躍動するまちづくりに注力するのが、公共の使命のように考えます。 ⑥力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、将来に向け、横浜を飛躍させるために、計画を着実に推進してまいります。

## 中長期的な戦略及び38の政策

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中期4か年計画に入れるのはどうかと思う。現状では止むを得ないのかと思うが、もう少し日本という国、全体としての中での戦略が各地域(都市・町・村)で出来る日が待ちどしい。		
戦略1～6を読んで、驚きました。子ども、子育て支援がなんと5番目の小項目にしか出てこないのです。人口減少下の中期計画というのにあまりにも、子ども、子育ての項目が軽視されています。本来はこれが戦略 No.1 でしょう。今回の素案を見て、産業優先、役所の視点が強すぎます。経済優先の項目、力強い経済成長がトップにあります。行政の運営の項目では、まず現行の最後にある「市民の視点」がトップでしょう。政府に物言える「日本最大の市」をめざしてください。そして子育てなら横浜市と言われたいものです。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、市民の視点に立った行政サービスの提供に取り組んでまいります。
戦略の5番目に、「子ども・子育て支援・教育の推進」がようやく出てきます。もう少し位置づけを高めてほしいと思いました。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に子ども・子育て支援、教育の推進にしっかりと取り組み、計画を着実に進めてまいります。
「中長期的な戦略」について 戦略の順番について「戦略5 未来を創る多様な人づくり」が一番大切だと思います。5番目では下位に過ぎると思います。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、戦略5『未来を創る多様な人づくり』をはじめ、計画を着実に推進してまいります。
「戦略5」は、「戦略1」になってよいと思う。「力強い経済成長」「文化芸術創造都市」をあげるなら、「子どもと教育」を大事にすることを基盤として考えるべき	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、子ども・子育て支援・教育の推進をはじめ、計画を着実に推進してまいります。
中長期的な戦略の順序の見直しについて 住民の安全・安心を担う「戦略6」と最重要課題である「戦略3」の戦略順を優先すべきであると考えます。したがって38の政策の順番も合わせて見直すべきです。	参考	基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、誰もが住みたいまち・住み続けたいまちの実現に向け、計画を着実に推進してまいります。
P.10「1.中長期的な戦略の概要」の戦略1、戦略3、戦略4にSDGsの目標7エネルギーのマーク、戦略6にSDGsの目標17実施手段のマークを追加することを提案いたします。 SDGsの目標7エネルギーは「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」、目標17実施手段は「持続可能な開発のための実施手段を強化し、パートナーシップを活性化する」を意味しており、上記各戦略に大きく関わることから、追記を提案するものです。	参考	素案の冊子10ページでは、中長期的な戦略に取り組むにあたりSDGsを意識するために、戦略に沿った取組がSDGsの目標達成に貢献すると考えられる場合に当該目標のアイコンを貼り付けておりますが、各戦略に関連するSDGsの目標は主なものだけに絞っております。いただいたご意見は、今後の戦略等の推進にあたり、参考にさせていただきます。
本横浜市の中長期戦略を考察すると、以下の様に感じざるを得ない。そもそも戦略などと言うと聞こえは良いが、結局は如何に必然性に基づき実践的な数値化された目標(戦略?)を示すかが大切で、それを提起すべきである。数値化され具現的なものでなければ、市民の心に響く事は無く、率直に言えば単なるごった煮の机上の言葉に終わる可能性が高く、市政への無関心を助長しかねない。	参考	本計画の「38の政策」及び「行財政運営」では、取組の成果を分かりやすく示すため、指標を設定しております。いただいたご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
下記政策を市の重点施策として取り組んで欲しい。  20市民に身近な交通機能等の充実 21コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり 36交通ネットワークの充実による都市インフラの強化	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の2030年を展望した中長期的な戦略4(2)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部～、6(2)『未来を創る強靱な都市づくり』～市民生活と経済活動を支える都市基盤～に含まれていると考えており、ご指摘の政策は4年間で重点的に推進すべき政策としてとりまとめたものです。いただいたご意見を踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
横浜の未来の理想的な姿を実現するために、あらゆる観点から政策が考えられていることが、暮らしやすさ(緑の多い環境、交通網の整備、人との繋がり、安心安全を感じながら生活できること)を作ることだと感じています。 大都市「横浜」の華やかな部分、市民の生活を守り、充実させる地道な部分をきめ細やかな視点で、描き、実現させていただきたいと思えます。	賛同	素案では、2030年を展望した6つの中長期的な戦略と計画期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」掲げております。中期計画に対するご期待と捉え、将来に向け、さらに横浜を飛躍させるため、計画を着実に推進してまいります。
広報よこはま特別号を読んで まず、公共でないといけないものの中から、これは譲れないということ優先し、大切に育ててほしいと思います。全ての市民の要望を叶えることは不可能ですが、信念をもって進めていただくことは、安心感を生み、目先の個人的要求は我慢しよう、納	賛同	中期4か年計画に対するご期待と捉え、市民や事業者の方々と連携しながら、計画を着実に推進してまいります。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>税をがんばろう、という気持を持つことにつながるのではないかと考えるからです。</p> <p>また、無理に“やっているぞ”感を出そうとするようなイベントなどは、しないでほしいです。なんとなく無駄になってしまうような気がするからです。</p> <p>それを踏まえて、力を入れてほしい項目は、行政運営、防災、多文化共生の推進です。素案は、生活を隅々まで網羅していて素晴らしいと思います。</p> <p>そして、市民が自ら生み出すもの、市民の努力によって成り立っている事柄も、素晴らしいと思います。</p> <p>不況や逆境に負けるものかと頑張っている住民や企業の力も、信じていただきたいと思います。</p> <p>自覚と誇りを持ってから住み続けたい、そう思える地域の根拠となるものを提供していただけるよう望みます。</p>		
<p>前計画の「できていない政策」、「成果の出ない指標」の原因、背景の分析が不足</p> <p>戦略も政策も、指標も各数値も変えるのは問題ではない。変えた理由の説明、記述が不足。トライしてみたが、うまくいかない事もあります。何をやめたのか、簡略化したのか、説明、記述が不足。</p> <p>→提案 一例として、統合化(ある意味簡略化)した小学校の数、複合化した施設の数(建物の数)のデータ、複合化してコストを下げた金額、事例があると解りやすい。</p>	参考	<p>「中期4か年計画2014～2017」の取組状況については毎年度公表しており、最終振り返りについても、29年度決算と連動してとりまとめ、公表しております。本計画でも、6つの戦略、38の政策、行財政運営のそれぞれについて、PDCAサイクルによる検証をしっかりと行いながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>高齢者の医療・福祉の充実をお願いします。</p> <p>医療費の無償化を期待します。</p> <p>衣食住の保障が求められます。自治体としての基本的な役割です。</p>	参考	<p>高齢者の医療・福祉施策に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>今年77才の私と83才の夫と2人暮しです。この先、二人とも元気で自分の足腰で動ける時間を多くみつめても十年先が不安です。二人の娘はそれぞれの家がある(家庭)ので、心配はかけさせたくありません。少々のたくわえと老齢年金でほそぼそと生活しています。特養ホームを希望しますが、もっとゆとりがほしいです。お願いばかりですみません。</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」及び政策32「暮らしを支えるセーフティネットの確保」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市の中期計画は各部局の方針を列挙したものであり新しい時代への意欲・対応が感じられないものです。話題の AI やシェア経済について施策に取り込んでほしい。</p>	参考	<p>データ及び先端技術などを活用し、社会的課題の解決や新たな価値・サービスの創出に取り組んでまいります。いただいたご意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>スーパーマーケットと介護施設(デイケアサービス)そして保育園(遅くまでの開園、高齢者の活躍)の複合施設の運営</p>	参考	<p>介護施設、保育園に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>介護保険金、国民健康保険金などを支払えない。</p> <p>前記からいえば、社会保険の支払が食費生活費を極度に圧迫しています。つまり食費しか削減できないからです。とくに介護保険は自己負担をしなくては利用できません。介護保険金を納入しても、収入の少なさから利用できないでしょう。事実上利用できないならば、介護保険からはずしてほしい。</p>	参考	<p>介護保険制度に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>介護保険料金が、この先どんどん値上げされ始めました。使えるあてのない人からまで取る。保険ではなく、この制度は税金です。自治体としての構えが見えない。</p>	参考	
<p>医療介護の充実。介護保険料は年金額に比して高すぎる。</p>	参考	<p>介護保険料に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>介護保険料高い！</p>	参考	
<p>介護保険、国民健康保険代を下げてください。</p>	参考	<p>介護保険料、国民健康保険料に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>介護保険料(国保料)は払える額にして下さい。</p>	参考	
<p>看護師・保育士・介護福祉士などへのおもいきった処遇改善により、低賃金構造を打破し、同時に人材の確保・定着をめざすべき。自治体として助成する方法はいろいろあるはず。</p>	参考	<p>看護師・保育士・介護福祉士の処遇改善に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>3点の「計画の構成」とその説明内容は総花的な感じがします。紙面が限られているため記述されないのですが、各政策についてweight づけをすべきと考えます。資源(人、資金)にかぎりがありません。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見を参考に、PDCAサイクルによりしっかりと検証を行いながら、計画を着実に推進してまいります。</p>

## 中長期的な戦略及び38の政策

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>受益者に偏りがあることについて 「中長期的な戦略」と「38の政策」は、高齢者・子ども・子育て世代（子どもを持つ男女）への支援に集中し過ぎだと思えます。その他の大多数、たとえば単身者や子どもをもたない既婚者への政策は希薄ではないでしょうか。一見わかりやすい“社会的弱者”ばかりでなく、様々な世代・ライフスタイルの人々に公平平等な政策であるべきだと思います。</p>	参考	<p>計画を着実に推進し、誰もがポテンシャルを発揮できる社会の実現を目指します。いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>成果主義を求めている分野が多々あります。お金持ちでなく、ふつうの人々中心をお願いします。</p>	参考	<p>計画を着実に推進し、誰もがポテンシャルを発揮できる社会の実現を目指します。いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>「38の政策」について 市が取り組むべき課題は多く、大変かと思いますが、もう少しメリハリをつけ、絞り込めないものでしょうか。それと、時代の変化に合わせてスクラップエンドビルドはできているのでしょうか？</p>	参考	<p>計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を、施策の統合や新規打ちしにより、「38の政策」にとりまとめました。ご意見の趣旨も踏まえ、社会経済状況の変化に対応し、しっかりと検証しながら、計画を推進してまいります。</p>
<p>38もの政策を挙げているが、優先度が分からず、全てが中途半端に終わるのではないかと。また特に効果がよく分からず、市民が求めているとは思えない項目があるが、必要ない政策は時間と金を無駄にする。その分重点的にフォーカスするエリアを設定することの方が成果が上がると思う。4.9.10.12.13は内容が良く分からないし、市がこの政策でどのような成果を期待しているのかも不明です。再検討頂きたい。</p>	参考	<p>計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」にとりまとめ、取組の成果を分かりやすく示すため、指標を設定しております。また、国際面や環境分野の取組は横浜の強みであり、国際社会への貢献も通じて都市としての評価の向上につながるものですので、いただいたご意見を参考に今後の取組を進めてまいります。</p>
<p>健康保険料が高すぎます。 介護保険料も高すぎます。</p>	参考	<p>国民健康保険料、介護保険料に関するご意見と受け止め、参考にさせていただきます。</p>
<p>私は40代で股関節を骨折し、現在までに大きな手術を3回しマッサージ、温灸など今でも週一回通っています。ほかに月一度の通院、投薬 etc. をしています。保険適用されない治療に大出費です。この間の健康保険料の値上げはかなりのものです。介護保険料など、社会保障の充実の名のもとに大幅値上げと市民に負担させることのない様に国から予算をとり市民の生活を守る(楽になる)方に予算を増やす様をお願いします。</p>	参考	
<p>国民健康保険料、介護保険料をもっと下げてほしい。</p>	参考	
<p>17.「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」では国民健康保険料・介護保険料が高額です。年金生活では支払いが困難です。低額にしてください。</p>	参考	
<p>これからの高齢化社会に向けて福祉の充実、特に全国の自治体の中で最も高いといわれている国民健康保険料、介護保険料の軽減を図り、住みたい街 No.1の市民の為に横浜を目指して下さい。</p>	参考	
<p>国保や介護保険料高過ぎます。年金生活者にとっては大変。値下げしてください。</p>	参考	
<p>・国民健康保険を安くすること ・老健を作ってください。 ・小児医療費無料化、中学校まで全員</p>	参考	<p>国民健康保険料、高齢者施設、小児医療費助成制度に関するご意見として、政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」や政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」の参考にさせていただきます。</p>
<p>75才以上の医療費2割に反対して下さい。豊かな高齢期を送りたいです。特養をもっと増やして。</p>	参考	<p>後期高齢者医療の医療費及び素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>私は、後期高齢者医療費と市・県民税、介護保険の3税の年間費46万円にもなる。年金の3ヶ月分になる程の高額税ひどすぎます！！</p>	参考	<p>後期高齢者医療保険料、市・県民税、介護保険料に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市での税金の使い方をかえてもらいたい。老人・障害者の方たちへの福祉施策が不十分。</p>	参考	<p>高齢者及び障害者福祉の充実に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>行政運営に問題点があると申し上げる根拠は、横浜市でのふるさと納税を原因とする収税の落ち込みが、他自治体に比べて大きいと言う事実が示しております。 市民は、市税を納めても自分たちのために使われていないと考え</p>	参考	<p>市民の皆様が納めていただいている税金により、子育て、福祉・医療、教育、市内中小企業支援、防災・減災対策、道路・港湾といった基盤整備など、市民生活の安全・安心確保や市内経済を支える取組を着実に進めております。</p>



いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ているのです。少なくとも、私はそう考える市民の一人です。 53億円の税収が有ったなら、かなりの政策を実現できるはず です。 市民のために市税が使われたと、市民が実感できる政策を実行し てくださるよう、切に望みます。</p>		<p>また、市民の皆様にも市税の使いみちや政策効果をわかりや すく発信していけるよう取り組んでまいります。 いただいたご意見につきましては、現在横浜にお住いの市 民の皆様の安全・安心のための施策をはじめ、将来にわた って横浜が活力あふれるまちとなるよう、取組を進める上 で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>施策の 14、38 項に関連した意見です。趣味活動を行う為、地域の 福祉保健施設(東戸塚地区 C、野庭コミュニティ C、蓬来荘等)を週 2~3 利用しています。付いては、トイレ仕様に関して改善提案しま す。 1. しゃがみ込む和式便器が未だに半数位使われている。 2. 残りの半数は様式便座に切り換わっているが、おしり洗浄が 付属していない。 高齢者の多い施設では、用足し後手洗いもしないで退出する人を 散見します。 これから食中毒のシーズンに入ります。各施設が実施する満足度 アンケートでは、再三指摘しているが、反応が無いのが実状です。 事故が発生してからでは横浜市のイメージダウンです。早急に善 処して頂きたい。</p>	参考	<p>施設に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。 す。</p>
<p>文化芸術、花と緑・・・etc. きれいな事がならべられていますが、市 民のどのくらいの方がコンサートに行ける余裕があるのか疑問で す。チャラチャラした美しい文字を並べるのではなく、横浜市民全 体を通し、最低生活者の基準を今より 10%上げる取組みとか、生 活保護家庭を0にする為の取組み、義務教育中の昼食は完全給 食にして無料にする為に他の予算は減らすとか、最小限の努力も なく、きれいな事を並べ続けている事に笑いが出る。 区長は区民が投票で選ぶとか、20代、30代、40代、50代・・・の代 表を選び、その代表者は、自分の年代の人々が何の問題を多くか かえ込みそれらをどう解決したらいいか話し合う機会が必要だ。 美しい横浜市紹介本がたくさん出ているが、そのお金を他に使っ て。</p>	参考	<p>素案では、2030年を展望した6つの中長期的な戦略と計画 期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」を掲げて おりますが、この中には、子ども・子育て、教育、医療・福 祉、女性活躍、まちづくり、防災など市民の皆様暮らしを 守るための戦略・政策を含んでおります。いただいたご意見 も参考にしながら、これらの取組を進めてまいります。</p>
<p>大型公共事業に力を入れるのではなく、市民生活の向上に力点を 置いてほしい。</p>	参考	
<p>本当に市民のためになる政策をお願いします。</p>	参考	
<p>高い理念の計画も大事ですが、まずは生活に密着した足元か らの行政サービスを充実して下さい。</p>	参考	
<p>高速道路、巨大岸壁等港湾、新市庁舎、横浜駅周辺・湾岸部開 発、どれもが大型開発であり、通学路・歩道、生活道路関連、危険 な崖地対策、木造住宅耐火補助、市営住宅の増設など市民向け 施策中心にすべきです。</p>	参考	
<p>数々のお題目は市民にとって近未来的に実現して欲しいこと。そ れは住みやすい、暮らしやすい心配のない穏やかな、そして楽し い日々の生活を実現していくことです。どの項目も今後の発展を願 う上で不可欠なテーマかも知れません。 計画は机上でのウタイ文句では意味がなく、僅かな生活資金の中 から義務である税や諸保険・・・介護・医療等・・・を支払い現実の中 で生活を送る者にとって只の計画で終わってほしくない。現実・目 標達成への具体的な中・長期スケジュールを明確にして行政の運 営をすすめて下さい。</p>	参考	<p>素案では、2030年を展望した6つの中長期的な戦略と計画 期間の4年間で重点的に推進すべき「38の政策」を掲げて おり、これらすべてを連動させ、市民生活の安全・安心と都 市の持続的成長・発展の実現に向け取り組んでまいります。 また、素案の冊子では、各政策ごとに4年間で達成を目指す 目標値や主な施策(事業)で想定される事業量・見込額、計 画期間中の財政見通しを示しております。いただいたご意見 も参考にしつつ、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>市庁建造とIR 推進など含むみなとみらい再開発など、一部の業界 団体が得をし、多くの市民は犠牲となっている。国のやっている「モ リカケ」問題と何も変わらない。 もう一回反省し市民の生活に根差した中期 4 カ年計画にしてほし い。そもそも中期 4 カ年計画にというのはマニフェストという言葉で 置き換えることができるからだ。 あいまいな政策を並べるだけでなく、予算と決算、効果対費用が 分かるものでなければ計画とも戦略ともいえないと思います。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>事業の見える化を提言します。</p> <p>1. 新規か、継続か 2. 予算規模 3. 進捗度</p>	参考	<p>素案では、各政策ごとに4年間で達成を目指す目標値や主な施策(事業)で想定される事業量・見込額、計画期間中の財政見通しを示しております。いただいたご意見も踏まえながら、6つの戦略、38の政策、行財政運営のそれぞれについて、PDCAサイクルによる検証をしっかりと行いながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>38の政策とあるが、個々の項目(お役所言葉でいう「事業」)について、案の金額数値が明示されていないのは、コトの大小を判断する上での「一丁目一番地」を欠いているのではないかと。こう言うと、立案者(PC 操作技術熟練者)、起案責任者(部局長)、中期計画執行責任者(市長)からは、「わかっている・承知している、市役所内部では当然に数字は持ち合わせている、それ無くして議員先生・市従組幹部・公聴会出席予定地域に説明ができない」との反応がある。</p>	参考	<p>素案では、各政策の主な施策(事業)について4年間で想定される事業費を示しております。</p>
<p>38の政策のほぼすべてが「推進」としてありますが4年内の到達目標が示されていません。 行政が言う「推進 検討 実現したことがあるでしょうか？」</p>	参考	<p>素案の冊子において、各政策ごとに4年間で達成を目指す目標値や、主な施策(事業)の4年間で想定される事業量・見込額を示しております。PDCAサイクルによりしっかりと検証を行いながら、計画を進めてまいります。</p>
<p>横浜市には大人の発達障害者を診る医者がいません。ずいぶん話題になっているのに途方にくれている人達が多いのでは？カウンセラーも当てにならず、結局自分で本を読んで、やりやすい方法を見つけるしかない。施設的环境そのものが悪い場合も。狭い上に人が多い。医者やカウンセラーの勉強不足。マニュアル丸暗記、すぐにわかります。</p> <p>在宅医療は世話をしてくれる家族があってこそその制度です。これからは身寄りのない一人暮らしの人もふえます。孤独死をふやさないためにも入院など医療のあり方について、もう一歩考えるべき。</p> <p>大人の貧困についても考えてほしい。安価で栄養バランスのとれた定食を食べさせてくれる所がほしい。これからは外食中心の家がふえると思います。ハマ弁にばかり気をとられず、もっと全体を見てほしい。</p>	参考	<p>素案の政策31「障害児・者福祉の充実」、政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」、政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」及び政策32「暮らしを支えるセーフティネットの確保」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>何のためのパブリックコメント募集なのか？因みに前中期計画(2014～2017)を参照してみた。同様であった。・・・林市長に設問したい。氏は複数の民間企業で現場主義に徹した実績を残してこられた方と伺う。38の政策を、総花提示でなく、市民にとっての重要度・優先度を数値化した提示としてお示し願えないか。</p>	参考	<p>多岐にわたる本市の政策の中で、計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」にとりまとめました。基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。</p>
<p>総花的な政策でなく、限られた予算の中で、まずここを重点に(他はしばらく我慢してもらう)という考え方で行って下さい。</p>	参考	<p>多岐にわたる本市の政策の中で、計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」にとりまとめました。基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。予算面についていただいたご意見も踏まえ、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>素案の38政策は八方美人的で定性的で財政的裏打ちもなく計画とは言えない。</p> <p>計画策定には10年程先を概*見て、人口や年齢構成、経済成長率(年率1%で十分ではないか)から、財政収支に裏付けられた4ヶ年の定量的前提が先ずあるべきだ。</p> <p>重点施策は5つもあれば御の字ではないか。市債を減らしていきプライマリーバランスを何年か先に実現していくことを前提とした施策でありたい。家計と同じで我慢したり減らしたりする項目がなければ、重点施策など推進できない。</p>	参考	<p>多岐にわたる本市の政策の中で、計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」にとりまとめました。素案の冊子では、各政策ごとに4年間で達成を目指す目標値や主な施策(事業)で想定される事業量・見込額を示しております。さらに、将来人口推計や経済動向などを踏まえて試算した計画期間中の財政見通しも示しており、「38の政策」はこの財政見通しも踏まえてとりまとめております。財政面についていただいたご意見も踏まえ、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>福祉、教育の充実をお願いします。介護の利用料をもっと安くしてほしいです。</p>	参考	<p>福祉、教育及び介護の利用料に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>市の行政全般に亘り幅広く検討なされ、問題を抽出されておられる点は評価する。財政や予算配分上の重点施策、力点の置き方を明確にし、数値目標を掲げた方が良いのでは？ 後日、計画実行後の評価が定量性をもって出来るので。</p>	参考	<p>本計画の「38の政策」及び「行財政運営」では、取組の成果を分かりやすく示すため、指標を設定しております。いただいたご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>各政策でいえば、「見開き2ページに、まとめる」ため、説明が不足する。 必要に応じ、コラムで説明しているが、注も書いてあるが、どうも専</p>	参考	<p>用語解説などの記載については、紙面の問題もあり、そのすべてを細かく記載することは難しいと考えます。いただいたご意見は、今後の計画推進の参考とさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>専門用語が多い。説明不足です。 →提案 巻末に参考資料、用語のミニ解説を追加する。2ページ100項目ぐらい。</p>		
<p>戦略について [項目]38項目…多すぎる。1ページ程度が良い。</p>	その他	<p>「38の政策」についてのご指摘だと考えます。横浜市として様々な政策を進めておりますが、「38の政策」は、横浜が直面する多様な課題にしっかりと対応するため、計画期間中に重点的に推進するものを取りまとめたものです。</p>
<p>各政策事業量の見込み額の財源構成がわからない。 市の一般財源か、地方交付税か、国庫支出金、特定財源かです。 一例として、横浜環状道路北西線(政策36)首都高?の延長は、基本、国の政策ですから、「国と、東日本高速道路会社が費用を負担している」と考えます。 それゆえ、103ページにある、横浜環状道路の事業費は1426億円と他の事業費と桁違いに大きい。 →提案 ○国家予算で作るのかを明確に説明してほしい。 ○主な施策の想定事業量に、国家予算や他の財源でどの程度まで分担するのかを明確にする。できる範囲で構いません。政策によっては不要です。事業によっては県の費用もあります。</p>	その他	<p>計画上の見込額は、現時点で見込まれる概算額を参考として試算したものです。各事業費は、財源構成を含め、財政状況等を踏まえ、毎年度の予算編成の中で決定します。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>該当箇所において、横浜市・YUSA 間の連携協定に基づいて以下の修正をご意見申し上げます。</p> <p>①P12 戦略1 市内企業の成長・発展と戦略的な企業誘致「市内企業の持続的な成長・発展」 （修正案）</p> <p>さらに、Y-PORT事業や海外拠点の戦略的な活用などにより、<u>YUSA との公民連携のもと</u>、市内企業の海外展開を支援するほか、世界で活躍できる人材の育成・支援や外国人材の誘致・定着を推進します。</p> <p>②P36 政策3 政策の目標・方向性 （修正案）</p> <p>・Y-PORTセンター公民連携オフィスを拠点として、国際機関等とも連携しながら、<u>YUSA をはじめとする</u> 市内企業の海外インフラビジネス展開の支援をより一層進めていきます。</p> <p>・横浜の成長・発展を支えるグローバルな活躍を目指す <u>若者人材</u> の育成・支援や外国人材の誘致・定着に取り組みます。</p> <p>→P12 戦略1にて「世界で活躍できる人材の育成」とあり、若者だけに限定する必要はないと考えます。</p> <p>③P36 政策3 現状と課題</p> <p>こうした流れを加速させていくため、29年度に、より専門的で一貫性を持った対応ができるようY-PORTセンター公民連携オフィスを設置し、<u>連携協定に基づき同フロアに YUSA が設置されました。</u></p> <p>④P37 指標1 指標：海外インフラ分野の事業化件数目標値 8件(4か年)  （修正案） 指標：海外都市や企業との包括的な連携協定締結数目標値：8件(公・民両セクター合計)(4か年) ※指標そのものの変更を提案させていただいておりますが、現行計画との対比との関連で事業化件数を指標として変更できない場合は、これまでの6件に加え、今後の4年間で延べ14件(もしくはそれ以上)となることを明記していただきたく存じます。</p> <p>⑤P37 政策3 主な施策(事業)2 市内企業の海外インフラビジネス支援 （修正案）</p> <p>Y-PORTセンター公民連携オフィスを拠点として、市内企業と連携しながら、海外インフラビジネス案件の形成を図ります。また、<u>連携協定を結んでいる</u> YUSA や国際機関等様々なパートナーとの連携を推進するとともに、国際会議の主催により、都市開発に関する国際的な情報拠点を目指します。水ビジネス分野では、横浜水ビジネス協議会や横浜ウォーター(株)とも連携しながら取り組みます。さらに、本市のこれまでの都市づくりのストーリーや先端的な都市ソリューション等のPR・発信を行う拠点を整備します。</p> <p>→本提案は P50 政策 10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」における、主な施策「SDGsを推進する新たな未来都市の推進」の具体的方法として、YSCP の実績やこれからの横浜市のスマートシティ化の方向性を示すことで、横浜市のブランドを戦略的に発信することを目指しています。</p> <p>⑥P38 政策4 現状と課題 （修正案）</p> <p>都市づくりの覚書を締結しているセブ・ダナン・バンコク・バタムをはじめとする新興国都市に対し、公民連携をしている YUSA やアジア開発銀行、世界銀行、JICA、シティネットなどと連携しながら、</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、政策3「国際ビジネスの促進とグローバル人材の育成・確保」の「現状と課題」に、本市の総合的なまちづくりに対する期待の高まりと、ビジネスチャンスの拡大に関する記載を追記しました。また、Y-PORTセンターの説明の中で、(一社)YUSA と連携した事業推進について盛り込みました。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>気候変動、省エネルギー、防災などの国際協力を行ってきています。</p> <p>⑦P38 政策4 現状と課題 (修正案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、国際社会の主要目標であるSDGsの理念も踏まえ、海外諸都市等との連携・協力関係をさらに強化し、「世界を牽引するフロントランナーとしての横浜」の実現、国際社会の平和と繁栄への貢献が求められています。</li> </ul> <p>そのための方途として市内企業の協働や新しいビジネス・ベンチャー創出のための仕組みづくりが有効であると考えられます。</p> <p>→横浜市には SDGsに向けて、姉妹都市のバンクーバーなどと共に世界のトップランナーを目指して頂きたいと考えます。そのような挑戦をすることが横浜市のブランド力向上につながるのと同時に、ひいては市内経済の活性化につながると期待しております。</p> <p>また、そのために横浜市の部局を越えた横断的連携が、当該取り組みの推進には不可欠であると考えます。</p>		
<p>私は中期4カ年計画 2018～2021(素案)に賛成し、その実施に期待致します。特に戦略1. に掲げる力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現に期待する者の一人です</p>	賛同	ご期待に沿えるよう、戦略1『力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現』を着実に推進してまいります。
<p>13 ページ 支援額と税収 「～26 年度に税収が支援額を上回る～」とあり、とてもいいです。</p>	参考	「横浜市企業立地等促進特定地域等における支援措置に関する条例」に関するご意見として、参考にさせていただきます。
<p>戦略1 力強い経済成長には、安定的なエネルギー供給を実現する更に強靱なインフラ整備の構築が重要です。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、戦略1『力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現』を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>スポーツも文化もまず経済という基本がしっかりすることで発展していく。まずは、お金が市内を循環する仕組みを作り上げたい。</p>	参考	
<p>経済を成長させるというのが基本的にまちがっています。資本主義の限界とは言いませんが、お金をジャブジャブ刷って、国債を買っても、この程度の「成長」しかないのをみても明らかです。</p>	参考	
<p>「外国人観光客誘致の強力な推進」に是非取り組んでほしい ⇒ 38の政策のうち、3、4、6、13 辺りに関連すると思います</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市は観光資源に恵まれていること、また東京からのアクセスも良好なため、観光産業の将来性が高い</li> <li>・少子高齢化を視野に入れた場合、外国人観光客が経済活性化の大きな柱になる</li> <li>・日本人が勝手に想像した独りよがりの”おもてなし”ではなく、外国人の視点や意見を反映した観光資源開発がポイント</li> <li>・体験型観光資源の開発</li> <li>・農業、漁業、畜産体験なども含め、日本人との交流、生活体験できるようなものも産業の活性化に貢献できる</li> <li>・外国語によるインターネット、SNSなどを通じた情報発信にも積極的に取り組む</li> </ul>	参考	
<p>12 ページ 人工知能や人工知性が発達するのは、人材を増やせるかで決まると考えますが、長い目で見れば、人間のやる仕事はコンピューターやロボットに置き換えられる事例が増えてゆくのは解ります。医療、看護、介護は当面残ると思います。文化、芸術は、「これはコンピューターが作りました」では、味気ないというか、残念です。ここは人間がリアルでやってほしい。「文化芸術創造都市」が戦略の1番目にくるのは、興味深い。</p>	参考	
<p>Ⅲ中期的な戦略 戦略1『力強い経済成長と芸術文化都市の実現』 経済成長の発展があるがゆえに芸術文化の発展がある、ということをお忘れずにいたい。両方並行して進めることもできると思うが、よき芸術文化の発展には、よきパトロンが必要である、そのためには、経済成長を第一義に考えたい。 横浜はどのような都市になりたいのか？経済にかぎらず都市の成長を考えると、明確な目標(ビジョン)が必要なのは言うまでもない。例えば、人・モノ・情報が集まる日本のシンガポール(シンガポ</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ールは、1国1都市であるのでこのような表現になる)になるという ような。 情報集積型の都市づくりを考えること自体すでに古いと言われて しまいそうだが、これからくる最新の5G(第5世代)技術をフルに生 かしたまちづくりをどこよりも急ぎ経済発展の基礎に置くべきと考 える。 羽田へのアクセスも新幹線へのアクセスも悪くない今の立地条 件。非日常体験を演出できるMM21地区や港湾施設。特に張り巡 らされている運河・河川の使用は横浜を訪れる多くの人に新しい 物語を創造させる。船の上でゆっくり朝食をとりながら東京に出勤 というも横浜人の日常としては面白いかもしれない。人が、情報 が、お金が集まらないはずのない環境の横浜が停滞している理由 がよくわからない。 新しい市役所の建設、MICE都市として活躍するための施設設備 の建設という等は積極的に進めるべき事業である。まず市内企業 を元気にするという事。市内にお金が出ていき、それが還流す るシステムの確立を支援することも行政の重要な役割と思う。</p>		
<p>各産業を下支えする労働者も農業・建設業では顕著で、遂に国策 として日本語能力が無くても海外からうけいれざるを得ない状況に あります。現在、技能実習制度を活用した最近の実習生の中 には、日本語能力もN2の上クラスで、企業からも地元の日本語ボ ランティアクラスに行くことも許され、教材費も支援されている優秀な 人材が来ていることが市内では散見されますが、彼らの受け入れ 監理団体は北関東にありました。 本年5月末日現在、市内には一般監理団体が5団体(全国で816 団体)、特例監理団体が10団体(全国で1,328団体)と東京都に 次ぐ第二の都市として決して多くは無く出遅れている感じがします。 又、市内団体の殆どが建築関係に特化しているように思えます。 横浜市として市内の中小企業団体や農協などに働きかけて、優秀 な人材を確保できる監理団体の設立や人材確保ルートの確立を 早期に図ることを提唱します。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、戦略1『力強い経済成長 と文化芸術創造都市の実現』を進める上で、参考にさせてい たきます。</p>
<p>「1」横浜マイスター制度の実現は良いと思います。それには資金 が必要です。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策1「中小企業の経 営革新と経営基盤の強化」に含まれていると考えており、ご 意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>中小企業の活用いいですね。</p>	賛同	<p>素案の政策1「中小企業の経営革新と経営基盤の強化」へ のご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>ネットを活用すれば事務所へ毎日行くことも不要、満員電車から解 放されます、</p>	賛同	<p>多様で柔軟な働き方については、素案の政策1「中小企業 の経営革新と経営基盤の強化」に盛り込まれており、ご意見 も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>「横浜のケーキ屋さん少なすぎてガッカリ」問題について 若いパティシエが地方にばかり行っているように思います。元町・ 馬車道にオシャレで勢いのある若いパティシエを誘致して下さい。 せっかく神奈川県は紅茶購入量全国1位だそうですし、かといって 自由ヶ丘のスイーツフォレストのようなものはありません 100年後まで残る美しい街並みを目指すにあたり、「高く出店でき ない」(であろう)を解決していただけたら、市民としても嬉しいで す。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策1「中小企業の経営 革新と経営基盤の強化」の主な施策4「地域に根差して活躍 する商店街・企業の支援、横浜マイスターなどの技能職の支 援」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>伊勢佐木町の通りがすたれてしまい昔はイセブラと言うほどだった 横浜の main street だ。賑わいを取りもどしてほしい。私は何代も 続く浜っこだ。横浜の大空襲も経験した。横浜はこれだけ復興し た。末永く恥ずかしくない横浜でありたい。</p>	参考	
<p>中小企業への支援、特養ホーム整備に予算を増やす。 大企業誘致ではなく中小企業への資金援助をしてください。経済 の活性化につながるよう個人商店などの支援をお願いします。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策1「中小企業の経営 革新と経営基盤の強化」や政策16「地域包括ケアシステム の構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」を進 める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜の経済を支える中小企業、労働者の賃上げなくして、経済発 展はありません。中小企業、小規模事業者への抜本的支援を。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策1「中小企業の経営 革新と経営基盤の強化」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜元気戦略 大企業に対する企業誘致の補助制度を廃止し、中小企業への助 成を抜本的に充実すること</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策1「中小企業の経営 革新と経営基盤の強化」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>32 ページ とても厳しい言い方をすると、経営革新をする気のない経営者には、退場してもらい、空いたリソース、雇用、土地、建物を有効活用できる、やる気のある事業者と交代するのが良いと考えます。</p> <p>経営革新の途上では、「銀行から融資が受けられない」「コンサルタントを雇えない」（ケースもある）ので、1949 億円の基礎的支援額は妥当と思われる。前年度並みの事業費はすぐには変えにくい。</p> <p>商店街にシャッターが閉まっている店があると、全体に影響が出て良くない。「店を再開する気のない経営者には退場してもらう仕組み、税制、制度」と「やる気のある経営者への支援の制度」の両輪で進めてほしい。</p> <p>33 ページ 主な施策1 試験分析による技術面の支援の試験という用語がいまひとつです。よくわからない。横浜マイスターはとてもいい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策1「中小企業の経営革新と経営基盤の強化」を進める上で、参考にさせていただきます。</p> <p>なお、素案の33ページの主な施策1「中小企業への基礎的支援の充実」の本文中の「試験分析による技術面での支援」とは、横浜市工業技術支援センターでの、試験機器を用いた各種分析による支援などのことです。</p>
<p>34 ページ 政策の目標 リノベーションがリフォームとイノベーションの造語と考えますが、分かりにくいです。</p> <p>現状と課題 「～350 億円の税込」とあり、とてもいいです。研究者、技術者は市人口一人当たりでも大阪や名古屋よりも上位にあります。</p>	参考	<p>リノベーションとは、既存建物を大規模に改装し、用途変更や機能の高度化を図り、建築物に新しい価値を加えること（大辞林 第3版）と定義されております。素案の34ページでは、関内地区の既存ビルの大規模な改修促進を図る趣旨で記載しております。</p>
<p>瀬谷区南台商店街の再生を</p> <p>①現在南台商店街は、シャッター通りとなり、数軒のお店があり、従来の活気がありません。後継者不足と高齢化で衰退の一途をたどるばかりです。</p> <p>②周辺の方々はバスで三ツ境迄買物へ行く状態で雨の日は大変不便を感じています。</p> <p>③解決策として、商店主と行政のプロジェクトチームを作り、未来志向の新しい商店街にしてみたい。</p> <p>④東北地方で災害を受けた街も再生をしています。参考になる例は多々あると思います。</p> <p>⑤瀬谷区南台商店街の再生を早急に検討していただきたい。アイデアは色々あると思います。</p>	参考	<p>商店街の活性化については、素案の政策1「中小企業の経営革新と経営基盤の強化」に記載しておりますが、ご意見につきましては今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>35 ページ 施策3・企業誘致 研究者、起業家だけでなく、「起業家に投資する個人、事業者」を追加してはどうか。</p>	参考	<p>素案の35ページの政策2「イノベーション創出と戦略的な企業誘致」の主な施策3「戦略的な企業誘致の推進と次世代産業の創出・集積強化」では、例示として技術者・研究者、起業家等を記載しておりますが、学生などを含め、新たな価値創造の担い手となる人材を幅広く想定しております。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>企業の“コア”機能の誘致とコア人材の集積</p> <p>企業の本社、或いは研究機関など企業にとっての“コア”機能を更に積極的に誘致するべきと考える。</p> <p>端に企業の求人数増加を狙うのではなく、コア機能に求められるコア人材を市民として集積していくことを目指す。</p> <p>誘致戦略として、税制優遇はもとより、目的が短期的な税収増ではなく中長期的なスパンで人材集積の実現であることを踏まえた、多層的な quality of life 向上を支える施策が求められる。米国ではシアトルやアトランタなどをベンチマークしてはどうか。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策2「イノベーション創出と戦略的な企業誘致」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>主に経済政策において、内容が総花的、画一的、抽象的で、横浜の何が強みか、それをどう横浜のクラスター（産業集積）創りに生かして行くのか、踏み込んだビジョンが示されていないとの印象を受けました。</p> <p>オープンイノベーションや、AI・IoT など、今時どこの都市や都道府県でも取り組み、また、中身に乏しく、言葉だけが踊っているケースも多々あります。</p> <p>それらによって、どの産業や事業をどの様に発展させて行くのか、産業の分業体制のどこの役割を担っていくのか、必要な企業や人材は揃っているか、誘致すべき企業や教育機関は何かなど、政策の独自色や踏み込みに乏しく、素案の内容は、総花的、画一的、抽象的なレベルに、止まってしまっている印象を受けました。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策2「イノベーション創出と戦略的な企業誘致」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略1 力強い経済成長と文化芸術創造都市を実現                      政策2 イノベーション創出と戦略的な企業誘致                      I・TOP横浜IoTのオープンイノベーションパートナーズからの課題解決とまちづくり施策からの市内事業の機会成熟と雇用の場の拡大は、現状ではビジネスエリア価値の向上のみで多職種連携や創造努力の広報性はエントリー個別セミナー間連携にとどまっている。そこで取組を強化することでIoT、AI等の最新技術を生かした取組や健康・医療分野と連動しながら革新的な研究開発を支援し、イノベーションの持続的な横浜市内のビジネスコミュニケーションやオフィス環境の活性化をまちづくりと産業拠点施策を進めながら目指しています。主な施策(事業)1. オープンイノベーションの推進、2. 起業・創業の促進とベンチャーの育成・支援、3. 戦略的な企業誘致の推進と次世代産業の創出・集積強化、4. 産業集積拠点の発展・強化となりますが、海洋都市横浜の取組等、は花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の要素も多分共有しているので、このパブリックコメント目的としては主要な推進エレメントが不透明だと判断いたしました。</p>	<p>参考</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策2「イノベーション創出と戦略的な企業誘致」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>福岡のように起業しやすい街に</p>	<p>参考</p>	
<p>2. 戦略的な企業誘致について →【戦略1】【政策2・5】                      みなとみらい21地区では開発が急速に進行しており、企業誘致には企業立地促進条例等のまちづくりと連動した助成制度が効果を発揮している。関内・関外地区にも同条例に基づく助成制度の拡充がなされ、今後の企業誘致・開発促進への効果を期待したい。横浜トリエンナーレ事業・横浜芸術アクション事業について、市内商業施設と連携して集客を図り、効果的に回遊してもらえるような施策について検討していただきたい。</p>	<p>参考</p>	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策2「イノベーション創出と戦略的な企業誘致」及び政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>建物の活性化や新築マンションの制限とコンパクトシティ化、自治会の強化など、IT企業が集まりやすくなるためのインフラ整備や人材育成、企業誘致(税制)、大学、高等教育、専門学校など、IT系の人材が集まりやすくなる、エリア(特区)が必要です。IT人材は確実に稼げますし、IT企業の利益率は高く、税収増になり、我が市にとって、プラスのループになります。</p>	<p>参考</p>	<p>素案の政策2「イノベーション創出と戦略的な企業誘致」において、まちづくり施策と連動した戦略的な企業誘致について記載しておりますので、ご意見も踏まえ、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>海洋都市横浜の取組による産業の振興とあるが、人材育成・産業の振興とは何を指すのか。具体的な内容を掲げる必要がある。</p>	<p>その他</p>	<p>ご指摘の海洋都市横浜の取組による産業の振興の具体的な内容につきましては、素案のコラム「～「海洋都市横浜」へ、さらなる飛躍!～」において、「海洋都市横浜うみ協議会の活動事例」などとして記載しております。</p>
<p>高齢化社会の中で、現在の人材不足の現況では私達(前期高齢者)がサービスを受けようにも受けられないと思いますので、外国からの研修生を育成をして資金を出して行くようなものにしてもらいたい。(人材確保)</p>	<p>賛同</p>	<p>いただいたご意見の趣旨につきましては、素案の政策3「国際ビジネスの促進とグローバル人材の育成・確保」の施策5「外国人材の誘致・定着の推進」や政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」の施策6「介護人材の確保・定着支援・専門性の向上」に盛り込まれており、着実に取組を推進してまいります。</p>
<p>政策3 主な施策2 横浜ウォーター(株)はとて素晴らしいです。民間にして、利益を上げて、事業も拡大してもらい税金をいただきましょう。</p>	<p>参考</p>	<p>横浜ウォーター(株)は、水道局100%出資の株式会社として、会社法や法人税法などの関係法令に則り、事業を展開しております。いただいたご意見につきましては、政策3「国際ビジネスの促進とグローバル人材の育成・確保」の主な施策2「市内企業の海外インフラビジネス支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策3 主な施策5 看護や介護分野での人材不足が想定されています。まずは留学生からでいいですが、将来的には、定住も考える時期だと考えます。具体的には、アジア各国から、日本に来てくれる方を増やしたい。日本が豊かな内に招いた方がいいです。韓国も同じですから人材獲得競争が起きてます。もう少し、事業費は多くてもいいと考えます。</p>	<p>参考</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>外国人依存率増抑制(ex.5%以下)</p>	<p>参考</p>	<p>グローバル化が進展する中、横浜の成長・発展を支える人材の国際化が不可欠であると考えます。グローバルな活躍を目指す横浜の若者の育成・支援を進めるとともに、留学生を含む一定以上の専門性・技能を有する外国人材の誘致・定着に取り組んでまいります。</p>



中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略5『未来を創る多様な人づくり』について 方向性(p23)で、(前略)横浜の未来を創るあらゆる人への投資に一層力を入れ、誰もがポテンシャルを十分に発揮できる社会を実現します。 とありますが、戦略の取り組みの一つとして、世界に通用する国際人の育成を取り上げ、海外に留学する若者に対する奨学金を創設し、国際人育成のための支援を推進することをお願いします。</p>	参考	<p>ご指摘の取組については、素案の政策3「国際ビジネスの促進とグローバル人材の育成・確保」の主な施策4に具体的な事業として含まれております。今後も、グローバルな活躍を目指す若者の育成・支援に力を入れてまいります。</p>
<p>政策3 現状と課題 政策、事業ほぼ妥当です。細かいですが、下水道もエネルギーもまだ、課題を完全に克服できたとは思えません。「～課題の多くを克服し、」の文言にしてみましたどうか？</p>	参考	<p>素案の表現は、本市がその時代時代に直面した都市課題を乗り越えてきたことを踏まえて使っております。いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>配布された四か年計画の中に「平和」に関する内容が見あたらなかった。林市長がヒバクシャ国際署名に署名しなかったり、平和首長会議の一員でありながら、平和への取り組みが消極的であるのが許せない。 未来の横浜は戦争のない平和な世界の実現に常に貢献する都市になるべきである。「平和」のない中期4か年計画はとて評価できない。横浜市が国際平和を目指す計画を立てていたら、市長のような考えはなかったのでは。ぜひ「平和」に関する計画を入れて下さい。</p>	修正	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策4「グローバル都市横浜の実現」に含まれていると考えますが、本年6月に制定された「横浜市国際平和の推進に関する条例」の趣旨を踏まえ取組を進めていくこととし、同政策の「政策の目標・方向性」にその旨を盛り込みました。</p>
<p>平和維持について 「国際社会の平和と繁栄に貢献する」としています。おおいに結構なことだと思いますが、推進のための具体化は大丈夫でしょうか。平和に関することは、国にまかせておいたら不安です。具体的な施策をもって、地方自治体からも積極的に関与していくことが大事かと思えます。</p>	修正	
<p>平和推進「海外諸都市や国際機関との連携・協力を通じて世界とともに成長する横浜実現を目指し、国際社会の平和と繁栄に貢献します」としていますが、国際平和を目指す事業・施策の具体化がありません。掛け声だけでは駄目。</p>	修正	
<p>市中心部と周辺部との間で、経済や文化芸術面での隔たりをなくす。例えば政策4について。アフリカ会議開催を、アフリカ理解、多文化共生を学ぶ一年として学校でもアフリカをテーマとして学ぶ契機とするなど、横浜ならでの多角的活動を展開する。</p>	修正	<p>ご指摘の趣旨を踏まえ、政策4「グローバル都市横浜の実現」の主な施策4「第7回アフリカ開発会議の開催を契機とするアフリカとの関係強化」の本文に、学校でアフリカについて学ぶ機会となる交流事業として「アフリカとの一校一国」を記載しました。</p>
<p>平和についてもっと積極的に政策と行動を！</p>	修正	<p>本年6月に制定された「横浜市国際平和の推進に関する条例」の趣旨を踏まえ取組を進めてまいります。政策4「グローバル都市横浜の実現」の「政策の目標・方向性」にその旨を盛り込みました。</p>
<p>平和の内に共存しようという世界の流れを押しすすめて下さい。国際競争力ということばは死語にしたいものです。</p>	修正	
<p>平和外交を進め、憲法9条を持つ日本としてその立場で市民交流をすすめて下さい。</p>	修正	
<p>平和推進について知りませんでした。今のままで良いとは思いません。</p>	修正	
<p>Ⅱ. 平和事業の推進について ① 基本計画に“平和”へのとりくみの決意と基本姿勢、具体的計画を明記してほしい ② 横浜市には、朝鮮の方々が多く居住し、学校もあります。いま、平和を構築する歴史的チャンスです。市民レベルで交流を深め親ばくの機会を増やすための支援をお願いしたい。</p>	修正	<p>本年6月に制定された「横浜市国際平和の推進に関する条例」の趣旨を踏まえ取組を進めてまいります。政策4「グローバル都市横浜の実現」の「政策の目標・方向性」にその旨を盛り込みました。 いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>ナショナリズムが強まっている世界の情勢のなかで、あえて、世界と共に歩む横浜という姿勢をはっきりと示したことこの中期計画は賞賛に値します。しかし、だからこそお願いしたいのは、横浜市の職員で「多文化共生」、とくに、受け入れ市民の側のコミュニティ形成に力を入れてくださる方の増員をぜひお願いします。今回の中期計画で、外国人が横浜市に引っ越してきてくれることをポジティブな価値ととらえるなら、市民のボランティアに頼るだけではなく（実際にボランティア層は10年前に比べて顕著に薄くなっています）、市としてきちんと向き合っているという姿勢をもっと強く見せてください。そうでないと、たとえばベトナムからの介護士を団地で受け入れるなど、すでに摩擦の可能性が高いエリアでの対応が大変難しくなることは容易に想像できます。多文化担当の職員の増員と</p>	参考	<p>いただいたご意見の趣旨につきましては、素案の政策4「グローバル都市横浜の実現」の主な施策5「多文化共生の推進」に含まれていると考えます。在住外国人と受け入れる地域が共に暮らしやすいまちづくりを含む多文化共生に向けた今後の取組を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
多文化共生関連事業の予算の大幅な増加ぜひご考慮下さい。宜しくお願いします。		
<p>国際都市としての「中長期的な戦略」が感じられない。国際都市とは何か。外国との交流拠点として港のみならず、街作り全体構想が欲しい。個別政策が総花的で「国際ビジネスの促進」とか「グローバル人材の育成、確保」とか、「留学生就職支援」とか、軽い言葉が躍っているだけ。具体的に求められることを思いつくまあげると、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人（ビジネス、観光を問わず）やさしい街。</li> <li>（例）外国語表示の案内、看板、アナウンス。</li> <li>・市役所、区役所窓口に外国人専用対応能力を高める。</li> <li>・世界・各国への「国際都市横浜」のPR（→観光客呼び込み）</li> </ul>	参考	<p>いただいたご意見の趣旨や具体的な取組については、素案の政策3「国際ビジネスの促進とグローバル人材の育成・確保」、政策4「グローバル都市横浜の実現」、政策6「観光・MICEの推進」等の「目的・方向性」や「主な施策（事業）」に盛り込まれていると考えます。これらの政策を総合的に推進し、国際都市としてのまちづくりを進めてまいります。</p>
<p>施策4 アフリカとの関係強化はとても良い。他市にない強みです。推進しましょう。 「アフリカ交流室」を何かの施設（公でも民でも、財団法人でも可）に作りましょう。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
野口英世にちなんで、横浜／アフリカ会議の定着	参考	<p>これまでも、アフリカ開発会議の横浜開催にあわせて、野口英世博士ゆかりの施設を活用した関連イベントを実施しております。いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>多文化共生について 関連政策：4、7 グローバル都市横浜を実現するため、海外諸都市との連携、海外拠点の活用、市内に經典を置く国際機関との連携、アフリカとの連携強化、国際会議の誘致、ラグビーワールドカップ 2015 や東京2020 オリンピック・パラリンピックの開催などが挙げられていますが、ビッグイベントは一時的なものであり、最も重要なのは在住外国人と市民との共生では無いでしょうか。 在住外国人と市民の交流が職場や地域を通して日常的に行われる仕組み作りが、互いの生活の安全を確保し、地域の中での連帯意識が醸成されることに繋がることにまで発展させることが必要です。 現在9万人を超える外国人が在住していますが、国際交流を目的とする市民活動に参加される方は多くてその10%程度と思います。 横浜市として、自治会町内会が進んで在住外国人を会員に引き入れるなどの活発な活動を後押しする施策を考えて頂きたいをお願いします。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策4「グローバル都市横浜の実現」の主な施策5「多文化共生の推進」に含まれていると考えます。いただいたご意見も参考に、在住外国人と受け入れる地域社会が共に暮らしやすいまちづくりをさらに進めてまいります。</p>
<p>4の多文化共生の推進とあるが、市内に多くいる外国人子女への支援への具体的な施策を実施してほしい。 9万人いる外国人および市内小中学校に通う子どもの中に、日本語の不十分な人がいる。日本語を支援し、将来的に仕事につけるようになることが必要。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策4「グローバル都市横浜の実現」や政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」に具体的な事業として盛り込まれております。今後も、市内在住の外国人の方々や外国につながる子どもたちに対する日本語支援・日本語指導に力を入れてまいります。</p>
<p>多文化共生、外国人市民支援政策が見えません。 外国人技能実習生制度の緩和（家族帯同、定住化）が検討されている中、中小企業における人手不足（単純労働ではなく、技術・技能者）対策として外国人雇用の支援を真剣に考えてほしい。 定住化させないと、外国人が市内でかせいだ賃金は、ほとんど本国で使われる事になり、地球経済が回らなくなる。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略1『力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現』の一つ目の柱「市内企業の持続的な成長・発展と戦略的な企業誘致」の中で「外国人材の誘致・定着」に言及しており、また、政策3「国際ビジネスの促進とグローバル人材の育成・確保」の主な施策5「外国人材の誘致・定着の推進」や、政策4「グローバル都市横浜の実現」の主な施策5「多文化共生の推進」にも盛り込まれていると考えます。これらの取組を進める上でいただいたご意見も参考にさせていただきます。</p>
<p>政策4グローバル都市横浜の実現 政策の方向性には「日本語支援」との文言が出てきますが、次ページ1から5には項目として挙がっていません。P81に外国につながる児童生徒対象の日本語支援についてはありますが、大人への対応も重要だと思います。 是非具体的な案的な項目として挙げていただきたいと考えております。</p>	参考	<p>ご指摘の取組については、素案の政策4「グローバル都市横浜の実現」の主な施策5「多文化共生の推進」に具体的な事業として含まれております。今後も、市内在住の外国人の方々に対する日本語支援にしっかり取り組んでまいります。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策4 グローバル都市横浜の実現 東京を除き、指定都市で、一番グローバルな都市が横浜だと推測します。（あとは川崎、大阪、福岡）鶴見や神奈川区など都心部、臨海部はグローバル。 郊外だと泉区いちょう団地が有名。コミュニティハウスに「多言語連携室」があります。このような取組を増やしてほしい。</p>	参考	ご指摘の趣旨は、素案の政策4「グローバル都市横浜の実現」の主な施策5「多文化共生の推進」に含まれていると考えます。今後の取組にあたり、いただいたご意見も参考にさせていただきます。
<p>政策4 現状と課題 パタム(インドネシア)を追加説明してほしい。</p>	参考	紙面の問題もあり冊子で詳述はできませんが、セブ・ダナン・バンコク・パタムにおいて、公民連携による国際協力事業を進めており、都市課題解決に貢献しております。
<p>○国際平和博物館を設置してください。 6月5日、「横浜市国際平和推進条例」が市会で全会一致で可決成立し、6月15日交付されました。 中期4か年計画のその推進のための具体的施策が必要ではないでしょうか。 条例には「横浜大空襲を忘れず」「核兵器の廃絶」「飢餓」「貧困」「環境破壊」などの課題解決のため、「国際平和への貢献」が求められ、そのために市の役割として「国際平和の推進に関する施策を策定し、実施する」「国際平和に関し市民の理解を深めるため、必要な啓発及び教育を行うものとする」としています。 その具体化の一つとして、横浜大空襲をはじめ戦争の惨禍を伝え、核兵器の脅威、飢餓、貧困、環境破壊などの実態を明らかにし、戦争を繰り返すことなく、地球上から核兵器の廃絶、飢餓、貧困、環境破壊をなくしていくための啓発・教育を行うために国際平和博物館を設置することが必要であり、有効な手立てと考えます。</p>	参考	素案の政策4「グローバル都市横浜の実現」の国際社会の平和への貢献に関するご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。
<p>平和宣言都市として「平和のための戦争展」の常設施設を設置してほしいです。平和が一番の国際都市の姿を大きく打ち出していくことを願います。大型開発でなく歴史を大切にほっとするまちに！</p>	参考	
<p>平和推進について 横浜市は今年で15回目となる「横浜市非核兵器平和都市宣言」市民の集いが開催されようとしている。まさに6月12日には米朝会談が実現し北朝鮮が核兵器を廃棄し、朝鮮半島の平和への希望が見えてきた時です。世界各国もそれに歓迎の声をあげアジアの平和の大きな力となった。そして横浜市も日本が唯一被爆国であり平和憲法をもつ国であることで平和のメッセージと国の改憲の動きに対してはひとつの自治体として態度を表明していくべきと思う。 学校教育においても戦争の惨禍や平和についての学習を進めていくべきと思う。</p>	参考	
<p>平和推進について、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が2016年から「生きている間になんとしても核兵器のない世界を実現したい」と始めた「核兵器廃絶の国際署名」に署名してください。</p>	参考	
<p>横浜にも「平和宣言都市」「非核都市宣言」の看板を設置してください。</p>	参考	
<p>【政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出】に関してP40に資料として平成28年文化に関する世論調査が添付されていますが、調査をあたったところ、この設問は「あなたは、日本の文化芸術の振興を図ることにより社会にもたらされる効果として期待することは何ですか。」です。あくまで、世論として効果があると期待するものだけを聞いているだけで、この設問を掲載せずに、このグラフだけを見せるのは、「子どもの心豊かな成長」に「文化芸術振興」が効果があるようにミスリードしていませんか。 事実(ファクトベース)で評価してもらいたい。芸術は子どもの育ちにいい効果を表す可能性が高いと思います。ただ、それは子ども自身の感受性を大事にすることがベースであり、大人が都合よく芸術を押し付けたら、子どもは芸術を嫌いになります。 そしてこれは大人にも言えることです。「質の高い文化芸術に触れる場」が押し付けがましいものにならないようお願いしたいですし、その評価をしっかりとさせていただきたいです。</p>	修正	<p>いただいたご意見を踏まえ、政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」に掲載の図表(文化芸術振興による効果)に設問を追加しました。 また、いただいたご意見につきましては、政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>○5文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出 ・新たな劇場整備の事業化検討・事業推進 ・創造性をいかしたまちづくりの推進 いろいろ頑張って横浜市を世界に知らせていきたい。</p>	賛同	<p>素案の政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」へのご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>政策5 施策5 「アフリカトリエンナーレ」を開催しましょう。 提案トリエンナーレは、現在の開催地区での行事が終了後に、各区でも分散して展示するなどしてはどうか？</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>区民文化センター整備に関して金沢区民が長年待ち望んでいる区民文化センターについては、その整備手法と整備時期を早急に明らかにして、できるだけ早く整備を図っていただきたい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」の主な施策3「市民の文化芸術活動の環境整備」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>区民文化センター整備に関する意見 金沢区民が長年待ち望んでいる区民文化センターについては、その整備手法と整備時期を早急に明らかにして、できるだけ早く整備を図っていただきたい。</p>	参考	
<p>区民文化センター整備に関する意見 金沢区民が長年待ち望んでいる区民文化センターについては、その整備手法と整備時期を早急に明らかにして、できるだけ早く整備を図っていただきたい。</p>	参考	
<p>区民文化センター整備に関する意見 金沢区民が長年待ち望んでいる区民文化センターについては、その整備手法と整備時期を早急に明らかにして、できるだけ早く整備を図っていただきたい。</p>	参考	
<p>区民文化センター整備に関する意見 金沢区民が長年待ち望んでいる区民文化センターについては、その整備手法と整備時期を早急に明らかにして、出来るだけ早く整備を図っていただきたい。</p>	参考	
<p>戦略4「浜」を全て失っている。せめて港を見える化せよ。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」の主な施策6「都市デザインによる魅力あふれる都市空間の形成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市の歴史文化基本構想と18区の基本構想の早期策定が必要である。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」の主な施策7「歴史文化をいかした個性と魅力あるまちづくり」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>歴史的資産の保全と活用についての意見 中期4か年計画に新規施策として掲げている「歴史文化を活かした個性と魅力あるまちづくり」を積極的に進めていただきたい。 金沢区には、いくつかの貴重な歴史的資産があります。 特に、横浜市としても後世に伝えるべき貴重な歴史的資産として、旧川合玉堂別邸の再建と、旧長濱検疫所1号停留棟の保全と活用は重要と考えますので、積極的な取り組みをお願いしたい。</p>	参考	
<p>歴史的資産の保全と活用についての意見 中期4か年計画に新規施策として掲げている「歴史文化をいかした個性と魅力あるまちづくり」を是非とも積極的に進めていただきたい。 金沢区には、いくつかの貴重な歴史的資産があります。 特に、横浜市としても後世に伝えるべき貴重な歴史的資産として、旧川合玉堂別邸の再建と、旧長濱検疫所1号停留棟の保全と活用は重要と考えますので、積極的な取り組みをお願いしたい。</p>	参考	
<p>歴史的資産の保全と活用についての意見 中期4か年計画に新規施策として掲げている「歴史文化をいかした個性と魅力あるまちづくり」を是非とも積極的に進めていただきたい。 金沢区には、いくつかの貴重な歴史的資産があります。 特に、横浜市としても後世に伝えるべき貴重な歴史的資産として、旧川合玉堂別邸の再建と、旧長濱検疫所1号停留棟の保全と活用は重要と考えますので、積極的な取り組みをお願いしたい。</p>	参考	
<p>歴史的資産の保全と活用についての意見 中期4か年計画に新規施策として掲げている「歴史文化をいかした個性と魅力あるまちづくり」を是非とも積極的に進めていただき</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
たい。金沢区には、いくつかの貴重な歴史的資産があります。特に、横浜市としても後世に伝えるべき貴重な歴史的資産として、旧川合玉堂別邸の再建と、旧長濱検疫所1号停留棟の保全と活用は重要と考えますので、積極的な取り組みをお願いしたい。		
歴史的資産の保全と活用について中期4か年計画に新規施策として掲げている「歴史文化をいかした個性と魅力あるまちづくり」を是非とも積極的に進めていただきたい。 私の住む金沢区には、いくつかの貴重な歴史的資産があります。特に、横浜市としても後世に伝えるべき貴重な歴史的資産として、旧川合玉堂別邸の再建と旧長濱検疫所1号停留棟の保全と活用は、重要と考えますので、積極的な取り組みをお願いしたい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」の主な施策7「歴史文化をいかした個性と魅力あるまちづくり」を進める上で、参考にさせていただきます。
「神奈川台場」を歴史遺跡として保存し、横浜の新しい歴史スポットとして活用して下さい。大手デベロッパーの住宅開発で破壊しないでください。	参考	いただいたご意見につきましては、政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」の主な施策7「歴史文化をいかした個性と魅力あるまちづくり」及び政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策1「横浜駅周辺・東神奈川臨海部周辺のまちづくりの推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
政策5 施策3 劇場を市で作るとなると、「箱物」になりますが、都心部に箱物がますます集中します。 都心部も、郊外も「箱物」はうまく配分してほしい。 区民文化センターや地区センターにも予算を。特に郊外部	参考	新たな劇場整備については、文化芸術の風土醸成、子どもたちの育成に加え、さらなる魅力・賑わいの創出による都市の活性化の観点から、必要だと考えております。その視点に立ち、整備手法や効果等について、多角的に検討を進めてまいります。 いただいたご意見につきましては、素案の政策5「文化芸術創造都市による魅力・活力の創出」や市民利用施設に関するご意見として、参考にさせていただきます。
みなとみらいなど商業施設はたくさんできましたが、植物園やプラネタリウム、博物館など本当に文化的な施設が欲しいです。美術館もりっぱですが、入場料が高いので家族4人そろって行ったのは、1～2回しかありません。市民は無料とか割引にするなどして欲しい。まじめに働いて税金払っても、ばかりしくなります。三浦の方のソレイユの丘では、市民は駐車料金無料で、そういう市政はうらやましい、と思いました。図書館や地区センターの図書もみずぼらしい。 税金を享乐的なものに使う前に、必要な所に使って下さい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」を進める上で、参考にさせていただきます。
芸術文化 低料金で楽しめる音楽や演劇は、すべての市民の要望です。芸術文化の発展のためには、練習する会場も必要です。市民がいつでも気軽に利用できる練習場を充実してください。	参考	
大劇場建設より先に地域文化の振興策が優先させ、大劇場建設より区民文化センターの未設置区の整備を優先させるべきである。	参考	
都筑区や港北区に出来る文化センターを有効に活用するための区民との話し合いの場をつくるべきだ。	参考	
文化 他の市より転居してきたので未だ横浜市の文化的取り組みなどの認識は不十分であるが、美術鑑賞においてもクラシック音楽に関しても歴史関連においても横浜は素通りして東京都内に目がいく。改善すべき要素として、器(館)、アクセス(魅力)、ソフトウェア(内容)、マーケティング(アピール、スポンサー)、コミュニケーション(対話窓口)など多岐にわたると考える。	参考	
文化芸術創造都市の実現については、アジア各国との交流が重要だと思います。文化芸術は真の平和思想の中で大きく育つものです。戦争の総括(太平洋戦争等)異文化との交流が必要です。先ず、ヘイトをなくすことですね。	参考	いただいたご意見につきましては、政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」を進める上で、参考にさせていただきます。 なお、ご指摘いただいた趣旨は、素案の政策4「グローバル都市横浜の実現」の主な施策1「海外諸都市等との連携・協力の推進」、2「グローバルな拠点機能を活用した国際事業の推進」、5「多文化共生の推進」などに含まれていると考えます。また、本年6月に制定された「横浜市国際平和の推進に関する条例」の趣旨も踏まえ取組を進めてまいります。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
文化芸術創造都市の実現 現在の伊勢山にある市民ギャラリーは、山の上にあるために利便性が悪いので、横浜市庁舎跡地に組み入れてもらいたい。 港南区民センターひまわりの郷のギャラリーをもっと展示者側も鑑賞側も利用しやすく、今の2、3倍の空間ができるように改造して頂きたい。	参考	いただいたご意見につきましては、戦略1『力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現』を進める上で、参考にさせていただきます。
新たに劇場は作ることはない。県民ホール他いくつかがある。年々人が少なくなり劇場へ行くことも減少する。	参考	新たな劇場整備については、文化芸術の風土醸成、子どもたちの育成に加え、さらなる魅力・賑わいの創出による都市の活性化の観点から、必要だと考えております。その視点に立ち、整備手法や効果等について、多角的に検討を進めてまいります。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
文化芸術創造都市の項目に「新たな劇場整備」とありますが、横浜市内には神奈川県立の劇場もあり、“二重行政”になると思います。ハコモノ行政は止めてもらいたい！	参考	
政策5 施策1 本格的な劇場について 構想には賛成ですが、収容人数何名ぐらいとか、ある程度事業の規模が見えると良かった。 どこか前例があるといいのですが、イメージがわかりません。それも含め検討と考えますが。	参考	
文化財保護については全く言及がない。	参考	政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」の主な施策7「歴史文化をいかした個性と魅力あるまちづくり」を進める上で、文化財保護についても着実に推進してまいります。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
政策5 都市の文化度を計測するのは容易ではないです。 指標については「市内の文化芸術に関するセクター、産業分類で絞り込んで、売り上げを計測、集計」してはどうか？	参考	素案の政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」に関するご意見として、参考にさせていただきます。
劇場建設の検討は市民が求めているのでしょうか？将来の世代に継続的な負担を残すことが懸念されます。それよりも、これまで進めてきた創造境界の発展に力をいれてください。多様な人が街のそこかしこに面的に活動しているまちづくりをお願いします。	参考	創造境界の活性化については、素案の政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」に盛り込まれており、計画を着実に推進してまいります。 新たな劇場整備についても、文化芸術の風土醸成、子どもたちの育成に加え、さらなる魅力・賑わいの創出による都市の活性化の観点から、整備手法や効果等、多角的な視点で検討を進めてまいります。
中長期的な戦略 観光・MICEによる手法は賛成です、よいと思います。	賛同	案の政策6「観光・MICEの推進」へのご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。
〇6観光 いろいろ頑張って横浜市を世界に知らせていきたい。	賛同	
戦略1、5、6を実現するための政策3、4、6、37等において、従来は多様性の為に中国語と韓国語だけが重視されていた事を是正すべきだと思います。国際化・多様性推進にこの2言語のみを偏重する事は根拠がありません。ビジネスで来日する他の国の人々はもちろん、オリンピックやワールドカップも開催され一般人の来客者も増加します。他の国の人々にとっては日本語・英語までの記載は自然であり必要でもありますが、中国語・韓国語まで載っているのは他の国々へ対して差別的であり、文字も小さくなり、煩雑で読み取れません。ジャワ語・タイ語・仏語等々と全部を加えるのも合理的ではありません。表示は日本語と英語(又は、ローマ字)のみにし、高齢者にも読み取りやすいものに変更すべきです。その方が多様性推進になります。特にオリンピックまでには是正しないと、国際的にも恥ずかしいと思います。	参考	『横浜市公共サインガイドライン』において、言語表記は日本語、英語、中国語、ハンゲルの4言語を基本とすることとしております。ご指摘いただいた視認性の確保にも配慮しつつ取り組んでまいります。
外国人の観光者が多くなったので、日常レベルでのコミュニケーションの拠点を整備してほしい。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
みなとみらいMICEとホテルは、公約通り、国際会議を主とし、富裕層が主のResortにしてはいけません。しっかり主旨を守ることに努めましょう。	参考	いただいたご意見につきましては、政策6「観光・MICEの推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
政策6 施策1 パーソナルモビリティツアーですが、もう少し踏み込んで、「パーソナルモビリティの特区拡大」くらいにしてほしい。セグウェイや、超小型EVに期待します。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>6観光・MICEの推進                      &lt;新たなMICE施設について&gt;                      横浜市のイメージからどうしても市外の人々はみなとみらい地区中心に西区・中区に訪れるようですが、もう少し周辺地域にも区の施設だけでなく、有効な土地を利用した中規模施設が欲しいと思います。例えば市民ギャラリーは、相鉄沿線住民からは遠いです。将来、相鉄・JR、相鉄・東急がつながることを考えれば、新綱島や羽沢国大、また従来ある駅周辺に（特に泉区は土地がまだ未開拓も多い）是非文化施設を増設してほしいと思います。東京からのお客さんも呼び込めると思います。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」や政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」などに含まれていると考えておりますが、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>MICE都市について【戦略1】                      page 12 の中で言う新たなMICE施設整備とはみなとみらい 20 街区に建設中のパシフィコ横浜ノースであるはず。この施設整備はさまざまな問題点を隠蔽または取り繕いながら強行された。事業を主管した文化観光局はその責任の一端を果たすべきである。「中期計画」(最終版)にはそれを実施する旨のことを明らかにすべきである。</p>	参考	<p>横浜の代表的なMICE施設であるパシフィコ横浜は、高い稼働率を維持しており、開催需要に応えるためには、新たなMICE施設（パシフィコ横浜ノース（通称））の整備が必要な状況です。政策6「観光・MICEの推進」の主な施策5「新たなMICE施設・周辺基盤施設等の整備」を着実に推進してまいります。</p>
<p>MICE施設について、本当に必要なのか疑問です。今ある施設で良いのではないかと。</p>	参考	
<p>政策6                      新たなMICE施設は、建設費は市だと考えますが、運営や維持管理、改築はどこまで民間に委託するのでしょうか？いわゆるコンセッションですか？</p>	その他	<p>コンセッション事業（公共施設等運営権制度を活用した PFI 事業）として、維持管理、修繕を含む施設の運営権を事業者に設定しております。なお、施設の改築は運営権の対象外です。</p>
<p>43ページに、横浜ノースに102億円とありますが、このくらいでしょうか？</p>	その他	<p>新たなMICE施設（「パシフィコ横浜ノース」）や周辺基盤施設等の整備に平成30年度から33年度で必要な計画上の見込額として、102億円を記載しております。</p>
<p>政策7 施策2                      「ラグビー選手～イベントに招へい～」はとてもいいです。「リアル〇〇さん」がいいです。</p>	賛同	<p>政策7「スポーツで育む地域と暮らし」の主な施策2「地域スポーツの振興」を、着実に推進してまいります。</p>
<p>〇横浜市は、市民のスポーツ環境を悪くする例に、市民プールを集約し利用機会を下げ始めています。民間経営のスポーツジムに代行させようとしています。</p>	参考	<p>27年10月に策定した「プール及び野外活動施設等の見直しに係る方針」に基づき、施設の集約化等に取り組むとともに、当面存続することとなった施設は、更なる利用促進、経営改善等に取り組んでおります。いただいたご意見につきましては、参考にさせていただきます。</p>
<p>【政策7 スポーツで育む地域と暮らし】に関して                      P44 の現状と課題の中に「今後もより多くの市民が身近な場所（地域）でスポーツに親しむ機会（する、みる、ささえる）や環境づくりが必要で」とあります。また主な施策（事業）2「地域スポーツの振興」において、「市民、とりわけ子どもたちのスポーツ意欲の向上を図ります」とあります。                      特に子どもがスポーツに親しむようになるためには、「する」機会が重要になります。自分で「する」から、上手い人のを「みる（みたい）」という気持ちにつながります。そしてそのスポーツを「する」機会を増やすために重要なのは、身近な環境です。移動範囲の狭い子どもにとっては、街区公園が重要な場所になります。その身近な公園が、健康遊具で溢れ、禁止看板（特にボール遊び系）に溢れている中では、せっかく選手との交流の機会を持ったとしても、それは多くの子どもにとって非日常のことで、日常へと繋がりません。                      スポーツ振興においては、身近な公園等の（特に地域住民の心情的な）整備が重要になります。その時に大事なことは、地域で生活している人たちの心情も踏まえて、場を作るということです。その意味では、「スポーツ推進委員など地域のスポーツ関係団体等と連携」する際には、地域まちづくりの専門家などのコーディネーター役にも予算をつけた上で、町内会や地域ケアプラザ、放課後子ども教室の指定管理者などとも連携して、身近な地域の場所で「スポーツをやっていい」という気持ちを醸成する取り組みを入れることを希望します。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策7「スポーツで育む地域と暮らし」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>スポーツは大切である。若いときから体を動かす習慣は間違いなく高齢期の身体の衰えを遅くし、筋力の低下の時期を遅らせ、バランス感覚の維持に貢献する。市内街中のあちこちに、つい懸垂をしたくなる鉄棒や、腹筋をしたくなる長椅子、スクワットに使いたくなる背もたれのついた椅子などがあつたら、人との待ちあわせに、仕事の休憩時間に活用できると思う。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策7「スポーツで育む地域と暮らし」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市にも多目的ドーム式競技場の建設を希望します。現在の球場では天候に左右され老人子連れでの見学には無理があります。孫達を連れて見学したい。</p>	参考	
<p>政策7 施策3 スポーツ観戦チケットに、三溪園割引チケットをつけて売る。ズーラシアでもどこでも可です。</p>	参考	
<p>イベントによる経済的効果はあくまでも一時のカンフル剤であることを肝に銘じておくべき。ラグビーに対する横浜市民(日本国民)の認知度の低さ、日本戦以外は閑古鳥が鳴くだろう予測。オリンピックによる、最近忘れかけていた横浜パッシングの再現これら予測できることに対しては適切に手を打っておく必要がある。</p>	参考	<p>ラグビーワールドカップ™の開催に向けて機運醸成を進めてまいります。いただいたご意見につきましては、政策7「スポーツで育む地域と暮らし」の主な施策6「ラグビーワールドカップ™及び東京2020オリンピック・パラリンピックの開催」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策7-⑥「2019年w/ラグビー 2020年五輪p/p サッカー、野球、ソフト横浜開催の件 中期計画素案p45 予備欄には※で組織委等との役割分担、費用負担が調整中・・・と記入されています。よって、県や市・区役所に伺っても担当者は明確な回答が出せず。市民としては不安感が日増しにつり、大変危惧しています。果たして我が横浜市で大成功が可能か？心配です。 [具体的な問題点や改善すべき事参考例記入] ・市の玄関口の駅(横浜・YGAT・大さん橋・新横浜・小机・菊名・桜木町・関内・石川町)、 港、ホテル、交通機関(バス・電車・タクシー)の多言語標示、観光観戦通訳コンシェルジュ ・市内の美化 らく書き、ペットポトル・ゴミ放置→小机駅周辺ひどい ・公衆トイレや花壇の改善(地元クリーン大作戦) ・市内の交番(ポリスオフィス)がほとんど警察官不在が目立つ気味→本番の時は外国人にもスマイル対応必要 ・競技場周辺の露店の不衛生な料理、食べ物販売の改善 ・暑い時の熱中症対策のミスト・日蔭・休憩所・緑化等 今から地元で出来る小さな事からは是非改善スタートしましょう。</p>	参考	<p>ラグビーワールドカップ™及び東京2020オリンピック・パラリンピックについては、両大会組織委員会をはじめとする関係機関・団体との連携を進め、安全で円滑な大会運営に取り組んでまいります。 いただいたご意見につきましては、政策7「スポーツで育む地域と暮らし」の主な施策「ラグビーワールドカップ™及び東京2020オリンピック・パラリンピックの開催」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策7 指標 スポーツ事業参加数は駅前フィットネスクラブ利用者は含みますか？</p>	その他	<p>駅前フィットネスクラブ利用者は含みません。</p>
<p>「38の政策中8 大学との連携」については、市内に多くの私学もある。横浜市大だけでなく、若者が集まる横浜にするためにも、主要な私学も提携先に考えたらどうかと思う。</p>	修正	<p>横浜市立大学に限らず、市内等に立地する28の大学では、大学それぞれの特色や個性を活かした様々な分野で地域・企業・本市と連携した取組が進められており、連携事例数も</p>
<p>横浜市内にある大学(横浜市立大学に限らず)との連携をさらに推進すべきである。</p>	修正	<p>年々増加している状況です。 ご指摘も踏まえ、より分かりやすい表現とするため、政策8「大学と連携した地域社会づくり」の「現状と課題」部分に、大学の数を盛り込みました。</p>
<p>政策8 大学と連携した地域社会づくり 以前より横浜市立大学との取り組みは拝見してきました。横浜市内には私立大学も多数あります。それぞれ特色があると理解しております。 大学と地域との連携した地域づくりとあるのであれば、それぞれの地域にある私立大学も活躍できる場を提供したほうが市内を網羅できると思います。鶴見区の例が掲載されていますが、市としてももう少し力を入れてはいかがでしょうか。</p>	修正	
<p>46ページ 政策8は、コスト対効果が良さそうで、過去の実績が効いてきたと考えます。</p>	賛同	<p>素案の政策8「大学と連携した地域社会づくり」に対するご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>政策8 施策3 大学・地域・行政との連携によるまちづくり 魅力的な景観形成や賑わいに大学の知的資源や人材をいかしながら質の高いまちづくりをすすめますとあるが、まさに私の住む街金沢八景は駅前開発が進んでいる、当初は再開発事業として進</p>	賛同	<p>素案の政策8「大学と連携した地域社会づくり」の主な施策3「大学・地域・行政との連携によるまちづくり」に対するご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。</p>



中長期的な戦略及び38の政策（戦略1、政策1～8）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>んでいたが、なかなか進まないうちに土地区画整理事業となり、事業が終わるとまちづくりは地域に任せられます。 そこでぜひ手を借りたいのが大学の知的資源や人材を活かし地域と協働でまちづくりを進めれば、利用する学生にも地域にも景観、利便性にマッチしたまちづくりができると思う。</p>		
<p>市内に複数ある大学がパツとしない。いずれの大学も清潔感に欠ける。いずれの大学もブランド化をはかり、対外的な印象を良くし、学生の確保に心血を注ぐべきである。一方で、各大学の目玉になる技術や理論、研究の先端について発表する場があまりにも少ない。発表しても、一般人には理解できないと高をくくっている。大学と高校以下の交流もみられない。これではあまりにももったいない。</p>	参考	<p>素案の政策8「大学と連携した地域社会づくり」に関するご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>大学 米国で意外性をもって考えさせられることの一つは、殆どの州において人生を完結する人が多いこと。 背景に、それぞれの州内に著名な大学を有することがあり、二代、三代に渡って家族内に同窓を抱える家庭が多い。 この定住性ともいべき現象は、米国における出生率の高さの背景でもあるのではないか。 また、大学スポーツの隆盛と人気の背景でもある。 日本でも、例えば神戸市、西宮市、名古屋市などは参考になるのではないか。</p>	参考	<p>素案の政策8「大学と連携した地域社会づくり」の「学術都市・横浜」の実現に関するご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>47ページ 市民向け教養講座をテレビ会議中継して、各区、各地区で参加できるようにしてはどうか 市大のある金沢区が遠いので。</p>	参考	<p>素案の政策8「大学と連携した地域社会づくり」の主な施策1「横浜市立大学の知的資源・研究成果をいかしたさらなる地域貢献」に関するご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
緑を増やし、空気、川、海水の循環を一層よくして横浜から地球温暖化強化対策を発信して欲しいです。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
戦略2 経済活動を支える低炭素・循環型の都市づくりに賛同します。本中期計画期間においては、官民一体となって実現可能な施策の実行が重要です。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』へのご期待と捉え、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
14 ページ 「花と緑」特に花は目立つので、分かり易い。	賛同	中期4か年計画に対するご期待と捉え、戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』を着実に推進してまいります。
戦略2の花と緑にあふれる環境先進都市の 9. 花・緑・農・水が住戸や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進のガーデンネックレス横浜の推進！！去年、今年と日本大通りから横浜公園、元町、中華街駅の元町側の改札を出てエレベーターでガーデン階へ、アメリカ山公園とアーチをくぐっての小さな広場（私はここを秘密の花園と呼んでいます）、それから坂をのぼって港の見える丘公園とイギリス館前の庭園。娘たちが小学生の頃に山手に越して来た頃は港の見える丘公園からの眺めは未だベイブリッジは未完成。イギリス館前の庭も何もありませんでした。今はフランス山も綺麗になり、山下公園に着く頃は薔薇の香りが～！仲良しに誇れる横浜の街、これからの季節、緑に溢れる横浜は本当に素晴らしい！これからも美しく素敵な横浜で有ります様に。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら計画を着実に推進してまいります。
戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』 「ガーデンシティ横浜」の推進に強く共感します。 特に、花とのふれあいをきっかけにみどりへの愛着につなげていくとする点、みどりの多様な機能に着目したグリーンインフラに言及した点が新鮮に感じました。 ガーデンネックレスなどのイベントだけでなくとどまることなく、観光や教育、地域活動、ひとりひとりのライフスタイルなど様々な分野で「ガーデンシティ横浜」がキャッチフレーズとなり、花博を通し、さらに日本全体、国際的に広がることを期待しています。 積極的に横浜市を花と緑あふれる都市、ガーデンシティ横浜としてアピールしていただきたい。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』及び政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策1「ガーデンネックレス横浜の推進」に含まれており、ご意見も踏まえながら、ガーデンシティ横浜の推進や国際園芸博覧会の招致につながるよう、着実に推進してまいります。
15 ページ 満足度のグラフの結果は興味深い。要望の多いのは、水害や、がけ崩れ対策など気候変動適応策だと思っていました。水害は平成 16 年の大被害がありました。その印象が強いからです。  がけ崩れでは、過去の横浜でも死者が出ているのではないのでしょうか？ 郊外は緑が多いが、都心部は緑が少ない。都心部では、人口が多いため、緑の創出が一番になったのだと考えます。	参考	いただいたご意見につきましては、戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
横浜市民、金沢区民として30年近く暮らしています。 各区には市民コンサートが可能なホールがあり、ランニング・散歩が楽しめる遊歩道、ショッピングモール、遊園地があり、、、それなりに恵まれた環境だと思います。ただ最近の我が金沢区では、富岡総合公園や小柴施設跡地公園など緑あふれる魅力的な施設の周辺では周辺の空き地、遊休地がゴミ捨て場の状況となっているのも事実です。 今足りないのは、市民、区民レベルで街を美しくしようという連帯感だと思います。京都市民が「自分達の街を美しくしたい」との想いで団結し、市の清掃活動を行っているように、市民が自ら動くきっかけ創りが必要だと思います。他の町では、自治体の取り組み例として、世田谷区の「世田谷ダム」や、茨城県守谷市のグリーンインフラの取り組みなど、住民一帯となって環境整備による魅力ある街づくり、移住したくなる街づくりに取り組んでいます。 そういう意味で、横浜市の中期4ヶ年計画の「花と緑にあふれる環境先進都市」を各区レベルでの実現を期待したいと思います。 案として、これらを緑化し市民として活用する。例えば家庭菜園として貸出すなど、市民参加型の活用方法はあると思います。 是非、きっかけづくりとして、横浜市と各区が連携して進めていただきたいと思っています。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
他地区にまけない魅力ある横浜市、金沢区をともに創っていきたいものです。		
「花と緑にあふれる環境先進都市」について；近所の川をちょっと眺めてください。誰もが気づくこと、それは花がないことではなく、川がゴミで汚されているし、なんだか汚染されていること。こんな当たり前の市民感覚にできていない「素案」が、いかにして作られるのかが問題。	参考	いただいたご意見につきましては、戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
9ページ 前中計の戦略2では、「エネルギー循環都市の実現」がありましたが、新中計では変わりました。15 ページの環境背策への満足度を見る分には、ごみやリサイクルは満足度が高くなり、定着したのだと推測します。	参考	
横浜市内の企業・団体の SDGs 化実現に向け、横浜市は環境経営のための環境マネジメントシステムの導入を積極的に推進すべきである。 特に、中小企業向けに、ISO14001 より低コストの、環境省主唱のエコアクション 21 等の環境マネジメントシステム導入の推進を明記し、インセンティブを含む支援策をより明確化し、積極的に推進すべきである。	参考	
横浜市中期4か年計画(素案)および概要版を読んで、非常に違和感を覚えました。戦略2 の「花と緑にあふれる環境先進都市」というキャッチフレーズは、意味があいまいなだけまだよいとして、政策9 の「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ」というキャッチフレーズは、港ヨコハマなど繁華街の自然の残っていない地区に適した言葉かもしれませんが(農はないはず)、横浜は港だけではありません。「横浜のもう半分はガーデンなどではありません。」横浜の自然をないがしろにしないでほしい。横浜を知らない人が作った商売第一の計画のように感じます。それと、里山を壊して作った里山公園の写真を出す、という恥ずかしいことはやめてもらいたい。  北部や郊外部には、緑地や農地が住宅地の間にばらまかれて、ヒトにやさしい環境を作っています。そこに「残されている良好な自然を横浜市の宝物としてきちんと保全して行こうという市を挙げての意志をしっかりと戦略に示してください。」(素案)に「細かな字で書いてあるだけでは不十分であり、横浜の半分に対して不公平です」。農地を含む横浜の特徴的な地形である谷戸は、環境で一番重要な要素である生物多様性のゆたかな自然です。谷戸において、まちの田舎暮らしを楽しむのはとても横浜的です。緑被率30%を下落して行く状態にもかかわらず、良好な自然を残そうという理念を示すべきカテゴリーにそれを政策ではっきりと示すことをせず、理由があれば開発して商売に利用しようとする傾向がみられてとても残念で改善してほしいと思います。	参考	
ヨコハマにはふたつの顔があります。 ひとつは港町ヨコハマのイメージそのままのみなとみらい・山下公園地区。別名、観光都市。 もうひとつが横浜市北部に広がる丘のヨコハマ。別名、田園都市。前者はガーデンシティに仕立てあげるのも一考です。なぜなら、コンクリートとビルで街が形成されているからです。無機質な人工物が優先されてきた町並みには、植栽が人の目を和ませるのは間違いありません。 一方、後者 丘のヨコハマは違います。丘陵地帯には貴重な谷戸が残っています。その谷戸を守ってくれている保全団体や地主がいます。そんな谷戸には多種多様な生物が息づいています。自然がせっかく守られているところに植栽でガーデンシティを目指すということは、これすなわち、環境破壊という以外に言葉が見当たりません。ヨコハマにはふたつの顔がある。最大限、それぞれを生かし育てる。そのために何ができるか。というところを出発点に据えてほしいのです。	参考	
横浜の未来の為に子や孫の世代に困ったものを残さないように横浜の昔からの風景を大切に。特に港、たくさんある緑の自然を。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
農業の化学肥料、農薬の割合をできる丈減らして欲しいです。川、海、森の生き物の生態を大事にしていきたいです。	参考	いただいたご意見につきましては、戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』を進める上で、今後の参考にさせていただきます
在日米海軍上瀬谷通信施設は2015年6月末に返還が決まりました。その跡地利用については先日花博的な構想が発表されましたが、花の公園は以前から横浜市は熱心に取り組んでおり、今更という感が否めません。	参考	素案の戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』及び戦略4(2)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部～に関するご意見として、参考にさせていただきます。
花と緑にあふれる環境都市づくりに耕作放棄地の活用はできないでしょうか。	参考	いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策3「市民が実感できる緑の創出・育成」及び主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」を進める上で、参考とさせていただきます。
税金まで取っているのに横浜の緑をドンドン削減している実態も承服できない。横浜には水田が無くなってきたのに比例して水辺の生きものたちが絶滅の危機に瀕していることも指摘しておきたい。	参考	素案の戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』に関するご意見として、樹林地や農地の保全や生物多様性の保全を進める上で、参考とさせていただきます。
戦略2「花と緑にあふれる環境先進都市」 金沢区に住んで良い場所と思いますが、それにしても成長期、調子に乗って乱開発されたものと思います。(特にガケ地)条例レベルで出来るなら、即、回復に向け動いてほしい。それこそ、もったいない。	参考	いただいたご意見につきましては、まちづくりと緑の保全を進めるにあたっての参考とさせていただきます。
里山ガーデンについて、何度も行って素晴らしいです。有料でもいいので、今後もずっと里山ガーデンとして、存続させてほしいです。以前、電話で問い合わせた所、何年後かはどうなるか未定ということだったので、是非施設として残していただきたい。ズーラシアと里山ガーデンが一緒にあれば、動物好きと植物好きと両方の層が来て相乗効果も得られると思います。 宜しくお願いいたします。	賛同	素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策1「ガーデンネックレス横浜の推進」へのご期待と捉え、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
政策9 施策2 まとまりのある樹林地 この事業はみどり税を財源にしていると考えます。安定した財源を、これからも維持する事が、ガーデンシティに必要なと考えます。事業量も妥当です。	賛同	素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全」へのご期待と捉え、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
緑の維持・保全是横浜市が取り組んでいる政策のうちの優れたものだと思います。緑被率の低下は減少傾向ではあるもののまだ続いています。「横浜みどり税」を有効に使うことで市内にあるまとまった緑地を維持・可能であれば拡大することを望みます。	賛同	中期4か年計画に対するご期待と捉え、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全」を着実に推進してまいります。
生活の場として、きれいな華やかな栽培種の花いっぱい場所、公園ばかりでは息がつまります。花を「ネックレス状」ということよりも、自然の緑を保護保持して欲しいのです。みどりアップQVol.12Feb2018を見ましたが、この方向性で緑を増やして欲しいと思います。いろいろな事情で田んぼ、雑木林などを手放す方の情報をキャッチし、その場所を横浜市として確保、自然の緑を残す方向に進めて欲しいと思います。これは、そこそこの土地とお金が必要で、個人では出来難いことと思います。横浜の港周辺など、既に自然の緑が少なくなっているところにはきれいなお花をガーデンを作り、緑が残されているところは、これを「ガーデン」にすることなく自然の環境を残して欲しいのです。ズーラシアの隣の里山ガーデンのような緑が残されていた場所を「ガーデン」に変えることはもう無しにして欲しいと思います。	参考	いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
みどり税を延長して、グリーンインフラに使い続ける事を提案します。 財源について、下水は市税と料金と国、河川は、国と県と市ですが、各分野、事業別にどの財源で事業をするのかを、明確にしてほしい。一般財源なのか、みどり税は使うのか？ この中計(164ページ)で記述しなくてもいいです。 市は次は下水道中計を作りますから、そこでは明確にしてほしい。	参考	いただいたご意見につきましては、グリーンインフラの活用を進める上で、参考にさせていただきます。また、財源内訳の記載については、今後の参考にさせていただきます。なお、下水道事業中期経営計画においては、事業運営に必要な下水道使用料や他会計補助金(市税)、国費、企業債などの財源とその見通しについて記載しております。
これ以上開発はいらなないと思います。山を崩したりしないでほしい。	参考	いただいたご意見につきましては、まちづくりと緑の保全を進める上で、参考とさせていただきます。
花と緑にあふれる環境先進都市を目指す中で、宅地開発をもう止めて下さい。林が切り開かれ、固定種の植物がなくなり、昆虫、鳥	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
もいなくなり、人工物が何ともなかったかのように出来上がっています。そして人工的なガーデンを別の場所に税金をかけて作る。今ある自然の方が貴重です。		
大型開発はやめて みどり税をとってなぜ緑をなくしてマンションを建てるの？	参考	いただいたご意見につきましては、まちづくりと緑の保全を進める上で、参考とさせていただきます。
大型開発を止めて、もっと豊かな緑あふれる横浜を作りましょう。高いたてものはもうやめましょう。	参考	
緑豊かな環境を 既存の緑地を大手ディベロッパーと横浜市が宅地開発をしないこと。市民の森や公園をもっと保護して花や樹木を守ること。	参考	
花と緑にあふれる環境先進都市について →【戦略2】【政策9】 ・都市緑地法等の改正によって、市民緑地の整備に対して、固定資産税等の減免や施設整備等への補助制度の創設が可能になっており、横浜市としても民間事業者が緑地整備を魅力とを感じるような制度設計を推進していただきたい。 ・現行の地域緑のまちづくり事業によって民間施設での緑化が推進されるなど、市内の緑化の充実に効果があったと感じているため、民間企業が緑化にメリットを感じるような取り組みについて今後も継続的・発展的に実施していただきたい。 ・公園活用による賑わいづくりに向けて、民間の活力・ノウハウを活用して効果的な公園活用が行えるよう、パークマネジメント制度の創設に向けて具体的な施策を検討していただきたい。さらには、公園内に民間施設整備が可能になるような仕組みづくりも視野に入れて検討していただきたい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策3「市民が実感できる緑の創出・育成」主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
政策9 花、緑、農、水 ガーデンシティ横浜には賛成ですが、ガーデンだと庭です。都心部は庭でいいです。郊外部は庭では物足りません。以前旭区では、全区公園計画がありました。 国際園芸博覧会、旧上瀬谷基地利用促進大賛成です。先行して部分的でも「プレ博覧会」を開催してほしい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
政策9 施策6 水循環、下水 事業規模の318億円はやや少ないかなと考えます。①の保水・浸透量の推進の29年度実績が書いていないことも疑問です。 例えば舞岡公園や東俣野別邸公園はグリーンインフラだと考えます。個別の事業（舞岡公園など）が、水害被害にはこれだけ、生物多様性にはどれだけなどの効果があるなど、評価の基準や評価の結果が定量的に見えてこないのです。 政策34の施策4の「局地的な大雨等の風水害対策」の318億円を足して636億円、この金額で政策34の指標の河川の氾濫面積削減ができるのでしょうか？	参考	いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策6「良好な水循環環境の創出等」及び政策34「災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策）」の主な施策4「局地的な大雨等の風水害対策」を進める上で、参考にさせていただきます。
横浜市は国際都市であります。フランスのパリには緑豊かな森林があります。横浜市では都市化が田園地帯に迄進んでおり、市民の森以外緑が残っているのは傾斜地だけです。その傾斜地も段化して家を建てる方向に向いています。都市の中で緑のある土地を宅地化させないよう保護育成を望みます。	参考	いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全」を進める上で、参考にさせていただきます。
上大岡駅の近くには、子供が多いわりには公園が少なく、放課後の子供の遊び場がありません。車もよく通る道路も多いし、子供達を外でめいっぱい遊ばせたいのに親が安心して子供をあそばせられる公園がないのですごく残念に思っています。 緑が多い公園、アスレチック(小学生向きぐらいの)など体を使う遊び場があればいいと思うのですが…。	参考	いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
里山ガーデンへ昨年と今年と家族6人で出かけました。とても行き届いた管理状態を感じましたが、カキツバタには本当に驚きました。プロなのになんなのかしら？ひどい状態をほうっておくなんてひどいな——と！！ドブみたい！！水が流れなければ当然でしょうが。何も感じないのかしら。植物をあつかうなら、そのくらい勉強して欲しい！！ガツカリです！！本当に残念です。綱島の駅近辺は緑の手入れをしているか、きちんと管理して欲しい。商店街にまかせただけでなく、皆で育てる意識が必要です。町内会に頼るだけでなく、チームを組織して水やり、植物の管理をこまめにして欲	参考	いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策1「ガーデンネックレス横浜の推進」や地域に根差した花と緑の取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>しい！！</p>		
<p>・目標 ガーデンネックレス横浜の推進                      ・いつ 年間をとし実施                      ・どこで 個人の庭、組織の庭                      ・誰が 個人、家族、団体として横浜市に登録                      ・何を 個人や組織等の庭の草・花・木の名前と本数を登録                      ・どうする 草・花・木の名前と本数の合計を市が公表する。（個人・組織は都度変更時に増減を市に報告する）                      ・市は登録者に対し草花木の名前等について相談にのりアドバイスを行う。（写真等のやりとりにて）                      ・年度比較で登録本数の増加をめざし環境対応につなげていく。                      ※ママさんパワーに期待、ネット、ハガキ、封書による受付、各区でも受付し、市が一元管理する。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策1「ガーデンネックレス横浜の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策9 施策(事業)1[新規]ガーデンネックレス横浜の推進                      ガーデンシティ横浜のリーディングプロジェクト「ガーデンネックレス横浜」、都心臨海部の公園緑地や郊外部の里山ガーデンを中心に花と緑による魅力創出の取組から日本の伝統美も表現しながら横浜の生活をビジネス活動支援、全市的な広報プロモーションの展開にも連携させる。想定：花と緑によるまちの魅力創出と賑わいづくり2地区、以上です。</p>	参考	
<p>「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外にしていだきたいと願っている高齢住民が近隣に沢山おられます。                      私共は港南区野庭町に40年前に家を建て現在に至っております。公道の側面の雑木林の樹木が小山の様になり、日当たりが悪くなり、沢山の落葉、花粉、悪臭、虫等に大変困っております。が、個々の力ではどうにもならない状況です。緑にあふれる環境先進都市で苦しんでいる大勢の人が居る事考慮していただきたくよろしくお願い申し上げます。緑税も払っているのですから。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全」や良好な樹林地の維持に関する取組を行う上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>環境問題と経済の問題は背中合わせのようにも思えるが、里山経済学にも見られるように環境の保全がそのまま経済活動につながる実践例も日本中に見られ始めている。個々の活動はまだ小さく、活動の維持ですら困難な団体も多いが、横浜に点在する里山をその実験の場として開放し、緑の保全と地域経済・活動の活性化を期待したい。具体的には様々な資源・環境を利用しての発電事業に可能性を感じている。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策9 現状と課題 指標                      2緑地保全制度による指定面積                      目標値を280haといているが150%以上増加すべきである。                      横浜北部にある、谷戸・農地・山林など、自然環境が保全されているのを活用すべきである。</p>	参考	
<p>政策9 主な施策 2まとまりのある樹林地の保全                      想定面積を89ha、計画上の見込額を245億としているが、150%以上、増大すべきである。横浜北部には、自然豊かな樹林地が多く残っており、相続問題などで消滅することが懸念される。</p>	参考	
<p>政策9 政策の目標・方向性                      「ガーデンシティ横浜」という表現は、横浜市の中心部(ミナト横浜)を意識した表現であり、横浜心も郊外部、例えば横浜市北部の「横浜丘の手(丘の横浜)」では、谷戸と呼ばれる自然環境が現在も残っており、その保全に力を入れるべきである。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全」を進める上で、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>住みたいまち・住み続けたいまちの実現に関し、一考願いたい。                      引き続き市街地の樹木など緑の保全・拡充に取り組んでほしい。                      例えば、現在は港の見える丘公園の一角は、周囲のフランス山や元町公園などと比べ大きな樹木がなく、全体がコンクリートの広場で、港を眺める位置にある日よけは人口構造物である。結果、夏など日差しの強い日には照り返しが激しい。                      やはり、大きな樹木による日陰を設け、夏の暑い日でも快適に過ごせ、癒される広場にすべき。景観にも配慮すれば、市民や観光客により魅力ある場所となるだろう。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策3「市民が実感できる緑の創出・育成」及び主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>となりの川崎市と比べてしまうとなぜ？？と思うばかりです。日吉7丁目に住んでいますが、この近辺は公園すら少なく、六丁目公園というのが唯一の公園。いつも人ばかりで小さい子供は遊ばせられず、砂場は芋洗い状態。 まずは、子どもを育てる環境を整えてほしいと、切実に願います。あこがれの街横浜とはほど遠い現状。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>住宅、マンションが密集した区域では、管理された広い公園が必要。現状、狭い公園に子供達、お母さん達が密集し、みていて危険。 ・管理された広い公園とは、芝生や踏み入れられる林が広がっている公園で、世田谷の砧公園や駒沢公園のイメージです。</p>	参考	
<p>政策9 施策4 魅力ある公園 この公園の新設は、事業量315億円からみて財源は一般財源とみどり税の両方だと考えます。都市部には公園(街区公園)が望ましいのですが、まとまった面積確保が課題です。 住宅1区画30坪くらい(広くても可)を、「ミニ公園」、「コミュニティ空き地」などとして利用する。(都心部に限る)既存の公園の制度より低コストです。前例は神戸市にあります。 具体的提案 ① 地域 特に不燃化地域です。中区、南区、神奈川区などです。 ② 所有 市は土地所有者から(なるべく安く)借りる仕組みで、10年で更新、市の資産ではない。 ③ 利用 地域の防災用具物置、市民菜園、延焼防止エリア、水槽、井戸(できれば)、災害時避難路、池、ピオトープ、風の抜け道、雨庭。なお大きくなる樹木や、遊具は不可。 神戸市に準拠して進めて欲しい。</p>	参考	
<p>政策9 主な施策 6良好な水循環環境の創設等 鶴見川流域では「鶴見川流域水マスタープラン」にもとづき、行政(国土交通省・神奈川県・横浜市など)と市民(市民団体・個人)、企業が連携して良好な水循環環境に取り組んでいる。ここをモデルに、大岡川、境川、侍従川など他の河川流域でも「流域マスタープラン」策定に取り組む。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策6「良好な水循環環境の創出等」を進める上で、参考にさせていただきます。また、大岡川と侍従川は県管理河川のため、ご意見を伝えてまいります。</p>
<p>花と緑にあふれる環境先進都市ということですが、庭にある樹木も屋根を超えると自ら手入れもできなくなり、それに年を重ねて老齢となるとますます手入れが出来なくなっています。その結果、樹を切ることしかなく残念に思っています。昔はこの地区(弘明寺北ノ前)の垣根は各家柱木の垣根で緑あふれる環境でした。なんとかならないものでしょうか。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」や地域に根差した花と緑の取組を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>昔に比べればきれいになったが、まだ鶴見川(支流)が汚染されゴミが多いので、河川の環境美化を施策に入れてほしい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策6「良好な水循環環境の創出等」及び、政策33「参加と協働による地域自治の支援」の「地域や様々な担い手との協働による取組の推進」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>スポーツ施設の充実を ワールドカップやオリンピックを目標にするのもいいですが、市民が安心して、いつでも使える公園やスポーツ施設の充実。 地域の子どもたちが、ボール遊びができる公園、広場の充実を願っています。</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略2 公園を造成してもその後の維持管理が行われていない。 白幡池公園の桜が老木となり、伐採されたままに、心が痛む者です。できましたら、予算の都合もあるでしょうが、新たに桜を植林していただくことはできませんか。もちろん、桜の代金を寄附することも考えております。この公園の桜は、近隣の方々も大事に思われており、寄附を募れば、賛同してくださる方も多くいらっしゃるのではないかと考えられます。 特定の公園に、特定の目的(例えば”桜の苗木”等)を地域限定の寄附を呼びかけて、公園の維持管理にあててはどうかと提案いたします。</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」に関するご意見として、公園の整備及び維持管理を進める上で、参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略 2-9 里山ガーデンを整備していただきました。何度か足を運び楽しませて頂きました。その一方で子供たちの通学路に伸びる雑草の多さ、歩道を侵食し、歩くスペースを狭くしています。せっかく紫陽花が咲いても雑草とのコラボは上手くないようです。整備と放置の落差が悲しいです。新しいものにお金をかけ人を呼びたいのもわかりますが、既存のものも大切にしつつ、さらにとり展開を望みます。</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」に関するご意見として、市民が実感できるみどりの創出・育成の取組や歩道の維持管理を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>政策9 現状と課題 横浜北部の鶴見川流域には、谷戸と呼ばれる自然環境が保全されており、また谷戸地形を活用した「緑道」も整備されている、この保全・活用が大きな課題であることを中期計画に明示すべきである。</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」に関するご意見として、緑の保全や緑道の維持管理や活用にあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>9. 緑化はすばらしいです。木かげの涼しさは炎天下最大のおくりものです。今ある木は大切にしてください。切り倒して新たに木を植えることはやめてください。</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策2「まとまりのある樹林地の保全」及び主な施策3「市民が実感できる緑の創出・育成」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>街路樹をメンテナンスの簡単な”常緑低木樹”に切り替える（近隣に銀杏があるが、剪定頻度も多くなりメンテナンス負担が大きい）</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策3「市民が実感できる緑の創出・育成」に関するご意見として、並木の再生などを進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>街路樹、公園等新設のみならず枯れた樹のあとには追加して植樹していただき並木道を保って欲しいです。あちこち欠損しています。</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」に関するご意見として、公園の整備等に関する取組を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>木々の多い公園をふやして下さい。</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」に関するご意見として、公園の整備等に関する取組を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>P.79「放課後の居場所づくり」の項目について、市内の公園も子供たちの居場所であると考え、その公園の安全確保及び公園内での犯罪防止のために、市内の公園への防犯カメラの設置や見回りの強化をする必要があると考えます。現在、横浜市では両親が共働き等の理由で放課後を一人で過ごす留守家庭児童に向けた施策が3つ用意されており、その利用者も年々増加しているとされています。しかし、そこでの人間関係の問題等により、それらに参加したくない、またはその環境になじめないという児童は少なくないと考えられます。そこで、他の居場所として市内の公園が挙げられますが、近年では大人の目が行き届かない場所において子供が凶悪犯罪に巻き込まれるケースもあり、公園内の子供の安全を確保することが課題であると考えます。横浜市内には多数の公園が存在しますが、その中でも比較的用户数も多く、規模の大きな公園に防犯カメラを設置することが望ましいと考えます。設置に関しては、既に東京都特別区で幾つかの設置事例があり、そちらをモデルケースとしての設置が可能であると考えられます。</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」に関するご意見として、公園内の防犯対策を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>本牧埋め立て地はそのまま緑ゆたかな公園に災害時に市民が集まれるスペースに広いスペースが必要です。</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」に関するご意見として、新たな公園整備を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>トイレと公園のあるべき姿について資料を見つけました。（市ではなく神奈川県庁の新人研修会で、最優秀提案となったものです。私たちは関ヶ谷公園内に常設トイレをつくる（土木事務所が）ことに反対。20年も昔から代替案（約10件）を提示。金沢土木事務所は、否認し続けています。我々の代替案の骨子は、添付資料の「最優秀案」と同じです。横浜市当局の賢明なる対処を求めます。 【参考文献添付あり】 『新規採用職員研修(後期研修)による政策提案 安心して使える「公衆」トイレ』 (かながわ政策研究・大学連携ジャーナル No.5 2013.10)</p>	参考	<p>素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」に関するご意見として、地域のニーズを反映した公園整備を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>公園にはトイレを設置すること。</p>	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策9 主な施策 4魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進 この施策を効果的に実施するには、地元住民と連携して作る「ガイドライン」が必要である。 そうでないと、実施した後で大きなトラブルが懸念される。この時に、都筑土木事務所で区民の意見を取り入れて作成した「都筑区緑道再整備ガイドライン」が参考になる。</p>	参考	素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策4「魅力ある公園の新設・再整備、公民連携の推進」に関するご意見として、地域のニーズを反映した公園整備を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>政策9 施策5 深谷、上瀬谷、鶴見花月園 ○上瀬谷 大災害時の輸送拠点、支援拠点としても機能するような計画を（深谷と同じ） ○深谷 仮設住宅や、震災廃棄物置き場、基地など、もしもに備えた計画で、とてもいい。 ○鶴見花月園 渡り鳥が来る水辺、池、汽水池を。鶴がもしも来れば最高です。</p>	参考	素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策5「大規模な土地利用転換の機会を活用した公園の整備」に関するご意見として、旧上瀬谷通信施設、旧深谷通信所及び(仮称)鶴見花月園公園の公園整備等を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>「花と緑にあふれる環境先進都市」とあるが、特にみなとみらい地区は、ビルばかりで緑が少ない。市の中心に花ではなく木がいっぱいのセントラルパークの様な公園がほしい みなとみらい地区のうれてない区画に木の公園を作ってほしい。</p>	参考	素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」に関するご意見として、公園の新設整備や市街地における建築物の緑化制度の拡大の検討を進める上で、参考にさせていただきます。
<p>綱島の駅近辺は緑の手入れをしているか、きちんと管理して欲しい。商店街にまかせるだけでなく、皆で育てる意識が必要です。町内会に頼るだけでなく、チームを組織して水やり、植物の管理をこまめにしたい！！</p>	参考	素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」に関するご意見として、地域に根差した花と緑の取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>9水循環環境とあるが、海とふれあう場をもっと整備し、「ハマ」を取り戻して欲しい。</p>	参考	素案の政策9「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」の主な施策6「良好な水循環環境の創出等」や政策12「環境にやさしいライフスタイルの実践と定着」の主な施策5「多様な生き物を育む場づくり・豊かな海づくり」に関するご意見として、参考にさせていただきます。
<p>◎再生可能エネルギーの導入！！</p>	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」の主な施策4「公共施設等の省エネの推進、再エネ等の導入・供給拠点化、水素の利活用」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
<p>P51 政策 10 地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造 ◆主な施策(事業)4 公共施設等の省エネの推進、再エネ等の導入・供給拠点化、水素の利活用について (4行目)「自家発電設備を有する公共施設のエネルギー供給拠点化を検討します」について『自家発電設備』を『自立分散型電源』に変更することを提案いたします。 (修正案) (前略)進めるとともに、自立分散型電源を有する公共施設のエネルギー供給拠点化を検討します。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」の主な施策4「公共施設等の省エネの推進、再エネ等の導入・供給拠点化、水素の利活用」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>太陽光発電の推進 学校、工場、公共建造物の屋根壁面等に設置を助成すべき。(世界は再生エネに向っている)</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」の主な施策4「公共施設等の省エネの推進、再エネ等の導入・供給拠点化、水素の利活用」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>政策10 施策5 長期優良住宅のハードルが現状では、少し高いのではないかと？ 長寿命 及び 省エネ並びに 健康に良い住宅は高価になり、売れないのではないかと？ 技術講習会の参加者が増えると効果があるの理解しますが、目標値の20%ができるのか気になります。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」の主な施策5「住宅・建築物の温暖化対策の促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>P51 政策 10 地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造 ◆主な施策(事業)5 住宅・建築物の温暖化対策の促進について 本施策をより実行力のある形で推進するために、これまでと同様、環境性・防災性の向上に資する家庭用燃料電池をはじめとした家庭用コージェネレーション機器の導入継続を提案いたします。 (修正案) CASBEE 横浜、長期優良住宅等の普及、既存住宅の省エネ改修</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>によるエネルギーの地産池消を進め、省エネルギーや省CO2を実現するとともに、快適で、省エネルギーや健康、環境、安全安心に配慮した先進的な住まい・建築物の普及を促進します。また、公共建築物への木材利用を促進します。</p>		
<p>公団(市営)住宅の屋根の上にソーラーシステムを作るとその地区だけでも災害の時電気がつくと思う。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>未来を創る都市として、高いビルの屋上には必ず太陽光発電のパネル設置し、急な停電の時には使える様に、又、普段でも使う様に考えて下さい。新市庁舎についている事期待しています。</p>	参考	
<p>原発依存をやめ、横浜市で使う電気はすべて自然再生エネルギーとする10年計画をつくり実行すること。</p>	参考	
<p>産業構造の変化                  横浜市の製造業(出荷高)は減少していますか？エネルギー消費量の減少は工場がなくなるからではないですか？産業部門の排出量が減る。                  横浜市の温室効果ガスの排出量が減少していれば、良いのかというと、これも難しい。                  市内経済の成長が期待されているからです。                  GDP(経済)が増えると、CO2も増えるのではないかと？技術革新がないと容易ではない。                  主な施策に記述のあるEV、FCV、ESCO事業などは以前からある対策で、すでに革新的技術ではないのではないかと？EVやFCVは利用の拡大、拡張のステージだと考える。                  これらを、実装、実践する事業者に対する、動機付け、(税制や、補助金)が適切かを検証することが重要と考える。</p>	参考	
<p>市の温室効果ガスの排出は業務家庭が約半分とあります。家庭の排出量を減らす直接的な施策、事業が弱いです。家庭1世帯あたりの排出量が国や、川崎市などと、比較して違うのでしょうか？</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、温室効果ガス排出量については、本市や国等のホームページで公表しておりますので、ご参考ください。</p>
<p>LRT等低炭素形交通機関を導入せよ。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」の主な施策6「低炭素型次世代交通の普及促進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P107 政策38 公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新                  ◆主な施策(事業)3 将来も見据えた時代のニーズに対応できる公共建築物の再編整備について、本施策をより実行力のある形で推進するために、これまでと同様、節電機器の導入継続を提案いたします。次のとおり修正を提案いたします。                  (修正案)                  (前略)再編整備を検討します。再編整備にあたっては、節電機器の導入を継続するとともに長期的な視点でLCC(ライフサイクルコスト)を意識したシステム選定に取り組みます。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」に盛り込まれており、ご意見を踏まえまして、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>発電事業といえば、横浜市は各焼却場で発電をし、地域に配電するという取り組みを考えたことはあるのか？焼却熱をプールの温水に使うのも健康的だし、セントラルヒーティングの熱源とするのもよいと思うが、発電の仕組みを単純に考えると熱した水(水蒸気で)タービンを回すだけでよいように思う。すでに技術の分野で検討したことがあるのであれば、実現が難しい理由等を聞いてみたい。</p>	参考	<p>焼却工場ではごみ焼却の際に発生する熱を有効利用し、発電を行っております。ご意見の趣旨につきましては、政策10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>環境先進都市、市民の健康づくり、防災(火災防止)のために、「喫煙対策、受動喫煙の防止」を取り上げてください。「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条例(FCTC)」第8条のたばこ煙曝露からの保護を積極的に推し進めてください。そのために喫煙防止地区の拡大を行い、特に公共の場である公園を禁煙化して欲しい。現在、禁煙となっている公園はないと思いますが、多くの非喫煙者が集まる公園内に喫煙者がいると、折角きれいな空気を吸いたい、新鮮な空気を吸ってリフレッシュしたいと思っても、受動喫煙となってしまうため、本当に困ってしまいます。喫煙は他人に迷惑をかけるだけです。又、多くの人が歩く道路、路上喫煙の範囲も広げるべきです。喫煙者によるたばこのポイ捨てによって火災の起き</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」の主な施策1「生活習慣病予防対策の強化」や政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」の主な施策6「まちの美化の推進」に含まれておりますので、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
る可能性は非常に高く、火災になれば、これは犯罪です。国際都市横浜は日本において、喫煙対策、受動喫煙の防止の範となるべきです。市から要請があれば個人的に協力したいと思っています。		
中田前市長が掲げたG30の総括はできているのでしょうか。ゴミのリサイクルはまだだと感じます。No.11の持続可能な資源循環の一施策として、大田区の行政を参考にして進めてほしい。	参考	「ヨコハマ3R夢プラン(平成23年1月策定)」は、「横浜G30プラン」の結果をふまえ、策定しております。 いただいたご意見につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
11. 持続可能な資源循環ときれいな町の推進について 粗大ゴミの市民自己搬入制度がありますが、収集と同じ処理手数料がかかります。これはおかしいと思います。市は収集費用がかからないのですから、無料にすべきです。これにより市民自己搬入が拡大すれば処理費用の削減になると思います。	参考	いただいたご意見につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」の主な施策1「ごみ収集等のサービス向上と安全・安心の確保」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
11 ごみ収集所について 回収のための柵が設置されましたが常にゴミが出されいつも満杯状態に 他国籍の人々がいるので注意書(分別の)も母国語で分かるように大きく	参考	
P53 政策 11 持続可能な資源循環ときれいなまちの推進 ◆主な施策(事業)2【新規】新たな焼却工場整備の推進について 本施策をより実行力のある形で推進するために、次のとおり修正を提案いたします。 (修正案) 将来にわたり安定的にごみを処理するため、規模、機能、周辺環境への影響などの検討を行い、事業性の向上やBCPを考慮した新たな工場の整備計画を策定します。また、市民への情報提供や意見交換などを進めます。	参考	いただいたご意見につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」の主な施策2「新たな焼却工場整備の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
新たな焼却工場整備の推進について 素案の53ページに費用5億円の予定で、新たな工場の整備計画を策定するとありますが、ゴミを更に減らすことや、以前から検討されている「ゴミを機械分別し、ガス化する装置」を既存の4か所の焼却場に併設することで、費用のかかる新たな5か所目の工場の建設を行わないよう鋭意工夫することを求めます。 民営賭博を解禁し、その胴元から利益をかすめるような財政政策から、一歩でも抜け出るよう求めます。	参考	いただいたご意見につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」の主な施策2「新たな焼却工場整備の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 IRについては、本市ではIRを導入する・しないについて決定していませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
新たなごみ焼却場の建設を行わないようご検討ください。 これに関連して、横浜市発展には経済的な基盤が必要ということでカジノを誘致して、そこからの利益金の一部をという構想の中には大型公益施設への活用が含まれています。しかしこのような性質のお金を得なくても済むよう、今企画している5つ目の公共施設の新たな建設をしないよう検討してください。ゴミの排出量を更に減らしたり、現行の4か所の焼却場へのガス化装置の併設など工夫し、新たな焼却場建設ありきの考え方から脱却すべきです。	参考	
政策11 持続可能な資源循環 施策3 3R 仮説ですが、高齢化が進むと、分別が手間、面倒になるのではないかと。 現状の高齢化が進んでいる自治会や町では家庭系資源物、(紙、段ボール、カン)を資源回収曜日に出さず、燃やすゴミの曜日や、ピンカン金属の曜日に出してしまふなどが散見 なにかインセンティブを誘発する仕組みを検討してほしい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」の主な施策3「市民協働・公民連携による3Rの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
戦略2、政策No.11の市民協働・公民連携による3Rの推進について ・現在プラスチックによる海洋汚染が世界的に問題になっています。 レジ袋の削減は以前から言われていますが、進んでいるとは思えません。自宅近くのスーパーではレジ袋を1枚6円と有料にしています。これは大変効果的な試みだと思います。消費者の自発的なレジ袋の削減は難しいと感じます。スーパーやコンビニ等に対し、レジ袋の有料化を市から働きかけることを提案致します。 ・プラスチック容器包装に関してはリサイクルされることが多いと思	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>われませんが、運搬、分解、再合成に多くのエネルギーを消費し、環境負荷の軽減になりにくいと思われま。リデュースが理想的ですが、それがむずかしい場合はリユース（スーパー等で購入した時のプラスチック容器等をスーパー等にもどし、洗浄後再利用してもらう）が現実的だと思います。このことにもし何も問題がないのであれば、そのようにスーパーやコンビニに対し行政指導をしていただくことを提案致します。（その際、洗浄剤の残留防止にも留意するよう指導お願い致します）</p>		
<p>公共物にいつも見守りを、道路の生け垣のゴミ、欠損した植栽、マンホールのゴミ、排水取口の詰まり等</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」の主な施策6「まちの美化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策11 施策6 まちの美化 トイレを有料化してはどうか、募金箱を置くとかも、コストがかかるのですから応分の負担を。きれいなトイレなら1回10円ぐらいは支払えと考えると。千代田区に事例があります。</p>	参考	
<p>例えば、公衆トイレの数を積極的に増やす。どこに出かけるにしても最初にトイレの場所の確認をしてしまう。きれいなトイレが随所であれば、気軽に散歩やウォーキングする回数が増えて、健康増進につながると思う。 現状は市内には数百の公衆トイレがあるようだが、絶対数が少ない。せつかくあっても場所が偏っていて、しかも設置場所が分からない。 活動推進の取り掛かりは、トイレの設置場所の誘導と案内をネットと現地に表示する。 次に、土木事務所が管理する施設には、くまなくトイレを設置する。身近な例（入江川せせらぎ緑道、江川せせらぎ緑道。おそらく課題は、公衆トイレ設置に近隣からの反対があることだろう。トイレの維持管理を徹底しきれいな公衆トイレを維持する。 綺麗なトイレ設置のモデル都市を横浜市が目指してはどうか。 景観に馴染む綺麗なトイレを開発してほしいし、1回50円ぐらいなら有料トイレでもよい。 気軽に利用できるトイレの数を増やすという観点では、どこにもあるコンビニエンスストアを活用しない手はない。 コンビニのトイレをもっと気軽に利用できるようにする。横浜市とコンビニ業界が協定を結び、対価として維持費の補助をするようにしてはどうか。 トイレが行き届いている街こそ、きれいで住みやすさが実感できると思う。</p>	参考	
<p>38政策の内 11、市民の「ゴミ」の対する意識の向上が不可欠である。例えば、ゴミの収集が不能になった時はどうするかを「市民」に問い自分で処理をする場合はどうするかを問い掛けたりすべきである。</p>	参考	
<p>町にはタバコの吸いガラが、多数落ちています。受動喫煙対策を強化する健康増進法改定案が進められていますが、一定の場所の喫煙であれば近寄らなければ受煙しません。しかし、『歩きタバコ』は、生活していて必ず受煙します。小さな子供さんは目にぶつかる可能性も有ったり、ゴミとしてすてている人を多く見受けま。是非歩きタバコの全面廃止をご検討下さい。煙は向かって来るのです。</p>	参考	
<p>カラス対策のため、ゴミの午前中回収を希望します。中の見えない折りたたみのカゴがあると良いです。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>85 才をすぎた父が早朝ゴミだしをした時、遠くの捨て場まですてに行くたいへんさから、すぐ近くにあるゴミ捨て場に捨ててご近所の方とのケンカになりました。たしかにルールを守ることは大切ですが、日本人はそれにとられすぎて、本当に大切な部分を見失っていると思ひました。ふれあい収集も確かにありますが、一生懸命頑張ろうとしている人をあたたかく見守ることが一番大切なことなのではないかと思ひました。足の悪い人や年寄りのゴミ出しに対する規制をゆるめてほしい。</p>	参考	
<p>ごみの収集も、高齢化による集積場所へ持参する事が不可能な人が増える中で、個別収集を実施する＝其の意味あいを、災害時</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>のごみ問題を、少しでも回避する事の必然を説明し実施し有料化すれば、ごみの大幅な減量が次のステップとして可能になるはずである。</p> <p>少なくとも、どれだけ出しても特に何も言われない現状の、ごみ出しの習慣と意識を変える必要がある。災害時に現状の習慣で処理をせねばならないとしたら、大変な事になるのは目に見えている。</p>		
<p>住宅街における一般ゴミの個別収集を実現して下さい。 (ゴミ置き場における近隣トラブルは社会問題です)</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ゴミ収集について 生ゴミなど週2、プラスチック週1だが、資源ゴミとガレキは月1ぐらいでも良いと思う。</p>	参考	
<p>ゴミ袋を有料にして、そのお金で給食センターを作るなり、中学校に給食室を作っただけではいかがでしょうか。ゴミ収集のクオリティも、働いている人も潤うのではないのでしょうか。特に生ゴミは、午後になっても収集しておらず、一体何やってんだ！？と目を疑いたくなります。とくに仙台市は有料で、キッチンと午前中にはゴミはなくなってますよ？横浜は相当、何もかもが遅れています。何とかして下さい。</p>	参考	
<p>ゴミ袋を有料にしてはいかがでしょう？今ドキ、ゴミ袋が無料なんてありえないのでは？ゴミ袋を有料にし、そのお金で給食センターや、学校に給食室を作っただけではいかがですか。</p>	参考	
<p>過去において工場があった場所、ゴミの廃棄によって埋立てられた山あいの埋立地、人体への影響が出ないよう整地され、最高の技術を使用し、住宅地をして市民の生活は送られている。都市で生きるという事は、一面このような環境を生きるという事である。その上で環境先進都市として、何ができるのか、何をするのかを考える。</p> <p>環境を考えるという事は、現在の最先端のテクノロジーを学ぶこと、考えることでもある。私たちにとって生活しやすい環境を作り、生活を守るための技術(たとえば私たちにとって良くないものを無害化する技術、廃棄物を意味のある肥料に変える技術、おいしい作物をきちんと作り続ける技術等々)で世界に問うことのできるものが横浜には多くある。その技術を磨き、世界に発信していくことも必要と思う。</p>	参考	
<p>12. 環境にやさしいライフスタイルの実践と定着 自治会活動で廃家電や金属を拠点回収する活動を支援してほしい。</p> <p>① 回収した“使用済有害機器(金属を含む)”を年数回拠点回収行いますので資源環境局若しくはその委託業者に収集を行って頂きたい。指定曜日回収や粗大ごみ申請での回収があることは理解していますが、制限や手続きが都市生活を行う上で追従出来ないと考えます(例えば、電話一本で宅配は可能です)。</p> <p>② 集団資源回収と同様交付制度の活用も良いと考えます。</p> <p>③ 横浜市に於いて、専用に処理する施設の設備を早急をお願いしたい。</p> <p>結果、自治会活動を活用し環境意識を更に高め燃やすごみ量を減らしたい。取り残しごみが減少することで収集コスト(時間短縮)が削減できる。等々メリットが大きいです。自治会活動やコミュニティーを復活し環境先進都市横浜をアピールしましょう。</p> <p>環境施設を計画し同意を得て予算や工事を進めるには、最低でも4～5年の事業です。今回のように昨年度国会成立、今年初め閣議決定、4月に施行は全く環境行政を無視した対応です。行政として責任ある対応をお願いしたい。</p> <p>市民は軽トラや玄関先チラシ投函回収での金属や廃家電回収を違法行為とは考えていません。便利だと歓迎する会話を耳にします。彼らが回収した処分方法や末路を見ていない目の前の利便性を享受できると満足しています。パーゼル条約が1992年締結され今日まで国内処理施設の整備が進んでいないことが悔しいですね！</p> <p>環境事業は、設備産業と言われていいます適正処理を行うにはそれなりの場所や費用や集荷が必要となります。制度リスクを検討す</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ると民間が簡単に手を出すにはリスクな事業です。行政と民間が分担しPPPで連携する事業展開を痛感します。小型廃家電を適正に処理するには専用の回収ルート構築が望ましいと考えます。</p>		
<p>環境にやさしい資源利用 焼却炉ですべてのゴミを燃やすのではなく、生ごみをたい肥にする施設をつくり農業・園芸用の肥料をつくる施設をつくってください。プラスチック容器の完全回収をめざす。製造メーカーからも回収金をとること。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」及び政策12「環境にやさしいライフスタイルの実践と定着」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>38の政策のうち、11の「きれいなまちの推進」ごみ収集等のサービス向上について 資源循環局のホームページに、規約や条件が掲示されているので、その内容を市へ問い合わせたところ「この規約はあってないようなもの」と回答されました。私は、ごみ収集に関しては、地域の決められた場所に出し、清潔に保つのがルールやマナーと思っていたのですが、市側は「必ずしも守らなければならないものではない」とも仰ってました。 もし、遵守しなくても良い規約や条例なら、何のために存在するのでしょうか。規約をないがしろにし、公正な判断ができない市（職員）が、「きれいなまちの推進」と計画を掲げても違和感、不信感しかありません。 自分達が決めた規約を今一度認識し、ごみ収集のサービス向上より、住民一人一人のごみ出しの意識を呼びかけて下さい。 福岡県うきは市は、ゴミ袋に名前を書いているそうです。横浜市もそのくらい厳格化しなければルールを守る人は増えず、街の美化には繋がらないと思います。</p>	参考	<p>お問い合わせをいただいた際に、不信感を抱かせてしまうようなご説明をしてしまった件につきましては、申し訳ございませんでした。 いただいたご意見につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>11ごみ収集サービス向上とあるが、中区山下町、寿町周辺のごみの不法投棄が多い。路上へのごみの投捨も多い。観光都市を目指すなら、食べ歩き店にはごみ箱の設置を義務付けることが必要。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」の主な施策6「まちの美化の推進」に盛り込まれており、取組を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策11 施策4 施設 鶴見工場の廃熱、余剰熱利用方法の改善はないのでしょうか？</p>	参考	<p>焼却工場ではごみ焼却の際に発生する熱を有効利用し、発電を行っております。 ご意見の趣旨につきましては、素案の政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」の主な施策4「資源循環を支える施設等の充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>たばこ税を大幅アップしましょう。 歩行喫煙禁止の啓発を強化し、罰金も大幅にアップしましょう。 区役所の売店でたばこの販売はやめましょう。</p>	参考	<p>歩行喫煙対策につきましては、政策11「持続可能な資源循環ときれいなまちの推進」の主な施策6「まちの美化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>食べ物を残したりすてたりして「もったいない」3R 運動をさらに推進すべきである。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「環境にやさしいライフスタイルの実践と定着」の主な施策2「食」を大切にすライフスタイルの推進」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>ごみを減らすために家庭で生ごみコンポストを行っています。ダンボールで行う方法をとっていますが、基材購入時補助金を希望します。数年前、密閉型のコンポスト容器を補助金で購入し、行いましたが、ダンボールで行う方がとくみやすく、処理能力も高く、安価です。基材 700 円程度、生ごみ 50-60 kgを分解できます。3 人家族で半年は使えます。しかし、この基材費は補助の対象ではなく、今現在は補助金すらありません。土壌混合法やキエーロも良いですが、別の方法のコンポストに対しても選べるよう、また補助金を復活させるよう考えて下さい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策12「環境にやさしいライフスタイルの実践と定着」の主な施策2「食」を大切にすライフスタイルの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>人が住みやすく、楽しく、美しく、きれいな町であれば、人は集る。 第一に海に流れている川を日本一キレイな川にすること。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨は、素案の政策12「環境にやさしいライフスタイルの実践と定着」の主な施策5「多様な生き物を育む場づくり・豊かな海づくり」に盛り込まれており、アユが遡上する川づくりなどの河川環境整備を着実に進めてまいります。</p>
<p>政策12 環境 政策12は、市としてはあまり事業費がかからなくて、いわばソフト対策が並んでいる。</p>	賛同	<p>素案の政策12「環境にやさしいライフスタイルの実践と定着」へのご期待と捉え、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
市民が多様な環境活動を実行するのは良い事です。		
【政策12 環境にやさしいライフスタイルの実践と定着】に関して食品ロス、特に食べ残しや賞味期限による廃棄が嫌いなので、今回新規で「2.「食」を大切にすライフスタイルの推進」が出てきたことには大いに期待したいです。子どもの貧困対策とも上手く連動することを期待します。	賛同	素案の政策12「環境にやさしいライフスタイルの実践と定着」の主な施策2「食」を大切にすライフスタイルの推進」へのご期待と捉え、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
政策12 施策4 生物多様性に配慮した行動 コンクリートとアスファルトに覆われると、生物が行き来できなくなり、多様性が減少します。並木や花壇など、自然の土や水が連続することが理想です。ただしこれは、都心部では難しいので、点在中でも良いので公園または空き地、面積が同じなら広いひとつの公園よりも、4つの小公園 学校などでのビオトープ、ビルの屋上の緑化、せせらぎの小道、コンテナでの花木低メンテナンスでできる施策を集めてほしい。郊外部も基本同じです。学校他のビオトープが教育上良いです。事例は戸塚区役所屋上のビオトープと水田。専門家でも評価されている取り組みですから戸塚区役所だけでなく進めてください。	参考	いただいたご意見につきましては、政策12「環境にやさしいライフスタイルの実践と定着」の主な施策5「多様な生き物を育む場づくり・豊かな海づくり」を進める上で、参考にさせていただきます。
横浜の沿岸部の環境改善のために、沿岸部の浅場を造成し、蓋砂を行い海のゆりかごと呼ばれるアマモやアカモクの生育環境を積極的に整備すべきである。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策12「環境にやさしいライフスタイルの実践と定着」の主な施策5「多様な生き物を育む場づくり・豊かな海づくり」に含まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
政策12と13の「食」と『地産地消』を関連づける。JAとも協力し、市民が食生活を守る。農家情報の公開(有機野菜かどうか含む)と直売所や広場での月1の大きなマルシェを各所で開くなどして、消費者と顔の見える関係をつくる(農以外酪農、養鶏、安全性の高いパンなど)。都市農業の持続は大切なこと(災害時なども必要な存在になる)なので力を入れて欲しい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策13「活力ある都市農業の展開」の主な施策4「地産地消の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
13.「活力ある都市農業の展開」では近隣の広いキャベツ畑がいつの間にか戸建て住宅群に変貌しました。こんな状態では地産地消は無理です。具体的な対策を示してください。	参考	いただいたご意見につきましては、政策13「活力ある都市農業の展開」の主な施策2「農業生産基盤の安定化・効率化に向けた支援、農地の利用促進」及び施策4「地産地消の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
政策13 施策3 農業金融 市で支援することは良いのだが、農業協同組合が支援すればよいのではないかな？	参考	いただいたご意見につきましては、政策13「活力ある都市農業の展開」の主な施策3「横浜の農業を支える担い手の支援」を進める上で、参考にさせていただきます。
13 都市農業は元気で後継者も育っています。しかし横浜の農業は市に於いて部局が縮小され、市民に見えなくなっています。生活協同組合やスーパーマーケットで売り場を確保して、新鮮な横浜野菜のPRが必要だと思います。女性農業者 ゆめファーマーや伝承行事や料理を伝える女性の活用も必要と思います。	参考	いただいたご意見につきましては、政策13「活力ある都市農業の展開」の主な施策3「横浜の農業を支える担い手の支援」及び主な施策4「地産地消の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
13 地産地消の推進 公園や神社などで定期的に市場の開催ができればいい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策13「活力ある都市農業の展開」の取組を進める上で、参考にさせていただきます。
活力ある都市農業については、いわゆる土にまみれての泥臭い農業からの脱皮、おしゃれな農業への転換をはかって、特区を使った規制緩和と共に、新しい農業の形を横浜から提案していくべきであるとする。ネックは、従来型の農業でも高所得があがっているという事実である。都市近郊農家の農業による平均年収は2000万円とも聞く。これまでの方法で高収入をえられるなら、だれも新しい形に挑もうとしない。そこで、都市型の農業女子を新しい横浜方式の農園で、苦しくない作業の実践と共に増やしていく、又は、農福連携の中で、障がいがあるために、体調のコントロールが難しい人たちが、空調のきいた適切な環境下で野菜作りをしている実践例を参考にしながら、日焼けの少ないおしゃれでラクな農業という分野をつくり、活性化を目指す視点もある。	参考	
現在野菜をやっている農家も後継者が居なくなる場合どうするかも考えねばなりません。市で貸地にして、花やイチゴなど栽培するよう、考える必要が有ります。傾斜地を市が買うか、借りるかして花畑にしたどんなに綺麗でしょう。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略2、政策9～13）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
都市農業は地域環境のためにも、もっと保護し農業で生計が建てられる援助が必要。後継者の育成も力を入れて欲しい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策13「活力ある都市農業の展開」の取組を進める上で、参考にさせていただきます。
食の安全の確保の為に、都市農村の役割と流通、消費体制の整備が重要と思います。	参考	いただいたご意見につきましては、政策13「活力ある都市農業の展開」の主な施策4「地産地消の推進」を進める上で、参考にさせていただきます。
政策13 施策4 水田 水田の温暖化防止策、水害時に遊水地として機能する効果に加え、冬季湛水(たんすい)田んぼにすると、鳥などの食糧確保ができて、生物多様性に貢献します。なにか冬季湛水田んぼにすると、良くない事があれば、制約があるなら教えてください。	参考	冬期湛水については、用水の確保などの課題がありますが、生物多様性や景観の面から効果があると考えられますので、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
「地産地消の推進」が入っているのは良い。横浜の農業専用地域は守っていくべきだ。	参考	地産地消に関するご意見につきましては、素案の政策13「活力ある都市農業の展開」の主な施策4「地産地消の推進」へのご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。また、農業専用地区に関するご意見につきましては、政策13「活力ある都市農業の展開」の主な施策2「農業生産基盤の安定化・効率化に向けた支援、農地の利用促進」を進める上で、参考にさせていただきます。



中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
年よりにすみ良い横浜に	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
戦略3 「超高齢化社会への挑戦」に賛同し、高齢者の住みやすい都市づくりの為、よりクリーンかつ安定的なエネルギーシステム導入提案に努めてまいります。	賛同	素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』に関するご意見として、参考にさせていただきます。
大規模団地 若葉台に住む高齢者(80代)として、「中期4カ年計画(素案)」について意見を記します。 戦略3「高齢社会への挑戦」は、全体的に賛成です。待ったなしの課題が山積しています。本気で取り組んでください。地域住民として取り組める課題には積極的に挑戦しているつもりです。 特に、若葉台に住んでいる高齢者として要望したいことを二点記しますと、一つは「小規模多機能型居宅介護事業所・看護小規模多機能型居宅事業所」を是非作ってください。 いま一つは、サービス付き高齢者賃貸住宅をつくってください。 車椅子生活になった途端に、あるいは一時期、体調を崩しただけで、若葉台を離れて、施設に入所するような生活では老化を加速させます。そのようにならない、以上の二点は、最低限度の施策だからです。 住み慣れた地域で、慣れ親しんだ友人・知人と交流しながら暮らすことは、高齢者が元気で生活し続けるための最も必要不可欠な条件だと、私は考えているのです。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』、政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」及び政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
戦略3『超高齢化社会への挑戦』について 方向性(p17)で、実現に際し、医療や介護が必要になっても地域で生活できるよう介護、医療、保健・福祉の充実を図ります。とありますが、これらは、もちろん大切であります、高齢者を、弱者としてのみ据えているのは、残念であります。 高齢者の大多数は元気で、現役として働くことが可能であります。従って、被扶養人口として捉えるのではなく、生産人口としてカウントすべきでありましょう。(当面は、65歳未満を70歳未満とし、将来は、75歳まで引き上げるべきです) よって、政策28 シニアが活躍するまち(p86～87)の施策(事業)では、健康福祉局が担当する施策もさることながら、経済局が担当する就業機会の提供、経験やスキルを發揮できる起業支援のほか、高齢者向けのハローワークの設置、定年延長若しくは廃止企業に対する支援、高齢者を雇用する企業に対する支援など、高齢者の就業促進に対する施策を取り上げて頂きたい。 これにより、戦略5『未来を創る多様なひとづくり』p23 工程表の、年齢や性別、障害の有無や国籍によらず社会参加が可能な社会の実現につながると思います。	参考	素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』、戦略5『未来を創る多様なひとづくり』、政策28「シニアが活躍するまち」に関するご意見として、誰もがポテンシャルを存分に發揮できる社会の実現に向け、参考にさせていただきます。
戦略3「超高齢化社会への挑戦」は、少なくとも4カ年計画では、負けてしまいうらうし、横浜市だけでは、対応できない。法律レベルの支柱がしっかりせねば無理。	参考	素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』に関するご意見として、参考にさせていただきます。
横浜市として本当の危機は、2040年の団塊ジュニアが70歳を迎えるころである。団塊世代が問題といわれても、今はまだ市内の生産人口は多く、支える側に力がある。ところが、ジュニア世代には親の世代のように資産がない。そのため活発に外出する資力も十分でない。家庭内のコミュニケーションは、今よりさらに疎になる。外に出る機会が減ることは、高齢者の諸問題を発生させるきっかけとなることが多い。市内の生産人口は今に比べて相当に低い水準になっていることが予想され、労働力として、また経済面でも支える側の力がなくなる。これからの4年間は、2040年に向けての練習と思えば、様々な思考ができる貴重な期間であると考えられる。 横浜市も意外に広い。住んでいる地域により、生活環境により、人の心も考え方も異なる。中央からの号令で一つの方向に持つていくのは困難である。また、助け合うことが美德のような道徳的発想では、現実の市民生活のありようを見誤る。 昔ながらの助け合いが実践されている地域もあれば、個人の趣	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>味・活動が充実していて、放っておいてくれと見えあいに拒否的な地域もある。後者の地域の平均寿命が長いという事実は、助け合うことよりも経済的な余裕があり、外出し様々な刺激を受ける方が介護の時期を後ろにずらす効果を生んでいる証になっている。支え合いを否定しているのではない。誰もが一定の介護状態になれば支えてほしいと思うであろう。ただ、市民全員が支えあうべき的な発想で、事業を展開していくと、行き詰まることになる。横浜は広いという視点が時々行政にかけることがある。</p>		
<p>超高齢社会の進展 14～18 私達夫婦は若葉台団地に住んで40年が過ぎようとしています。高齢化が進む中、周りの人達は伴侶に先立たれた後は、団地外の施設へ入られる方が多いです。必ずしも元気で一人暮らしが出来るか、それは難しい事だと思います。若葉台団地で最期を迎えられるような環境を望んでおります。我家はエレベーター停止階ではありませんので、車椅子生活になった時の心配もあります。在宅医療、在宅介護も良い手段だと思いますが、一緒に住める家族がいけない事には何の意味もありません。最近では一人暮らしがどんどん増加しています。対策に期待しております。</p>	参考	<p>素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』に関するご意見として、市民一人ひとりが安心して自分らしく暮らせる社会の実現に向け、参考にさせていただきます。</p>
<p>○高まる高齢者社会で、もっと簡単に、自由に安価で使用できる、公共施設を希望します。元気に頑張る高齢者団体に補助金を出し、充実した運営が出来るようにすべきです。</p>	参考	<p>素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』に関するご意見として、施設運営等の参考にさせていただきます。</p>
<p>17ページは行程表に福祉と医療の中期計画が記述されていて、とてもいい。 →もっと内容を知りたい場合、中計名で検索すればすぐに見れる。 ○地域包括ケアシステムの構築(2025年)とありますがすでにケアプラザはほとんどできており、システムとしてはできていると考えます。システムの構築と改善とか実践とかが妥当ではないでしょうか？</p>	参考	<p>素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』に関するご意見として、地域包括ケアシステムの構築・推進の参考にさせていただきます。分野別計画と連動しながら計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>横浜市に望むことは、市民が安心安全、そして豊かに暮らせる行政であってほしいことです。そのための準備や計画を、目的や根拠を明確にして、練ってほしい。人生100年と言われてます。人口が減少しているので子どもや子育てに関して行政が手厚いのは仕方ありませんが、親の介護は実際に直面してみないとその現実や課題・問題が見えません。行政の支援も薄く弱く、家族の負担は増すばかりです。行政としてやるべき事はたくさんあるでしょうが、優先順位をつけるなら「命」に関わることを第一に考えてほしい。日本の医療と福祉は遅れています。47都道府県の中でも神奈川県の下位です。早急な対策が望まれるところです。介護における人材の質は最悪です。結局は「人」人間性ホスピタリティです。業務内容の本来の意義を問うて適材適所を図らなければ、いつまでたっても改善されません。社会福祉法人の名を掲げながら、利用者・家族・行政をもたます事業所は、行政の厳しい指導が不可欠です。改善がなければ解散も有かと、悪質な介護事業所についてのニュースがないのは不思議です。また、地域包括の役割は何でしょうか。行政と同じで形式的な対応ばかりで内容がなく現実的ではありません。こんなところにムダに税金をかけるくらいなら行政が主として取り組んだ方が効率が高く成果も上げられます。能力が低すぎます。健康福祉局の主体的積極的な取り組みを数字で示すべきである。介護事業所に対する利用者・家族の苦情と内容及びその改善(期日も含)を明示してほしい。広報紙に掲載すること。横浜市の姿勢を監視します。</p>	参考	<p>素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』に関するご意見として、必要な時に医療や介護を提供できる体制づくりの参考にさせていただきます。</p>
<p>最近、買い物帰り途中に、お婆さんを見かけました。何をしていたらと、よくよく見ると、素手で、ていねいに、雑草を抜いていました。こういう光景を見ると、心の中でホッとします。こういう、無償で、他人様のお役に立つ事を、少しずつ、少しずつ、やってゆくと、良い習慣の好循環が生まれますし、税金で人を雇って、雑草刈りをせずとも、済みます。こういう小さい身近な所から、少しずつ、活動を広げてゆくのは大事だと思います。</p>	参考	<p>素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』の戦略の柱「互いに支え合う地域づくり」に関するご意見として受け止め、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>戦略3 老人施設が不足している。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中期 4 年計画を見て、大項目と個々の項目については内容が不十分。超高齢化社会、人口減少化社会について掘り下げた内容もなく不十分。社会的弱者に対する政策も不十分。在宅医療と軽々しく言わないでもらいたい。本気で老々介護が出来ると思っているのか。86 才の私が聞くと一種のパワハラと感じる。</p>	参考	<p>素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』等に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>14～18 サービスとしては理解できますが、サービスを保ちつつ医療費の削減につながりますか？</p>	参考	<p>様々な政策を組み合わせ、取り組むことによって効果が生まれると考えております。素案の政策14～18に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢社会について 地域で高齢者を支えるために、地域ケアプラザの人材をもっとふやすこと。 自助、共助を推進するためにも専門知識のある職員の拡充が必要です。 高齢者がいつでも気軽に利用できる施設と職員をもっと増やすこと。 一人暮らしの人の健康を守るためにも、地域に低料金で利用できる食堂の設置が必要。 特養ホームの増設と低額で入居できる施設をふやすこと。 小学校の給食施設を利用し、子どもと高齢者が利用できる地域食堂があったらいいです。 高齢者を介護施設に入れるのではなく、地域活動ができる施設も必要。施設を増やせば働き手も必要になり若い人の職場も増える。 高齢者の足の確保と買い物難民をなくすために、高齢者が歩いて買い物に行けるお店を市の予算で設置する。</p>	参考	<p>素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」及び政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>地域ケアプラザでの素早い対応。介護保険で夫が頭がもち上るベットのレンタルが出来た。ありがとうございます。</p>	参考	<p>素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」及び政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として受け止め、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>(超高齢社会が進展する解決法) ・地域包括ケアシステムの構築 ・在宅生活を支援 ・地域で最後まで安心して暮らせる様 ・地域医療提供体制 《老朽化した公共施設》 神奈川区入江町公園プール（集客施設として活性化） 入江町公園プール跡利用 《先進的医療》 高齢による認知症の脳を映画、テレビ、音楽の心臓への響きで若返らせる。 自己免疫療法 ‘背髄から心臓への映画、テレビ、音楽での心臓の鼓動と脈動と同調 ・在宅医療、地域医療 健康保険、医療、介護、保健福祉の削減にて財政基盤の確保で都市の持続します。</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」、政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」、政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策14 地域福祉保健 前中期計画のケアプラザはでき、社会福祉協議会の連携も高まり、行政としては、比較的順調な分野かと考えます。(道路や河川や鉄道などのインフラ整備に比較して)その要因、背景としては、①福祉は基本権限と財源が横浜市にある。ケアプラザの様に横浜固有の制度も作れる。②インフラは各区の差が大きいが、ケアプラザは中学校に1施設と、差がない。③横浜市は大学や大病院などの、福祉や健康分野に関して研究等をする機関が多い。今期中期計画では、基本前期の中期計画を継続した福祉保健計画である。ケアプラザの新設はピークを過ぎ、関係団体との連携も整備が進み、次の段階はやはり、市民の参加になる。言い換えると、ハードの根幹はできたので各ハード間のネットワークの強化、ソフトの強化(リソースの確保、連携)、柔軟なシステム(区の状況に合わせた施策、運営)</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>【政策14 参加と協働による地域福祉保健の推進】に関して現状と課題において「多世代が気軽に交流できる居場所づくり」の必要性についてはその通りだと思います。それに対して、新規で「身近な場所での拠点づくり」が立ち上げていることもとても良いと思います。その際に、既存の制度として是非拡充していただきたいのが、都市整備局の「ヨコハマ市民まち普請事業」です。実際にこの制度で拠点づくりに取り組んだ人から、この制度によって、これまでにかかりの数の拠点が市民の手でつくられ、その後も継続的に成果を上げていると聞いていますが（都市計画学会の賞を受賞したとも）、庁内での評価はイマイチとも聞いています。せっかく良い事業なので、是非これを機に拡充をお願いしたいです。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>高齢社会への挑戦(No.15) 健康づくりのために家に引きこもらず人との交わりが大切。今の敬老パスは大変助かっています。ず～と続けて下さい。又、気軽に集まって交流する場所も、もう少し多くあれば抽選に気をもむ事がなくなればと思います。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら身近な場所での拠点づくりなど、計画を着実に推進してまいります。また、敬老パスについては、ご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>金沢東部地区ケアプラの場所として</p>	参考	<p>ご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策14 施策2 ひとり暮らし高齢者等の把握数ですが、マイナンバー制度で、わかるのではないですか？</p>	参考	<p>ひとり暮らし高齢者等の把握数に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>59ページ 権利擁護の推進 「想定事業量 区社協あんしんセンター 権利擁護事業利用者数」は、「想定事業量 ①市社協あんしんセンター 法人後見利用者数 ②成年後見制度利用支援事業利用者数 ③区社協あんしんセンター 日常生活自立支援事業利用者数」とすべきではないか。 &lt;理由&gt; 「身近な地域で本人に寄り添いながら成年後見制度等の権利擁護を推進します。」としながら、想定事業量では、成年後見制度の補完的立場に過ぎない日常生活自立支援事業(権利擁護事業)しか計上していないからです。 想定事業とは、計画上の見込み額の多寡ではないのではないか。</p>	参考	<p>身近な地域で権利擁護を推進するため、想定事業量としては、各区に実施主体がある事業の利用者数を設定しております。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策14 参加と協働による地域福祉保健の推進 主な施策4【身近な場所での拠点づくり】 わが事・丸ごと、地域共生社会への取り組みが、地域福祉保健計画によって推進されると思いますが、身近な場所拠点やサロンなどの居場所を作るには、行政や地域ケアプラザなど、地域支援に関わる機関等が、記載のとおり、柔軟な発想力を持ち、さらには日頃からの地域活動への「協働」の姿勢・取り組みが不可欠です。活動を担える人々を育てるためには、日頃から種をまかなくてはなりません。協働の姿勢で地域と歩み、身近な生活圏域の中で真のニーズを捉えた居場所を立ち上げるには、年月をかけての取り組みが必要です。</p>	参考	<p>素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」の主な施策4「身近な場所での拠点づくり」等に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>地域社会のつながりが非常に希薄になっています。井戸端会議をする場所がありません。いつでも誰でも自由に出入り出来る様な場所が必要です。隣近所ではなく、全く知らない人とたわいのない話や胸につまっている事を聞いてくれる人がいつでも居る所って1人住まいだと必要です。その様な場所を作って人との交流が出来るといいですね。</p>	参考	<p>素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」に関するご意見として、身近な地域で支援が届く仕組みづくりの参考にさせていただきます。</p>
<p>【政策14】 「地域福祉保健活動の基盤づくり」の中で、解決に向かう課題、そうでない課題があると思います。生活保護世帯が増えているように感じています。が、「働けない人」「働かない人」との対応処を明確</p>	参考	<p>素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」に関するご意見として、地域福祉保健推進のための基盤づくりの参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
に分けることが、自立の支援になるのでは、と思います。今より強い仕組みづくりが必要と考えます。		
住民主体による活動支援・多様な主体間の連携体制構築としているが、金沢区の西柴中学校校区に設置予定の地域ケアプラザの設置が宙に浮いている。計画期間内の早期の設置を図るべきである。	参考	素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」に関するご意見として、地域ケアプラザの整備を進める上で、参考にさせていただきます。
H17年12月地域ケアプラザ整備を連合として要望したが現在まで進展なし。（13年経過している） 政策16 主な施策(2)施設の施策(2)、施設の整備を加速充実と。疑問(30年度も予算化されていない)	参考	
地域ケアプラザの増設について 横浜市に現在138ヶ所のケアプラザが営業しているが、今後の利用市民が増加することは確実である。 今後、市民のケアプラザ利用者は、高齢者 etc の収入は減少し、また、独身高齢者・独居老人が増加してゆく。 景気後退、年金額減少を避けられないから、5年間に50%増のケアプラザ数を建設しても、過大な施設にはならない。利用者が遠方のため利用しにくいとなれば、市民の不幸である。	参考	素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」に関するご意見として、地域ケアプラザの整備の参考にさせていただきます。
「14」ごみ屋敷には、行政制度で強制的に一方的に有無を言わず廃棄する事。その費用は罰金として徴収すること。不可能の場合はファンドで補填。	参考	本市のいわゆる「ごみ屋敷」対策では、福祉的支援を基本としておりますが、再三の働きかけにも応じず、周辺住民の生命身体、財産にまで危害が及ぶおそれが高いケースに対しては、最終的には行政代執行法を適用し強制的な撤去を行うことも、いわゆる「ごみ屋敷」対策条例 ※に盛り込んでおります。条例に基づき着実に推進してまいります。  ※横浜市建築物等における不良な生活環境の解消及び発生防止を図るための支援及び措置に関する条例
地域包括ケアシステムについて 民生委員の仕組みは崩壊寸前です。市民のボランティア(年5万円では赤字です)頼みではなく、公的に給料を出す形の専門職を作ってください。急激な高齢が進んでいるのに、100年同じ制度でやるなど無理です。無理を民生委員に強いています。	参考	民生委員を含め地域住民や様々な団体が参加し、連携して地域づくりを進めていくことが求められております。素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」に関するご意見として、参考にさせていただきます。
高齢者福祉に力を入れる場合、福祉施設に入れる前段階予防策に心血を	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略3「超高齢社会への挑戦」、政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」、政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に含まれており、ご意見も踏まえながら、介護予防・健康づくりを着実に推進してまいります。
高齢者の健康づくりでウォーキングポイント事業は良いと思う。	賛同	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」へのご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。
横浜市特定健診無料化の英断を心より喜ぶと共に敬意を表します。 健診無料化の目的は、健康長寿により「市民の幸せと地域経済の振興」にあると考えます。 無料化という有利な条件を生かし、健診利用者を飛躍させつつ、受診を出発点にくらしの見直し・健康習慣づくりにつながる本格的な市民健康づくり運動を全地域で草の根運動として発展させる必要があると考えます。	賛同	
健康な高齢者は、介護や病気にならないでピンピンコロリが理想です。74才までは生活習慣病予防のための特定検診があり、気軽に指定医で検査を受けることができましたが、75才以降の後期高齢者になると全く市から通知がありません。後期高齢者の予防対策がないがしろにされています。病気の予防と強化に主眼をおいて取り組んでいただきたい。	参考	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」及び政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見と受け止め、予防対策等を着実に進めてまいります。 なお、後期高齢者医療制度の被保険者の皆さまに7月中旬に送付している後期高齢者医療保険料額決定通知書に、「横浜市健康診査」のご案内を同封しております。被保険者証を実施医療機関にお持ちいただくことで年度内に1回、受診することができます。（介護保険が適用となる特別養護老人ホーム等に入所中の方は対象外となります）
【政策15 健康づくりと健康機器管理などによる市民の安心確保】に関して	参考	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
P60のコラムにあるように、子どものロコモシンドロームがすでに課題として上がってきています。また、健康の基礎はやはり幼少期の外遊びの時間が重要になります。事業の中に、大人になってからの（川下）対策だけでなく、子どもの頃の外遊びの重要性の啓発など川上対策の検討をお願いしたいです。		できます。
健康で自立した元気の有る超高齢の為に（をふやす為に、皆が出歩く様、体を動かす事により、病気等しなくなり、その為、医療費軽減となる様）、超高齢者専用の交通機関の無料パス支給。今は一部負担となっている。 スポーツセンター、レジャー施設、飲食店等の超高齢者の割引（元気な超高齢者をふやす為）←病気にならない。	参考	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」、政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、介護予防・健康づくりの参考にさせていただきます。
政策15 施策5 感染症対策 港湾都市横浜ですから、感染症もついて来てしまうので、この施策はとてもし エボラ出血熱などの治療を実体験するため、市の予算で、アフリカ、アジア各地域へ医師を派遣するのが効果的と考えます。	参考	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」に関するご意見として、感染症対策の参考にさせていただきます。
草の根の市民健康づくり拡充へ、新たな仕組みづくりの提案 ポイントは、「自治会単位の保健リーダー力量向上と健康サポーターの養成」にあるのではないかと考え2点提案します。 1. 保健活動推進員制度のリーダー力量の更なる向上をめざすこと。 ①特に、委員の経年的学習と活動交流を深め、先進事例をつかみ普及できるよう援助を強める。 ②「地域担当保健師と保健委員と新設する健康づくりサポーター」の連携した健康づくり体制をつくりあげ、よりきめ細かな健康づくり運動への発展をめざす。 2. 新たに「健康づくりサポーター」（仮称）制度をつくる。 目的は、健康づくりに関心をよせる多くの市民が参加でき、創意的に活躍できる仕組みをつくり、より広く健康づくりが進展できるようにする。 ①ボランティアとしての自主性を重んじつつ、保健師・栄養士等から必要な経年的学習支援をする。それによるサポーターの「ロコミ健診おすすすめ」が大きな効果を産むと考えます。 ②活動交流の機会を確保し、サポーターチーム作りを援助する。 この2つの仕組みをつくることで、町会の多数の市民を視野に連携して健康づくりの住民運動が起これば、従来にない取り組みがはじまるのではないのでしょうか。	参考	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」に関するご意見として、健康づくりの推進の参考にさせていただきます。
ウォーキングポイント歩数計配布の件 歩数計の配布対象年齢が、当初の40歳から18歳になったが、18歳（高校生）で、歩数計を必要とすることは考えられない。 あまりバラマキ的な配布は、予算の無駄使いと思う。 従来からの40歳以上とした方がよい。	参考	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」に関するご意見として、参考にさせていただきます。
高齢者の人間ドック	参考	
市内すべての飲食店を、例外なく店内禁煙にする。全店禁煙なら「客が来なくなる。」との心配はなくなる。	参考	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」に関するご意見として、受動喫煙防止対策の参考にさせていただきます。
特定健診受診率断然トップの仙台市に学び、未受診者への電話呼びかけの実施 昨年の受診率は、仙台市47%、横浜市21%です。この差をうみだしている要因はいくつかありますが、はっきりして実施すれば有効な対策に「前年未受診者への電話よびかけ」があります。 （仙台市は、当初外部委託による実施を直営方式に切り替えることでさらに向上と報告されています。） 川崎市もコールセンター方式で受診率を向上させています。18区の大都市横浜では、区を単位のよびかけが最も効果的で現実的な方法ではないかと考えます。早期の実施を要望します。	参考	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」に関するご意見として、生活習慣病予防対策の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策15 健康 健康診断などについて 中学校の保健体育の教科書に、以前から生活習慣病の記述があります。会社員、公務員などは、健康診断が義務付けられていますからやります。課題の一つは、自由業、フリー労働者、その他組織に属さない市民、住民。 なにか動機、メリットがあると、診断や検査受診率が上がるかもしれません。</p>	参考	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」に関するご意見として、生活習慣病予防対策の参考にさせていただきます。
<p>横浜市国保の独自保健事業として「35歳から特定健診制度」を創設 戦略3の第2の柱健康づくりの冒頭に、「若い世代からの健康行動の習慣化、健診」/がん検診受診の推奨が明記されています。大賛成です。 この対策の第1歩として、横浜市国保の特定健診を35歳からに前倒し実施することを提案します。同時に、がん検診をセットで受けられようになれば受診率も高まるのが期待できます。ぜひ、早期の導入をご検討ください。 (参考 川崎市は1992年より35歳の独自国保健診を実施、今年からは35～39歳まで拡大)</p>	参考	素案の戦略3「超高齢社会への挑戦」及び政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」に関するご意見として、特定健康診査の参考にさせていただきます。
<p>超高齢社会への挑戦に関しては、60歳から始める、10年前、20年前、30年前、40年前の体調、体型、体力づくりを実践している70歳の男性です。 独自の(仮称)横浜方式で、健康寿命延伸世界一を目指す覚悟がありましたらお尋ねください。</p>	その他	素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」及び政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見と受け止め、計画を着実に推進してまいります。
<p>シニアが安心して生活が出来る施設を作り介護する人材はとても必要だ。</p>	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
<p>高齢化社会のなか年金でも入所出来るホームの設立は必須です。</p>	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」の主な施策5「施設や住まいの充実」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら計画を着実に推進してまいります。
<p>○16地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり ・在宅生活を支える地域密着型サービスの充実 ・施設・住まいの充実や介護人材の確保・定着支援・専門性の向上 いろいろ頑張って横浜市を世界に知らせていきたい。</p>	賛同	素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」へのご意見と受け止め、計画を着実に推進してまいります。
<p>・特養ホームの増設を</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に含まれており、主な施策5「施設や住まいの充実」の特別養護老人ホームの整備を着実に推進してまいります。
<p>『特別養護老人ホームの整備』 16億3000万円 需要に対し少なすぎます。何のための納税ですか。安心して育ち老いることのできる横浜を考えてください。</p>	参考	素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」へのご意見と受け止め、今後の整備の参考にさせていただくとともに、主な施策5「施設や住まいの充実」を着実に推進してまいります。
<p>高齢者支援については、市内に140か所近くある地域ケアプラザの活用が不十分であるように思う。職員の交代が多く、地域に定着して事業展開ができていないところも多い。したがって、専門職集団と言いつつ、専門的な支援力が十分に育っていない。背景には、少ない予算で多くの仕事(成果)を求められている現状があり、職員の定着率の低さ・入れ替わりの激さにつながっている。ケアプラザに適切な予算が配分されることにより、適切な人材配置が行われ、結果的には行政の様々な負担の軽減につながるものと考えられる。この4年間でそのような検証を行う必要があると考える。</p>	参考	素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」、政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、今後の地域ケアプラザ運営の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>現在、港南区日野南3丁目に、老人ホームが建設中です。旧財務省のマンションがあった所です。初めてホーム建設計画について、住民への説明会がありました。その時、私は次の様な提案を市関係者と協議して欲しいとお願い致しました。諸般の事情で実現されなかった様です。</p> <p>その提案は、</p> <p>1. 「複合的な建物にして欲しい」  中期4カ年計画の、戦略3「超高齢社会への挑戦」と戦略5「未来を創る多様な人づくり」を併せ、活力あるまちづくりを望んだからです。</p> <p>2. 港南区は、老人ホームが十分充足されていないと聞きました。老人ホームだけなら更に人口減となり、停滞した街となり活性化しません。</p> <p>3. 港南台駅徒歩圏内は人気ある地域です。活性の出来る地域です。</p> <p>それには建物を複合化する事だと、私は考えました。</p> <p>① 低層階は、老人ホームと保育所にする。上層階は、若い夫婦及び幼児のある夫婦を入居させる。</p> <p>② 若い奥さんに、保育士の資格を取得して頂き、老人介護、保育児の世話をして頂く。保育士、看護師の方は、優先して入居をお願いする。</p> <p>③ 上記の条件は、市として特別優遇する。（家賃の軽減等）</p> <p>この様な弾力の有る行政で、活気ある横浜市にして頂くようお願い致します。</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、施設や住まいの充実の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策16について</p> <p>・一人暮らしに不安や不都合が生じた時、選択できる様々な施設が身近にあってほしい。施設に入る程ではなく、介護認定を受ける程でもなく、しかし、一人でくらすには少し不安がある、そんな状態の時に低料金で入れるような住宅を特養施設を作るのと同時に作ってほしい。住宅の住みかえがスムーズにできるようなシステムも必要なのではないのでしょうか。</p>	参考	
<p>横浜市には、老健施設が少なすぎます。</p> <p>市の介護施設に予算を多くとり、特養・老健施設をたくさん増設して下さい。</p>	参考	
<p>介護施設を充実して下さい。</p>	参考	
<p>介護施設の充実</p>	参考	
<p>公立老健施設をもっと作って下さい。</p>	参考	
<p>南区にもっと公立老健を建設して下さい。</p>	参考	
<p>南区に公立の老健施設を作ってほしい。</p>	参考	
<p>南区は老健が少なすぎます。南区は老人が多いのに、もっと増やして下さい。</p>	参考	
<p>年金で利用できるシニアハウスを作ってほしい。</p>	参考	
<p>年金で利用できるシニアハウスを作ってほしい。</p>	参考	
<p>老健施設が少なすぎます。増やして下さい。</p>	参考	
<p>老健施設を作って！緊急課題！高齢者がいっぱいよ。</p>	参考	
<p>特別養護老人ホームの増設。利用料は低額におさえる。</p>	参考	
<p>特別養護老人ホームの件、何もすすんでいません。</p>	参考	
<p>老人施設の対策…家族が介護で疲弊しない様、要介護3以上の援助</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、施設や住まいの充実等の参考にさせていただきます。</p>
<p>6. 介護人材の確保・定着支援・専門性の向上  （意見）介護を担う人材不足と育成課題の重要性は市民・行政とも共通認識になっているところです。①人材不足の最も主要な要因は、介護職の賃金等の待遇が社会的役割に比べ大きく立ち後れていることにあると考えます。従って、横浜市として国に対し要望・改善を求めると同時に、保育士と同様に独自の支援策を行うことが必要です。②初任者研修の推進とともに、「生活援助従事者研</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、介護人材の確保・定着支援・専門性の向上の参考にさせていただきます。</p>



中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>修]については、内容や運営について自治体としての責任を明確にし、介護の質と安全を保障してもらいたい。③人材確保は制度運用上死活問題になっており、必要人員の数値目標を明確にし、実現に向けた具体的な対策を打ち出してもらいたい。</p>		
<p>1. 超高齢社会への挑戦として、高齢者雇用に伴う介護ロボットの導入支援 具体的な事項として、実際導入している介護施設における視察をシニアの経験者が、2カ月に1回程度実施し、問題点の把握と改善案により、導入を促進する。 2. 介護付老人ホームの推進を支援：在宅介護の問題点を地域から減少させる効果を期待。</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、介護人材の確保・定着支援・専門性の向上や、施設や住まいの充実の参考にさせていただきます。</p>
<p>高齢化社会をむかえ介護を必要とする人が増えていますが、介護の人材の確保定着のためにも、介護従事者の収入が低いため補助金の支給を考えて欲しい。月5万円程度。</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、介護人材の確保・定着支援の参考にさせていただきます。</p>
<p>私の息子は約20年間介護士として働いております。しかし、何度もやめたいと思っていました。今もなやんでおります。結婚をして子どもを育てる余裕などないのです。40代いまだ独身です。腰痛をかかえ、やめる方がいても、そのかわりのひとがなく、ますます負担がかかり、そのためにまたやめる人が出る現実です。 今、現場で働いている人のありのままの姿がおわかりですか？ 私は30年前からボランティアでホームに行っております。私より若い方が入居しています。ホームヘルパーとして70才近くまで働いていました。だからよくわかるのです。介護士の方々、一生懸命お年寄のお世話をされていて、頭がさがります。給料が少ない、人が少ない、きつい仕事です。待遇改善をして下さい。希望のもてる現場にして下さい。</p>	参考	
<p>介護職(ヘルパー不足)なぜ？ 介護職では生活成り立たないからではないのか。特に男性は家族を持ちたい。生活保証有れば、(賃金水準上げる)定年まで職につけるのではないか。 税の使い方改革必要で有る。</p>	参考	
<p>政策16 地域包括ケアシステムの構築にむけたサービスの充実・地域づくり・人づくり 1. 介護予防健康づくり、2. 【新規】住民主体による活動支援・多様な主体間の連携体制構築について (意見)①介護予防を推進する人材の発掘・育成について、多様な主体との連携を追求していくことは必要なことだと思います。しかし、対象者・利用者にたいする専門知識・技能の担保等が重要であり、行政の責任としてこの点を明確に打ち出す必要があります。このことが、利用者やこれに関わる市民の安心・信頼構築につながっていくものと考えます。 ②訪問介護・通所介護にかかわる総合事業の運営にあたっては、介護の質と安全・事業者の運営を保障するために、現行相当サービスの継続を行ってもらいたい。 ③生活支援コーディネーターの位置づけについて、様々な支援・連携業務と同時に、そのなかで明らかになった介護保険制度やサービスがかかえる問題を実態に即して把握・集約を行ってもらいたい。そして、それらをもとに介護保険制度の目標・役割に照らして、改善すべき課題として整理し、見える化してもらいたい。</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、介護予防・健康づくりや住民主体による活動支援・多様な主体間の連携体制構築の参考にさせていただきます。</p>
<p>介護保険の後退の中でボランティアに頼らない市による公的な生活介護の充実にか力をいれる。</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>予算を、より有効に、高齢者福祉にまわすべきです。特養ホームの新設、職員の待遇改善など、いくらでも必要です。 高齢者向けの施設を市の予算で拡充してください。「サ・高・住」という有料老人ホームが、民間の株式会社で運営され始めていますが、事故が多発してからの対策では、間に合いません。監督の強化、指導の強化が必要ですし、公営のホームを充実させてくださ</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、施設や住まいの充実の参考にさせていただきます。また、サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)は29年度から立入検査を行い指導の強化を図っております。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>い。</p> <p>老人施設の費用が高く、年金ではとても賄えない。（在宅でみるには限界があるので）利用しやすい施設を増やしてほしい。”老人保健施設“は「身体の維持、向上をめざしている」とされているが、表向きだけで中身が利用者やその家族に寄り添ったものではなかったことを体験した。入所して1～2週間でどんどん体調が悪くなり、入院に追い込まれ、再入所してからも、肩の骨折、介護スタッフからの乱暴な扱い、などが相次ぎ、一年もたたないうちに体重が9.1kgも減ってしまっていた現状。薬を減らした結果認知機能が落ちたが、家族が指摘するまでスタッフは全く気づいていない。80才以上になる医師が、自分の専門外の薬を適当に減らして利用者の寿命を縮めている。施設長＝医師なので、これを監督するところがなく、100人以上の利用者が知識の足りない年配の医師のさじ加減で身体状況が左右されている実態を目の当たりにし、とても恐ろしさを感じています。</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、施設や住まいの充実の参考にさせていただきます。</p> <p>また、適切な施設運営が行われるよう、必要に応じて指導を行ってまいります。</p>
<p>老人介護施設の充実。</p> <p>何よりヘルパーの数をふやしてほしい。ヘルパーさんが少ない為に、一人一人にかかる負担が重くなり、やめざるを得なくなり、やめると、残る人への負担がますます増える。ヘルパーの仕事をしたいと考える人も、実際になると、ちゅうちょしてしまうわけ。ヘルパーの働く環境を良くすること、（基本は給与だと思いますが）給与が多くて人数がふえれば夜勤の仕事も減り、気持ちに余裕を持って働けるはずです。</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、施設や住まいの充実、介護人材の確保・定着支援の参考にさせていただきます。</p>
<p>特別養護老人ホームの問題は、建物の数の問題ではなく、そこに働く人が確保できない問題である。現在も、部屋があるのに職員がいないため、利用者をお預かりできないという声を聞く。まず、入所施設の空き部屋対策を行ってから建設に向かうべきと思う。建設がよくないとは思わない（経済的効果で判断すると）。順番の問題の整理をお願いしたい。</p>	参考	
<p>若葉台在住のもので。若葉台は緑の環境は良く出来ており、その点では優位な部分ではありますが、外に出る場合、最寄り駅がなく必ずバスを利用しなければなりません。そのため、勤労世帯の人には敬遠される場所です。高齢化率も横浜市でトップになる状態ですが高齢者施設として公社のビンテージがあるのみです。誰にも手の届く施設ではなく、非常に将来に不安を抱えています。ここで住み続けるための施策として、いろいろある中で、小規模多機能の施設を是非数カ所、団地の中に建設なり具体化していただきますよう切に希望します。</p> <p>子育て世代を集めたいと公社やまちづくりとも必死の様子ではありますが、それだけでは不十分だと考えます。将来的な安心、そして文化も享受できるようなまちづくりができれば自然な人口増が見込めるのではないのでしょうか。是非検討をお願いします。</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、施設や住まいの充実や地域密着型サービスの充実の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策16 地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり</p> <p>認知症予防に元気づくりステーションに地域で『健康麻雀』をさせてもらっているが、高齢者の居場所づくりとして役立っている。麻雀の昔のイメージを払拭するのにこころがけているが、高齢者が、独り住まいになっても、住み慣れた地域で自宅で過ごし続けることができるためには、包括ケアシステムが必要。特別養護老人ホームはついの住処ではなく、病気などに備えて一時的に入所することができる施設であることが必要かと思う。</p> <p>現在ある小規模多機能型機能を充実させたものを、どこの地域にいても利用できるようにしたい。</p> <p>また、介護人材の充実が必要、高校生の年齢くらいから、必須科目として介護実習を取り入れるのはどうか？</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、地域包括ケアシステムの構築・推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>「地域包括ケアシステム」を効果的に実施するためには、公的責任をしっかりと果たしながら、足りない部分を地域で協力し、お互いに支えあう仕組みづくりがどうしても必要。そのためには公・共の責任関係を明確にし、地域の担い手の専門性を担保・確保した上</p>	参考	<p>素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、地域包括ケアシステムの構築・推進の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
で如何に進めていくかが大切であり肝要。その上で施策の展開・推進を。		
・特別養護老人ホームを建設してください。 有料老人ホームが沢山目につきますが、入居できるのは限られた人です。	参考	素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として参考にさせていただき、主な施策5「施設や住まいの充実」の特別養護老人ホームの整備を着実に推進してまいります。
政策16 地域包括ケア 施策2 住民主体による活動支援 この施策は新規に事業費がついて、とてもいい。 施策5 特別養護老人ホーム待ち数の削減を進めてほしい。	参考	素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」の主な施策2「住民主体による活動支援・多様な主体間の連携体制構築」へのご期待と捉え、計画を着実に推進するとともに、いただいたご意見につきましては、施設や住まいの充実の参考にさせていただきます。
<政策 16>事業3 在宅生活を支える地域密着型サービスの充実についての意見です。私は若葉台団地に暮らす住民です。高令化率の高さでは旭区第2位ですが、現在は団地の周辺、団地内に地域密着型サービスを行う事業所はありません。市の中期4か年計画で、上記政策 16 事業3の想定事業量に明記されている、小規模多機能型居宅介護事業所・看護小規模多機能型居宅介護事業所数 216 か所(累計)とあります。 若葉台団地は現在約 6,800 世帯 14,500 人の住民がいます。「団地を終のすみか」を目標に各々努力をしていますが、小規模多機能型居宅介護事業所を1ヶ所設置することを要望します。高令化住民の多数の要望です。在宅医療提供体制の充実も重要です。是非実現をお願いします。	参考	素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」、政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」に関するご意見として、地域密着型サービスの充実や在宅医療提供体制の充実・強化の参考にさせていただきます。
～超高齢社会への挑戦～ 16. 人づくり 介護人材の確保、定着支援、専門性の向上 とありますが、介護福祉動続 10 年以上となる人は 8 万円相当の処遇改善が確定した、とあります。現場の人材確保の為の策だとは分かりますが、ケアマネとして働いている人への処遇改善はないのでしょうか？介護福祉士で現場を経験してその上を目指さなくなるかと思えます。現に今一緒に働いている介護福祉士の同僚(3 名)は、「ケアマネを目指していたけどやめた」と向上性は見られず、気持ちは停滞しています。受験資格に介護福祉士として〇年以上働くとなり、働いた上でケアマネになったのに改善されないのはどうかと。各会社の雇用制度に任せるのでしょうか？	参考	素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関連する、国の制度へのご意見として、介護人材の確保・定着支援・専門性の向上の参考にさせていただきます。
中期4か年計画の骨組みの中で超高齢社会への挑戦 16、および17において各地域において早急な具体策を取らなければならないと考え意見を述べさせていただきます。 意見内容 「各区、各地域における町内会(自治会)が資本金(いわゆる株のようなもの)を出し合い 市の持つ土地や個人持ちの土地(跡継ぎののらない畑)に特別養護ホームを市の助成のもと建設し、ここに資本参加した町内会の住民が優先し入居できる施設を作る。介護要員は同様にこの町内会の中から採用し人材を確保する。経営は自治会が行い地域密着型の運営を行い住み慣れた街で人生を終わらせるネットワークを自治会同士で作る、余剰利益は市への建設費返却にて将来的には自治会立とする」 もちろん財政など建設費用などが必要なことから、YOKOHAMA 宝くじの発効など用途を明確にした宝くじの新設をもうけるなどを検討したらいかがでしょうか 急激な高齢化と個人の負担がますます現状をふまえ意見を述べさせていただきます	参考	素案の戦略3「超高齢社会への挑戦」、政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、主な施策5「施設や住まいの充実」の参考にさせていただきます。
セイフティー都市戦略 特養ホームは希望者が半年以内に全員入居できるよう大幅に増やす事	参考	特別養護老人ホームにつきましては、整備量を倍増するなど要介護認定者数の増加を見越した必要量の整備に取り組み、入所平均待ち月数の延伸を抑えております。
特別養護老人ホームの入所までの待機期間は 12 か月では長すぎて待ちきれません。 もっと入所しやすくなるよう税金を使って下さい。	参考	いただいたご意見につきましては、素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、施設や住まいの充実の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
・特養ホームの増設はまだ不十分で、待機期間が長く、緊急性が求められている。一刻も早く入所できるよう整備を進めて下さい。	参考	特別養護老人ホームにつきましては、整備量を倍増するなど要介護認定者数の増加を見越した必要量の整備に取り組み、入所平均待ち月数の延伸を抑えております。
特養ホームの数がまだまだ少ないです。介護保険料を払っていても利用しないよう頑張っていますが、いざどうしようもなくなった時は利用しますが、12ヶ月待ちと聞きました。空土地利用を積極的にすすめて増設すべきです。	参考	いただいたご意見につきましては、素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に関するご意見として、施設や住まいの充実の参考にさせていただきます。
敬老パス、特別養護老人ホーム等の充実で高齢者支援をしてください。高齢者がどんどん外へ出て元気で過ごせることは精神的にも肉体的にも大切と考えます。ひいては、介護などのお金も低額で済ませられることにもつながります。高齢者の足を確保し、元気な高齢者を支援するためにも敬老パスの無料化を進めてください。「敬老」の名にふさわしい制度の充実をお願いします。	参考	特別養護老人ホームに関するご意見の趣旨につきましては、素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に含まれており、主な施策5「施設や住まいの充実」を着実に推進してまいります。敬老パスに関するご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
特別養護老人ホームの一層の充実で介護離職などの問題も解決してください。	参考	特別養護老人ホームに関するご意見の趣旨につきましては、素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に含まれており、主な施策5「施設や住まいの充実」を着実に推進してまいります。介護離職に関するご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
No.17 No.24 の意見 特別養護老人ホームと託児所を併設した施設を多く用意して欲しい。特養作りは市の仕事だと県に言われた。金沢区釜利谷南にも、市の空き地が遊んでいる。そういう土地を生かすべきだと思う。誰もが住みたい横浜市を作って行ってほしい。	参考	素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」等に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
特養の数を増やし、介護士の待遇を良くしてください。	参考	特別養護老人ホーム（特養）の数に関するご意見の趣旨につきましては、素案の政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」に含まれており、主な施策5「施設や住まいの充実」を着実に推進してまいります。また、介護人材の確保・定着支援・専門性の向上の参考にさせていただきます。
私は実家の両親 2 人のヘルプと認知症の主人の母をかかえて日々泣いたり、笑ったり、困ったりの日々です。でもいろいろな雑事やパニングが起きるので、仕事につくことがとてもむずかしいのです。そんな時、近くの役所で単発のお仕事とかもないかなと考えます。個人の仕事（会社など）では、もし迷惑をかけてしまったら・・・と考えるとなかなか仕事につくことも簡単ではありません。母はデイサービスを利用していますが、まず家を出すまでは外出もできませんし、老人ホームも考えますが、まずはできるところまでは自分でがんばってみようと思っています。 時々、私の人生はどこにいったらんだろうと暗い気持ちになることもしばしばです。そういった家庭での介護をしている人たちを応援してくれる、週1～週2 くらいのフリータイムのお仕事をいただけないでしょうか？たとえばおくり出しをしておむかえの時間までとか、1日4時間くらいで週2 回くらいとか？住民票や戸籍をコピーする仕事とか、単発の方が入ってもトラブルにならないものがのぞましいと思うのですが……。施設や行政にたよることも悪いこととは思いませんし、必要な事だと思いますが、それでもよし家族だからがんばって見ようと思っている人達も助けていただけたらと思いい筆を取りました。	参考	認知症や要介護の方のご家族の支援に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
高齢者として安心して死を迎えられる街づくりをよろしく願います。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」に含まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
○17 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進 ・在宅医療提供体制の充実や医療・介護・保健福祉の連携強化 ・人生の最後まで自分らしく生きるための自己決定支援 いろいろ頑張って横浜市を世界に知らせていきたい。	賛同	素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」へのご意見と受け止め、計画を着実に推進してまいります。
計画17に対し 病気の予防から効果的な（無駄のない）治療まで、生活に入り込	参考	素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」に関するご意見として、今後の参考にさ

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>んで一貫してサポートする役割が必要だと思えます。現在の訪問看護や在宅医療は、依頼された利用者を見てゆくので精一杯です。そこで、Personal Nurse という役割を作り、予防の適切な医療サービスに繋げる役割や、医療者への代弁者となり効果的に治療を受けられる支援、又はその先には、自分らしく生きるための選択や自己決定支援と一緒に行動が出来ると思えます。</p> <p>主治医があるように担当看護師が1人～に、又は町内に1人作る事が地球づくり、人づくりに医療と一緒に入ることも必要だと思えます。</p>		<p>せていただきます。</p>
<p>【政策17】</p> <p>「在宅」で安定した気持ちで歳を重ねることは、多くの人の願いです。介護の担い手不足から、資格を持たない人を生活援助の部分に入れたことで、介護全体の質を落としてしまっています。有資格者の担い手の報酬を上げ社会的地位を上げることで、質の良い介護と医療との連携も実現していくと思えます。</p> <p>また、お歳を重ねながらも自立した生活を頑張っていってらっしゃる高齢者の方々に、ご褒美的な手当があってもいいのでは、と思えます。介護認定を受けることなく、介護保険料を納めていってらっしゃるわけですから、例えば1年分から1か月分の割り戻しがある等の優遇で、「これからも介護保険を使わないお元氣な生活を頑張ってください」の励ましが出来ることを望みます。</p>	<p>参考</p>	<p>素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」に関するご意見として、在宅医療・介護の提供体制の参考にさせていただきます。</p>
<p>17の在宅医療、介護連携はひとり暮らしの在宅介護はどのようにするのですか。私が在宅介護をしていた時は訪問診療の医者は月に1回来しか来ず、短時間で集金したらすぐ帰ってしまうので相談する時間ありませんでした。質の良い医者や訪問介護ヘルパーの充実が必要と思えますが人手不足で出来るでしょうか。ひとり暮らしの高齢者が安心して介護を受け、生命を終ることのできる公的施設を増やしてほしいです。今は順番を待っている間に死んでしまいます。</p>	<p>参考</p>	<p>素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」、政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」の施設や住まいの充実に関するご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>本人による自己決定支援をするため「自宅で最期を迎えることができる」という情報発信が必要とのことで、その対策のために「これからの生き方を考えるきっかけとなるエンディングノートの作成、活用のための講座の開催」とあるが、この講座の対象は誰なのか。もし高齢者を対象とするなら高齢者は足腰が悪いと予想されるため、その対策も考えるべきだ。また対象を息子などにするなら情報の受け手が高齢者ではなく「本人の自己決定支援」というよりは、本人以外に情報を与えるため本人の支援とは違ってくるのではないだろうか。</p>	<p>参考</p>	<p>素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」に関するご意見として、本人による自己決定支援の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策17 在宅医療</p> <p>この分野、在宅医療、看護、介護は現実にリソースが不足と考えます。在宅医療や看護は、外科、内科、精神科、緩和ケア、その他広範囲な診療科目、経験、技術、技能が必要だからです。あまり記述がない事項を書く、市の権限で出来るか、難しいですが、○医者でなく看護師で出来る範囲を広くする。○訪問医療の保険点数を上げる。この政策の事業費は少ない。</p> <p>施策4 在宅医療への市民理解</p> <p>事故や想定しない病気などで、在宅医療になるケースでは、事前には情報収集をしない。危機管理が難しい。</p>	<p>参考</p>	<p>素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」に関するご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>No.17 在宅医療・介護は条件が整っていれば、理想的であるが、単身等の場合は無理である。</p>	<p>参考</p>	<p>素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>P65 政策17 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進</p> <p>◆主な施策(事業)5 新たな斎場及び市営墓地の整備について</p> <p>本施策をより実行力のある形で推進するために、防災性を考慮した新たな斎場の整備を提案します。次のとおり修正を提案いたします。</p> <p>(修正案)</p> <p>今後も増加が見込まれる火葬や墓地の需要に対応するため、東部方面(鶴見区)で新たな斎場の整備を行います。なお、再整備に</p>	<p>参考</p>	<p>素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」に関するご意見として、新たな斎場整備の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>当っては、災害に強い斎場の整備を実現します。また、(後略)</p>		
<p>政策17 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の課題 2. 多職種(医療・介護・保健福祉)の連携強化 (意見)利用者・家族を中心に位置づけた運営を基本に取り組んでもらいたい。次の対応について確認したい。①訪問介護回数の多いケアプランの届け出義務化に際し、利用者の必要なサービスを保障し、利用の抑制にならないよう十分な配慮を行うよう明確にってもらいたい。②また、平成30年度保険者機能強化推進交付金に係わる評価指標に地域ケア会議での検証実施体制やケアプランの点検などの項目が並んでおり、給付抑制につながる可能性のある項目については十分に慎重な対応を行ってほしい。③厚労省は要介護認定にかかわる認定審査会の簡素化を打ち出している。コンピューター判定のみでは、認知症など要介護状態の把握・判断が正しく行えない可能性があり、これまで通り認定審査会を実施してほしい。</p>	参考	<p>素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」に関するご意見として、多職種(医療・介護・保健福祉)の連携強化の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策18 地域医療 病床機能の確保 回復期、慢性期病床の増床は重要です。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」の主な施策1「病床機能の確保・連携体制の構築」に含まれていると考えており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>政策18 地域医療提供体制の充実等 5. 救急救命体制等 救急体制の充実・強化の必要性が強調されていますが、救急自動車等の更新・整備目標(4カ年50台)は現状と変わらない水準となっており、計画相応の整備目標に改善してほしい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、救急自動車等の計画的な更新・整備をはじめとした救急救命体制の充実・強化を進める上での参考とさせていただきます。</p>
<p>政策18 施策5 救急救命体制 戸塚区平成病院で、救急車を保有した事例があったかと記憶しています。救急車の民間の大病院との連携、補助制度、貸出とか現在の制度内できると考えます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」の主な施策5「救命救急体制及び救急・災害医療体制の充実・強化」を進める上での参考とさせていただきます。</p>
<p>近所に産婦人科が少ない。身近な所で安心して出産ができない。改善すべき。</p>	参考	<p>素案の政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」に関するご意見として、安心して出産できる環境の確保を進める上で参考にさせていただきます。</p>
<p>・医療施設・医療制度の充実を</p>	参考	<p>素案の政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>P67 政策18 地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進 ◆主な施策(事業)6 市立・市大・地域中核病院の再整備について 本施策をより実行力のある形で推進するために、次のとおり修正を提案いたします。 (修正案) (前略)済生会横浜市南部病院の再整備を進めるとともに、横浜市立大学附属病院等の再整備を検討します。なお、再整備に当たっては、災害時や中長期の停電に対応するための電源多重化や中圧ガス導管など災害に強いシステムを検討します。</p>	参考	<p>素案の政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」に関するご意見として、市立・市大・地域中核病院の再整備の参考にさせていただきます。</p>
<p>施策2 医療従事者の確保・養成について 医師の養成について、横浜市には多くの医師がいますが、総合医が少ない。これからますます家庭医、総合医が必要になってくる。総合医は、6年の専門医教育のあと3年の総合医教育が必要と聞きますが希望者が少ないとのこと。経済的な負担が大きな要因ならば奨学金を出して横浜市で開業すれば、返済軽減などの対策を行って、総合医の養成に力を入れてほしい。</p>	参考	<p>素案の政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」に関するご意見として、主な施策2「医療従事者の確保・養成」を進める上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>政策18 地域医療提供体制の充実について 施策6 市立、市大、地域中核病院の再整備について 横浜市には大きな病院は多くありますが、それでも不足している。人口当たりによれば、地方の中堅都市に比べて少ない状況である。また距離が遠く、不便がかつ混んでいる。市民病院、市大病院はいつも混んでおり、第2、第3の市民病院が必要です。区内市役所跡地に是非第2市民病院を建設してほしい。 さらに、赤ん坊、老人の専門外来を設けてほしい。老人の病氣</p>	参考	<p>素案の政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」に関するご意見として、主な施策6「市立・市大・地域中核病院の再整備」を進める上で参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略3、政策14～18）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>は、何が悪いのか、どの専門科にゆけばよいかわからない病気が多く、老人専門総合科を作って、受診しやすくしてほしい。</p>		
<p>地域医療提供については、ベッドの削減や3カ月で退院の促進をやめ、真に必要な医療を施してほしい。</p>	参考	<p>素案の政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」に関するご意見として、地域医療提供体制の充実を進める上で参考にさせていただきます。</p>
<p>緊急時に活用できる(医療用)アプリ(AI 機能を搭載)(素案 67 ページ 主な施策(事業)に新たに追加)                      かかりつけの医療機関に行くことが困難な場合や、高齢者や小児の急な体調不良による応急処置ツールとして、AI 機能を搭載した緊急時に活用できる、医療用のアプリの導入を検討すべきであると考えます。このアプリは、患者自身がスマートフォン等の末端機器で、いくつかの問診に答えるだけで、病名を推測し、患者に適した近隣の病院・クリニックを探せる機能をメインに搭載したものを想定します。このような機能は、民間会社で既に開発されているため、その会社と連携を結び開発することが、開発費の面からも得策であると思われます。また、横浜市ならではのツールとして、アプリ内に横浜市救急相談センター#7119 を直ぐに使えるように連絡用として添付したり、横浜市の夜間急病センターの連絡先や場所も載せるべきだと思いました。加えて、よこはまウォーキングポイントをこのアプリに連動すると、アプリの利用機会も増えるのではないかと考えます。一方で、このアプリ自体を広める方法としては、回覧板や市の広報誌に掲載する方法を挙げたいと思います。</p>	参考	<p>素案の政策18「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」等に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
戦略4 人が、企業が集い躍動するまちづくりには、安定的なエネルギー供給を実現する更に強靱なインフラ整備の構築が重要です。	賛同	いただいたご意見につきましては、戦略4『人が、企業が集い躍動するまちづくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
戦略4は副題として「成長と活力を生み出す都心部」とあります。成長と活力とは何でしょうか。人を集めるということはその街に魅力を感じるかということだと思います。簡単に言えば、街歩きをすると「楽しい」と感じるのだと思います。ではなぜ楽しいのか。それは、その都市ならではの歴史、文化に魅力を感じるからです。そして、そうした魅力を形成するものは、全国どこにも同じビジュアルで店を構え、同じ商品を並べる全国チェーンの大手企業ではなく、その土地に合った風貌で、その地のその季節に合った商品を並べる、地域の人が経営するお店です。臨海部や都市部でも同じことが言えるのではないのでしょうか。地域の活力が死んでしまえば、どんなに大きな企業がやってきて見栄えを良くしても、それは横浜自体の活力にはならない(他の都市に同じものができればそちらに移るだけ)で、横浜らしさを失わせ、人も企業も集まらない、躍動しない、無機質な、死んでしまった街になると思います。そうした意味で、戦略4では「横浜らしさ」を一切感じることができず、非常に残念に思いました。もっと地域の魅力を引き出す戦略を定めていただきたいと思えます。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略4(1)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～成長と活力を生み出す都心部～に含まれていると考えておりますが、いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
大阪市政より優ってるものありますか？なぜ人口に比例した実感がないのか？行政の無策を市、国民に与えてる例として新横浜駅岸根公園駅側全く未開発な事実。友人達(県外の者)何やってるんだ横浜はと苦言される。大阪より優れたもの、何かを是非ともお知らせ下さい。人口に比例しはじめてあたりまえです。すばやい実践を。	参考	ご提案の趣旨につきましては、素案の政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な取組6「新横浜都心とその周辺のまちづくりの推進」等にも含まれていると考えておりますが、いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
横浜市という町は、昔と今と全然違う。横浜の中心はどこですか。未来地区はかなり高いビルが並んでいます。横浜市のうちがう地区は置き去り。新しい道路を作っているのが目立つが、そんなに道路ばかりいるのですか。もっと違う方に使うべきではないのでしょうか。	参考	基礎自治体の施策は、すべてが連動しており重要なものと考えております。いただいたご意見を踏まえ、計画を着実に推進してまいります。
統合型リゾート(カジノ)はいりません。ギャンブル依存症などが心配です。	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。
“カジノ”導入、絶対反対です。	参考	
統合型リゾートの全体計画はともかく、カジノ誘致は絶対にすべきではない。カジノの経済効果はごく短期的なもので、長期的にはカジノの弊害をカバーするための経費の方が経済効果を上回ることは必定である。横浜はカジノがなくとも十分な観光誘引力があることを市長及び幹部は再認識すべきである。	参考	いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
IR(カジノ)は、広辞苑にも「多くは賭博を行わせる場所」と書かれています。「悪銭身につかず」の諺どおり、賭博で得た金は、不健全なものです。江戸幕府は、庶民の浪費と犯罪を防ぐため、賭博をきびしく禁止しました。それに学び、横浜市は「検討」ではなく、中止すべきであり、素案から「検討」の文字を削除して下さい。	参考	
IR/カジノで、市の財政が良くなるのであれば、積極的に進めて欲しい。パチンコや競馬等も存在しているのに今、今更、ギャンブル依存症の話題はナンセンスである。	参考	
IRについて「白紙」と言いながら選挙を戦い、終わったら「検討」というのはおかしい。人様の不幸の上に成り立つ「経済活性化」も「誰もが住みたい」「住み続けたい」街づくり等もあり得ない。きっぱりと「IRはやらない」と市長は誠実に貫くべき。	参考	
IR については税収アップのためにもぜひ推進してください。また、ギャンブル依存症の悪化心配でしたら、すでにある横浜市内ギャンブル施設のパチンコ店を規制してください。	参考	
カジノ(IR)絶対反対	参考	
「カジノ」は反対	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
カジノには、大反対。全ての人々に悪影響を及ぼす。これを、そもそも、議題に持って来る事自体おかしい。	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
カジノの導入是非の明確化（個人的には、これによる税収増には反対）	参考	
カジノ問題 国の動向を見据えてとなっているが前のめりの感が否めない 人間の「金銭欲」は限りないものです。観光客なら貰えるだけ貰えというのは厚かましいものですし、横浜市の環境を乱す事になると思う。	参考	
東京にはもはや魅力はない。東京にない都市であつたら良い。但しカジノは横浜に不要だ。ローブウェー構想の方が夢がある。	参考	
IRについて 「カジノ施設を作ることは、絶対にやめてほしい。歴史や文化など、今ある横浜の魅力をアピールすることで、観光客も来てくれると思う。」	参考	
カジノについて、市長選挙のときには現林市長は考えとして白紙状態と主張されておられました。 当選された現在は検討すると言う事は、私としては導入を検討を前提にされて居るような感じに受け止めれます、市にとっては経済的な効果があるかも分かりませんがそれで市民の愛好家に弊害（ギャンブル依存症）があると思います。横浜は魅力的な国際都市だと気負っている市民の一人としてカジノ導入は絶対反対。	参考	
“とばく”であるカジノは絶対に開設しないこと。 安倍首相の「カジノ(IR)は成長戦略の柱」という政策に一線を画して、横浜らしい文化的な清潔な街づくりを行うこと。	参考	
「カジノ」には絶対反対です。 ギャンブルによる依存症は治療が難しく、周りの人々まで不幸にします。又、本人も人間としての心を失います。そして善悪の認識が失われます。 依存症になった場合の治療は、本人の力だけでは限界があります。 まず、本人が依存していることを自覚すること。それが悪いことだとわかってもらうこと。治す必要があることを理解してもらうこと。治すには、本人の持っている力以上のものが必要なこと。支えてくれる人たちの理解と多大な努力が加えられること。 もし、依存症の人が出た場合の事を考えて、治療プログラムの作成やシュミレーションを行っていただきたいと思います。その上で“大丈夫”という説明をしていただければ、そのような施設を造ることに絶対反対します。	参考	
「カジノ」はいらない 横浜にはつづらないと表明するべき。 人の不幸を前提にした施設であり、ギャンブル依存症の回復施設の方が必要。ギャンブル大国の日本としては、依存症への具体策等、横浜から発信されたい。	参考	
「カジノについて」 「カジノ」は「バクチ」で、「政治・経済」ではありません。これ、大前提です。 「横浜の歴史」を学び直してください。既設のさまざまな施設を生かすことこそ、考えてください。 冥途に行って「カジノができた」なんて、とても言えません。「ヨコハマにカジノはハジ」です。	参考	
「カジノ検討」の削除を要求します。そもそも市民が健康で文化的な生活を安定して送れるように努力するのが横浜市政の根幹だと考えます。ギャンブル依存症の増大や、青少年への悪影響、そして治安の悪化など、カジノ事業が引き起こす弊害は枚挙にいとまがありません。ギャンブル依存症になる人は「意志が弱い」「自己責任」だと言われることが多いのですが、世界保健機関(WHO)では、精神疾患の一つと定めていて、「ギャンブル障害」「病的賭博」と呼ぶとのこと。疾患の根絶にはカジノ施設をつづらないことが最も効果的です。衆議院を通過した法案には、週3回までという入場制	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>限や6千円という入場料がギャンブル依存症を抑える施策というが、本当に真面目に考えているのか！！と怒りをおぼえます。毎週毎週金・土・日入場して、依存症になるな、というのは無理があります。おまけに、カジノ事業者に利用者が借金できるというではありませんか。本当にこれではカジノ依存症製造法ではありませんか。横浜の文化芸術などを基にした国際都市横浜を目指してください。</p>		
<p>「カジノ検討」を削除。 横浜市民はギャンブル依存症の増加や治安の悪化、青少年への悪影響などの理由でカジノに反対しています。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p>
<p>「カジノ導入・設置に反対します」 「カジノを合法化すれば、かならずギャンブル中毒患者は増える」と指摘されています。カジノ解禁は、世界最悪の病的賭博患者の数字を、さらに悪化させる結果にしかありません。</p> <p>1. 計画(素案)について (1)市長は、カジノ(IR)について「白紙状態」といいながら、「検討」と記載し実施に向けた検討をしていることは問題です。 2. カジノ施設が客にギャンブル資金の貸し出しの許可、管理委員会にカジノ業者が入ることは重大な問題がある 国会でのカジノ法案は、わずか18時間の審議で、カジノ事業者による客への資金貸し付けが依存症や多重債務者の拡大につながります。 また、カジノを規制する管理委員会の事務局にカジノ事業者を入れることは、規制を曖昧にしてしまう危険性があり、不正につながる問題があります。</p> <p>3. カジノ誘致でいっそう深刻となるギャンブル依存症 厚生労働省の研究班は2017年9月29日、「国内のギャンブル等依存に関する疫学調査」を公表しました。全国300地点から1万人を対象に面接調査をおこなった結果です。(回答者数は53.7%の5,365人) それによると、ギャンブル依存症の人の割合は成人の3.6%、約320万人と推計されます。(生涯にわたるギャンブル経験についての調査。1年以内に限れば0.8%、約70万人) 問題は日本のギャンブル依存症の比率が他国と比較して、異常に高いことです。この要因となっているのが、世界に例をみない遊技であるパチンコです(パチスロ含む)。 ギャンブル依存の問題は、当事者や家族にとって重大な問題ですが、社会的にも大きな損失となります。</p>	参考	<p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>「横浜市中期4か年計画2018～2021」(素案)のP18ページ、P19ページに記載されている「統合型リゾート(IR)については、法の制定等、国の動向を見据えた検討」について、先日カジノを含む統合型リゾート(IR)実施法案が衆院内閣委員会で強行可決されたことから、横浜がこの施設の建設場所としてノミネートされることが想像に難くなく、その場合「法の制定等、国の動向を見据えた検討」と中期計画の素案に記載されていることから、建設に関し実際的な検討を行うことを意味しています。私は次の理由からカジノ誘致に反対です。従って、横浜にカジノ誘致を進める検討を決して行わないよう求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カジノ推進・実施は、刑法が賭博を犯罪とする中で、民間の賭博運営を正面から公認するという意味において、相反している。</li> <li>・市民の約7割がカジノ誘致に反対している。</li> </ul>	参考	
<p>「計画のねらい」で集客施設を作れば地域の活性化につながると云っているが、その地域の住民の生活の活性化にはつながらない。カジノ施設を作りたいらしいが、白紙とか云はず堂々とカジノ施設を作るといえば良い。</p>	参考	
<p>「戦略1」; 「カジノを含むIR法」について、国会で審議がされ、横浜市にも誘致の動きがあるそうです。「文化芸術創造都市」を目指すのであれば、トバクであるカジノは横浜には必要ありません。健全な産業の育成を望みます。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「戦略1 力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現」に関して、巷間うわさされる「カジノ」等のギャンブル施設の設置に反対します。</p> <p>&lt;理由&gt;</p> <p>1 カジノは市・市民にとって百害あって市民及び地域環境に多大な悪影響をもたらす。(わずかな税収とは比較できない 即ち金ではかえない大事なものがある)→大儲けするのは外資</p> <p>2 害があることを明確に認識しながら設置することは市民に対する背任行為。即ち、国民に対してカジノの入場料を課し、入場回数の制限をし、また事前にギャンブル依存症対策の法律を準備するという行為は「害があることを政府自身が認識し、その傷を少なくするため、あちこちにバンソコウを貼る様な応急措置をすることであり、本末転倒。基本的に誤り。」(対症療法)</p> <p>健全な施設であれば、国民であれ、外国人であれ、両手をあげて入場を歓迎し、喜んでもらうでしょう。</p> <p>3 設置後に予想される悪影響(環境の悪化、犯罪等観光客の減少)に市は責任をもって対処できるか。現状よりよくすることができるか</p> <p>4 友人、まわりの人の話でも危惧する声が圧倒的に多い。市・職員におかれましては市民第一の視点にたち、長期的に市民、市の向上に寄与する政策をお願いします。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>「戦略1」について、IRの問題に於いては、カジノは横浜に相応しくないと考えます。</p>	参考	
<p>「統合型リゾート(IR)」については、国の動向を見据え、検討します。」とあるが、カジノは横浜市民に不幸をもたらす疫病神です。検討対象にはなりません。</p>	参考	
<p>「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」という抽象的政策は結構ですが、具体的な政策として「カジノ施設」などにならないように、市長の見識に期待します。民間が賭博行為を行う施設を公的行政が率先して行うことがないようにしてください。</p> <p>ギャンブルに頼る市政には反対です</p>	参考	
<p>『カジノ』絶対反対！！息子が社会人になり、パチンコの誘惑に負け、いつしか、サラ金地獄に。催促の電話やハガキに追いかけられました。一人でもギャンブル依存症が、減る事を心から望んでいます。日本はこういう事しか思い付かないのですか？それとも、これも米国からの圧力の一つですか！！</p> <p>70才を過ぎた今も、生活保護は受けたくないと、必死にパートに行っています。</p> <p>日本の子供達の置かれている環境に、もっともっと危機感、スピード感を持って、頭と身体を使って欲しい。税金を正しく使って欲しい！！</p>	参考	
<p>【カジノ導入について】</p> <p>素案には明記されていないと思いますが、カジノ開設の可能性があるとすれば、断固反対したいと思えます。カジノは、文化都市を謳う横浜には、全く似合いません。最近あまりきかない言葉になりましたが、「射幸心」ということについて、子どもの頃、祖母から、戒められたものです。偶然の幸いを狙う心は、地道な努力を嫌います。文化は、決して射幸心から生まれるものではありません。依存症の危険を言う前に、カジノ(賭博)という存在そのものが、人心を荒廃させます。そのようなものを、金儲け(経済効果)という一点で導入することは、文化都市横浜にとって自殺行為です。得るものよりも、失うものの方が多いと思えます。カジノを横浜に導入することのないよう、切に訴えます。</p>	参考	
<p>【統合型リゾート(IR)】(戦略4(1)「人が、企業が集い躍動するまちづくり」)を中期4か年計画から削除してください。</p> <p>中期4か年計画(素案)の中ではたった1行、「統合型リゾート(IR)」については、国の動向を見据え、検討します。」と述べて、検討の方向を示唆しています。380万人を擁する横浜市行政としては、あまりにも無為・無責任です。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>カジノはきっぱり「ヤメル」と表明して下さい。                      ・市民の大多数が反対しています。                      ・市長選の公約を守ること、国の実施法に耳を傾けないこと。                      ・パチンコ屋だらけのヨコハマに、カジノは観光都市になじまない！</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。                      いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>戦略4(1)                      「統合型リゾート(IR)については、国の動向を見据え、検討します。」とありますが、林市長は誘致について白紙としているのではないのでしょうか。見直しを要望します。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)について反対です。                      林市長は、市長選挙の時の公約・政策の中で、「カジノは、白紙です」と述べ、いかにも、カジノ建設は、行わない様に言っていましたね！港横浜 160 年の格調高い文化にカジノは不似合い！本当に横浜を愛する市長なら、止めるべきです。多くの市民が反対しています。賭博依存症対策ではなく、カジノを造らず防止に努めるべきです。自民党、とりわけ菅氏との繋がりを断ち、市民の声を聴く、市長に変わるべきです。市民から集められた税金は市民の為に使ってください！高齢者、子供達、若者、働く世代を大切に！（他市にふるさと納税を考えちゃいますよ！みんなで。）</p>	参考	
<p>カジノ(IR)誘致はやめて下さい                      何も生産せず、市民・国民のふところから多額な金をまきあげるギャンブル「カジノ」誘致は国際都市ヨコハマをゆがめるものです。依存症、治安の悪化など百害あって一利なしです。誘致は絶対に止めてください。</p>	参考	
<p>カジノとんでもない、横浜のはじです。</p>	参考	
<p>カジノ作るにあたって、ギャンブル依存症対策の施設を作るから大丈夫だという話を聞いたことがあります。                      つまり、健全に遊べなくなる人が必ず出てくるということは、誰もがわかっていることです。家族が依存症になった家庭の子どもは大変。精神的にも物理的にも劣悪な環境になります。それで日本の将来を担う子どもを育成していけるのですか？！少子化対策というのは目先の手当を充実させるだけでなく、大人の環境も整えてほしいです。カジノは止めて下さい！！</p>	参考	
<p>「戦略4(1)」（都市臨海部・新横浜都心と、京浜臨海部等の魅力あるまちづくり）                      「公民連携等の手法を活用したまちづくりの推進」の項で、統合型リゾート(IR)がとりあげられておりますが、世界的にカジノは飽和状態にあるとされており、また、その経済効果も政府による資産は無く、誘致各団体間でバラバラの状態、色々と規制を設けても市民の社会不安に対する思いは尽きない状況です。このため、IRは「まちづくり」の視点には合わないと思いますので、導入に反対いたします。</p>	参考	
<p>IR(カジノ)は横浜にいらない。</p>	参考	
<p>IR(カジノ)は絶対作らないでほしい。</p>	参考	
<p>IR カジノは必要ありません。                      辞めるべきです。</p>	参考	
<p>IR カジノをつくることには何もかいてありませんが、これは、絶対やめて欲しいです。家庭崩壊、治安悪化、生活保護者増加は目に見えます。</p>	参考	
<p>IR で金を得る横浜市でいいのか！！                      IR は他人の不幸が必ず付きもの。他人の不幸を前提に金を巻き上げる品のなさの都市にする責任の重さを、現市長は分からないのでしょうか。ちょっと考えれば分かるはず…。</p>	参考	
<p>IR 法案が成立しても市民としては設置には反対です。</p>	参考	
<p>お願いしたいこと                      横浜にカジノは作らないで下さい。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)は横浜にはいりません。もちろん日本全国にもです。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)多くの市民がギャンブル依存症増加になり、青年の悪い事は悪いにきまっています。ぜったい反対です。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>カジノ(IR)について                      統合型リゾートといっても、カジノが一番の目的ではないのですか。                      ギャンブル依存症など、その他色々、私達庶民にとっては害悪ばかりです。                      市長選の時は「白紙」と云っていた林市長が「国の動向を見据えて検討します。」とは公約違反ではないですか。                      世論調査でも反対が65%です。カジノは絶対やめてください。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。                      いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>カジノで金儲け、何と浅ましいことでしょう。悲しいです。依存症問題(対策)より、政治家のその浅ましい根性をなくして欲しい。カジノで誰が得をし、だれが泣くことになるのか。一部の者が甘い汁を吸うために一部の者が破滅する。それを生み出す政治は、政治家として絶対にやってはならない事ではないでしょうか。あまりにも情けない。</p>	参考	
<p>カジノについての計画は、この横浜から完全になくしてください。研究のための予算もつけないでください。人を不幸にするギャンブルが導入されては、子どもたちが育つ場所としてふさわしくないこわい場所(ヨコハマ)となってしまいます。</p>	参考	
<p>カジノに予算は中止して下さい。</p>	参考	
<p>カジノは、横浜にはぜったい反対です。(もちろん、日本にはいりません)</p>	参考	
<p>カジノは刑法等で禁止されている。横浜市民がカジノの客になる恐れがある。ギャンブル依存症になる恐れが否定できない。港(港)横浜にカジノはいらない。いつも修学旅行の生徒があふれるミナト横浜を将来にむけても、つなげるようにしよう。</p>	参考	
<p>カジノは絶対反対です。                      ギャンブル依存症が増え、青少年への悪影響も大です。地域の治安が悪化します。</p>	参考	
<p>カジノは反対です。やりたい人は外国でやれば良い。わざわざ日本の横浜に作る事はない！！</p>	参考	
<p>カジノは必要ありません。自然・水辺で遊べるような公園がほしいです。</p>	参考	
<p>カジノを含むIR(統合型リゾート)の導入には、絶対反対—                      新聞によれば、この素案には、カジノを含む統合型リゾート(IR)の導入について、「国の動向を見据え、検討します」と記載されているとのことでした。                      私は、横浜市民としてカジノの導入には絶対反対です。カジノは賭博であり、刑法で賭博は禁止されています。過度の賭博は人を不幸にして生活を奪います。ギャンブル依存症となる方々が増大する懸念があります。カジノは人々を不幸にするものです。山下埠頭が候補地として検討されているやに聞いています。山下公園をゆっくりと安心して散策できなくなるのではないかと懸念しています。最後にカジノが経済効果の起爆剤になるとはとても思えません。</p>	参考	
<p>カジノ建設 IR はやめてください。生まれ育った横浜は「歴史と文化の街横浜」は大好きです。それを壊すようなカジノはいりません。検討となっているのをやめてください。</p>	参考	
<p>カジノ反対</p>	参考	
<p>カジノ反対！                      カジノの利益で市の収益が増えるという考えはおかしい。とばくで負けた人の分を子ども医療費に回す？とんでもない！</p>	参考	
<p>カジノ反対！！</p>	参考	
<p>カジノ反対！！</p>	参考	
<p>カジノ法案はイヤ。横浜市も、カジノを含む、統合型リゾート(IR)はやめてほしい。誘致には絶対反対。                      こんなものが、なくても、横浜には観光に訪れる人が多いと思われる。観光ポイントは多いです。</p>	参考	
<p>カジノ法案反対！！</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>カジノ誘致には大反対です。入場制限・回数制限をしなければギャンブル依存症等を防げないというのは異常な事ではありませんか。ギャンブルは「横浜」のイメージを壊します。横浜イコールギャンブルにたくありません。子どもたちに勧められないもの（ギャンブル）を導入してはいけません。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>カジノ(IR)は断固反対です。                  賭博は人の不幸の上に成り立つ産業です。                  胴元が必ず勝つようになっているのが賭博なので、税金を高めるにはそれだけ「する」人が必要です。                  経済効果という美名を用いて導入するのなら、公然と胸を張って、子供たちに説明して頂きたい。                  市民にも子供たちにも「みんなでカジノへ行こう！」と呼びかけて戴きたい。それができないならやはりカジノは後ろめたい、あだ花だということではないでしょうか。                  またカジノはその掛け金が公営ギャンブルに比べ破格であり、暴力団のマナー洗浄の温床にもなりやすい。これは即ち脱税であり経済効果などと言っている場合ではない。                  さらにギャンブル依存症は広く知られているが、そもそも「依存症対策」を用意しなければならないようなものを経済対策として用いること自体が根本的におかしい。                  依存症は罹患してしまうと一生治らないと専門医師は言います。そのような依存症を生み出すカジノを何故そこまでして設置するのか。                  横浜市として、経済対策としてカジノに替わるものは何もない、と断言できるのか。代案は他にいくらでもあるでしょう。                  それらを真剣に考えることなく、政府のお膳立てに安易に飛びつくようでは、地方自治は一体何なのでしょう？                  横浜市議会はそんなにも智慧がないのでしょうか？                  文化都市を謳う横浜として、カジノなどではなく、後代に誇れるような経済対策を考えて戴くことを強く要望します。</p>	参考	
<p>カジノ誘致に反対です。                  ギャンブル依存症対策に費用がかかる、治安の悪化が心配される、ギャンブル依存症や多重債務に苦しむ人が増えるなど、市や市民へのメリットが感じられないため反対します。</p>	参考	
<p>カジノ誘致の為にMM21にロープウェイ反対。</p>	参考	
<p>カジノ誘致は認めない。ギャンブルで景気対策はないだろう。</p>	参考	
<p>カジノ誘致絶対反対！大好きな生まれ育った横浜をギャンブルで汚してほしくないです。</p>	参考	
<p>横浜にカジノ(IR)はいらない！                  極く一部の人の儲けのために市民税を投入して山下公園を壊さないでほしい。ギャンブルで多数の人が幸福にはならない。</p>	参考	
<p>横浜にカジノ(IR)はいりません。</p>	参考	
<p>横浜にカジノはいらない。カジノはバクチです。環境が悪くなるのは歴然。</p>	参考	
<p>横浜にカジノはいりません。                  犯罪が広がります。(負けた人は、借金がふくらみます。)</p>	参考	
<p>横浜にカジノは要りません。パチンコ店が一等地にある現状、環境が悪くなるのではありませんか？</p>	参考	
<p>横浜にカジノを誘致しないで下さい。                  今、国会ではカジノ法案が審議されていますが、カジノ誘致によるギャンブル依存症や青少年への悪影響が大きな問題になっています。メディアの世論調査でも、国民の多数が反対しています。                  横浜は歴史と文化を大切に観光都市として発展してきました。悪影響が心配され、法律で禁じられているカジノを法律まで作って実施することに反対します。</p>	参考	
<p>経済・財政について                  横浜にカジノは必要ありません。横浜という街をカジノで汚さないで欲しいです。私も父も祖父も横浜生まれ横浜育ちで非常に強い郷土愛を持っています。横浜を汚さないで下さい。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>昨年市長選の時には、カジノ問題は「白紙」と宣言したはず。しかし最近になって「国の動向により検討する」と中期計画は変化しているが、市民の大多数はカジノ誘致に反対している。カジノが経済発展につながらないのは他国の例を見ても明らかではないか。カジノによってギャンブル依存症が増え、家庭崩壊など一般市民への弊害が大きいことは明らかで、横浜市は計画を撤回して下さい。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>戦略4(1)統合型リゾートについて ギャンブル依存症の増加や、犯罪の温床の場となるのが心配です。また、子ども達にとってもカジノができる場所が身近にあるということ自体が悪影響になるのではないのでしょうか。私は横浜市に統合型リゾートは必要ないと思います。</p>	参考	
<p>中期4か年計画から、横浜港へのカジノ誘致は絶対はずしてください。平和都市、その中心の山下埠頭にバク場なんて許せません。</p>	参考	
<p>ページ19「統合型リゾート(IR)について カジノについて横浜市の市長選で私たち市民の要望を受けカジノ構想は「白紙」ですと林市長は述べられました。しかし発表された上記4か年計画(素案)に統合型リゾート(IR)について法制定等国の動向を見据えて「検討」とあります。これは先の林市長の「白紙」の発言とは違います。国でなく地方自治体として大政令都市の横浜市として地域住民の福祉の向上と増進を図る立場からきざんとして「白紙」の姿勢・計画をつらぬいて下さい。そもそも賭博は刑法で違法です。(競馬競輪の公営ギャンブルは特別法で認められています)がカジノは民間事業者が私的利益のために開設するもので公益目的の公営競技とちがいます。ギャンブル依存症、多重債務者の増加、青少年への悪影響治安の悪化が心配されています。「ギャンブル依存症問題を考える会」では家族が借金の肩代りで生活困窮におちいり、15%の家族が1000万円以上借財を負っていると発表されています。また厚労省の2017年調査でギャンブル症と疑われる成人が3.6%(320万人)。国の依存症対策で入場料徴収(6000円/回)とありますが、これは入場料を含めて負け額をとり戻せると信じる依存症の行動をむしろ促進すると言われていいます。入場回数制限は24時間営業のカジノにおいて連続3日72時間も入場続けることができ、賭博づけになってしまいます。さらに私は消費者**のサラ金被害問題にとりくみましたが、カジノ事業者が賭博資金貸付を行うことを可能にしており、貸金業法上の総量規制(年収の1/3を限度)の適用も除外されていることは、本当に問題でみとめられません。政府調査、各**調査でも「反対」「今国会で定めることはない」が60～70%となっています。横浜市ではカジノは絶対ストップです。</p>	参考	
<p>18 ページ インテグレートド・リゾートというよりも、カジノに市民は反対しているのだと推測します。現に市に公営ギャンブル、競馬、競輪はありません。川崎市にはあります。カジノの成否も含めて、市民の意見を広く聞くことで、慎重に進めてほしい。個人的には賛成ではありませんが、市民の多くが望んでいるのなら仕方ないです。</p>	参考	
<p>18 ページ目 統合型リゾート(IR)については、国の動向を見据え、検討します、について 未成年と一緒に遊べないカジノは横浜に作らないでください。家族ですごせる都市、未成年が安心して楽しめる都市にしてほしいです。 カジノを作っても一部の企業のみが利益を上げても、市民同士のつながりがうまれず、賑わいません。</p>	参考	
<p>1日8時間働いて普通の生活が出来る世の中、真面目に働いて社会に尽くそうという考えを目指すのが政府、自治体の目標であるべきです。その立場から見て横浜にカジノを導入することは絶対反対です。横浜をバクチの会場にしてはならないと思います。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>①カジノはギャンブル依存症が出る事を前提にした賭博です。依存症を生み出しながら、儲け金だけは内外のギャンブル企業等が持って行きます。もしカジノを導入するのなら、依存症対策はギャンブル企業が行うべきです。血税でのギャンブル依存症対策は税金での犯罪援助と言っても過言ではありません。</p> <p>②カジノは、美しい日本の風土に合いません。経済至上主義の中で国民の精神がおかしくなりつつあります。そもそも経済とは「経世済民（けいせいさいみん）」の事です。『世を経（おさ）め民を済（すく）う』から来ています。カジノ誘致企業は本来の意味を噛み締め、将来に禍根を残す様な事業で経済成長を図るべきではありません。</p> <p>③民営のカジノ・賭博には行政の目が届きにくく、行政の監視機関自体がカジノ企業との癒着の温床となりかねません。これは、過去から現在までの歴史が示す厳然たる事実です。</p> <p>以上、血税をカジノ調査費等に使う事には絶対に反対です。又、IR内にカジノは青少年にも悪影響です。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>29 子ども・若者を社会全体で育むまちについて意見</p> <p>横浜にカジノは絶対に導入しないで下さい。アメリカのギャング映画を見ておわかりのことと思います。ギャンブルは人の心を荒らすもの、選挙で公約したではありませんか。安易なお金儲けは上に立つ人のする事ではありません！！</p>	参考	
<p>38の政策</p> <p>力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現</p> <p>6、観光・MICEの推進</p> <p>○新たなMICE施設・周辺基盤施設等の整備</p> <p>新たなMICE施設とは何か？</p> <p>みなと横浜にカジノ施設をつくらうとしているのか</p> <p>ギャンブル依存症をふやす街にしないで下さい。</p>	参考	
<p>38の政策に対して</p> <p>統合型リゾート施設(IR)には反対します。</p>	参考	
<p>6.「観光・MICEの推進」ではカジノの設置は絶対にやめてください。</p>	参考	
<p>6.観光・MICEの推進</p> <p>IR事業は絶対に誘致しない。(100年の誤算を招かぬよう)</p>	参考	
<p>IR、いわゆるカジノの設置はすべきでない。</p> <p>現在、山下公園は、園児たちが駆け回り、市民や観光客が安心して利用できる憩いの場である。カジノ利用者はこれらとは異質の人たちで、カジノを設置すればその人たち向けの商業施設も周囲に増え、雰囲気が大きく変わる可能性があるかと危惧している。</p> <p>一方、私の知人にもギャンブルで家庭を崩壊させた人がいる。彼は、娘と一緒に入浴するのを楽しみにする普通の父親だったが、競艇にはまり、結果、家庭を崩壊させ、その娘もいなくなった。ギャンブルは、道徳的に問題あるだけでなく、このような否定的作用を社会にもたらす可能性がある。健全な自治体が推進すべきものでない。</p>	参考	
<p>I. R. について</p> <p>①カジノ設置について反対である。現行のバクチ禁止を厳守すべき。</p> <p>②USAのラスベガスは砂漠の真中に造られたものだから、カジノプレーヤー、観光客用の宿泊設備を設けた。</p> <p>横浜・山下埠頭に宿泊設備を造ると、近隣の既設のホテル等の宿泊者数が減少して、大きなマイナスとなる。</p> <p>山下埠頭そのものに既設のインフラが現存しているから新たに建設する必要はない。</p>	参考	
<p>IR(カジノ)は、横浜文化都市として、NOです。横浜は、国際性と文化ゆたかな都市として生きてきたしこれからもそうあるべきです。</p> <p>品位を下げる、ギャンブルの街にははいけません。市民・有識者はぜったいNOです。</p>	参考	
<p>IR(カジノ)は、作らないで！！</p>	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
IR(カジノ)は絶対ありません。こんなところに税金を使わないで。	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。
IR(カジノ)誘致は絶対反対。	参考	
IR、色々言っても、カジノ、日本の観光は、カジノより箱根、田舎、温泉、日本の源泉の観光に来るのです。カジノはとんでもない。	参考	
IRでカジノはその一部という欺瞞に満ちたまやかashiで、アメリカカジノ企業によるカジノ企業のためのカジノ推進に大反対です。日本のギャンブル依存症をさらに増やし、それら悲惨な人々の苦しみに支えられ、横浜が発展するなど、市長が本気で考えているのなら、その愚は後世にまで残る。即刻、カジノ誘致は断念すべし。	参考	
IRという名称に隠されたカジノ賭博場の御開帳など論外です。「調査費」の予算化を止めるべきです。横浜市はカジノ、競輪、競馬、競艇、パチンコ、スロットなどのない文化の香り高い観光都市を目指すべきです。市長は市民の中にカジノ依存症患者が生まれることを拒絶すべきです。	参考	いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
IRについて 横浜市のIR推進に賛成します。 常に新たな要素を取り入れながら進化を続ける横浜にとってIRを取り入れることは世界に誇る国際都市横浜としての新しい進化形となると思います。 依存症等の課題はあるかと思いますが、国の動向、海外諸都市の状況等を踏まえて対策を検討し、関係機関と協力することで解決できると考えています。	参考	
IRについて 林市長は、選挙においてカジノは白紙と主張されていましたが、計画に検討と書かれております。まったく納得がいきません。 カジノは刑法において禁止されている賭博行為です。また、賭博開帳はさらに厳しく罰せられます。ブラックマネーを呼び込み、ギャンブル依存症をもたらし、何の経済的再生産も生み出さないカジノは、安心安全な国際観光都市横浜にふさわしくありません。反対です。	参考	
IR について: 法案は通ってしまったのでそれに対する意見ではなく横浜市は、全国アンケートで住みたい街、上位にランキングされています。私自身ははまっこではありませんが、子どもたちは、横浜で生まれ、育ち家庭を持ち子育てをし、はまっこです。 県外の観光地などに行き、どこから来ましたかと聞かれると、「横浜です」と、ほかの人たちは県名を言うそうです。そんな横浜が大好きです。 観光地、沢山の人が来てくれます。その方向で進めていけば、カジノはいりません。政府で色々な規制をかけてもできてしまえば無駄です。 カジノは、賭博であり儲かるのは胴元。胴元にならないでください。	参考	
IR の検討はする必要はありません。横浜の文化と歴史の追求こそ必要です。 ・憲法違反のギャンブルに大切な税金を使わないで下さい。 ・カジノは NO デス。	参考	
IRの設置3か所の1つに横浜が上げられているのに、これにふれられていないというのは中期計画としてはおかしい。IRをやめるのなら、企業本社の誘致をはかる必要があり、大きな選択肢となる。	参考	
IR の中身はカジノです。横浜をギャンブルの街にしたいありません。 カジノ誘致に反対です。	参考	
IRリゾート計画(カジノを含む)は検討も含めやめること。	参考	
IR 計画(カジノ施設の入った)は中止して下さい。	参考	
IR 施設(カジノ)には絶対反対です。 歴史ある横浜を汚さないで下さい。	参考	
IR施設の誘致を、「国の動向をみて検討」となっているが、国が推進しようとしているIR施設はカジノあつてのもので、横浜市にはふさわしくない。絶対に認めるわけにはいきません。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>IR 実施方法が衆院通過の見通しとなりました。横浜市がカジノ誘致を考えるなら、次下を明らかにして下さい。</p> <p>横浜のカジノは</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 誰の、誰による、誰のためのものなのか。</li> <li>② 一般市民がカジノから得られるものは何か。</li> <li>③ カジノを横浜の、広い意味の市民文化とどう整合させるのか。</li> <li>④ 羽田空港、成田空港で、来日する外国観光客、ビジネスマンに、横浜カジノに関心興味があるか、調査してみたらどうですか。</li> <li>⑤ 国際会議の参集者をカジノの客とあてにしているようなら、その根拠を示して欲しい。学術会議参加者は多分興味を示さないでしょう。</li> </ol>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>IR 法案は国会で審議中ですが、競馬、競輪などがありますことから、ことさらギャンブルに走らせる施策は、賛成できません。</p>	参考	
<p>MICE 施設にカジノは要りません。横浜にカジノは要りません。カジノは、法律違反の賭博施設です。私企業が独自にすべて自己資金でまかなうならともかく、カジノ開設のために横浜「市」が税金を投入することは公的機関としてふさわしくありません。私の税金をカジノに使うことに反対します。</p>	参考	
<p>いま、政府・与党は、良識と常識ある国民やマスコミから嗷嗷たる批難の中で、「総合リゾート(IR)実施法」の成立に躍起となっている。</p> <p>こういう情勢の中で、わが林文子市長は、市民の声を公開の場であまねく広聴することもなく、IR の候補地に手を挙げているのは誠に許し難い。</p> <p>この「中期4カ年計画」のどこにその IR を位置づけているのか。恐らく「計画の構成」の「行政運営」や「戦略Ⅰ」あるいは「力強い経済成長とゆめぬん(云々)」の6あたりに構想しており、いずれ「実施計画」などで明示する、と説明する腹積もりなのであろう。</p> <p>しかし、将来市民に経済的・精神的に重大なインバランスを齎すのは明明白白な事柄(政策)を大項目として取り上げず、市民の目をごまかし(市民に隠蔽・偽装・カムフラージュ)して、“立派な中期計画を作る(策定)するんです”ということを行わせる訳にはいかぬ。</p> <p>このような政策計画書の策定は許されない。</p>	参考	
<p>いろいろ頑張って横浜市を世界に知らせていきたい。ただ、カジノの法案も反対したいです。横浜に招致したいとのこと大反対です。依存症の不幸を増すだけ、意外に多く、皆不幸になっていきます。本人も気づかぬうち深みに入って、なおすべき薬もない現在無いのですから。</p>	参考	
<p>エンターテインメントの一環として、カジノを誘致しようかとの話も聞こえますが、以下の理由により反対します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① カジノとして成功しているラスベガスやマカオは、ビジネス街や研究開発拠点として成り立ってはおらず、MICE としては、“I”を意識した文化的は要素の少ない“E”が主流です。</li> <li>② カジノには、素行不良な外国人も多く入り浸ります。ドイツのハンブルグのカジノ街を朝通りましたが明け方のカジノの営業停止時間帯に吐き出された人たちが路上に寝転んだり、うつろな目で歩く姿を見て、この情景をみなとみらいに出現させることは職住接近を目指す地域に相応しいもののでしょうか。</li> <li>③ また、横浜市として素行不良な外国人の取り締まりの責任は持たず、難しい問題を県に頼るしかないのでしょうか、それは無責任と言うものではないのでしょうか。</li> <li>④ 更に言えば、このカジノ特区内では日本人も正々堂々とカジノ賭博が出来ることで、場内外に賭博愛好家がたむろすることになります。現在の穏やかな美しい地域に醜い景色を市が率先して出現させることが、横浜市を強い都市にすることには繋がらないと信じます。</li> </ol>	参考	
<p>カジノ(IR)について</p> <p>カジノは賭博ですから青少年の教育上もよくない、依存症により生活を破壊することになる、横浜に観光と一緒に持ち込むのは許せません。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>カジノ IR について、法の制定等国の動向を見据え検討 について反対です。 なにげないこの一行をいれて、さりげなく、白紙から検討に移行することも市民に不誠実ではないかと思われます。反対意見が多い問題については、市民にはっきり分かるように、動きがあった時は周知すべきだと思います。 横浜はせっかくドラマの影響とかもあって、住みたい街ランキングもあがってきたり、イメージもいいのに、わざわざカジノを作って今まで作り上げて来て横浜の印象、治安を悪くするには、百害あって一利なしです。クイックマネーをえられても、長期にわたって悪影響がでます。依存症の問題で人々の人生に大きな影響がでます。カジノ、IRには絶対反対です。普段政治に特に関心ない人も、この件についてはどうしても反対と言う人は多いのではないのでしょうか。一旦作っては後戻りできません。本当は林市長もよくわかりだとおもいます。再考願います。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。 いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>カジノ 依存症で家庭崩壊、家をなくした等、今でさえ苦しんでいる人がいるのに、白紙から検討となっているのはカジノを推進しようということ。絶対反対です。横浜をとばくの町にしないで下さい。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)には絶対反対です。 横浜は IR なんかなくても観光客はたくさんきています。カジノはとばくです。親がギャンブル依存になったら・・・、若者がギャンブル依存になったら、家族は不幸になります。人間が不幸になるようなものは絶対にやめて下さい。</p>	参考	
<p>IR(カジノ)を「検討する」とは、「白紙」とは「公約」の裏切りです。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)には絶対反対です。カジノはいりません。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)の整備のための財政支出など言語道断である。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)は、いらぬ。賭博にたよる街づくりは中止すること。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)は、ギャンブル依存症の増加や治安の悪化、それに伴う青少年への悪影響、またそれにより地域に経済効果が十分に見込めるのか、先発国の「負の影響」等もあり、人の不幸を前提とした成長戦略はありえないと言う立場で絶対に反対です。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)は、とばくです。これ以上、とばく依存の人を作らないことです。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)は、国際都市として横浜の良さをもっと増すどころかとんでもない“つけ”をのこすことになります。表面的な華やかさでなく、まっとうな美しさ健康的な国際都市こそ次の世代につなげるべきです。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)は、絶対反対です。横浜市に歴史に残してはいけぬ事業だと思えます。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)は“とばく”であり有害です。全く必要ありません。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)はいらぬ。人の負けたお金で経済はうるおわない。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)は横浜にはいらぬ。IRは一時的である。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)は市民のためになりません。絶対反対です。「白紙」と市長さんおっしゃっていましたが「検討」することは、市民をだますことになりませんか。カジノ(IR)は「百害あって一利なし」市民の為にはなりません。もっと市民の生活、防災、公共事業の為に予算を使ってください。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)を横浜に作るのは絶対反対です！</p>	参考	
<p>カジノ、IR は今まで「白紙撤回」と記載されていましたが、今度は「検討」となっています。何で、市民を米カジノ企業群の餌食にする必要があるのでしょうか。中止すべきです。</p>	参考	
<p>カジノ、賭博場のごとき、他の人の不幸で歳入を潤すようなことは絶対やめてほしい。</p>	参考	
<p>カジノ(IR)誘致に絶対反対 (1)横浜市には素晴らしい観光資源が沢山ある。 (2)先祖代々住んできたこの横浜を誇りに思っている。 (3)その横浜に「賭博場」を誘致することは、この美しい横浜のイメ</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ージを完全に破壊することになる。                      (4)賭博場の誘致で、暴力団関係者の影が必ず、付きまとう事必定。                      (5)一度「カジノ」を誘致すれば、問題が出てこれを止めることは、まず不可能となる。                      (6)横浜は我々が「誇りとする、郷土である。」市長の郷土はどこか存じ上げないが、我々の郷土を破壊する権利はない。絶対にあってはならない。</p>		
<p>カジノ(とばく場)を横浜市に設けることには、絶対反対です。もちろん、横浜市だけでなく、日本国内どこに設置することにも反対します。                      林市長は、カジノについては「白紙」としていたのを、最近“検討”に態度を変えたと聞いています。市議会の内情を考えれば、これは“推進”ととらえて間違いないでしょう。                      なぜ、とばく場を市内に設置しなければならないのですか。施設を建設したり、それを運営したりする側が儲かるからといって、それがどんな反社会的な結果をもたらすのか、よく考えていただきたい。政治の役目は、この横浜を誰にも誇れるようなまちにすることでしょう。ギャンブル中毒者がまちの中を徘徊し、その家族や身内を苦しめるだけでなく、その周囲にも、どんな迷惑を与えることになるのか。それに対処するための社会的コストもやがてばかにならなくなるでしょう。横浜をそんなまちにして、胸を張ることができますか。                      横浜市が、この問題で良心を発揮することを切に希望しています。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。                      いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>カジノ～絶対に反対です。国際都市ヨコハマはこんなものがなくても、十分魅力あふれる街です。スポーツ選手が賭博に手を染め、スポーツの現場から追放されたり厳しく罰せられたりしたことは最近も多数ありました。これとカジノ誘致とは相矛盾します。子どもたちに、賭博の善し悪しを説明するときに、説明不能ではないでしょうか。職業柄、多重債務者の債務整理・自己破産多数手がけてきました。少なくない方々にギャンブル問題がありました。ギャンブルがなければ破産しなくて済んだ方々がたくさんいます。グレーゾーンを撤廃し、沈静化した自己破産を、カジノが再燃させることは明らかでしょう。そのとき、裁判所は破産を認めるのでしょうか。またカジノを誘致した自治体の責任はどう考えるべきでしょうか。重大な問題になることは必至です。絶対にカジノに反対です。</p>	参考	
<p>カジノ「統合型リゾート(IR)施設」の誘致に反対致します。                      これは、明かな賭博施設で有り、ギャンブル依存症を産み、治安の悪化を招き、道徳観念をないがしろにするものです。この施設に大きな収益が見込まれるのは、全て、人から詐取したお金で有り、公的機関が法律を制定すれば、何でも許される、という傲慢な態度に他ならないと思います。泥棒市場が存在するとしても、泥棒は悪いことで有る、というモラルを捨てることは、許されることではありませんので、「泥棒行為」「詐欺行為」である施設の設置には、反対致します。</p>	参考	
<p>カジノ「統合型リゾート」先の議会では「白紙状態」が国の動向を見据えて「検討します」に何故かわったのか。賭博であり現在刑法で禁じられているものです。「統合型リゾート」というネーミングがごまかしであり反対です。</p>	参考	
<p>カジノだけは思いとどまってほしい。弱い者から巻き上げて儲けるのは国を滅ぼすものではありませんか。新しい価値は1円も生み出しませんか。横浜には似合いません。</p>	参考	
<p>カジノではない魅力的な集客施設の検討をお願いいたします。                      WHOでも依存症は大きな問題として取り上げられています。                      若者の健全な育成にご尽力をお願いいたします。</p>	参考	
<p>カジノについて                      カジノ(統合型リゾートIR)は国の動向に惑わされず、はっきりと導入しない方針を打ち出してください。                      カジノは違法な博打です、ギャンブル依存症や環境の悪化は横浜市のイメージや環境をおとしめます。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>カジノ・パチンコ絶対反対 『世界最高水準のカジノ規制』なんですか？ オリンピック誘致の際には、『我国の原発は世界最高水準の技術を持ち、汚染水は完全にコントロールされています』？？ 依存症対策に何億つぎこもうと税の無駄だと思います。 私は、元義兄の麻雀依存症で、姉母子が地獄を体験したのを、目の当りにして来ました。優しい元義兄が豹変するんです。 戦後間もなくの頃でしたが、頭から離れません。 パチンコで落伍者は聞いてますが、パチンコで財をなした方って聞いた事ありません。 国民の暮らしを壊すことは絶対やめて下さい。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。 いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>カジノで横浜市民を狂わせないで下さい。</p>	参考	
<p>カジノで住民の福祉の増進は図れません。 トバクに加担する計画には反対です。</p>	参考	
<p>カジノで少しばかり「成長」しても次は「飾り窓」でしょう。</p>	参考	
<p>カジノなパチンコで昔からごはっと。ギャンブル依存症対策するなら、依存症を増す政策(予算)は本末転倒です。山下埠頭を憩いの場に、港横浜、楽しい美しい観光地に。</p>	参考	
<p>カジノなんて言語道断、ギャンブル依存症が320万人。市長は白紙と言って国の動向を見据え検討。調査費に年間1千万円を数年も使いドブに捨てるようなものだ。韓国では売春、その他色々の問題があるようだ。</p>	参考	
<p>カジノについて IRは白紙にしたのではないのでしょうか。多くの市民を不幸にするIRは横浜にも他の都市にも不要です。健全な市民はIRのある都市に住みたい住み続けたいとは思いません。</p>	参考	
<p>カジノについて 日本にカジノが必要ですか。ましてや地元横浜には全くに必要ありません。人間のみにくさ、欲望をさらけ出すギャンブルの象徴がカジノです。本当に日本の将来を考えたらすぐに判ることです。</p>	参考	
<p>カジノについてです。カジノ施設が横浜にできると、横浜のイメージが悪くなると思っています。全国から観光客が見えていますし、大きな施設があるので各種団体の全国大会も横浜でありたくさんの方がみえています。カジノで栄える町では困りますし、イメージが悪くなります。カジノ施設だけは作らないで欲しいと思います。</p>	参考	
<p>カジノについては、例え、国会で実施法が成立したとしても「横浜には誘致しません」と明記してほしい</p>	参考	
<p>カジノについて申し上げます。 横浜市にカジノ施設を誘致する計画は一応白紙となっていますが、国の動き次第ではまっ先に導入される可能性があります。私は横浜だけでなく日本中どこかの街であっても、カジノは絶対反対です。理由は私の曾祖父の代に賭博で田畑を失い家族が生活困窮者となってしまった過去があるからです。その為私の母は小学校卒業するとすぐ働きに出て、弟妹に仕送りするなど苦労をしました。今再び身近にギャンブル依存の市民をつくり、子どもたちを苦しめる環境をゆるしてしまつたらと考えると、何としても反対しなければと思っています。</p>	参考	
<p>カジノには絶対反対です。カジノで使う金(億単位か？社長かその息子か、人の汗を金で集めた者か？)があるのなら正社員にするなり、まともな事に使うべきである。</p>	参考	
<p>カジノに対して、健全な発育の為にしてはならない事だと強く思います！どうか子供の将来の真剣に考えて下さい。</p>	参考	
<p>カジノに反対します。宜しくお願い致します。</p>	参考	
<p>カジノの「検討」は不要、百害あって一利なしです。</p>	参考	
<p>カジノには反対です。経済寄与は根拠になりません。経済性には、お金の換算できない人間尊厳の価値が計測されていないからです。原発などと同じ過ちです。カジノは所詮賭け事です。パチンコもやめられなくて苦悩している人がたくさんいます。この苦悩するドロ―バックを計測したなら、経済性は明らかにマイナスです。外国人</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
より、国民がやることになります。少なくとも、国民の射幸心を満たすためならパチンコで用は足りています。		
カジノの件 外国カジノ資本を太らせるカジノ誘致は絶対しないしてほしい。「人の不幸が成長戦略」なんて政治家の考えることとは思えない。また、「成長」もできないしくみになっていることは明らかでもある。	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。 いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
カジノの施設を観光・文化都市の横浜市に誘致や設置をすべきでない。	参考	
国民の7割近くが反対している。		
カジノの事が書かれていませんでしたが・・・	参考	
カジノの招致はやめてください。ばくちで横浜を汚さないでください。	参考	
カジノの推進は絶対に反対です。横浜の街をギャンブルで汚せんしたくありません。これで挙がる収益など期待していません。何より子育てと医療介護を重視して欲しいと願っています。私はカジノの誘致には絶対反対します。林さん安倍政権に負けないで下さい。	参考	
カジノの必要性まったくない。現市長は選挙中は「白紙状態」と言いながら、水面下では「やるんだ」という意気込みがミエミエです。多重債権者を増やし、ギャンブル依存症も増えるだけ。大体「カジノ」で経済再生なんて有り得ないし、まったく不純です。絶対ヨコハマに「カジノ」(とばく場)を作ってはならない。林さんはもう市長としては、資格なし。	参考	
カジノは、ありきで進んでいるとしか思えない。結局、そんなんだから誰も投票に行かないから、地盤がしっかりしている人が当選するんですよ！	参考	
カジノは「白紙」にもどしてください 市役所で働いている方、政策局政策課で働いている方、市長の側近で働いている方、みんな大学をでて高等教育を受けた方々はカジノ(IR)がどんなものか、国民に与える影響などについて視察をして学んでいるのではないのでしょうか。「物」で金が動くのがあたりまえ、トバクで金を動かすそういう社会はやめてほしい。大切な市民の財産、税金をトバクに使ってほしくない、文化芸術創造のひとつだなんていわないで下さい。市民は一生懸命働いて市民税をおさめ、市役所で働いている方々を信頼して行政をまかしているんです。地方自治法自治体の使命に近づけるよう力をつくして下さい。	参考	
カジノはいりません。予算をつけて検討するまでもなく、賭博は悪徳であり犯罪です。一部事業者の金もうけのために誘致し、普通の市民は問題のみを担わされる。「依存症に抵抗力ある社会へ」などという発言は間違っています。依存症も暴力団の介在もカジノの本質に根ざすものです。そうまでして金もうけをしたい人たちの意見を優先しないで下さい。 カジノ(賭博)は一時の高揚をもたらしても何も創造はしません。薬物と一緒に。多額の借金の後には家族離散や人身売買もついて来ます。少しの雇用が見込まれたとしても、横浜の若い人たちの労働力をそんなことに使ってよいはずがない。 IR 実施法案は数の力で成立するかもしれませんが、しかし、市民の多数は反対です。 市政を担う方々は自分の頭と心を働かせて考えて下さい。	参考	
カジノはいかなる理由でも絶対反対です。	参考	
カジノはいらない。	参考	
カジノはいらない。 外国人もカジノをしたくて日本にくるわけではないので、観光に力を入れるだけで十分だと思います。	参考	
カジノはいらない。一真の国際都市横浜にカジノはふさわしくない。	参考	
カジノはいらないです。	参考	
カジノはいりません。	参考	
カジノはぜったい反対です	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
カジノはつくらないで！	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。
カジノはトバク。カジノはいらない！！ 「トバクは犯罪である」数年前にプロ野球選手が数万円のトバクを行い、一生を棒にふったことがマスコミをにぎわした。一夜に数千万・数億円をやりとりすることが奨励され罪にならないのか？国や市は一方では道徳教育をとえながら他方で犯罪行為を推進することを国や市はどう子ども達に説明するのか。	参考	いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
カジノはいりません。ギャンブル依存症の増加、治安の悪化、青少年への悪影響など、良いことは一つもありません。	参考	
カジノはバクチです、ゆるせません	参考	
カジノは一時的に収入があるかもしれませんが、街の今後を考えるとマイナスだと思います。ギャンブル依存症が増え、テロ対策などに経費がかさみ悪化するでしょう。そんな街に子供は住ませたくないの、他の街へ……。人気施設を取り込んだり、オリンピックに向けて English town を作ったり、外国人向けに日本各地の名産や体験ができる施設など（ある期間で入れかわる。外国人だけでなく、地元の人々が行きたくくなるような、または学校の体験実習ができれば尚良いのでは？！）人を呼び込むものを作っていったらいいのではないかと思います。	参考	
カジノは横浜に似合わない 必要ないです 私達 60 代はあまりたくないし 娘たちにもやってほしくないし 孫達にも良いえい響を与えないので やめてほしいです	参考	
カジノは横浜に絶対つくるべきではない。まわりの人たちは皆反対です。	参考	
カジノは横浜市に誘致しないで下さい。 カジノは百害あって一利無し。国民、市民の生活破壊の上に立つ国政、市政は絶対辞めるべきです。 1. 海外の例 海外で町興しのために、カジノを誘致した町が、カジノで負け文無しになった人が徘徊、風紀が乱れ、犯罪が発生するなど治安が悪くなった。このため住民が教育のことも考え町を出ていく、人口が減った。横浜市の名所、港横浜をこんな街にしたくない。 2. カジノは賭、バクチ、ギャンブルです。市民から金を巻き上げます。ギャンブル依存症に陥ると心身とも荒廃し、人生を狂わせ、破壊させる。現にパチンコ依存症で本人だけでなく、家庭破壊にもなっている例が多くあります。切々と家庭が訴えています。 3. カジノで巻き上げられた「金」は胴元である海外のカジノ資本のものになります。日本に、カジノ誘致のためにお金をつぎ込む。カジノの「公正運営」のために人や金が必要、ギャンブル依存症対策のために人やお金を使う。これでは一体なんのためか全くわかりません。 4. 国民、市民の生活破壊の上に立つ国政、市政は絶対にあってはなりません。	参考	
カジノは教育者の立場から絶対反対です。 生徒に説明できません！（私は中学校社会科教員です） 賭博・カジノは合法化されたといえ、反対の方が多いです。「美しい日本」がダメになります。天皇にも顔向け出来ません。悲しんでおられると思います。	参考	
カジノは作らないで下さい。	参考	
カジノは作らないで下さい。庶民にとっては迷惑な施設です。	参考	
カジノは市としてあきらめていないようだが、絶対にやめてほしい。実施しないでほしい。ギャンブルに依存症をこれ以上増やさないで。	参考	
カジノは人間を駄目にする。絶対反対	参考	
カジノは絶対に作らないこと。国会でのカジノ法案への世論調査でも反対が多いのは明らか。100 年以上近代日本で私営の賭博は禁止されてきたのを、当面の政財界での利害と権力だけで実現するのは許せない。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
カジノは絶対に導入すべきではありません。ギャンブルによる経済効果よりも心の幸せを第一にしてください。市民の智慧・協力を広く求めて下さい。	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。 いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
カジノは絶対に反対です バクチで経済活性なんてありえない 市政がトバクを推進するなどあってはならない！！	参考	
カジノは絶対やめてほしい。もっと健全なことをやってほしい。	参考	
カジノは絶対反対	参考	
カジノは絶対反対！！ 税金は市民の為に使って！！ 未来の子供の為に大人が正しい未来の生き方を学ばなければ（市長さんへ）	参考	
カジノは絶対反対！IRに何故カジノが必要か？ カジノは賭博、トバクは刑法で禁じられている悪である。本来なら競馬、競艇、麻雀、パチンコも禁止である。野球や相撲でトバクの若者が永久追放されていることをどう思うか？またイメージも悪すぎる。反社会的組織の資金源にもなる。 すばらしい都市、横浜にカジノなんてものは不要！！ 女性市長が世の中の女性や主婦の敵のようなものを導入してはならない。腐った資金は市政にいらない！！	参考	
カジノは絶対反対です。	参考	
カジノは絶対反対です。 知事は選挙の時、「白紙」と約束しました。 それなのに「検討」と全く違うことを言うのはやめてください。 そんなお金があるのなら、次のようなことに税金を使ってください。	参考	
カジノは絶対反対です。観光客を呼びよせるなら、平和都市横浜ならではのものです。山下公園は市民の憩いの場であり、子どもたちも思いきり遊べる場所です。“依存症”がでるのがわかっていて“国”としてやること自体違法です。“緑税”もとっている横浜です。もっともっと緑豊かにして下さい	参考	
カジノは絶対反対です。検討の費用も使わないでください。	参考	
カジノは絶対反対です。今、法律で禁止されていることを合法にすると、どういう事でしょう？市民はIRやカジノは望んでいません。	参考	
カジノは絶対反対です。賭博でお金もうけ町の発展は望めません。カジノは人間をダメにします。	参考	
カジノは絶対反対です。百害あって一利なし、賭博は刑法で禁じられています。	参考	
カジノは中止に—健全な観光地横浜が良い！知りあいにギャンブル依存症の人が何人かいます。これ以上増やしたくありません。横浜にカジノはいりません。	参考	
カジノは賭け事で本来なら違法行為です。それに頼るは政令指定都市を目指す横浜市市民としてのプライドが許さない。絶対に反対を致します。100年200年と横浜市政の汚点になる。	参考	
カジノは胴元がもうけ、ギャンブル依存症を生み、街を荒らすだけの“ばくち”でしかありません。ゴミの散らかっていない街、市民の日々の暮らしを豊かで安心なものにする事に税金を使って下さい。	参考	
カジノは日本のギャンブル依存症者をさらに増やします。 横浜には、絶対つくらないで下さい。 人の不幸の上にもうけた金などいりません。 犯罪者が増え、治安が悪くなります。 「百害あって一利なし」のカジノは、やめて下さい。	参考	
カジノは白紙にするべきです。横浜が悪のイメージになり、若者にそのようなものにも興味をもたせたくない。 カジノは青少年の為にならない！将来子供が少なくなるのに、安心の出来る社会にしてほしい！	参考	
カジノは反対です。 いくら財政難でも治安悪化も気になります。	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
カジノは反対です。	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。
カジノは法整備をキチンとして検討が望ましい。外国人観光客にとって、世界的に考えても有るのがあたりまえです。税金が期待出来る。ラスベガスは治安が悪化していますか？外国人はパスポートでOK。日本人は、銀行などが審査して口座を作り、身分証と共に入場出来れば良いと思う。1日の限度を設ける。	参考	
カジノは要らない。(ギャンブル依存症の人がふえる)	参考	いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
カジノへの執着を断って下さい。心身共に健康な市民を望んでいるのでしょ。裕福な市民、NPO法人、利益大の企業から相応の税金を市として取ってください。すべての財源に。	参考	
カジノもギャンブル依存を生みだし、生活を破綻させ人生を狂わせてしまいます。そんなものを財源にしていく政策は人として許されないと思います。もっと弱い立場の老人や子どもたち、低所得で苦しんでいる人たちに暖かい政治をして下さい。	参考	
カジノより中学校給食の実現を！！ ギャンブルは、依存症を増やし、治安悪化や青少年への悪影響を生む。	参考	
カジノを「検討」するのは、止めた方がよいと思います。	参考	
カジノを横浜に作らないでほしい。ギャンブル依存症や環境の問題、労働意欲や何より刑法で犯罪とされている賭博など——問題は山ほどあります。	参考	
カジノを開設せずとも、日本の観光資源をフルに活用したりゾートが出来る筈です。賭場を作るとは江戸時代に戻ったかのようですね。	参考	
カジノを含むIRには反対。あらゆる面から横浜のイメージアップにならない。	参考	
カジノを含むIRは、ギャンブル依存症を増々ふやしていくもので反対。	参考	
カジノを作らないで下さい。	参考	
カジノ解禁・実施に反対します。 刑法で犯罪とされている賭博を解禁し実施することに反対です。国民の7割以上が反対しているカジノ解禁法は既に成立しており、その実施法も参院の強行採決で通し、不当にも成立させようとしています。現行の公営ギャンブルやパチンコは、一応合法とされていますが、負の側面も大きく存在し、決して好ましいものではありません。この度の賭博解禁・実施法は、賭博場を民間業者が運営することを認めることであり、大きくハードルを越えることとなります。カジノの規模や胴元の顧客への融資、カジノ運営を管理する団体のあり方など不鮮明なものが多いうえ、何よりもギャンブル依存症患者などの負けを含む賭博の利益をあてにして経済的な発展を目指し、より良い生活に結び付けるという考え方は本末転倒であり、国民や地元横浜市民の大多数が賭博解禁・実施に反対する理由です。端的に言えば、悪魔に魂を売ってより良い生活を得ることとなります。国のレベルでカジノ実施法が通ったとしても、民意との大きな乖離があります。横浜市においても大多数の市民がカジノ実施に反対しており、不当な国の決定に自治体として従うべきではありません。	参考	
カジノを市民が望んでいるとは思えない。いろいろな面で環境が悪くなると思う。”横浜”のイメージを壊してほしくないです。他にも方法はあらず、オリンピックに向けて、横浜の色々な魅力を発信し、”横浜自慢”をいっぱいしてほしいです。	参考	
カジノを誘致しないで下さい。	参考	
カジノ横浜誘致について、ふれていないのはなぜか？カジノについては、どう考えてもいいこととは思えない。議論をつくしてもらいたい。	参考	
カジノ建設はやめて下さい。美しい横浜に不似合いですし、ギャンブル依存症者が多数生まれるというデータがあります。	参考	
カジノ検討しないでください。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>カジノ解禁は民間賭博の公認にほかなりません。民間賭博を公認すれば、暴力団など「ヤミ勢力」の関与、犯罪の発生、風俗の悪化、青少年への悪影響、ギャンブル依存症罹患の増加、経済効果を上まわる社会的費用、多重債務問題の再燃など、さまざまな社会的問題の発生が懸念されます。隣の国の韓国ではカジノ賭博の利益より、それに伴って起きる風俗や犯罪などの防止にかかる費用の方が多すぎると言っています。日本の刑法は「賭け」をビジネスの手段としてすることを禁じてきました。個人が趣味や娯楽として楽しむ「賭け」と他人の財産を奪う「金もうけは手段して賭け」を日本社会は区別してきたのです。カジノ建設の費用でなく、もっと市民のために、もっと有効な使い方をしてもらいたい。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>カジノ計画「統合リゾート(IR)」は白紙にして下さい。</p>	参考	
<p>カジノ計画は、絶対やめて下さい。家族を不幸にします。国会で論議されているカジノ法案をみると、週3回通うことができる。カジノの事業者が、お客に金を貸すことができるなど、とんでもないものです。アメリカのカジノ運営会社が日本に入って大もうけするために、カジノを日本が提供するにすぎません。絶対反対です。</p>	参考	
<p>カジノ建設に反対します。 政府与党は、カジノを含む統合型リゾート(IR)実施法案を議会で可決しようとしています。IRの利点は「投資やビジネスの起爆剤に」「地域振興雇用創出」「海外からの来客を呼び、観光立国をめざす」との事です。またギャンブル依存症対策の法案も成立する見通しです。良い事ばかりで、反対する要素がなさそうです。しかし、物事には表と裏があるように、外観は明るく華やかなカジノにも残酷で強烈な裏の顔があります。 メリットとデメリットのどちらを重く判断するか人それぞれ考えは違うと思いますが、今一度、よく考えて下さい。違法とされてきた固縛を行なうカジノの建設を許可したと、あなたの子供や孫に胸をはって言えますか？ 日本には良いところがいっぱいあります。カジノの助けを借りなくても、十分やっていけると思います。 横浜市民として自信とプライドをどうか持って下さい。</p>	参考	
<p>カジノ場建設に反対です。 カジノで負けた不幸な人の金を市財政に導入するのは、人倫に反します。 外国資本にわが国の財貨を持って行かれます。</p>	参考	
<p>カジノ場設置反対。 テラ銭で政治をしようという市長、議員は退任せよ!!</p>	参考	
<p>カジノ設置は絶対反対</p>	参考	
<p>カジノ絶対に反対。港ヨコハマのイメージが悪くなってしまふ。明るくさわやか、健康な雰囲気のあるみなとみらい地区が、ギャンブル、賭博で問題の多いまちになる確率が高い。海外他都市の例からも、ヨコハマにカジノは禁止。</p>	参考	
<p>カジノ絶対反対</p>	参考	
<p>カジノ絶対反対 林市長 辞めるべし カジノ出来たら税支払い拒否</p>	参考	
<p>カジノ絶対反対！ ・横浜の歴史、景観、街をぶち壊すことになる！ ・歴史的汚点になる！ ・カジノ建設は絶対やめるべき！！</p>	参考	
<p>カジノ絶対反対です</p>	参考	
<p>カジノ大反対です</p>	参考	
<p>カジノ統合型リゾート(IR)の誘致は絶対反対！！ ギャンブル依存症の増加→健全で平和な生活が送れない。 私達の税金は、生活に密着した事に使って下さい。</p>	参考	
<p>カジノ反対 カジノを想定し市の収入を計ろうとするのは了見が違う。バクチで負けた人のおかげで潤うのは市民も望まない。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>カジノ導入に反対です。 今でも 300 万人以上がギャンブル依存症といわれています。これ以上のギャンブル依存者を増やさないで下さい。カジノが導入されれば、利益を上げるのはごく一部の企業のみです。風紀は乱れ、治安が悪くなり、国際都市横浜のイメージが大幅にダウンします。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。 いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>カジノ導入検討との素案 ギャンブル依存症の増加や治安の悪化など国民生活をこわすだけのもの “検討”はやめて”撤回“にして下さい。</p>	参考	
<p>カジノ反対</p>	参考	
<p>カジノ反対</p>	参考	
<p>カジノ反対 治安の悪化→町の荒廃→人口流出、企業撤退 目先の増収増税! クダラナイ 隣国の失敗に学べ。戦後やっとのことで得た平和。住みたい街 No.1。50 年前の桜木町以下に戻るのか。やっとなつと美しいヨコハマになったのに。お金の群がる悪に滅ぼされるのは御免だ。カジノなんぞ要らない。</p>	参考	
<p>カジノ反対です。 「横浜市の中長期 4 年計画」に具体的にカジノのことは出ていませんが、国がやる方針だと横浜も実施するようなことをきいています。</p>	参考	
<p>カジノ付 IR。国の動向をみて検討のようですが、カジノは横浜市に必要ではありません。ギャンブル依存症の増加は当然ですが、治安の悪化、青少年への悪影響を必ず誘発します。また、横浜の玄関がカジノとは、最も横浜らしくないイメージです。横浜のイメージは海に見える丘公園からの海と港です。カジノは相いれません。</p>	参考	
<p>カジノ法案を成立させるために、IR 法と言うオブラートに包んだ言葉で政府は実施法案を成立させようと思っていますが、問題点は幾つか有りその点をしっかり検討し横浜市としては以下の点で計画を破棄してもらいたと思います。 訪日観光客を増やし「お金」を落としてもらいたいとの考えかも知れませんが、今現在、少しずつ来日客が増えている中で、観光目的で来日し、鎌倉、京都、奈良又は田舎暮らしなど、日本の古き良さを目的に来日し、ギャンブルの為に来る人は少ないのでは。 また 2018 年版観光白書では地方の宿泊者が 4 割と伸び三大都市のそれより伸びている状態です。横浜のイメージとしても賭博設備を伴った総合娯楽施設は合わないのでは。目先の金もうけに走らず、10 年、20 年先の横浜を見据えた観光整備をし横浜市民、観光客が安心して楽しめる街が望ましいのでは。</p>	参考	
<p>カジノ法案、施設建設など市民を惑わす政策に反対です。財政安定、地域経済発展の善策であろうか？民を害して栄えた国はない。</p>	参考	
<p>カジノ法案、世論の支持のないまま、自民、公明、維新の賛成多数で衆院委で強硬採決されました。 日本にはギャンブル依存症が 500 万人とも又、今スマホ依存が中学生で 52 万人、成人で 421 万人と云われています。 全くの日本社会にとって刑法を無視してカジノは不要ではないでしょうか！！ 決して横浜で不幸だけを生み出すカジノはいりません。 決して決してカジノの存在は許されません。 「検討」などもってのほかです。</p>	参考	
<p>カジノ法案には反対します。日本の経済を活性化させるために、ばくちに手を出し、不幸を招くには絶対に反対です。</p>	参考	
<p>カジノ法案に絶対反対です！！ 十分に議論しないで数で強行採決する国会に未来の不安を日々感じている！横浜市も同じ方向に進んでほしくない。市民の声をきいてもっともっとリスクの面をしっかりと討議すること切に願っている。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
カジノ法案絶対反対	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。
<p>カジノ問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長が「白紙状態」といっていたので、期待していたが、案では検討としました。それでも、国会の問題もあるので、意見を控えていましたが、国会で可決というニュースに接して、怒り心頭で、せめて横浜市でその防波堤になることを願って、「カジノ」反対の意見を述べます。現代社会を考える中で、民主主義社会として、国民・市民がゆったりとした、心豊かな生活が可能になるように努力すべきではないでしょうか。国会議員達に対して、横浜市民の誇り、矜持を大切に市政こそ期待されています。</li> <li>・それは、カジノなどの施設をつくり、市民に大迷惑をかける問題をおこすことのないように、市政からカジノ問題を抹殺することが必要です。</li> <li>・カジノを要求しているのは、賭博等で不当に金もうけしようとする一部の者たちの見方ではなく、善良な市民のための市政を実現させていただきたいと考えます。</li> <li>・以上により、計画案に明確にカジノを市政に取り入れれないことを明記してください。</li> </ul>	参考	いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
カジノ誘致、絶対反対！	参考	
カジノ誘致、絶対反対。誘致すれば、横浜市の品格を貶めること必是である。	参考	
カジノ誘致だけは絶対にしないでください。よろしく願いいたします。	参考	
カジノ誘致はきっぱりとやめてください。博打を公に奨励することなどとてもないことです。政府は、「IR」などといっても要はカジノが目的です。他人の不幸で成り立つ経済など追及してはいけません。カジノ誘致はきっぱりとやめてください。	参考	
<p>カジノ誘致について</p> <p>「横浜市中期4か年計画 2018～2021」(素案)の18ページと19ページには、「統合型リゾート(IR)については、法の制定等、国の動向を見据えた検討」と記載されています。</p> <p>カジノを含む統合型リゾートの建設は安倍ノミクスの一環であり、政府はIR整備推進法(カジノ解禁法)を一昨年に早々と成立させ、今般、カジノ実施法案を強行採決で成立させようとしています。</p> <p>この法案が成立すれば、横浜がこの施設の建設場所としてノミネートされることが想像に難しくなく、その場合「法の制定等、国の動向を見据えた検討」と中期計画の素案に記載されていることから、建設に関し実際のな検討を行うことを意味しています。私はカジノ誘致に反対です。</p> <p>従って、横浜にカジノ誘致を進める検討を決して行わないよう求めます。</p>	参考	
<p>カジノ誘致については素案の中では直接に触れていません。</p> <p>地方公共団体は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第2条で精神病(ギャンブル依存症も含まれる)の発生を予防する義務を負わされています。横浜市が市の所有地をカジノ経営者に賃貸し・売却することはこの義務に違反することになります。横浜市は山下ふ頭にカジノを作らせてはなりません。</p> <p>横浜にギャンブルは似合いません。なんでもやって金さえ儲ければいいという連中は地元でできたカジノに自分の家族や子孫がはまり込んで不幸になることなど考えもつかないのでしょうか、諸外国の例でもカジノの客の多くは地元の人々によって占められているのです。</p>	参考	
<p>カジノ誘致には絶対反対！政府がIR政策方針を決定したから横浜市もそれにならうと云う事にはならない。大型船(貨物)の為に海岸をどンドン埋立ててしまい「港横浜」はどこへ行くのか？海岸が建造物だらけでは、憩いの場がなくなってしまう。災害の事も心配。中学校時代、修学旅行の時、友人(女の子)が、街頭で誘われてそのゲームに負け、次々とお金を使い果たした事をずーっと思っています。トバクは魔物です。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>カジノ誘致について何も書いていないようですが、新聞報道では「カジノを含むIR検討」を素案に盛り込んだと報じられています。市民の多くがカジノ誘致に反対しているのです。抜粋とはいえ市民に知らせるべきで、わからないようにしているのは正しくないと思います。「広報よこはま特別号を全戸配布した」「パブリックコメントで市民の意見は聞いた」「反対はほとんどなかった」という結論を得るために敢えてしたのなら許せないことで、不誠実な市政だと思います。市民に関心のある重要な情報はわかりやすく知らせるが横浜市の責任ですから広報の方法にも疑問を感じます。</p> <p>多くの市民はギャンブル依存症増加、治安の悪化などへの不安からカジノ誘致に反対しています。新聞報道どおり素案に検討することが盛り込まれているならお願いですから削除してください。繰り返しですが、「横浜にカジノ誘致」は多くの市民が反対しています。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>カジノ誘致に言及していませんが、私はカジノに反対です。最近の報道では、主な利用者を海外からの観光客・富裕層というより日本人と想定している、経済効果の試算もバラバラ、アジアではカジノは飽和状態とされています。このような不確実な見通しのなかで、「日本人が主な客」になる場合に予想されるマイナス面が懸念されます。なぜ敢えてカジノなのか、カジノのない娯楽施設や文化施設ではなぜだめなのか、納得できる理由を示して下さい。日本政府が言うように、カジノは全施設のわずか数%であるなら、なおさらです。</p> <p>税収源となる事業が必要なのはわかりませんが、安易に危険なものに頼るのはやめて下さい。</p>	参考	
<p>カジノ誘致はやめて下さい。</p> <p>横浜の文化的観光地としての価値をだいにしにします。ギャンブル依存症の病人がふえて不健康でできない町になります。</p>	参考	
<p>カジノ誘致は考えないで下さい。カジノは社会にとってプラスにはならない。お金のある人にとっては楽しみになるかもしれませんが、かけ事には依存症がつきもので、パチンコでさえもそれにお金をつぎこんでしまって、あと本人も家族も悲惨な結果におちいった人がいるのですから、どう対処しても不幸はなくなり、犯罪その他、事件を誘発する結果となる恐れが充分にあります。</p>	参考	
<p>カジノ誘致は絶対反対。</p> <p>ギャンブル依存症を増やさないで1人1人への命を大切にする市政をやって下さい。</p> <p>山下公園は市民の憩いの場です。</p>	参考	
<p>カジノ誘致は絶対反対です</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギャンブル依存症を生み出す可能性が極めて高いため</li> <li>・裏社会へ利益供与する可能性が高いため</li> <li>・横浜のクリーンなイメージには合わないため</li> <li>・市長選挙の公約にはなかったため</li> </ul> <p>私の周囲でカジノ誘致に賛成する者はおりません。世論調査でも圧倒的に反対されています。民意に反する政策は行わないで下さい。</p>	参考	
<p>カジノ誘致を横浜には絶対反対です。ギャンブル依存症が増えることが目にみえているカジノ誘致をなぜ考えているのか。横浜の繁栄はカジノでない道でいっぱい出来ると思います。</p>	参考	
<p>カジノ誘致を反対します。ギャンブル依存症増、暴力団、若年層への悪影響から、絶対に反対します。</p>	参考	
<p>カジノ誘致絶対反対          カジノ誘致絶対反対          カジノ誘致絶対反対</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギャンブル依存症が増す。</li> <li>・横浜の品位が下がる。</li> <li>・子供（18才以上～25才でもダメ。いずれ30才になる）</li> <li>・外国人は港の夜景とか横浜のライトスポットを見て頂ければ良いと思う。</li> </ul> <p>朝昼夜一目で見学          観光スポットが沢山有る</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
カジノ誘致は大反対です。横浜は新しく「みなとみらい」地区等が出来、賑わっていますが、一方では今ある古き良き建造物や自然も人気があり、維持することも重要です。少子高齢化社会の現在、品格ある横浜を守るため、カジノのような新しい施設は、弊害の方が多いと思います。	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
カジノ誘致反対、ギャンブル依存症の増加が心配、政府は対策をとると言っているが、最大の対策はカジノを作らないことだと思います。外国人観光客はカジノが無くても増えているのでは？	参考	
カジノ誘致反対です。カジノはギャンブルです。市民の7～8割が反対しているのに、なぜカジノを誘致する必要があるのですか。訪日客増による経済効果が狙いですか。しかし、他候補地の試算では入場者の7～8割が日本人で訪日客はわずか2～3割です。投資も大半が外国資本です。カジノが無くても横浜は充分文化的で魅力ある街です。	参考	
ギャンブルで経済効果を狙うなど、もつてのほかです。施策が間違っています。市政に携わる方は市民の要望を真摯に受け止めて、実現に敏腕を振ってください。国際都市横浜をギャンブルの街にしない。	参考	
ギャンブルについて、そこにはまる人は、この手を打ったらあの手とどんどんはまります。だから、本当に依存症の事とか治安の事とかを本当にどの様に対応していくのかを考えて、進めて行くのが良いと思います。	参考	
ギャンブル依存症に対する対策も不十分な現状で、ますます増える事が予想されるカジノは必要ありません。カジノで得たお金で、福祉や子育ての予算にするなんて、市策として恥ずかしくないのでしょうか。	参考	
ここにカジノ法案の件何も出てませんがなぜですか。まさかこっそり通すのではないでしょうね。こんな悪法絶対住みやすい横浜に不具合です。依存率、生活保護にお金を使うくらいならもっと子供達が外で自由に遊べる所を作る方が良いお金の使い方です。最近の大人本当に堕落しましたね。	参考	
この素案の中には入っていないようですが、カジノの誘致には反対です。まだ決定していないので入っていないのかもしれませんが、決定してからでは遅いので、一市民の意見ですが、環境が良くなりそうです。マカオに行った時も周りの感じがよくなかったです。学生、子供達若い方々にも悪い影響を与えたいと思います。何より依存性が高いし、家庭にも良いことは一つありません。税収がアップすれば良いというものではないと思います。	参考	
だいたい賭博は違法なのでは？週三日もやれば依存症になるし家族がなったら生活破綻です。外国人目当てらしいけど、どこの国の人も不幸です。そもそもかけ事で経済を良くする等言語道断です。絶対反対です。国民に幸をもたらす案を考えて下さい。	参考	
とても市民のための市政をやっているとは思えない。カジノをどちらにも検討するのだけなら無意見。市長の公式見解を公表してください。	参考	
トバクなどゼツタイに市内に導入してほしくない	参考	
トバクは違法ではないですか？国や国会—公的機関がそれを認め、推進するなんて！！カジノは絶対反対です。	参考	
ハンマーヘッドプロジェクトについてお聞きしたい。当該エリアに複合施設ができるようですが、「カジノ」はできませんよね。万が一にでも「カジノ」を誘致する場合は、必ず市民に信を問う選挙を行ってください。	参考	
まず絶対にお願したいことは、横浜活性化の推進策にIRの検討はしないでほしい。不安と隣り合わせの繁栄は享受したくないので。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>まず反対です。私の回りで賛成という声は、ほぼ聞いたことありません。</p> <p>なぜギャンブルに横浜市は積極的なのでしょう。それでなくても「きれいな！」そんな言葉を何度も聞き事件も起きました。通常に考えておかしい！人間性があれば・・・とかそんな事ではダメ。機会を作らず、ただでさえゲーマーが昼夜の区別なく夢中になり、学校・仕事をしないことになり、事件にまきこまれる。</p> <p>反対 税金払いたくない気持ちです。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>みなとみらいや山下公園を散策して、皆が思い思いのんびりくつろぎ、とてもよい雰囲気だと思います。ここにきらびやかな商業施設はいらないし、ましてやカジノなんかできたら雰囲気をぶち壊しです。白紙撤回して当選した市長として、十分な議論もなく誘致復活させるようなことは絶対にしないで欲しいです。</p>	参考	
<p>都心臨海部活性化に向けて、統合型リゾートの誘致を含めた国際観光拠点の整備について前向きに取り組んでいただきたい。</p>	参考	
<p>医師の立場からカジノ誘致に絶対反対です。様々な依存症の中で、薬物ギャンブル依存症などは、対象を近くに置かないのは基本です。カジノ誘致に使う予算を、より有効に、高齢者福祉にまわすべきです。</p>	参考	
<p>一市民として「カジノ」には絶対反対です。</p> <p>林市長がカジノ(IR)は白紙状態と言われていましたが、中期4か年計画には、検討と書かれています。経済優先だけでなく、未来の子どもたちのためにも福祉優先の市政を望みます。</p>	参考	
<p>横浜(日本)にカジノ等を設置することに反対します。今回の政策の中には、IR 関連のことは具体的に書かれていないようですが、「力強い経済成長・・・」や「強靱な都市づくり」等に関連づけて(こじつけて)カジノの誘致をしようとする事も考えられます。市長は選挙のとき、カジノについては沈黙しましたが、国会での審議によっては、再提示するのではないのでしょうか。私はラスベガスやシンガポールのカジノ等のある、観光地を訪れたことがあります。きらびやかな世界に魅力があふれていました。しかし、強い光には暗い闇がつきものです。短期的にはよくても、30年後にはどうなるのか考えているのでしょうか。今回の素案には、異議を唱えませんが、カジノ誘致につなげる事のないようにお願いします。</p>	参考	
<p>横浜に、カジノを含む統合型リゾート(IR)を誘致することに絶対に反対する。</p> <p>マカオやシンガポールのカジノは利用が落ち込んでいるようで、中国の富裕層も散財しなくなっている。日本のIRが外国人観光客で潤うという目論みの根拠は崩れている。そもそも、人々の射幸心を煽るようなことで経済の発展を図るというのは、邪道である。</p> <p>現在、日本人の賭け事依存症の人の人口に占める割合は世界でも突出しているのに、カジノがオープンすれば、依存症の人の増加は深刻化し、社会不安、不安定化を招き、依存症の人々への対応、治療などでも市の財政を圧迫する。絶対に反対！！</p>	参考	
<p>横浜に IR(カジノ)はいらない。</p>	参考	
<p>横浜にカジノは、不要です。</p>	参考	
<p>横浜にカジノはいらない！今の豊かな公園のあるみなと地区にギャンブル施設ができれば、青少年の健全な育成に悪影響を与える事になるのは、目に見えています。ゼッタイ、横浜市民として反対！！</p>	参考	
<p>横浜にカジノはいらないです。周りのお母さんたちも言っています！</p>	参考	
<p>横浜にカジノはいりません！カジノをつくらないでください！かけ事は本人だけでなく、その家族も健康を害することもあります。健康で文化的な最低限度の生活ができなくなります。憲法違反です！！</p>	参考	
<p>横浜にカジノはいりません。ギャンブル依存症や地域の治安悪化、横浜ブランドの低下、全て悪影響になります。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
横浜にカジノはいりません。ギャンブル依存症増加、治安の悪化、青少年への悪影響などが理由です。	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
横浜にカジノはいりません。経済効果もありません。カジノ反対の多くの市民の声を受け止め、計画素案から「検討」を削除してください。お願いします。	参考	
横浜にカジノはいりません。計画案から「検討する」という記述は削除してください。	参考	
横浜にカジノはいりません。絶対に招かないでください。	参考	
横浜にカジノは作らないでください。今のままの横浜が好きです。	参考	
横浜にカジノは大反対です。もちろん日本国内どこにも。	参考	
横浜にカジノは必要ありません。医療、福祉へお金を回して下さい	参考	
横浜にカジノは必要ありません。(IR 施設は不要)	参考	
横浜にカジノは必要ない。	参考	
横浜にカジノは必要ない。	参考	
横浜にカジノは不要！絶対に反対です。横浜の良いイメージを壊すカジノは反対です！！ 反対、とにかく反対！！	参考	
横浜にカジノは不要と考えます。	参考	
横浜にカジノは要りません。子供や社会の健全な成長を脅かすカジノは不要です。	参考	
横浜にカジノをつくることはやめてください。絶対に反対しています。	参考	
横浜にカジノを作る事に反対です。 1. 統合型リゾート(IR)について、「国の動向を見ながら検討する」となっています。カジノについて白紙であるといって当選した林市長として、先ずやるべき事は、市民の声を真っ先に聞く事でないでしょうか。そして、賛成の意見が無視できない程多ければ検討を開始しても、公約違反にはならないでしょう。初めに「検討ありき」はおかしいと思います。カジノを作りたいという意向がありありと見え疑問を感じています。 2. 私は仕事上、米国のラスベガスを数回訪れています。そこで見たものは、砂漠の真ん中に作られたけばけばしい不夜城でした。開港の歴史を持つ横浜に不夜城を作る必要はありません。市民が築き上げてきた遺産を大切に、将来のある子供達に明るく健全な町を残したいと切実に願います。 3. カジノの恩恵は一般庶民には行かないと思います。大半はカジノの経営者、貸金業者、風俗営業店の利権に群がる諸々の業者等、いわゆる不正営業に近いものが増えてくると思われれます。決して健全な産業育成は期待できません。	参考	
横浜のすばらしい「みなとみらい」の環境を守る為「カジノ」は作らないで欲しいです。 横浜のステキな町並みを生かして欲しい。 その為のカジノには反対します。	参考	
横浜は今でも観光の魅力は沢山あり観光客も多いです。なぜカジノが必要なのかわかりません。カジノを作って本当に横浜市財政が豊かになるのか疑問です。カジノを作ることに反対です。	参考	
横浜には IR(カジノ)は必要ありません。観光都市横浜にばくちであるカジノはにあわない。	参考	
横浜は開港の地、新しいものを取り込んで発展してきた。IR についてもしっかりと検討し、良いところはしっかりと取り入れ依存症などは影響は最小限にしていけば良い。 ギャンブルのイメージだけで保守的になるようでは街の発展はない。	参考	
横浜市でも IR 実施法案検討しているようですが、目的は何ですか。プラスマイナスあると思うがもうこれ以上公営ギャンブルは必要なし。横浜にカジノ絶対反対	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜は世界に誇れる国際都市である。大型客船も多く訪れる、観光都市である。                  そんな横浜に、なぜカジノが必要なのか。カジノに観光客を足留めすると、他の観光施設は打撃を受けるのみでなく、観光価値の大幅な低下に繋がる。                  カジノ誘致大反対。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。                  いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>横浜を、私たちの横浜を、より良い姿で次の世代に繋げるためには解決すべき課題が山積していますが、この度は次の一点だけ声を大にして申し上げます。                  カジノは要りません。                  横浜にカジノは似合いません。                  大人として子供たちに誇れる、恥ずかしくない横浜を引き継いでゆくべきと強く思います。                  市は以前より国の方向を注視すると表明していますが、IR法、カジノ誘致を進める国のやり方は何か背景があると疑いたくなるように乱暴で、将来に禍根を残すことは明らかです。                  横浜市は横浜らしさを熟慮していただきたいと存じます。</p>	参考	
<p>横浜市で生まれ、横浜臨港地区の変遷を見ながら現在に至ります。現在は、世界に類のない「みなとみらい地区」の都市景観を市民としてとても自慢に思っています。                  また、景観だけでなく、治安がよいことも世界に誇れるレベルだと数度の海外観光体験を経て実感しています。                  そこへカジノを含む観光施設ができたらどのような影響があるのか、少し考えただけで弊害ばかりであることは明白です。                  経済効果を期待して、この横浜の文化レベルを下げてよいのでしょうか？                  世界にあるカジノで本当の幸せが生まれているところがあるのでしょうか？                  私は、カジノは数ある人類の負の遺産のひとつだと考えています。                  ギャンブル依存症を防ぐことを考える前に、ギャンブル依存症が生まれない環境を守り、安全で安心な市民の生活を支えることが行政機関の役目だと期待しています。                  カジノで得られる経済効果による便利な生活は求めません。カジノを誘致しないという文化都市横浜であることを希望します。</p>	参考	
<p>横浜市に「カジノ」は適しません。止めて下さい。                  工業化で発展して来たことはそれなりに評価しますが、横浜の都市としての今後は、カジノの如くの密室・裏社会的なものではなく、文化と風土を発展させたもので形成すべきです。                  横浜は観光的にも工夫が出来ます。                  カジノはもっと困っている都市にまかせれば良い。絶対反対！</p>	参考	
<p>横浜市にカジノはいらない。                  住みやすい横浜に何故カジノが必要なのか！</p>	参考	
<p>横浜市にカジノはつくらないでください。</p>	参考	
<p>横浜市にカジノは必要ないと考えます。カジノのマイナス面が大きすぎると思います。観光資源やイメージの良い横浜市にダーティ感の高いカジノは似合いません。入場者が沢山のお金を掛け、負けることによって利益を生み出すカジノのシステムに嫌悪感があります。また、1日中賭博が出来、飲食が無料で入場料が6000円では全く抑止効果はありません。沢山の不幸な市民を生み出すだけです。もっと弱者のためにお金を使ってください。                  新市庁舎、高速道路も凍結で良いと思います。</p>	参考	
<p>横浜市へのカジノ誘致を断念することを明確にして下さい。市長は「白紙」と表明していたが、国会での法案採択を受けて「検討」との態度表明したと報道されています。「素案」でもIRについて同じ趣旨がもりこまれています。市民大多数の反対の意向、カジノのマイナスの影響を考慮して、「素案」から撤回して下さい。</p>	参考	
<p>横浜にはカジノはいりません。</p>	参考	
<p>横浜にはカジノは必要ない。作ってはいけない。</p>	参考	
<p>横浜にはぜったいカジノはいらない。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
横浜市に「カジノ」はいらぬ。ぜったい反対です。	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。
横浜市のカジノ計画は中止、これ以上のバクチは日本に必要なし	参考	
<p>横浜市中期4ヶ年計画2018～2022の中核となるのは、現在国会で議論をされているカジノを含むIR法案の扱いです。横浜市内の各所で、市民によるカジノ可否を問うシールが行われていますが、市内どここの場所でも90%はカジノ設置反対票が占めています。カジノは、国が禁じている博打であり、人の不幸を前提として成り立つビジネスです。市民の不幸を招く可能性があるビジネスを行政機関が誘致することは、市民への背徳であり、決して許されることではありません。</p> <p>中期4ヶ年計画で策定すべきは、市民への背徳となるカジノ誘致ではなく、子育て世代に優しい政策であるべきと考えます。</p>	参考	<p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
横浜市にはカジノは要りません。カジノを建設した場合の利点・不利益点を検討し、その結果を公表したうえで市民の賛否を問ってください。	参考	
横浜生まれの横浜市民として「横浜カジノ都市」には反対。世界の観光客を集めるのはよいが、他の方法にすべきです。ヨコハマのイメージを変えてしまう。長期的に見れば、プラスかマイナスかも分からない。世界中の人々が安心都市ヨコハマ、文化都市ヨコハマ、市民皆が親切に笑顔で接するヨコハマ、そういう展望が持てる方針を考えてほしいと思います。	参考	
<p>何よりも、カジノを作らないで下さいと言いたい。みすみすカジノ被害をうけるとわかっていながら、どうして誘致するのでしょうか。一部の方たちの金もうけのために、庶民の、特に若い世代を、トバクの中に引き込まないで下さい。手に汗して得た報酬のありがたさが分からない人間を作らないで下さい。</p> <p>心からお願いいたします。</p>	参考	
街頭でカジノ反対のシール投票をやっていました。反対者が多いからIRをやらないとか、そういうのはやめてください。直接投票でものごとを決めるなんて原始的でバカげています。反対する人に対して、議員や役人がIRの必要性をきっちり説明してIRを進めてください。	参考	
<p>観光・MICEを推進する観点から、また、都心臨海部の防災性を高める観点から、統合型リゾートの誘致を検討していただきたい。</p> <p>カジノ＝イメージが悪いという概念は、多くの市民が持っていることは事実であろうが、そこで思考停止せずに、推進派も慎重派の意見も聞き、議論すべきである。</p> <p>シンガポールのマリーナ・ベイ・サンズが統合型リゾートだということは一体どの程度いるのだろう。</p> <p>統合型リゾートの導入のメリットと懸念事項を調査・公開し、市民に広く知っていただくことが第一歩だと思う。</p> <p>観光やMICEで国内外の多くの人を横浜に呼ぶことは、この先の横浜経済の活性化のためにも必要であることに異論がある人は少ないと思う。</p> <p>そのための手段として、IRを誘致することについてどう考えるか、市民や企業と対話の機会を作っていただければと思う。</p> <p>税収や雇用などの経済効果に焦点が当てられがちであるIRであるが、都心臨海部に、統合型リゾートを導入する場合、地震や津波対策を完全に講じた施設の建設を事業者に求め、MICE施設を災害時の避難拠点することや、復旧のための活動拠点とすることができるのではないと思う。</p>	参考	
企業のため外資のためのIR特にカジノを入れる横浜であってはならないと思います。	参考	
経済発展は大事と思いますが、ゲーム、ギャンブル、賭けをする施設はいりません。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>計画の、戦略4(1)「人が、企業が集い躍動するまちづくり」の中に「統合型リゾート(IR)については、国の動向を見据え、検討します」と記述があります。1月に発表された基本的方向には記述がなく素案で入れられたことは、横浜市が誘致に大きく足を踏み出したことであり、反対し記述の削除を求めます。林市長は昨年「白紙」と表明しそれまでの誘致態度から大きく政治姿勢を変化しました、このことだけでも市長の政治生命はなくなったことであり辞任すべきです。今回の素案に記述したことも「国においてしっかり議論されること」を期待している内容の記者会見が出されています。IRはカジノを含むものであり、カジノは賭博です、刑法で禁止されています。こうしたことから国へは、横浜市は地方自治体として、市民の生活向上・安定を求める立場から本来反対すべきです。ギャンブル依存症などの対策を取るとして「ギャンブル依存症対策法」が国会において成立しましたが、依存症をなくすにはこれ以上のギャンブル(カジノ)を増やさないと。市財政に税収として入ることも林市長は期待している内容がでていました、そもそも人の不幸を作ることになり、その結果に税収が入ることは地方財政の基本から違うのではないのでしょうか。また、記述の表題にある「公民連携等の手法を活用したまちづくりの推進」としてあります、これはなによりも、今国会で審議されている実施法案の民営カジノの先取りであり、法案の可決を望んでいることが分ります。地域経済の振興なども、カジノでの地域経済の振興に成功しているところは世界にも有りません。カジノでの海外観光客の増加などなくとも、横浜の良さをさらに活用したほうが良いと思います。また、施策の32項で「ギャンブル依存症」対策が記述されています、これは旧計画にはなく、カジノ誘致をするために施策として入れたことになり「白紙」でなく、誘致に向けた計画をしていることとなります。市民の約7割が反対している、カジノ誘致は計画から削除することを求めます。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>計画案では『山下ふ頭周辺地区都心臨海部の新たな魅力創出を目指し、大規模で魅力的な集客施設の導入などを含めたハーバーリゾートの形成に向けて再開発を推進します。』とあり、『ハーバーリゾート』が『カジノを含む統合型リゾート(IR)』も想定しているとうかがえます。ここでの『ハーバーリゾート』には是非とも『カジノを除く横浜らしい集客施設』を設置することを念頭に置いて検討・推進することを要望します。カジノは市は事業者から事業税を得ますが、治安維持のため税金を投入しなければならなくなります。カジノが慈善事業ではなく収益を求める事業であることは自明の理で、必ず不幸な被害者が発生します。横浜市は収益のためそのような不幸な人を生み出す施設をつくるのではなく、そこを訪れた子供や若者が夢や希望を持って帰ることができるような施設を創るべきと考えます。例えば長崎のような、『開港時代の横浜と船と花と水とイルミネーションとおもてなしのホテル、そして水上でつなぐ三溪園』をテーマの『ハーバーリゾート』が実現できるとよいと考えます。</p>	参考	
<p>公開された計画案には「IR」のことが明記されていません。市長は「白紙」という態度でおられるようですが、経済界の重鎮のご意見で簡単に推進の方へ方針転換されるのではという疑念を持っています。横浜にカジノは必要ありません。政府案はギャンブル依存症の対策にはなっていません。世界的な事例をみても、カジノによる経済効果より治安の悪化や依存症による自己破産など負の面の方が大きいと考えます。IR導入には断固反対します。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>計画のねらいにある「…企業や魅力的な集客施設の集積をさらに促す…」とありますが、現在ある横浜の魅力あるものを整備し、市民が心豊かに安らかに過ごせての都市計画ではないでしょうか IR誘致などは一部の観光客の為でしかなく、暴力団の資金源、温床になりうるのでは？ギャンブル依存症の増加にもなります。実際に家族の一人がそうなり、子供（親の依存症、借金を知った）までが精神的に追い詰められ家族中がバラバラの心になってしまったのです。 どうか再考をお願いします。依存症問題を甘く見ないで下さい！！</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。 いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>計画のねらいに書かれていることは、その通りだと思います。MICE 施設、集客施設、ホテルの開業による、さらなる飛躍のため、間違っても「カジノ」誘致などは、ないようにお願いいたします。他方で「ギャンブル依存症」への懸念が叫ばれていますが、横浜はそのような懸念のない街づくりに、まい進して欲しいと思います。</p>	参考	
<p>健康で自立した（お金持ち）の超高齢者の為の、超高齢者専用のカジノを作ってください。</p>	参考	
<p>現在、国会では IR 実施法案が論議され、全国 3 カ所に横浜市が当然のようにあげられています。横浜市は「国の動向を見据え検討します」との態度のようですが、カジノはギャンブルであり、その利用者の 7～8 割は国内客を相手にしたものであり、カジノの隆盛はそれだけの人の不幸と退廃を生むことになり、子どもや社会経済への影響も増大なものとなります。どうか山下埠頭跡地再開発にカジノだけは盛りこまないよう、国段階で実施法が成立しても横浜市は 4 年計画に盛り込むようなことはしないで下さい。 安定した市民生活確保の街づくり都市づくりをお願いします。</p>	参考	
<p>高齢化社会になり財政が大変になるのは理解出来ませんが横浜にカジノを作るのは反対です。暴力団対策、依存症対策等そのまま財政にプラスになるとは思いません。カジノを進める政治家には絶対票は入れません。美しい横浜に誇りを持っています。日本全国の土地にもカジノはいりません。まずここから出発してください。</p>	参考	
<p>国会が会期延長により、IR 法の成立が確実となりましたが、カジノは「中期 4 年計画」のどの項目に該当するのか？わかりませんが、私の意見を申し上げます。 カジノは日本全体で3カ所程度とのことですが、横浜市が手を挙げれば、横浜選出の某国会議員（有力政治家）の力により、横浜は選出されるという噂があります。また、地元経済界でも誘致の動きがあるようです。しかし、横浜市はトバク収入に頼るのではなく、正々堂々と王道を歩んでいくことを望んでいます。カジノについての反対意見はもうたくさん述べられていて、私も同意見なので理由は省略しますが、カジノを設置することで一番とくするのはだれですか。地元経済に云々～といいますが、施設経営者はだれになるのですか？外資金も含めた特定の者だけが利益を得るのでは…？ 是非、正攻法で観光や国際会議等の誘致などの活動を通じて地域振興を図っていくべきだと考えています。カジノを誘致しないことによる歳入減を正攻法で埋められなくても仕方ないと思います。トバクでカセグよりは、まともだと思います。</p>	参考	
<p>今、強く願っていることのひとつは、刑法が禁止している賭博である「カジノ」を、誘致しないことです。以前から、日本でのギャンブル依存症の多さは問題にされていると思います。青少年への悪影響も大いに心配です。人の不幸の上になり立つ賭博を、この歴史ある横浜の地に持ち込まないでください。</p>	参考	
<p>今、最も心配なのは、横浜にカジノができるのでは…ということです。横浜のブランドが落ちるのではないかと、とても心配です。カジノの誘致は絶対反対です。</p>	参考	
<p>今の所、「広報よこはま」には、カジノの事は全く（勿論ですネ）触れておらず、ホツとして居ります。以前、誘致という話が出た事があり、以来、注視しています。「白紙」という事で、現市長は選ばれましたが、その後、少しずつそのポリシーを変えつつある様に見受けられ心配して居ります。カジノなど賭け事に対する依存症も叫ばれ</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ている昨今でもあります。            又、多くの若い人達が正規職に付けず、低収入である現状を考えると、消費税で国に税を納める上に賭博場で更にお金を国等に取りられ、又、それに依り、家族・友人・親族・あかの他人等にも様々な影響が及ぶであろう可能性を考えると、この横浜をこれ以上殺伐とした街にして欲しくないと筆を取りました。            カジノ導入の問題点を取り払うべく色々規制をしても、依存する人達には、あまり効力はないと思っています。            なければ関る事の比率は少ないでしょう。でも、存在すれば、一度行ってみようという人達は必ずいます。断然、カジノが存在しないより存在した方が圧倒的に多くなる筈です。            カジノというとても聞こえは良いですが、「賭博場」です。歴史的にも賭博場は取り締られてきました。            この横浜の街をより良くする為に、カジノ(賭博場)の誘致は、絶対に止めて頂き度思います。</p>		
<p>今回、申し上げたいことは横浜にはカジノを絶対に作ってほしくないということです。(本当は日本に作ってほしくないです)            今回の計画を策定・推進するにあたっての基本姿勢として3点が挙げられていますが、その一つには「SDGs(持続可能な開発目標)の視点を踏まえた取組」とあります。            カジノにはさまざまなデメリットがあります。ギャンブル依存症の増加、治安の悪化、マネーロンダリングの温床、地元経済の衰退、教育への悪影響、等々数え上げればきりがありません。カジノが持続可能な開発とは到底言えないでしょう。            カジノの推進派は地元の経済が活性化すると言っており、依存症対策などの費用も増えた税収でしっかりと賄っていくと、本末転倒な話をしています。            更に、その経済効果も横浜での具体的な数字は出せておらず、世界の中でカジノで成功していると言われているマカオやシンガポールを参考に話しをしているにすぎません。            ただ、シンガポールにおける経済への好影響は本当にカジノによるものであったということも定かではありません。            そして、世界には、一旦はカジノで地元が潤っても、年数を重ねるうちに逆にカジノがあるために地元経済が破綻し、住民が減少した地域さえあります。            日本が観光客を増やして地域経済を活性化させたいのであれば、海外の方にアピールできる自然や文化を活用するほうがよっぽど持続可能なことだと言えます。            横浜は文化も歴史も自然も十分に揃っています。こちらを活用せず、デメリットばかりのカジノを作ることには断固として反対いたします。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。            いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>今国会でカジノ実施法案が衆議院を通過、参議院で審議されます。カジノについては市会答弁では「白紙」とのことでしたが、この中期4か年計画(素案)では、検討となっています。パチンコや競馬など公営ギャンブルでも依存症が問題になっている現在、これに対処する方法も不十分です。当初外国人客からの収入増と言っていたのに結局*民のふところをねらっているとか思えません。IRの中で面積の上限規制が外され、客への金の貸し付けも認められているようです。アメリカのカジノ企業の要請で規制をはずしたとは、外国のカジノ企業が運営することになるのではないのでしょうか。ギャンブル依存症者を増やし、場合によっては日本の客からの収益が、知らぬ間にイスラエルなどに行くおそれもあるようです。産油国の多い中東との良好な関係も影響があるのではと思います。自治体は関係がないのでしょうか。近隣の治安も心配です。カジノは絶対反対です。</p>	参考	
<p>最近いろいろ事件があいついでいます。お金ほしさに何をやるかわからない現実、カジノが出来れば直の事。</p>	参考	
<p>細部迄読みました。全部結構な事で結構な事            * * で賛成しますが、只一つ、現市長が港に「カジノ」を造ると言うのは絶対に反対です。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>最大の懸案事項であるカジノ問題についての言及がありません。「カジノは白紙に戻す」との公約がそのまま生きていと解して宜しいのですね。安心しました。賭博はご法度という常識がいつまでも通用する、港横浜でありたいというのが、まともな横浜市民の願いです。</p> <p>市民を裏切ることなく市政を進めていって下さることに安堵です。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>昨年市議会で誘致を決議されたとお聞きしております「カジノ関連施設」について、この計画では触れられていないのは、如何でしょうか。</p> <p>市長は最初「賛成」のご意向でしたが、先年の市長選挙では「保留」の方針をお示しになりました。再選されたのもこの「保留」の方針があったと思いますが、まさか昨年の総選挙の時のように「後出しジャンケン」をなさることはないと確信しております。</p> <p>正直申しまして、「カジノ設置」について反対いたします。設置は昨今喧伝されております「依存症」が大きな問題ですが、その他に地域の安全、安心、治安などについて市民の恐怖を掻き立てるものがあると思います。仮に市に年間何億、何十億の増収があったとしても、それ以上の経費がかからないという保証はありません。諸外国の例をよく研究してみてください。始めは繁栄したとしても、その後は衰退の一途を辿っていることは、自明の理です。経費をかけて施設を作り、いざ「カジノ」を始めても長続きするでしょうか。近所に住む者として、このところ山下ふ頭の建物がこわされているのを見えています。「カジノ」建設の前哨戦でしょうか。埠頭を利用している海*組合も建設反対されているのではないのでしょうか。山下埠頭の後利用は、別のことをお考え下さいませでしょうか。</p> <p>市長さん、市民を助けて下さい。市民が苦しむようなことをなさらないで下さい。七重八重をお願いいたします。</p>	参考	
<p>山下埠頭に誘致予定のカジノに反対します。 公営ギャンブルには反対です。</p>	参考	
<p>市長は「カジノ」は白紙ということで当選したのですから、その公約は守って下さい。横浜市民のほとんどが反対しています。横浜市の歴史を振り返ってみても、カジノはふさわしいとは思えません。カジノがなくても人々が訪れる観光地を目指すべきだし、遊びに来て下さる方達も横浜にカジノは望まないのではないのでしょうか？カジノのある街で「未来を創る子どもたち」を育てたくありません。</p>	参考	
<p>市長はカジノの誘致について調査分析を進めるとの方針を最近発表したとのことであるが白紙といった前言は何なのか正に選挙に勝つための虚言としか受け取れない。大人であれば博打の功罪はしっかりと親からも聞きその教育も受けてきている。一時的には経済的効果が大きいとか賭場のディーラーや歓楽街のホステスや質屋業が新しい職業が繁盛するとかばくち目当ての観光客が増えとか、外国人との交流が増えて外国語を話す人がふえ横浜の国際化が進むとかなどという事はあるかもしれない。しかし私の住む横浜がCASINO CITY YOKOHAMA などと呼ばれたくない。MACAO,LAS VEGAS のような Gambling Town にしてはいけない。横浜は国際的な港湾都市であり諸外国と優れた文化で繋がってきている。観光ならばまずは港付近の運河を北欧の都市の様に再開発すればいい、IR以外にも横浜には他の都市にはない多くの資源がある。未来のことを考えるならば、後先を見ずばくち場の誘致を考えることは絶対にやめて欲しい。</p> <p>横浜は幕末以来外国諸国との付き合いの中でもガサツにならず猥雑さのない清潔で静かで落ち着いた情緒深い安全都市という信用と評価を得ている。是非この信用を揺るがせることの無い様豊かな落ち着いた都市づくりを目指して欲しい。</p>	参考	
<p>市長選のときは、あいまいにしていたカジノを、今回「検討」とは選挙民に対してあまりにも不誠実です。カジノなどに税金を使ってはなりません。</p>	参考	
<p>市長選の公約で、カジノ法案については「白紙」だったのが、なぜ4か年計画で「検討」項目に変わったのかはなはだ疑問です。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
市長選の公約でカジノ法案について「白紙」だったのが、4 年計画で「検討」項目に変わったのはなぜですか。カジノは絶対反対です。大人にとっても子供の教育にとっても良い事は何ひとつない！！	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。 いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
市民の暮らしが大切にされ、安心して生活できること、文化的で快適な市民生活が送れること、その為に計画が充実して、実施されることを希望します。 私が一番心配なことは、IRです。ギャンブル依存症への対策は考えているようですが、私は横浜に（日本に）IRはいらないと考えます。林市長は、この点について語らない姿勢のようですが、市の予算はしっかり計上しているとか。これは市民に対し不誠実な態度です。私の知人がギャンブルにはまり、家庭が崩壊しました。このような心配の種は増やすべきでないではない。 横浜は子どもからお年寄まで安心して暮らせる、文化的な街として発展させてください。 とばくは、法律で禁止されています。負ける人がいなければ成り立たない、大金をもうけるような仕組みは、横浜にも日本のどこにも作らないでいただきたいです。	参考	
私は、あらゆる地域に（東京、横浜を含む）おける、公営カジノの建設・設置に、反対します。 理由は、そう難しいモノでは、ありません。 （1）カジノ・ギャンブルは人間に資する物ではない。 （2）カジノの取り締まりに当たる暴力組織は、警察か自衛隊か！暴力団と言って、差し支えあるまい。何故、そんな奴等を、税金で養わなければならない？ （3）税金とは、公共の利益の為に資する為に、集められるモノである。その徴収方法が、ギャンブル等、人間個人の意思にそぐわない方法で、（つまり、人間の精神心理の弱点を突いて、かき集めるのは、もはや、税金とは呼べない。	参考	
私は、生活保護受給者や、雇用保険受給者、年金受給者（主に男性）が、パチスロに毎日通い、食事もままならない状態に陥っているのを、現状として、多く見てきました。 カジノケンセツハ、ハンザイヲジョウチョウスルダケデナク、オオクノ、ロトウニマヨウニンゲンヲウミダスダケデス。 私は、オーストラリアに旅行に行ったことがあります。そこでは、カジノが解禁されていました。しかし、カジノ目当てではなく、あくまで自然を満喫することが目的でした。また、現在、オーストラリアが観光立国と言えるのでしょうか？ ただ、無駄な予算を大量に浪費し、市長の立場まで危ぶまれるおつもりでしょうか？ また、大黒ふ頭は、昔、大量の暴走族が集まっておりました。彼らに、さらなる犯罪の居場所を提供するおつもりでしょうか？違法薬物の売買、売春など、ついてくるのは必至です。 まず、カジノ建設は、早急に結論を急ぎ、作るべきものではありません。少なくとも、現在の横浜市にとっては百害あって一利なし、です。 カジノ建設は、現段階では、大反対です。	参考	
私は「バクチ依存症」をつくりだすアメリカのカジノ業者言いなりのカジノ建設は反対です。 カジノ建設は反対なら「検討」の必要性はないのではないのでしょうか。横浜市民がカジノ依存症になったら、だれが責任を取るのでしょうか。横浜市民を不幸のどん底に落とし込むことは、その家族から子や孫の代までカジノ建設の責任を追及されるのではないのでしょうか。こういうことを平気で行うことができる人々が、市民から選ばれた、また、市民から委託されている方々の仕事なのでしょうか。 「人の不幸で成りたつ」経済や横浜市政はやめてください。	参考	
私達の大切な税金をカジノに使わないで下さい。誰のための税金の使い方でしょうか。私達庶民の為にぜひ、カジノはやめて欲しいです。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>私はカジノを作ることを反対します。                      どれほど、言葉を尽くしてもカジノはギャンブルです。                      ギャンブルで経済をかき上げることが正しいと思いません。                      他の産業で産業を活性化するほうが良いと思えます。                      例えば、みなとみらいにシリコンバレーのような IT 拠点を作るとか。                      これこそパブリックコメントで、市民からカジノに勝るアイデアを募集するほうが良いと思えます。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。                      いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>私は平塚育ち、職場は(かつて)小田原でした。公営ギャンブル(競輪)開催日には、町の雰囲気が一変しました。盛り場は騒がしくなり、公園では特に女の子は遊びに出るのをはばかりられ、(以前は)配達物の牛乳が無くなり、新聞が無くなり、時に帰りの交通費まで散財したギャンブラーが、民家の庭で寝ていたこともありました。様々な文化施設があり、芸術や音楽、歴史のある横浜の町。観光客も来てくれています。他の都市は知りませんが、横浜に「ギャンブルでお客を呼ぶ」のは、止めましょう。様々な根拠づけはあっても、IRの中心はカジノ。ギャンブルです。公営ギャンブルを廃止しろというつもりはありませんが、わざわざ新しく作る必要はない。「白紙、検討」ではなく、やめて下さい。</p>	参考	
<p>社会を豊かにするための IR ならばまだ反対はしないが(財政的に負担が増えないこと。)賭博性のあるものを設置することは反対である。                      設置すれば外国からの観光客が増えるとか、街や周囲が活性化するなどとする人たちがいるが、それによって荒んでいく人が多くでることが目に見えてわかる。現実の社会を直視していれば議員も議会もわかるでしょう！                      議員は市民の税金で生活が成り立っているのでしょうか！別の視点で財政の健全化を図り、国民、県民、市民のために活動し奉仕してください。</p>	参考	
<p>少しでもリスクのあるカジノはいりません。人間は弱い者です。依存症はこわい。かけごとは悪い遊びでは終らない。</p>	参考	
<p>新山下、地元の人たちからも反対の声が上がっている「カジノ」は絶対に作らないでください。</p>	参考	
<p>人間をこわし家庭をこわし、社会をこわすカジノは絶対に反対です。</p>	参考	
<p>政(まつりごと)とは本来、民(たみ)を幸せにするべく行うものであるはず。その観点からみた場合、特に、カジノなどギャンブル依存症を助長するようなものを合法化するような計画など言語道断です。</p>	参考	
<p>政策19に関連して                      山下ふ頭にカジノはいりません。人の不幸で市財政がうるおうなど全く理解できません。                      港は市民の宝です。カジノは絶対やめて下さい。</p>	参考	
<p>戦略1 賭博場は要らない</p>	参考	
<p>戦略1～6の為に、我が横浜にカジノはいりません。費用対効果や影響をよく検討して、国の施策にのらないでいただきたい。</p>	参考	
<p>戦略4                      IRの記述がありますが、横浜魅力を損なう恐れがあります。実施されれば、                      ・私企業が行う賭博・カジノがあります。                      ・依存症、資金洗浄、課税等々問題があります。                      この様なことから、IRの記述を削除し、今後も検討しないことを望みます。</p>	参考	
<p>戦略4(1)で国の進めているカジノ付統合型リゾートを検討しているようですが反対です。ギャンブル依存症による生活の破綻する人の発生や、治安の悪化等の恐れがあると思うから反対です。                      横浜市ではこの統合型リゾートは作らないでほしい。</p>	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略4(1)に記載されている統合リゾート(IR)に関する記述は削減し、他の手法でまちづくりの推進をして下さい。</p> <p>カジノに落とされるお金は海外からもたらされるのでも、今まで眠っていた預金が掘り起こされるのでもありません。殆どは現状の経済活動の中で使われているものであり、カジノに吸い上げられる分何処かへシワ寄せが来るおそれがあります。</p> <p>また、カジノ開業で新たな労働需要が発生すれば、流通業界、建設業界、福祉業界等に深刻な影響が及びます。</p> <p>そしてなにより、ギャンブル依存症による借金や家族とのトラブル、地域の風俗環境、治安の悪化などの悪影響が避けられない。安心・安全な清潔な横浜の街として、胸を張って国内、海外の人達を迎えるため、カジノに頼らない集客施設を作して下さい。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>戦略4(1)の中で、統合型リゾートについて、“国の動向を見据え、検討します”となっていますが、「カジノ」に関しては、特にギャンブル依存症の増加や治安の悪化という大きな弊害が伴い、その対策に大きなコストが予想され、正に“マッチポンプ”と言えるもので、採用すべきではありません。お金の目が眩み導入する愚を冒すことは避けるべきです。</p>	参考	
<p>戦略4(1)人が「企業が集い躍動するまちづくり」で公民連携等の手法を活用したまちづくりの推進として、「統合型リゾート(IR)」については、国の動向を見据え、検討します。」となっています。この表現は、今までの「白紙」から誘致に大きく舵を切るものと思います。この記述は、以下の理由から削除するべきです。</p> <p>① カジノは、刑法に禁じられた賭博です。国民も横浜市民も約7割近い人が反対しています。市民の審判は、既に昨年の市町選挙で示されているのではないのでしょうか。統合型リゾート(IR)といいますが、集客施設の中にカジノ施設をつくると、なんで賭博が賭博でなくなるのですか。政府の説明に、とても納得できません。賭博場を誘致してはなりません。</p> <p>② 人のお金を巻き上げる事業を市政の政策にして、そこからの税金をあてにした計画は、地方自治体のやるべき政策ではないと思います。まして、IRのためにお金がないないといながら民間事業者が私的利益を上げるための事業に市の税金を投入してはなりません。</p> <p>③ すでに日本はギャンブル大国で、ギャンブル依存症の方が約500万人もいます。ギャンブル依存症は、病気で、治療しても完治は難しいといわれています。カジノを誘致すれば、依存症の拡大はさらに進むでしょう。さらに、家庭崩壊、自殺、暴力団がはびこり、治安が悪化、青少年への悪影響の拡大は、当然の流れでしょう。このような負の事業の誘致に、自治体はかかわってはなりません。</p> <p>④ 横浜は、開港の都として、世界でも日本でも有名な都市です。観光資源に恵まれた都市です。カジノを誘致すれば、観光客が増えるといわれていますが、横浜の観光客は、横浜の魅力で訪れるのではないのでしょうか。カジノ誘致は、開港以来、横浜の魅力づくりに貢献されたたくさんの人々の営みを否定することになります。必要なことは、横浜の魅力をさらにアップするために、市政が先頭になって市民、市内の様々な団体の声をよく聞き、市政に反映させる取り組みを推進すべきではないのでしょうか。</p>	参考	
<p>全体についての意見は多すぎて意見を控えるが、とても気になった部分について意見陳述する。それは、統合型リゾートの名のもとに展開されようとしている違法なギャンブルを推進するものを検討するという点である。博打は法で禁じられているが、公的主体が担う賭博行為は合法で、そうではない主体が賭博行為を主催する場合には違法となっている。刑法第35条の規定に則り、個別の法律により特例的に公的主体がかかる行為を担う正当性が認められている。その理由は、①賭博行為に伴う収益を公的主体が独占できること、②公的主体が担うことにより、限りなく不正を防止することが可能となり、公正さ・透明性を担保することができること、③悪や組織悪の介在を防ぎ賭博行為を国民に提供できる可能性があること</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>と、④射幸心を煽る行為を自制的に管理できることなどである。しかし、これでも税収があっても公的主体が賭博を主催することは倫理的に適切な行為とは言えないはずだが。何はともあれ、以上の状況や開催しても費用すら賄えなくなってきて、世界的には縮小傾向にあるカジノを誘致するなどとんでもなく退廃的なビジネスである。そんなものを導入するかどうか「検討する」価値さえ無いと言うのが明白なのに敢えて検討するとしていることに市としての見識を疑う。まして、大事な横浜にギャンブルの施設を作り家族連れで遊びに行かれるようなリゾートなどあり得ない。文明開化の地、港ヨコハマには全くそぐわない。検討するという文言自体削除すべきである。統合リゾート施設を海上に作るなら民間に任せて作るのは勝手だが、公費を投じてやるべきものではない。そんなことのために大事な市民の財産を使うことは許されないことである。横浜の歴史的なもの等ゴミのように捨てている為政者らしい発想である。緑や遺跡遺構自然など再生すべきものを軽んじては未来は無い。</p>		
<p>素案ではカジノが検討項目になっているが、私はカジノ誘致絶対反対。 ギャンブルのあぶく銭で、市政を語るなんてありえない。 依存症対策を力説する事自体が、依存症の怖さを証明している。 だいたいカジノが無ければ依存症対策そのものが必要ない。 青少年がカジノに興味をもつのは特別な事ではない。 賭けに参加しなくても IR でバイトすれば、もうギャンブルの世界に入ったようなもの。 絶対反対！ ドラマの背景に映るベイブリッジや港の風景は、横浜の価値を上げているが、そこにギャンブルタウンが映ったらアウトでしょう。 大切に守り育てた横浜のイメージが崩壊する。 市長はギャンブルタウンに住みたいですか？</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。 いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>素案にIRについては検討しますと18頁、19頁で述べてしますが、IRはカジノがくみ込まれています。カジノは刑法が禁止しているバクチ、多くの方が不幸におちいっています。絶対反対。しかし、市長は先の選挙で「白紙状態」要するに「白紙」としながら何故「検討します」となったのか！いつ、どこで、どのようにして「検討します」となったのか公にして下さい。しかし、広報よこはまの概要版では一言もIR云々は、ふれていません。姑息なやり方は許せない。</p>	参考	
<p>素案の18ページに記載された「統合型リゾート(IR)については、国の動向を見据え、検討します。」について このIR計画には、賭博場の開設が含まれていると聞きます。これには、絶対に反対です。 理由は次の通りです:賭博はゲームの勝ち負けによって、金銭のやり取りをするものです。そこから直接・間接に得られた金銭を行政の予算にくみこむことは、行政の目的である「人々の福利・厚生確保」と相矛盾することです。つまり、賭博で負けた人の不幸の上に、その他の人々の福利・厚生を築くなど、人の倫に反することです。従って、この計画は行政機関が検討すべきものではないと考えます。</p>	参考	
<p>素案の中に経済の活性化と観光に関して カジノの計画を立案中とのことですが、経済的メリットと社会的公正を比較して、特に青少年への影響を考え止めるべきだと思います。近年の風潮が社会がゲーム感覚でとらえられている現状は将来の世代に、決してよい影響をもたらさないと考えます。 ましてや公共機関がこういう政策を企画することは必要ないと思います。</p>	参考	
<p>地方自治の基本は、住民の生活と幸せのための政治を今日の状況、実態に即して地道に一步一步実現することではないでしょうか。国に先んじて大企業や米資本の要求することに応えることではないと思います。カジノをよぶ事が、どうして市民の幸せにつながるのでしょうか</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>総合リゾート施設という名称の下、実態は賭博施設を横浜市に誘致するという計画は容認できません。</p> <p>賭博行為が日本のみならず、世界中で多くの人たちの幸せな生活を壊しています。</p> <p>家庭崩壊という悲劇にとどまらず、平穏な環境に生活していた地域の住民をまきこみ、不安定な環境を作り出します。</p> <p>国内の暴力団が利権を求めて集まってきます。外国の暴力組織、中国やアメリカのマフィアが日本に来ないと保証できるのでしょうか。</p> <p>観光客は、美しい自然、自国に無いおもてなしの魅力、日本の文化に触れるために来日するのです。</p> <p>カジノならアジアの各地にも存在します。わざわざ横浜までカジノの為に遊びにくるでしょうか。</p> <p>世論調査でのカジノ法案反対は何割あるのでしょうか、数字は知りませんが、横浜市民が何を望んでいるのか、市民の声に誠実に耳を傾けてください。</p> <p>美しい水辺の景観を賭博で汚してはなりません。カジノに大勢の客が殺到したら、ごみは増え、酔っ払いがごろごろし喧嘩騒ぎが絶えない風景が目に見えます。</p> <p>賭博は遊ぶ人が得る利益より、経営者が得る利益の方が格段に多いように組み立てられています。人の不幸の見返りに一部の人が豊かになる社会などありません。横浜市民はそんな選択をしないと信じています。</p>	<p>参考</p>	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>中期4か年計画(素案)を拝見しました。全体に目を通しましたが、そのどこにも記してありませんことを評価致します。そのどこにも記してないことは例の「IR」の件です。市長に向けてこのことについては書状も記し、お送り申し上げました。京都市にカジノがふさわしくないのと同じように、横浜にもカジノを含むIRはふさわしくありません。市長さんは「中立」というお考えを表明しておられますが、最終的には「NO」と言明されることを望みます。横浜が好きで暮らしています横浜市民達の圧倒的多数が「カジノなんて横浜には要らない」との思いであることを再度お伝えしたいです。</p>	<p>参考</p>	
<p>中期4か年計画2018～2021(素案)に関する意見:『統合型リゾート(IR)』に反対します。「『文化芸術創造都市』横浜」、「『環境先進都市』横浜」にカジノは似合いません。もっと市民・子供に寄り添った政策を期待します。</p>	<p>参考</p>	
<p>中期4か年計画2018～2021(素案)に掲載された統合型リゾート(IR)に対する反対を表明します。</p> <p>1. 横浜の観光地の健全化</p> <p>どうして、カジノという安全・健全とは逆行することを推進するのでしょうか。市の財政を豊かにしたいということを書きましたが、カジノに頼らない横浜独自の創造的な方法を考えていただけたらと思います。さらに、カジノを許可すると、カジノ規制のために莫大な税金が投入されることとなります。国民が納めた税金をカジノ関連に使うことが分かれば、カジノを望む人以外は全員が反対するでしょう。</p> <p>2. 博打の問題</p> <p>博打は、本人よりもむしろその家族に不幸をもたらします。</p> <p>3. 林市長の説明責任</p> <p>林市長は市長選から徐々にカジノに対する姿勢を変えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「白紙」から「検討」に変わった理由を説明してください。</li> <li>・「市民・市会の意見を聞く」が、「事業者や有識者から意見を聴取する」に変わっています。市民の意見は聞かないのでしょうか。</li> <li>・カジノを計画に入れたということは、すでにメリットとデメリットを検討して、メリットが上回るという結論に至ったということだと思います。検討結果をきちんと説明してください。</li> </ul>	<p>参考</p>	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>・国からの圧力があつたのなら、それをきちんと公開してください。</p> <p>4. パブリックコメント パブリックコメントが形骸化しています。国家戦略特区で新設された獣医学部のパブリックコメントでも、反対意見がほとんどなのに、まったく反映されず。むしろ、反対意見をどのように無視するかの参考にしたようです。このようにならないように、今回のパブリックコメントをきちんと分析して、それをカジノ誘致の判断に生かさなければなりません。</p> <p>5. アンケート 横浜市の全職員にカジノについてのアンケートをお願いします。</p> <p>6. 山下埠頭の開発提案 山下埠頭は、山下公園の延長として、緑豊かな公園を希望します。ほんの一部の人のための場所ではなく、より多くの人が利用したいと思う場所を作ることが大事です。市のインカムアップではなく、メンタルヘルスを目指しましょう。</p>		
<p>中期4か年計画には書かれていませんが、カジノ誘致には絶対反対です。林市長は公的には「白紙」としていました。カジノが誘致されれば確かに一時的には建設会社や施設の従業員の雇用が生まれ経済効果が発生するかも知れませんが、でも一方では、ギャンブル依存症を増加させ、家庭が崩壊し、金に困れば犯罪が増えます。税収を増やしたいのなら、もっと別の方法があるはず。市がギャンブルなどしない方が良いに決まっています。横浜はカジノが無くても観光客にとってとても魅力的な街で、私も市民になって40年以上になりますが、誇りに思っています。アジアではカジノは飽和状態のようだし、それでもやりたい人は海外でやればよいと思います。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>中期4か年計画の「カジノ(IR)が検討されるようですがメリットとデメリットを考えれば、デメリットのほうが大きいと思います。トバク依存症の増加、治安の悪化等、教育上の環境としてもよくないと考えます。</p>	参考	
<p>中期4か年計画を拝見して何としても百害あって一利無しのカジノの廃止！</p>	参考	
<p>中期計画に記載されていませんが、横浜にカジノは不要です。民意を問うことをお願いします。</p>	参考	
<p>中長期的な戦略1、4 カジノ誘致は中止して下さい。 市長選では林市長は白紙にするということで当選しました。市民の多くが反対の声を上げています。 「臨海部の魅力ある町づくり」にカジノはふさわしくありません。外資が参入してくるでしょう。その経済効果は横浜市をうるおわせですか。うるおうのは外資で、依存症という弊害、治安への不安など良いことはひとつもありません。誘致絶対止めて下さい！</p>	参考	
<p>中長期的な戦略1とか、38の力強い政策中の「力強い経済成長と…」には、いわゆる「カジノ誘致」の思惑が透けて見える。「カジノ誘致」をこのようにオブラートで包むように潜り込ませるのは正当な手続きとは言えない。</p>	参考	
<p>調査費が計上されている所謂カジノに関する検討は行うべきではないと考えます。理由については巷で議論されておりますので、ここでは述べません。</p>	参考	
<p>天皇様のお膝もとで賭博カジノとは何事か。調査費用は認められない。美しい日本にカジノは不要。</p>	参考	
<p>賭博場は地方公共団体のみ適用される利益(不利益)事業だから、憲法95条の特別法の住民投票を条件とすべきである。</p>	参考	
<p>都心部の機能強化について カジノ反対。ギャンブル依存症増加が明らか。その対策が極めて不十分。ギャンブルで魅力ある都市づくりは不可能。</p>	参考	
<p>統合型リゾート(IR)を誘致することは断固反対致します。ギャンブル依存症の人を増やしてはなりません。家族が不幸になります。これからはブータン国のように『幸』な国造りを目指すべきです。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>統合リゾート(IR)に関し、一般論として特にカジノについては、弊害論のみ露出、先行し経済効果を始めとする波及効果が論じられていない。</p> <p>横浜市の財政健全化や活性化のためには、IRの誘致が必要と考える。</p> <p>弊害の除去や運用については、関係機関で検討の上、横浜市が世界に誇れるIRを実施したい。素案には殆んど触れられていないので、是非取り上げて欲しい。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>統合型リゾート(IR)について</p> <p>人の弱みを利用してお金をもうけるカジノには反対です。私は長く高校の数学教員をやってきました。ギャンブルが数学特に確立を発展させたことは確かです。がしかし、ギャンブルには、人間がコントロールできない部分があります。この点は、原子力発電と似ています。賭博を地方公共団体が認めることに疑問を感じます。青少年へのマイナスの影響を考えるからです。</p>	参考	
<p>統合型リゾート(IR)について</p> <p>中期計画では戦略4(1)(page18-Page19)の中で、“統合型リゾート(IR)については、国の動向を見据え、検討します。”としています。これは“白紙状態”から一歩進めて、IR(カジノを含む)を導入する意向を示したもので、絶対に許せません。</p> <p>カジノ事業は、人の不幸を元に成立する事業であり、ギャンブル依存症(理性では避けられない「病気」です)の増加をはじめ、環境悪化(特に子どもたちへの悪影響)や地元経済の地盤沈下を引き起こすなど、多くの問題を*すこと必至です。</p> <p>IR(統合型リゾート)特区の中に設置するからといって、これらの問題点は絶対に解消しません。</p> <p>どうしても観光先進都市のためにIRが必要だと主張するのであれば、カジノなしのIRを追求してください。林文子市長は、経済界の意向よりも圧倒的にカジノ反対の民の声を尊重すべきです。</p>	参考	
<p>統合型リゾート(IR)について【戦略4(1)】</p> <p>国の動向に関係なく、速やかにIR(カジノ付き)を導入しない方針を決定し、かつそれを大々的に宣言すること。横浜市民のみならず全国民から喝さいを浴び、横浜市のブランド価値を一挙に高めること必至である。</p> <p>国は世論の圧倒的な反対の声を無視し、強行採決でIR実施法案を成立させるに決まっている。横浜市が追随すべきではない。</p>	参考	
<p>統合型リゾート(IR)については、一昨年にIR推進法が成立し、今国会でIR実施法が成立する見込みとなっております。IR実施法が成立した際には、是非とも横浜への誘致実現に向けて横浜市の積極的な取り組みをお願いしたいと思います。</p> <p>横浜市においても、2019年をピークに人口が減少することが予想されております。こうした中、将来世代においても持続可能な地域経済・社会を構築するために、新たな産業振興策が不可欠であり、その大きな柱となるのが観光産業の起爆剤として統合型リゾート(IR)の横浜誘致を切望しております。</p> <p>なお、多くの市民が不安視されている依存症や治安の悪化などにつきましては、既に依存症に苦しむ方々が多く存在する中、統合型リゾート(IR)の導入を契機に万全な対策が講じられれば、依存症や治安の悪化の問題も払拭されるものと考えております。</p> <p>横浜市におかれましては、統合型リゾート(IR)の誘致・導入を積極的に推進していただきたい。</p>	参考	
<p>統合型リゾート(IR)の推進。</p>	参考	
<p>統合型リゾートについて～</p> <p>カジノは市長選で白紙状態と表明したのではありませんか。カジノという言葉を使わず国云々で再び盛り込もうとしていることは、市民に対して誠実ではありません。公約を守ってください。</p>	参考	
<p>統合型リゾートについては国の動向を見据え決めようとしている。市長は市長選を機に「白紙」としているが、上記の様にフラ付いている。未来の日本を背負う子供達への影響は絶対に良くない。絶</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
対にやめてほしい。強く中止を要望します。		
働かないで利益を得る「トバク」に税金を投入することは「美しい日本」とはいえません。 テレビでも横浜市の「給食」の異常性が取りざたされていました。 税金は教育に使用すべき。 トバクである、IR＝カジノには絶対に反対です。	参考	本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。 いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
特に指摘したいのは、統合型リゾート(IR)の問題です。 日本政府は、現在、賭博を禁止した法律を変え、日本にカジノを持ってこようとしています。これは、日本の良さを失わせる、まったく筋違いの政策であると思います。 現在でも日本にはギャンブル依存症の方が多く、それを示すように、どの駅を降りても駅前の一等地にはパチンコ店が並んでいます。それだけ多くの人が「負け」を繰り返しているということです。 「一攫千金」のような間違った考えをあおり、お金をつぎ込ませる、そういう意味で、カジノは全世界で試され済みの、不幸製造システムであると思います。 自分の生まれ育った町にカジノがある、このことは子どもたちにどういった影響を与えるでしょうか。勤労を軽んじる人が増えてしまってはなりません。「一攫千金」で人生を形成しようという考えは絶対に間違いですし、そういう考えが入る隙を生みだすカジノ・賭博・IRは、絶対にこの街には入りません。 今回は「法の制定等、国の動向を見据えた検討」とありましたが、絶対にやめていただきたい。中期4カ年計画では、IRの検討は必ず外してください。	参考	
日本中の観光地が外国人旅行者の奪い合いをする中で、横浜が優位になれるものはありません。今の観光資源は、国内の関東圏の資源にしかならないと思います。日本を代表する観光地になっていくためには、起爆剤となる施設、IRが必要です。是非、22世紀の観光都市を目指して、積極的に導入を検討してください。	参考	
反対世論の多いカジノ実施は絶対反対です。もっと市民の声をきいてお金を使って下さい。	参考	
百害あって一利なしとは言いませんが、利があっても害があれば、カジノ誘致には反対です。また、カジノは清潔感あふれる横浜には合わないでしょう。	参考	
表記、横浜市の「中期4カ年計画素案」に反対します。 ○反対する理由： カジノ事業は、人の不幸を元に成立する事業で在り、ギャンブル依存症の増加をはじめ、環境悪化や地元経済の地盤沈下を引き起こすなど、多くの問題を抱えています。 IR(統合型リゾート)特区の中に設置するからといって、これらの問題は解消しないからです。	参考	
府はカジノ法案に前のめりですが、胴元は必ずもうかる仕組み、パチは横浜も推進するなど論外でやめてほしい。	参考	
文化芸術創造都市。 スポーツで育む地域と暮らしにカジノは不必要と考えます。	参考	
文化芸術創造都市にカジノは相応しくありません。大型プロジェクトでなく市民参加型を基本に据えて検討すべき。	参考	
文化的な美しい都市造りを目ざすのであれば今検討しているカジノ誘致はふさわしくありません。是非誘致計画撤回を希望致します。	参考	
緑あふれる環境や超高齢社会への挑戦等は賛成です。 観光に関する中期計画に統合型IRが含まれているのかが見た範囲ではわかりませんでした。 そこで、含まれていると仮定してもコメントです。 統合型IRの中の「カジノ」については、絶対に反対です。 リゾート開発自体は賛成しますが、あくまでもカジノ(悪く言えば博打)は反対です。 胴元だけがもうかり、だれも幸せにしない施設だと考えとおりますので、大好きな横浜市には作らないようお願いいたします。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>林市長は、IR(カジノ)については白紙状態と述べていました。カジノリゾートは多くの人々の不幸を招くことを前提とした営利事業を考えます。</p> <p>中期計画素案には「IR」は検討と変更されています。政府与党によるIR法案の可決を見越した変更かと考えますが、これには反対です。</p> <p>横浜市にはすでに多彩で豊かな観光資源があります。カジノに頼ることなく、もっと豊かで観光客をおもてなしできる計画こそ検討すべきだと考えます。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>林文子市長が発表した「横浜市中期4か年計画2018～2021」（素案）への今回はIR(カジノ中心の収益計画を持つ総合型リゾート)誘致についての記載に意見を申し上げます。</p> <p>「IRについては国の動向を見据え検討します」との記述が入っている。</p> <p>これは、普通に読み取って今国会でカジノ法案(IR法案)が成立すれば、林市長はアツというまに山下埠頭にIRを誘致することに手を上げることにカジを切ると理解できる。そもそも「立ち居振る舞い、礼儀正しさ、言葉使い良さ」が看板の林文子市長が「違法の賭博場を看板とする総合型リゾート」の山下埠頭への誘致を検討すること自体が許し難い。</p> <p>周辺山下公園のすぐ裏側に違法の賭博場を新設して横浜の街の雰囲気を下卑たものにするとは何事か。みなとみらいと山下公園周辺の落ち着いた街並みにラスベガスのようなギラギラと扇情的な欲望を煽るIRなど必要な訳がない。</p> <p>モチロン、ギャンブル依存症の懸念も物凄く高い。カジノの施設内で施設運営者がギャンブルの参加者に貸金するとは、まさに「博打場の胴前が熱くなった客にさらに駒を回してスッテンテンになるまで糞る」ということにほかならない。これに国会では「IR内にATMを設置しない代わりに貸金業者が金をギャンブル参加者に貸金することを認めた」などという安倍政権が提案する法案の会議で頻発するごまかし答弁が出ている。総合型リゾートIR内にはカジノの外にATMがあることは確実だからである。この「ギャンブルの利用者からむしり取る仕組みのある違法賭博場」の開設をゆるせば、月10回の利用制限など意味をなさない。確実にギャンブル依存症とギャンブルによる家計の破たんをきたす客が続発することは目に見えている。</p> <p>このカジノの導入(違法な賭博場の運営の民間開放)が「成長戦略の目玉」であることに、そもそも倫理的なおかしさを感じない林文子市長はおかしい。</p> <p>「礼儀正しさ」「立ち居振る舞いの良さ」「言葉使いの良さ」が看板の女性市長、林文子氏は頭の中身は「財界と自民党の提案する、企業が手段を選ばず儲ける街づくり」が正しいとするものになり張っている。</p> <p>なぜ「利用者が家計はたんし、ギャンブル依存症となり、さらに横浜の街の雰囲気を下品にする」カジノを中心とした総合型リゾートが横浜の成長戦略になりえるのか、ただ、「横浜を壊した、人当たりだけは良くて腹黒い市長」として歴史に名を残すのではないかと、しっかり反省し、「IRの検討そのものも白紙撤回」することを横浜市民として要求するものである。</p>	参考	
<p>林市長は、市長選の公約どおりカジノについて白紙にして下さい。</p>	参考	
<p>林市長は、選挙の時に、「IRは白紙」と言って当選しました。けれど、今回は「国の動向を見据え検討」なんて、それはないでしょ。考えがコロコロ変わっているのか。それとも選挙に当選したいから「ウソ」をついたのでしょうか？横浜市民として、カジノ誘致はやめて下さい。</p>	参考	
<p>林市長は「カジノは“白紙状態”」と言っていたのではないですか？今回の「計画」ではカジノ誘*を”検討”するとなっています。環境を壊し、ギャンブル依存症者を増やすカジノを横浜にもつてくることは絶対に反対です。人を不幸にする目先の金もうけやにせの観光より、未来の暮らしやすい街「横浜」の創造を考えて下さい。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>林市長は「IRは白紙状態」と言いながら、中期4か年計画(素案)には、「統合型リゾート(IR)については、国の動向を見据え、検討します」と記載されています。</p> <p>カジノ実施法案が6月19日、衆院を通過しましたが、報道各社の世論調査で国民の6～7割という圧倒的多数がカジノに反対しています。衆院の強行採決はまさに「数の暴力」で、民意を踏みにじるものです。横浜市がこれを「国の動向」として見て検討するということは、市民として許せません。カジノ「検討」はやめるべきです。</p> <p>このカジノ実施法案は、刑法で禁じられた賭博を合法化することが本質です。巨大観光施設を作るだけならば新たな法律など作る必要はないのです。刑法が賭博を禁じているのは、賭博が社会に及ぼす害悪があまりにも大きいからです。</p> <p>カジノは民間業者が私的利益のために開設するものです。公営の競技やパチンコなど既存ギャンブルによる依存症の疑いのある人は日本では320万人と、世界で最も深刻です。国はカジノ面積規制の緩和、カジノ企業に客への金の貸し付けを認めることなど、アメリカのカジノ企業の要求通りにすることで、日本国民をターゲットにしたカジノ施設を作ろうとしています。IRの収益の8割はカジノのもうけです。市民のお金を巻き上げるだけの賭博には経済効果などなく、あるのはギャンブル依存症、多重債務、生活の破綻、治安悪化ばかりです。</p>	参考	<p>本市ではIRを導入する・しないについて決定しておりませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。</p>
<p>林市長はカジノに未練があるようですが、絶対反対です。それこそ子供たちの将来を考えるならきっぱり断念すべきです。</p>	参考	
<p>林市長はカジノ誘致問題の方針、態度を明確にしてください。</p>	参考	
<p>例の市民に反対の多い「カジノ」の設置は止めて欲しいと思います。</p> <p>実際、私共の家族の一人にパチンコで多額の負債を負い破産者となり可愛い姪娘の将来をも目茶苦茶にしてしまい、今日も尚その後遺症に家族皆なで苦しんでいます。</p> <p>横浜で絶対に手を付けないで下さい。子供達の未来、女性達の元気で楽しく暮らせる街、「横浜作り」を市民と一緒に頑張りましょう。よろしく願い申し上げます。</p>	参考	
<p>歴史ある港ヨコハマにカジノを誘致しようとしているなんてとんでもありません。カジノはまぎれなくギャンブルです。ギャンブルで経済を潤すつもりですか、やめて下さい！！これ以上依存症の人を増やしてどうするのですか。</p>	参考	
<p>戦略4(2)『人が、企業が集い躍動する町づくり』～誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部～</p> <p>基本的に住みたいと思われることには賛成である。ただ、誰もがとなるとそれは難しいのでは・・・と考えてしまう。誰もがということは、最大公約数的な街づくりを行うということで、最終的には味気ないつまらない街になる可能性が大きい。イメージ戦略としての具体的な表記、例えば独身者に向けて、子育て中の家族に向けて、子どもが巣立った夫婦世帯に向けて、高齢期にある人に向けて、のような区切りを持つことで、それぞれに向けた街づくりのポイントが明確になる。その後それぞれに向けて住みたいと思われる要素のPRを行うといった戦略が必要ではないかと思う。団地の再生に関しては、まず、高層階に住んでいる高齢者を低層階に移すことを行うべきである。その後、高層階の住宅をどのように再生していくかを考える。災害対策や生活を守るうえでこの手順で早急な対策をすすめたい。</p> <p>身近な交通ネットワークは、高齢化社会において、また、住民の流入に関して最も必要なツールである。交通サービスについては、民間、特に自治会等では絶対に結論が出せない問題で、行政が主導導入を考えざるを得ない。独立した部門を作っても早急に対応を考えるべき課題である。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」や政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市の中央部分(港横浜)が強調されているが、郊外部分の(丘の横浜)の、まちづくりも強化してほしい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、郊外部と都心部のまちづくりの取組を進める上で、参考にさせていただきます。</p>



中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
ライドシェアや空き家を活用すれば土地や建物をもっと有効活用することも可能です。	参考	いただいたご意見につきましては、新たな交通サービスの検討や空家対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
米軍施設の利用については、上瀬谷については水の湧く池がありそうなので、水をテーマにした公園や住宅地、商業施設を作り、市民の水に対する意識を高めるべきかと思う。また、震災時の仮設住宅の建設地としての、空間の活用を考えたい。また、いずれの返還地も、交通の便が悪いため、新しい交通手段も含め検討を願いたい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」の主な施策5「米軍施設の跡地利用の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
都心部は緑が少なく、インフラ、ハコモノが多い。郊外は逆です。都心には公園を 郊外には道路と雇用をです。ズーラシアや里山ガーデンへのアクセス性を改善してほしい。まずは道路、駐車場、バス便、シャトルバスなどです。現状はズーラシアの南側からのアクセスが多く、混雑します。ズーラシアの北側からの道路の拡張、新設が良いです。	参考	いただいたご意見につきましては、戦略2『花と緑にあふれる環境先進都市』や戦略4(2)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部～の取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
インフラ整備の経済性と公平性 経済的には乗数効果の明確な整備を優先してほしい。 市民から見れば、郊外部は都心部に比較してインフラが進んでいません。公平とは言いがたい。公平性を考慮した整備をしてほしい。	参考	いただいたご意見を参考に、郊外部と都心部のまちづくりに取り組んでまいります。
21 ページ 東急田園都市線沿線もいずみ野線沿線も比較的新しく、街づくりがやりやすいのだと考えます。東急沿線は、民間での施策が進んでいると思います。京急沿線や根岸線沿線は難しいです。住宅地が古い。 郊外の駅から遠い団地が難しい。ひかりが丘団地は陸の孤島と呼ばれていました。今は通勤客が高齢化して退職したので通勤難は減りました。若葉台は比較的うまく行っています。戸塚区の南や、栄区、瀬谷区なども同じで駅から遠い住宅地の方が満足しているとは思えません。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略4(2)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部～に含まれていると考えておりますが、いただいたご意見につきましては、住宅地の活性化・魅力向上や市民に身近な交通ネットワーク等の維持・充実などを進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、原案では、東急田園都市線沿線やいずみ野線沿線に加えて、京急沿線地域を追加することとし、鉄道事業者と連携しながら、郊外部のまちづくりに取り組んでまいります。
20 ページ 「インフラ」も「ハコモノ」も都心部に集中していると感じます。反面、戦略4-(2)の郊外部は「ハコモノ」が少なく感じます。働く場所や娯楽、ナイトライフがあると人口も維持できると思います。郊外は「楽しさ」が欲しいのだと考えます。インフラはさておき、郊外部の「ハコモノ」は複合化などで工夫して、民間、NPOとも協働して進めてほしい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略4(2)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部～や政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」の主な施策3「将来も見据えた時代のニーズに対応できる公共建築物の再編整備」に含まれていると考えておりますが、いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
金沢区に住んでおりますが、後の10年後、20年後を考えますと、シーサイドライン沿線の高齢化と建物の老朽化が気になります。他市、他県から、企業、人が集う街づくりを各区やエリア毎に実情に合った施策を求めます。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略4(2)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部～に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
19 ページ 旭区・瀬谷区の輸送、倉庫、運輸などの業務地域や栄区・戸塚区の工業地域はどうするのでしょうか？	その他	郊外部における土地利用として、次のとおり方針を掲げております。「産業・流通業務地においては、操業環境の保全や機能の更新・高度化を図り、経済活性化に寄与するとともに、市民の身近な勤務地として職住近接を実現します。なお、大規模な土地利用転換があった場合には、地域における公共インフラ等の状況も踏まえ、必要な機能の導入が図られるよう誘導します。」(横浜市都市計画マスタープラン)
市役所の跡地は、災害の時のために空地にしておいて下さい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策4「関内・関外地区の活性化の推進」を進める上で、今後の参考とさせていただきます。
大型の開発(新市庁舎、高速道路、港湾、横浜駅周辺など)をやめて、市民向けの施策をやって下さい。通学路、歩道の整備や生活道路関連の施策をお願いします。(我家周辺の道路は30年も整備がされずデコボコです)市営住宅増設も考えて下さい。	参考	いただいたご意見につきましては、まちづくりを進める上で、参考にさせていただきます。
相鉄線平沼橋駅と西横浜駅の統合 相鉄線の東京都心直通線開設により、横浜～二俣川間の沿線が廃れる可能性があると思います。この問題を解決するために、電車に乗り降りするだけのスペースになっている平沼橋駅と西横浜駅を統合し、二駅の間魅力的な新駅を設置することはできない	参考	いただいたご意見につきましては、まちづくり関連のご意見として参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>でしょうか。このエリアはちょうど大規模土地転換をする際に計画的な誘導を図るとのことなので、その際には街の持続的な発展の基盤となるよう是非新駅開業を検討いただきたく、よろしくお願いたします。このような大規模な土地はなかなか無くポテンシャルの高いエリアで、平沼橋と西横浜をこのままの状態にしておくよりもプラスになると思います。西区役所・スーパー・医療モール・藤棚商店街等の最寄りとなるため、このまま平沼橋と西横浜を残すよりも駅を中心とした街づくりがしやすいと思います横浜→みなとみらい(→関内)という線での開発も良いとは思いますが、この場所に魅力的な街をつくることで面での開発になり、港区 3A エリア(青山・麻布・赤坂)のようなブランド形成や街の発展に効果的・効率的になると思います。</p>		
<p>みなとみらいへのこれ以上の企業誘致をやめ、緑を増やしましょう。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、みなとみらい21地区のまちづくりや、緑の創出・育成を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ロープウェイの設置 大倉山の自然や小机城址の活用のための再開発をし、その周辺と新横浜駅、病院、公園等を結ぶロープウェイの設置を提案します。駅・病院・スーパー等を結ぶロープウェイは、今後の高齢化社会の課題に対する解決手段になることは間違いありません。この実現には多大な費用が必要となりますが、費用対効果を吟味して、市と民間とが協力して知恵を出して検討すれば、税金を使わなくてもプロジェクトが成功すると確信します。 横浜市は新都心と称していますが、その玄関口として、内外のビジネス会社が集結している新横浜エリアを再開発して更に発展させることは、横浜市のみならず国としても大変有意義なことと信じます。  横浜が先んじて環境のまちづくりを行えば、各都市においても、このような自然を大いに利用したまちづくりが進められると思われまますので、まずは横浜市がその見本となるようなまちづくりを我々の知恵を出し合って進めていきたいと思ひます。現在進められている相鉄線の新横浜乗り入れは、その先駆けとして後押しをすると思われまます。 今後、時間計画を入れた詳細なスケジュールを組む必要がありますが、まずは、このような開発に対する取り組みが取り上げられる事を強く希望します。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、花と緑にあふれる環境先進都市の取組や新横浜都心とその周辺のまちづくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>みなとみらい 21 地区の街づくり 関連政策：19 政策 19 のみなとみらい 21 地区のまちづくりの推進施策に記載されたように、大規模街区等の開発をすすめ企業誘致を図ることは大事ですが、そこにエンターテインメントの集積がなぜ必要なのか理解できません。 企業の本社機能や研究開発拠点などの誘致を進めるということはビジネス街を作るということです。近くにはマンションなどもあり、更には外国人派遣社員用のサービスアパートの建設も計画するなど職住隣接地域になります。観光として、また MICE の「I」と「E」としては、音楽・芸術などの文化・芸術の場と、海と緑の公園、遊園地、歴史的建造物で十分ではないでしょうか。 MICE 推進でもギャンブルとは関係ない、大人も子供も楽しめる現在のみなとみらい地域に相応しい形に作り上げるような戦略、政策、施策を立案されることを期待します。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策2「みなとみらい21地区のまちづくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>現市庁舎の移転後の活用法を、広く市民の意見を聞いてください。今『市民ギャラリー』は野毛の山の上で、行くのが大変不便利です。移転後の現市庁舎を、「第 2 市民ギャラリー」その他の文化施設として利用できるようにしてください。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策4「関内・関外地区の活性化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>新庁舎移転後の関内駅周辺の「まちづくり」や「コミュニティーづくり」をどのように進めるのか、もっと積極的かつ具体的に示してもらいたい。同時に従前の庁舎維持費やいくつかの借りビルの家賃などの総計額と新庁舎建設費及び移転に伴う総額維持費用との費用</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策4「関内・関外地区の活性化の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。また、費用対効果については、横浜市 HP や広報よこは</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
対効果を市民に分かりやすく、あらゆる広報媒体を通じて明示してもらいたい。		ま等にて広報を図っておりますが、引き続き努めてまいります。
<p>概要を拝見しましたが、林市長の市長選公約にもあったはずの「LRT」という文言がどこにもありません。検討の結果「高度化バス」なるものに化けてしまったようですが、その検討過程など市民には一切明らかになっていません。2020年以降の再検討という文言も入っていません。</p> <p>市の発信を見ているとときに「都心臨海部の回遊性」という言葉が出て来ますが、バスで回遊性が担保出来ると本気で思っているのでしょうか？</p> <p>バスは通り過ぎてしまえばただの道路です。目の前の道路がお目当てのバス通りかどうか外来者にはわかりません。そんなところで安心して回遊出来るでしょうか？</p> <p>多少邪魔であっても「常に」そこに存在する、それこそが大事なのであって、バスがシンボルになっている街など聞いたことがありますか？</p> <p>藤沢市で、5月28日から新たに連節バスが走り出しましたが、メディアでも一切取上げられていませんが、その程度の認識ということですか？</p> <p>ことに横浜は世界の大都市との都市間競争も見据えている筈です。シティセールス上、連節バスなんかに担わせて本当に良いのでしょうか？</p> <p>世界中の投資家から笑われないようにして下さい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策5「都心臨海部における回遊性向上の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>施策37で国際競争力の強化に反対はしないが、市民の潤いの場所を犠牲にしてほしくない。</p> <p>大型客船接岸のために？大黒ふ頭スカイウォーク下の公園が潰されてしまい、手軽に海辺に近づける場所がなくなった。</p> <p>花いっぱいにするのに加えて、川べりなり海べりに安く(無料)気軽に近づけるようにすることが、市民生活を豊かにするために必要だと思う。</p> <p>京浜臨海部の一部を、川崎市の東扇島西公園のように市民に開放してほしい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
山下公園・中華街をもっと整備して道を広げることにはできないのか。	参考	
<p>政策19 都心部</p> <p>都心部の政策は新規がなく、インフラ関連が多いです。インフラ関連は多年度に渡るので、この事業量(費用)は高いけれど、仕方ないのだらうと考えます。</p>	参考	
川崎武蔵小杉を考えると新横浜高層ビル高さ制限昔のまま、その結果が小杉にすべて取って代わる。ますます発展差が生じる。	参考	
<p>P68 政策 19 魅力と活力あふれる都心部の機能強化</p> <p>◆政策の目標・方向性について</p> <p>本施策をより実行力のある形で推進するために、原案につきまして新たな項目を追記することを提案いたします。</p> <p>(案)</p> <p>・国際的に最先端の企業誘致を目指す為に、より強靱なインフラ整備を構築します。災害時の業務継続に必要なエネルギーの安定供給が確保される業務継続地区(BCD)の構築を目指します。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」を進める上で参考にさせていただきます。機能強化にあたっては、強靱なインフラ整備や防災性にも配慮しながら進めてまいります。</p>
市役所のあと地は市民利用のために	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策4「関内・関外地区の活性化の推進」に含まれると考えておりますが、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>まず第一に絶対条件として新横浜の都心部を強化し、篠原町も強化すると言及されていたのですが、だいぶ昔より課題となっている部分になる篠原地域の強化を強く希望します。</p> <p>というも、ハブ化しようとしている新横浜で、最近新しいマンションやアパート、戸建などもどんどん増え、人口も増加しているなか駅の裏側に当たる篠原には道路の狭さゆえに歩道がほとんどなく、よくあることなので通報とかもしないので、問題にはなってませんが軽い接触事故も多く発生してますし、歩道などの確保は最重</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策6「新横浜都心とその周辺のまちづくりの推進」に含まれると考えておりますが、いただいたご意見の趣旨を踏まえながら、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>要候補ではないでしょうか？ 私の家の下にも空いてる土地が大きくあったりするので、メイン通りに作れないなら裏を歩道で通すなど、これから開発していこうというのであれば何か対策しなければいけない問題だと思ってます。</p> <p>先ほど言わせていただいたのが一番言いたいことなのですが、あとはもう少し裏にちょうど大きい空き地があるので、そのうまい活用ともうすこしスーパーなど店舗を増やしてよりよいまちづくりなどでできればと思ってます。</p> <p>歩道関係に関しては急務で絶対的条件だと思いますのでお願いします。</p>		
<p>ヨコハマ国際戦略 都心臨海部化開発は市民参加（公募や関係団体・専門家から委員を選出）で計画をつくること。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略4(1)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～成長と活力を生み出す都心部～や政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」に含まれていると考えておりますが、いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>1. 都心臨海部の活性化について →【戦略4】【政策19】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなとみらい21地区の開発完了を見据え、開発着工当初のマスタープランと現状との相違をよく検証した上で、今後のエリアマネジメントのあり方について、具体的に調査・検討を進めていただきたい。さらに、地区全体を活性化するためにも、公共空間をより有効活用できるような制度づくりを検討していただきたい。</li> <li>・今後、人口減少や都市間競争の加速化などの課題に直面する中で、職住近接の実現により、より働きやすく住みやすい都心を形成するために、特に関内・関外地区において、進出企業（特にIT産業等先端企業）へのインセンティブとなるような制度づくり・規制緩和を検討していただきたい。</li> <li>・都心臨海部をより魅力的な街として発展させるため、コンパクトシティの発想を持ち、企業誘致インセンティブと合わせて、住宅用途に対する用途規制や容積率規制などの大幅な緩和を進め、よりミクストユースで魅力ある都市となるよう推進していただきたい。</li> <li>・都心臨海部の回遊性向上や連携強化のために、接続バスや水上交通等の多彩な交通の充実に向けて引き続き取り組んでいただきたい。また、コンパクトシティ実現の観点から、自転車の活用を推進するための自転車通行空間整備等の環境整備についても引き続き積極的に進めていただきたい。</li> </ul>	参考	
<p>未来の横浜は「横浜駅周辺の高速道路を地下化」することが最大である。当時誰があの場所に決めたのか。もしあの時違った選択をしていたならば、非常に残念である。横浜の最大の弱点は横浜駅である。駅周辺のプロジェクトが進んでいることはよく理解できる。ところが完成済の鶴屋橋の添れは増大するばかりだ。中期4カ年計画の計画のねらいに住みたいまち、住み続けたいまちとある。橋を恥ずかしくて通行できない人もいる。花と緑にあふれる環境先進都市とあるが鶴屋橋にプランターが並べられていたらと思う。38の政策とあるが39として「横浜駅隣接地の質の向上」としてはどうか。その位の価値は充分ある。みなとみらい地区をいくら発展させようと、横浜駅の改善なくしては、横浜の発展はあり得ない。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略4(1)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～成長と活力を生み出す都心部～や政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策1「横浜駅周辺・東神奈川臨海部周辺のまちづくり」に含まれていると考えておりますが、いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>新横浜駅周辺の篠原口への都市開発にも力を入れていただきたい。</p> <p>ご存知の通り篠原エリアは駅の本当に周辺でさえ区画が整理されていないところか、歩道も整備されていないため子供や高齢者が歩くにはとても不便で危ない状況ですし、ビルや建物も老朽化しているものが多いです。</p> <p>駐車場だけはものすごく多く、その駐車場の一部を市営の何かするや、正確に必要な商業施設を誘致いただけると住民としては非常に嬉しいです。</p> <p>このコメントの背景ですが、今後、相鉄・東横乗り入れ、北西線など交通が便利になることで、国内だけでなく海外の方も多く新横浜を利用することになるかと思えます。</p> <p>そのような横浜を代表する町の1つである新横浜が、新幹線ホームから見える篠原の町並みは、歩道が狭く、古いビルや、景観を</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略4(1)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～成長と活力を生み出す都心部～や政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策6「新横浜都心とその周辺のまちづくりの推進」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>悪くするような大きな看板など、正直出遅れております。 友人と話しても、「篠原って、あの新幹線ホームから見える、田舎のエリア？」とよく言われ、ストレートにいうと新横浜の魅力価値をとて下げています。 以前馬車道に住んでおりましたが、横浜を代表する観光エリアだけに非常に景観が良く、都市開発も頻繁です。 逆に頻繁すぎて、横浜美術館付近の歩道など、十分綺麗で補修必要のないのに、改修され植物も植え替えられといった少し過剰な部分もあるように個人的には感じる部分もあります。 「横浜市」ということなので主要な部分は顔としてこれからも発展を続けることは大事だと思いますが、もう少し周辺の都市改革もせめて中期計画では織り込んで、そのような検討をいただくと、将来ビジョンが見えるだけでも、期待が持て、横浜市と一緒に応援していきたいという気持ちになります。 ご検討をお願いします。</p>		
<p>横浜駅周辺は当たり前の開発行為を続けるだけでは、Passされる街になる可能性が高い。人を引き付ける魅力に乏しいためである。実際、買い物以外に見るべき施設がない。人の目を引き付けるような仕掛けづくりを官民一体となって考える必要がある。 また、駅周辺への企業の誘致も積極性がより求められることになる。アクセスについてメリットがない地域になってしまうゆえに働く場を誘致し、行かねばならない目的理にする必要があるからである。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策1「横浜駅周辺・東神奈川臨海部周辺のまちづくりの推進」に含まれていると考えておりますが、ご意見も踏まえながら、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「戦略4」中「魅力あるまちづくり」に関連し、具体的に「関内地区の再開発」を取り上げること。ご案内の通り、当地区は現在でも空ビル、空室が多く、市庁舎が移転後は分庁舎（多くの）が空室に拍車をかけ、特に尾上町の大通りは物流拠点等、ある意味でスラム化が進むと思う。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策4「関内・関外地区の活性化の推進」に含まれていると考えておりますが、ご意見も踏まえながら、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>にぎわいと回遊性という点では、水上交通の新規展開を期待したい。湾岸部に展開される運河は、台風等にも強く、定期的な運航も可能であると聞いている。しかるべきクルーズ船で、優雅に観光もしくは都心へ通勤ができれば、横浜らしさの演出になると考える。もっと海（運河）の活用を前面に押し出してもよいのではないか。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策5「都心臨海部における回遊性向上の推進」に含まれていると考えておりますが、ご意見も踏まえながら、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>“歴史と最新技術が融合した街”という表現は、美しいものですが、山手地区の本通りのみしか整備されていない散策道、「これが？」と外から来られた方々を招待できるような状況にはないとも言える“山手公園”本牧自体（無計画？なマンションの乱立は“本牧”というイメージを随分そこねています）などから馬車道—伊勢佐木町若者が創るクリエイティブな黄金町や日の出町あたりまで、&lt;この地域を回ってがっかりされる方は多いです→簡単に言えば“みなとみらい地区を見て回ればそれで横浜”を感じたようになっている新しく住民になられた方や観光客が殆んどだと感じられます。大きなホテルひとつくらいしか建っていないで、マリンタワーも古さを良さに変える風情、バンドホテル、山下公園（は今もとても余計な手が付かず良いと思います）らが並んでいた2000年前後の街と今のどちらが横浜らしいかと問われたら、個人としては25年前の方に良さを感じます。もっとコンセプトを明確にした文字通りの“みなとみらい”の街づくり、個々個々もひとつひとつ大切に個性を發揮している。もっと個性豊かな街となることを望みます。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」や政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」に含まれていると考えておりますが、ご意見も踏まえながら、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>都市の魅力は「街並み」の美しさと緑の多さ、町で暮らしている人々の暮らしぶりにあると感じています。日本人にとっても外国からの人たちにとってもそうです。古い建築物を取り壊して新しいビルを建てるのは市の魅力をそぐこととなります。町並みの保全、商店街や市場の観光資源化を望みます。</p>	参考	<p>ご提案の趣旨につきましては、素案の政策5「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」の主な施策6「都市デザインによる魅力あふれる都市空間の形成」や政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」等に含まれていると考えておりますが、いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>新市庁舎の建設や高速道路などに莫大なお金をつぎ込むことは、本当に住民を無視したやり方です。</p>	参考	<p>素案の政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」の主な施策4「関内・関外地区の活性化の推進」や政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
新市庁舎について、今の庁舎でなんでダメなのか。耐震もやったのでは。私（一般市民）は、市庁舎など用事がありません。区役所で事がたります。	参考	新市庁舎の整備は、平成3年に学識経験者や市会議員、市民の皆様を含む各界の代表者などで構成された「横浜市新市庁舎整備審議会」を設置してから、これまで20年以上にわたり検討を続けてまいりました。現市庁舎の抱える執務室の分散化や年間20億円を超える賃借料負担の解消、危機管理機能の強化などの喫緊の課題を解決するため、早期に新市庁舎の整備を行う必要があると考え、整備を進めているところです。
新市庁舎に予算を使わないで下さい。	参考	
新市庁舎の件：何故、臨海部に作るのか全く理解不可能。埋め立て地で地震、津波が来たらどうなるか 3・11 で経験済みなので、市の幹部（建設局/土木部あたり？）は、もっと最適の場所を**なかったのか？しかも1,000億円近くのお金を投資して、市民のための福祉はまったく寒い状況だ。「ハコモノ」行政は、即やめて下さい。	参考	
新市庁舎の建設既に動き出しているものだがこれは無駄の見本である。都庁に次ぐ無駄な建築物。この予算の為に大事な施策が予算不足で切り捨てられている。今とこれからの時代を読むならこんな無駄を推進する有識者の考え方は時代遅れである。	参考	
新市庁舎はいらない。	参考	
新市庁舎はいらない。今の市庁舎は耐震工事をしたばかりです。	参考	
新市庁舎は止めて下さい。現庁舎で十分に執務が出来る筈です、面積が不足ならば仕事の仕方を工夫して職員を増やさなければ対処できます。	参考	
新市庁舎は凍結が良いと思います。	参考	
新市庁舎は必要ない	参考	
新市庁舎は不要です。お金の無駄使いです。	参考	
新庁舎 (1) 新市庁舎の計画は以前からあった計画から膨大に膨れ上がった予算となっている (2) 全市民のうち市庁舎に向く人が市民の何パーセントと踏んでいるのか (3) 耐用年数を何年とみているのか (4) 商業地区からの収入をどの程度見込んでいるのか (5) 旧市庁舎は飛び飛びで使いづらかったと思うが、予算も考え、市政のみの重点的な質素な建物としてほしい。	参考	
新庁舎整備など大型公共事業に税金を投資しないでください。	参考	
建設業者の為に使い捨てはやめ、もったいないの日本文化を大事にし、新市庁舎はやめ、補修補強でなつかしい現庁舎を残すべきです。	参考	
中期計画に含まれていない事ですが、現市庁舎跡を民間に売却するか？して、新市庁舎の借入金を減らすのでしようが、今の横浜市で最も欠けている「知の再構築」をする為に横浜市立大学の金沢八景校舎から、関内駅前に移転させるべきと考える。金沢八景校舎は、市の隣接都市（横須賀／三浦／逗子／葉山／鎌倉／**）という人口減少・空家問題を解決する為に公立大学法人を出資して居抜きにて八景キャンパスに開設するとよい。加えて、横須賀市にある神奈川県立の保健福祉学部も統合するとよい。そして、神奈川県は横須賀にある一学部を平塚に移すとかして、県央部に県立大学をつくらせるとよい。東京流出をストップさせる！！	参考	素案の政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」や政策8「大学と連携した地域社会づくり」に関するご意見として、参考にさせていただきます。
政策20 市民交通 この政策は今までの延長で、あまり問題がないと考えます。駅や道路は各区、各地域で、進捗にバラつきがありますが、長い目でみれば進みます。	賛同	素案の政策20「市民に身近な交通機能等の充実」について、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
「38の政策」の20、地域交通維持の件、社会の高齢化に伴い、路線バスを赤字にならない範囲でデertime（高齢者乗車割合多い時間帯）に着席乗車できる程度の便数を維持していただきたい。最近マイカーを控え、公共交通を利用しよう心掛けていますが、デertimeの路線バスが意外に混んでいる状況を体験します。健常者であれば立席でも構いませんがノンステップエリアの席が満席だと、高齢の方も立席か、うしろの階段を登る席へ進むことになり少々危ない場面に遭遇したことが、あります（両手に荷物を持って降りるとき階段から落ちた。幸いケガはされ	参考	いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策1「地域交通の維持・充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>なかった様子でしたが、運転手さんも、まわりの乗客もびっくりした。                      (市バス25系統の利用者。この路線は、営業係数70程度の黒字路線です。)あのお客さんがケガをしていたら、その対応のため、運行停止になるところでした。</p>		
<p>「政策20」主な施策1(市民に身近な交通機能等の充実)                      高齢になると、車の運転もままならなくなり、移動手段の確保が大きな問題となります、買い物、病院、区役所、駅など街の中心部に行くのに、公共交通(路線バス)のみでは十分ではありません。少しの距離でも歩くのが困難となり、外出が億劫にあり、家に引き籠り健康を損ねることもなります。そこで、住宅地域と街の中心部をこまめに循環する「コミュニティバス」的な移動手段があると高齢者の外出を助け、曳いては介護予防にも役立つと考えますので、「コミュニティバス」的な移動手段の検討をお願いします。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策1「地域交通の維持・充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。                      いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策1「地域交通の維持・充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>20 市民に身近な交通の維持・充実                      地域交通の維持・充実について提案します。                      1) 身体的弱者・高齢者が安全・安心して移動できる交通手段の開設                      ・鉄道駅—病院—公共施設—福祉施設を巡るコミュニティバスの開設                      2) 災害・事故による鉄道不通時の代替交通手段の強化(陸の孤島化対策の強化)                      過去に車両故障で長時間運休大混乱し足止め多数、人身事故による代替交通対策少なく数時間の足止め有り。                      ・鉄道各駅(特に各停駅)と他社線乗り換え駅間のバス路線の開設                      ・臨時バス手配の義務化                      ・運休時シミュレーションで手配手順を事前に策定                      &lt;開設ルート要&gt;                      ・東急藤が丘—東急あざみ野・小田急町田                      ・東急青葉台—小田急町田・新百合ヶ丘                      いづれも鉄道会社負担を前提とする。</p>	参考	
<p>市民が生き生きとした生活を送るには、交通網の確保はまず一番の重要施策だと思います。横浜市旭区は坂が多く、バス停や駅に徒歩15分以上掛かる地域が最も多いのが実態です。そして、高齢者人口も多いなかで、不自由さを感じている方がとても多いです。要望を寄せられた自治会がコミバスの運行を願い、市に要望を出しても、「予算が無い」との理由で実現してません。そんな中、やっとできた「四季めぐり号」が10月に運行停止を聞き、がっかりしています。これは料金が高いから利用する人が減ってしまったからでは無いでしょうか？何故、敬老バスがコミバスだと使えないのでしょうか？相鉄や京急には敬老バスがつかえて、二重交通には例え70万円の赤字でも補助できないのは不公平極まると思います。お金がないとは言わせません！補助金を湯水のごとく使っているではありませんか！買い物でも何でも、自由に出かけることが出来れば、町の経済は潤い、市も発展します。                      施策①コミバスでも、ミニバスでも横浜市が責任をもって、敬老バスが使えるようにすること。                      ②「四季めぐり号」の廃止をしないで、補助をして続行をすること。</p>	参考	
<p>瀬谷に住んでいるが、交通の便が悪い。70歳まであと3年だが、敬老バスも高く、使える所が少ない。                      同じ市民税を払っているが、バス便は少なく、また、大和市と川を隔てた所では、バスが走っておらず、片や大和側には走っている。エリアが違うだけで、こんなにも不便をしいられる。まるで、田舎のかそ地のような。道も細いので、コミュニティバスでも良いので、何とか通してほしい。皆、切実に希望しています。</p>	参考	
<p>是非お願いがあります。38の政策の中に、超高齢化社会への挑戦があります。この中に在宅生活を支える地域密着型サービスの充実がありますので、次の点考えて下さい。                      私は現在、二俣川と鶴ヶ峰の間にある四季美台分譲地に住んで</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>おります。ここには現在5年位前からコミュニティバスが50分に1回運行されています。(1回300円)</p> <p>20年以上前には鶴ヶ峰、二俣川間にバスがあり、私もこれを利用しておりました。現在はコミュニティバスを利用しています。ところがこのバスが今年9月でとりやめになるとのことです。そこでお願いです。是非考えて下さい。</p> <p>老人向けの新しい施策よりも、現在のバスを是非継続して下さい。市営バスなどが運行されているところは年5000円出すと無料バスがでるとのことですが、私どものコミュニティバスを市の力でなんとか継続して下さい。これがなくなると、(現在毎日100人以上がのっています)老人は全く動けなくなります。高齢者の運転をやめることを指導されていますが、事故起こす前に是非現在の交通手段をとりやめないで下さい。</p> <p>最寄りの駅まで医者通い、買物をするととなると往復で1770円かかってしまいます。是非継続して下さい。</p>		
<p>バス経路について、少人数だから廃止?とか聞きますが、主要道路と枝道路と両方必要重要です。ノンステップのバス利用は生活していく上で欠かせないと思います。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策1「地域交通の維持・充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>年寄、学生、サラリーマンが使い勝手のいいバス路線にしようとしていません。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策1「地域交通の維持・充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>11番バス路線のような「生活維持路線」を将来共に必ず確保し、減便ではなく乗降客の利用実態に見合った客観的な根拠に基づく見直しと継続した補助金確保こそ重要。</p>	参考	
<p>交通困難地域にミニバスを走らせてください。</p>	参考	
<p>高齢化により、住まいによって買物、通院も大変。公共交通・バスなどどこに住んでも利用できるようにして下さい。</p>	参考	
<p>高齢化社会への対策 高齢の方の交通事故が多発しているため、地域バスの充実をお願いします。 歩行困難な方が、なるべく外出できるような体制づくりをお願いします。</p>	参考	
<p>政策20と36に関連して 横浜市の交通ネットワーク計画として、都市の都市インフラの強化については、かなりの市税を投入して大規模な計画が示されているが、地域住民の生活と移動を支える対策としては、地域の共助にたよるものになっている。もっと公的財政の確保で、コミュニティバスの運行ができるプランをたてて実行することも求める。</p>	参考	
<p>西区は高齢者も多く、山坂も多いです。ミニコミュニティバスを巡回して、高齢者も出かけやすい環境を整備すべきです。</p>	参考	
<p>大型開発よりもっと市民向けの細かい心暖かい施策、例えば生活交通路に年寄りが簡単に往来できるような交通機関網を検討して欲しい(坂道の多い住宅街が多い団地)など。</p>	参考	
<p>地域住宅地域を回る巡回バスの充実に力を入れる。</p>	参考	
<p>鶴見行きのバスが7時42分から18時50分、1時間に1本です。10時、14時台はありません。マンション、東電、老人ホーム、スーパーが来て区でも住民がふえました。以前は矢向～江ヶ崎～鶴見でした。1時間に2本はあったそうです。矢向の方が江ヶ崎まで行くと時間がかかると反対されたそうです。ぜひこれをよろしくです。</p>	参考	
<p>日頃、市・神中バスを利用しています。市バスは大変不潔です。ベトベトしています。上大岡から港南台駅行きの運行数が少なく不便を感じています。特に土日は時間通りに来ません。一方、大船行きは多いので、港南台駅行きにまわしてもらえれば大変助かると一考を念じております。</p>	参考	
<p>年々“市民の足”であるバスの運行数が減っています。都会といえども、自動車を運転していない人が大勢います。買い物や医療機関に行くのに、大変な思いをしている人がたくさんいます。大型開発をしてもすぐつぶれてしまうのなら市民の為の公共事業をするべきです。</p>	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>体の不自由な人の為にバスは座席を確保してくれてますが上の吊革まで色分けしてない車が多いようです 市の地下鉄では吊革も黄色にしていますがバスは色々の会社が入っているのか守られておりません 体の不自由なひとがいても座って目をとじていたり我関せずの傾向がありますが本当に不自由の人が乗って来たらどうしたらよいでしょうか</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策1「地域交通の維持・充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、つり革の色を変えるといった工夫は交通事業者が独自に行っております。 市営バスのつり革の色に関しましては、黄色のつり革に変更されたバス車両に順次更新を行っており、今後も拡大していく予定です。</p>
<p>上大岡バス停の事 桜木町、横浜行き2番バス停、風当たりが強くいつもこわい思いをしています。バスは中高年層が利用しますので、とてもこわい思いをしています。前面にアクリル板の風よけを付けて欲しいいつも思っています。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策1「地域交通の維持・充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、バス停の設置・管理はバス事業者により行われております。</p>
<p>磯子区汐見台地区の市バスの循環数が年々減らされ、住民が不便を感じています。民間バスの参入、市バス運転士の合理的勤務体系の確立によって運転台数が増やせないか。ご検討をお願いします。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策1「地域交通の維持・充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、磯子区汐見台地区のバス路線につきましては、平成28年4月より民間バス事業者が全便運行を行っております。</p>
<p>みなみ台は長津田と十日市場にあり、みなみ台経由のマイクロバスの運行</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策1「地域交通の維持・充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、生活に密着した交通手段の導入に向けた地域の主体的な取組に対しては、実現にいたるまでの活動に対して支援を行う「地域交通サポート事業」を実施しております。</p>
<p>バス停について 中区本郷町に住んでおりますが、元町トンネルから山手警察までの両方向(麦田町～小港)間古いままなので、屋根付、椅子付、電光掲示板の新型に変える予定は無いのですか？</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策1「地域交通の維持・充実」を進める上で、参考にさせていただきます。 なお、市営バスが運行している麦田町から小港間では、商店街のアーケードや歩道幅員の課題があり、上屋やベンチを設置できる箇所は少ないと考えておりますが、改めて現地調査を行い、バス停留所設備の更新について検討させていただきます。</p>
<p>政策 20 歩行者・車・自転車の動きを明確に表示し、安全性を高め、取り締りも市民の安全のためという視点でしっかり取り組んで欲しい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>【20. 市民に身近な交通機能等の充実】歩行者の安全確保として、歩道の充実（拡幅）と整備を是非進めてほしい。これにより各施策にも資する次の効果が期待できます。 1 少子高齢化が進むなかで、子供やお年寄りが安全に歩ける。 2 車椅子等の障害者が安心して通行できる。 3 歩く、走るなど健康づくりのきっかけとなる。 4 震災時における徒歩帰宅の安全性が確保できる。 5 樹木等の植樹により、緑あふれる環境を創造できる。 6 外出する機会も増え、人と人との繋がりが生まれる。 7 観光客による混雑の緩和と回遊性が生まれる。 また、みなとみらい地区の横浜美術館から日産本社ビルに至る歩行者専用道路は高層ビルと緑が調和した素晴らしい環境だと思えます。残念なのは、各街区を隔てる道路や歩道橋により一体性が損なわれていることです。横断歩道を拡げ、横断するための時間を長くとり、自動車優先ではない、真に歩行者のための道路となれば他都市に誇れる道になると思います。</p>	参考	
<p>38の政策の20の箇所について ・永田台の交番から児童遊園地方面の遊園地道路は狭い上に交通量が多い。歩行者通路の多くに電柱が立っており、歩行者は車道に出してしまう。非常に危険を感じる。(特に雨の日等)車のスピードも30Kの制限速度を40K以上出している車も多い。 ・警察のチェックも全く無い状態である。 ・電柱の対策、警察の週1～2回のチェック等を望む。 ・議員も地元をしっかり見ているのか疑問である。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>歩道確保要請 磯子 6 丁目バス道路、広町一笹堀(市営、京急、江ノ電)通る、50 年住み市民税、区民税も納付しつづけていますが、一向に改善されません。 直進道路で大型車もたくさん走ります。信号の変る前に通過しようと、スピード up。開発された当初より住む住人は 80 代以上。運転免許も返上。安心して歩けるよう歩道の確保を強く要請します。特に雨の日は傘もひっかけられそうです。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>一部の道を一方通行させてもいいのではないだろうか。</p>	参考	
<p>古い分譲地で近年建て替えが進み、以前より壁が出っぱり見通しが悪くなり、グリーンベルトをあるいてあわや、はねとばされそうになった。何とかとんでさけて何を逃れた。市に注意の標示を願い出たが、予算がないとそのままだ。</p>	参考	
<p>身近な問題として鴨居駅前道路の泉谷寺に抜ける部分は歩道と云えるものもなく、朝晩の交通量を見ると危険だらけです。格好を付けず身近な市民の安全をすぐに実行し欲しいもの！！</p>	参考	
<p>生活道路を整備してください。何十年も前に話題にのぼっていたのに、今だに歩道ができません。信号赤で片側車がとぎれるのを待って歩いています。</p>	参考	
<p>生見尾踏切の閉鎖に反対します。 歩線橋を作っても津波等の緊急避難時には踏切の方が早くて安全です。</p>	参考	
<p>中山駅南口再開発はいよいよ本格的な動きになってきました。「結婚してから 50 年来の課題が解決される」「ようやく緑区の区役所の街がきれいになるかと言う声を聞きます。そこで、「川和踏切立体交差化」問題も至急に推進していただきたいです。何回となく、「中山駅踏切の立体交差化と南口再開発は連動しています。」ということをお聞きしていますので。 南口再開発、踏切の立体交差化等々で、「みんなが集い、生活する、ようやく本格的な街」になる条件が整うのではと思っています。</p>	参考	
<p>踏切の立体交差化について 中山駅踏切(川和踏切)は、2013 年に死亡事故が発生し、朝夕を含めた交通の混雑を含め、立体交差化による踏切の除却を求めてきました。(署名や直接要請) 市は、川和フォローの立体交差化を平成 32 年までに着手するとの方針を公表してきました。 立体化事業の概要等を公表し、地域住民の意見要望を聴取すべきと考えます。</p>	参考	
<p>緑区中山駅(JR)川和踏切の立体交差化を予定通り 2020 年事業化を明記して位置づけて下さい。</p>	参考	
<p>20 市民に身近な交通機能等の充実について意見 栄区環状四号線(たまや付近～長倉町の区間)歩道が狭く、自転車通学の学生、幼稚園送迎の婦人、買い物の方々が大変危ない目に合っています。なので電信柱を地中に埋めて下さい。強風時電柱が倒れ交通が遮断されたこともありました。歩道が拡張されるので是非実現して下さい。</p>	参考	
<p>弱者にやさしい街づくりをしてほしい。せまい歩道の改善、歩道橋は横断歩道になど。</p>	参考	
<p>「地域コミュニティの視点に立った課題解決」という基本姿勢のもと 3つの計画の構成の中の中長期的な戦略3、戦略4に関連した事柄について考えていることがあります。 本郷台から飯島町交差点にかけての道路事情についてです。 ○歩道がせまいこと ○横断歩道の位置 ○江ノ電バス停(飯島上町)の確保、広さにゆとりがありません。 本郷台から市民の森バス停へ向かう道は広いにもかかわらず、市民の森バス停から飯島町交差点に向かう道はとても狭く2人がすれちがうこともむずかしいほどです。 高齢者として健康で自立した生活を継続するためにも安全で安心</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
な道路づくりを希望します		
<p>20. 歩行者の安全…について、私の意見を。                      青葉区の歩道は、車のための歩道＝車道に整備されている箇所が沢山見られます。私有地(車庫)の土地の高さに合わせるため、車道と私有地間の歩道に大きな傾斜がつけられています。その為歩行時にバランスを崩す事が度々あります。車椅子は車道へ傾き大変危険です。軽いベビーカーでも恐怖を覚えるのではないのでしょうか。市道に面した歩道は市道と思われませんが、なぜこのような歩道(車のための歩道)を造るのでしょうか。車には馬力があります。段差は車力で乗り越え、歩行者、車椅子、ベビーカーには、平坦な歩道の確保をお願いいたします。                      横浜市の街づくりは、心遣い、優しさが足りないように思います。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、現在本市では、歩道の新設や改良時には、歩道と車道の段差を必要最小限とした「セミフラット形式」を標準として整備しております。</p>
<p>夫は 88 才で車イス利用しています。街を共に歩いて一番困る事は、歩道が段差でポストを利用する事にも大変危険です。                      横浜市全体の道路をシンプルにすること。点字ブロックのみは使用して透水性アスファルトにして、歩道の段差の代わりにポールを立てる事によってつまづきもなくなり老いも若きも乳母車も大変に歩きやすくなります。</p>	参考	
<p>ここ数年、近所で「停止線」や横断歩道の白線が消えかかっているのをよく見かけます。特に、青葉区桂台一丁目の桂台小学校周辺の「止まれ」の線は、5、6 年も前から消えかかっており、停止せずに走る車も見受けられ、とても危険です。緑化、ガーデンシティも結構ですが、それよりも先に、まず、停止線などの白線の塗りなおしをお願いします。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、停止線(止まれ)や横断歩道については警察の所管ですので、具体的な補修等の要望については所轄の警察署までご相談ください。</p>
<p>通学路についてはできるだけ一方通行を徹底させる。自転車も守らせる。また、自転車については専用路線を確保(歩道上を走行させる場合は車両と並進させ逆行させない)</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」及び主な施策5「自転車施策の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜は歩道整備の遅れが目立つと痛感しています。しかも交通法を拡大解釈した自転車の傍若無人ぶり。安心して歩く事が出来ません。何としても歩行者の安全を守って頂けるよう整備を推進してください。</p>	参考	
<p>31. 駅のバリアフリー化。エレベーター利用しやすい所に設置、トイレ今の3倍に増設してほしい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策3「鉄道駅の利便性・安全性の向上」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中山駅南口に、エレベーター、エスカレーターを早急につけてほしいです。地下鉄口からまわって…とか駅ビルの中のエスカレーターとか言われますが、10 時すぎないと利用できなかつたりします。ヒザの痛みを持って JR を利用するには手すりにつかまって登っていくしか方法がありません。外から上っていかれるエスカレーターをなるべく早くつけてほしいと思います。</p>	参考	
<p>中山駅南口にエスカレーターをつけてほしいです。ビルの中のエスカレーターは 10 時をすぎないと動きません。とても困っています。</p>	参考	
<p>20 ページ目                      駅及び駅周辺のバリアフリー化等を推進する、について                      駅以外の場所でも、バリアフリーを進めることを明記してください。自分や自分の身近な人が車椅子で横浜市ですごすことになったら安心して生活できるのかが、今は不安です。                      行政が先頭にたちバリアフリーを進めて、民間があとに続くようにしてほしいです。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策4「バリアフリー化等の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、本市では福祉のまちづくり条例に基づき、駅等の公共交通機関の施設以外にも公共性の高い施設の新設又は改修時に、バリアフリー基準へ適合させるように施設整備者との事前協議を行っております。</p>
<p>2020 年、オリンピックが目の前に来ていて、色々工事も進んでいると思います。私は 3 年前に大阪から引っ越してきて、感じたのは、都会の割に横浜西口周辺は、駐輪場の少ないのにビックリしました。                      大阪では住んでいる街によっても違いますが、いたる所、駐輪場にボランティアのおじさん達がしっかり管理していて、マナーがよかったです。特に西口、ダイエー付近は警告キップが貼られている自転車が多く、これからオリンピックに向け、是非駐輪場を沢山設置して欲しいです。横浜では緑の税金を徴収している割にみなとみらいの方は良いのですが、横浜駅東、西口強化がいまひとつ足りない</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策5「自転車施策の総合的な推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
いと感じます。すっきりきれいな街を望みます。		
20 私達の身近な乗物、自転車あくまでも車輛であることを忘れないように。通行可のない狭い歩道でも自転車は何故か通ります。人をさけて通るべきなのに、私達歩行者が横へどくといった事はなぜ起きるのでしょうか。自転車は幼児から乗ります。この時に守るべき交通法規を親子で学ぶ仕組みを作って下さい。自転車が車道で恐い以上に歩道で歩行者はおそろしい思いをしています。幼稚園、保育園から交通法規を教えるよう条例を作って下さい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策5「自転車施策の総合的な推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、本市では交通安全教育指導員を幼稚園や保育園などに派遣する事業を実施するとともに、保護者向けの交通安全教室を行っております。
① バスの増便 ・森の台循環のバス便を増便してください。 ・1時間2～3便にしてください。 ② 中山駅改札口階からホームに直接行けるエレベーターの設置 ③ 中山駅南口外にだれでも、いつでも利用できるトイレの設置	参考	いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
現状、歩道もない狭隘な道路が地域の幹線として日々危険であったり、右折車線が無いゆえに渋滞が多発していたり、のような状況であり、都市計画道路整備や交差点改良事業を強力に推進して欲しい。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」及び政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策2「都市計画道路の整備」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
自転車走行について 歩道は歩行者優先のルールとなっています。現状では、守られていません。日々恐い思いをしています。特に電動アシスト自転車は、歩道に専用車、バイクが走っている恐さです。自転車の取締りの一時的な事でなく、対策を計画お願い致します。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策5「自転車施策の推進」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
20. 「市民に身近な交通機能等の充実」では身近に危険な生活路があります。安全対策をしてください。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
大都市横浜、おしゃれな街横浜というイメージの横浜ですが、それは山下公園付近や山手、又新しい街みなとみらい近辺だけではないでしょうか。大半は丘の坂や崖に囲まれた入込んだ狭い地形で交通の便の悪い所がたくさんあります。鶴見区の川崎側も川にはばまれ、区の出る中心には大変です。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
大型開発を止めて生活道路の拡充をお願いします。	参考	基礎自治体の施策は、すべてが連動しており重要なものと考えております。いただいたご意見も踏まえ、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」での生活道路の整備についても着実に推進してまいります。
最近ブルーラインを始め車内にパチンコ店の広告を見かけます。未成年者に賭博を助長しているのではないかと感じます。若者の健全育成のため市内を走っている電車内でのパチンコ店に関する広告を規制すべきではないかと思えます。	参考	公共交通全般に関するご意見として、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、車内広告については、交通事業者が独自の基準で規制を行っております。
20. 市民に身近な交通機能充実について 市内では車道が狭く、歩道が独立していない道が多くあると思うが車を運転する立場、歩行する立場とも安心することができない。その様な道は無電住化するのはどうだろうか。歩道を防いでいる電柱が無くなれば、車、人とも安全性が上がる。	参考	素案の政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」において、通学路等の生活道路の安全確保にあたっては歩道設置のほか、路側帯のカラー化や車両速度を抑制する狭さの整備などを推進することとしております。いただいたご意見につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
戸塚駅東口のバス停を降りてから、JR、地下鉄を利用するのは、高齢者、身障者の人は荷物を持っての階段の上り、下りするのに大変で有る。エレベーター及びエスカレーターを設置は出来ませんか。エレベーターがあっても不便な所に有ります。特に地下鉄に行くには階段しか有りません。お願いします。	参考	素案の政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策3「鉄道駅の利便性・安全性の向上」において戸塚駅東口の利便性向上について検討することとしております。いただいたご意見も踏まえながら、検討を進めてまいります。
[意見1] 「戦略4(1)「人が、企業が集い躍動するまちづくり」の「新横浜都心とその周辺」の文章について 「神奈川県東部方面線の整備による交通利便性の向上をいかに、沿線のまちづくりを進めます。」と記載があることから、神奈川県東部方面線の沿線となる鶴見駅周辺のまちづくりについても触れていた	参考	素案の戦略4(1)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～成長と活力を生み出す都心部～及び政策19「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」でのご指摘の箇所については、東部方面線の開業時の停車駅を対象に記載しているものです。いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策3「鉄道駅の利便性・安全

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>だきたい。 [意見2] 「政策 19 現状と課題」と主な施策(事業)6「新横浜都心とその周辺のまちづくりの推進」の文章について 「神奈川東部方面線の整備による交通利便性向上の効果を最大限にいかし、・・・など、沿線の魅力を高めるまちづくりを進め、地域全体の活性化につなげる必要があります。」と記載があるが、神奈川東部方面線の沿線となる鶴見駅周辺のまちづくりについても触れていただきたい。 [意見提出の趣旨] ・2019 年度には、神奈川東部方面線の相鉄・JR直通線が開業、鶴見駅を通過、大崎駅、渋谷駅、新宿駅方面に繋がり県央部から東京都心アクセスが向上することになります。この機会を捉え鶴見駅への同線の停車とホーム新設の要望活動が継続的に行われておりますが、この要望を受け横浜市ではJR東日本及びJR貨物を交え協議や技術的な検討調査を行っていただいている状況であり、費用対効果の調査では事業実施の最低限の判断基準値 1.0 を超える 1.68 の分析結果が出されたとお聞きしております。 このように神奈川東部方面線の整備に絡んで、横浜市としても同線の鶴見駅停車に向けて着実にご協力をいただいている状況があります。 ・最近、隣のJR川崎駅ではエキナカがオープンするなど駅及び駅周辺の整備には目を見張るものがあります。一方、鶴見駅周辺でも再開発ビルに続き、駅ビルのオープンや駅前広場の再整備が行われましたが、川崎駅周辺と比較すると整備の差を大きく感じます。 このような状況を踏まえ、神奈川東部方面線の整備を契機として、鶴見区の表玄関であるJP鶴見駅を中心に、駅東西を結ぶ新たな歩行者動線や京急鶴見駅を結ぶ連絡動線の整備を含む鶴見駅周辺の一体的なまちづくり計画を一步進めていただきたいため。</p>		<p>性の向上」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>地下道は絶対反対！市民のためにならない</p>	<p>その他</p>	<p>具体的なお指摘の内容が特定できないため、ご意見に対する考え方を示すことができません。</p>
<p>上瀬谷に一大国際スポーツセンター(“国際スポーツパーク”)の建設を提案します。 2020年の東京オリンピックも間近です。横浜では野球、ソフトボールが開催されることが決まっています。私の経験からすると、日本は設備面、運営面において内向きで、国際仕様になっていないということです。そのため国際大会を誘致しようとしても受け入れ面でいろいろと不都合や支障があつて、実現まで至らないことが多々あります。私が申し上げたいのは、国際大会を開催するのにふさわしい施設を横浜市が建設、常設するということです。 小中学生の硬式野球ができる球場が横浜市にはないに等しく、県内他市あるいは遠くは静岡県まで行っています。こうした遠距離移動は選手のみならず運転する大人の皆さんの疲労度は大変なものがあり、また危険を伴うものです。 こうした実態を解決するために、上瀬谷という広大な敷地は大変な魅力です。ここに一大スポーツセンター、特に球技を中心として、建設する。その規模は、国際大会開催を視野に入れ、硬式兼軟式野球場(18歳以上用)4球場、硬式兼軟式野球(15歳以下用)4球場、少年野球3球場、ソフトボール専用5球場、さらに野球以外にもサッカー場、テニスコートとかを建設する。 上瀬谷に子供たちが集まる、世界が集まる、こんな素晴らしいことはないと思います。スポーツの夢を上瀬谷に集結させるためには、三ツ沢、保土ヶ谷球場などの統合も併せて検討してもいいのではと考えます。 そして、もう一つの効果は、人が集まることで、地域経済の活性化、新たな産業の誕生、新たな雇用の拡大、さらには国際人の育成をも期待できます。 ぜひ、国際会議の誘致、国際大会の誘致を今後横浜市として積極的に行い、国際都市横浜の名を国内、海外に定着させていただき</p>	<p>参考</p>	<p>いただいたご意見につきましては、スポーツ環境の向上や米軍施設の跡地利用の検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
たいと考えます。上瀬谷を単なる公園にはしないでほしい。ましてやマンション等の住宅地にはしてはいけない。それでは夢も発展も変貌もないと思います。		
長津田みなみ台中心部に郵便局の新設	参考	いただいたご意見につきましては、まちづくり関連のご意見として参考にさせていただきます。
鶴見区江ヶ崎に郵便局を 住民の長い間のお願いです。区の行政に TEL もしました。どこか土地がありますか？と。うわさですが地主の方が声がかかればとおっしゃっていると聞き、行政に TEL(同じ方)しました。又、ある方は区にお願いしたそうです。個人では無理、町会で動いて(町会もずい分昔からお願いしてるそうです)みなさん大へんです。矢向局まで手押し車です。坂道を登り下り江ヶ崎橋を又バス停から* *まで行っています。 中央も大切でしょうが市のはずれの小さな町にもあたたかい光をあたえて下さい。皆様とても老人を大切にしてくれる町。	参考	
政策21 コンパクト、郊外部 施策2 郊外住宅地 郊外は「楽しさ」や「雇用、働く場所」が不足しているのだと考えます。強みが緑だけでは、人口の維持が難しいかと考えます。	参考	いただいたご意見につきましては、郊外部のまちづくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
施策22 住まい 施策2 市営住宅 交通の不便さに言及を 市営住宅は、駅から遠い所が多く、不便です。市営住宅に限りませんが、駅から遠い地域は通院や買い物にバスの充実を	参考	いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」や政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
38 の政策の 21 に「鉄道駅周辺のまちづくりの推進」とあるが、周辺部分は賑いを中心にして少し離れたところは、政策 9・13 等の花・緑・農・水とつながるように表現してほしい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」の主な施策1「鉄道駅周辺のまちづくりの推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
本郷駅前再開発では、待遇が悪すぎる保育士、看護・介護士の住居を是非安価にして下さい。保育園、学童も広い空間をうまく活用して伸び伸びと安全に遊び、鉄道やバス利用の若い人は助かります。	参考	
P73 政策 21 コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり ◆主な施策(事業)1 鉄道駅周辺のまちづくりの推進について 駅周辺に施設を集積する際に、災害時の対応として自立分散型電源の導入やエネルギーの面的融通について検討することを提案いたします。 (修正案) (前略)推進します。なお、整備に当たっては、地域全体での防災性・省エネ性の向上に寄与する自立分散型電源の導入やエネルギーの面的融通について検討します。また、(後略)	参考	いただいたご意見につきましては、政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」の主な施策1「鉄道駅周辺のまちづくりの推進」を進める上で参考にさせていただきます。また、駅周辺の整備に当たっては、エネルギーの効率的な利用や防災性の強化にも配慮しながら進めてまいります。
政策 9 に関して 上瀬谷の米軍が使用していた広大な通信基地が返還されました。区民が熱望している花博は実現しそうですか。瀬谷区には若い人や老人が楽しめる大きな公園がありません。花博の終了後は、どうか大規模な都市公園として、未来の市民へ憩いの場として残してほしいと思います。コンクリートの箱物が出現することのないようお願い申し上げます。	参考	いただいたご意見につきましては、政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」の主な施策5「米軍施設の跡地利用の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
花と緑にあふれる都市としているが、深谷通信跡地は、緑が無く、東京明治神宮のような森となる計画をされたらと思う。瀬谷通信跡地も同様。	参考	
上瀬谷の広い跡地は防災に必要です。	参考	
瀬谷区は人口が減少が課題で、広い基地跡敷地を利用した施設を建設、誘致するのの一策で、とりあえず、博覧会が進めば、インフラはできるでしょうから。 望ましいのはまず雇用です。ついで大学で瀬谷区に大学施設がありません。次いで病院。 企業、事業者、市や財団法人。一例として特別養護老人ホーム。大学グラウンドや生物関係学部の農園などが可能性がありそうです。病院では、産科や小児科などを厚くした病院	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>文化芸術創造都市の実現 大学を連携した社会づくりとありますが、瀬谷通信隊の跡地利用を合わせて考えられないでしょうか。広大な跡地利用を深谷の通信隊跡地のように持て余したつぎはぎ利用ではなく、総合大学の誘致により市北西部の開発の中心に据える。 文化・研究・体育の総合施設を展開し市北西部への人口誘致にもつながる。 また環状4号線上新規交通インフラ(連結バス・モノレール等)を整備し、市西北部の南北ラインの形成を図る。 大学キャンパスと等価交換を行い、市⇄大学にとって相互利益は大きいと考えます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」の主な施策5「米軍施設の跡地利用の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「大型都市開発について」 ①今の私の住まいの周辺では、かつての官公庁の職員宿舍跡地が、民間の高層集合住宅地になってきています。公的土地は、地域住民に役立つ土地としての検討がされてしかるべきですが、いつの間か、民間の高層マンションが建ち、街中が様変わり。 ②大型車のすれちがいむつかしい道路などに建つと、様々な車の出入りが。港湾地帯でも同じ状況が出てきて、街中の交通・保安などに障害が出てくるのではと、気がかりです。 ③都市計画には「市民の声」を。「日本国憲法第8章 地方自治」の趣意を、よろしく願います。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>買い物難民が多発している横浜市。ここにも焦点を当てた政策提言が必要ではないでしょうか？大都会の横浜市で何で？ だってお店が来ないんですから？ 「他の地域へ」へ「横浜市から移動する」という話を良く聞きます。</p>	参考	
<p>市街化調整区域の方向性 関連政策:9, 13, 31 横浜市の市街化調整区域は、市内全用途の22.8%を占めており、郊外区ではその区域が斑模様のように散在しています。これらの地域は無暗な都市化を防ぐために確保されていることとは理解しています。 然るに、市街地調整区域の配置が問題になっているところもあり、地域コミュニティの分断や危ない場所になったりしています。 既に、そのような土地には介護施設等法律で認められた施設が存在している所もあり、恒久住宅などが建っている市街地との再配置は難しいこととは思います。 2030年を目指す戦略の一つである「花と緑にあふれる環境先進都市」作りの一環として、市街地調整区域の再配置と共に、横浜市全域に跨る遊歩道や緑道を網羅することや、都市農業の集約化を図って頂きたいと申します。そして、市部局と郊外区や中間区が同じ目標をもって動くことが、横浜市独自の市区行政の在り方を全国に示すことができ、新たな住民を呼び込む一助となればと願っています。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、都市計画やまちづくり関連のご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>空き家や都市難民対策として郊外エリアのコンパクト化など。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」や政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」の主な施策4「総合的な空家等対策の推進」に含まれると考えておりますが、いただいたご意見を踏まえながら、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>中山駅南口地域は、商店街の通りの狭隘さで、車両や人の通行で混雑。歩道が無く歩行者の危険性が指摘され道路の拡張も含めた開発整備が求められてきました。 今回、再開発の素案がまとまり説明会も行われました。道路の拡張、歩道の確保ならびに中山駅改札階レベルでの、駅前広場までの回廊が整備され、地上階ともエレベーターやエスカレーター、階段で連結され、駅利用の面でもバリアフリーが計られることになりました。 しかし、改札階と駅ホーム間のエレベーターがありません。市サイトでは、地下鉄中山駅のエレベーター利用を案内しておりますが、経路が判りづらく、3本のエレベーターを利用しての移動となるため時間もかかること等から不評です。しかも駅前バスロータリーが</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」の主な施策1「鉄道的周辺のまちづくりの推進」に含まれておりますが、いただいたご意見を踏まえながら、事業検討の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
現在の所から更に離れたところに移動します。 今回の中山駅南口開発にあわせて、JR 中山駅改札階と駅ホームを直接結ぶエレベーターの設置を要請するものです。		
泉区の通信線の跡地の利用ですが、斎場の増設を希望します。戸塚斎場では7日～10日以上待たされるとの事を聞いています。	参考	深谷通信所跡地の利用計画として斎場整備は考えておりませんが、超高齢社会の到来により今後も増え続けていく火葬需要への対応として、素案の政策17「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」の主な施策5「新たな斎場及び市営墓地の整備」で掲げましたとおり、東部方面（鶴見区）で新たな斎場を整備してまいります。
政策21 主な施策 1 鉄道駅周辺のまちづくりの推進 3 地域まちづくりの誘導・支援の推進 私は市営地下鉄グリーンラインの都筑ふれあいの丘駅周辺のまちづくりに取り組んでいる。 最大の課題の一つが安全面での交番の設置問題である。神奈川県警察本部では要望が多く順番待ちで実現の見込みが立たない。 他の都市で実施されている「民間交番方式」など、横浜市も協力いただいて中期計画に盛り込んで欲しい。	参考	素案の政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」の主な施策1「鉄道駅周辺のまちづくりの推進」や主な施策3「地域まちづくりの誘導・支援の推進」に関するご意見として参考にさせていただき、安心して住み続けられるまちづくりにも配慮しながら進めてまいります。
【政策22 多様な居住ニーズに対応した住まいづくり】に関して先の政策14の「世代が気軽に交流できる居場所づくり」にも関係しますが、空家の利活用はこの先の地域まちづくりにおいてかなり重要な要素になると思います。是非「4. 総合的な空家等対策の推進」は力を入れていただきたいです。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」の主な施策4「総合的な空家等対策の推進」に盛り込まれており、計画を着実に推進してまいります。
「戦略4：人が企業が集い躍動するまちづくり」に関連して、「空き家問題」についてはどのような対策をとっているのでしょうか？ 港北区の綱島に私は住んでいますが、駅徒歩10分圏の一軒家でも、空き家がテラホラ目立って来ています。一方で駅徒歩15分以上の土地には次々と家が建っています。30/50/100年後の横浜の街並みを鑑みて、行政が主導して街創りを推進して欲しいと思います。人口が減って行くのに対して、家の供給が多すぎる、と感じて疑問を抱いているのが、現状です。	参考	「空き家問題」の対策については、素案の政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」の主な施策4「総合的な空家等対策の推進」に記載しております。また、いただいたご意見を今後の参考にさせていただくとともに、戦略4(2)『人が、企業が集い躍動するまちづくり』～誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部～に示した考えのもと、将来を見据えたまちづくりを進めてまいります。
今、若い世代の人達は共働き、労働力と忙しいです。高齢の人は時間があります。そして、自然に向きあいたいと思っている人が多いです。開発して新しく建設することより、空地、空家、休耕地など利用して、畑作、果樹など小さなエネルギーとなり、集まれば成果はでると思います。高齢者の健康のためにもつながります。若い世代に還元もできます。	参考	いただいたご意見につきましては、まちづくりや市民が農を親しむ取組を進める上で、今後の参考とさせていただきます。
超高齢社会への挑戦に関して。この社会基盤は2人暮らしあるいは1人暮らしの高齢者です。65～75才以上の方専用の住宅（高齢者住宅）を作り、その家には病院のナースコールと同様の設備を付け、緊急時は消防署（救急車）、ケアセンター、ホームセキュリティなどにつながり、安全確認のできるシステムを活用できる。訪問看護等も活用できる住宅を増やしてはどうでしょうか。例として青葉区美しが丘の美東小と美山の間に10数棟の5階段の住宅が全て空家になっていますが、そこにエレベーター棟及び通路を別途で建てて住宅と接合し、車イスでも住める住宅にできるのではと思います。マンション住宅もあり、コンビニ店を作れば生活（高齢者の）に不自由はないと思います。このマンション住宅はシャトルバスを駅まで運行しているので、それを利用させてもらえば、高齢者には十分ではないかと思えます。団地や自宅は子供の生活の場としてゆずり、自分達の生活の場としてはどうでしょうか。	参考	いただいたご意見につきましては、政策16「地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり」や政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
市営住宅について、シェアハウスでの利用を広く認めてはどうか？ 市営住宅の利用方法の複合化。市営団地の1階に、福祉施設、コミュニティ関連施設を複合化できるようにしてほしい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」の主な施策2「市営住宅の再生」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
市営団地の再生とあるが、駅近の市営団地など、再開発にて資産的およびその町全体の価値向上出来るモノがあると思うので検討頂きたい。	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P75 政策 22 多様な居住ニーズに対応した住まいづくり ◆主な施策(事業)2 市営住宅の再生について、次のとおり修正を提案いたします。 (修正案) 旭区ひかりが丘住宅で住戸改善工事を進めるとともに、老朽化の進んだ大規模住宅や居住性能の低い住宅の建替え等を図り、災害時にも一定程度の生活が継続でき地域の防災性の向上や持続性ある地域のまちづくりに貢献する再生を目指します。また、建物等を着実に保全するため、躯体や共用設備の計画的な修繕を着実に実施していきます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」の主な施策2「市営住宅の再生」を進める上で参考にさせていただき、建物の長寿命化や建替え等による再生に当たっては、地域防災等にも配慮しながら進めてまいります。</p>
<p>&lt;ハード面の対策(首都直下地震への備え)&gt; 防災減災の視点から危惧される空家が放置されています。個人財産であっても公共の安全安心に脅威を及ぼすものは、撤去命令や強制排除ができるよう必要な条例の制定を提案します。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」の主な施策4「総合的な空家等対策の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>・過疎住宅地 空き家対策 神之木台自治会での家屋は空き家が急増しています。ごみ屋敷なんて問題外です。近辺のグループは13軒中3軒が空き家で近月中に2軒がそうなるでしょう。つまり空家率は約3分の1です。</p>	参考	
<p>施策22 施策4 空家 全国に先駆けて「横浜市空家等対策計画」を策定して、とてもいい。 ○市民局 空家課を新設してはどうか？ 空家の原因の一つが、相続時の登記変更未処理だからです。情報を持つのは市民局 ○相続時の登記変更処理を義務化してはどうか？法令の変更が必要ですが。</p>	参考	
<p>22.「多様な居住ニーズに対応したすまいづくり」では貧困者が安心して住める市営住宅を建設して下さい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>・「政策 14」主な施策 2(身近な地域で支援が届く仕組みづくり)、「政策22」主な施策1(多様なニーズに応じた住宅の供給)、主な施策 2(市営住宅の再生)、主な施策 6(持可能な郊外住宅地再生の推進) 最近、CCRC(継続的なケア付きリタイアメントコミュニティ)に関し、各方面で関心を集めておりますが、横浜市でも超高齢化・少子化・人口減少が進む中で介護保険制度の財政難等の諸問題をCCRC的な考えを取り入れて解決することも必要かと考えますので、郊外住宅地のみならず中心部の市営住宅の再生や住宅地開発にもこの考えを取り入れた「まちづくり」を進めていただきたい。</p>	参考	
<p>市営住宅を作れ。</p>	参考	
<p>公営住宅を増やし、既存の建物にはエレベーターを付けてください。</p>	参考	
<p>市営住宅たてかえの件 ・現在の利用者の声やたてかえにともなう不安、経済的な負担の軽減などを行ってほしい。 ・新規入居者ができるよう建設戸数も増やして将来につながる“街づくり”の視点で計画してほしい。</p>	参考	
<p>市営住宅の建設を行うこと。</p>	参考	
<p>市営住宅の新たな建設計画を立て、新しい市営住宅を建築すること。</p>	参考	
<p>市営住宅をたくさん作って下さい。高齢者にとって今死活問題になりつつあります。</p>	参考	
<p>中期計画にないが、低廉な市営住宅を持続的に供給して下さい。 今春4月に金沢区で市営住宅の募集が行われましたが、たった8世帯です。高齢化、貧困化が進む中“住”の確保が一層重要です。低廉な市営住宅の供給を継続的に取り組んで欲しい。</p>	参考	
<p>総合的な空き家対策の推進、区別に対策本部を設置し、この対策の具体策を示すこと。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」の主な施策4「総合的な空家等対策の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略4、政策19～22）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>P75 政策22 多様な居住ニーズに対応した住まいづくり</p> <p>◆主な施策(事業)1 多様なニーズに応じた住宅の供給について、次のとおり修正を提案いたします。</p> <p>(修正案)</p> <p>(前略)また、高齢者向けのバリアフリーやヒートショック対策、生活サービス支援付きの住宅供給を進めるとともに、生活援助員を公的住宅に派遣し、高齢者の見守り等の対応を行うなど、多様なニーズに対応した住宅を供給していきます。</p>	<p>参考</p>	<p>ご提案の趣旨は、素案の政策10「地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造」の主な施策5「住宅・建築物の温暖化対策の促進」や政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」に含まれておりますが、いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>老朽化の空家対策</p>	<p>参考</p>	<p>素案の政策22「多様な居住ニーズに対応した住まいづくり」の主な施策4「総合的な空家等対策の推進」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>22 ページ目 未来を創る多様な人づくりについて 同性愛者向けの同性パートナーシップ制度の作成を検討することを記載してください。他の自治体では、制度を作成している自治体があります。多様な人の生活しやすさの向上に向けて制度作成の検討をお願いします。</p>	修正	<p>いただいたご意見も踏まえ、市政を推進してまいります。考え方については、戦略5『未来を創る多様な人づくり』に盛り込みました。</p>
<p>福祉関係では、利用者の家族の方から、感謝のこぼれをよく耳にします。市の窓口の対応も感謝されていることが多いです。職員を一人一人追い込まないで(変なTシャツを着て生活保護者の家庭訪問するような弱者切り捨てを)厳に謹しむべきです。「いじめ」「ヘイト」「無抵抗の人達を殺す」「ネグレクト」「自殺」などの対策は、すべて皮相的に思えます。憲法の基本的人権について、行政に携わる人は日々研さんしてください。</p>	修正	
<p>政策 23～33 に共通するのは「非暴力」と「人権保護」だと思います。犯罪、しごき、ハラスメントなどは、文化、芸術、スポーツなどの分野で暴力が肯定され、商品化された結果起こるのではないのでしょうか。ホワイトリボン運動(男性の非暴力宣言)というも存在します。政策のどこかに“非暴力で守るみんなの幸せ”のような言葉を盛り込んでくださると幸いです。</p>	修正	
<p>自分は同性を好きになります。近年では多様性や先進性の象徴でもあるセクシャルマイノリティ(LGBT)への支援・理解・共生について明確に打ち出して欲しいです。 港町で、もともと多様性や先進性を受け入れる土壌がある横浜市にはもってこいの政策だと思います。 また、他の大都市を中心とした市町村ではパートナーシップ制度などを導入している所も出てきていますが、横浜市でもぜひ検討して欲しいですし、交流スペース SHIP などの取り組みはとても良いと思いますが、LGBT の人々が暮らしやすい社会に向けてまだまだできることはあると思います。 2020 年の東京オリンピックに向けて LGBT への支援・理解など様々な取り組みを行う機運は、全国的に高まってきてはいますが、それ以降がどうなるか正直心配です。 ぜひ検討の方をよろしくお願いします。</p>	修正	
<p>多様な性を見とめ、個人が自立して生きていける街に。</p>	修正	
<p>22 ページ目 多文化共生の推進について 外国人への差別について相談を受け付ける、差別解消に向けて支援する、といった文言を追記してください。横浜市の近くの川崎市ではヘイトスピーチなどの対応を少しずつ進めています。横浜市でも進めてください。 121 ページにコラムとして差別について書いてありますが、コラム以外の箇所にも差別への対応について多く記載してほしいです。</p>	修正	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案のコラムのほか、戦略5『未来を創る多様な人づくり』の「多文化共生の推進」、及び政策4「グローバル都市横浜の実現」の主な施策5「多文化共生の推進」に含まれていると考えますが、多様性及び人権の尊重並びに人権に係る取組を一層強調するため戦略5に加筆を行いました。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>1. 戦略5『未来を創る多様な人づくり』 現在、幼・保・小の連携事業をはじめ、様々な支援施策が進められておりますが、きめ細やかなつながりをよりいっそう強化する必要があります。 特に、障がいを持つお子さんや外国にルーツのあるお子さん、複合的な課題をもつご家庭のお子さんなどに関して、子どもの成長と共につながる社会資源が増えることを考慮し、子どもとご家族に寄り添えるきめ細やかな支援が必要です。 また、障がいの有無に関わらず、子ども・若者が自己選択、自己決定できる社会にするには、当事者に向けた施策だけでなく、社会環境に働きかける施策も必要です。真の意味での横浜らしいインクルージョンが実現できるような、具体的な方法を、市民と一緒に考えていただきたいと思います。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略5『未来を創る多様な人づくり』に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>子育て支援策などを検討される事を希望します。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略5『未来を創る多様な人づくり』の戦略の柱「子ども・子育て支援・教育の推進」に盛り込まれており、子どもの成長や子育て家庭を支える取組を推進してまいります。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略5 食育、エネルギー・環境教育を通じ、弊社はエネルギー事業者として今後も協力してまいります。</p>	賛同	<p>素案の戦略5『未来を創る多様な人づくり』に対するご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>子どもを育てやすい環境づくりというテーマは、素晴らしいと思う。国や他の一部の自治体では、少子化対策という看板を継続してあげているが、現実として、日本の出生数が上昇することは恐らく無い。人類の歩みは文明の発展と共に多産多死→多産少死→少産多死→少産少死の流れに乗っていく。先進国で出生数が上昇しているのはフランスだけ(移民の国は移民の力による人口の増加がある)。一人につき月に約8万円の育児手当を支給するフランスのような支援があれば出生数が増えるのであろう。子どもを増やすではなく、子どもを育てるという目線をもっている横浜の考える方向は正しいと思う。</p>	賛同	<p>戦略5『未来を創る多様な人づくり』の戦略の柱「子ども・子育て支援・教育の推進」について、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>子育て支援について待機児童数ゼロ、学童保育クラブ支援、小児医療費助成、子ども貧困対策等についてその施策を策定し、推進してください。</p>	賛同	<p>待機児童対策、放課後児童クラブ支援については、素案の政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」に、小児医療費助成については、政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」に、子どもの貧困対策については、政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>LIFE SHIFT を見据えた勤労者を含む全ての世代に向けた学びの機会の提供</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「横浜って、児童館がないのよねー」「待機児童0っていいけど、あれも嘘だったみたい」というと、大抵の若い夫婦は「えー？じゃあ、横浜に住むの止めようかなー」といいます。 若い夫婦・子育て世代が横浜に来るためには ・保育所・保育場所の適切な拡充と保育士幼稚園教諭の待遇改善 ・税制・医療制度の優遇 を行ってあげてください。 そうしたら、「横浜って住みやすいわよー、子育てにも良いわよー」と言えます。 口先だけ・あたりのいい言葉、なんとなく華やかでよさそうな中長期計画ではなく、地に足の付いた具体的な計画を読みたかったです。残念。 林市長に、前は投票しました。期待しました。 しかし、待機児童政策は失敗。原発避難者いじめ(恐喝)事件への対処は遅れるし、教育・子育てに関してはがっかりが多いです。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、戦略5『未来を創る多様な人づくり』の戦略の柱「子ども・子育て支援・教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高校には希望する生徒はすべて行けるように援助をしてください。教科書や教材などの負担軽減の予算をつけてください。給付制奨学金を充実させてください。</p>	参考	
<p>戦略5 未来を創る多様な人づくり 政策24 乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援 ① 主な施策(保育・幼児教育の場の確保) ② 保育・幼児教育を担う人材の確保 ③ 保育・幼児教育の質の向上 ④ 多様な保育ニーズへの対応 ○抜粋関連施策の意見として ・三つ子の魂百までも、のことわざがある。子どもの生まれて3歳までの発育・発達状態を把握し、環盛の大切さを理解し、親子関係の必要性に応じ関わる大人たちが、経験・体験を話し合う様、心がけ、教育方向を重要視出来ると良いのではないだろうか。 ・時代の経過に伴い、社会情勢を理解し反映させる様、努力をしていくことは、大切である。 ・当たり前のことを細部に渡り、段階的に区分けしているが、最善方法としてお互いの育った環境が、子どもにとって必要不可欠。 ・目標値、想定事業量、見込額が計上され比較対象するのは必要だが、すべて安易に簡潔に記載していただきたい。 ・職住近接を考慮して今後を見通せると良いと思う。 ・生を受けた赤子が成長する過程において、鮮やかな心を育て</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>いく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ては、家庭—地域—教育機関が3点のトライアングル形成し、お互いに協力しあっていくなされるものであり、</li> <li>・人と人との出会いは一生に一度ある心得である。</li> <li>・環境により、人間形成の大切さを知り、生を受けて周囲の大人たちの愛を持ち、積極的な言葉がけがその子らの成長に加味出来ると思う。</li> <li>・現在では、地域の教育力も低下し、偏差値に翻弄されながら、小学校の学校教育にも問題が出ている。</li> <li>・家庭は、核家族が多い上、父親は仕事でクタクタ状態、母親が孤軍奮闘しなければならない状態。</li> <li>・子ども達を“家族を困む”地域を困む子育ての子ども達の笑顔につながることを切に願う子育て家庭を応援して行きたいと思う。</li> <li>・一連の問題の結論は、“共に生きる”ことを大事にお互いの持っている知恵そして出会いを極力協力し、心掛けたらよいのではないだろうか。</li> </ul>		
<p>戦略5 未来を創る多様な人づくりのところに、「地域で子ども育てる」政策を入れてほしい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、戦略5『未来を創る多様な人づくり』の戦略の柱「子ども・子育て支援・教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>【地域コミュニティの課題について】(未来をつくる多様な人づくり)          港北区日吉地区は子育て世代の人口増加が目覚しくほぼ毎日、「最近引越して来ました」と話す光景があります。そんな中、子育てをめぐる環境は、母は8割以上で職場復帰するのが当たり前で0歳から1歳の内に職場復帰が常識です。これは、日本が共働き環境を整備していたので当然と思いますが、働く環境は整えたものの”子どもが置き去りになり被害になっている現状”があります。地方から横浜に住みましたが、地域活動が活発で驚きました。子育ても相談相手が居たので迷いながらも上手くいってます。地域があったから、豊かな環境が得られてると確信しているから、地域活動のお誘いがあれば断りません。それは活動が子どもに未来永劫反映するからです。親の働く環境をどうこう言う訳ではありません。親の事情で子どもの環境が悪化しても、それをフォローするのが地域活動の役割だと思っています。どうか、子どもに対する援助、地域が子どもを見守る環境づくりにご尽力下さいます様お願い致します。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、戦略5『未来を創る多様な人づくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みたい街、住み続けたい街、くらしやすい街にするために！</li> <li>・いつも心を痛めるのは“子育て支援”とはあるが現状は？！保育士不足であったり(心労の多いことなども含め)質の低さを感じる。ほんとうに大切な子どもとして教育する場が設けられているのだろうか？ 今後は本当に”子供を大切に”を一番に支援を考えてほしいと願う。</li> <li>・高齢化の支援の大切さと共に今の若者の経済的負担の大きさを感じる。年金、保険料、学費の返済。これは自己責任なのだろうか？ 高齢者をささえる余裕は生まれるのだろうか？と心配になる。</li> </ul>	参考	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 私が意見を述べるのは、戦略5:未来を創る多様な人づくりに関連する内容です。</li> <li>2. その構成は、子供をはぐくむ教育 ← 参加と協業による地域自治 ← シニアの活躍が骨子と考えて、展開しています。</li> <li>3. No.25 の、未来を創る子供をはぐくむ教育の推進 をとりあげた理由              高齢化社会の進行に伴い、社会がますます老いてゆく流れを止め、高齢者の知恵を子供たちに伝える為の施策が、中期計画の核となると考えたからです。</li> <li>4. 具体化施策              (1)教育              教育は人づくりに重要なことは明らかですが、地域自治を進化させるうえでも重要と思います。              横浜市の地域自治を、教育という点に重きを置いて中期計画の中で展開することを提案するものです。</li> </ol>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>(2)地域自治の子供教育に対する役割 未来を創る子供たちの教育は、それぞれの家庭や通う学校だけに任せるのではなく、地域自治がシステム化して、その役割をもっと担うべきと考えます。 地域において、集合住宅形態による生活スタイルが増えていく傾向にあります。必ずしも地域自治が十分に機能していないと考え、これを機能させて子供たちの教育に役立てることが必要と思います。 地域自治が、地域の学校等と協力して、学校では得られない教育を行うシステムを、横浜市が率先して形作り、実施する様提案するものです。</p> <p>(3)シニア層の活躍 地域自治の中で、シニア層が子供たちを教育するシステムが弱いと考え、それをシステム化することが必要と考えます。それにより、高齢化で層が厚くなっているシニア層の活躍の場が得られ、人生経験を生かした、子供たちへの教育が図られると考えるものです。 従来、家庭内でそれぞれ個別に行ってきた子供たちへの世代伝達を、社会としてシステム化したら良いと思うのです。 教育事例としては、・働くことについて、・社会人として身につけたいこと、・防災活動 等があるのではと思います。その他いろんな観点が出てくると思います。</p>		
<p>戦略5『未来を創る多様な人づくり』 人づくりは教育行政だけの仕事ではない。福祉行政との連携が重要である。にもかかわらず、福祉行政と教育行政は連携がはかられていない。理由はわからないが、福祉からの歩み寄りが教育に届かないと聞く。お互いに手を取り合えば、時間的にも、費用的にも省力化できることがあるにもかかわらず、お互いが手を取り合わないために、無駄があるようである。一方で、放課後デイサービスに通う学校に不登校の子どもに対し、その子どもの担任教師が、登校できるように働きかけ指導するのではなく、そのデイに通っていることで出席に代えるという校長判断のものとの関わり(教育・指導ではない)が行われ、しかもデイサービスや福祉行政に何の説明もないというお粗末な現実もある。教育の現場も大変なのであろうが、本来の努力を怠り、福祉におんぶというのは格好が悪い。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、戦略5『未来を創る多様な人づくり』を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略5『未来を創る多様な人づくり』の中に「子育てしやすいまち・横浜」を1つの柱として位置付ける。</p>	参考	
<p>23 ページ 興味深いのは 65 歳以上の方が多く働いている事実です。65～69 歳で 30%もいるし、今後まだ増えるならば、高齢者の定義自体の変化もありえます。</p>	参考	
<p>22p「戦略5 未来を創る多様な人づくり」の「だれもが自分らしく活躍できる社会の実現」に次の文章を追加。 「生涯学習の推進 市民の学ぶ意欲を支える機会と場づくりを目指します」</p>	参考	<p>ご提案につきましては、生涯学習に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市の流出入を見ると、川崎市、東京都などへの流出傾向が続いています。特に現役世代のうち子育て世代の流出が顕著であり、このことは将来的な横浜市の財政にも多大な影響をもたらすこととなります。 例えば、実態とかけ離れた待機児童ゼロ問題、全国の政令市で唯一横浜市だけ実施されていない中学校給食、最近では大阪近辺の地震で違法なブロック塀で女子生徒が死亡した件で横浜市は国の指示待ちを表明されました。つまりいずれも子育て世代に寄り添う市政とは余りにも距離があります。 これらをまず優先課題として、中期4ヶ年計画を策定すべきと考えます。</p>	参考	<p>基礎自治体の施策はすべてが連動しており重要なものと考えます。いただいたご意見も参考に、誰もが住みたいまち・住み続けたいまちの実現に向け、計画を推進してまいります。</p>
<p>22 ページ 前中計では「370 万人の健康づくり」と戦略にありましたが、この中計では、ありません。政策 15 にありますので、特に問題ではありません。</p>	参考	<p>健康づくりについては、素案の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」に加え、戦略3『超高齢社会への挑戦』にも位置づけており、計画を着実に推進してまいります。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>生涯設計の考え方の重要性について “高齢者”“生産人口”などと単純に年齢や属性で区切るのではなく、市民の様々なライフステージを一貫して考える『生涯設計』という観点で行うべきだと思います。例えば、まだ子育てに興味のない25歳前後の人々には、“世代を超えたネットワークづくり”という別の方面からアプローチします。仕事も子育ても充実している人生の先輩層に出会うことで、自分の将来像を考えるきっかけになるかもしれません。</p>	参考	<p>素案の戦略5『未来を創る多様な人づくり』に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>【政策23】 「母子保健コーディネーター」の役割に期待しています。 「母子保健コーディネーター」がうまく機能するためにも、区役所子ども家庭支援課、地域子育て支援拠点、地域との連携は、これまで以上に拡充の必要を感じています。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」の主な施策1「横浜市版子育て世代包括支援センター」の機能確立」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>政策14 参加と協働による地域福祉保健の推進 主な施策4【身近な場所での拠点づくり】 地域子育て支援拠点は、子どもの居場所を地域で立ち上げる際に、地域の人々、子育て当事者、行政等とをつなぐ中間支援的な役割を果たしています。日頃の地域支援は、行政だけではなく、地域子育て支援拠点のような「民」の立場の施設が協働に関わることによって、より重層的になると実感しています。NPO や地域の施設等とも連携し、市民の暮らしにあった居場所ができることを期待しています。</p> <p>政策23 全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援 政策の目標に、地域子育て支援拠点と区役所の連携を明記いただいたことに、運営者として感謝いたします。 今後展開される母子保健コーディネーターと連携し、「全て」の子ども達にとっての支援が展開できるように、日々の活動に取り組みたいと思っております。</p>	賛同	<p>素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」、政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」について、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>3. 政策23 全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援 主な施策1「横浜市版子育て世代包括支援センター」の機能確立 あり方検討会も設置され、現在取り組みを進めていますが、母子保健コーディネーターが十分に力を発揮できる体制と環境を作る必要があります。地域子育て支援拠点とともに、子育て中のご家庭のために、同じ方向をむいて活動できるよう、行政内の体制強化をお願いします。</p>	賛同	<p>政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」の主な施策1「横浜市版子育て世代包括支援センター」の機能確立」について、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>小児医療費助成が拡大されてきていることは嬉しいことです。安心して、教育・医療が受けられれば、出生率ものびて来るのではないのでしょうか。ぜひたくは言いません。心豊かに生活したいものです。</p>	賛同	<p>素案の政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」の主な施策5「小児医療費助成の対象拡大」へのご期待と捉え、いただいたご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>P.77「出産から乳幼児期の支援」の項目に『母子ショートステイ・デイケアの実施』との記載がありますが、こちらの項目の具体的な実施策として、現在母子ショートステイ・デイケアの実施事業者のない区においても導入していくというのでしょうか。現在、母子ショートステイ・デイケアは、青葉区、泉区、金沢区、港南区、瀬谷区、都筑区、鶴見区、南区、緑区の計9区において実施されています。しかし、他の9区には実施事業者の設置がありません。こちらの制度は利用希望者が横浜市民であり、市が設置した条件を満たしていれば利用できる制度になっていますが、小さな子供を連れて長時間移動するのは現実には難しく、居住区に設置がない場合は利用するのが困難であると考えられます。そのため、母子ショートステイ・デイケアを多くの人に身近な制度にするために、事業実施事業者のない他の9区においても、既存の施設（病院等）に事業委託を検討し、母子ショートステイ・デイケアの導入をしていくことが必要であると考えます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」の主な施策3「出産後から乳幼児期の支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>P.77 子育て支援アプリ「ココアプリ」についての記載がありますが、こちらのアプリをモデルとし、全18区にそれぞれ対応したアプリの導入をするのはどうでしょうか。こちらのアプリはプレパパやプレママから6歳までの子供に関するイベント等の情報がわかりやすくまとめられており、我が子の年齢に合わせてイベント情報の表</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>示設定をすることができる等、とても便利なアプリであると考えます。港北区のみではなく、すべての区それぞれに対応したアプリを導入することで、子育てに関するイベントへの参加率も高まるのではないかと考えます。また、アプリの導入後には、横浜市の広報紙や回覧板への記載によって、アプリについての認知度を上げていくのが良いのではないかと考えます。</p>		
<p>政策23 学生のライフキャリア形成支援に限らず、さまざまなライフイベントの節目で、リプロダクティブ・ライツ／ヘルスについて啓発する必要があります。 働きながら子育てをする両親のために、心身の健康に対する支援のほかに、労基法や育児休業法、母子保健法などに定められた権利や制度について啓発・支援をする必要がある。 すべての子どもの誕生を社会全体で祝福するという意味を込めて、北欧で成果を上げている「育児パッケージ」の支給を。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略「5」の“子育て支援”について。 現在、女性の社会進出が加速しており、子供を持つ女性は、仕事は続けたいが、本当に子供を外に預けても将来不安がないのか—（子供の人格形成、心の成長）心配しているという声を聞きます。私は現在74才になりますが、これまで母親講座や乳幼児教育に関する仕事を長年やってきました。まだまだ体力もあり、不安に思いつつ生活している母親にボランティアで講座が出来ればと思いつつながら、場所が見つからずはがゆく思っています。核家族化も進み、身近で相談できる親類がいなかったり、親が近くにいても、感情的になり、じっくりと相談が出来ないようです。子育てに不安があり自信をなくして不幸な出来事につながるニュースを見る毎に、助けてあげる母親の相談相手になれたらと、そしてどのようにその機会を持たせばよいかと悩みます。</p>	参考	
<p>2児の母です 二人とも発達障害を抱えており個別支援級に通っています また長男は小児難病特定疾患を抱えており生後すぐ手術をし10年たった今も、治療のため通院しています 長女もこころの診療科へ通っています 主人が所得制限にかかってしまい小児医療助成を受けられずいます 私の周りにも障害や難病のこどもたちを抱えている人がいるのですが、所得制限で助成が受けられない人も多くいるということを知ってほしいと思いメールしました 所得制限をしてもいいですが、療育手帳 精神手帳を持っていたり、難病指定を抱えている家庭に関しては緩和されてもいいのでは…？とずっと思っていました どこに訴えて良いのかわからず今朝この横浜市のパブリックコメントを見て初めてメールしました 林市長や市議会議員の方に、そういう家庭があることを知って頂けたらと思います 障害児 難病を抱えている子育ては半端なくたいへんです それもわかって頂けたらと思います ご検討よろしく願いいたします</p>	参考	<p>素案の政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」に関するご意見として、小児医療費助成制度の参考にさせていただきます。</p>
<p>子供の医療費助成を拡充してほしい。 ① 1回毎の窓口負担500円は無料に。 ② 中学生3年まで拡充を！ ③ 所得制限の撤廃を！</p>	参考	
<p>小児医療費助成は所得制限をせずに実施してほしい。</p>	参考	
<p>〈24〉について言えば、本気で子育て支援を考えるのであれば、せめて義務教育のうちは、収入に関係なく、医療費無償にするのは、未来を創る子どものために税を使い予算化して欲しい。</p>	参考	
<p>〈小児医療費について〉 私には二人の娘がいます。二人とも幼児・小学生の子どもをかかえています。二人の夫は、年収が違うため、一人は1才を過ぎてか</p>	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
ら3割負担、もう一人の娘の子ども二人は無料です。2つの家庭にそれほど経済的な差があるとは思えません。それなのに医療費については大きな差があります。小さい子に“親の経済力”で差をつける必要があるとは思えません。収入による格差をなくしてください。		
「小児医療費助成制度の対象拡大等にも取り組み」とありますが、そんな一般的で抽象的なことを言わずに、「対象年齢を中学校卒業（所得制限なし）まで拡充します」と明確にすべきです。そうしてこそ、全ての子育て世代が安心して子どもを育てられる環境づくりになるのではないのでしょうか。	参考	素案の政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」に関するご意見として、小児医療費助成制度の参考にさせていただきます。
こどもの医療費は（18歳まで）すべて無料に！ 身体の具合が悪くなったらすぐお医者さんにかかって適切な措置を受けることができるようにしてほしい。	参考	
小学校4年生からの子ども医療費500円窓口負担をなくし、中学校3年生までの医療費無料化を実現してください。	参考	
小児医療費、市長選で公言した所得制限緩和をきちんと実施してください。窓口負担もやめてほしいです。小児医療はサービスではありません。命の問題としてとらえて下さい。	参考	
小児医療費の助成について、1回500円負担を無くす方向へ移行する。 また、所得制限の緩和の検討を早期に始める。	参考	
小児医療費の無料化を中学3年まで拡大して下さい。（所得制限はしない）	参考	
0～中学卒業までは、医療費は完全に無料にすべき。	参考	
18歳未満まで、段階的に全ての医療費窓口負担ゼロの実施し、横浜市の未来を担う子どもの健康と成長に寄与してもらいたい。	参考	
子どもの医療費は中学までになり、とても喜んでます。ありがとうございます。しかし一部負担金や、所得制限をなくしていただけたらと思います。	参考	
子どもの医療費助成は中3までになることは大変嬉しく思います。市長選挙で公約した所得制限の緩和を実現して下さい。1部負担金500円は撤回を。少子化対策にもつながります。横浜に住んで良かったといえる4か年計画を心からおねがいします。	参考	
子ども医療を所得制限なしに中学校まで無料に	参考	
子ども医療費は中学生まで無料にしてほしいです。	参考	
子供の医療費助成について 小学3年生まで無料になって本当に良かったと思いますが4年生以上は500円の窓口負担ありでは、ぜんそくや中耳炎等の子供を持つ親にとっては、とても大変です。本当の無料化にすべきです。所得制限も無くすべきだと思います。	参考	
子供の医療費補助。大人でも医療にかかる金がなく命をおとす人もいとのこと、子供だけでも窓口負担0にしてほしいです。 市民の税金をもっと子どもたちに考えて下さい。	参考	
私の学校はどうしてインフルエンザが流行るのかと思ったら、ガスも電気のもとめられて寒くていられない、熱があっても学校に行く、保健室はあたたかく、給食も食べられる・・・と。500円といってもがまんするのです。高校生まで医療費を無料にした自治体もあります	参考	
小児医療費の窓口負担はなしにして下さい。子育て世代の願いです。	参考	
小児医療費の中学3年まで助成拡大は結構ですが、小学4年からの一部負担金の廃止を明記して下さい。	参考	
小児医療費は、一部負担なしで無料に中3までしてほしい。 所得制限もなくして下さい。	参考	
小児医療費は所得制限を撤廃し、高校生まで無料にすること	参考	
小児医療費を中学卒業まで所得制限なしで（初回500円も中止）無料にして下さい。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
小児医療費助成を中学3年までという計画はいいのですが、一部500円負担と所得制限を撤廃してください。	参考	素案の政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」に関するご意見として、小児医療費助成制度の参考にさせていただきます。
乳児の病院代ですが、所得に関係なく皆さんが病院代がかからないようにするべきでは。高い所得の人は子供が病院に行けばお金はとられる、だからあまり病院に行かない人がいるということ、わかりますか。1人1人が赤ちゃんは宝であると思います。1番病気やケガをするのでは。もっとしっかりかんがえて下さい。	参考	
乳幼児から学齢期までの子ども、子育て支援について中学生までの医療費無償化も加えるべき。住みよい街づくり、躍動する人づくりに欠かせない要素のひとつだから。	参考	
幼児の医療費、収入制限ではなく、皆に等しく与えること。	参考	
IRカジノの予算で子ども医療費中学3年まで収入に関係なく無料にして下さい。	参考	素案の政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」に関するご意見として、小児医療費助成制度の参考にさせていただきます。 IRについては、本市ではIRを導入する・しないについて決定していませんが、観光や地域経済の活性化への期待や依存症等に対する懸念など様々な意見があります。 いただいたご意見を参考に、本市にとって一番良い方法は何かということを検討してまいります。
若い家庭、子どもの貧困家庭は深刻です。安心して医療がうけられるようにして下さい。	参考	素案の政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」に関するご意見と受け止め、小児医療費助成制度等の参考にさせていただきます。
政策23 全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援 主な施策1「横浜市版子育て世代包括支援センター」の機能確立 想定事業量② 横浜子育てパートナーの配置箇所数 24 箇所の根拠を教えてください。 地域子育て支援拠点のサテライト設置計画も含め、子ども・子育て支援事業計画の次期計画との数字の整合性を教えてください。 主な施策4「地域における子育て支援の場や機会の拡充」 想定事業量① 地域子育て支援拠点の数 25 箇所の根拠を教えてください。 子ども・子育て支援事業計画との整合性について教えてください。	その他	ご質問の件については、現行の「横浜市子ども・子育て支援事業計画」の目標値に加え、利用実績等を踏まえた想定事業量を設定しております。なお、次期「横浜市子ども・子育て支援事業計画」については、30年度実施の「利用ニーズ把握のための調査」の結果等をもとに31年度に策定いたします。
政策24 放課後の居場所づくりについては、大々的にアンケートを取ったり、進めていることが分かります。引き続き推進してください。	賛同	政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」の主な施策5「放課後の居場所づくり」について、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
政策24 待機児問題：添付のデータによれば、仕事と家庭を両立させたいと願う男女は67%に達していますが、女性の場合、実現している女性は40%程度です。この差27%の女性が新たに保育所の申請を開始するので、保育所を作っても作っても待機児は当分解消されません。待機児解消のためには、就学前児童の母親の就労希望率等に基づいた保育所建設計画が必要です。	参考	「横浜市子ども・子育て支援事業計画」の策定時に実施する「利用ニーズ把握のための調査」の結果等をもとに、保育・教育に関する量の見込み及び確保方策を定めております。 政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」について、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
「23」待機児童をゼロにする事と、従事者の待遇を法的に現在の倍額に設定する。幼稚園保育園の建設には地元の反対意見は無視すること。将来の日本を背負う子供達のことを考えればできます。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
超高齢社会に対して、若者向け低家賃住宅・家賃補助、保育・教育等に対する積極的支援及び補助で子育て環境の充実を図る。	参考	いただいたご意見につきましては、住宅支援や子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
保育士の給料を上げてください。 娘は保育士ですが、毎日汗みどろで帰ってきます。大切な命を預かる貴重な仕事。 あまりに給料が安すぎます。介護士さんも同様かと思います。	参考	いただいたご意見につきましては、政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」や介護事業等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
戦略5 保育園が足りるのはいつなのか。	参考	政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」の主な施策1「保育・幼児教育の場の確保」に努めてまいります。
公営保育所の民営化をやめ、公立保育所の増設を。待機児童をなくせ。	参考	いただいたご意見につきましては、政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
保育園、学童の充実	参考	
保育施設の充実を	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
○保育園に入れない待機児童家庭がへついています。働き手が減る事態を解消する姿勢が見えません。民間に委託する形は、子供の育成を本気にやる姿勢ではありません。 ○子供たちの遊び場が、本当に少ないです。	参考	いただいたご意見につきましては、政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
24 保育の質的向上を実現して下さい。 待機児童対策は育休中で保留になっている数も算入した児童数を把握した上でおこなってください。 共働きをしないと生活が成り立たない現実があります。息子夫婦もそうです。税金は企業ではなく、市民のために使ってください。	参考	
No.24 待機児童の解消に努力して欲しい。	参考	
希望する人全員が入れる認可保育所を。	参考	
国の「女性が輝く」をキーワードにすれば市としては保育園の施設を拡充すること。そしてそこで働く保育士の賃金を底上げすること。	参考	
子育てをしやすいように、保育園の充実を図るべきです。 又、子供のいる世帯に対する様々な優遇措置を設けるべきです。 高齢化対策は少子から多子で暮らしやすいようにすることこそ大切です。	参考	
子育て支援、教育予算 ・保育園の待機児童はなくすこと。質の向上、公立の保育園を残していくこと。 ・保育士の待遇改善をお願いしたい。	参考	
子育て支援について 共働きが普通となっている現在、子ども支援に関しては力を入れてほしいです。 保育士の待遇をよくなり、働きやすい環境を整えたり、ボランティアなどの利用もよいのではないかと思います。	参考	
子育て支援について 待機児童ゼロに向けて、認可保育所の整備を進め、保育士の給料も10万円はアップしてほしい。小児医療費助成が拡大されてきていることは嬉しいことです。安心して、教育・医療が受けられれば、出生率も伸びて来るのではないのでしょうか。ぜひたくは言いません。心豊かに生活したいものです。	参考	
子供未来戦略 待機児童を解消すると同時に質の確保を図るため市立保育所の減少でなく、当面各区10か所程度増設をすること	参考	
質の良い保育施設を確保すること。	参考	
若者支援や子育て応援のためにも「保育所」希望者全員が入所できるような施策と工夫が必要。浜弁よりも経済効率は高い筈。	参考	
少子高齢化社会を打開する上で、子育て支援に抜本的、具体的にすべきである。 待機児童ゼロにむけ、設置場所、保育士の配置と待遇改善など予算を増額するため、大企業向け、大規模道路建設、不要なハコモノ建設は後回しにし、教育、福祉を充実させること。	参考	
認可保育所の数を増やし、保育士の待遇を良くしてください。	参考	
保育所 「待機児童ゼロ」と云い、陽の当たらないビルの部屋で(低年齢児)保育している現状は、次世代をになう子供を育てる環境とはとても云えないです。散歩は子供の足で20分かかる公園まで往復して遊ばせている実態は改善すべきです。	参考	
今必要なのは、子どもたちが元気に成長し希望を持って生きていけるようにすることです。 保育の充実(保育所の増設、職員待遇の改善)	参考	
保育所の完備 親が子供を預けて安心して働ける施設の完備。地元で待機児童のないよう。	参考	
戦略5 政策24 について 横浜市を創るために大切な事は多くあるが、一番大切なもの	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>は人。                      未来の横浜のための子育て支援の場とそのための人材の確保である。                      待機児童対策については一定の成果は感じられるが、内容の質の低下が心配である。                      特に市立保育園は民間移管が進み、ネットワーク事務局園の役割をも担っているというが、開所時間の延長が始まったこともあり保育士の人員が手薄であるように感じる。                      通常時でも余裕がない人員でアクシデント時や災害時等、どう対処していくのか疑問に思う。                      また、私立保育園は給与改善等も考えられるようになってきているようであるが、市保育士は資格手当もないそうで、教員と同じく大切な子どもの命を預かっている仕事として低待遇であると聞く。これでは優秀な保育士の人材が他へ流出してしまう恐れも危惧する。                      これから孫がお世話になるかもしれない身にとっての意見は、市立保育園が見本となれるよう内容を充実し(そのためには保育士の人員増がまず第一)、その水準にあわせた私立保育園を増やして未来の横浜市民を育てていっていただきたい。</p>		
<p>保育園の質量共に充実を図り、待機児童ゼロに。学童保育クラブ支援も本気でお願いします。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>4. 政策24 乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援                      待機児童対策・保育所整備・放課後児童の居場所づくりだけでなく、保育・教育・放課後が子どもと保護者が安心して、自分らしく過ごすことができるように、質の確保・向上を是非ともお願いします。                      児童発達支援や放課後デイサービスの事業所のかなりの拡充が予定されていますが、特別な支援を拡充するだけではなく、本来子どもが長い時間を過ごす、保育・教育施設への支援施策も同時に必要です。                      保育の無償化も決定し、今後ますます仕事をもつ保護者が増えることも予想されます。子どもが安心して、安全に過ごせる保育、教育施設、放課後の居場所をつくるには、行政・事業者の努力だけではなく、切れ目のない支援を実現するためにも、同時に寄り添い型の支援ができる人材や機関も必要と考えます。地域子育て支援拠点や、基幹相談事業所だけでなく、親子をサポートできる体制が重層的に作られることが望ましいと考えます。政策において、予算・人材の配置の検討をお願いします。</p>	参考	
<p>届け出済認可外施設にも助成して下さい。(保育料軽減、保育士賃金アップ等)</p>	参考	<p>保育事業に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>放課後の学童支援についても、学校間のばらつきが大きく、公平感がありません。                      未だにはまっこの我が学区は、キッズがある学区と比べて、親の負担が大きいです。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」の主な施策5「放課後の居場所づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>キッズの中には、積極的に学力支援をしているところもあり、すべての施設においても、このような支援を望みます。</p>	参考	
<p>学童保育クラブ支援。面積基準に適合するための分割、移転を急ぐこと。</p>	参考	
<p>「方向性」の「子育て支援や教育の推進により子どもの成長や子育て家庭を支えます」「横浜の未来を創るあらゆる人への投資に一層力を入れ、誰もがポテンシャルを存分に発揮できる社会を実現します」は、とても重要なことだと感じました。しかし、その中身が間違っているのではないのでしょうか。                      「放課後の居場所づくり全小学校での居場所の確保」についてです。                      これはキッズクラブの全校展開のことだと思いますが、私の子どもを預けている学童保育もしっかり位置付けてほしいと思います。私は学童の運営にも携わっており、国・県の補助金が増えたのに、市費を削ったと聞いています。とんでもないことです。学童への補助を拡充して、利用料、保護者負担を減らしてほしいと切に願います。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
す。また、耐震基準を満たすための移転費用補助の拡充してほしいです。		
小学生の放課後 子どもも小学生、私自身は学童で支援員をしています。処遇改善もあまりなく、アルバイト募集しても人員不足。長年つづけていることで、やりがいもありますが、責任ばかりが重くなり、保育園の園長先生のような身分の保障待遇もない…と思っています。また、施設の問題も、地域によって賃料が高い安いがあるので、地域にあった施設の補助金を出していただきたいです。キッズは施設の心配もなく、だいぶうらやましいです。	参考	いただいたご意見につきましては、政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」の主な施策5「放課後の居場所づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
主な政策(事業)5の放課後の居場所づくりについて、質の向上のため、放課後児童健全育成事業所等の職員を育成を進める、としていますが、待遇の改善を市の予算を使ってでも、基本給の改善を行わなければ、職員のなりてが増えていきません。現場では職員不足に困っています。子どもたちの安心できる放課後のために、抜本的な対策を望みます。	参考	
政策29について 学童の指導員は、長く働き続けることで地域の子どもの居場所を充実させられると思いますが、今の待遇では、指導員を続けて行く事は難しいです。経験を積んだ指導員が賃金が理由で退職することはもったいないと思います。基本給の大幅アップ、経験給創設、交通費全額支給など待遇改善をするべきです。補助指導員にも時給アップ、有給休暇、経験給などの改善をしないと働き手が居なくなります。早急に改善願います。	参考	
学童保育の拡充、補助金の値上げをして下さい。 指導員の処遇改善をして下さい。	参考	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「質の向上のために放課後児童健全育成事業所の職員の育成を進める」としてはいますが、具体的でなく何をどうするのか分からない。具体的に示して欲しい</li> <li>・「質の向上のために放課後児童健全育成事業所の職員の育成を進める」としてはいますが、待遇の改善がなければ働き続ける事が難しい。指導員の基本給を大幅にアップするなど抜本的な対策が必要。</li> <li>・学童保育の指導員はキャリアアップにて経験が必要と認めているのに経験給がなく有給休暇12日と増えず社会人1年目と同じなのはなぜか？いつまで単年度雇用なのか？</li> <li>・補助指導員の確保が難しい。資格が必要な職業なのに最低賃金では働き手が集まらない</li> <li>・放課後児童クラブの施設確保・指導員の待遇改善を市の責任で行い、学童保育を必要としている家庭の子ども達がすべて利用できるように市の責任で予算化するべき</li> </ul>	参考	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「質の向上のために放課後児童健全育成事業所の職員の育成を進める」としてはいますが、具体的ではなく、何をどうするのか分かりません。具体的に示して欲しいです。</li> <li>・「質の向上のために放課後児童健全育成事業所の職員の育成を進める」としてはいますが、待遇の改善がなければ働き続ける事が難しいです。指導員の基本給を大幅にアップするなど抜本的な対策が必要です。</li> <li>・学童保育の指導員はキャリアアップにて経験が必要と認めているのに、経験給がなく有給休暇12日と増えず、社会人1年目と同じなのはなぜですか？そして、いつまで単年度雇用なのでしょう？</li> <li>・補助指導員の確保が難しいです。資格が必要な職業なのに、最低賃金では働き手が集まらないです。</li> <li>・放課後児童クラブの施設確保・指導員の待遇改善を市の責任で行い、学童保育を必要としている家庭の子ども達がすべてできるように、市の責任で予算化するべきではないでしょうか？</li> </ul>	参考	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブの施設の確保・指導員の待遇の改善を市の責任で行い、保育料を下げて学童保育を必要としているすべての子どもたちが利用できるように国の予算に頼った改善でなく市の責</li> </ul>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>任で予算化してください。 ・キッズクラブが利用料 5000 円でできるので放課後児童クラブも 5000 円でできるようにしてください。</p>		
<p>学童保育を学校単位で作ってほしい(支援)。1年生が大きなランドセルを背負って歩くことの大変さを考え、なるべく近くに必要。親が安心して働くことができる横浜市を望みます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」の主な施策5「放課後の居場所づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>学童保育支援に関して、放課後の学校で指導員の他に様々な特技などをもった人生経験豊かな高齢者ボランティアなど(報酬があってもよい)も募るとよいのではないかと思います。</p>	参考	
<p>【政策 24 乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援】に関して 政策の目標・方向性にある「学齢期の全ての子どもたちが豊かな放課後を過ごせる場所と機会を充実させるためには、子どもがどれだけ没頭できる環境が創れるかによります。その際にはその環境をつくっている大人の在り方がとても問われます。事業5「放課後の居場所づくり」では、「プレイワーク」という「子どもが主体性を発揮できる環境作りの専門分野」についての理解を深めることを、是非職員の育成に入れていただきたいです。</p>	参考	
<p>放課後の居場所づくりと言いますが、子どもの対応スタッフ数は充分ですか？ 「見守る」の言葉は良いのですが子どもと話すわけでもなく、テレビや DVD での子守りがスタッフの中でも多い気がします。10 年近くスタッフとして関わっていますが、差が大きくなっています。一緒に遊んだり、工作をしたり、昔なら親とした事が年々遠くなっていると思います。何かするにしても自分で工夫することも少なくなり、手先の不自由さも気になります。鉛筆の持ち方、食事の仕方(ばっかり食い)だったり、もう少し低学年のうちに学校だけでなく放課後にももう少し基本的マナーを身に付けられるように出来る時間があればと思います。子ども達ははずいぶんと変化してきています。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策24「乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援」の主な施策5「放課後の居場所づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>放課後の子供の居場所 いまあるものを徹底的に有効活用。 あざみ野でいえば使うべき最適の施設があります。 1 山内図書館 2 アートフォーラムあざみ野 両方共 9 時頃まで空いている。調理室がある。職員が常駐して安全。本が充実 ひとつは、外観も内観も立派だが、未だに何をしている所なのか不明。 有効活用できる部屋が沢山ある。宝のもちぐされ。作品並べてるだけではなく、待た無しの子供のために使うべき。子供たちの寺子屋、寛げるリビングルームのように改装する。 また、紙の教科書がなくなり、学習アプリ搭載されれば、小さな身体でランドセルを放課後持ち運ばなくても、タブレットひとつあれば、そこですぐに宿題できます。 学習担当教師がいなくても、大丈夫。</p>	参考	<p>放課後における子どもへの支援に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「25」未来を切り拓く教育、何を実施するのか、全くわからないし、2030年にその人材は何をしているのでしょうか。税込確保の観点から、「良き納税者をつくる」ことにつながりますか？</p>	参考	<p>「横浜教育ビジョン2030」の中で、横浜の教育が目指す人づくりを「自ら学び 社会とつながり とともに未来を創る人」としております。 その実現に向けて、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策1「未来を切り拓く資質・能力を育む教育の推進」を定め、横浜市学力・学習状況調査等の実施や、小学校高学年における一部教科分担制の実施等を推進してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>4 年計画を見て、相変わらずの大型開発の予算に怒りを禁じえません。これだけ子どもたちが大変な思いをしている事をなぜ思い致せないのか本当にわからないのです。今、私は、不登校・ひきこもりの人達への支援を行っていますが、横浜におとづれる方がこの</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策3「多様な教育的ニーズに対応した教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>近月、特に多くなっています。3月などは、何人お集りになるのかしらと思ひながら伺ったら、ホントにびっくり。近場の町内(1学区)だけで、10人はいたでしょうか。これから、どうなっていくのか、空恐ろしくなりました。不登校問題が騒がれた時には、父母も関心が高く、関わる姿も積極的でしたが、今は、こどもの将来がみえないだけでなく、生活を立てるだけに必死の方が多く、ひっ迫しているのはあきらかです。もう、不登校を生みだす原因はほぼ解明されました。20年もの支援の中で見えてきたのは、先生たちのやさしさと、1人1人に行き届いた働きかけ、生活の貧困を解消して、安心して学校に行ける安心感です。これは、本当にいま、行政がやれば出来ることです。</p>		
<p>政策25 特別支援教育の推進について、特別支援教育支援員の配置も一層進めるよう要望します。</p>	賛同	<p>政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策2「特別支援教育の推進」について、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>私は高機能自閉症で中学校の特別支援学級に入りましたが生徒個々に合う授業には全くなっていない内容でした。何のための個別支援計画(IEP)なのか機能しているとは思えません。もしかしたら今でもそんなことをやっているかもしれないなら由々しきことだと思います。</p> <p>改善点を以下に書きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.特別支援学級に発達障害の特性を理解した教員を置く。</li> <li>2.教育内容を一般級並みにする。</li> <li>3.特別支援学級に通って中学を卒業した人も夜間学級で学び直しができるようにする。</li> </ol>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策2「特別支援教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>いじめ防止教育 先年福島から市内へ避難してきた小学生が学校でのいじめが公になったときに岡田教育長はゆすり、たかりだと警察マターだからと訴える被害者に警察等と連絡、連携する労をとらなかったのはあるまじき態度で教育担当として甚だ不適。見識のない教育幹部は刷新移動すべき。また、教委も公民の教科書選定でとかく問題視されるものを決めるのは全国でも異様。このようなことが他都県への越境、学区外入学を増加させてしまわないか甚だ心配。</p>	参考	<p>ご意見として今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>いじめや不登校の対策と教職員の働き方改革は、片方の達成を目指せば、もう片方の達成が困難になる、二律背反的な目標である。現在のように歩きながらものごとを考えている現場(委員会も含む)では、戦略を練るのも一苦勞であろう。戦略を立て指導に当たる独立した部隊の編成が急務なのかもしれない。</p> <p>教職員が自分のために学習する時間の確保ができないか。教職員の教養の幅がなかなか広がっていない。多角的な視点を持つことで、困難事例に対応する応用力は磨かれる。教育談義だけの中に解はない。これだけ多様性に富んだ社会なのだから。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、学校教育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「小中一貫型カウンセラーを全中学校ブロックと義務教育学校へ配置し、児童生徒にきめ細かく対応する体制を整えてきました」としているが、2016年秋に、福島原発事故を逃れて横浜に転居した児童へのいじめ事件に見られるように、「きめ細かく対応する体制を整えてきた」とは言い難い実態が学校現場に事件後も依然としてある。きめ細かく対応する体制を整えるには、教職員とくに教員を増員すること、小3から中3の学年において、少なくとも35人以下学級を実施すること、この二つが不可欠であり、これらを実施するための市の予算措置が必要だが、そのことへの言及がない。なぜ不可欠かと言えば「きめ細かく対応する体制」を整えるには教職員(教員)の時間外勤務を削減して、子どもに対して、精神的、肉体的ゆとりを持って接することが必要だからである。上記二つの明記を求める。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「いじめ、不登校、虐待等課題が多様化・複雑化する中、『横浜市いじめ防止基本方針(29年10月改訂)』に基づきいじめの防止に取り組むとともに、様々な課題に対して、学校と教育委員会が専門家を活用し、関係機関と連携しながらチームによる早期解決を図ることが重要です」は基本的に賛成だが、くり返し指摘しておくが、学校すなわち教職員(教員)にゆとりを与える抜本的な施策を市教</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策4「いじめ防止に向けた取組」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
委が実行に移さなければ、「」内の目標は絵に描いた餅となる。		
<p>「政策25『未来を創る子どもを育む教育の推進』の「いじめなど学校における課題の早期解決」のために学校に必要な人材を配置する。</p> <p>横浜市教育委員会は福島県からの転入児童への「いじめ問題」への対応で全国的な批判をあびた。まず、教育委員会の真摯な反省が必要であり、なぜ適切な対応ができなかったのかを明確にする責任がある。教育委員会のあり方が問われているという自覚が必要である。</p> <p>学校へは「横浜市いじめ防止基本方針」だけでなく、実際に人を配置することが必要である。教職員の多忙が、「いじめ」など、児童・生徒への対応が不十分になっている原因のひとつであることは明白である。「児童支援専任教諭の定数配置の拡充」(40校)だけでは不十分である。定数配置をもっと増やす必要がある。中学校に対して人も配置する必要がある。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策4「いじめ防止に向けた取組」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
「いじめ」問題が深刻である。政策25に上げているが、さらに強化してほしい。	参考	政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策4「いじめ防止に向けた取組」を着実に推進してまいります。
以前、福島から避難して来た少年がいじめられつらい思いをさせてしまい、全部市教育委員会の対応がアホすぎて辛い思いをさせて、横浜が日本中に恥をかきみっともないことだ。	参考	
教育現場の改革…いじめのない環境で子供達が夢や希望を持つ為にどうすればいいか？	参考	
教育問題では、すぐにとりかかってほしいこととして、全学年35人学級にして正規の教員をもとにじっくりと授業が進められるように横浜の子どもたちに明るい未来を！授業内容も教科書の採択は以前のやり方にもどしてほしいです。	参考	<p>いただいたご意見につきましては、学校教育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
教師の過重負担を減少し、子どもたちがのびのび学べるよう少人数学級の実現も計画に入れてほしいと思います。	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>同じく「政策25 未来を創る子どもを育む教育の推進」について教員の研修など、資質向上、経験値向上を目的とした策や、学校外部の人材の活用推進が多いようですが、根本的に学校の中の教員の人数が足りないということはないでしょうか？個別支援級では、特に感じております。教員数が現状のまま、「横浜教育ビジョン2030」に沿った教育を進めることが可能なのか、学校外部の人間から見ると疑問を抱かざるを得ません。</p> <p>教員の働き方改革のためにも、増員は必要なのではないでしょうか？</p> <p>学校の中で、先生方が余裕を持って子ども達に接してもらえよう、教員数を一時的に非常勤で増やす予算はないものではないでしょうか？</p> <p>今後の少子化の対策として、教員数を増やせないのが原因でしょうか？</p>	参考	
・小中学校の1クラスの人数が35人(小1・2、中1)40人では多すぎです。教員の過密労働を軽減するためにも30人学級を実現してください。ICT 機器に予算をつけるより教材研究ができる時間の確保が必要です。学校が子どもや教師にとって楽しい、学習も楽しいということを大切にしたい教育を望みます。押しつけの教育には反対します。英語や道徳の授業実施に伴い実態はどうなっているかの検証も必要と思います。(教員の多忙さに拍車をかけているのでは)	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
30人学級を早急に実現して少人数学級で対話と信頼できる授業をする教員定数を是非実現してください。	参考	
<p>35人学級について</p> <p>海外の小学校の学級定員を調べたら、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツでは、20人～30人でした。私の高校での経験では、20人以下であれば、一人一人のノートを見て回り、個人的な質問にも答えることができます。「教育の質の向上をふまえ」とありますが、せめて、30人学級を実現すべきです。</p>	参考	
35人学級については、教職員の働き方にも大きく影響し重要な課	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
題ですが、まず、子どもたち全員が十分な教育を受けられるよう緊急に実施してください。		
いじめ防止に向けた取組の②児童支援専任教諭の定数配置校の拡充について、いじめ防止に向けた取組として、最も重要で効果的な施策は、毎日学級の子どもと接している学級担任がゆとりをもって子どもに対応する体制を市教委が構築することである。そのためには少人数学級の実施が不可欠である。国の施策よりも先行して小3から中3まで35人以下学級、さらに小中の全学年での30人以下学級を市予算を充てて実施すべきことは待ったなしの課題である。	参考	いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
小学校の学級定数をすべて30人学級にし、すべての子どもたちがゆとりある教育を受けられるように。すべての学年が複数の担任を置くこと。	参考	
少人数のクラス編成で手厚い教育をしてください。一人の先生が隔々まで目が届く人数は20人程度が理想と思います。特に近頃はいじめ、落ちこぼれ、不登校問題など先生の目配りが大切な問題が多いとも聞いております。先生の長時間労働問題もこの辺から来ているものと思います。解決策は少人数編成と先生の数を増やすことでしか解決できないものと思います。子供たちへの投資は希望有る未来への投資です。思い切った決断をお願いします。	参考	
少人数学級（35人以下学級）を小学校、中学校すべての学年で実施すること。 国・県の実施を迫るとともに、横浜市単独でも、小学校、中学校で35人以下学級を実施し、30人以下学級への展望を開くこと。	参考	
中学校の一学級の人数対策 東京に居た昔1クラス32人でした。入学説明会で未だ40人制と聞きびっくり。絶対考えて下さい。人間関係、いじめ、学業への対策、絶対必要です。	参考	
教職員の数をふやして下さい。	参考	
教師の資格の強化、未来の子ども一人一人の能力にあった教育	参考	
図書館の職員の質と資料の充実をぜひとも入れてください。 以前法律相談を利用しました。それは会社の事業継続と相続がからむ相談だったのですが、法律の知識とアドバイスを教えていただき、それをヒントに横浜市立中央図書館で資料を探して対策を考え、おかげでかなり状況を改善させることができました。横浜市立図書館の資料の充実と資料をすぐ探して案内して下さる職員がいたおかげでした。 良い資料のセレクトと、探しやすいように用意しておくシステム、案内してくれる人（職員）は大切です。また、図書館は広い範囲の分野をカバーして役に立ってくれます。 この計画には様々な分野の事業が載っていますが、広い範囲の問題解決となりえる図書館の資料の充実と職員の質の向上を入れてください。	参考	いただいたご意見につきましては、市立図書館の運営を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
横浜に引っ越して、図書館の少なさにびっくりしました。それを補うための市民図書館だと思い、お手伝いしてきましたが、図書購入費も以前の半額以下になり、横浜市民は本なんて読まなくていいと言われているようです。 東京では、区立図書館の分室が充実し、分室の蔵書数でも市民図書館の10倍と比べ物になりません。	参考	
図書館の本を地区センター等で借りたり返したりできることを望む。	参考	
図書館は一区一館のしほりをとき、必要に応じて建設すること。研究にも生かせる図書館にすること。	参考	
箱モノをつくり、お金をささなくては鑑賞できない文化よりも先に公共図書館を増やし充実させてください。 「図書館砂漠横浜」と近隣の都市から言われていることを市長をはじめ行政はご存知でしょうか。 例えば、東京都調布市と同じような面積、人口の港北区を比べる	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>と調布は11館、港北区は1館のみです。 鶴見区の矢向地区の子どもたちは鶴見図書館に行くためにバスで川崎、電車で鶴見まで行かなくてはなりません。 また蔵書数が圧倒的に少ないのも特徴です。 劇場という箱モノを作るより、子どもの足で歩いて行ける範囲に図書館を増やすこと、こちらの方が先ではないでしょうか。</p>		
<p>中期計画の中に「図書館の発展・充実」を入れていただきたい。 図書館1館当たりの人口は、横浜市は207千人と、政令20市中、20位と最低水準です。 そこで、中期計画に図書館の建設（地区センターなどの図書施設もある施設を分館とすることも含む）政策を盛り込むことを強く要望します。 横浜市の500校の小中学校に専任の学校司書が配置され、児童生徒の読書の拡大に大きな成果があがっていることは「政策25」の「現状と課題」に述べられています。これを「主な施策（事業）」にも入れて、学校図書館を支える公立図書館とともに中期計画に明示していただくように強く要望します。 「図書費の増加」を政策を盛り込むことを強く要望します。 中期計画の中に「図書館」と「読書」を入れていただきたい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、読書活動の推進や学校図書館も含めた図書館の運営を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>80p「政策25 未来を創る子どもを育む教育の推進」の「現状と課題」に次の文章を追加。 「・乳幼児から高齢者まですべての市民を対象とした読書推進活動を推進するとともに、生涯学習を支える拠点としての図書館の充実が期待されています。」</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、読書活動の推進や市立図書館の運営を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>どこでも読書ができるように、小さな図書館読みかせ文庫などの支援策を作るべきだ。 図書館の本を駅でも返却できる施策を要望する。青葉区でも出来ているようだ。</p>	参考	
<p>図書館について4ヶ年計画の中に見つかりません。計画の中にぜひ入れて下さい。 図書館については（政策項目が見当たらない）あまりにも予算がなく、資料費の減少、各図書館事業費のなさに心を痛めています。 4ヶ年の間に取り組むことを入れて欲しいです。 ①各図書館で講演などの事業のできる予算を明記してください。 ②地区センター等の図書コーナーネットワーク化 ③資料費の増額を！</p>	参考	
<p>中期4ヶ年計画に市立図書館の数を増やす政策を入れてほしい。 現在人口20万人に1館のレベルであり、せめて人口10万人に1館（各区2館）としたい。（全国平均は4万人に1館） 図書館の蔵書購入増を明示していただきたい。 図書館、博物館、地区センター等の社会教育施設の充実を入れてほしい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、図書館など社会教育施設の運営を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市は学校図書館の蔵書が少ないです。文科省基準に達しているのでしょうか。 東京ですと夏休み期間1人5冊は借りられます。横浜市の小学校に在学中の孫は1冊です。せっかく学校司書を配置したのですから、学校司書の1日の勤務時間を延ばし、夏休みにも学校図書館を毎日開館して子どもたちが利用できるようにしてください。 文科省の「学校図書館ガイドライン」とは程遠い劣悪な図書館で9年間も学ぶ児童を考えてください。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>学校司書の専門性をしっかり活かせる雇用を 学校司書といっても資格のない人をブラックな雇用条件で雇われているわけです。 女性が輝く云々を言うならば、比較的女性の多い学校司書が自活できる雇用条件にするべきです。「横浜はブラック」とネットで出ています。東京都荒川区は直接雇用で17万円以上の賃金です。官製ブラックでは教育の資質向上にはなりません。</p>	参考	
<p>学校司書が全校専任で配置されたのにもかかわらず、欠員が生じているので、中期計画の中に、学校司書の待遇の改善を入れてほしい。（非正規職員のために待遇が悪くやめる人が多いようだ。）</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、学校司書の配置について、再募集等の対</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>素案P80 政策25 未来を創る子どもを育む教育の推進 1. 「◆現状と課題」について 新聞によれば、学校司書未配置校が31校にのぼる。これが事実であるならば、市教委が学校司書の待遇を劣悪なままにしていたことが未配置の一因と言える。教育への予算配分を切り詰めていては、このような形でしわ寄せが生じることは当然である。十分な予算配分を求める。</p>	参考	応を進めており、対策を検討してまいります。
<p>「政策25 未来を創る子どもを育む教育の推進」について 学校司書全校配置の実施は、子ども達の教育上、大変効果があったと思います。学校司書が各校に配置された結果、学校図書館が活発に利用されるようになりました。が、現在は全校に配置できていないと聞いています。時給制で交通費が支給されない、という司書の待遇が原因ではないかと思えます。勤務校が自分で希望できない上、自宅の中学校区には勤務できないという決まりもあり、交通費が支給されないのでは、交通費がかさむ勤務校に異動になった場合、辞退するケースがあってもおかしくありません。司書のいない学校が増えている事態に、どうか対策を打って頂けないでしょうか。</p>	参考	
<p>東京で子育てを終えてから、この30年当地で暮していますが、最近神奈川、横浜の子供たちの体力が全国最下位と知らされ、ショックを受けています。ところが今回の中期4カ年計画にそれへの政策が全くなく再度おどろいています。東京に比べて公園、学童保育、児童館、図書館等、人口に比して子供むけの公共施設が少なく中学校給食が無いなどに注目していましたが、これらの対策不足が原因ではないでしょうか。 体力調査の結果に真正面から目を向けて専門家の調査、研究、原因の分析、他自治体との対比などしっかりと対策を立て、改善にとり組むべきと考えます。 その視点からみると、中期計画は、見ばえの良い、計画に重点が置かれ現実の住民の暮らし、幼児から高齢者、低所得者に目が向けられていないと云わざるを得ません。将来を考えて子ども達への安全と成長を保障する大都市横浜への施策を望みます。</p>	修正	ご意見の趣旨も踏まえ、体力向上の取組について、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策1「未来を切り拓く資質・能力を育む教育の推進」に盛り込みました。
<p>読書推進事業について4か年計画の中に見つかりません。計画の中にぜひ入れて下さい。 読書推進事業は、子どもの育つ環境(政策24)や、シニアの充実した暮らし(政策28)や、スキルアップを目指す年代(政策29)にも必要な基盤になることだと思います。折角横浜市議員提案で決まった事業だと聞いています。更に継続して成果がよく現れるように「文言」を加えておいて欲しいです。</p>	修正	ご意見の趣旨も踏まえ、読書活動の推進について、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」に盛り込みました。
<p>就学援助費の充実はもちろんのこと、教材や修学旅行など親の負担が軽減されるように補助金をつけてほしい。</p>	賛同	就学援助費においては、学用品費等や修学旅行費が含まれております。ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
<p>6 ページ31に「医療的ケア児・者等への支援」とありますから、北綱島特別支援学校は、すみやかに分校から本校に戻して下さい。</p>	参考	31年4月に北綱島特別支援学校は、上菅田特別支援学校の分校になりますが、現在在籍する児童生徒が継続して通学し、新就学児も受け入れてまいります。また、引き続き教育環境、教育水準を維持してまいります。
<p>特別支援教育の推進として、具体的な事業等を提示しているが、そもそも市立北綱島特別支援学校を分校ではなく、本校に戻していただきたい。市と市教委は当初、北綱島特別支援学校を廃校にする計画だった。そのことへの反省と本校に戻す計画もなく、事業等を提示しても、市と市教委への不信感はぬぐえない。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>Society5.0 を実現するという観点から、これからの AI、IoT 人材の教育に関する素案を入れてほしい。特に子供の STEM 教育に力を入れるような素案が欲しい。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、学校教育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>小学校、中学校、高校の本のページの紙の厚さがあり各生徒さん達のカバンの重さに驚きます。一年間使う教本ですのもっと考える必要あり。子供達の体の発育にも影響あります。すべての無駄を省きませう。</p>	参考	
<p>義務教育無償化のプログラムを立て実施すること。 学校給食費、ワーク・テスト類、副読本類等も、公費負担として、義務教育無償化プログラムを立案し、実施すること。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>現在の公教育では、日々の清掃活動が指導項目に入っていない。終礼ののち机を教室の後ろに運び、当番が箒や雑巾を持って清掃するという光景は大きく減っている。そのせいか社会に出る若者の中に清掃にたいする観念がない。身の回りを清潔に保つという事は社会に出てから学ぶものになっているらしい。自分たちの活動する・生活する環境を適切に保つ教育を横浜が多く守ってきた「里山」の保全の実践を通し教育の場で伝えていく、それにより、自分たちの住む地域の環境的なイレギュラーに気づくことができる。それはイレギュラーを解決しようとする姿勢につながる。環境問題への取り組みは、将来自分の住む地域の環境保全に対する自治の意識の種を植えることでもある。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、学校教育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ハマ弁のPRにお金を使うのではなく、教員ふやして子どものためにお金を使って下さい。</p>	参考	
<p>学校の歯科検診で虫歯がみつかっても半数以上の子が歯医者さんで治療を受けていないと聞きました。親に治療を促して治療したかどうかを再度点検してほしい。永久歯を大切にするためにも。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、学校保健を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>高校において、卒業に向けて興味のある分野につきレポートを提出する課題があってもよい。若い世代の向学心を強めていけるのは、日々研究と格闘している大学の現場である。「学び」「遊び」「バイト(起業も)」の4年間ないし6年間は社会への助走期間でもある。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、市立高等学校教育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>就学援助制度の拡充、低収入世帯の子供でも高校進学を保障する高校奨学金制度(成績要件のない)創設を！</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、就学奨励等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>以前公立高校教諭だったので、放課後学習にもかかわっています。週に1回、公立中学校で放課後の1時間教えています。先生5人に、多い時で30人も来てくれて、問題集などに取り組んでいます。10年前、横浜西区の事業として始められたのですが、数年前から「横浜教育支援隊」の管轄下となりました。こちらの方は一律一日 800 円が上限と決まっています。これは交通費という名目なので、徒歩圏の人は1円も出ません。(中学校側から500円が支給されるようになりました。)</p> <p>私は現在、個別指導塾で教えていますが、1時間半教えて1600円です。東京都品川区では、放課後学習で1時間教えて2500円だと聞いています。</p> <p>長い目で見て、読書や勉強を支援する気が横浜にはないのだなと最近つくづく思います。私は以前市立中学校でも教えていましたが、放課後学習に関わろうと思ったのは、娘が不登校になったからです。不登校の子と親が相談できる場所、通える場所、やり直せる機会を是非作ってください。具体的には、各中学校にある相談室や保健室にも各教科の先生が定期的に巡回できるようになってほしいのです。実際の中学校の先生は忙しすぎて、不登校の生徒の学習にまでは対処できないのが実情です。</p> <p>対外的にだけいい顔をしないで、もっと横浜市民にお金を遣ってください。不登校の問題はもう待ったなしだと思います。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策3「多様な教育的ニーズに対応した教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>国際社会で活躍できる人材の育成の中の、「小学校における英語教科化に向けて、教員の指導力向上を図ります」について。小学校教員を海外の大学に進学させることは、教員の仕事(量)を減らすことに逆行するので、やめていただきたい。小学校教員の多くは、英語の授業を担当することを想定してその職に就いていない。なお、横浜の小学校英語については、小1と小2の英語活動を廃止すること、および日本人の英語専科教員を全小学校に配置して小3から小6の英語授業のすべてを担当する制度にすることを求める。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>私は、東京都で教員として40年くらい経験した中で、横浜市の学校日ボランティア等にかかわるようになり、多くの違いを知ることになった。私の経験として、「いい学校はいい地域をつくる」「いい地域はいい学校をつくる」ということ。学校を核としたコミュニティスクールを創ることが「少子化と超高齢化」の課題解決に向けた方策だと考える。文部科学省も、去年コミュニティスクール(学校運営協議会)を努力目標として、学校を核とした地域づくりを求めている。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策6「学校・家庭・地域・企業等が連携・協働した教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>る。特に世田谷区では、学校は「地域運営学校」として地域とともに運営を推進し、「社会・地域に開かれた教育課程」を実施している。地域にいる高齢者の方々も、地元の学校「おらが学校」として、多くの時間を使って、授業にかかわるだけでなく、安全・災害・地域の一員を育成するため努力している。学校にかかわることにより、地域もまとも互いに支え合う地域づくりの元になっている。私は、現在も世田谷区の学校にかかわっている。本当は、横浜市・青葉区の学校とかかわりたいのだが、私の数年間見た眼では、学校・地域とも意識が薄いように感じる。</p>		
<p>「今後は、横浜の教育が目指す人づくりや、国の学習指導要領の改訂に伴う、小学校における英語教科化やプログラミング教育の導入等への対応をしていく必要があります」としているが、2020年度実施の国の学習指導要領でも小学校英語は3年生からであることを考えれば、現在実施している横浜市立の小学校1年生および2年での英語活動は廃止するべきである。それは小1と小2の英語活動授業の、準備を含めた教員への負担が大きいからである。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ハマ弁に40億円以上もかけるなら、その予算を教職員数を増員して欲しい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>過度な競争をあおる、学力テストは廃止へ。ましてや、結果の公表は止めるべきです。学力と経済力の関連をどう是正するかに取り組むべきです。</p>	参考	
<p>道徳の教科で子ども達に点数・成績をつけるなんて考えられません。</p>	参考	
<p>25.未来を創る子どもを育む教育の推進 中・高一貫教育校の増設を希望(南高の成功例)</p>	参考	
<p>主な施策(事業)について 未来を切り拓く資質・能力を育む教育の推進の①横浜市学力・学習状況調査は、ただちに廃止する。実施する意義に乏しい調査を教員が採点するなど時間のムダであり、採点業務を外部に委託するとしても予算の浪費である。</p>	参考	
<p>38 項目の市政のうち、最も力を入れて頂きたいのは、道徳教育の強化、更には修身教育の復活です。それというのも、近年、家族同士の殺人を始め、巷ではイライラに起因する無差別殺人など、人を殺すことが、いとも簡単に行われており、その根本要因として、道徳精神の欠如があげられるからです。戦後、それ迄は本人が味わったことのない民主主義が普及したのは、結構なことですが、人々には自由を享受するあまり、道徳という人間が本来拠って立つべき根本の要素を軽んずる傾向にあるのではないのでしょうか。換言すれば、人心の荒廃です。近年の猟奇殺人は誠に眼に余るものがあり、これを防止し安全かつ健全な社会を構築することが、市政に要求される第一の要素ではないのでしょうか。学校教育における道徳教科の更なる充実はもとより、日本人にとっては修身の復活が必要とされているのではないのでしょうか。県や国に対しても声を発して頂きたいと念願する次第です。</p>	参考	
<p>子供の教育に対する支援を！ 我が家は現在、(私立)大学生1名、公立中学生2名が居る、夫婦で自営業の世帯です。自営業ということもあり、市県民税、又、介護保険を含む国民保険の支払いが生活の中で大きな負担となっています。 この春は進級に合わせ、制服・副教材・修学旅行・自然教室旅行・部活に係る費用と多額の出費に悩まされました。更なる今後の受験や就職を考える時、現在の公立学校の授業のみでは、いわゆる難関校への進学もかなわないのが実情です。(実際中学の教員の方から学校授業だけでは間に合わないといわれました。)これ以上の教育費を負担しなければ、一定水準の学力が保てないというはいかがなものでしょうか。 高い知識や意識を持って、社会に参加し、仕事に就ける人物を育てる為、国や地域が教育に力を入れること。これからの国や地域の政策に人を育むことを軽視してはいけないと思います。人をつく</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>ることが国をつくることです。質の高い教師をふやし私立に負けない中高の教育を望みます。教材費の負担、学校行事の負担を軽減していただくことを望みます。一時のお祭りに、新しい道路に、と予算をかけるのではなく、人間が財産であると考えます。</p>		
<p>指標2の実用英語技能検定の取得割合を明示していることで、今後、次第に市立中学校及び高校の英語授業の目標が実用英語技能検定試験の合格重視にシフトして行かざるを得ない。そもそも市教委は、英語授業の達成目標を、実用英語技能検定合格という容易に可視化できる「目標」に安易にとびついていないか。学力を確認するための一手段としての全国学力テストが、現在、その平均点をあげるために、4月当初から全国学力テストの過去問題を練習する授業にシフトしている県が現出している実態がある。横浜での英検のこのような活用が全国学テと同じような弊害を生じないか。以前の、英語検定は受験希望者だけが、休日に主催団体が設けた会場で受験するという、言わば塾の模擬試験と同様な方式に戻すべきである。学力を判定するというのなら、各学校の教員による手作りの校内中間期末テストで十分であり、これ以上、英語科教員と中学生、とくに英語が不得意な中学生を追い詰めないでほしい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>小中学校と近隣の高齢者施設への定期的な訪問とボランティアの推進を課外活動に取り入れてははいかがでしょうか。これからは、小学生であっても高齢化社会に大切な労働力です。昔の日本でもそうだったように子供も重要な労働力でした。訪問して、レクリエーションや歌や音楽、話を聞いてあげることはもちろんの事、ボランティアとして介護を補助し社会の事を知る勉強はとも子供たちの将来、日本の将来に大切です。ボランティア体験などの時間もありますが、中学では3年間に1日くらいだけではいでしょうか。また、公立小、中学校の教師も高齢者施設でのボランティアの義務付けを行ってはどうでしょうか。年間何日以上など。教員の採用にも条件を入れてもよいかもしれません。横浜市教育委員には相当の数があり人手不足も補えると思います。教員はボランティア体験には同行しませんので、介護のいろはは知りません。行く行くは、資格にチャレンジしてもらおうようにします。外国からの人材をあてにするのははずかしいことです。まずは、義務教育学校あたりから試してみるとよいです。</p>	参考	
<p>人口減少、超高齢化社会が進展する中で、横浜市を国際的にも競争力のある市に変えていくには、将来の横浜市を担う優秀な人材を継続的に育成し、輩出して行く必要があると私は考えています。それには教育の役割が大きく、「将来・未来を創る多様な人づくり」が、重要な施策になります。今教育で求められているのは、クラス全員が理解できるまで何度も繰り返す授業や、一番低いレベルの生徒に合わせる授業などの画一的な、全体主義的な授業ではないと私は考えています。生徒それぞれの能力に応じて、それぞれ知的好奇心を満足させ、能力を十分に伸ばすためのレベル別授業（少なくとも英・算数・数学の授業で導入すべき）の導入、そしてそれを実現するための予算配分を、教育の多様化を実現するために切に要請をします。資源の無い日本が成長できたのも教育の高さが故。これまでの貯金は、いずれ無くなります。危機意識を持って、政策への反映をよろしくお願い致します。</p>	参考	
<p>政策 25 教育 英語もプログラミングも国の方針ですから、やらざるを得ないですが、教育、学校、人材、経営、連携、…本中期計画のみならず、日本の課題として行政は取り組んでいただきたい。</p>	参考	
<p>政策 25—子どもの教育推進について。特に小学校に於いて、塾などに頼らず基礎力をつけて自学する力をしっかりとつけることが大切に思う。社会状況が複雑になり家庭で補足するのが難しいだけに、学校で補う必要がある。教員数を増やしても次世代の子どもをしっかりと育てるべき。理解できないまま中学へ行き、授業中、教室にいるだけのことがどんなに辛いかを想像してみると、大人の少</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
しの努力で、「活かせる力」が小学生時代に育つのが、教育については地道に基礎段階に人も予算も使って、力を入れて欲しい。		
<p>政策25について</p> <p>これからの日本社会にとって最も力を入れなければならない分野は教育である。日本人はこれまで、正しい選択をすることで先進国の仲間入りを達成した。しかし、アジアの各国が同様の手法で成長し、競争相手となったいま、日本人はリーダーシップを発揮することが必要となっている。</p> <p>リーダーシップとは、提案し説得して同意を得ることといえよう。立場の主張ではなく、事実の認識と論理を必要とする。それを聞く方も、まず疑い、自分で考えなければならない。そのための教育には、「なぜ」を問う習慣をつけることが必要であろう。</p> <p>疑い、自分で考え、それによって同意すること、これは情報のあふれる現代にあっては簡単ではない。考えることは努力を要求するからである。教師には、その努力を評価し、ほめてもらいたい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中小企業の人手不足を解消するために、職業高校のレベルアップ教育が必要。大企業優先でなく中小企業が生き残れるよう市のバックアップを大きくする。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策29 子供、社会</p> <p>英語もプログラムも大事ですが、国語の力が弱いといけないと考えます。まずは国語力です。</p> <p>英語は、英語が身につかないので、どんどん英語履修年限が下がるのでは？</p> <p>そうすると、「国語の授業時間が減ってしまうのではないか？」そのように危惧しています。</p> <p>困難を抱える若者はコミュニケーションの問題だと考えます。</p> <p>国語でいえば、「読む、聞く、理解する、話す」の「理解する」が弱いのだと考えます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」、政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>平成30年度にスタートした地域学校共働本部の充実策を期待する。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の主な施策6「学校・家庭・地域・企業等が連携・協働した教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>全額給付する高校奨学金創設。</p>	参考	<p>高校奨学金につきましては、保護者が横浜市にお住いの高校生等を対象に、成績要件等がありますが、市内・市外、公立・私立を問わず返還不要の奨学金を支給しております。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>教科書採択について</p> <p>友人に日本史の先生がいます。横浜市が中学校の教科書として採択している教科書は正しくない記述が縄文時代からあると言っています。学界で通説となっている歴史を、横浜市の中学生は学べないというのは大問題です。「社会とつながり、教育の質の向上、一人ひとりの可能性を広げる」ために、教科書採択に、もっとも現場の先生の声を反映させる必要があります。</p>	参考	<p>市立学校で使用する教科書は、各教科の専門的知識を有し、教育現場を熟知している現職の教員である教科書調査員による調査研究の結果と、子どもの学習実態を踏まえた横浜市教科書取扱審議会の答申を尊重しつつ、横浜市教育委員会の権限と責任において、適正・公正に採択を行っております。</p>
<p>教育について、国際ビジネスを推進し、グローバル都市を目指すなら、市民の感覚も国際的である必要があります。歴史修正主義と言われる教科書を採択し、過去の歴史から目を背けた教育を行うことは、未来に悪い影響を及ぼし市としても子どもたちにとっても不幸なことだと思います。何より市民として恥ずかしいです。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、学校教育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>道徳教科書再検討</p>	参考	
<p>中学校の道徳教科書採択について。</p> <p>とある会社の教科書は絶対に採択しないで下さい。</p>	参考	
<p>教育について</p> <p>平和と人権を柱とした教育をめざしてほしい。教科書採択は、現場の先生たちの声をもっと取り入れ、教育委員も各出版社について具体的に意見を述べられる会議をして下さい。</p>	参考	
<p>教科書、戦前・戦後の教育を受けた高齢者として、市の教科書選定に大きな危惧を感じている。国民権利・平和を護る憲法を大切</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
にする教科書を望む		
教科書採択に現場の先生の意見を聞いて下さい。	参考	市立学校で使用する教科書は、各教科の専門的知識を有し、教育現場を熟知している現職の教員である教科書調査員による調査研究の結果と、子どもの学習実態を踏まえた
教科書採択は、実際に使う教員の意見を反映するやり方を構築すること。	参考	横浜市教科書取扱審議会の答申を尊重しつつ、横浜市教育委員会の権限と責任において、適正・公正に採択を行って
教科書等の採用には現場教師の意見を尊重すること等を考えて下さい。	参考	おります。
子どもたちの健やかな学びと健全な学びのために、今すぐ、偏向した教科書の使用を中止して下さい。	参考	いただいたご意見につきましては、学校教育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
小学校高学年における一部強化分担制推進校32校(4か年)について。賛成だが、その実施規模があまりにも小さく、またなぜ対象学年を高学年のみに絞るのか理解に苦しむ。教科分担制を実施するなら、小学校約500校の全学年でただちに実施するべきであり、それに必要な教員増と予算を充てるべきである。	参考	小学校高学年における一部教科分担制推進校においては、新たな試みである教科分担制に関する効果検証等を実施してまいります。いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
P81 2.「指標1課題の解決に向け、話し合い、発表するなどの学習活動に取り組んでいる児童生徒の割合 指標2実用英語技能検定の取得割合 指標3地域や社会をよりよくすることを考えることがある児童生徒の割合」について 指標1および3について、担当する児童生徒が達成したか否かをどのように判断するのか、指標1および指標3を達成したかどうかの取り組みは根拠を欠くものとなり、強いては教育活動全体へのマイナスの影響を与えることにならないだろうか。数値による達成目標ではなく、各学校の授業実践のなかで、課題解決に向け、主体的に取り組む児童生徒や、地域や社会に目を向ける児童生徒の活動の様子を報告して交流しあうことのほうがよほど役立つのではないか。	参考	政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の指標1及び3については、全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の結果から集計いたします。いただいたご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
学校・家庭・地域・企業等が連携・協働した教育の推進のなかの①学校運営協議会の設置②地域学校協働本部の設置③はまっ子未来カンパニープロジェクトの実施校について。①②③ともに【直近の現状値】を見ても、市内全学校で設置または実施されているわけではない。未設置校、未実施校における教育活動が未設置未実施の原因として、支障をきたしているという声は聞こえてこない。①②③ともに廃止する。ここでも教職員、特に教員は、毎日の子どもとの授業と学級活動およびその準備にじっくり時間をかけるために、市と市教委が思いきって削減できる事業は削減する英断を下すべき時が来ている。	参考	素案の政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」の目標・方向性として、学校、家庭、地域、関係機関、企業等の連携・協働により、社会全体で子どもを育むとしております。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
【政策 26 子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり】に関して、これは他でも散々言われているでしょうけど、ハマ弁に関しては、今一度、誰のための制度で、目的と手段が本当に適切なのかを検討していただきたいです。	参考	いただいたご意見につきましては、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の主な施策3「家庭のライフスタイルに合わせた中学校昼食の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
ハマ弁に工夫をお願いします。地域を巻き込んだカフェテリア式の食堂を中学校に臨設したらよいのでは。(民間業者に参入してもらい、一般人も給食時間外に使用するような形式で)	参考	
中学の給食は不要。絶対必要無い。思春期の子供にとって、母親が作ってくれる弁当はうれしいものだと思う。最近は母親がだらしないのが多い。3年間、頑張れないのかね？もつと子供の事を考えるべきです。もし給食になったなら税の負担が増えますよ。衛生面、ゴミの問題(残飯)人件費などの位予算が必要ですか？	参考	
26. 中学校昼食(ハマ弁)廃止し、親、子供等の合意によって新しいものを作る。	参考	いただいたご意見につきましては、中学校昼食の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
中学校給食(ハマ弁等)について、ふれていないのはなぜか？	その他	ハマ弁については、素案の政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の主な施策3「家庭のライフスタイルに合わせた中学校昼食の充実」に盛り込まれており、計画を着実に推進してまいります。
栄養士さん調理師さんを正規で雇ってほしい。教員も正規職員にしてほしい。同じ仕事をさせて、給料半分というのはおかしい。	参考	いただいたご意見につきましては、学校教育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
給食の無料化	その他	学校給食法の規定では、給食の運営にかかる人件費や施設等の修繕費は学校設置者の、これら以外の経費は保護



中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
		者の負担とされているため、食材費に相当する給食費については保護者の皆様にご負担いただいております。
給食費値上げを中止してほしい。	その他	給食費は約10年間改定せずにきましたが、食材価格が高騰するなか、栄養価等を維持するため、献立の調整等に対応してまいりました。
小学校の給食内容が粗末なのに、給食費値上げの押つけはおかしい。	その他	しかし、現状ではエネルギーやたんぱく質の水準を維持するのが精一杯の状況となり、このたび改定をお願いするものです。改定により、栄養価を充足させることを第一と考え、様々な食材を幅広く使用し、品数が多く、いどり豊かな献立を提供してまいります。保護者の皆様にはご負担をお願いすることになりますが、横浜の子どもたちの健やかな成長のために、ご理解を賜りたいと考えております。
中学給食につきましては、給食を実施すると多大な設備投資、人件費がかかりますのでハマ弁を続けてください。	賛同	中学校昼食につきましては、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして推進してまいります。
3年間お弁当を毎日作りました。家庭にとってすこしづつはコストパフォーマンスも良くなく、毎日それを考えて栄養を考えてとか、すこししんどいけれど、今はお母さんのお弁当懐かしいと言われ、たまの機会があると『ハリキッて作るよ』と頑張っちゃうけど。私はだからお弁当は母の味かなあとも思い、又、給食は良い栄養を取る為に必要だと考え、それはどの様な形でたとえば選たくするとかもって皆でその立場も考えながら、していったら良いと思います。中には働く母の立場とか、時間があってもなかなかお金の面とか本当に、これから育ていく子供達は宝だと思うので、すこやかな成長とか食育とか考えなくてはならない事は山程有ります。お昼ごはんと言えどされどお昼ごはん、お母さんは本当にお弁当を作る喜びにひたっているのでは有りません。(政治家の方がTVでいったので)	賛同	
食は生きる喜び、寛大な心、気高い魂を宿らせる力がある。原始的な行為でありながら大人達から全て子供たちへ、健やかに力強く育てとの希望と愛です。女性の社会進出を促進する以上、両親の心を表現する心意気が必要です。国際的な人物を育てるには教育の幅を限りなく進化させるのみならず、豊かな心を持つ人間にする事が結果を出す要素となります。日本人の幸せ感が少ないという統計があります。みんなで人として豊かな生活、人生とは総合的に考え、見直す時期にあるかと考えます。各分野の展開が凄まじい速さで優秀な中、良い選択を推進する能力を発揮することは今かと。忖度的思考はご法度です。未来に誇れる行政を是非ともお願い致します。	参考	いただいたご意見につきましては、学校教育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
見回りの強化においては、既に市内の自治体に定着している「よこはま学援隊」への支援を拡大するとともに、学援隊への助成金の一部から、防犯パトロールの際に身に付ける腕章や自転車等にも付けることができるプレート等を作成し、各学校のPTAや近隣住民への配布を行い、防犯パトロールへの参加を促すことが良いのではないのでしょうか。また、PTAや学援隊等の学校関係者のみではなく、近隣住民(主にこれから増加が見込まれるお年寄り)等に参加を促すことにより、新しい地域のコミュニティ形成にも繋がると考えられます。	参考	いただいたご意見につきましては、子どもたちの安全・安心な通学路を確保する上で、今後の参考にさせていただきます。
横浜市に30年以上在住の主婦です。市県民税が高い割に、子育て方面での推進があまりにも少ない、または遅く、中学の給食にしても不満だらけです。となりの川崎市と比べてしまうとなぜ?と思うばかりです。	参考	いただいたご意見につきましては、子育て支援や教育等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
56 ページ目 小学校と連携した食育リーフレット「さかえの野菜を知って・食べて・元気に!」の作成について、栄区の小学校の給食について記載がありますが、横浜市として小学校だけでなく中学校の給食をつくり、横浜の野菜を小学生、中学生が食べていくようにしてください。	参考	いただいたご意見につきましては、食育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>教育の推進 書かれている文面と実際の施策の間にへだたりがある。教職員の働き方改革をどうすすめるのか。その具体案が見えない。正規教員の増、本務外の仕事をなくす、少人数学級の実施などにすみやかに取り組むべきではないか。また教育内容や授業時数の見直しを新指導要領に盲従することなく、真に子どもに学力をつける方向でめざしてもらいたい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「政策25 未来を創る子どもを育む教育の推進」および「政策26 子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」を実現していくには、教職員とくに教員の①仕事(量)を思いきって削減すること②教員を増員して教育ひとりあたりの授業コマ数を減らすこと。このための具体的施策を市教委が実行することしかない。</p>	参考	
<p>学校の先生を増やしてほしい。先生も子供もゆとりをもって学校生活を送ってほしい。</p>	参考	
<p>少人数学級実現を一步でも二歩でもすすめてください。道徳の教科科化をしても、先生が忙しく余裕がなければ、いじめはなくなりません。</p>	参考	
<p>35 人学級を実施し、先生の働き方を改善し、子どもたちの個の発達を進めて下さい。</p>	参考	
<p>教員の過労を防ぎ、子供に向かいあうことに専念できる教育に向けて教員の増員・少人数クラスに注力すること</p>	参考	
<p>子供に対する予算を増やすべき。市場小学校は、子供の数が多すぎ、様々な負担が増えている。小学校を増やし、学級の児童数を減らし、教員を増やすべき。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>戦略5、政策26について、まったくもって逆行した戦略であると感じました。 まず、「教職員の働き方改革」については、喫緊の課題として重点的に力を注いでほしいです。教える側に余裕がなければ、豊かで充実した教育は絶対に実現できません。しかし、この取り組みでは、なぜ今こうした働き方になってしまっているのかという事実を目を向けていただきたいと思います。 根本には、日本の教育予算が OECD34カ国の中で最下位であることや国のあらゆる基準が乏しいこと等の問題があると思いますが、いつまでも「国が」「国が」とは言っていられないのではないのでしょうか。市民が多く影響力が大きい横浜こそが、他自治体や国に対して誇れるような、「本来こうあるべきだ」と示せるような、そういう教育を実施すべきだと思います。 その上で、欧米で当たり前の1学級20人～30人という学級規模を実現してほしいです。ところがこうした取り組みはお金も人材も必要となりますので、すぐに実現できるものではないと思います。ですから、中期計画にこそ、少人数学級の拡充・推進や、教職員の増員といった記述を入れていただきたい。そうすることで、より具体的で、根本的に「子どもたちの可能性を広げる教育」を推進するのだという姿勢が明確になり、計画そのものが生きたものになると思います。</p>	参考	
<p>P83 政策 26 子どもたちの豊かな学びをはぐくむための魅力ある学校づくり ◆主な施策(事業)4 より良い教育環境の整備について、次のとおり修正を提案いたします。 (修正案) 児童生徒の安全・安心の確保を最優先で進めるとともに、(中略)、調理室(家庭科室)、小中学校の体育館への空調設備の設置に取り組みます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の主な施策4「より良い教育環境の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>小学校のエアコン設置も遅くて、不満だらけです。</p>	参考	
<p>「◆主な施策(事業)」の「5教員の確保・育成」についての施策(事業)全体を中止することを求める。教職員は、校内での子どもにどう向き合い、子どもの気持ちや行動をどう受け止め、それらの言動がどういう心情と背景から出てきたものなのか、毎日、実践し「研修」している。この経験を積み重ねることで教職員の力量は向上す</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の主な施策5「教員の確保・育成」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>る。①②の派遣は派遣された教員本人の負担となり、また派遣されていない教員へのしわ寄せが生じるケースもあり得る。市と市教委にこの事業中止の英断を求める。</p>		
<p>「政策26『子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり』の「教職員の働き方改革」では「教職員の過労死防止」を明記する。</p> <p>(1) 横浜市では2007年に当時40歳だった中学校教諭が過労死するという痛ましい出来事が発生している。二度と教職員の過労死を起こさないために本気で取り組むべきである。「主な施策」の「6. 教職員の働き方改革」の中に「教職員の過労死防止」を明記すべきである。</p> <p>(2) 横浜市独自に教職員の加配をする。 まず、小学校3年生での「35人学級」を実現するために、必要な教員を横浜市独自で配置する。</p> <p>(3) 小学校児童体育大会を廃止する。 小学校6年生は小学校で一番行事の多い学年である。また年齢的に指導の難しい年齢(思春期前期)である。それゆえ、6年生担任の負担は大きい。小学校児童体育大会は市内全小学校の6年生児童が参加するが、児童全員が参加する種目は「ダンス(団体演技)」と「長縄跳び(3分間)」のみである。あとは選抜された児童が競技するのを見学するのみである。この児童体育大会のために膨大な練習時間が費やされ、また交通費も学校負担となっている。限られた体育の授業時間の中で、教育課程の内容を考えれば、児童体育大会の指導は体育の授業時間数をオーバーしておこなわれている。はじめから無理がある。350校あまりも小学校がある横浜市で児童体育大会を実施すること自体が無理である。</p> <p>(4) 中学校の部活について中体連と連携をとり、さらに具体的に実効性のある規制措置をとる。 中学校教職員の多忙の一番大きな原因が部活であることは周知の事実である。横浜市教育委員会は平成30年1月26日付で「部活動休養日の設定について」(通知)を出しているが、対外試合の制限がないため通知が空文化している。中体連と連携をとって、実効ある措置をとるべきである。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の主な施策6「教職員の働き方改革」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「教員の事務作業等を補助する職員室業務アシスタントの新規100校(累計130校)への配置や、部活動の顧問を担うことができる部活動指導員50人の新規配置など、専門スタッフを拡充し、教員が子どもとしっかりと向き合うことができる環境づくりを推進」することについて、趣旨は賛成ですが、非正規で賄うようなことはやめてください。教育の質の低下をまねいています。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の主な施策6「教職員の働き方改革」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>【政策26】 「教職員の働き方改革」は必要と思いますが、子どもたちや家庭への対応がおろそかにならないことを願います。生身の人間と向合う職業であること、未来を担う子どもたちを育む仕事であること、子どもたちの将来の種をまき、栄養と水分をあげる役割であることを考えると、教職員目線での改革は不安です。事務的、画一的な学校対応にならないための具体的な対応も必要と感じます。</p>	参考	
<p>働きすぎの小中学校の教員定数を増やして下さい。少人数学級の実現、過労死ラインの働き方を改善するには、教員を増やすこと以外にありません。</p>	参考	
<p>学校の先生方が忙しすぎる。雑務から解放して働き方改革をすべきだ。</p>	参考	
<p>教師にゆとりを持って貰う為の施策が必要です。</p>	参考	
<p>教職員の時間外勤務を減らすのに賛成。その為には教職員の定数を増やさなければ無理、その予算をぜひとって下さい。(35人学級実現のためにも是非！)</p>	参考	
<p>行政運営3働き方改革と市の将来を支える職員の確保・育成 まずは中学教師の残業を減らすのが優先だと考えます。</p>	参考	
<p>教職員の働き方改革について 「◆指標4」「◆主な施策(事業)6」市教委発行のニュース「Smile」</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>(平成30年5月)によれば、5人に1人以上が80時間超となっている。100時間超も3校種平均で11.5%になっている。「4月は、年間を通して、忙しい時期かもしれません。自分の生活(働き方含む)を考えてみてはいかがでしょう」と同じ「Smile」で弁明しているが、この弁明は市教委が教員の労働を、労基法を遵守して一日7時間45分で終了させる責務を果たすことへの自覚のなさを自ら吐露したと言える。それは、市教委が2018年3月に策定した「横浜市立学校教職員の働き方改革プラン」に、教職員の時間外勤務を一部削減する施策はあるにしても、抜本的に削減する施策は見当たらないことから分かる。この「改革プラン」では33年末までに時間外勤務月80時間超の教職員の割合を0にする保障はない。抜本策を要求する。</p>		
<p>一学校教員増員、35人学級について 人はもう増やせない(人口減少)、財源確保難しい(a.公務員削減でも)となると 1.学校教員事務仕事の簡略化 2.教員のアウトソーシング 3.無駄な学校行事、校則、の廃止 4.生徒、教員、へタブレットの支給で解決。 1.は、紙、ファクス、電話によるやり取り撤廃。メール、ライン等で役所、保護者とのやりとりを徹底。 2.体育、音楽、部活、クラブ活動など全て民間に委託。一斉に同じ事をするのではなく、運動、芸術面は子供の特性に分かれるので選択科目にする。 算数などは特に ai が得意分野。統計立てて苦手分野を学習させる。アプリ搭載タブレットで自主的に学習。 3.体育祭の出し物の練習や行進の練習は、無駄の最たるもの。スポーツ嫌いとは無駄な時間と倒れる子と疲れる教師をうむ。 スポーツを楽しむ教育なら、ゆるいオリンピックのように、個々子供が好きなスポーツを選んで楽しむぐらいが良い。 持ち物や服装や姿(髪の色)などの校則が無駄な仕事を、うむ。お知らせの手紙作りから、監視、注意する手間。 4.保護者へのお知らせ、保護者からの提出物は全てメール、ラインで。 パソコンで作成、手書きで記入、コピー、ファクスや手配り、生徒がなくす、渡し忘れ、催促、提出の確認。これらがなくなる。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の主な施策6「教職員の働き方改革」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>小学校を巡回してびっくり 夕方六時から会議？夜10時まで職員室に灯火が__。ゆとりを__ 子供は朝職員室から教室に入って来る先生の顔でその日の先生のコンディションを察知するという。次代になう子供達です。輝く横浜へ</p>	参考	
<p>政策26 子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり 主な施策(事業)6【新規】教職員の働き方改革について 働き方改革では、指標4で時間外勤務月80時間超の教職員の割合では、直近の現状値が__で、目標値(33年度末)が0%となっています。教育委員会は、教員の労働実態をつかんでいるのではないですか。なぜ現状把握無しで、目標値0%、働き方改革の取り組みでなんで0にできるのですか。教員の労働実態は、子どもたちを教えるための準備にあまり時間がさげず、その他の業務に相当の時間がとられ、長時間労働が蔓延しています。 教員の労働実態を詳細に把握することから、改革が始まるのではないですか。 いま、教育委員会がつかんでいる労働実態を記述すべきではないですか。 どの子にもゆきとどいた教育を行うために、働き方改革で今必要な事は、教員を増員し、30人学級を実現し、現在の教員の労働時間を大幅に減らし、教員が授業の準備、研究等に時間を費やせる条件をつくることではないでしょうか。</p>	参考	<p>30年3月1日から、庶務事務システムを改修し、ICカードを使用した教員の退勤管理を開始しております。 いただいたご意見につきましては、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の主な施策6「教職員の働き方改革」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
政策26 学校 施策2 学校の新設はあまり問題はないです。複合化をしてください。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の主な施策1「計画的な学校施設の建替え」、施策2「児童生徒急増・減少地域への対応」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
教員の負担の削減 先生も「人」一人の市民としての生活ができるよう先生の働き方改革ができるといいですね。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の主な施策6「教職員の働き方改革」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
公立中学校の耐震化、窓ガラスの補強含め、最優先課題ではありませんか？ 学校等教育施設の耐震化に補助金を出す等の施策が必要だと思います。	参考	横浜市立学校の耐震化は完了しましたが、引き続き、児童生徒の安全・安心の確保を進めてまいります。
学校の統合の方は、その結果、影響、つまり子供の生きていく力、学力、様々な経験など総合的に判定しないといけませんが、すでにこの10年くらいで統合した学校が10校くらいあると思います。 統合した結果、子供たちの「生きていく力」は、どう変わったかを知りたいです。	参考	小規模校の問題の解消や、教育環境の改善、効果的・効率的な学校経営を行うため、地域と十分に調整を図りながら、学校規模の適正化を推進しております。 いただいたご意見につきましては、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
26番についてコメントします。現在横浜の教員の中には70才前後の非常勤職員が数多く存在しています。70才前後の教員は教育免許を持っているけれど、免許更新の講習を受けていません。従って、実質無免許と同じなのです。これらの教員は、現役時代、現校長と同じ職場で働いていた等の理由で、コネで採用されたことも多く、なかなか辞めません。その事から、多くの免許更新をした有効な免許を持つ60才以下の人間が、一年間採用を待っても採用がないという声を多く聞きます。せめて、採用の順番として有効な免許を持つ者から非常勤として働く場を紹介して欲しいです。その上で不足している人員を高齢の方をお願いするのは、いたしかたない事ですが、コネで高齢者から決まってしまうのは納得できません。児童にとっても講習を受けた人から教わるのはとても大切です。	参考	教員免許を条件とする非常勤講師の採用については、国が示す教員免許更新制に基づき、有効な免許の有無について確認しております。なお、採用にあたっては、横浜市立学校非常勤講師等の任用等に関する要綱に基づき、実施しております。いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」、政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
「◆指標3」「学校の授業は分かりやすい」と答えた児童生徒の割合「学校の授業は分かりやすい」の判断をどのような材料で行うのか。またそもそも「学校の授業は分かりやすい」という達成目標を設定すること自体が可能なのか。また、「分かりやすい」という「到達率」なるものが、小80%、中70%に到達しなかった学校は、どのような対策をとることになるのか。対策として、授業は分かりやすければよいのだ、という方向にシフトする訳にはいかないはずである。総じて、「◆指標3」として目標値を設定することに無理があると言わなければならない。削減を求める。	参考	政策26「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」の指標3については、全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の結果から集計いたします。いただいたご意見につきましては、学校教育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校の学校給食を直ちに実施してもらいたい。	参考	中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。
中学校給食の事は一言も述べていないのは、如何なものか。	参考	
中学校給食の実施は、全国的にみても、横浜市はたいへんおこなっています。食育の観点からも自校方式での完全給食をお願いします。	参考	
中学校給食は諺に言う「同じ釜の飯を食う」ことであり、中学生の絆を深めるためにも、重要です。設備費用は最初の時だけであり、中学生の健康増進のためにも、中学校給食の速やかな実施を決断して下さい。	参考	
中学校給食を実施してください。	参考	
〈中学給食について〉 勘違いも甚だしい！ 誤魔化さないでください！ 全ての保護者が求めているのはハマ弁の充実ではなく学校給食の実施です！！	参考	
「ハマ弁」は完全に失敗だと思います。将来的な子供の減少で大規模な投資（給食調理）が割に合わないということですか？全くの素人考えではありますが、学校の周囲（敷地内）に設備を共有に使う保育・学童保育/支援、高齢者施設等を集めて活用することは不可能でしょうか。様々な可能性を探ってほしいと思います。	参考	
「素案」では、横浜に人を呼ぶとか経済を活性化とか書いていますが、たくさん市に入ったお金を高速道路にばかり使うようでは意味が無いと思います。1400億円かける高速道路というのは、中学校給食や小児医療費助成よりも優先されることなんでしょうか。自分が横浜に住んでいるとまわりから言うと、「横浜は子育てしにくいから引っ越した」と言う人が少なからずいます。「すぐお隣の市では中学校給食をやっているのにわざわざ横浜に住まない」と言われ、悲しかったです。私は横浜の歴史や、異文化の人たちと共生しているところが好きです。もっと自分のまちを好きになりたいから、もっと子育てしやすい市になってほしいです。一時的なオリンピック・パラリンピックにたくさんお金をかけることを私は望みません。高速道路や港やハマ弁にお金をかけていないで、中学校給食をちゃんと計画に入れてください。	参考	
「中学校給食について」 他の政令市でできる事が、横浜でできない事は、はずかしい話だと思いませんか。何よりも、学校教育の中の大きな欠陥です。地理的にも横浜は、野菜から肉・魚介類まで、県内から調達できる土地ではありませんか。給食施設は「消耗品」ではなく、一度造れば、補修で済みます。このくらいの事がわからない市政では困ります。	参考	
中学校給食を実施して下さい。 ・ハマ弁では子どもたちは喜びません。 ・育ち盛りの子どもにとって給食は大歓迎です。 ・共働きの親も助かります。 ・他の市町村で実施しているのですから、子どもの成長にかかせない給食実施をおねがいします。	参考	
中学校 自校給食は、長年の悲願です。肥満の子、成人病 いや 生活習慣病予備軍の子が増加傾向の昨今、食事をもっと大切に！また、南海トラフ地震が危ぶまれる中、自校に調理場があることは、避難所になる学校に価値ある物。住民、特に年寄りにとっても有益です。	参考	
働くお母さんがふえています。 中学校給食をどうしてもやって下さい。 予さんがないとは言わせません	参考	
ハマ弁ではなく、中学校給食を充実させて下さい。	参考	
何故、要望の強い中学給食を実施しないのか疑問に感じる。次代を担う中学生の健康を支える為に是非実施を！	参考	
学校給食をなんとか実現して下さい。孫がかわいそうです。	参考	
学校給食を早期実地せよ。	参考	
喫食事1%程度の「ハマ弁」はやめ、中学校給食を完全実施して下さい。全国の中学校の82.6%が完全給食を実施している(2015年5月)。政令都市で未実施は横浜だけではないでしょうか。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
給食は、あってあたりまえです。	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
公立中学校給食、全校実施する事をのぞむ。	参考	
中学校給食の調査費を含め、給食が実施できるよう、予算を入れて下さい。	参考	
中学校に給食が出るようにしてほしい	参考	
<p>中学校給食について</p> <p>育ち盛りの中学生が、皆と一緒に頂く学校給食を待ち望んでいます。孫の中学校入学(現在小5)までには実施してほしいです。</p> <p>大型開発より将来をにう子ども達の食育を大事にしてください</p>	参考	
中学校給食の実施はやるべし。横浜だけが残っている。	参考	
中学校給食の実施をお願いします。育ち盛りの子供達には絶対必要です。浜弁は税金のむだ使いです。	参考	
中学校給食はぜひ実現させて下さい。	参考	
中学校給食を！！	参考	
中学校給食を！！	参考	
<p>中学校給食を実現して下さい。</p> <p>子供は社会の宝！校内に調理施設を整備して下さい。</p>	参考	
中学校給食を早く実現して下さい。政令都市で中学校給食をやっていないのは、横浜市だけです。	参考	
中学校給食完全実施を。全国的にも一番遅れている横浜は日本の恥です。	参考	
中学校給食実施	参考	
<p>中学生に早く給食を実施すること</p> <p>育ち盛りの中学生になぜ給食ができないのか(他府県で実行されていることが)横浜市政の大きな弱点の一つです。小学校の設備を利用し早く実現を！</p>	参考	
中学校給食をいまだに実施しようとしていません。やる気がないとしか思えません。	参考	
<p>中学校における給食の実施</p> <p>政策26、27に対応する具体策の一つ</p>	参考	
中学校の「ハマ弁」は即刻廃止し、給食提供に変更するべきである。この時代に給食が実施されていないなど、横浜の恥である。	参考	
<p>26、子供たちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくりについて。</p> <p>中学校昼食の充実とは何なのか？</p> <p>早く中学校「給食」の充実にして頂きたい。</p> <p>優先順位を上げて下さい！！</p> <p>こんな状態なのは全国でも横浜と大阪くらいです。</p> <p>私の出身は千葉県松戸市なので、私の出身中学(松戸市立)ではカフェテリアがあり、A食(ご飯)B食(パン)を24年前から選べました。</p> <p>そこから横浜に来て、当然あるはずの給食が無い衝撃たるや、政令指定都市なのにはずかしくないのか?!という思いでした。</p> <p>色々調べ、給食センターを立てる予算が当時無かった等の話は読みましたが、詭弁でしかないと感じます。</p> <p>給食の予算は無くても、市内3つもの動物園を保有し、やたら市民の森や公園をつくる予算はある。</p> <p>なぜ将来の納税者となる中学生、市民が養っている子供たちの生活に目を向けられないのか甚だ疑問です。</p> <p>女性の活躍を阻むものでしかありません。</p> <p>横浜の子供たちへの施策には不満ばかりです。医療費、その他、かなりの低水準な補助に、どうせほっといても横浜は若者に人気の街、子供は流れ込んで来る。と思っているだろう姿勢が透けて見えています。</p> <p>とにかく子供関係の優先順位が低い！</p> <p>お金にならないと思っていたら大間違いだと思います。もっと長期的目</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
線で施策をしてほしいです。		
26. 中学校の給食必須！	参考	中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。
26. 中学校給食は、自校方式でやっていただきたい。	参考	
26ですが「中学校昼食の充実」ではなく中学校給食を導入して下さい。	参考	
38の政策の26番目「中学校昼食の充実」を「中学校給食の実施」に変更。新聞を読むと「全国で実施率は横浜だけ」。通院費無料も2、3年前は県で最低だったのでは。ものすごい児童の減少です。近隣の中学生(その小学校の卒業生の分を作る。3つ位の小学校が1つの中学校に入学しての分を3校の小学校で作る事が出来ないのでしょうか。	参考	
いつになったら中学校給食を実施するのでしょうか。浜弁に税金をつぎ込むのはやめて全国なみに中学校給食を実行してほしい。	参考	
カジノではなく、中学校給食に市税を使って下さい。	参考	
カジノより中学校給食の実現を！！	参考	
カジノより中学校給食の実現を	参考	
はま弁などやめ、中学校給食を実施すること。横浜と並んで未実施であった川崎の給食開始後の父母アンケートも歓迎が圧倒的。今までの横浜市の言い分は全く成立しないことは明らか。	参考	
ハマ弁に変えて、学校給食制度を購入すべきです。	参考	
ハマ弁は止めて完全な中学校給食の実施。	参考	
ハマ弁より給食に！	参考	
ハマ弁を早く中止して、中学校給食を始めてください。	参考	
もっと子どもたちの為に金をかけてください。中学校給食は長年の市民の願いです。子どもたちがお昼に市販の弁当を食べている姿を想像するだけで心が寒々します。中学校給食の実現で、おいしく、暖かい食事を是非子どもたちに食べさせてあげてください。	参考	
横浜でも中学校給食を実施して下さい。自校給食方式で。	参考	
横浜の中学校に完全給食の実施をすぐに導入して下さい。	参考	
横浜市には中学校給食が無いからと言う理由でそのお子さんが中学校に入学するのを機にさっさと都区内へ転居した方にお会いしたことがある。30年も前のことだ。ところが現在に至るも、状況が改善していないことに暗然とする。 それでなくても、議員を選ぼうとしても都区内や他市と違って人口比で言えば一桁議員数が少なく(4.3万人に対して1名！)、住民から政治が遠い横浜市において、子育て、日々の生活が本当に魅力的だろうか。国際港のイメージの港地区から遙かに離れた横浜市の大部分の土地において、子育て世代が、他市と比較して横浜市を選ぶだろうか、という視点から諸政策を組み立てて欲しい。 具体的に言えば、中学校給食の導入は最低限の目標にして欲しい。	参考	
横浜市に一日も早く中学校給食を実施して下さい。 選択制の(ハマ弁、家庭弁当、業者弁当等)弁当はやめて下さい。 ハマ弁に43億円もの税金を使えるならば、その金額で中学校に設備(給食)が出来る金にまわせるのではないのでしょうか？！ 実現に向けて、ハマ弁は中止して、中学校給食を一日も早く。	参考	
横浜市のような財政的にも豊かで大きな自治体で中学校給食が完全実施されていないという事実には、驚きを禁じ得ないと共に、市民として恥ずかしい気持ちです。	参考	
横浜市の給食は全国的にないのはおかしいです。ハマ弁でなくて、自分の学校での給食にしてほしいです。	参考	
横浜市の中学校の給食を！はま弁ではなく、違う形で別のお弁当を。	参考	
横浜市の中学生にも、日本の公立中学校の90%以上が実施している「学校給食」を実現することです。心身ともに飛躍的に成長する時期である中学生に、横浜市は今まで、「愛情弁当」が絶対であるとの姿勢をとり続け、弁当を持ってこれない等家庭環境の変化などから、姿勢転換せざるを得なくなり、保護者も生徒も希望していない「ハマ弁」に切り替えまし	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
た。多くの市民が実施を希望している「中学校給食」を、あくまでも実施しようとならないのは、なぜなのでしょう。一日も早く、横浜市の中学生にも、キッチン「中学校給食」を市の責任で実施してください。		
横浜市は中学校給食を何故実施しないのですか。	参考	中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。
何をにおいても子供達の生活を守ってほしい。特に中学給食に関しては本当に考え方がおかしい。先日も給食にするには多額の(ぼう大な)費用がかかると読売新聞の記事にありましたが、何も給食センターなど作らなくても、学校の空き教室を使って各学校毎に作ってはどうか。生徒の数は、本当にへって今や学年4クラス。全校でも500食ぐらいだと思うので、知恵を出せばやれると思う。地域の人達にも年寄り(シニア)の人もボランティアで玉ネギの皮をむいたり食器洗いなど、訳のわからないカルチャーよりよほど人も集まると思う。横浜には成功している民間も多いので知恵を借りて考えてほしい。一番多感な中学生に給食ぐらい差別なしに供給してほしい。	参考	
学校給食の実現	参考	
学校給食は小・中すべて行き渡らせて。格差広がる現状では必要不可欠です。	参考	
学校給食を早期実地せよ。	参考	
教育の無償化をいそぎ、横浜の中学給食を実現して下さい。生きていくことに不安のない命の尊厳を守る対策を実施して下さい。	参考	
公立中学校の完全給食の実施を希望致します。少子化、シングルマザー、一人親の大変さを思うと早急に横浜市が一番にやらなければいけないことだと思います。子育て世代は、一番大変な時代、子供さんには栄養が一番大切、そして友達と一緒に同じ料理を口にすることは精神的にも一番不安定な時期を乗り越えられるパワーになると思います。国と県を巻き込んで、未来を見据えて、子供さんの成長を見守りたいものです。昼食一食のことと軽く考えず、食べることは生きること、そして生かすことです。54年前の鹿児島島の田舎の給食はほんとに楽しみでした。横浜で子育てして一番びっくりしたのは都会で給食のないことでした。市長への手紙でその時も訴えましたが、これからの未来の子供さんの為にも、そして皆様の為にも、強く強く訴えます。	参考	
子どもは未来の横浜、日本を背負って行く宝です。ほとんどの都市が中学校給食を実施しています。成長大の子ども達にありがたい中学校給食をぜひ行ってほしいです。実施する方向で自校方式、親子(小学校、中学校)方式など出来る事を考えてほしい。	参考	
子は宝。未来をつくる子供たちが住みやすい都市づくりに期待します。中学校給食の実現をお願いします。	参考	
市民から集めた税金は市民の為に使うべし。中学校の給食、横浜市のような政令指定都市がやってない事は恥ずかしい事です。子供を健やかに育てる事には、お金を使うべきです。中学校給食等、市民生活に直結している事に予算を使うべきです。	参考	
市民の生活は大変です。開発よりも中学校給食の実現を。教育委員会の資料で260億円で実現できることを知りました。来年度からすぐに実施して下さい。	参考	
私が御意見したいのは、“38の政策”の、No.26の事案についてです。こちらに引越してきました、横浜市の中学校は給食でないのが当たり前という事実にはびっくり致しました。“ハマ弁”なるもので対応とありますが、なぜ、中学校は弁当なのでしょう？給食センターから配達はできないのですか？経費の問題ですか？はっきり言って、横浜はなにもかもが遅れています。この街に子供たちが健やかに育つ未来はあるのですか？	参考	
住民の福祉、生活向上に資する策が最優先課題だと思います。中学校給食実施に関しては、横浜市の対応は大変遅れていると思います。	参考	
小学生2人の子供を持つ母親です。パートで働いております。子供が学校に行っている間に家事を済ませ、子供達が帰ってくる頃には帰宅するというスタイルです。その後、子供の習い事の送迎、夕食の支度、お風呂に後片付け・・・と1日が慌ただしく終わります。ある意味小学校給食には助けられています！！子どもの好き嫌いがなくなりました。給食のレシピがあるので、作ってほしいという子供に私もチャレンジし、食卓	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
も楽しくなります。共働きの主婦からしますと、朝は戦場です！この調子で中学校も給食化を願います。色々な意味で1日笑顔で過ごしたいです。		
少子高齢化対策ですが、「少子」対策こそ急ぐべき事です。子育てをしやすいように、中学校での給食の実施を図るべきです。	参考	中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。 いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
政策26 中学生の昼食について「家庭のライフスタイルに合わせた中学校昼食の充実」となっているが、中学生のいる家庭の大多数は共働きです。共働き世帯の負担を軽減するために「ハマ弁」ではなく「学校給食」を導入すべき。	参考	
政令指定都市で中学校給食がないのは、このままでは横浜市だけになってしまいます。早急に中学校給食の実施に向けた検討項目をおこしたらよいと考えます。育ち盛りの中学生にこそ学校給食が必要です。	参考	
全国でも少数と云われている、中学校給食不実施は教育の機会均等からみても、健康からみても、「ハマ弁」でなく完全給食実施の予算にして下さい。	参考	
全国の20の政令指定都市の中で中学校給食の中で唯一の都市になってしまったとのこと。中学生の健康について考える時昼の給食は絶対必要です。冬の寒い時など、温かな料理、給食は子ども達を元気にすることうけあいです。一人で食事をとることも増えているので、大勢で食べる給食はなおさら意味があると思います。中学校給食を早期に実現して下さい。	参考	
素案では、中学校給食の実施に関する政策が有りませんが、生徒の身体形成の大事な時期に十分な栄養を摂取させるために、また家庭での負担を減らすためにも中学校での給食を実施するべきだと考えます。この点への配慮を欠くべきではありません。	参考	
多くの市民が望んでいる中学校給食導入を実現して下さい。その手だてを講じて下さい。	参考	
地方自治本来の住民の福祉、くらしのための施策を重視する計画にすべき。 中学校給食を自校方式で実施すること。	参考	
中学給食は政令市で横浜だけありません。30年くらいお母さんたちが実施してほしいと要望してきています。	参考	
中学給食をただちに実施せよ！！ 大都市で中学給食がないのは横浜だけではないのか。こちらは法を守ってもらいたい。	参考	
中学校が給食でないのにびっくりしました。これだけの大きな都市で。なぜ、できないのですか？できない理由は何ですか？共働きが当たり前で、労働力が足りないこの時代、母親も働いてこの国に貢献しようというのに、何故中学校になったら弁当を作らなくてはいけないのですか？今、息子が3才です。これからの未来のことを考えるとゾッとします。ゴミ袋を有料にして、そのお金で給食センターを作るなり、中学校に給食室を作ってはいかががでしょう。	参考	
中学校の給食は進めて下さい。早く実現して下さい。 共働きの多い今にち、一刻も早く実現して下さい！	参考	
中学校の給食をぜひやって下さい。子育てする人がどれだけ助かるか。そして、子供達もわけへだてなく、お昼を共に同じ物を食べる、安心安全な・・・事と考えます。 未来をになう子供達にお金を使って下さい！！横浜に住んで良かったと言える町に、子育てして良かったと思える町に。	参考	
中学校の給食を実施してほしい	参考	
中学校の給食を実施して下さい。	参考	
中学校の給食化を、ぜひ実現させていただきたくコメントさせていただきました。	参考	
中学校の給食実行してほしい	参考	
中学校の給食実施へ	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校給食(自校方式)をぜひ実現して下さい。	参考	<p>中学校屋食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
中学校給食(自校方式)実施	参考	
中学校給食(浜弁でなく)を実施して下さい。	参考	
<p>中学校給食がないこと。家庭弁当、業者弁当、ハマ弁は時代遅れの発想です。子供の成長は行政が本気に、責任をもってやっていかなければなりません。中学校給食はその重要なひとつです。だから他の大都市も進めているのですが、横浜が時代遅れのあり方にしがみついているようにみえます。</p> <p>子どもの成長の面からも、また共働きの普通になってきており、親からの面からも重要性はますます強くなっています。すみよい横浜にしたいために、中学校での自校方式での中学校給食の導入を検討すべき時期にきています。</p>	参考	
中学校給食さえもまだ実現できない状況を見ると、中学校給食実現を考えてもらいたい。	参考	
<p>中学校給食について</p> <p>ハマ弁の実態は家庭からみても市の方針からみても失敗は明らかです。</p> <p>実施へ向けての困難や制約はあるでしょうけど、全国20の政令市で横浜だけが中学校給食を実施できないのは理解できません。</p> <p>時間がかかっても他の政令市なみのことは実施してください。</p>	参考	
中学校給食の実現してほしい。20ある政令市のうち横浜市だけが実施していません。	参考	
中学校給食の実現をぜひおねがいします。	参考	
中学校給食の実施して下さい	参考	
<p>中学校給食の実施を！</p> <p>20ある政令市の中で横浜だけがやっていないのは子どもの食育に対し余りに貧弱な政策だと思います。早急な実施をして下さい</p>	参考	
<p>中学校給食の早期実現を！切実な思いでお願いしたいです。</p> <p>先週のテレビ番組の放映後、東京や埼玉、千葉、茨城に住む友人から、驚きのメールや電話が入りました。</p> <p>世界に冠たる“ヨコハマ”に子どもが幸せになれない要因があるなんて、恥ずかしいです。</p> <p>横浜に住んで65年。その中で、中学校給食の実現を訴えつけて数十年、子どもから孫の世代になってしまいました。いいかげんその頑なな態度はやめて、子ども達が喜ぶ顔を一緒に見ませんか？親子方式での給食すばらしい発想ですネ。川崎に負けず、横須賀に遅れず、ガンバレ、ヨコハマ。</p>	参考	
<p>中学校給食の早期実施を心よりお願い申し上げます。</p> <p>私自身、東京の中学校で、毎日温かくて美味しい給食で育ちました。クラスメートと同じ物を食べる安心感、充実感を、横浜に住んでいる自分の子どもたちが経験できないのは、非常に残念です。</p> <p>全国的にもほとんどの市町村が導入しているのにも関わらず、横浜市が実施しないのは不思議で仕方ありません。設備や費用の面もありますが、重点的に検討していただきたく思っております。</p>	参考	
中学校給食の未実施は横浜だけ。ハマ弁でごまかすなんてとんでもない。もっと実態を調べてぜひ完全実施を。	参考	
中学校給食は、絶対やるべき。	参考	
中学校給食は、弁当でなく完全給食が成長課程には絶対に必要だと思う。	参考	
中学校給食は「ハマ弁」ではなく、自校方式で、温かいものを提供し、日本の未来を支える若い人達の成長を援助しよう。	参考	
中学校給食は教育の一環です。ぜひ実現して「子育てするなら横浜」をぜひめざして下さい。	参考	
中学校給食は子供の心と身体を育てる糧！！	参考	
中学校給食は当ぜんできていないのは横浜だけです。	参考	
中学校給食は必ず実現してほしいです。あたたかい物、冷たいもの、皆と同じものを食べられる給食は子どもたちのために必要です。ハマ弁には愛情は感じられません。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
中学校給食やって下さい。予算があることを知りました。	参考	中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。
中学校給食を、自校方式で実施して下さい。	参考	
中学校給食を自校方式または小学校と一緒にを行う形で実施して下さい。	参考	
中学校給食を実現して下さい。	参考	
中学校給食を実施して、当たり前教育(食育)を実施して下さい。	参考	
中学校給食を実施してほしい。 教育としての学校給食、成長期にある中学生に必要な学校給食の実施を、4カ年計画に入れてほしい。	参考	
中学校給食を実施して下さい。	参考	
中学校給食を実施して下さい。	参考	
中学校給食を実施して下さい。	参考	
中学校給食を実施して下さい。何10年も願ってきました。孫の世代になってしまいました。他の政令市はやっているのに、一日も早く実施することを願います。	参考	
中学校給食を実施すべしです。少子高令化は、共働き世帯の増加にある。それを現実として受け止め、支援する政策として、中学校給食は必要です。	参考	
中学校給食を実施すること。 なぜ、行政が、ハマ弁に必死になるのかわからない。中学生すべてに自校方式の中学校給食を実施してください。	参考	
中学校給食を是非実施して下さい。	参考	
中学校給食を早く実施してほしい。	参考	
中学校給食を早急に実施して下さい。	参考	
中学校給食を他の政令指定都市並の給食にして下さい。ハマ弁は止めて下さい。	参考	
中学校給食を大型開発より最優先して実施すること！！ (政令都市で最も遅れている横浜。お金がない訳じゃないですよ。)	参考	
中学校給食希望	参考	
中学校給食実現、もう何十年もの要望です。お隣の川崎に学ぶべき点、取り入れてほしいです。	参考	
中学校給食実施	参考	
中学校給食実施してください。	参考	
中学校給食実施にむけて毎年署名に取り組んでいます。署名をしているとまだ実現出来ないのと云っています。	参考	
中学校給食実施を早期に計画して下さい。子どもも親も浜弁より給食です。	参考	
中学校給食早急に立案実施すべき。無は政令都市のハジ。	参考	
中学校給食必要。未来の若者のため。	参考	
中学校給食未実施の政令市は「横浜市」だけになりました。人生の中で、一番バランスのよい給食を食べさせるのは、もう一刻も猶予ができません。38政策に必要な「人材」を育てる意味でも一刻も早く「中学校給食」を実施すべきと思います。若い世代が、横浜市から他の市へ移動するのを防ぐ意味でも必要だと思います。	参考	
中学校給食無いのが残念	参考	
中学生にも給食制度を、体力作りには是非おねがいします。	参考	
中学生は、食欲旺盛な時期です。 「給食実現！！」を期待していると思います。 私は「道徳教育」より「食育」だと思います。	参考	
働く女性が極力様々な家庭の負担なく、少しでも仕事に専念できるよう、市立中学校給食の実現をぜひお願いいたします。 小学校は給食なのに、中学校ではない理由が全く理解できません。 導入をしていないのは全国的にも神奈川県だけです。 横浜市の職員の方々でお子様がいらっしや、祖父母のサポートがない方にお弁当に関するヒアリングを是非してみてくださいませうか。 何卒是非ともよろしくお願ひいたします。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校昼食において、業者弁当やパンが買えない中学校は複数あるため、「選択制」の「充実」が破たんしていることは明白です。</p> <p>この「選択」という点については、政策26でも「各家庭のライフスタイルや日々の都合に合わせて選択できる環境を充実させる」「選択しやすい環境を整える」として触れられていますが、同様に、前提が崩れているため、削除すべきです。</p> <p>ハマ弁の喫食率20%との記述や、計画上の見込み額として「43億円」が提示されていますが、こちらも削除していただくよう強く要望します。</p> <p>全国では90%の中学校で給食が実施されています。なぜ横浜市は、より深い学びができる中学校での給食を実施しないのでしょうか。まったくもって理解できません。</p> <p>中学校給食を実施することは、「子ども・子育て支援、教育の推進、女性・シニア・若者の活躍支援」の点でも重要です。今や両親が働く家庭は少なくありません。それは、お金の面だけではなく、女性が母親になっても、その人らしく生きる、自己実現する、社会に貢献することが社会的に正しいことであるとの認識が、広く社会的に確立しているからです。</p> <p>私は「子育て支援」というのは、社会で子どもの成長を支えることであると理解しています。どのような環境で生まれようとも、横浜市で生まれ育つ限りは、せめて義務教育のうち、何の心配もなく安心して育つことができる、そうした環境を整えられていれば、横浜市に転入しようという働く女性も増えるのではないのでしょうか。それにおいて役割を果たせるのは、ハマ弁ではなく、中学校給食です。</p> <p>ハマ弁は現状として記述があっても良いですが、「戦略」や「工程」、「主な施策」にはハマ弁ではなく、「中学校昼食の充実」という一文も削除すべきであり、中学校給食の実施を記述すべきです。</p>	<p>参考</p>	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学生の子どもをもつ母親です。</p> <p>ハマ弁についてですが、喫食率が上がらない要因の1つに、昼食時間の短さがあるのではないのでしょうか。時間割をみると、昼食は15分で食べなければならず、その15分間で、教室から1階の指定の場所までハマ弁をとりに行き、教室に戻って食べ、また返しに行くのは、大人だったら不可能だと思います。食事は、ゆっくり味わって食べるものではないですか？時間割の見直しもご検討ください。</p>	<p>参考</p>	<p>昼食時間については、多くの学校では、昼食時間の前に準備時間を確保しており、生徒は、その時間を利用してハマ弁、業者弁当の準備をしております。昼食にかかる時間は、学年によっても、各生徒によっても個人差がございますので、時間内で食べ終わらない場合は、個々の状況に応じて昼休みの時間になっても、引き続き食事を続けられるよう配慮しております。</p> <p>これらのお昼の時間については、各学校の判断で、授業時間などとの関係から時間配分が行われております。ご要望をお持ちの場合は、例えば、保護者懇談会等で、教職員も含め、他の保護者の皆様も交えて相談するなどの方法が考えられます。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校のハマ弁実際に子どもが中学生、料金は安くなりましたが、注文している子が少なく、注文すると“作ってもらえない子”という空気もあるようです。アレルギーの問題などもあるでしょうが、“全員ハマ弁”が普通になる様一斉注文にしてもらいたいです。</p>	<p>参考</p>	<p>本市では、それぞれに良さのある3種類のお弁当を家庭のライフスタイルや日々の都合に合わせて利用していただきたいと考え、ハマ弁、家庭弁当、業者弁当から等しく選べる選択制として実施しております。その中でも栄養バランスの整ったハマ弁を選択しやすい環境を整えるため、今年度、ハマ弁の価格の引き下げを行いました。引き続き、よりおいしく、利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」、「一括注文の導入」を段階的に実施するなど、ハマ弁が生徒・保護者を選んでいただきやすい選択肢となるよう、しっかりと取組を進めてまいります。</p>
<p>今年から中学生の子供がおりますが、ハマ弁はクラスで一人くらいしか頼んでいないようです。一人だけでは恥ずかしいようです。ハマ弁には興味はありますが、ベ이스ターズカレーしか頼んだことはありません。給食室を設置するのは困難なのであれば、給食のかわりに全員ハマ弁にしたらよいと思います。ママ友達(私のまわりの)も皆同じ意見です。43億円、もったいないです！</p>	<p>参考</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校昼食の充実(素案23ページ 工程表→素案83ページ 主な施策(事業)3)</p> <p>「ハマ弁」は、自宅から昼食を準備できない生徒が低価格の業者配達弁当を購入できるシステムですが、この「ハマ弁」を市内の全生徒に毎回の給食をして支給すべきであると考えます。製造業者は、現在の業者に加えて既に横浜市立の一部の小学校で実施している民間給食会社と同等もしくはそれに準ずる大規模業者に委託すべきであると考えます。そのように考えるのは、横浜市のような多くの学校を持つ自治体においては、製造から配達までの円滑な流れや、一つの製造所での大量生産が可能だが、他の自治体よりも求められ、それに適した業者は右のような大規模業者が適していると思われるからです。そして、一月あたりの給食費に関しては、公立中学校の全国平均額である5000円前後を基準として設けるべきだと考えます。このように、「ハマ弁」を給食として</p>	<p>参考</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>市内全域の公立中学校に導入すべきと考えるのは、専用の調理場、給食センターなどの新設は予算面で多額の費用がかかるからです。その折衷策として、既存の業者を始めとした外部業者に委託し、外部製造が可能な弁当を「ハマ弁」という形で、生徒に導入するのが最適と思われるからです。東京都や川崎市などの近隣自治体は、ほぼ全域での完全給食制を実現しており、この点と比較して不満を感じる市民の保護者が多数存在するのではないかと思います。また、近年は共働きなどで昼食準備が大きな負担となっている家庭が増加している点も感じられます。以上の点からも、横浜市の公立中学校も「完全給食制」にすべきだと考えます。</p>		
<p>中学校給食を実現すべきです。 「ハマ弁」は惨憺たるありさまではありませんか。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>「戦略5」の（政策26）； ・喫食率1.5%（今年4月）の（中学校の弁当給食）を、2020年に20%にするのは不可能。 ・全国的すう勢である、既にある小学校と同様の「中学校給食」の実施をお願いします。</p>	参考	<p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p>
<p>「未来をつくる学校づくり、人づくり」のなかにぜひ、中学校給食の実施を入れて下さい。弁当ではなく、おいしい給食を実施して下さい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策26 中学校昼食を充実させるためとはいえ、「ハマ弁」の喫食率が1.3%しかない中で43億円もの経費をかけるのはいかがなものでしょう。経費面からも、中学生のいる家庭の負担からも業者に頼らずに市での給食実施を要望します。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食実施をつよく求めます。 43億円もつぎこむ「ハマ弁」は給食ではありません。いまや、政令都市20市で“実施なし”唯一の都市から脱却して下さい。いま中学生に必要なのは、成績、家庭の事情に関わらず同じ物を食べるという教育の一環としての給食です。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食問題について 子育て中の多くの親が、それにもまして、当事者である生徒が、学校給食を欲している今、毎年5億円もの税金をつぎ込む、人気のない、ハマ弁への予算には反対です。年間5億の予算にプラスして、中学校に給食施設を作る事を求めます。大災害を想定し、公共の給食施設は重要な対策の一つになりうるものと考えます。先々の市民の安全・安心のための市政を強く求めます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ハマ弁について 「数%の人しか食べていないハマ弁にお金を使うより、すべての生徒が食べることができる、中学校給食を実現してほしい。全国のほとんどのところでやっていることを横浜市がやっていないのは理解できない。」</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政令都市20あるうち横浜市だけが中学校給食を実施していない。生徒のハマ弁喫食率が1.5%という事はハマ弁に対して評判が良くない事です。是非調査し、学校給食実施に向けて実現して下さい。・中学校給食実施して下さい。ハマ弁に43億円？給食にすれば雇用も生まれるし、栄養面でも良いと思います。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>生徒のわずか1.5%しか食べていない「ハマ弁」はただちに中止すべきです。全生徒と一緒に食べる給食に切りかえてください。テレビでハマ弁は、1食あたり数千円の費用がかかっていると報道していました。おかしいことは、ただちにあらためてください。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>多くの税金を投入しているハマ弁、その予算でぜひ早く中学校給食を実現させて下さい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学給食を実施してください。学校給食法がなぜあるか、全国では実施はあたり前、無料化の動きすらあるという意味を行政の責任として考えてください。ハマ弁で何とかしようとするのは税金の無駄づかいです。「子どもの権利」として横浜はとらえてください。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校には給食をやして下さい。 ハマ弁はおいしくありません。小学校の時の給食が良かったと子供達は云ってます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校給食 「公立中学校完全給食全国9割」なのになぜ横浜市では出来ないのでしょうか？ 成長期の中学生の事を思えば・・・『食育』と言う言葉があるのですから、温かい物を温かく冷たい物を冷たく身体に入れたあげられる環境を作ってあげてほしいと思います。 栄養バランスがとれ安心安全な中学校給食の実現を願います。 財政面もありますが、中学生の「成長」を思えば、「小児医療費助成」「児童手当」等の見直しで(手厚くしすぎない等)動く所も出てくるのでは？</p>	参考	<p>中学校屋食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>中学校給食、東京は50年以上前から実施されています。働く女性の応援、子どもの健全な成長を願うなら、中学校給食の実施を検討して下さい。浜弁は冷たく、業者弁当は業者弁当です。美味しくありませんよ。</p>	参考	<p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p>
<p>中学校給食について TV番組で、ハマ弁を中学生が「まずい」と言っていました。 全国の中学校でほとんど実施している中学校給食を実施して下さい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について 我が家は毎朝、あたたかいごはんでお弁当を作っています。でも昼食時には冷たくなっていると思うと悲しくなります。市長はじめ「愛情弁当」に固執している方々はお昼に冷たい食事をしているのでしょうか。 子どもたちは、あたたかくて栄養価もきちんとしている給食、なによりも皆が同じ物を食べられるのが、幸せだと思います。給食実施が一番にやるべきことと思います。</p>	参考	
<p>中学校給食の実施を！ ハマ弁の利用率をあげるために〇億円も予算を使うなら、その予算で親子給食方式の中学校給食が、ほぼ実施されるのではないかと？ ぜひ、税金を有効に使って！</p>	参考	
<p>中学校給食を早期に実現してください！！ 先日テレビで「ハマ弁」について放送していたのを見ました。ハマ弁が笑いものになっていました。恥ずかしいです。親や子どもたちの願いである給食を実施するためにハマ弁をやめて給食実施の方向で検討してください。</p>	参考	
<p>ページ83「家庭のライフスタイルに合わせた中学校屋食の充実」ハマ弁について、そもそも①「中学校の給食を学校教育の一環としてとらえるべきです」②小学校と同じ給食としてください。③ハマ弁内容か* *でずし43億円の内部がわかりません</p>	参考	
<p>10ページに「職員一人ひとりがコスト意識を持ち、経費の縮減や財源確保を徹底するとともに」とあります。ぜひ、この通りになさって無駄遣いのハマ弁事業は見直して下さい。6ページに「家庭のライフスタイルに合わせた中学校屋食の充実」とありますが、学校教育法に鑑みすみやかに中学校給食を実現して下さい。全国放送で唾然とされるハマ弁は、即刻止めて下さい。</p>	参考	
<p>横浜市も中学校給食実現をしてください！ 私たちの税金をハマ弁に43億円も使うなら、中学校給食ができるよう43億円を使って下さい。 こどもたちや保護者から「横浜市って最高だよ！」と実感し、言ってもらえるよう、中学校給食始めましょう。 私たちの税金を高くてまずいハマ弁に使うなんて、絶対やめてください。税金の無駄です。 私は、悔しいですよ。高い税金払ってるのに、ハマ弁なんか使うなんて。横浜市の働き世代は、横浜市に中学校給食がないから、川崎に引っ越して行ってます。「横浜市でも中学校給食を実現します」と実行したら、横浜市のイメージアップもあり、みんなハッピーになります！</p>	参考	
<p>26 中学校給食を実施して下さい。浜弁を利用する生徒は数パーセントと聞いています。政令都市で唯一不実施の横浜市でいいのですか。 育ち盛りの子どもの食育は教育でもあります。</p>	参考	
<p>26.「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」では自校式の中学校給食を実施して下さい。ハマ弁はどうやっても魅力がありません。子どもたちの健康、食育活動、保護者の負担軽減のためにも必要です。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>26. 子どもたちの豊かな学び ・家庭のライフスタイルに合わせた中学校昼食の充実について 現在実施されているハマ弁では、全く不十分です。注文している人が少ないのに、そこに予算を何億もかけるのは、ばかげています。 そのお金で、給食実施を（これはできる学校から）実現していった下さい。 全校一斉でなくても、例えば、小学校の給食室で作り運ぶとかできるのではないのでしょうか。できることから始めて下さい。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>26・中学校昼食について 中学校昼食のハマ弁の充実に対抗です。速やかに中止し、給食に移行すべきです。 ①義務教育の9年間は、自治体の責任として給食を提供すべきです。その理念で全国90%の自治体で給食が実施されています。 隣の川崎市の実施例をみても、明らかです。 ②ハマ弁を充実させるための費用に、43億円が見込まれています。税金の使い方として、明らかにおかしいです。</p>	参考	<p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p>
<p>カジノ施設より、中学生に温かな給食提供をして欲しい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>子ども達が喜ぶ、美味しく栄養のある中学給食を実施して下さい。</p>	参考	
<p>どうして市長は給食が反対なのでしょう。 私は子どもの時、給食があまり好きではありませんでした。嫌いなものも出て、先生に残さず食べるよう言われるからです。でも、嫌いだったものが給食のおかげで食べられるようになりました。バランスのよい食事にしたくても、家だとどうしても偏ってしまいがちですが、給食では食べる事が出来ます。 今は昔と違い働くお母さんも増えています。もちろん全てをうまくこなすお母さんもいるでしょう。でも、私のように段取りよく出来ず、負担となってしまう人もきついていると思います。そんなお母さん達の負担も減って、子供には温かい食事を与える事が出来る給食を是非お願いしたいと思います。</p>	参考	
<p>なぜ、横浜市は中学校給食を実施しないのか。食育は、将来の働き手の育成の基本中の基本ではないか。横浜市長は、'経世済民'をしっかりと念頭に置いて計画を立案して貰わないと、納税者としても、税金泥棒されているみたいで、極めて不愉快である。</p>	参考	
<p>なんとしても中学校給食です。ハマ弁はほんとうに注文が少ないのにお金がかかりすぎです。子どもの数がへっている中、小中で協力して給食を実施することが出来ないはずはありません。</p>	参考	
<p>ハマ弁ではなく、生徒・保護者の利便性を考えた学校給食を望みます。ハマ弁が伸びないのは、利用者のことを考えていないからではないでしょうか。私は瀬谷区に住んでいますが、給食のある隣の大和市に引越したいという親御さんの話を聞いています。</p>	参考	
<p>ハマ弁ではなく、中学校も給食が欲しいです。 クラスで1人だけはま弁を食べるのは勇気がいるようです。みんなで同じ給食が食べられるといいです。</p>	参考	
<p>ハマ弁なんてふざけるな！43億も無駄使いしないで。子供にも親にもよくないものはやめて！</p>	参考	
<p>ハマ弁に巨額の税金を使うより、中学校給食の完全実施すべきです。</p>	参考	
<p>ハマ弁の43億円などはムダの最たるものです、それよりも、政令都市のなかで横浜だけが実施していない中学校給食を実現してください。子どもたちにかかる費用を惜しんで、IRカジノを実行するなど言語道断です。川崎市にも遅れての実行なんて恥ずかしい限りです。 横浜市を誇れるようにしてください。 私たちの横浜を返してください。</p>	参考	
<p>ハマ弁はやめて中学校給食を実現してほしいです。TVでとりあげられ横浜が恥をかいています。教育の一環としての食育は中学生にとっても大切なものです。市の責任で実施して下さい。</p>	参考	
<p>ハマ弁は税金の無駄使い</p>	参考	
<p>ハマ弁は廃止の方向で考えるべき。 テレビでもその合理性のなさが指摘され、みっともないだけでなく、税金の無駄使いである。他の自治体の取り組みの優れた点は取り入れ、給</p>	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
食の方向を検討すべき。		
ハマ弁は美味しさや周りのお友達との兼ね合いで、子供が希望しておらず、結果的にお弁当をもたせています。フルタイムの共働き家庭でして、正直毎日がヘトヘトです。また、栄養を考えますと、是非とも給食をお願いしたいです。お弁当を希望する方がいらっしゃるのであれば、希望者をハマ弁にするのではなく給食を標準化して希望者をお弁当にするという方向性を希望します。出産を機に都内から横浜市のマンションを購入して引っ越してまいりましたが、その際中学に給食がないなら、別のマンションを、購入したかもしれないと思っています。	参考	中学校屋食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。
ハマ弁は不要です。お金の無駄使いです。	参考	
わずかに生徒の人5%の実施から廃止し、中学校給食を本気で実施し、親の切実な願いに応えよ。	参考	ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。
横浜市は最初から中学の学校給食を否定してきて、未だに「中学校屋食等」と言っている。小学校では法律の趣旨を活かして、栄養バランスのとれた温もりのある給食を実施してきたが、中学では否定してきた。実施の要求が多くある実態を無視し、パン販売とか配達弁当等でお茶を濁してきた。その結果喫食率1.3%（2018年3月）と言う情けない満足結果しか得られていない。今食の安全という意味では家庭でもなかなか難しい現実がある。そんな中で自治体が安全や地域の農業を振興する意味でも学校給食は大きな意味がある。それを、「ハマ弁（横浜型配達弁当）をより選択しやすい環境を整えるため、価格の引下げや利便性の向上に向けた取組を実施します。また、屋食の用意が困難な生徒への支援を引き続き実施します。ハマ弁デー等によるPRの拡大やスマホアプリの開発等による利便性の向上」と言った施策しかあげていないのは自治体本来の仕事を放棄しているに等しいと言わざるを得ない。管理栄養士等専門職の人と調理の専門家とが実施する学校給食こそメインに据えるのが本道である。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
横浜市中学校、浜弁ではなく、完全な給食の実現を心からお願い致します。なぜ、予算を浜弁に使うのですか。そこに使うくらいなら、給食実現の為に使ってください。全国的に給食化が進んでいます。横浜市も是非進めてください。	参考	
学校に自校方式の給食の実施をお願いします。 ・悪名高いハマ弁の中止	参考	
学校給食に向けた対策・調査を行わず、給食ではない業者の弁当「ハマ弁」に43億円つぎ込むやり方は改めるべきです。中学校給食の充実をすべきです。横浜市だけが給食を実施しない理由が分かりません。市長の姿勢に問題があります。	参考	
喫食率が低いハマ弁いらない！ 子ども達は喜んでいないのが実態です。小学校給食を食べた～！という子ども達の願い(思い)を叶えて下さい。絶対、笑顔になれるから。	参考	
給食について意見を出させて頂きます。 20ある政令市のうち横浜市だけが実施されていない中学校給食について実施にむけた調査・研究すら行われてないと聞いています。また、実施はされないとのこと。 子供に持つ親として中学校給食を実施してほしいと思います。 現状、中学校屋食における選択制(ハマ弁、家庭弁当、業者弁当から選択)の充実をはかるとしているだけです。 残念ながら生徒の喫食率1.5%(4月)のハマ弁は実施費用見込み額を43億とのこと。 ハマ弁は給食の代わりになっていないし、未だに横浜市在住の中学生を持つ親は給食がなくお弁当つくりで過度な負担がかかっています。共働き夫妻にとっては非常に重荷です。 実際給食を実行する際はもっと費用が多くなるのが想定され、かつ多大な税金が投入されることも理解できますが、ぜひ未来の子供達、親たちのために中学校に給食を導入するようにぜひご検討をお願いします。 なぜならほかの19の政令指定都市では実施されていますので。	参考	
共働きの我が家からすると、朝の10分でも貴重な時間です。お弁当も子ども1人分を作るわけではありません。多い時には家族全員分をいっぺんに作ります。本当に少しでも負担を軽減してほしいです。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>それから、子どもには栄養バランスの考えられた温かいものを食べてもらいたいです。 今、小学校、保育園と通っている子ども達から「今日の給食〇〇だった」「これ美味しかった」と言う会話を聞くと、家庭外での様子を聞いて嬉しいです。家ではあまり作らないものであれば参考になりますし、家庭では食べない物でも給食では食べられるんだなという発見もあります。 ハマ弁に43億という実施用見込額が費やされるのであれば、ぜひその資金で中学校給食実施を検討していただきたいです！！</p>		
<p>現在の中学校給食に代わるものとしての「浜弁」は、大いなるムダ使い！！ 中学生やその父母の要求に全く沿っていないので、税金のムダづかいとなっている。小学校の給食施設を共用して、中学生にも完全給食を実現してほしい。 この件は、横浜の魅力が相当マイナスになっていると思う。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>市民の税金を使っているのなら、0.7%の子どもしか利用していない“ハマ弁”よりも学校給食を実施すべきです。43億円も使っているなんて、どれだけの市民が知っているのでしょうか。</p>	参考	
<p>小学生の子どもを持つ親として、ハマ弁への税金の使い方は疑問が残ります。 子どもの健康はもちろんのこと、これから増えるであろう共働き、またはシングル家庭など、多様な働き方をする親にも使いやすいシステムを望みます。(給食も含め) もっと市民の声を反映させて下さい。</p>	参考	<p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすいよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p>
<p>川崎方式の中学校給食を実施してください。 ボランティアで子育て支援をしていますが、「全国で行われている給食がどうして出来ないの?」「どうしようもないの横浜は?」と親たちから聞かれます。「ハマ弁」をよとする親は少ないので利用率も低いです。それに多額の税金を使うより、子どもの笑顔あふれる川崎方式を実施して下さい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>全国の政令指定市のうちで中学校の学校給食を実施していないのは横浜市だけです。人気のない利用率の低迷する「はま弁」を導入したものの保護者の負担軽減にはつながっていません。女性の活躍する社会と言いながら保護者の多くを占める母親の負担を増やし、活躍の脚を引っ張っているのです。そのことを知っているのに市議会を説得できずに問題を引っ張っているのは行政の怠慢だと感じます。中学給食を導入すべきです。</p>	参考	
<p>中学校に給食を！ ハマ弁に多額の税金を使うなら給食実施してください。</p>	参考	
<p>中学校に給食導入について(依頼) ぜひ導入してほしい。現状のハマ弁には決して大喜びされていないと思う。それよりも、多忙な主婦の弁当作りには、何かと負担が重荷となっている。 市長の台所事情(弁当作り)は勉強なく、大変な事情がよくわかっていない。主婦の実状が多忙である事をもう少し理解すべし。制度上の問題あるやと聞くがやる気の問題。</p>	参考	
<p>中学校のハマ弁に43億。ハマ弁は値段を下げてまでまずいお弁当は食べない。コンビニで買った方が良いという子供達がいるということ。給食にすべきだと思います。 1番成長する子供達ではないでしょうか。早くかながえて下さい。</p>	参考	
<p>中学校の完全給食を実施してください。理由:報道によれば、横浜の中学校ではハマ弁を供給を実施していて、本年度値下げを実施したものの4月の利用率は1.7%とのこと。ハマ弁の開始から2年が経過しているとのことで、この方式で保護者と生徒の要望を満たすことが困難であることが明らかになったのではないのでしょうか。一方、川崎市では昨年12月までに全市立中学校で完全給食を実施したところ、保護者の97%が好意的に受けとめていて、生徒の評判も上々との報道です。政令指定都市で中学校給食を実施していないのは横浜だけとのことですが、先例に学ぶことも重要なことであると考えます。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校の給食を横浜市でやってほしい。 ハマ弁では、食育(教育にはならない)にならない。 利用者が少ない(ハマ弁)。</p>	参考	<p>中学校屋食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>中学校を給食にしてほしい！！ 今、息子のお弁当を作っていますが、夏の時期、梅雨の時期、毎日お弁当大丈夫かなと気になっており、中身も入れられるものが決まってきました、栄養面を考えても給食の方がいいと思います！！子供の荷物の多さ、重さも大変です。 ハマ弁もありますが、正直当日に弁当を頼みたい！と思っているので、事前に予約をするなら利用しないです。前向きに考えていただければと思います。よろしくをお願いします。</p>	参考	<p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p>
<p>中学校給食は現在のハマ弁でなく、全員に実施出来る給食にして欲しい。ハマ弁は様々な欠陥があり級でも1人～2人では、話にならない。そのわずかな人のために、年5億もの出費は、予算のむだ使いだと思う。ほとんどの中学校が実施している中学校給食をして欲しいです。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について 私の子ども達は現在50才、47才、43才です。小学生の頃から、中学生になったら給食を食べられるように署名したりして、その実現を楽しみにしていました。 しかし、40年近く立っても実現に至っていません。 ハマ弁はその利用率が低く、費用が莫大で大変驚きました。教育委員会のアンケート調査結果が発表され、自校方式又は親子方式を取り入れれば、実現できると答えた学校が殆どだったと聞きました。 給食の良さは、栄養の整った温かい食事だけでなく、色々な面で教育に貢献できるものだと思います。是非実現して頂きたいと切に願っています。</p>	参考	
<p>中学校給食について 中学校給食は、是非実現に向けて、検討していただきたいと思います。ハマ弁の利用率は低く、予算をかけて継続しても意味がないと思います。義務教育期間でもあり、成長期の子どもに、あたたかい、栄養バランスのとれた給食の提供を望みます。</p>	参考	
<p>中学校給食についてテレビ番組で現役の中学生が皆な「まずい」と言っていた。この現実をどう受け止めるのか。</p>	参考	
<p>中学校給食に見向きもせず、「ハマ弁」にたくさん税金を使うのは、時代に逆行しています。中学生の健全な成長のためにも、中学校給食は絶対必要です。</p>	参考	
<p>中学校給食に対するハマ弁への税金の使い方を含め、調査と方針を責任もって決めてほしい。とても市民～子供達の将来にそった市政はうすれていると思います。</p>	参考	
<p>中学校給食の充実とあるが、中学校給食の実現を避け、ハマ弁でかわそうとしている市の対応にとっても不満です。利用率の低さは要求に合っていない証拠。中学までの義務教育では公的なキッチンとした中で中学校給食の実現へ動き出してほしいと思います。</p>	参考	
<p>中学校給食の早期実施を—以下の理由 働きながら2人の子育てをしました。食べざかりの子供にしっかりした栄養をとらせたい。お母さんのあわただしい中でのお弁当作りをなくしたい。何より、あたたかい食事はうれしい。</p>	参考	
<p>中学校給食は自校方式の直営を望みます。ハマ弁は利用が少なく(高価、申し込み方法が現実的でない)全く現実的でなく税金の無駄使いそのものです。</p>	参考	
<p>中学校給食を、ぜひ実現してほしい。ハマ弁は、ほとんど利用している学生はいません。40人クラスで2～3人程度です。</p>	参考	
<p>中学校給食をしてもらいたいです。43億円の予算を、ハマ弁の事に使うよりも、中学校の給食室の整備に使ったらどうでしょうか。利用者の増えないハマ弁に予算を使う事は、税金のムダ使いです。</p>	参考	
<p>中学校給食を実施して下さい。「ハマ弁」についてテレビでも報道され、あきれています。冷たい業者弁当を育ちざかりの中学生へなど何てことでしょう。神奈川県の中でも最低ですネ。ハマ弁に予算をつぎ込まないで中学校給食実施にむけて未来を背負う子供たちの為においしい昼食</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
を出す事を希望します。		
中学校給食を早く実現して下さい。私が払っている市税がハマ弁と言われている、まずい弁当に使わないで。1食6,000円になっているなんて。27番目の政策にある「女性が働きやすく、活躍できるまち」の横浜市を作りたいなら、「中学校給食」は必須ですよ。私は横浜で生まれ、育っています。大好きな横浜を大事にしてください。	参考	中学校給食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。
中学校給食実施して！浜弁に43億も支出？反対！税金ムダ使いたくないで。	参考	ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。
長年の希望である中学校給食は多くの市民の願いです。3人の子持の娘は共働きでお弁当作りに苦労しています。子供は国の宝！少子化の今、子供に安全・安心な自校式の給食は絶対必要です。ハマ弁に43億使うのは税金の公平感がありません。市民の要望の優先順位はカジノではなく平等な中学校給食です。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
不評さくさくたるハマ弁などに43億円つき込むなど無駄の極みだ。わが孫(中学2年生)は一度もハマ弁を食べていない。「とにかくまずい」「高すぎる」とほとんどの友達がいい、みんなはほかの弁当屋の方(買弁など)がまだましだといっているという。高いし、まずいし、なぜ完全給食を実施し、子どもに学業に専念してもらわないのか理解に苦しむ。即給食実施を。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
魅力ある学校づくり「ライフスタイルに合わせた中学校給食の充実」とあるが、現行のハマ弁方式は取組み以来結果を出していない。固執せず見直すべきではないか。中学校給食の実現は子育て世代の市民(孫を持つ高齢者世代も含む)にとって大きな願いであることは、十分承知のことと思う。行政の都合で考えず、市民目線でぜひ考えてほしい。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
民主主義とは多数決で物事を決める方法かと思ってます。その観点からすれば、中学校給食を求める声は少なくないと市の担当の方も認識されている中学校給食を是非実施してください。ハマ弁の喫食率UPの為に43億円の税金を使わないでください。議会に於て、中学校の先生がハマ弁を食べたら生徒も注文するようになるので先生方にハマ弁を促すような発言がありました。中学3年の息子に聞いたところ、「あり得ない」との反応でした。なので、先生方が食べても喫食率が上がらないでしょう。どんなに遅くても、校舎の建て替え時に必ず全中学校に調理室を設置して自校式の給食を実施してください。住みたい街の常にトップの横浜市の名が廃れます。どうか当然中学校に給食があると引越して来る保護者をガツカリさせないでください。さすが横浜市！と言われるようになってください。期待してます。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
[横浜市の中学生にも是非給食を実施して下さい。]最近の子どもの貧困がクローズアップされ、お弁当を持って行かれない子どもがいることとても心が痛みます。現代の貧困の原因は様々なことがからみ合っていますが、まず、困っている子どもたちに手を差し伸べることが大事ではないでしょうか。中学生にとっての給食は心身の育成特に現代社会では心の育成に大きくつながります。心と体を育てる給食の実現を切望しています。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
中学校給食は食育、子どもの貧困対策など、子どもたちの成長に欠かせません。また自校給食にすれば、災害の時役立ちます。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
戦略5および政策26-3 家庭のライフスタイルに合わせた中学校給食の充実 ハマ弁の使いやすさを向上させるよりも、中学校給食の実現に向けて具体的な計画を立てていただけませんか。 ハマ弁にかかる費用を給食のために使っていただきたいです。 貧困や家庭の事情で満足に食事ができない子どもも少なくありません。せめて学校では全ての子どもが給食できちんと栄養を摂れるようにしてほしいです。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
子どもの貧困が深刻です。ハマ弁も買えない子が多いです。是非中学校給食を実現して下さい。神奈川県で横浜だけがとり残されていてとても恥ずかしい！！	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策26子どもたちの豊かな学びを育む魅力ある学校づくり 中学校給食について 以下の理由から中学校給食、ハマ弁の拡大でなく、学校給食法に基づく中学校給食の導入を強く求めます。</p> <p>① 横浜市は、なぜ学校給食法に基づく給食に反対するのですか。学校給食法は、国の法律です。市民の目から見れば、なぜ横浜市が一貫して、給食に反対するのか理解に苦しみます。新しい施策を導入するときは、国の動向を錦の御旗にして施策導入の根拠としています。その横浜市が、中学給食になると、家庭弁当が基本だとか、お金がないとか、給食施設をつくるスペースがないとか様々な理由をつけて反対してきました。今では、中学生に大変不人気なハマ弁の喫食率拡大に躍起になっています。ハマ弁ではなく、今こそ、国の法律通り中学校給食を実施すべきです。</p> <p>② 中学校給食の導入にお金かかるといいますが、やり方はいろいろあるのではないですか。例えば、近隣の小学校の給食施設を活用すれば、あまりお金をかけない給食が提供できるのではないのでしょうか。中学校給食導入に背を向けていては、知恵は、出ないのではないですか。中学校給食の導入にかかる経費は、優先課題として予算計上すべきではないですか。一般会計一億7300億の予算規模、まさに政策判断するときと思います。</p> <p>③ 現在、中学生をもつ家庭では、朝早く起きて弁当の準備をしています。共働きの家庭が増える中で大変な努力だと思います。また、格差社会の下で弁当を持参できない子どもも一定数います。弁当を持参できない子どもの中には、食事をとらない子もいると聞いています。ハマ弁、業者弁当を利用する子どももいます。中学校給食にすれば、小学生と同様に親の負担が減り、どの子も栄養価の高い同じ給食を食べることが出来ます。同じ給食を皆で食べること、これこそ、食育の基本ではないでしょうか。</p>	<p>参考</p>	<p>中学校屋食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>ハマ弁では、生活環境により屋食の用意が困難な家庭への支援を実施しております。ネグレクトや保護者不在など家庭環境によりハマ弁による支援が必要な生徒に無償で提供する仕組みとしており、制度の趣旨について、家庭への周知を図るとともに、引き続き学校と連携して、必要な生徒に支援が行き届くように取組を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校の給食実現を希望します。共働きの多い時代で、子供の貧困も増加している状況です。それなのに、なぜ浜弁にそれほどこだわるのでしょうか？ 将来を見据えて、中学校給食の導入をしておくべきだと思います。</p>	<p>参考</p>	
<p>中学校給食～私の中学時代、弁当をもってこれないクラスメートは、優れた栄養補給が一番大事な年頃に、学校を経由し菓子パンを注文していました。給食があればそんなことをしなくても済んだのに。それから50年、半世紀たっても未だにわが横浜市に中学校給食が実現していないのは、摩訶不思議です。不人気のハマ弁なるものにしがみつくと市長や一部の市議さんたちは、何を考えているのでしょうか。早く中学校給食を実現してください。</p>	<p>参考</p>	
<p>中学校給食を是非実現して下さい。子供の健やかな成長にも必要だと思いますし、子供の貧困対策になると思います。</p>	<p>参考</p>	
<p>中学校給食実施に向け大きく踏み出す姿勢が皆無です。今や全くの少数派に転落した弁当派にいつまで拘るのか。根本的にその姿勢を転換し、中学校給食実施に踏み出すべきです。中学校給食実施は母子家庭などの貧困による子供への悪影響を低減するためにも有効です。市長の政治姿勢・人間味が問われます。</p>	<p>参考</p>	
<p>中学生の屋食が別に「横浜らしく」ある必要も「各家庭のライフスタイルにあわせる」必要も全くなくて、むしろ貧困格差問題への対処として、まずは中学校での完全給食は必要最低限実施して欲しい。不必要なお弁当制度に貴重な公的資金をこれ以上流すのはやめてほしいです。</p>	<p>参考</p>	
<p>林市長は、力強い経済成長とか文化芸術創造をしっかりと言ってますが、それも大事ですが、子供の貧困が問題になっている今、ハマ弁でなく中学校給食を早く実現させ、1日3食のうち屋食だけでも体によい食べもの、腹いっぱい食べさせてやりたい、普通の大人が思うことです。これを市が実現すると市の財政がパンクするとも言うのでしょうか。せめて、これから日本、横浜を背おっていく子供たちに、やさしい政治をおこなっているよとほめてほしいですね。</p>	<p>参考</p>	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「ハマ弁」でなく「給食」にして下さい。どの子にも栄養のある給食実施をお願いします。お隣川崎では給食がはじまり、みんなで同じ物を食べることで、会話もはずみ、なごやかな時間になっているようです。税金を使うなら、どの子にも同じように使ってください。一食2000～3000円にもなる「ハマ弁」はどう考えてもおかしい！！何億かけていくのでしょうか？小学校の給食費も一気に600円値上げです。2人、3人という家庭では、負担が大変です。「ハマ弁」のせい？と勤めている親ごさんもいます。貧富の格差がますます広がっている中、未来を担う子どもたちに手をかけて下さい。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>1食3000円弱もかかり不足分を税金投入するハマ弁は12%の利用しかなく無駄。給食施設センターでの運営にしなければ女性の社会進出などに反する。即刻ハマ弁を中止するべき。</p>	参考	<p>ハマ弁の運営に関する経費の公費負担につきましては、注文システムに関する経費や配達・受け渡しの経費、全校生徒に配布する献立表の作成費用などであり、食数に関わらずかかる経費であることから、喫食率が20%に達するまでは、一定となります。この運営経費を年間の食数で割った場合に、1食当たりの単価が算出できますが、28年度、29年度の喫食率では、1食当たりの単価が大きくなってしまいます。喫食率が増えることで1食当たりの単価は下がりますので、今後はよりおいしく、より利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施し、ハマ弁の喫食率向上に向けて、さらに取組を進めてまいります。</p>
<p>テレビで、横浜の「ハマ弁」に2900円もかかっていることを知り、びっくりしました。ハマ弁にはどうみても、未来がありません。税金のむだづかいです。一日も早い中学校給食をやるべきです。</p>	参考	<p>この運営経費を年間の食数で割った場合に、1食当たりの単価が算出できますが、28年度、29年度の喫食率では、1食当たりの単価が大きくなってしまいます。喫食率が増えることで1食当たりの単価は下がりますので、今後はよりおいしく、より利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施し、ハマ弁の喫食率向上に向けて、さらに取組を進めてまいります。</p>
<p>ハマ弁に6313円(1食)かけても続けるのはなぜ？</p>	参考	<p>この運営経費を年間の食数で割った場合に、1食当たりの単価が算出できますが、28年度、29年度の喫食率では、1食当たりの単価が大きくなってしまいます。喫食率が増えることで1食当たりの単価は下がりますので、今後はよりおいしく、より利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施し、ハマ弁の喫食率向上に向けて、さらに取組を進めてまいります。</p>
<p>中学校で、ハマ弁ではない、ふつうの給食にしてあげたらいいのにと近所の方と話になりました。ハマ弁は1食あたり3000円近くかかるそうですが、税金ムダ使いですね。</p>	参考	<p>この運営経費を年間の食数で割った場合に、1食当たりの単価が算出できますが、28年度、29年度の喫食率では、1食当たりの単価が大きくなってしまいます。喫食率が増えることで1食当たりの単価は下がりますので、今後はよりおいしく、より利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施し、ハマ弁の喫食率向上に向けて、さらに取組を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食がなぜできないのか？ 以前から中学校給食実現の声は多いのに、なぜハマ弁なのか？喫食率も低く1人2000円の弁当とテレビでも取り上げられているのにおかしいと思います。中学校給食は実施すべきだと思います。</p>	参考	<p>この運営経費を年間の食数で割った場合に、1食当たりの単価が算出できますが、28年度、29年度の喫食率では、1食当たりの単価が大きくなってしまいます。喫食率が増えることで1食当たりの単価は下がりますので、今後はよりおいしく、より利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施し、ハマ弁の喫食率向上に向けて、さらに取組を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食が実施されていないことは、市民・保護者の要望に反するのみならず、全国からモノ笑いの対象にされています。6月2日のテレビ番組で「ハマ弁」問題がクローズアップされ、市の頑なな行政運営がネットでも炎上していますよ。</p>	参考	<p>この運営経費を年間の食数で割った場合に、1食当たりの単価が算出できますが、28年度、29年度の喫食率では、1食当たりの単価が大きくなってしまいます。喫食率が増えることで1食当たりの単価は下がりますので、今後はよりおいしく、より利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施し、ハマ弁の喫食率向上に向けて、さらに取組を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の件 現在のハマ弁は値下げしても利用者が少なく、「1食に市税6000円」とTVでも全国放送されている。大都市横浜で給食ができないとはあまりにおそまつ。子どもを大切にしていることが明らかだ。すぐに中学校給食実施に方針をかえてほしい。</p>	参考	<p>この運営経費を年間の食数で割った場合に、1食当たりの単価が算出できますが、28年度、29年度の喫食率では、1食当たりの単価が大きくなってしまいます。喫食率が増えることで1食当たりの単価は下がりますので、今後はよりおいしく、より利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施し、ハマ弁の喫食率向上に向けて、さらに取組を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の実施。今のハマ弁は1食あたり数千円もするという報道。全く税金のムダ使いである。</p>	参考	<p>この運営経費を年間の食数で割った場合に、1食当たりの単価が算出できますが、28年度、29年度の喫食率では、1食当たりの単価が大きくなってしまいます。喫食率が増えることで1食当たりの単価は下がりますので、今後はよりおいしく、より利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施し、ハマ弁の喫食率向上に向けて、さらに取組を進めてまいります。</p>
<p>中学校給食の早期実現を ・私は、中学校教員でした。どこの学校でも、一番楽しく、またつらい気持ちになるのが、昼食時です。クラスが家庭的に等しい場合は、クラス全体が和やかになり、食事を楽しめます。弁当には、必ず卵焼きがあるので、その卵焼きが家庭によってみな違って、その家庭の雰囲気わかります。しかし、そのようなクラスは年々減少し、弁当がつかれない家庭などが増加し、コンビニ弁当になることが多くなります。その場合は、非常な心配りが必要になります。 ・生徒たちはみな給食好きで、その話を始めるとたいへんな盛り上がりを見せ、給食がいかにおいしいものなのか、熱心に楽しく話してくれます。 貧富の差が著しくなってきた現在、昼食時に平等感を味わうことは、非常に大事なことです。「ハマ弁」になっても、利用者が少ないということは、そこには、食の平等性がないからでしょう。別の面からいえば、非常に非教育的時間になっているということです。教育の場で、非教育的場をつくるということは、根本的な間違いです。 ・先日、テレビで横浜の「ハマ弁」をやっていましたが、現在のような利用数では、一食が非常に高いものになっていました。あのような弁当で、3000円弱ということは、市税のむだ使いになります。このような実態であることを、そのテレビで初めて知りましたが、この事実を市の責任で市民に報せる必要があります。市民に市政のムダを報せるべきだからです。市民はそれで満足するのでしょうか。「ハマ弁」をやめて、給食に切り替えるための政策に変更すべきです。市全体で一斉に実現することが最も望ましいことですが、市民に理解してもらえるように、3年計画で実現させるという方法もあります。</p>	参考	<p>この運営経費を年間の食数で割った場合に、1食当たりの単価が算出できますが、28年度、29年度の喫食率では、1食当たりの単価が大きくなってしまいます。喫食率が増えることで1食当たりの単価は下がりますので、今後はよりおいしく、より利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施し、ハマ弁の喫食率向上に向けて、さらに取組を進めてまいります。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
・中学校給食の実現のための年度計画を位置づけるべきです。		
<p>未来を創る多様な人づくり 26の魅力ある学校づくりにある中学校昼食の充実ですが、「ハマ弁」に一食6千円の費用がかかっていると知り驚愕しています。保護者が利用しにくいシステムだと思いましたが、需要が少ない弁当を赤字が多く出ても実施している姿勢に疑問を感じます。そもそも「ハマ弁」を導入する時利用者である保護者にアンケート等をとり意見を聞いたのでしょうか？さっさと中止して新しい昼食の補助や給食を実施してください。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>ハマ弁の運営に関する経費の公費負担につきましては、注文システムに関する経費や配送・受け渡しの経費、全校生徒に配布する献立表の作成費用などであり、食数に関わらずかかる経費であることから、喫食率が20%に達するまでは、一定となります。</p> <p>この運営経費を年間の食数で割った場合に、1食当たりの単価が算出できますが、28年度、29年度の喫食率では、1食当たりの単価が大きくなってしまいます。喫食率が増えることで1食当たりの単価は下がりますので、今後はよりおいしく、より利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施し、ハマ弁の喫食率向上に向けて、さらに取組を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜市の公立中学の昼食時間は15分しかないと聞いております。その中でハマ弁を取りに行くのは厳しいと思います。 教員の残業問題ならば、部活を15分減らし、給食を導入し、給食、昼休みを15分以上増やしてください。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>中学校での昼休みの時間を拡大して、給食実施を望みます。</p>	参考	
<p>ハマ弁の利用率がなかなか上がらず低迷している。それなのに、なぜ弁当に固執し続けるのか疑問。ハマ弁利用率をあげるために予算を作るなら、給食導入にあててほしい。給食がそこまでよくないものなのか？統合などにより使われなくなった校舎を給食センターなどに使えないのかと思う。「食育」と言うのが、共働きの多い中、栄養バランスうんぬんよりも、冷凍食品に偏る方が多いのではと思う。それよりも栄養士さんの考えてくれた給食を皆でいただく方がよっぽど子供達の成長には良いのではないかと思う。また、学校には昼食をゆっくりととれるような時間を確保してもらいたいと思う。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>昼食時間については、多くの学校では、昼食時間の前に準備時間を確保しており、生徒は、その時間を利用してハマ弁、業者弁当の準備をしております。昼食にかかる時間は、学年によっても、各生徒によっても個人差がございますので、時間内で食べ終わらない場合は、個々の状況に応じて昼休みの時間になっても、引き続き食事を続けられるよう配慮しております。</p> <p>これらのお昼の時間については、各学校の判断で、授業時間などとの関係から時間配分が行われております。ご要望をお持ちの場合は、例えば、保護者懇談会等で、教職員も含め、他の保護者の皆様も交えて相談するなどの方法が考えられます。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>学校給食の実施に向けた検討・調査・研究を計画に盛り込んで下さい。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>共働き家庭の増えた現在での中学校給食の実現！くれぐれも宜しくお願いします！！他の政令市の調査勉強をすべきです！のらりくらはもうガマン出来ません！</p>	参考	
<p>政令市のうち横浜市だけが実施していない中学校給食について早急に調査・研究を行い、一日も早く実施する様に要望します。</p>	参考	
<p>中学校給食を、横浜市も実現して下さい。小学校のような給食をしてほしい。早く予算化して調査をしてほしい。</p>	参考	
<p>中学校給食を実施してください。多くの子育て世帯が望んでいます。せめて、計画素案に、中学校給食実施に向けた研究を行うことを盛り込んでください。よろしく申し上げます。</p>	参考	<p>中学校昼食の調査・研究につきましては、ハマ弁を実施して以降、生徒に無償提供する「ハマ弁デー」や、保護者を対象とした食育セミナー・試食会を実施し、その中でハマ弁に関するアンケートを行っております。引き続き、試食会、セミナーにおけるアンケート結果を活用するとともに、今後はモニター校（ハマ弁の利便性向</p>
<p>中学生に給食は必要です。現場の声(教師達)をアンケートにして下さい。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
		上の取組を試行する(中学校)においてアンケートを実施する等により、中学校昼食の充実にかかっています。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>〈中学校給食〉 先日、テレビで横浜の公立中学校の給食について報道されました。私は67才で田舎の中学を50年以上も前に卒業しましたが、その時すでに給食があり、エレベーターで各階に運ばれていました。横浜に来て未だに給食をやっていないことに驚きましたが、やろうとしないことにはもっと驚かされています。子供たちが安心して学校に行き、栄養のことに考えられた給食が安く食べられるようになることを望みます。</p>	参考	中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。
<p>・小学校は給食があるのに中学校はない事が素朴に疑問です。ハマ弁を作る場があるなら給食を作る事も可能ではないでしょうか。 ・給食は栄養バランスが考えられているのでとてもありがたいです。家庭のごはんが一番と言いますが、毎回バランス良い食事がとれているとは限りません。</p>	参考	栄養面等につきましては、食品衛生法などに則った食材を利用し、ハマ弁のホームページで産地を表示しております。また、衛生管理にも配慮するとともに、「日本人の食事摂取基準2015年版」に基づき、事業者の管理栄養士が作成した献立を教育委員会の栄養士が確認して栄養バランスに配慮した内容で提供しております。
<p>・中学校給食はすぐに実施してほしい。 ・成長期であり栄養が重要。</p>	参考	す。
<p>23、24、29などに関して 健やかな子育てはまず体作り、そのための食事が大事。育ち盛りの子供たちに十分な栄養を与えるため、給食の持つ役割は大きい。他市では行われているのに横浜では未だ中学校の完全給食が実施されていないのは大問題だと思う。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>26中学校昼食の充実について意見！！ 各中学校で（現在行われている小学校と同じ様に）給食を是非実現してほしいです。理由①この時期は最も成長の著しい時です！専門的な栄養学を学んだ栄養士さんによる献立でバランスの良い食事を与えることが心身共に健康な体作り、体力作り、それが横浜の未来を担う若者づくりにつながると思います。②昔から医食同源といわれています。医療費の軽減にもつながりますし、何よりも頭の良い、性格の良い体力のある青年を育て、未来を創る多様な人づくりになることと思います。</p>	参考	
<p>これから日本は働ける人口が増々減少します。女性の労働力は不可欠、結婚し子供を育てている間も、余裕を持って働きたいものです。議員の男性方は、お母さんの朝のお弁当作りが、どんなに時間が掛かり大変か理解して下さい。 子供にとっても、栄養面でも安心して給食を食べられる事は成長にとっては有益です。 横浜市立中学の給食実施をお願いします。</p>	参考	
<p>ハマ弁、部活をしていると朝早いので、仕事(夜勤もしていたので)していたので、夫婦で8年間弁当作りして大変でした。(夜作るとは夏は心配だったので) 是非、栄養バランスのとれる給食を実現して欲しいです。みんなで同じ物を一緒に食べられるようになって欲しいです。</p>	参考	
<p>横浜市で中学校給食を実施しないのはなぜか。育ち盛りの中学生に栄養の行き届いた、安心して食べられる給食を提供するのは、教育上も健康の維持のためにもきわめて大事なことと考える。「ハマ弁」事業に多額の市費を投入しつづけて、給食の実施を拒みつづけるのは、なんとしても納得できない。</p>	参考	
<p>横浜市に中学給食がないのはおかしいです。 横浜市には最先端の学校事業を期待したいです。でも大磯中みたいな事例はやめていただきたい。</p>	参考	
<p>横浜市の中学校に給食をとり入れて下さい！！ 「どうして横浜市だけ、給食にしないのか」という疑問をずっと抱いてきました。 横浜市に次々と発展する街が出来ている中「子育て」という問題は、はぶかれているのですか？昔と違い共働きで生活していかなければ暮らしていけない家庭が増えて、今、子育てをしていない方には想像出来ない位、目まぐるしい毎日を送っています。今、子育て中の家庭の事情はご存じないのですか？この想いは、ほとんどの家庭で同じ想いを持っています。</p>	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
梅雨時期、夏のお弁当、衛生面に対してはどのような考えでやられているのですか？これからの未来を支えていく子供達にバランスのとれた栄養と、健全な発育に必ず給食をとり入れて下さい！！よろしく願います！！		
学校給食はハマ弁ではなく小学校と同等の自前の給食にしてください。学校給食の本来の目的は、栄養バランスの摂れた食事を全員が同じ物を一緒に食べることにあります。	参考	中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。
給食 自校の献立による給食大磯の様な事がない様、子供の体質対策がむずかしいでしょうか。	参考	栄養面等につきましては、食品衛生法などに則った食材を利用し、ハマ弁のホームページで産地を表示しております。また、衛生管理にも配慮するとともに、「日本人の食事摂取基準2015年版」に基づき、事業者の管理栄養士が作成した献立を教育委員会の栄養士が確認して栄養バランスに配慮した内容で提供しております。
給食より弁当と思いますが、ハマ弁に回す予算は給食にして安心を子供に食べさせたい！中学に通わせてますが、母子家庭で弁当より給食で安全な食品で育てたい。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
子供達の未来の為に義務教育には給食を。中学生の育ち盛りには安心安全の給食を。やる気さえあれば出来ます。	参考	
政策26: 全中学生が必要な栄養を取れるよう、給食を至急実施してください。	参考	
給食(中学)は、一刻も早く実施すべき！！義務教育でありながら、栄養面も考えた昼食を全員に等しく与えていくべき。どこに税金を無駄使いをしているのか？	参考	
中学校に給食を導入して下さい。将来を担う伸びざかりの子どもたちに等しく栄養のある給食が必要です。給食がないとはずかしい。	参考	
中学校の学校給食の実施をお願いします。心身共に成長期にある中学時代、安全安心な給食を横浜市が保障することが必要です。	参考	
中学校の給食実施をお願いします。保護者の負担軽減 夏場の食中毒の心配 家庭で不足しがちな栄養バランス	参考	
中学校を給食にしてほしい！ (働いている)母親、(家事担当の)父親、(親のかわりに子育てをしている)祖母の家事軽減に加え、子供の栄養バランスのとれた食事は現代の健全な子供の発育に大変大きな意味があると思います。 大きな社会全体での子育てを求めます。	参考	
中学校給食の実施を。 子供達にバランスのとれたボリュームのあるあたたかいごはんを食べさせたいです。 お弁当では量も栄養も限られてしまうし、夏の食中毒対策にもなると思っています。 大切な成長期、バランスのとれた食事、あたたかい食事ですリラックスできる時間をつくってあげてほしいと思います。	参考	
中学校給食を、ぜひ実現させて下さい。 平塚市では牛乳給食がなく、世の中そんなものだと思っていましたが、仕事で通っていた小田原地域では、中学校給食は当たり前と知り、愕然としました。 さらにわが町横浜では牛乳も出していないと知り、恥ずかしい思いをしました。 足柄下郡の町は、財政規模も小さく、中学校の規模も大都市横浜に比べて小規模です。財政力も比べものにならないくらいですが、子供を持つ同僚、特におかあさんたちは、給食をととても喜んでいました。私も小田原市の給食センターに見学に行き、試食させてもらった事があります。栄養のバランスを考え、素材に心を配り、子どもたちが残さないよう、いかに調理するか。栄養士さんたちがこんなにも努力されていたとは、知りませんでした。 ハマ弁の事も、新聞などで読んでいますが、給食とは別物です。予算を使うなら、全面的な学校給食実施をお願いします。	参考	
中学校給食を実現して下さい。 子供に健やかな成長を栄養面で保障する中学校給食は絶対必要です。	参考	
中学校給食実施について	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>全国的に見て中学校に給食がない横浜に住んでいることで多くの面から平等性を欠くことになる。成長期の心身にとってバランスのとれた栄養と安心して昼食をクラスでとることができるように是非とも予算をつけて実現の方向でお願いします。</p>		
<p>中学校給食制度について保育所増加が必要とされている今日、共働きの普通となっている状況で中学校の給食制度の早急な実施は必要不可欠と思います。夏場の衛生面、子供の栄養面等、様々な視点から見てもメリットの多い給食、実施にふみきれないのはなぜでしょうか？できない理由を市民にきちんと伝えるべき。「今までは弁当でやってきた」など、昔と今を比べるなどはナンセンス。親の働き方がかわってきています。皆の納得する見解を伝えてほしい。中学校給食制度早期に実施を！！時代やニーズにあわせた改革を！！</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>栄養面等につきましては、食品衛生法などに則った食材を利用し、ハマ弁のホームページで産地を表示しております。また、衛生管理にも配慮するとともに、「日本人の食事摂取基準2015年版」に基づき、事業者の管理栄養士が作成した献立を教育委員会の栄養士が確認して栄養バランスに配慮した内容で提供しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>国際都市横浜、何故中学校給食が出来ないのでしょうか？全国的には給食費“無償化”に遂行しています。</p>	参考	<p>学校給食法では、学校給食の実施については、地方公共団体等はその推進に努めるものとされており、地方公共団体ごとに置かれている状況に違いがあり、本市では、民間活力の最大限の活用や、個々に合わせた幅広い選択肢を用意するため、学校給食法に捉われない新しい仕組みとして、『ご家庭のライフスタイルや日々の都合に合わせて、ハマ弁、家庭弁当、業者弁当を組み合わせてご利用いただく選択制』で実施しております。ハマ弁の価格については、30年4月より価格の引下げを行い、他都市のデリバリー型給食と同程度の価格としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>子供たちの豊かな学びを育てるための魅力ある学校づくりについて完全給食化の早期実現。昼食購入は家計負担増。子供に食費渡しても子供がバランスいい食事をするとは限らない。栄養・バランス共に良い、市全額負担の給食こそ子供の成長に欠かせない。</p>	参考	
<p>新市庁舎、高速道路に使う金を中学校給食無料に使うべきです。</p>	参考	
<p>親の就労条件や収入で一番大事な中学生の体力作りに格差がつかない様、無償で中学校給食を実現して下さい。横浜の将来を担う人作りの原点ではないでしょうか。</p>	参考	
<p>中学校給食(無償)なぜ実施しない 横浜市は何を考えている。市議はもっとしっかりしろ、ハマ弁に43億無駄使いやめて！子供食堂、家族皆で食べて良いのか？給食でお腹いっぱい食べれば子供食堂必要なし。</p>	参考	
<p>中学校給食をハマ弁から自校調理の給食を実施すること。給食費はすべて市が負担し、無償とすること。</p>	参考	
<p>今回の素案が発表になり、市民の意見が全く聞かれていないことに驚いています。 林市長が選挙で当選したからと言って給食を推進しないのは愚行としか言いようがありません。小学校の給食室を改築した時、多額の費用をもって1000人規模の給食ができるようにしたとの話がありました。隣接する、中学校の生徒を入れても現在1000人にも満たないのにできないなんて、業者との癒着としかおもえません。税金の無駄使いはやめて、給食にしてほしいです。 素案は、中学校昼食の現状・課題として、【「ハマ弁」「家庭弁当」「業者弁当」の3つのメニューから等しく選択できる環境整備に着手】したとしていますが、【全国では90%の中学校で給食が実施されており、川崎でも始まった】というのが正しい現状ではないでしょうか？ 横浜市は保護者から、アンケートをとって給食じゃない方が良いと言っていたとありますが、アンケートを取られた覚えがありません。給食が良いと署名したのは確かにしましたが…いい加減市民の意見を聞いて、ハマ弁がダメと、判断し、潔く給食に移行してほしいです。勇気を持ってください。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>ハマ弁の事業者は、公募型プロポーザル方式で事業者を公募し選定され、協定を締結した相手方です。事業者の決定に当たっては、提案された事業内容がプロポーザル評価委員会や業者選定委員会を経ており、公平な手続きで選定されたものと考えております。</p> <p>また、事業実施にあたっては事業者と提案に基づき、具体的な実施方法等の協議を行ったうえで、協定書を締結し、事業を実施しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校の給食は、絶対に実施するべきです。 ハマ弁と、業者弁当の差は何ですか？ 付度で、業者が決まっているようにしか思えない。その辺のスーパーのお弁当の方がいいのでは？</p>	参考	
<p>中学校給食実施に向けた調査すら行わず、ハマ弁に43億円とあったが、調査もしないのに43億円いるのか、契約業者と手を組んでいろいろ</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
に必要とはっきり言えと。		
給食の件:「ハマ弁」は、まったく人気がない。ちゃんと調査もせずに、「やれば良い的」なことでも上手に行く訳がない。ちゃんと調査をして、こどもたちに人気がある「ハマ弁」を考えて下さい。	参考	<p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p> <p>中学校屋食の調査・研究につきましては、ハマ弁を実施して以降、生徒に無償提供する「ハマ弁デー」や、保護者を対象とした食育セミナー・試食会を実施し、その中でハマ弁に関するアンケートを行っております。引き続き、試食会、セミナーにおけるアンケート結果を活用するとともに、今後はモニター校(ハマ弁の利便性向上の取組を試行する中学校)においてアンケートを実施する等により、中学校屋食の充実に生かしてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
学校づくりについて 早急に今年度中にでも、中学校給食を開始して欲しいです。それが難しい場合は、市立中学生全員が毎日ハマ弁を食するスタイルにして欲しいです。喫食率100%です。小学校給食でベ이스ターズカレーが出た日には子供達は大喜びでした。ハマ弁又は給食なら、そういった楽しみを提供することが可能です。	参考	<p>本市では、それぞれに良さのある3種類のお弁当を家庭のライフスタイルや日々の都合に合わせて利用していただきたいと考え、ハマ弁、家庭弁当、業者弁当から等しく選べる選択制として実施しております。</p> <p>その中でも栄養バランスの整ったハマ弁を選択しやすい環境を整えるため、今年度、ハマ弁の価格の引き下げを行いました。引き続き、よりおいしく、利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」、「一括注文の導入」を段階的に実施するなど、ハマ弁が生徒・保護者に選んでいただきやすい選択肢となるよう、しっかりと取組を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
ハマ弁の改善を強く望みます。1食6,000円以上もかかっている事を知り、大変驚きました。とつてももったいないと思います。ハマ弁を全員(給食)にしないと問題は解決されないと思います。お弁当はすぐ食べられますが、ハマ弁は取りに行く時間や片付けがあり、時間の差がありますし、注文期間を一週間にしたとしても手間があり、親としては頼みにくいのが現状です。味付けも値段もよくなっているので、全員ハマ弁という形にすれば全てがよくなるのではないのでしょうか？	参考	<p>引き続き、よりおいしく、利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」、「一括注文の導入」を段階的に実施するなど、ハマ弁が生徒・保護者に選んでいただきやすい選択肢となるよう、しっかりと取組を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
中学校の昼食について 横浜市ではハマ弁が始まり、弁当を家庭で作る手間が省けて大変助かっています。何も無いよりはハマ弁はありがたいのですが、やはりみんなと同じものを食べられる給食の方がよいと思います。 横浜市は規模が大きく、一斉導入は困難だと思いますが、需要の高い地域から少しずつでも検討してもらいたいです。 なぜ喫食率が上がらないのかを直視して下さい。中学生はみんなと同じでないと不安な子が多いのです。親がハマ弁にしたくても子が拒否しているという話をよく聞きます。うちの子のように心の強い子しか利用できないのが現状です。 給食がムリならハマ弁をデリバリー給食扱いにして全員原則利用にすればよいかもしれません。	参考	
どうしても弁当という選択肢しかないのであれば、地域で安心なお弁当を作っている業者との提携を進めていただきたいです。	参考	<p>ハマ弁の事業者は、公募型プロポーザル方式で事業者を公募し選定され、協定を締結した相手方です。事業者の決定に当たっては、提案された事業内容がプロポーザル評価委員会や業者選定委員会を経ており、公平な手続きで選定されたものと考えております。また、事業実施にあたっては事業者と提案に基づき、具体的な実施方法等の協議を行ったうえで、協定書を締結し、事業を実施しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<26に関連して>横浜市の中学校が今だに「給食」になっていないのは全国に知れわたり、「ハマ弁」のために毎年5億も使われるのであれば、計画的に「給食」のためにお金を使えばいいのではないかと思います。29.で「子どもの貧困対策」をあげるのであれば、なおさらです。34.の対策と関われば「中学給食場」があることで、十分に災害時に役立つ場となるはずです。	参考	<p>中学校屋食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施し</p>
「中学校屋食における『選択制』の充実」とありますが、「ハマ弁」はやめて、中学校給食の実施に踏み出すべきだと考えます。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「ハマ弁の喫食率20%」を掲げていることについて、林市長には、いい加減に目を覚ましてほしいと思います。多くの保護者が求めているのは、全国約9割の中学校で実施している給食です。先日、テレビ番組で、「ハマ弁」の喫食率が低い問題が取り上げられ、林市長が、給食を実施できない理由に「お弁当づくりがやりがいい人がかなりいる」と言っていることが放映され、ツイッターなどでも話題になっていることをご存知でしょうか。横浜市民として恥ずかしい思いです。「子どもたちの可能性を広げる教育の推進」と言うのなら、中学校給食を実施して、食育をしっかり推進すべきではないでしょうか。中学生の部活があれば、朝5時に親が起きて弁当をつくっていることをご存知でしょうか。働く親の支援にもなる中学校給食の実施を真剣に考えてほしいです。これは、戦略の5の「女性の活躍支援」にもつながると考えます。「政策26」の「現状と課題」についてです。「全中学校でハマ弁を選択できる環境を整え」「『ハマ弁』『家庭弁当』『業者弁当』の3つのメニューから等しく選択できる環境整備に着手しました」と書かれていますが、私はそう思いませんでした。現状は「約9割の中学校で給食が実施されていますが、横浜市では実施されていません」であり、課題は「中学校給食は全ての子どもが平等に栄養バランスのとれた昼食を食べることができます。同じ昼食で、生徒間のコミュニケーションが広がり、楽しい時間を過ごせます。食事の準備を共同で行ない、社会性を育てることができます。低所得世帯の生徒には就学援助費で給食費を出すことができ、経済的負担を軽減できます。中学校給食の実施は急務です」と私は考えます。多くの保護者の選択肢に入っていない「ハマ弁」を充実するために43億円を使うようですが、そうしたお金は、子どもたちにより良い中学校給食を実施するために使ってほしいと思います。最後に、中学校給食は、地域経済や農業、雇用対策としても有効だということにふれておきたいと思います。食材の地産・地消を推進すれば、市内農家や地元商店から食材を購入することになります。調理員や栄養士を確保すれば、雇用を生みます。給食室を学校内につくれば、建設関係会社の仕事にもなります。市内の農家、中小企業への具体的な支援策にもなります。これは、戦略の1番目の「市内企業の持続的な成長・発展」「活力ある都市農業の推進」にもつながることだと考えます。</p>		<p>ております。 ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。 ハマ弁では、生活環境により昼食の用意が困難な家庭への支援を実施しております。ネグレクトや保護者不在など家庭環境によりハマ弁による支援が必要な生徒に無償で提供する仕組みとしており、制度の趣旨について、家庭への周知を図るとともに、引き続き学校と連携して、必要な生徒に支援が行き届くように取組を進めてまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ハマ弁について 貧困と格差が広がっている中でなぜ、中学校給食をやらないのでしょうか？ハマ弁に43億円だすのなら、中学生全員が食べる給食を実施すべきです。子どもの心と体にどれだけ影響があるかはかりしれません。親子様式でできるところからでも検討して下さい。</p>	参考	
<p>市長選挙の時、多くの市民が願っていた中学校給食の実施・是非推進すること：待たなしです。子どもの貧困の大きな対策になります。何で人気のない“ハマ弁”に43億円もかけて小学校給食は大きく値上げをするのですか？たった1.5%しかの喫食率に30億円とはあきれてしまいます。育ち盛りの子どもたちに栄養たっぷりの給食をすべての中学生に提供すべきです。</p>	参考	
<p>結婚後に横浜市に引っ越しました。まず驚いたのは、中学校給食がないこと。義務教育で当たり前だと思っていたものがないなんて…そして、図書館も近くになく、子どもの医療費、中学生以下無料でもない。子育てに優しい町ではないことが分かり、残念な気持ちでいっぱいです。私は地方出身なのですが、両親も「横浜ってイメージだけなんだね。孫たちがかわいそう。」と言います。 教育にお金をどうしてかけられないのか、本当に不可解です。市民には、横浜市はお金がないから、というイメージ植え付けてますよね。一方で高速道路や市庁舎の建て替えに莫大のお金をかけている。建設業者が潤うことを考えていますよね。 まず危機感を感じてやらなければならないことは、「中学校給食の実施」です。給食は教育です。子どもたちが当然受けられる教育の機会を、横浜市は放棄しているのです。 横浜らしい昼食の在り方で「選択制」を謳ってますが、数校で業者弁当がありません。3択はウソです。そして喫食率20%を目指すために、43</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>徳円の投資。学校給食法に基づくデリバリー弁当を行っている町田市でさえ、13.8%。年々低下しています。川崎市も給食を実施する前は、10%前後です。20%という目標は100%無理です。実現しないことに、市民の税金を43億もかけるなんて、もってのほかです。そもそも20%はどのような数字なのでしょう。達成すれば、中学生みんなが満足できるのでしょうか？疑問です。</p> <p>お弁当持ってこれない子がいる。菓子パンですます子がいる。先生が自腹きってお弁当買ってくる。表面化しない、この厳しい実態に目を向けることが、行政の仕事上ではないでしょうか？実態を調査してください。就学支援家庭へのハマ弁無償提供も、実際は難しいですよ。自分が貧しいことを子どもは認めたくないからです。</p> <p>ハマ弁は何も生み出しません。生み出すのは業者の利益だけです。給食は子どもたちの健全な成長を促進します。だから小学校でやっているのではないですか？</p> <p>食べ盛り、多感な時期に必要なのは、心身ともに満足できる給食です。荒れた学校が改善され、不登校が減り、学力向上にも寄与します。全国の報告を見てください。</p> <p>中学校給食になんととしてでも舵をきっていただきたい。よろしく願います。</p>		
<p>昨年の市長選挙で市民多数の要望であることが明らかになった「中学校給食の実現」を明記する。「素案」にある「中学校給食における『選択制』の充実」は市民要望ではない。まして、そのため（「家庭のライフスタイルに合わせた中学校給食の充実」）のための事業（「ハマ弁がより使いやすくなるような取組の推進」）に43億円という巨費を投入することは、まったくの無駄といわざるをえない。市民が要望しないものに巨額を使うべきでない。中学校給食は、女性・男性を問わず親が働きやすい環境をつくるために重要であり、家庭の事情等により給食の用意が困難な生徒への大きな支援になる。それは子どもの貧困対策に直結する。導入には多額の経費が必要となるが、市政の優先課題の一つとして位置づけ、必要な市費を投入すべきである。中学校給食を実施する場合、教職員の負担が大きくなるのが考えられるので、「中学校給食支援員」を各学校に配置する。政令指定都市で唯一、中学校給食を実施していないという「子育てにくいまち」の汚名を返上することは、若い人への大きなアピールになる。</p>	参考	<p>中学校給食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p>
<p>素案P82～83</p> <p>政策26子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり</p> <p>中学校給食について。中学校給食を実施すべきという観点から以下、コメントする。市は「ハマ弁」「家庭弁当」「業者弁当」を給食として実施している根拠として「選択」を拠り所としていることが分かる。しかし、この論拠は、以下に見るように破綻している。</p> <p>横浜市でも小学校では給食として給食を実施しており、「選択」を拠り所としてはいない。</p> <p>小中学校がどの子どもも共通に、基礎学力を付けることを市教委が願うのと同じように、給食によって共通の基礎体力を付けることこそ、市と市教委の責務であり、そこに「選択」という論拠を持ち出すべきではない。</p> <p>市と市教委は学校給食法第4条および、食育基本法前文の精神に立ち戻っていただきたい。</p> <p>さらに中学校給食についてコメントする。「ハマ弁」の喫食率が20%まで上がる見通しはない。市と市教委は、なぜ、喫食率が上がらないのか、現在の市内中学生をもつ家庭のなかで、貧困の広がりによって保護者がダブルワークをせざるを得ず、そのため毎朝の弁当づくりが困難なケースが増えていること、「ハマ弁」をそのまま実施すれば、その運営費、維持費は言わば税金の無駄遣いと批判を招くこと、給食を実施すればハマ弁実施に伴う「価格の引下げや利便性の向上」の取組は不要となり国からの交付金を中学校給食に文字通り充てることができることなどを真摯に検討し、「ハマ弁」を廃止し、経費削減も可能な親子方式を含めた中学校給食実施に踏み切るべきである。</p>	参考	<p>ハマ弁では、生活環境により給食の用意が困難な家庭への支援を実施しております。ネグレクトや保護者不在など家庭環境によりハマ弁による支援が必要な生徒に無償で提供する仕組みとしており、制度の趣旨について、家庭への周知を図るとともに、引き続き学校と連携して、必要な生徒に支援が行き届くように取組を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学給食について 政令都市で横浜だけが中学給食を実施してもらえない いくらハマ弁を開始しても利用者のニーズとあっていない。 子供の貧困も問題になっているなか、安心して育ち盛りの子供がご飯を食べられる環境を作ってほしいです。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>中学校給食について ハマ弁は、ほとんど利用する子はいません。家庭でも、お弁当を作れず 屋敷抜きの子ども達もたくさんいます。子供の教育にもっと横浜市の税金を使って下さい。将来を担う子供たちを大切にしてほしいです！</p>	参考	<p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p>
<p>隣の川崎が中学校給食を始めたが、横浜は始める計画すらない。義務教育の期間、みな同じものを食べ、食べ物について、農業や漁業などの一次産業について、学ぶことはどれほど価値のあることか。給食は小学校で行っており、子ども達は準備のノウハウも知って中学校に入学しては、テレビなどであれだけ料理やたべもの番組をやっているのだから、工夫によって給食の内容はいくらでもよくできるはずだ。子どもの貧困の問題が給食の実施によってだけでも当面救済役をはたすことができる。給食も行わずに、深刻化している貧困問題への手立てをもってほしい。2～3%しか利用されていないハマ弁をやめて、給食を中学でも初めてほしい。</p>	参考	<p>ハマ弁では、生活環境により昼食の用意が困難な家庭への支援を実施しております。ネグレクトや保護者不在など家庭環境によりハマ弁による支援が必要な生徒に無償で提供する仕組みとしており、制度の趣旨について、家庭への周知を図るとともに、引き続き学校と連携して、必要な生徒に支援が行き届くように取組を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>ハマ弁から給食へ 利用率の少ないハマ弁利用を増やそうと税金を使うのではなく、同じ費用で給食実現のための試算や検討をしてほしいです。同世代の子どもがいる友人からも、給食になってほしいという意見が多数聞かれています。 日本国内多くの都道府県で実施できている中学校給食を実現できるような政策を考えた方がよいと思います。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>テレビ番組で横浜市の中学校給食事情について放映しました。一食あたりの市補助金が破格であるという事や、利用者が少ない、まずいという内容でした。政令指定都市で横浜市だけが給食を行っていない事も、情けない事が全国放映されました。業者とは5年契約ということでしたが、違約金を払っても赤字補助を続けるべきではないと思います。しかも、利用者状況についてアンケートもとらないで、予測の判断であることも明らかになりました。給食設備のことを思えば全市で一斉ということは考えられない事ですから、どこかでモデルをつくり横浜は給食に一歩ふみだしたメッセージを出す事が大切だと思います。</p>	参考	<p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p>
<p>一番ひどいのは教育条件。中学校給食は、いつ実施するのですか。実態の調査はされているのですか。評判の悪いハマ弁に多くの予算を注ぎこんで固執する理由はどこにあるのですか、納得のいく説明はされていません。</p>	参考	<p>中学校昼食の調査・研究につきましては、ハマ弁を実施して以降、生徒に無償提供する「ハマ弁デー」や、保護者を対象とした食育セミナー・試食会を実施し、その中でハマ弁に関するアンケートを行っております。引き続き、試食会、セミナーにおけるアンケート結果を活用するとともに、今後はモニター校（ハマ弁の利便性向上の取組を試行する中学校）においてアンケートを実施する等により、中学校昼食の充実にかしてまいります。</p>
<p>神奈川県下では、大部分の自治体が中学校給食を実施してます。横浜市で現在行っている給食ではない業者弁当「ハマ弁」は利用者は一桁%と不評で増える見込みはありません。 計画に、中学校給食実施に向けた調査事業を組み込み、現状の改善に向けた施策の方向性を述べるべきだと思います。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食実施に向けて、調査研究を行ってください。中学生やその保護者が望んでいるのは、ハマ弁ではなく、給食です。喫食率が1.5%と低迷していることから明らかです。他の政令都市の給食の優れた実態を調査してください。</p>	参考	
<p>中学校給食実施の調査開始を切に願います。 少子化時代の今こそ、子どもの成長に大切な中学校給食が求められています。現在実施しているハマ弁は現役中学生に全く評価されていません。全国20政令市の中で横浜市だけが中学校給食を実施していない事ははばかしい限りです。中学校給食実施の調査開始を切に求めるものです。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>全国の9割の自治体では中学校給食を実施しているようですが、なぜ横浜市は中学校給食やろうとしないのか。 注文率が1%代のハマ弁に多額の税金を使っていることが、テレビでも放映されました。食材は外国産、食品添加物や衛生管理の問題も業者まかせです。 学校給食法に基づき、横浜市は中学校給食を実施すべきです。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>栄養面等につきましては、食品衛生法などに則った食材を利用し、ハマ弁のホームページで産地を表示しております。また、衛生管理にも配慮するとともに、「日本人の食事摂取基準2015年版」に基づき、事業者の管理栄養士が作成した献立を教育委員会の栄養士が確認して栄養バランスに配慮した内容で提供しております。</p> <p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>なぜ中学校給食を実施しないか、市民が納得する理由が示されていません。 飛鳥田市政時代から横浜市は「愛情弁当」が良いと言ってきました。 半世紀以上たった今も時代錯誤的な理由をあげ、実施しないどころか「ハマ弁」なるものに意地でも固執するのは業者との何か癒着関係でもあるのかと疑いたくなります。 1食6千円以上も税金を使うハマ弁とは、それほど全国に向けて誇れるものなのでしょうか。 ハマ弁の利用率を見れば、破綻は明らかです。中学校給食実施への準備を進めてください。</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p> <p>ハマ弁の事業者は、公募型プロポーザル方式で事業者を公募し選定され、協定を締結した相手方です。事業者の決定に当たっては、提案された事業内容がプロポーザル評価委員会や業者選定委員会を経ており、評価され、選定されたもので、公平な手続きで選定されたものと考えております。</p> <p>また、事業実施にあたっては事業者と提案に基づき、具体的な実施方法等の協議を行ったうえで、協定書を締結し、事業を実施しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>カジノより学校給食 自分の友だちでごはんはたけるけどおかずがないので、どうしたのときいたら親たちがパチンコ中どくでおかずをつくってくれないのでさみしくごはんだけだよといわれたのでえいようのある中学校給食をたのみたいです</p>	参考	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p>
<p>ハマ弁を止めて中学校給食の実施を多くのお母さん達は、安価で育ち盛りの中学生にふさわしい栄養の取れた中学校給食を望んでいます。 学校給食法では、栄養面と食育の面から学校給食を定めています。全国の政令都市の中で中学校給食を実施していないのは横浜市の他1市だけです。それを見ると、きわめて横浜市は遅れています。学校給食法</p>	参考	<p>ハマ弁では、生活環境により昼食の用意が困難な家庭への支援</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>に満たないハマ弁に固執するのを止めて、学校給食法を満たす中学校給食を実施することを望みます。今働くお母さんは増えています。働くお母さんにとって忙しい朝に、栄養や安価な弁当を作るのに苦労しています。そんな時、栄養面でも経済的にも安心できる中学校給食は、大助かりです。中学生の中に、昼食時教室から出ていく生徒がいると聞きました。保護者が弁当を作ってあげられず、弁当も買えない、と。驚きました。現在、生活保護世帯が増えております。そうした世帯にとって無償で、栄養価でも安心できる中学校給食があればどんなに助かるか。ぜひめざしてほしい。小学校の給食費を上げて、極めて不人気のハマ弁の価格を下げる、止めてお母さん達が願っている給食を実施して下さい。</p>		<p>を実施しております。ネグレクトや保護者不在など家庭環境によりハマ弁による支援が必要な生徒に無償で提供する仕組みとしており、制度の趣旨について、家庭への周知を図るとともに、引き続き学校と連携して、必要な生徒に支援が行き届くように取組を進めてまいります。</p> <p>栄養面等につきましては、食品衛生法などに則った食材を利用し、ハマ弁のホームページで産地を表示しております。また、衛生管理にも配慮するとともに、「日本人の食事摂取基準2015年版」に基づき、事業者の管理栄養士が作成した献立を教育委員会の栄養士が確認して栄養バランスに配慮した内容で提供しております。</p>
<p>中学校給食の実現を目指していただきたく、お願い申し上げます。</p> <p>戦略5『未来を創る多様な人づくり』、政策26子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくりに中学校昼食に関する素案が書かれてますが、これに対し以下にパブリックコメントを記載します。</p> <p>中学生は成長期で、学校で行う食育としては、美味しく栄養価の高い昼食を、全ての生徒に提供する必要があります。それはやはり、給食だと思えます。</p> <p>横浜市特有の市政として、給食と同等以上の手段があれば、議論の余地があるのかもしれませんが、しかし、少なくとも現状の選択制ではダメだと思えます。なぜならば、学校での食事を選択制にしまうと、質の低い昼食を選ばざるを得ない生徒が出てくるからです。たとえ家庭環境が恵まれていなくとも、生徒全員に一定以上の質を確保した食事を提供するとすれば、行政による指定が必要かと考えます。となると、今現在の最適な手段は、やはり全国大多数の中学校で実施しております給食のように思えます。ゼロベースで給食を見直したとしても、やはり給食に帰着するのではないのでしょうか。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>何よりも働く女性が働き続けられるまちに市としての最低限することは、全国の市町村に見習って給食・中学校給食を開始することではないでしょうか。私は働きながら3人の男の子を育てました。学校で温かい栄養が満点の食事を食べさせてほしいとずっと思ってきました。</p> <p>今は女性が働き続けるのは大変困難です。育児、買い物、家の中の雑務etc.そして何より重要なのは貧困が大きく広がり中学生がまともな食事をとることが厳しい状況が拡大していることです。</p> <p>誰でもが安心して過ごせる横浜になる為に給食を開始することを切に願っています。</p>	参考	
<p>ハマ弁制度を定着させたいなら、希望制ではなく、給食制にしたら良いと思います。</p> <p>子どもに聞いても、頼んでいる子はほとんどいないとのこと。</p> <p>うちの子どもの学校では、学年に一人?!という話も…とにかく、少ないらしいです。</p> <p>ただでさえ、多感な年頃の子供達…変な話、いじめにもつながりかねません。</p> <p>そんな中で頼む子どもが増えると思いますか？値段を下げれば良いとかの問題ではないと思います。</p> <p>また、いま現在は、中学校の食事の時間は10～15分ほどと聞いています。新聞にも載っていましたよね?!</p> <p>その中で、ハマ弁を指定の場所まで取りに行き、食べ、容器を返しに行く?!無理だと思います。</p>	参考	<p>本市では、それぞれに良さのある3種類のお弁当を家庭のライフスタイルや日々の都合に合わせて利用していただきたいと考え、ハマ弁、家庭弁当、業者弁当から等しく選べる選択制として実施しております。</p> <p>その中でも栄養バランスの整ったハマ弁を選択しやすい環境を整えるため、今年度、ハマ弁の価格の引き下げを行いました。引き続き、よりおいしく、利用しやすくなるように「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」、「一括注文の導入」を段階的に実施するなど、ハマ弁が生徒・保護者に選んでいただきやすい選択肢となるよう、しっかりと取組を進めてまいります。</p> <p>昼食時間については、多くの学校では、昼食時間の前に準備時間を確保しており、生徒は、その時間を利用してハマ弁、業者弁当の準備をしております。昼食にかかる時間は、学年によっても、各生徒によっても個人差がございますので、時間内で食べ終わらない場合は、個々の状況に応じて昼休みの時間になっても、引き続き食事を続けられるよう配慮しております。</p> <p>これらのお昼の時間については、各学校の判断で、授業時間などとの関係から時間配分が行われております。ご要望をお持ちの場合は、例えば、保護者懇談会等で、教職員も含め、他の保護者の皆様も交えて相談するなどの方法が考えられます。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>



中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>横浜市の林市長は、ハマ弁をやる前に市民(子育て世代)の話を聞いたのでしょうか？                      横浜らしいハマ弁とはどういうものなのでしょうか？給食でも横浜らしい給食ができればと思います。                      現中学生がいますが、ハマ弁の評判は悪いです。食べたくないとも言います。                      それなら、多額の税金を使うハマ弁よりも給食の方が後々、安く上がるのではないのでしょうか？                      給食センターを作るのに多額の初期投資が必要かも知れませんが、ハマ弁が始まって、結果が出ているとは思いますが。                      辞めるなら今だと思えます。廃校になる小学校や、老人ホーム施設などで給食センターを作るとか、方法はいくらかもあると思えます。                      貧困の家庭でも、インターネットがない家庭でも、完全給食さえあれば1日一食はバランスが取れた食事がとれるのです。                      特に貧困のご家庭、シングルマザーのご家庭など、食事は給食があるだけでありがたいと思えます。                      ハマ弁は辞めるべきだと思います。                      43億もの税金をもっと、子供の福祉の為に、それと貧困の子供たちの為に使うべきだと思います。                      林市長は絶対的権力の元で市民の声を聞かないのでしょうか？                      今や、毎年、横浜市の中学の給食署名運動も盛んです。横浜市に提出されていないのでしょうか？                      給食をやっている市町村や、県外の方にも聞くべきだと思います。</p>	<p>参考</p>	<p>中学校屋食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p> <p>栄養面等につきましては、食品衛生法などに則った食材を利用し、ハマ弁のホームページで産地を表示しております。また、衛生管理にも配慮するとともに、「日本人の食事摂取基準2015年版」に基づき、事業者の管理栄養士が作成した献立を教育委員会の栄養士が確認して栄養バランスに配慮した内容で提供しております。</p> <p>ハマ弁では、生活環境により屋食の用意が困難な家庭への支援を実施しております。ネグレクトや保護者不在など家庭環境によりハマ弁による支援が必要な生徒に無償で提供する仕組みとしており、制度の趣旨について、家庭への周知を図るとともに、引き続き学校と連携して、必要な生徒に支援が行き届くように取組を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>中学校給食について。20ある政令指定都市で横浜市だけが中学校給食を実施しない状況となり、その実施のための調査の計画すらこの素案に盛り込まれていないのはどういうことなのであろうか。近年、隣接する川崎市も市立中学に給食設備を作り中学校給食の実施をやりとげたというのに、女性市長である林文字氏が調査もしないのは、市長の「市内中学生およびその家庭への愛情の欠如」と言っている過ぎでない。食中毒を避けるために冷蔵の状態配達されるハマ弁が喫食率15%（本年4月）は当然のことなのだ。しかも、注文は1週間前にならなくてはいけない仕組みとしても不便なものだ。政策の方向が明らかに間違っている。神奈川県は中学給食が実施されない特異な県として続いてきたが、この10年ほどで県内の他の自治体も続々と実施に踏み切り大半は中学校給食を導入した。「予算がない」のではなく「実施できない事情」があるだけなのだ。「子供は母親の手作りの弁当で育つべきなのだ」という古色蒼然とした家庭観を市民に押し付けて、忙しい共働きの家庭の子供にも「暖かい、栄養バランスの行きとどいた給食を提供する」ことは「間違った考えなのだ」と林文字市長は認識しているだけなのだ。違法の民間経営の博打場で売上の70%を上げる「カジノ中心のリゾートIR」を検討し、他方、市内の中学生に「暖かい給食」の提供は検討も調査もしない。林文字氏が横浜市長にふさわしいとは到底思えない。</p>	<p>参考</p>	<p>中学校屋食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p> <p>中学校屋食の調査・研究につきましては、ハマ弁を実施して以降、生徒に無償提供する「ハマ弁デー」や、保護者を対象とした食育セミナー・試食会を実施し、その中でハマ弁に関するアンケートを行っております。引き続き、試食会、セミナーにおけるアンケート結果を活用するとともに、今後はモニター校(ハマ弁の利便性向上の取組を試行する中学校)においてアンケートを実施する等により、中学校屋食の充実にいかしてまいります。</p> <p>栄養面等につきましては、食品衛生法などに則った食材を利用し、ハマ弁のホームページで産地を表示しております。また、衛生管理にも配慮するとともに、「日本人の食事摂取基準2015年版」に基づき、事業者の管理栄養士が作成した献立を教育委員会の栄養士が確認して栄養バランスに配慮した内容で提供しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>中学校に給食を無料で実施するようにして下さい。43億円も業者弁当につきこみ、役に立っていません。子供の為の将来を考えて下さい。すぐ隣の川崎では実施されています。横浜の子供たちは可哀想です。他の市町村へ移っていく人が多くいます。貧しくて給食でしか栄養がとれない子が多くなっている、中学校に給食は今、必要なのです。ぜひ調査して横浜市にも無料で実施するよう、お願いします。</p>	<p>参考</p>	<p>ます。</p> <p>学校給食法では、学校給食の実施については、地方公共団体等はその推進に努めるものとされており、地方公共団体ごとに置かれている状況に違いがあり、本市では、民間活力の最大限の活用や、個々に合わせた幅広い選択肢を用意するため、学校給食法に捉われない新しい仕組みとして、『ご家庭のライフスタイルや日々の都合に合わせて、ハマ弁、家庭弁当、業者弁当を組み合わせてご利用いただく選択制』で実施しております。ハマ弁の価格については、30年4月より価格の引下げを行い、他都市のデリバリー型給食と同程度の価格としております。</p> <p>ハマ弁は、これまでも利用しやすい環境の整備に向けて取組を進めてまいりました。喫食率は徐々に増加しておりますが、まだ利用者は少ない状況です。そこで本年秋より、ハマ弁をよりおいしく、より利用しやすくなるよう「メニューのリニューアル・献立内容の充実」、「当日注文の試行実施」及び「一括注文の導入」、温かいおかずの提供など「利便性向上の取組の推進」等ハマ弁のリニューアルを段階的に実施いたします。</p> <p>ハマ弁では、生活環境により昼食の用意が困難な家庭への支援を実施しております。ネグレクトや保護者不在など家庭環境によりハマ弁による支援が必要な生徒に無償で提供する仕組みとしており、制度の趣旨について、家庭への周知を図るとともに、引き続き学校と連携して、必要な生徒に支援が行き届くように取組を進めてまいります。</p> <p>中学校昼食の調査・研究につきましては、ハマ弁を実施して以降、生徒に無償提供する「ハマ弁デー」や、保護者を対象とした食育セミナー・試食会を実施し、その中でハマ弁に関するアンケートを行っております。引き続き、試食会、セミナーにおけるアンケート結果を活用するとともに、今後はモニター校（ハマ弁の利便性向上の取組を試行する中学校）においてアンケートを実施する等により、中学校昼食の充実にかかしてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政令都市なのに、中学校給食や中学生の通院助成がありません。東京や千葉に住む友人たちがうらやましいです。是非、中学生に給食、通院助成をしてください。</p>	<p>参考</p>	<p>中学校昼食につきましては、給食実施に必要な施設整備費に多くの費用がかかることや給食室や給食センターの設置に必要な用地がないことなどから給食の実施は難しいと考え、早期に全校で実施ができること、中学校の日課への影響を最小限に抑えられることなど実施方法や財政負担の影響等様々な要素を比較・検討した結果、最もふさわしい実施方法として横浜型配達弁当「ハマ弁」を選択できる環境を整え、ライフスタイルや日々の都合に合わせてハマ弁、家庭弁当、業者弁当を選択できる仕組みとして実施しております。</p> <p>通院助成については、素案の政策23「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」に関するご意見として、小児医療費助成制度の参考にさせていただきます。</p>
<p>「働き方改革」で女性の活躍できるまち(政策27)を強化し、横浜から女性問題の改善が進んだと言われるようにしてほしい。</p>	<p>賛同</p>	<p>素案の政策27「女性が働きやすく、活躍できるまち」に対するご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>政策27 女性の働きやすさ この政策、事業は軌道に乗っている。現状の取り組みをさらに継続してほしい。</p>	<p>賛同</p>	
<p>「働き方改革」、「多様で柔軟な働き方」の推進 非正規雇用の増大が女性の貧困化を促進しているが、低賃金構造を改善するため、公契約条例の制定や、民間委託・指定管理者・外郭団体などの官製ワーキングプアの改善・解消が必要である。</p>	<p>参考</p>	<p>公共サービスの質とそこで働く労働者の適正な労働条件の確保は重要です。公契約条例の制定も含め、各自自治体で労働条件の確保について様々な取り組みが行われているので、国の動向を注視しながら、引き続き、他の自治体の取組状況等の研究を行ってまいります。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>仕事改革、女性活用は結構だが、欧米のように昔から昔から、レディファーストの精神があればよいが、日本は100年遅れている。その意識が当たり前になって初めて女性も男性と同じ活躍ができる。待機児童がどうのと言う前に、レディファーストが芯から当たり前になるような運動が必要</p>	<p>参考</p>	<p>素案の政策27「女性が働きやすく、活躍できるまち」に関するご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
に思う。		
<p>政策27女性が働きやすく、活躍できるまち エリート女性、キャリア形成中心のプランで、非正規労働の増大に伴う女性の貧困問題へのアプローチが弱い。 横浜のM字型カーブは改善しつつあるとしているが、まだ不十分。また就業人口の伸びは、主に非正規労働であり、女性の6割が非正規であることから、キャリア形成支援対象のすそ野が狭く、女性の管理職の割合を高めるのは困難ではないか。 また非正規労働、低賃金・不安定雇用を強いられており、ダブルワーク・トリプルワークなど、女性の貧困化の主要原因とされるが、抜本的な対策が必要です。 男性も含めたワークバランスを推奨しているが、長時間労働の見直しではなく、「多様な働き方」にすり替えられている。 また近年セクハラなど職場のハラスメントが大問題になっているが、一般的な啓発以上のものを打ち出すべきだ。 管理職の割合の目標値30%だが、非正規労働者が増大し6割を占める中で、対象の女性を支援するだけでは達成困難。ポジティブ・アクションを導入し、公契約などの指名競争入札などにおいて、管理職における女性の割合を記載させ、また優先的に扱うなどの取り扱いを検討してほしい。 男性の家事等の従事時間を増やすには、長時間労働の解決が先決。 ①女性リーダーの育成やキャリア形成支援 さまざまなライフイベントを意識した働き方を可能にするため、妊娠出産などの心身の健康問題、労基法や育児休業法、母子保健法などに定められた権利や制度について情報提供・支援をする必要がある。</p>	参考	素案の政策27「女性が働きやすく、活躍できるまち」に関するご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。
<p>政府、地方自治体共に女性進出をうたっていますが、それをサポートする具体的施策が遅れていると思います。言行不一致にならぬようお願いします。</p>	参考	
<p>少子高齢化で、やがて日本の人口は6000万台になると言われている。これは国あげて「女性は働け」と叫んだ結果ではないかと思う。これは国家存亡の危機であり、今までの「女性は働け」の主張から女性の子育てにウェイトを置くべきかと思う。子育てが終わってからの職業を国が保証すれば安心して女性は子育てする筈だ。“自分の子を他人に育てさせる”これではコストを新たに産むことである、国家的に見て、どちらが合理的か不明である。犬、ネコでも親が子育てする姿をみると、人間の方が間違っていないかと思う。厳密な試算を市としても行って欲しい。国への提言するべき時だと思う。「空家、空地に外国人」やがて日本国がなくなるのでは。</p>	参考	素案の政策27「女性が働きやすく、活躍できるまち」の主な施策2「女性の就労支援」や男女が共にワーク・ライフ・バランスを実現できる取組に関するご意見として、参考にさせていただきます。
<p>働き方改革 子育てで、仕事をしている親が、休暇が多くなって仕事に出にくくなり、やめると後に再就職するのがむずかしい。ですから、子供が小学6年生まで、育休として、無給休暇が取れて、後に職場にもどれるようにしてほしい。日本中に広まると良いと思います。</p>	参考	素案の政策27「女性が働きやすく、活躍できるまち」の主な施策2「女性の就労支援」及び主な施策4「働き方改革」、「多様で柔軟な働き方」の推進に関するご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。
<p>(28)を強力に進めて欲しい。なぜならば、男女共に、健康で、元気で居るならば、年齢に関係なく、何オになっても、今までのキャリアを生かし、地域に出て行って欲しい。 今問題になっているシルバー人材センターの「3K」では無く、キャリアを生かした社会とのつながりが、これからの労働人口が減少して行くなかで、上手に利用していければ、お互いにより良い社会に成ると思うので、上手に高齢者のみではなく、超高齢者も、社会とのつながりが、今以上にこれからは必要だと思うから、押し進めて行って欲しい。</p>	賛同	素案の政策28「シニアが活躍するまち」へのご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。
<p>横浜市には元気なシニアが沢山います。私も75才シニアの一人です。(ちょっと年をとりすぎているですが)立派な経験を持ち、まだ体力、気力共に十分に社会に役立つこのシニアパワーを何とかpositiveに生かす方策を考えていただきたいと思います。素案No.28をよろしく願います。</p>	賛同	
<p>28 シニアが活躍するまちについて 高齢者の活躍する場所を広く市民から求めて欲しい。やることなく、結果的にボケる者は多いと思う。高齢者の過去の経験を生かせるような機</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策28「シニアが活躍するまち」を進める上で、参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
会をもっと、安い金額を払うことで責任を持ってやってもらうというスタンスで企画したらいいと思う。		
横浜には多くの知的・経験的財産をお持ちのシニアが多い。その活用は今後の課題というのはその通り。企業とシニアを上手に結び付け、その後のフォローも継続する障がい福祉にある就労支援センターのようなものがあるとよい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策28「シニアが活躍するまち」を進める上で、参考にさせていただきます。
高齢者対策にIT教育も加えて下さい。若者向け対策ばかりで困っています。	参考	
政策28 シニアの活躍 「シニア」とひとくくりでは言えず、多様ですが、元気な内は働いていただきたいです。 事業や予算は適切だと思います。	参考	
第28項(シニアが活躍するまち)に関して、下記を提言します。 ・横浜市内あるいは、国内に散逸する、PC操作能力を持つ、シニアリソースを積極的に活用する プラットフォームを整備し、やる気のあるシニアには、在宅にて、公的な情報処理のためのデータ入力などの作業を分散発注できる仕組みを整備し活用する。 これは、行政運営の目標の一つである”データ及びICTを活用した行政運営の推進”に適合する施策であり、市のスタッフの当該スキルアップという施策とともに、未活用の市民等の保有するICTスキルを活用する提案でもある。 情報セキュリティ、データ処理能力の把握、運用の確実性など、解決すべき課題は多いが今後のさらなる少子化傾向などを踏まえ、具体化を検討すべきではないか。	参考	
町内会活動2年間の経験から申し上げます。シニアに活動の場を与え、38の提案のうち、28シニアが活躍するまち ① 県・市の広報誌を町内会経由で各戸に配布することをやめる。 ② 県・市の広報誌は、必要と手を挙げた家庭にのみ各戸配達する。 ③ その広報誌の各戸配布をシニアの雇用拡大につなげる。 その理由 1. 市県の広報誌は殆ど役立たない内容であり、町内役員として配達していた時は、ゴミ紙を配っている感覚をぬぐえなかった。編集(印刷)している区の職員の方は伝えたい内容に自信がなかったか。 2. 要望した家庭だけに配達するとなると、紙代、印刷代が相当圧縮されて、市、県の財政に寄与なことが期待される。	参考	広報よこはまは、市の施策、事業等を市民の皆さまに周知するための重要な媒体であり、各世帯への配布は必要だと考えております。市民の皆さまへのアンケートの中でも、市政情報の入手方法について、約7割の方が広報よこはまを挙げられております。広報紙の配布方法のご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
一つの案として、お花や町の整備に高齢者の手を借りてはどうでしょう。介護予防の一環として位置づけては、高齢者に生きがい、やりがいを持って頂く、体力向上、孤独死防止など戦略3にも絡む様々な展開があると思います。	参考	素案の戦略3『超高齢社会への挑戦』、政策28「シニアが活躍するまち」に関するご意見として、地域貢献・社会参加支援等の参考にさせていただきます。
労働力不足対策として、高齢者の働く場の条件緩和(ex.20%)	参考	労働力不足対策に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
プレイパークを利用させて頂いています。 転勤で横浜にお引っ越ししてきましたが、横浜＝おしゃれな街などのイメージが強く常にいろいろ気を使いながら生活をしないと気を張り親子共にすっかり疲れてきてしまっていた部分もあったのですが、プレイパークを利用するようになって、子供は子供らしくのびのびと遊んでいいんだと教えてくれる人たちがいて、子供たちも外で思いっきり遊べる素晴らしさや学校外での繋がりができ、私自身もたくさんの繋がりが親子と一緒に楽しめる素晴らしさを知り、今ではすっかりここから引っ越ししたくないなど！住み心地のよさを実感しています。 本当に素敵な場所なので、もっともっとたくさんの人に知って頂き、リーダーさんたちへの支援なども含めて考え、絶対になくならないで欲しいなど願っています。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」の主な施策1「子ども・青少年の健全育成に向けた支援」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
長期に渡り、プレイパーク活動を行っています。プレイパークは、自由な子ども遊びの場となっていますが、様々な人が年齢を越えて集う場所にもなっています。まさに街づくり、いろいろなネットワークも繋がっています。街の中で、子どもの居場所として機能していると実感しています。また、近年、子育てに悩むママ達の交流の場ともなっています。重要な場所と強く思っています。ぜひ、市の支援を引き続きお願いしたいと思っ	賛同	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
ています。		
子供の貧困対策…貧困の連鎖にならないよう、生活、教育環境の充実を具体的に実施	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」の主な施策3「子どもの将来の自立に向けた基盤づくりのための生活・学習支援」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
子は宝。未来をつくる子供たちが住みやすい都市づくりに期待します。子供の貧困対策の推進に向けて、子供食堂等の支援をお願いします。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」の主な施策4「地域における子どもの居場所づくりに対する支援」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
悲惨な幼児、児童へのDV事件が頻発していますし、又満足に食事のできない子供達が多い(1人/16人)ので、政策No.30、No.29を重点的に進めることを望みます。	賛同	素案の政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」、政策30「児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実」について、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
【政策23 全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援】に関して事業4「地域における子育て支援の場や機会の拡充」とありますが、年齢があがり3～4歳を過ぎてくると、屋内施設では子どもの方が収まらなくなっていくます。また0歳からでも外で遊ぶことは、子どもの育ちにおいて重要です。そこで、屋外の遊び場でもあり子育て支援の場でもあるプレイパークを、この事業内においても子育て支援の場や機会と位置付けて、より多くの子育て世代が活用できるように整備を進めていただきたいです。	参考	いただいたご意見につきましては、政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」の主な施策1「子ども・青少年の健全育成に向けた支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
プレイパークは主な施策の1に記載がありますが施策4の地域における子どもの居場所づくりに対する支援にも該当すると感じています。プレイパークに子どもと毎日のように行っている母親として来ている子どもたちを見てみると、私と同じように毎日のように来ている子達(幼児から若者まで)が中にはいます。毎日のように来るということは、場所の楽しさもあると思いますがやはり心地よさも大きいのではないかと思います。屋外の場所で幅広い世代と交流ができて心地のいい場所はなかなかありません。なので居場所としての役割もになっているという視点でもプレイパークの拡充を更に願っています。	参考	
横浜でプレイパークを運営しています。プレイパークは市からの助成を受けるようになって11年たちます。7団体でしたが、今では24箇所と広がって来ています。今回、プレイパークは「政策29」子ども青少年の健全育成のところに記されていました。プレイパークは子ども青少年だけでなく、親子の居場所にもなっています。とくに室内にはいられない幼児が野外を求めて来ていますし、こども同士がけんかや仲直りをしながら育ち、親たちはおおらかに見守りあっています。そして、地域の大切さに気づき、運営者となる人が増えています。幼児の母が、小学生を見守っています。小学生になると、親同士の悩みを話す場が減少しますが、プレイパークで相談しあっている様子もみられます。また、学校では友達と上手くやれない子ども、プレイパークでは遊びを通して、関わりあい認めあっている姿がみられ、こどものありのままを受け止めるプレイリーダーがいます。さらには、高校生が学校で使う素材をもらいに来たり、学生がボランティアにきたり、お年寄りがこどもに癒されにきたり、地域の拠点にもなっています。まさに、まちづくりです。このように、プレイパークはこどもだけの場でないことをお伝えしたくて、コメントさせていただきました。プレイパークはこどもの徒歩圏内にあることが理想です。もっと拡がるように、私たちも努力しますが、すべてのこどもたちが来れるために、地域の中でこどもを育てるためにも、もう少し力を入れてもらいたいと思います。	参考	いただいたご意見につきましては、政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」の主な施策1「子ども・青少年の健全育成に向けた支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
中期計画でもっと子どもの「遊び」を大事にする政策・プレイパークの支援・推進を盛り込んで下さい。「遊び」は子どもにとって「食べる」「眠る」と同等に大事な営みです。今、横浜市が抱える超少子高齢化への対策は、高齢者への福祉サービスを充実させるだけでなく、若い子育て世代の人たちが横浜市に住んでくれること、そして、横浜で育った子ども達が、「横浜大好き・自分のふる	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>さと」と感じて住み続けてくれることが大事なのではないでしょうか。それには、子ども達のがのびのびと遊び、生き生きと育つ…そんな環境が大事だと思います。</p> <p>どうか、「子どもの遊び」や「プレイパーク」を大切にすることを盛り込んでください。</p> <p>よろしくお願いします。</p>		
<p>例えば、大久保公園や桜岡小学校(校庭、体育館を借りて)などで、定期的に小学生向きに遊んでくれるプレイパークのリーダーたちが企画して遊び場を作ってくれる、そんな場を作ってもらえたら、子供達はめいっぱい外で遊べる機会が得られるのではないかと思います！！</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」の主な施策1「子ども・青少年の健全育成に向けた支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>『子どもの将来の自立に向けた基盤づくりのための生活・学習支援』3億1700万円</p> <p>需要に対し少なすぎます。何のための納税ですか。安心して育ち老いることのできる横浜を考えてください。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」の主な施策3「子どもの将来の自立に向けた基盤づくりのための生活・学習支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策27、29について</p> <p>母子家庭の貧困に目を向けた取組がない。必死で働き、子どもを育てている30～40代の母親の実態を調べ、よく知り、少しでも生活が楽になるように助けるといふ行動をしてほしい。(母子家庭の貧困は目にできないわかりにくい、収入統計などで推測が容易)</p> <p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●何らかの補助を受けられるのであればそれを知らせ、手続きを代行する(多忙でその暇がないため)</li> <li>●少しでも生活費を多くするため母子家庭の母親への目配りや、例えばパートから正社員にして給料アップを図るなどの具体策を企業に義務づける。</li> </ul>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」の主な施策6「生活基盤を整える環境づくりのためのひとり親家庭の自立支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>【政策29 子ども・若者を社会全体で育むまち】に関して</p> <p>子どもにとっても青少年にとっても「居場所」というのは、日常的であることがとても重要です。近年「子ども食堂」が増えており、事業4「地域における子どもの居場所づくりに対する支援」としても位置付けられていますが、プレイパークも同様ですが、いかに日常的に開かれるかは、市民の自助努力だけでは限界があります。本当に子ども・若者を社会全体で育むのであれば、待機児童対策以外の子ども関係への予算を拡充する必要があるのではないのでしょうか。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>子供の貧困対策をもっともっと拡充して下さい。子供は国の宝です。不公平であってはなりません。</p>	参考	
<p>29. 「子ども・若者を社会全体で育むまち」では子どもの貧困状況の早急の実施とその後の対策の予算化を行ってください。</p>	参考	
<p>「政策29 子ども・若者を社会全体で育むまち」について</p> <p>困難を抱える児童生徒を生活面、学習面で支援している場所で学習支援ボランティアを最近始めた者です。自宅近くにこのような場所があるとは、まったく知りませんでした。</p> <p>せっかく税金を使って公的な支援の場を作ってくさっているのですが、利用者が少ないようです。実際には支援が必要な児童・生徒・若者はいらっしゃるので、しっかりそのようなご家庭を把握して、利用を促してほしい、というのが現場の意見です。</p> <p>具体的にどのような対策をとっていただけますでしょうか？</p> <p>地域の民生委員や各学校からの情報も活用できるのではないのでしょうか？</p> <p>まずは利用者が少ないという実態と、その原因を調べて対応して頂きたいと思っております。</p> <p>事業の所管が複数挙げられていますが、連携強化をお願いいたします。</p>	参考	<p>政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」の主な施策3「子どもの将来の自立に向けた基盤づくりのための生活・学習支援」において、子どもたちに適切な支援がしっかりと届くよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>「30. 児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実について」についての意見について</p> <p>児童虐待の発生防止に向けた取組の強化や里親など社会的養護体制の充実</p> <p>特に家庭で親の虐待によって精神的に傷ついた児童の養育については、「里親制度」が非常に有効な制度であると考えています。児童の里親への長期委託は勿論ですが、夏休み期間中数日間預かる「短期里親」でも、それを毎年繰り返すことによってかなりの効果があることが実</p>	賛同	<p>里親など社会的養護体制の充実については、素案の政策30「児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実」の主な施策3「一貫した社会的養護体制の充実」に、児童相談所職員等の人材育成については、主な施策1「児童虐待防止に向けた取組」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>証されています。私も以前児童養護施設職員としてそのことを実感しています。</p> <p>厚生労働省が進めているように、長期委託の里親を増やすことは必要ですが、それに応募するためには相当の覚悟が必要です。それよりも、むしろ夏休み期間等数日間、児童養護施設の児童を預かる「短期里親」への応募を市民に積極的にPRした方がより効果的なのではないかと思えます。</p> <p>なお、この制度の推進には、それを担当する児童相談所職員のより一層の充実を期待しています。</p>		
<p>最近子供の虐待が非常に多いと思われま。もっと福祉はしっかりして下さい。外国にくらべたら甘すぎます。人ごとですませているように思われます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策30「児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>児童虐待は嘆かわしい事だ。職員がある程度強引にふみ込んで子供を連れだし人間らしく過ごすようにしてあげたい。</p>	参考	
<p>政策30 児童虐待 目標、方向性は横浜市に限らず、日本全体だと考えます。</p> <p>児童福祉法が改正された事が大きいです。事業規模が少し低いなと思えます。</p> <p>民生委員、児童委員の報酬の大幅増額を提案します。</p>	参考	
<p>子ども、老人の虐待キャッチする対策強化を。</p>	参考	<p>素案の政策30「児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実」、高齢者等への虐待防止に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>31 障害児へのケアやサポートと少しずつ良くなっているが、小学生当時特別に見守られていなかった発達障がい児が、40才、50才になりケアやサポートされて来なかったつけが表れてきていて、社会生活に支障が出ている。しかしケアやサポートする設備や人がほとんどなくなっています。就労後発達障がい者と分かれ、離職しなければならなくなった当事者の支援の手を考えて下さい。</p>	修正	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、政策31「障害児・者福祉の充実」の主な施策3「障害児支援の拡充」に発達障害についての視点を新たに盛り込みました。また、いただいたご意見につきましては、障害福祉施策を進める上で、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策27, 29, 31に関連して 児童デイサービスの普及のお蔭で学齢期の障害のある子供の余暇活動充実の機会は増えたと思えますが、児童デイサービスのクオリティに不安があります。障害があっても人権がきちんと守られるような教育・查察のシステムを構築してほしいと願います。また、支援学校中等部高等部の子供たちがパラスポーツの部活動など普通の中高校生のように楽しんで励める環境があればいいの、と思えます。クオリティが不安なデいに預けなくては母が仕事に就くことが難しいのではなく安心して親子ともにすごせる放課後を望みます。また成人期以降の余暇への支援は不足しており、就業できるのは学齢期までかな、と思っています。成人期も学齢期に劣らぬサポートがあれば安心して長く働ける、と思えます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」、政策31「障害児・者福祉の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策31 医療的ケア児で特別支援学校のスクールバスに乗れない重度児が通学できるよう、介護タクシーを必要数配布する、介護ヘルパーを自家用車に同乗させるなどの支援をして欲しい。重度医療的ケア者が、送迎サービスのない通所施設に通う時も、同じ支援をして欲しい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策31「障害児・者福祉の充実」の主な施策2「医療的ケア児・者等への支援」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>31の障害児・者福祉の充実への意見です。 40代の息子知的障害があり一緒に住んでいます。ケースワーカーに、グループホームの申し込みを頼んでいますが、なかなかできません。親はいつまで動けるか不安です。区も社協も理解はしてこのような計画にそれとなく入りますが進んでいないように思えます。区に何人この様な人がいて、何年待てばいいのか。数値目標を記入した計画を作ってもらえませんか。また、親はどう動けばいいのか、だれに話を持って行けば事が進むのか、教えて下さい。とにかく青葉区にグループホームがありません。この人達も生まれた町で住み続けられる様、具体的に教えて下さい。</p>	参考	<p>障害者グループホームの設置については、本市障害福祉施策の中・長期的な計画である「第3期横浜市障害者プラン」において、毎年200人分のグループホームを新設することを推進しておりますが、設置場所の選定は運営法人が決定していることや、グループホーム設置可能な土地や建物の確保のしやすさが区によって異なるといった事情があります。いただいたご意見につきましては、素案の政策31「障害児・者福祉の充実」に関するご意見として、地域生活支援の充実の参考にさせていただきます。</p>
<p>超高齢化社会に書かれている人材確保、定着支援、専門性の向上を、29～33へも広げてほしい。児相職員は1人が受けもつ件が多すぎ十分な取り組みになってないし、障害児者に関わる方々がもっと誇りを持って、生活不安も感じずに携わることができるよう、支援を充実させてほしい</p>	参考	<p>素案の政策25「未来を創る子どもを育む教育の推進」、政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」～政策33「参加と協働による地域自治の支援」、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」に関するご意見として、人材確保や災害時要援護者</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>い。又、横浜の小学校は支援級との交流も進んできているようだが、中学校はまだ形ばかりのところが多く、生徒の障害種や行動の特徴からだけでなく教員の誤まった障害理解によるところもあるので、全ての教員への研修を徹底してほしい。その中で発達障害や不登校への理解も促進されれば、いじめの問題にも今より適切に対処できるようになると思う。さらに中小や企業への支援を充実し、ボーダーレベルや発達障害、あるいは重度の障害があっても働くことのできる場を増やし、未来にこの子たちにも希望がもてる横浜にしていってほしい。又、災害時、高齢者や障害児者等、大勢の中で過ごすのが難しい方がいる家族は学校の支援教室や別の部屋を開放する等、災害対応の充実の中で遠くに別に作るのではなく工夫していってほしい。よろしくお願いします。</p>		<p>支援の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策31 訪問入浴車サービスを週4日使わせて欲しい。衛生上、必要です。</p>	参考	<p>素案の政策31「障害児・者福祉の充実」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>31について 昨年のやまゆり園の時、再建するにあたり色々な意見があったと聞いています。私は60才、障害のある息子は28才ですが、グループホームでは生活無理なので施設入所を希望しています。 8年程前から空があると申し込んでいますが、今だ入所できません。1床の空に100名以上の入所希望があるそうで保護者の高齢の方など急を用人が優先される様です。そう言われれば納得するしかないのですが、だとすると私はあと20年待たないといけなんでしょうか。 障害者の親の高齢化も考えていただけないものかと…なんとか入所施設を増やしていただけて入所でしか生活が難しい重度の方の受け入れを考えていただけないものかとお願い致します。</p>	参考	
<p>一人っ子の障害児を持つお母さんです。将来子供が横浜市で生き生きと暮らせる場所、親である自分が高齢になっても、子どもの近くで安心して暮らせる場所を望んでいたところ、石川県金沢市に施設があることを知ったそうです。以前にテレビ番組でも放送された施設です。 このような施設がいつか将来、横浜や神奈川にもできたらすばらしいと思います。 高齢者・障がい者・学生などが共生する街です。全国から多くの団体が見学に訪れているそうです。これほど大規模ではなくても、小規模な複合型コミュニティが将来的にこの地域にもできていくご参考になればと存じます。</p>	参考	
<p>政策31 障害児 パラリンピックを機会として捉え、外出する障害者、児を増やしたい、市民に身近に見えていないのでは？事業規模、予算がもう少し欲しいと思います。もっとアイデアがありそうです。 ① 民間における施設、例えばスーパーの、障害者用駐車場の義務付け ② 障害者を雇用している企業の表彰の倍増 ③ 障害者が作るモノ、サービスの優先的購入 欧米は障害者をチャレンジャーと呼んでいます。</p>	参考	
<p>一通り読むと、横浜市の上っ面(みなとみらいとかの開発とか)、それに使う上物の不必要な新たな建設、本来目を向けなければいけない障害児者福祉には、ほとんど触れられず、とりあえず計画31項に少しばかり触れている程度ですね。高齢者が増える以外に障害児者も同じように増加傾向にあり、一番弱い立場の人たちを守るべきが先決なのではないですか？</p>	参考	<p>素案の政策31「障害児・者福祉の充実」に関するご意見として、参考にさせていただきます。なお、本市では障害福祉施策に関わる中・長期的な計画である「障害者プラン」を策定し、「自己選択・自己決定のもと、住み慣れた地域で、安心して、学び・育ち・暮らしていくことができるまち、ヨコハマを目指す」を基本目標として掲げ、障害福祉施策を進めております。</p>
<p>31. 障害児・者の福祉の充実 ・地域生活の支援の充実 障害者の地域生活の場となるグループホームは圧倒的に数が不足していて、壮年期の入居はなかなか難しい。数を増やし入居しやすくすると共に、青年期の体験入居(生活を体験できる数ヶ月単位)を可能にしてほしい。新しい環境や人に対応するのが難しい人も多いので、親が元気で本人を支えられる若い時期に短期間でも入居した経験は、実際に入居する時のハードルを軽減するものと考えます。 ・障害者スポーツ・文化活動の推進 ・学齢期には、市助成金とボランティアに支えられ学童訓練会で、プールでの水泳を中心に運動をしていた。高等部卒業と同時に施策が跡切れ、</p>	参考	<p>素案の政策31「障害児・者福祉の充実」に関するご意見として、地域生活支援の充実や障害者スポーツ・文化活動の推進等の参考にさせていただきます。なお、障害者スポーツ・文化活動の南部方面の拠点として、ラポール上大岡の整備に着手しており、計画を着実に進めてまいります。</p>



中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>同じ活動はできなくなってしまうまい。学齢期とその後も継続できるようにしてほしい。</p> <p>また、新横浜ラポールは、とてもよい施設なので、たまに利用させていただいてますが、栄区からは非常に遠いです。是非、南部にも同様の施設がほしいです。</p> <p>・福祉充実のためには、保育士・介護士同様よい人材が確保できなければ成り立ちません。人材養成・待遇改善・賃金アップを切望します。</p>		
<p>30歳以下の若い発達障害者向けに就労支援や当事者会の開催、作業所の工賃増加や作業所での給料支払いを手渡しから口座振込にして利便性向上など発達障害を持っている当事者向けの支援の充実を望みます。障害者スポーツ人口増加推進のために、スポーツセンターや公共プールの障害者の利用料免除を希望します。</p>	参考	<p>素案の政策31「障害児・者福祉の充実」へのご意見として、発達障害の方への支援、障害者スポーツ・文化活動の推進の参考にさせていただきます。</p>
<p>もっと老人、弱者に優しい町作りをして欲しいです。私はパニック症と社会不安症と云う精神病を患っており、会社の面接でその事を話すと差別的な目で見られたり、「そんなで働けるの?」と言われ結局ダメです。仕方ないので生活保護を受けようと役所に行けば、「働け。」とか、大声でまわりに聞こえるようにイヤミを言われます。老人に対しても年金を減らしたり、とても”弱者に優しい”とは思えません。そのところも少し考えて欲しいです。</p>	参考	<p>素案の政策31「障害児・者福祉の充実」及び政策32「暮らしを支えるセーフティネットの確保」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>私たちは障害児・者親の会です。</p> <p>このたび、「横浜市中期4か年計画(素案) 戦略5 誰もが自分らしく活躍できる社会の実現」を拝見し、これからの望むべきまちづくりについて、会員間で意見を募りました。</p> <p>1. 栄区内に、安心して働き続けられる日中活動や就労の場を増やしてほしい。現在栄区には他区に比べ日中活動・就労の場が少なく、本人が時間をかけて通う負担感、将来、親が老いた場合の送迎の不安感も大きいです。多くの会員が、栄区内で安心して通い、働き続けられる場を望んでおります。</p> <p>2. グループホームの数と質の充実 親亡き後も、安心して暮らせるように、グループホームの数を増やすことと、子どもの特徴に配慮できる人材の育成をお願いしたいと思います。</p> <p>3. 通所先への送迎体制の充実 最近、通所先への送迎体制がだいぶ充実してきました。しかし、まだ施設の事情で送迎体制が不十分なところもあります。本人の状況によっては、公共交通機関を使いづらい場合もあります。有償サービスは過度な負担もかかってきます。通う場所によって、送迎体制に差があるのではなく、それぞれの事情に配慮した送迎体制の充実を望みます。</p> <p>4. 18歳以上の成人期における生活を豊かに! 本人の選べるような余暇支援や、ガイドヘルパーの充実、体力のある方は職場での時間延長、働かなければならない親御さんのためには、ご自宅にヘルパーを派遣するなど、成人期の本人の生活を豊かにするための支援をお願いしたいです。</p> <p>また軽度の人たちについては、余暇支援として障害者スポーツ教室・太鼓教室・水泳教室等の指導者を増やしてほしい、という声もあります。</p> <p>5. 重度障害者の親の高齢化・亡き後の将来の暮らしについて。 入所すると通所はできず、一日の大半を部屋内で過ごすことになると聞きます。親の希望としては入所施設ではなくグループホームを望みます。また、いきなりグループホームではなく、生活の力をつけるための通過型の体験施設を望みます</p> <p>6. 公立学校や療育センターの先生・ガイドヘルパーの、発達障害の知識と理解を深める人材育成を望みます。</p> <p>7. 福祉施設の人材不足の解消を望みます。 当会には幼児からおよそ50歳代まで、幅広い年齢の障害のあるお子さんを持つ親がおります。自分の老後や亡き後、親しんだ土地で安心して我が子が暮らしていけることを心から望んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	参考	<p>素案の戦略5『未来を創る多様な人づくり』及び政策31「障害児・者福祉の充実」に関するご意見として、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現を進めていく上での参考にさせていただきます。</p>
<p>政策32 セーフティネット 事業や予算は適切だと思います。</p>	賛同	<p>素案の政策32「暮らしを支えるセーフティネットの確保」へのご期待と捉え、計画を着実に推進して参ります。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
依存症対策についてカジノだけでなく、WHOが「ゲーム依存は病気」と位置付けているように、スマホ、パチンコ、喫煙などのすべての依存症対策を強化し、特に、若年層・青少年の引き籠りや、不登校の原因究明を行い、対策を強化すること。	参考	素案の政策32「暮らしを支えるセーフティネットの確保」に関するご意見として、依存症対策の参考にさせていただきます。
観光都市をめざすのはけっこうですが、路上生活をせざるをえない人々を負い出すのではなく、どう支援していくのか方策を出してほしいです。	参考	素案の政策32「暮らしを支えるセーフティネットの確保」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
「生活に困窮している方の支援窓口及びハローワークと一体となって就労支援を行う・生活保護受給者への就労支援・複合的な課題を抱える生活保護受給者、生活困窮者に対して、就労支援をはじめ、自立に向けた多様できめ細かな支援」などの施策では、基本理念に「保護」というのがあるが、憲法の立場から言えば保護では無く保障というのがより現実的である。その立場に立ってネーミング自体を生活保障というものに変えていく必要がある。	参考	
38の政策の内32について意見を述べます。私は生活保護受給者ではありませんが、アパートに入居するままとった費用が無く、2年以上もウィークリーマンションに滞在しながら、日払いで生活しております。生活保護受給者ではない、住宅確保要配慮者は現在の制度では現実的にアパートに入居する事は事実上不可能です。具体的な居住支援を政策にして頂きたいお願い申し上げます。	参考	素案の政策32「暮らしを支えるセーフティネットの確保」の主な施策3「住宅確保要配慮者への居住支援」に関するご意見として、参考にさせていただきます。
政策33 地域自治 事業は適切だと考えます。	賛同	素案の政策33「参加と協働による地域自治の支援」へのご期待と捉え、着実に推進してまいります。
・地域活性化がいたるところに出っていますが、町内会、自治会は先細りです。 20～50代が参加できる具体策を。 ・街づくり、大型でなくて良い。高層でなくて良い。静かでおだやかな環境づくりが伺えない。 ・一般市民は市役所には出かけない。区役所や地区センター、コミュニティーハウスの充実こそ、住民の願いです。	参考	素案の政策21「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」及び政策33「参加と協働による地域自治の支援」や市民利用施設に関するご意見として、参考にさせていただきます。
【政策33 参加と協働による地域自治の支援】に関して公私ともに、地域の活動に関わっていますが、行政職員のコーディネート力の低さは課題だと感じています。特に市直営の(=指定管理ではない)各区の市民活動支援センターの職員の方々には、もっと地域を知ってほしい。地域に足を運び一緒に汗をかくことなく、地域のコーディネートはできません。是非、OJTによる研修をお願いしたいです。「ヨコハマ市民まち普請事業」は協働による地域づくりにとって、とても適した制度なので、拡充をお願いしたい。 一方で、共働き世帯理の数が専業主婦世帯の2倍近くになってきている現状で、地域自治の世代交代は大きな課題になっています。ボランティアあるいは安価な活動支援では、若い世代は地域での活動を行う経済的余裕がないので、地域にお金が回る仕組みづくりにも力を入れる必要があるのではないのでしょうか。	参考	いただいたご意見につきましては、政策33「参加と協働による地域自治の支援」を進める上で、参考にさせていただきます。
この中期計画(素案)を、区役所、更に地域住民にまで具体策を含めて周知し、地域の課題を洗い出し、官民協力して共有しながら進めていただきたい。 ・連合自治会、自治会・避難所はその地域に合わせた施策で運営されているが、地域運営に影響する個別の重要課題と対応を官民で協力して解決していきたい。 事例: 高齢化等で弱体化した自治会の活性化、自治会の役目と加入策の促進・施策の公募など	参考	
地域の防犯活動支援では、「防犯カメラ設置などの地域が自主的に行う防犯活動への支援を行います。合わせて防犯灯の適切な維持管理を行うなど、地域の防犯環境の向上を図ります」とあるが、トップに防犯カメラというのは情けない。ましてカメラには防犯の効果はゼロである。真面目な人が犯罪をしたくなるのを防犯することはあっても犯罪者には殆ど抑止効果はない。したがって防犯カメラでは無く監視カメラの方がより実態に近い。しかも監視している人はいないから監視でもない。犯罪があった時の犯人を捜すときの一助になることはあるが、防犯は人との繋がりが最も抑止効果がある。うまくいっている町内会や地域を他の人に広げる活動を支援すると言うことの方がより効果的である。この視点をもつと前面にあげて予算もつけていくことを提案したい。	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略5、政策23～33）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
地域住民(高齢者含めた)のボランティア精神に則った住民参型活動奉仕(公園や市道草木清掃保全他)を根付かせる。	参考	いただいたご意見につきましては、政策33「参加と協働による地域自治の支援」を進める上で、参考にさせていただきます。
地域コミュニティの主役である市民(区民)の元気、やる気の支援は大切かと感じます。財政支援ではなく身近な区役所が区民とともに歩を進める職員の皆様の気持ちづくりが重要と感じます。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策33「参加と協働による地域自治の支援」及び行政運営5「市民の視点に立った行政サービスの提供と地域との協働」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら計画を着実に推進してまいります。
<p>未来の横浜を考えた時、計画全てが必要です。色々な戦略が企てられていますが、地域で担う事柄が多々あります。</p> <p>戦略3. 互いに支え合う地域づくり。健康で自立した生活の継続</p> <p>戦略5. 子ども、子育て支援</p> <p>戦略6. 災害に強い人づくり、地域づくり</p> <p>これらの事柄はすでに地域で活動していますが、集会所が8月で撤去される事に成り、総ての活動が路頭に迷い我が町内会はホームレスになります。</p> <p>38の政策の38. 公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新に期待するところです。西本小学郷校には空室が有るのにコミュニティースクールとしての利用否。役所の管轄では無い、教育委員会？集会所を造るには助成金が出るが、土地を探せでは。地域の人達は日曜日も休日も返上して快く活動しています。私たちが存分に活動できる器が欲しいです。</p>	参考	素案の政策14「参加と協働による地域福祉保健の推進」、政策33「参加と協働による地域自治の支援」、政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」に関するご意見として、参考にさせていただきます。
防犯対策の強化を強調してほしい。警察の機能は神奈川県の仕事かもしれないが、防犯パトロールの強化策など、市と市民で頑張れることはあると思う。	参考	素案の政策33「参加と協働による地域自治の支援」の主な施策5「地域の防犯活動」に関するご意見として、参考にさせていただきます。
地域の活性化を図る為に、各町内会を活発に運営することが重要。その対策として、皆簡単に地区長はボランティアと言うが、ボランティアなどではない、とても重要で、重荷(皆仕事を持っている)少なくとも地区長には、手当として年間30万位は支援すべきである。	参考	素案の政策33「参加と協働による地域自治の支援」に関するご意見として、参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略6(1)『未来を創る強靱な都市づくり』 熊本地震や九州北部大雨など大規模自然災害が頻発する中で、横浜市が新たな中期計画に「強靱化」という考え方を取り入れ、災害への事前の備えを進めようとする点に強く賛同します。 373万人の市民の暮らしを支え、また多くの観光客を迎え世界に誇る大都市として、強くしなやかな横浜をつくっていきましょう。</p>	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の戦略6(1)『未来を創る強靱な都市づくり』～災害に強い安全で安心な都市～へのご期待と捉え、ご意見を踏まえながら、本市の強靱化を着実に推進してまいります。
<p>戦略6 災害に強い都市づくりや官民一体となった基盤整備に基づく強靱な都市の実現に賛同します。弊社は、環境負荷の少ないLNGを利用し、天然ガスのインフラ整備や普及拡大を通して、BCPなど強靱な街づくりに貢献してまいります。</p>	賛同	
<p>戦略6(1)『未来を創る強靱な都市づくり』 ～災害に強い安全で安心な都市～ まず、臨港部にある建物に対し液状化に対する備えと津波に対する備え、特に湾岸地域の公共施設、病院の地下または1階にある変電設備を屋上に移す。また、瓦屋根の改修を市民に求め、改修に当たっては補助金を用意する。これで、規模として元禄型関東地震の予測に対して半分強の地域の避難所での避難生活は、防げると考える(屋根が軽くなることで倒壊家屋の現象が見込める)。また被災した際、倒壊することなく残った、空き家・空きマンション・空きアパートを被災住宅として借り上げる仕組みを作ることで仮設にかかる費用の削減は見込めないか。そのためには、日ごろからの空き情報の把握も必要であり、宅建業協会等の助力が求められる契約を交わしたいところである。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、戦略6(1)『未来を創る強靱な都市づくり』～災害に強い安全で安心な都市～を進める上で、今後の災害対策の参考とさせていただきます。
<p>戦略6 巨大地震の前に最優先で取組むべき</p>	参考	
<p>地震国日本に高層ビルは合いません。揺れにより甚大です。</p>	参考	
<p>例えば、震度7に耐えるインフラを、5年以内に整備する。ビジネス街での達成率を3年以内には90%にする事等を、基幹戦略とする。すると、その基幹戦略を推進する事で、企業や其の従業員が安全度が高い魅力都市として、企業誘致にプラスに働く。安全度の高い都市であれば、危険度の高い現状を憂い、自宅近くでも活動する事を避けている、実働可能な(年齢とは関係なく)〇〇万人の人が動いてくれるはず。自分達の命を守る為なら、仕組みさえあれば活動に手を上げるはず。これを活用し、企業の人手不足に対応すると同時に、官も民も組織化し、防災事業の具体的な実施事項の分析と計画を作成する。自らを守るためにも、防災に向け、こういう人達がこういう活動をする必要があるという様な、働ける仕組みを作る。自分達の命を守る防災の為に労働する環境を整えられれば、納得して働く。日本人の特性のほうです。この町のこの通りには災害危険度の高いこういう部分(例えば、ブロック塀がある/災害時火災の出そうなものがある)は、こういう企業と、こういう人達に、解決に取り組んでもらおう。と言うようにする。それは、対災害耐性の視点をベースにした組織とする。私達の近くを探せば、イノベーションの萌芽があります。例えば、凝縮系核融合を研究している、大学教授の技術が実用されれば、対災害耐性の高い都市づくりに、大いに貢献する。探せば他にも有ると思われ、はっきりとした具体的で災害耐性に視点を置いた呼びかけをすれば、イノベーションについての具体化候補も出てくると考えられる。 当然高齢化社会への対策も生まれてくる。例えば地域の中で完全に所有不明な家屋土地などを、地域で調査し、それを災害時の一時避難場所や避難所に活用するという様な具体的なマップの作成をする。 (現在、地域のハザードマップが作成されたが、それをどうすると言う議論がされていないで、“ああ、ここが危険なのですね”という所で停止している) それを、あくまで防災耐性の視点で推進する事を明確化すれば、地域の有力者と地元の高齢者の経済資源や、知恵を活用できる。それも基幹戦略の範疇に入ると思われる。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
戦略2として市が提示している様な、緑化等々で単に花と緑があるという話でなく、防災の為に、現状の人と環境をどの様にするべきかであって、単独で提起することは余り意味が無い。各々の戦略を、もっと凝縮し相互関連性を考慮するべきであろう。		
市民向け施策を充実して下さい 地震が相つぐ中、生活道路、木造住宅の耐震対策など市民の不安に応える施策を急いでください。そのために、大開発などの見直しを求めます。	参考	いただいたご意見の趣旨は、素案の戦略6(1)『未来を創る強靱な都市づくり～災害に強い安全で安心な都市～』、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」に含まれていると考えます。さらに、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策1「横浜環状道路等の整備」も、大規模地震発生時の物資の輸送路を確保するうえで重要です。市民生活の安心・安全の実現に向けて、これらの取組を着実に進めてまいります。
横浜は世界一災害に弱い都市だそうです。防災に、公共事業に税金を増やして下さい。	参考	本市では耐震化や地震火災対策をはじめとした災害対策に取り組んでおります。いただいたご意見につきましては、今後の未来を創る強靱な都市づくりの参考とさせていただきます。
人口減少社会での設備投資は、ランニングコスト・メンテナンスコスト圧縮、多用途可能性の大小で判断すべき。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の公共施設や都市基盤等の整備を行う上での参考とさせていただきます。
区によるバラつき 中期計画に限らず、各種の計画や構想はいいものができてきます。しかし実際にインフラ関連(道路や河川や、下水道など)は進捗に各区、各流域でバラつきがあります。市民としては、「わが町の道路を早く作ってほしい。」「僕の住んでいる地域の河川や下水を直して水害をなくしてほしい。」「〇〇区に鉄道の延伸を、駅が少ない」などです。各計画を見る分には良くて、市民は期待しているのですが、進捗はバラバラで市民に不満が残るのだと考えます。市民一人ひとり、私の住む区、わが町、わたしの自治会レベルで、物事の成否を判定、判断してしまうのだと考えます。	参考	いただいたご意見につきましては、戦略6(1)『未来を創る強靱な都市づくり～災害に強い安全で安心な都市～』、戦略6(2)『未来を創る強靱な都市づくり～市民生活と経済活動を支える都市基盤～を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
この横浜市は地震になったらどうなるのかと不安です。近所を見回ると生活道路のヒビ割れや工事の中断されている場所が気になります。	参考	いただいたご意見につきましては、戦略6(2)『未来を創る強靱な都市づくり～市民生活と経済活動を支える都市基盤～において道路ネットワークの整備や維持管理を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
高速道路は凍結で良いと思います。	参考	いただいたご意見につきましては、戦略6(2)『未来を創る強靱な都市づくり～市民生活と経済活動を支える都市基盤～
市内循環社会になってない。何年も前に発表した山の手線と同じ横浜環状鉄道(二俣川～東戸塚～上大岡～元町～横浜～鶴見間、日吉を含めて) 1. 道路についても、五反田～川崎(武蔵小杉)まではなんの抵抗もなく走行可能、日吉に来ると新横浜へはたまに国道1号まで渋滞しウンザリと同時に経済損失も計り知れない。こんな損害の計算等確かめたことあるのですか？ 2. なぜ早急に路面電車三溪園まで走らせないのか。大動脈になること判ることを…停滞させないで頂きたい。 3. 宮内線と言ったと思うが新羽でストップしたまま… 4. 東神奈川駅車両地下道の大損害、国道1号と15号往来できず。横浜環状北線完成にも不便なこと。	参考	の「市民生活や横浜経済を支える都市基盤施設の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
道路、鉄道などインフラ整備全く半端ではないですか？全くスローにあること。	参考	
公共施設について 新規設備投資の段階的縮小を行う 老朽化施設の保全・更新の長期的な計画を早急に立案する	参考	老朽化施設の保全・更新については、政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」に基づき、着実に進めてまいります。そのほかのご意見につきましては、戦略6(2)『未来を創る強靱な都市づくり～市民生活と経済活動を支える都市基盤～を進める上で、参考とさせていただきます。
高速環状道路は計画後すでに長く人口減少の変化の中で見直し、予算は古くなったインフラの再整備や防災対策・高齢化の中での安全対策に振り向けること	参考	基礎自治体の施策は、すべてが連動しており重要なものと考えております。いただいたご意見も踏まえ、戦略6(2)『未来を創る強靱な都市づくり』～市民生活と経済活動を支える都市基盤～を進める上で、公共施設の保全・更新などについても着実に推進してまいります。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>26 ページ 幹線道路は臨海部、都心部はできていますが、郊外部はまだまだです。道路は地権者が多いほど、交渉に時間がかかり、進まないことが想定できます。地権者が少ない山林や農地を道路にするのは比較的容易だと考えます。</p> <p>道路が進まない原因、背景の分析や事例研究が知りたいのです。</p> <p>鉄道 地下鉄は国費を多く使ったと記憶しています。</p> <p>高速鉄道3号線が進まない原因は国の予算がつかないからでしょうか？仮に「国家予算がつかないから、進まない」のであれば、それはそれで仕方ないと考えます。</p> <p>港湾 港湾はライバルが強くないので、横浜しかないから、国の予算もつくものだと推測しています。</p>	参考	<p>都市基盤施設の整備にあたっては、本市全体の視点から、各事業計画の下、関係者との調整や各年度の限られた予算の中、事業を推進しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、戦略6(2)『未来を創る強靱な都市づくり』～市民生活と経済活動を支える都市基盤～を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>&lt;ハード面の対策(首都直下地震への備え)&gt;</p> <p>建築基準法上の違法建築物(ブロック塀など)は撤去命令を執行し、排除して被害を未然に抑止することを提案します。</p> <p>また、違法建築物や老朽化した構造物(標識や看板など)が私有物である場合でも、撤去命令や強制排除ができるよう必要な条例の制定を提案します。</p>	修正	<p>いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の主な施策2「建築物の耐震対策・安全で良好な市街地形成」を進める上で、今後の災害対策の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」に通学路や生活道路等の安全確保についての視点を新たに盛り込みました。</p>
<p>「戦略6」の(政策34)；</p> <p>最近発生した都市型震災の教訓を、横浜市の行政にいかしてください。(ガス・水道・電気設備、ブロック塀の点検)</p>	修正	<p>ガス・水道・電気設備に関するご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」を進める上で、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」に通学路や生活道路等の安全確保についての視点を新たに盛り込みました。</p>
<p>小、中、高 通学路の再点検ブロック塀など</p>	修正	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」に通学路や生活道路等の安全確保についての視点を新たに盛り込みました。</p>
<p>34、大阪の地震でブロック塀が問題になっているように横浜市内にも危険な塀が沢山ある。早急に対策を！！</p>	修正	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」に通学路や生活道路等の安全確保についての視点を新たに盛り込みました。</p>
<p>ブロック塀の除去対策の強化</p> <p>大阪北部地震で明らかのように、市内の通学路(スクールゾーン)のブロック塀をすべて生垣やフェンスに建て替える対策を行うための点検と補助制度を強化する。</p>	修正	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」に通学路や生活道路等の安全確保についての視点を新たに盛り込みました。</p>
<p>現在、新市庁舎は着々と工事が進んでいますが、先日の大阪などの地震でも住民の身近な所にあるものがこわれたりしています。身近な所の安全安心(防災公共事業など)の確保を望みます。</p>	修正	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」に通学路や生活道路等の安全確保についての視点を新たに盛り込みました。</p>
<p>生徒・児童の通学路の安全(大阪地震のときのブロック塀の崩壊など)対策をもり込んでほしい。</p>	修正	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」に通学路や生活道路等の安全確保についての視点を新たに盛り込みました。</p>
<p>大阪の地震につけ各所のブロック塀の点検・撤去を早急に願います。</p>	修正	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」に通学路や生活道路等の安全確保についての視点を新たに盛り込みました。</p>
<p>本意見を書いている最中に、大阪で地震が発生し、ブロック塀の問題が出ました。これば、以前からいわれていた問題です。横浜市の場合は、崩壊危険地域の問題が有ります。</p>	修正	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」に通学路や生活道路等の安全確保についての視点を新たに盛り込みました。</p>
<p>災害に強い都市づくりに関して</p> <p>大地震が起きた時、電柱伝信柱が倒れて救助、復興に大きな障害になることは、阪神淡路の実例を見れば明らかです。早急に「無電柱化」を進めて欲しい。</p>	修正	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の想定事業量に第1次緊急輸送路等の無電柱化事業延長を新たに盛り込みました。</p>
<p>せめて見苦しい「電線&amp;電柱」のない街を目指して欲しいものである。</p>	修正	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の想定事業量に第1次緊急輸送路等の無電柱化事業延長を新たに盛り込みました。</p>
<p>防災に強い街に</p> <p>耐震工事の補助金増額。</p> <p>電線の地中化を急ぐこと。</p>	修正	<p>耐震補助に関して、いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」を進める上で、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、電柱の無電柱化につきましては、ご意見の趣旨も踏まえ、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の想定事業量に第1次緊急輸送路等の無電柱化事業延長を新たに盛り込みました。</p>
<p>行政組織における連携の強化</p> <p>危機管理は総合対策と言われており、専門知識を蓄積する各部署が有機的に連携してこそ、最大の成果が得られるものです。しかし現実には「縦割り行政の壁」が弊害となり、未然の災害抑止とか災害軽減化が果たせていないケースが見受けられます。した</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の主な施策1「危機対応力の強化」を進める上で、今後の参考とさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>がって、目的別に関係部門が定期的に連携する場の設置を提案します。</p>		
<p>I「横浜を取り巻く状況」◆防災・減災意識の向上、あらゆる災害への対応の強化 最近の群馬県・大阪府での震災を見ていると、瓦屋根の住宅の瓦がずれ、ブルーシート対応になっているものを見る。一方で、シートをかけても強い雨が降ると避難所に避難せざるを得なくなる。瓦屋根から軽い素材の屋根への変更を市の補助制度を使い、早急に改修する必要がある。ハードの修繕・改良には急いでお金をかけるべきである。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>24 ページ 火災も水害も災害が起きてから対処するよりも、予防した方が効果的なケースは多そうです。政策 34 の事業費を見る限り、地震の被害想定(何兆円)より、ずっと少ない予防費用です。(何千億円)火災対策は消防署を増やすのがもっとも分かり易いのですが、そのような計画を見聞きしていません。自助、共助の取組は理解します。 中区や南区や神奈川区などにある不燃化推進地区だけでも、10年間限定でもよいので消防署を増やすべきだと考えます。</p>	参考	
<p>政策 34 災害、地震、水害 災害廃棄物 1300 万トンと記述していますが、面積だとのくらいですか？ 仮に比重が1と仮定して、1300 万㎡です。 100m×100m×5mに積み上げて(中学校の校庭ぐらいの面積)5万㎡です。 1300/5ですから、約 260 か所必要。中学校がそのくらいの数だと考えます。 比重が2だとその倍。中学校は避難所に指定されてるケースもあります。 深谷通信所跡地は、災害廃棄物置き場になりますが、その他公開されたものがありますか？ おそらく上瀬谷通信基地跡も同じだと考えます。 あとは、泉区の神明台廃棄物置き場など市保有の施設この3種以外に大きなスペースがありますか？思い浮かばないのです。 意見質問 1300 万トンの廃棄物は、2012 年にできた、地震被害想定の数値だと推測します。 2018 年現在、建築物の耐震化や不燃化も進んだので、もう少し少なくなるのではないかと？</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の主な施策1「危機対応力の強化」を進める上での参考とさせていただきます。 なお、現在策定を進めている横浜市災害廃棄物処理計画(平成30年5月素案公表)の中で、一時仮置場(区に数か所)と二次仮置場(市で数か所)の面積を推計しております。</p>
<p>河川、下水道(水害対策)水害は命に関わります、1時間 50 mmの雨で床上浸水するエリアがいつになったら、ゼロにできるのでしょうか？10年で半減できませんか？火災の死者や延焼面積は10年で半減する計画がすでにあるのですから、水害も2018年からの計画で良いので、被害額半分、面積半分にしてほしい。政策 34、99ページを見る限りでは4年間で 540 ヘクタールから、385 ヘクタールですから 10 年間で半減はできそうです。早くすすめてほしい。「道路ができるから、便利だ、快適」、「水害が減るので安心だ」の2択なら安心を取ります。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の主な施策4「局地的な大雨等の風水害対策」を進める上で、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>俣野町(戸塚区、境川と宇田川の合流点)は水害が多く、旧俣野小の北側の住宅地の約 10 戸ぐらいに、汚水逆流被害が起きます。 大雨が降ると、汚水が逆流して、自宅の庭に汚水の川ができます。道路は冠水、通行止めになる。 処理しきれない下水による浸水、水害。「安心して暮らす」とは少々言いがたい面がある。 水害は平成 16 年、26 年に起きています。市は対策を取っていますが、私は継続して、改善提案中です。</p>	参考	
<p>耐震補強補助金制度と4m 道路について(未来を創る強靱な町づくり) 耐震補強補助金利用を申し込んだ所、現住宅がセットバックのルールを満たしていない為、補助金の対象とならない旨連絡を受け</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」を進める上で、今後の建築物の耐震対策や狭あい道路の拡幅整備の参考とさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>利用出来ませんでした。 そこで、意見を申し上げます。物理的に拡張不能と思われる所でも何が何でも道路巾拡張を前提とするのではなく、緊急車両を小型化する等対策を講ずれば良いと思います。せまい道路にある住宅地震や火事にうまく対応する事が必要と考えます。従来の方針のみにとらわれず最も有効な方法を考える事が強靱な町づくりの一助になると思います。</p>		
<p>インフラの分野別優先順位案 コスト対効果の高い地震火災対策が一番。次いで、自分に責任がないのに、被害は受ける内水氾濫対策地域。3番目が総合的に効果のある公園。費用対効果が不明になりつつある設計もしていないような、道路はやめる。道路計画の見直し。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」を進める上で、今後の災害対策の参考とさせていただきます。</p>
<p>P98 政策 34 災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策) ◆政策の目標・方向性について 本施策をより実行力のある形で推進するために、次のとおり修正を提案いたします。 (修正案) ・市民の生命と財産を守り、災害に強い安全で安心な都市づくりを実現するため、横浜市地震防災戦略の減災目標達成に向けた取組を着実に推進し、基幹インフラの再整備を考慮したDCPの実現を進めます。また、自立分散型電源を確保することにより電源の多重化を図り、まちとしての防災機能の向上を促進します。</p>	参考	
<p>P99 政策 34 災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策) ◆主な施策(事業)3 地震火災対策の推進について 本施策をより実行力のある形で推進するために、次のとおり修正を提案いたします。 (修正案) 条例に基づく防火規制等により、耐火性の高い建築物への建替え等を促進するとともに、災害時にも一定程度の生活が継続できるよう、まちの不燃化を進め、出火後の延焼を防ぐ延焼遮断帯の形成、消防力の強化、必要なエネルギーを自立的に確保できる住宅の普及などにより、地震火災に強い都市づくりを進めます。</p>	参考	
<p>政策 34 施策2 建築物の耐震対策 延焼面積、戸数の予測で、重要な要素を4点を考えました。 ①. 住宅が木造か、 ②. 築年数、改修経過年数 ③. 延焼防止になるオープンスペース、公園、広い道路、不燃建築物 ④. 緊急車両の通行容易性、狭あい道路の改良。 施策2にある～木造住宅～支援は①、② ③の広い道路は、施策6にあります。公園は、施策4にあります。 ④は施策2にあります。</p>	参考	
<p>政策34 施策6 緊急輸送路等の強化 3001億円と事業の中でもっとも高額ですが、この金額が妥当なのか、よくわかりません。防災計画では2022年までに、延焼半分、死者半分です。ちょっと不足ではないかという気がします。施策2の716億円も妥当なのかよくわかりません。 本施策の事業量を全部足すと3901億円を4年間で使うこととなります。主にインフラ工事で対応する施策6と、ハコモノや市民への支援の施策2です。直感で、この事業費で延焼数半減ができる気がしないのです。建物の不燃化や耐震化をするのは、市民、事業者ですから簡単にはシミュレーションが難しい。 提案は 方程式 データの収集が容易な物を代理変数として、簡単な方程式を作り、推測分析する。 延焼数が仮に発火数×炎上率×延焼の方程式が成立するとして (1)発火数の代理変数として、耐震不足住宅数、率 (2)炎上率の代理変数として、不燃化していない住宅数、率 (3)延焼率の代理変数として、オープンスペース数や狭あい道路数、率</p>	参考	



中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>改善率でもいいです。 耐震不足住宅率、改善率 不燃化していない住宅率、改善率 きょうあい 道路改善率 仮に5年間で3つの代理変数が5%ずつ改善するとして <math>0.95 \times 0.95 \times 0.95 = 0.857</math> 10年で<math>0.857 \times 0.857 = 0.734</math></p>		
<p>「34. 災害に強い都市づくり」に関して、次のとおり意見を提出します。</p> <p>大規模地震や富士山噴火があった場合、大都市である横浜市では市や自衛隊の給水車での給水に強い不安を感じられます。このため、多くの家庭では一定量の「飲料水の備蓄」を行っていると思いますが、飲料水以外の洗濯や体を拭くための生活水の備蓄はほとんどなされていないものと思います。つきましては、個人所有の井戸に頼ろうとする現行の市の対策を手直して、市の公園等で「手押しポンプ井戸」を掘削し、水質が余り問われない、大規模災害時においても必須の「生活水」の確保対策を講じられるように要望します。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」を進める上で、今後の災害対策の参考にさせていただきます。</p>
<p>政策34 施策4 横浜駅周辺の浸水対策が優先的なのは妥当です。公共事業評価書で確認しました。 しかし約10年で400億円かかります。本中計期間中に事業費の発生はありますか？ この施策で、指標の河川氾濫面積の削減にどの程度寄与するのでしょうか？ 指標では、4年間で540ヘクタールから、385ヘクタールですから、こちらに回す予算不足になりませんか？河川事業と下水道事業と違うので、直接関係しないのでしょうか？よくわからないのです。コラム1ページで、河川氾濫面積削減と、横浜駅周辺の浸水対策工事の関係を説明してほしい。 氾濫面積はわかりました。540ヘクタール。それでは、被害戸数は何戸想定されているのですか。 鶴見川流域では、大きな遊水地があります。境川流域では、水田が遊水地として機能すると考えます。これらは氾濫してもしかたない、初めから、昔から川の近くの低地に住宅は立てないです。 面積だけでなく、被害額を指標としてほしい。 ○データの公開を ① 過去のデータ 面積だけでなく、床上、床下浸水戸数、被害額のデータを市は公開してほしい。 すでに起きた水害については、床上浸水戸数などのデータは保管されていると思うのです。 ② 改善される地域の建築物のデータ 氾濫が減る地域は特定されるのですから、そこにある住宅や倉庫などの建築物数が計測可能だと考えます。 被害額 過去データから、氾濫面積が減ると、床上浸水がどのくらい減り、その結果、水害被害額がこのくらい減った。を分析公開する。 過去データの分析により、今後改善される、氾濫面積、浸水戸数、被害額を分析し、公開しエビデンス・ベースド・ポリシーで想定、計画、実行してほしいのです。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」を進める上で、今後の風水害対策の参考にさせていただきます。</p>
<p>ハザードマップは県内各市に比較して早く作成されたと考えます。しかしもともになるデータが古い。最新のデータで、最新版を作成してほしい。 泉区、瀬谷区のと泉川などかなり進んできました。ハザード、リスクは減ったはずですが。 ハザードマップの改定はいつごろ、どの区から5年先とか、概要でいいですから公開してください。 特にハザードマップ上にはないが、実際に水害が起きた箇所で</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の主な施策2「建築物の耐震対策・安全で良好な市街地形成」を進める上で、今後の風水害対策の参考にさせていただきます。 なお、ハザードマップについては、横浜市ホームページに最新の情報を掲載しております。 「わいわい防災マップ 横浜市民防災情報」 <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/index.asp?dtp=6">http://www.city.yokohama.lg.jp/index.asp?dtp=6</a></p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
す。インターネットに示すだけでもいいです。想定外が起きたら起きたでしかたがない。「見える化」をしてほしい。		
横浜は崖が多い。そこを切り崩してマンションを建てているが地震の時は怖い。ある程度規制したらどうか。	参考	いただいたご意見につきましては、がけ地の防災対策やまちづくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
私は綱島在住者です。家の建て直しの折、道はばを広くするセットバックを導入して欲しい。家は新しくなっても道は広くならず、消防車、救急車の走行がスムーズにならない。いつまでも歩行しにくい住宅地だと思います。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の主な施策2「建築物の耐震対策・安全で良好な市街地形成」に盛り込まれており、ご意見を踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
<p>38の政策34に「横浜駅周辺の浸水対策」がある。前回の中期計画にも「10-5-①」として同名の事業提示がある。結果は”検討中”ということで、今回中期計画に全て持ち越しとなっている。</p> <p>横浜駅周辺の浸水対策は、横浜市行政施策懸案事項のうちで緊急度・優先度のランク付けは高いと料する。発言者居住地至近が理由ではない。以下申し述べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帷子川は大岡川とともに横浜港に河口を持つ重要河川である。流域面積は後者を上回るが、根岸湾に2本の放水路をもつ大岡川と異なり、豪雨災害の排水は全て横浜港に依存している。つまり、横浜駅周辺の浸水対策とは帷子川の洪水時溢水対策である。中期計画には想定時間雨量50mmとある。</li> <li>・帷子川の洪水時溢水は、横浜港内河口への放水分を除きその多くが横浜駅ミナミ・中央・キタ、3本の公共通路に流入する。当然に横浜駅に集散する各路線はスペテマヒ状態となる。市営地下鉄・ミナトミライ線隧道への流入事態が生じたときは、マヒ状態はその分長期化する。</li> <li>・横浜駅利用客動線がゲリラ豪雨(温暖化の影響か、時間雨量100mmの事態も現実となっている)に弱くなった根因については論評しない。かつて当時の高秀市長に伺った話「東京湾アクアラインが出来たのは、川崎側トンネル掘削残土を横浜市が本牧埠頭埋め立て用に受け入れたからですよ」発言者居宅眼下に見る、帷子川河口ボトルネック是正工事が遅々として進まない事態を、先人はどのように見られているのであろうか。</li> </ul>	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の主な施策4「局地的な大雨等の風水害対策」に盛り込まれており、横浜駅周辺の公民連携による浸水対策として、民間事業者による雨水貯留施設の工事等を進めております。今後も、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
<p>政策34: 災害に強い都市づくりについて</p> <p>この政策にはソフト対策と言う視点が欠けているように見受けられます。</p> <p>想定されている事業量の中にもソフト対策、すなわち市民に如何に早く知らせて避難に繋げるかの方策は盛り込まれているのでしょうか？</p> <p>災害は想定を超えて起こります。</p> <p>ハード対策も重要ですがソフト的な対策にもより多くの重点を置く必要が有ろうかと考えます。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の主な施策1「危機対応力の強化」に盛り込まれており、災害情報の伝達手段の強化を着実に推進してまいります
木造住宅耐火化補助が少なすぎます。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の主な施策3「地震火災対策の推進」に盛り込まれております。
「急傾斜危険地域」の実態把握と計画的な工事実施などの対応が急務。特に横浜各地は丘陵が多く又、狭隘な道路や斜面地に住宅が集中して建設されていることから、強風・大雨や台風・地震などによる自然災害等が発生しやすい状況下にある。湧水などによる斜面地崩落の危険性などもあることから定期的なパトロールや斜面の状況や環境に見合った適切な対応策が求められる。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の地震火災対策の参考とさせていただきます。
急傾斜地対策推進	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」の主な施策5「がけ地の防災対策」に盛り込まれており、計画を着実に推進してまいります。
隣接する横須賀に大きな活断層があり、海に半分を接する土地です。地震つなみ対策が少し不足しているような感じがします。一時避難塔とか河川のしゅんせつなどはどうなのでしょう。つなみを知らせるサイレンとか放送一度も聞いたことがありませんが。	参考	本市では、津波避難施設の整備や津波警報システムの設置などの津波対策を進めております。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策35「災害に強い人づくり・地域づくり」 外国人への災害対応や女性の視点からの防災対策、ペット同行避難への避難所対応など、災害対応の充実への個別の言及に、これまでにない前向きさを感じました。 災害が発生したときに、誰もが安心できるよう、それぞれの分野で具体的な対策を検討し、いざというときの備えを進めてもらえればと思います。</p>	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」の主な施策6「災害時要援護者等支援の強化など災害対応の充実」へのご期待と捉え、ご意見を踏まえながら、災害対応の充実を着実に推進してまいります。
<p>横浜市は災害に強い都市と私は思っています。さらに進めるには、No.35 災害に強い人づくり、地域づくりが重要で、町内会組織の活用連携が求められると考えます。</p>	賛同	ご意見の趣旨については、素案の政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」へのご期待と捉え、地域における防災の担い手の育成や、防災教育等の充実による防災意識の向上など、災害に強い人・地域づくりを進めてまいります。
<p>本中期計画の実施にあたり、地域の活性化、首都直下地震に備え、次世代に向けた「つながりのある支え合う地域づくり」の「見える化」を達成するものとしていただきたい。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」を進める上で、今後の災害に強い地域づくりの参考にさせていただきます。
<p>25 ページ 防災戦略では、2022 年平成 34 年までの 10 年間で、おおむね火災半分、死者半分です。122 ページに説明があるのでわかるんですが、25 ページの行程表に防災計画があった方が分かり易いと考えます。 おそらくコスト対効果が高いのは感震ブレーカーであり、消防局はもっと宣伝してほしい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」の主な施策4「出火防止や地域における初期消化力向上」に盛り込まれており、計画を着実に推進してまいります。
<p>「地域づくり用 ICT 化」で地域の情報を蓄積し、官民双方で情報交換・確認をできるようにしてほしい。 ・市区の危機管理情報は縦割りではなく目的別に統合化して素早く発信願いたい。 ・市民がまち歩き等で危険箇所を発見した際に、情報をタイムリーに担当部署に連絡して、対策に結びつけられるシステムをつくってほしい。 ・市内には、崖地や経年変化によって劣化した擁壁、老朽化した構造物(標識や看板など)の危険箇所が多い。これらの情報を見える化してほしい。 ・災害危険箇所等の履歴も蓄積しわかりやすく情報公開してほしい。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」の主な施策2「防災教育の充実等による防災意識の向上」を進める上で、今後の災害対策の参考にさせていただきます。
<p>各自治会等(自治会未加入のマンション等を含む)で「地区防災計画」を確立すること。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」の主な施策3「地域・事業所における防災力の向上」を進める上で、今後の災害に強い地域づくりの参考にさせていただきます。
<p>災害時に生死を分ける初期対応を充実し、地域力を高めていく。 ・学校を防災教育の拠点として、初期対応の行動指針を共有する防災教育・初期対応訓練を地域と一体で実施願いたい。 ・いっとき避難場所・地区(自治会・マンション等)災害対策の機能強化(初期消火、救出、救護用具、情報伝達機器の標準的装備等)を推進願います。 ・隣近所、地域の身近な居場所となる事業所、サロン等の活動拠点、アパート等の集会所では、日ごろからの「隣近所の協力取り決め」に加え、非常時の対応(安否確認・避難時の協力体制等)を明確化し徹底する。これにより自助共助技術をレベルアップする。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」を進める上で、今後の災害時の飲料水確保対策を進める上での参考とさせていただきます。
<p>また学校に鋼鉄製のプールにして、その横に水を飲める水をつくる、浄化用ポンプをすえつけています。くわしくは、川崎の方にきいてみるとよいと思う。震度5で水道管が破れ水道の断水対策にもなる。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」を進める上で、今後の災害時の飲料水確保対策を進める上での参考とさせていただきます。
<p>政策35 施策6 災害に強いひとづくり・地域づくり(自助・共助の推進) 災害時要援護者等支援の強化など災害対応の充実 災害時要援護者の支援については、地域で情報を整え、サポートしているが、支える方も高齢者、また若者は昼間の場合は家にいない。 そこで、ここ金沢区は地域に、町内会内にも大学がある。日頃から連携をとっていざというときには要援護者のサポートができるよう組織として作ってほしい。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」を進める上で、今後の災害時要援護者支援の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>「よこはま地震防災市民憲章」の活用                      横浜市が平成25年3月制定した市民憲章は、市民一人ひとりが銘記すべきものです。                      しかし、残念ながら現実には「制定しておしまい」となり、有名無実化しています。                      市民が集会するすべての機会（自治会関係、福祉関係、学校教育など）において斉唱し、防災減災の意識改革を進展させることを提案します。                      特に小中学校では、「校長先生のお話」の場において、この斉唱を加えることを提案します。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」を進める上で、今後の災害対策の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力の向上につながる情報の更なる「見える化」を推進ください。</li> <li>・災害時要支援者対応を「市民の義務として明確化」し、広く共有化することを要望します。</li> <li>・防災減災対策の市民参加を推進するため「防災よこはま」ポケット版の発行を提案します。</li> <li>・横浜市は全国有数の「土砂災害多発地域」です。その現実を積極的に広報し、市民意識の喚起を図ってください。</li> </ul>	参考	
<p>P100 政策 35 災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)                      ◆政策の目標・方向性について                      本施策をより実行力のある形で推進するために、原案につきまして4つ目に新たな項目を追記することを提案いたします。                      (案)                      ・災害時、避難所運営継続の為、電源確保の維持を図る非常用発電機兼用ガスコージェネレーションシステム(常用にも利用できる非常用発電設備)の重点配備を進めます。</p>	参考	
<p>昨日の朝、大阪で大地震があり、ライフラインがこわれたり、へいが倒れたりしています。学校が避難所になることが多いことなどを考えると、中学校に給食施設があると役に立つのではないかと。川崎市は前に直下型地震がおきるかも知れないということもあり、食糧備蓄センターをつくっている。</p>	参考	
<p>南海トラフ地震が想定されています。事前に日本海側の都市と協定を結んで宿泊地(公民館、避難所、空き室等)を確保する。高齢者、身体障害者、妊婦、幼児等一般に弱者と言われる人々を移送して被害を減らす。また、震災後も移送は必要と思われます。                      避難所で生活するためには水の確保が必要ですが、1週間分20ℓは個人での運搬、確保はままなりません。避難所には貯水式の給水設備又は浄水器を設置して、プール、川、池等で対応する必要があります。                      避難所には通勤、通学、買い物途中者等、地域外の人々を含めた物資の備蓄は必要と思われます。                      水道設備が停電、地割れ等で使用出来ない場合を考慮して各地の町内で災害用井戸が設置出来るかの調査が必要と思われます。                      緑地、公園、公共施設には貯水設備、災害用井戸の設置が望ましいと考えます。                      ・緊急時の人材確保                      各区にある「明るい選挙推進協議会」と同じような「緊急時支援隊」と創設して、OBを主体に医師・看護師・保育士・消防隊員・警察・自衛隊・建設作業従事者等を自薦、他薦を問わず登録して大災害時に居住地域に紹介して町内会、自治会の活動支援にあてる。                      ・食料等の確保                      南海トラフ地震のような大災害が発生すると援助物資の運搬に長時間かかると思います。スーパー、コンビニは早いもん勝ちになり弱者は取り残されます。                      緊急時に備えた、食料・水等を備蓄でなく一定程度保有してもらえようように指導する。また、個人商店では商店街自治会で地域支援マニュアルを作成してもらってはいかがですか。</p>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>・災害用物資の保管 公立・私立を問わず、避難所に指定されていない学校等に物資の保管スペースの提供を求める管理は区が責任を持ち「緊急支援隊」に依頼する。</p> <p>・飲料水の確保 ビル等に設置されている、屋上（高架）水槽に地震感知器を取付けて震度5以上に電磁弁を作動させる、また停電時にも同様とする。</p> <p>水槽出口で弁が作動すれば、配管の破裂等による、漏水も防げます。</p> <p>県や市で補助金を支給して設置を支援したらどうですか。</p>		
<p>「自助・共助の大切さを広め、災害に強い人づくり・地域づくりを進めるため、地域における防災・減災の取組を率先して行う人材の育成」と言う点では、視点が逆立ちしている。これを私たちが言うのなら百歩下がってそうかも知れないと言えるが、自治体の基本構想で述べられると問題である。もともと日本語には自立はあっても自助などと言う言葉はない。そして人間には生まれたときから自立するように出来ている。年老いたり病気で自立が困難になることはあっても自立は基本的な人間、イヤ、生きものの基本性向である。したがって自立出来なくなっている人に対して公助こそが近代社会の到達点である。それを担うのが地方自治体の大きな仕事の一つである。それを全く削除しての基本政策は大問題である。どんな支援が出来るかという視点が全く欠如しているのは大都市横浜の施策担当者の案だというのは情けない限りである。勿論町内会や地域コミュニティでボランティアによる共助というのは大事だしそれを進めるのは当然だと思っているが、それを上から押しつけられると不愉快になる。むしろそうしたボランティア活動を支援すると言うのであれば大歓迎である。ただ基本構想を示されるのは誤りだと指摘したい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」を進める上で、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>市発行の避難所マップを見ると、我が家の周囲には避難所は見当たりません。自治会等での説明では山下小学校だそうです。山の上にある山下小学校までは、とても辿りつけそうにありません。勿論、必要最低限の準備は心掛けていますが、もう少しキメ細かい避難所の設置は考えられないでしょうか。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」を進める上で、今後の地域防災拠点の設置や運営の参考とさせていただきます。</p>
<p>過疎住宅地の防災の担い手は皆要介護者では、だれが担うのでしょうか。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」を進める上での重要な問題と認識しており、今後の防災の担い手育成の参考とさせていただきます。</p>
<p>「自分・家族」「近所」「自治会等」で自助共助が出来る技術のレベルアップへの支援をお願いしたい。</p> <p>・防災減災対策では、ハンディータイプの「防災よこはま」を市民参加で充実し普及したい。</p> <p>・災害時要援護者を支援する市民の基本知識の充実。：介護保険制度の知識(ケアプランの作り方等)障害の知識、個別対応と支援方法</p> <p>・隣近所で活動する防災・減災推進員の育成ルールを明確化し、既存の態勢を充実する。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」に盛り込まれており、計画を着実に推進してまいります</p>
<p>政策35 災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進) この政策に問題はないです。「公助」の用語がないのが気になります。</p> <p>消防団員ですが、大学生、高専その他高校生以上の学生に参加を呼びかけてはいかがでしょうか？若手が不足と考えます。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」の主な施策1「地域防災の担い手育成」に盛り込まれており、ご意見を踏まえながら、消防団活動の充実強化を進めてまいります。</p>
<p>災害時の生死に直結する初期対応の充実</p> <p>・災害対策を地区(自治会やマンションなど)が自らの課題として自覚し、機能強化が図れる「地区防災計画」の策定を強力に推進することを提案します。</p> <p>・初期対応力は、防災教育(自らの気づき)と防災訓練(頻度)により強化されます。そのため地域の学校を防災教育の拠点として「地域と学校が一体となった自助共助技術のレベルアップ」を図る活動の進展を提案します。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」の主な施策2「防災教育の充実等による防災意識の向上」や主な施策3「地域・事業所における防災力の向上」に盛り込まれており、ご意見を踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>34. 災害に強い町作りについて 2015年に首都直下型地震の発生確率が発表されました。横浜市は30年以内の確率は震度7の地震の発生は82%と高いものでした。建物の耐震化は進んでいると思われませんが、地震後の火災対策はおこなっていると指摘せざるを得ません。阪神淡路、東日本の両大震災の時の火災の発生原因は、6割が通電火災と言われています。本年2月現在の市の木密地区での感震ブレーカーの設置率は3%と聞いています。この数字はほぼ“0”と言わざるを得ません。「自助です」と、つきはなすのではなく、「公助」として、設置率を少なくとも50%位迄にする施策を熱望します。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」の主な施策4「出火防止や地域における初期消火力向上」に盛り込まれており、感震ブレーカーの設置等出火防止を進めてまいります。
<p>災害時要援護者対応をより充実願いたい ・介護保険利用者の場合、個別の支援計画に災害時の避難支援方法(ケース毎)を明記願いたい。 これにより、当事者と家族、支援者間(自治会等含む)で避難支援方法を共有化できる。 ・災害時要援護者・健常者も含め、市民の義務(目標・基準を含む)を明確化されたい。 住所氏名連絡先等基本情報、支援希望内容、病状や薬の服用履歴等の情報整備など ・災害時に福祉避難所の利用ルールを市民がわかるようフローチャートで明示されたい。</p>	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」の主な施策6「災害時要援護者等支援の強化など災害対応の充実」に盛り込まれており、計画を着実に推進してまいります。
<p>No.35「災害に強い人づくり・地域づくり」について提案します。 現状、地域の防災組織として、防災拠点と町の防災組織である自治会・町内会の防災組織ですが、殆どの地域では、後者は殆ど機能していないと思われまます。 地域に最も近く また密着している[自治会・町内会]は非常時には、安否確認、倒壊家屋からの救出、倒壊家屋等の被害状況、要援護者の救出、出火防止、等々について対応する事になります。これらについては防災拠点では如何ともし難く非常時におけるこれらの行動が非常に大切ですが・・・現状では殆どの所では手つかずの状態、このままで大丈夫か心配です。 更に、昭和56年の新建築基準法制定以来30年以上経過し、それ以降に新築された住宅が増加想定地震での住宅の倒壊確率が減少し被害が少なくなり喜ばしい事ですが、被災直後に於いては、「自宅避難者(在宅避難者)」が多くなり、この対応のためには自治会・町内会の管理が必要になってきます。(ライフライン断絶時) 以上を踏まえ、「地域防災の担い手」育成・・・については担い手という抽象的な表現ではなく自治会・町内会長(または会長に準ずるリーダー)の育成とすべきです。 (1)自治会・町内会の防災担当者(危機管理担当者)を配置する。会長もしくは自治会役員から任命。ただし一年交代は不可とする。(家庭防災員を吸収する) (2)行政の指示、命令系統の一元化 自治会行政全般・・・地域振興課 防災行政・・・・・・総務課、危機管理担当 ですが、自治会行政全般に地域防災力の向上を含める。したがって総務課 危機管理担当を地域振興課に移管し一元化する。</p>	参考	素案の政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」に関する意見として、今後の地域防災の担い手育成や地域における防災力向上の参考にさせていただきます。
<p>災害用のための食料の備蓄基地を市内の各地につくることを考えてもらいたい。災害用の食料備蓄など他の市の例に参考にしていくとよいと思う。</p>	参考	本市においては地域防災拠点ごとに備蓄を行うほか、方面別に防災備蓄庫を整備しております。 いただいたご意見につきましては、政策35「災害に強い人づくり・地域づくり(自助・共助の推進)」の主な施策5「地域防災拠点の機能強化」を進める上で、今後の参考とさせていただきます。
<p>①岸谷線はいりません ②生麦の生見尾踏切は無くさないで下さい ③道路を作るよりも子供達が安心して歩ける歩道を整備して下さい 岸谷線を作り生見尾踏切の代替にしようと思っても、遠回りになり不便になります。 キレイな空気を取戻して下さい。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」及び、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策2「都市計画道路の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
道路計画で先祖が四角くした土地を斜めに通す道路は住民無視だと思えます。		
<p>・生見尾踏切は閉鎖するな。</p> <p>・岸谷地区にはこれ以上、道路を作る必要なし。</p> <p>・現在、使用中の道路を整備してほしい。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策2「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」及び、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策2「都市計画道路の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>岸谷線はいらない。</p> <p>白紙撤回せよ。</p> <p>生見尾踏切を止めるな。</p> <p>岸谷線は必要ない。現在の道路で十分です。現在使用中の道路を整備して下さい。</p> <p>生見尾踏切は住民の生活をこれ以上悪くならない様に残すべきだ。</p> <p>市は踏切を通らない様にする考えだが、事故をさせないためには踏切番を立たせれば十分だと思う。</p>	参考	
<p>生見尾踏切は閉鎖するな。</p> <p>岸谷地区にはこれ以上道路を作る事は無理だ。現在使用中の道路を整備してほしい。</p> <p>岸谷線計画路線として60年も前の計画は市はどの様に考えているのか。住民は動くに動けない方が多くいる。</p>	参考	
都市計画道路岸谷線 高速横浜環状道路北線 絶対反対	参考	いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策1「横浜環状道路等の整備」及び主な施策2「都市計画道路の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
交通インフラの整備は、財政的なマイナス面ばかりでなく、確実に次世代への遺産にもなるので、環状道路整備の他、グリーンラインの延伸/環状化を進めていただきたい。	参考	いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策1「横浜環状道路等の整備」及び主な施策5「高速鉄道3号線延伸等の事業化推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、横浜環状鉄道等については、事業性の確保に向けた検討を進めることとして、施策に盛り込んでおります。
<p>20、34、36、都市計画道路環状3号は都市計画決定されてから「もうすぐ50年」今年から「30年後」に全線開通出来れば、御の字、かつての組長は安全、安心の街づくりをスローガンに「港町」1丁目1番地に座していましたが、由緒ある「かまくら道」立場から三ツ境小まで数多く塚が点在してしていた。まさに古戦場跡 固定資産税や都市計画税の上納金が少ないので先送りなのか？ いやいや 鶏を育てれば「卵」を産む 最近、計画道路部分を市街化区域に変更、これも「卵」産ませる為ですか？</p> <p>数年前 Y150の記念イベントがありましたが、旧戸塚区は「Y75」即ち、横浜市民としては二分の一の扱いを受けて居るように思われる。</p> <p>環状2号の緊急輸送路は素晴らしい、環状4号は1車線であり、今でも渋滞が多い、これでは非常用道路には適さない。</p> <p>横浜環状道路の行方を意識しているのですか？それとも JR 東海のブリッジの協議を恐れているのか？</p> <p>道路は全線開通して「道路」と言えます。深谷の開放や上瀬谷の開放で跡地利用計画実施してもアクセスが不十分ででは「ごく一部の市民」が利用するだけになってしまいますよ！</p>	参考	いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策2「都市計画道路の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
<p>横浜市の幹線道路は未だその整備が十分に追いついていません。</p> <p>少なくとも整備率が70%に満たない貧弱な幹線道路網をきちんと延ばし、横浜都心や副都心と郊外拠点、郊外拠点を結ばれネットワーク化をすすめる強靱な計画案をしっかりと表明すべきです。</p> <p>その為、素案に対し次の改善点を検討頂きたいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 都市計画道路計画の図を提示する。事業区間が明確にわかるようにする。</li> <li>2. 少なくとも3環状10放射の事業進捗率を明示し、事業区間の完成年度のコミットをする。</li> <li>3. できれば全ての事業区間を掲載し、完成予定年度のコミット</li> </ol>	参考	

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>をする。</p> <p>4. 事業区間の進捗遅延期間を明確にする(事業化当初の完了予定 平成 XX 年、現在の完了予定 平成 XX 年)。</p> <p>5. 事業完了までの概略必要費用、費用捻出にすべきこと(市民税、法人税、国庫助成、県助成等)を明確にする。</p> <p>6. 事業用地確保のための地権者との交渉加速、法令や条例の活用による事業用地確保の加速の明記。</p> <p>7. 昭和期から事業化しながら未だに完成しない区間(例: 環状3号線の国道一号接続区間)について整備促進に向けた施策を示す。</p> <p>8. 大枠の整備率達成目標をコミットする(例: 3環状10放射は未完成の2環状7放射の整備率90%達成をコミットする)。</p> <p>9. 全市の事業区間総延長の整備率75%達成をコミットする。</p> <p>10. 都市計画道路事業が遅れた背景、課題、横浜市の国県への要望、改善案をしっかりと明示する。</p> <p>11. 横浜市長が全国街路事業促進協議会の会長であることから全国の大都市の模範となる強靱な政策を示す。</p>		
<p>岸谷線は、不要です。すみやかに、やめて下さい。岸谷生麦線ができていますので、ムダです。中止して下さい。住民が一番迷惑です。これではナマ殺しです。いつまでもほっておいて消費される経費は、税金のムダ使いです。こんなものに、役人が頭を使うより、もっと有意義な事業に活用して下さい！</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策2「都市計画道路の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>岸谷線の計画は、白紙撤回してください。道路用地の先行取得費用や、その維持管理費は、税金のムダ使いです。</p>	参考	
<p>岸谷線反対</p>	参考	
<p>岸谷線はいらない。</p>	参考	
<p>岸谷線はいりません。これ以上空気をよごさない様にしてほしい。そのお金他に使って下さい。</p>	参考	
<p>岸谷線は必要ありません。 仲良しの友達が慣れ親しんだ家、岸谷の町から出ていくと淋しいです。</p>	参考	
<p>岸谷線中止</p>	参考	
<p>政策36に関連して 都市計画道路岸谷線は廃止して下さい。 (理由) 高速横環道北線及び関連街路岸谷生麦線の開通(2018.3)で、岸谷線は二重投資になり、不要不急の計画の廃止を求めます。</p>	参考	
<p>都市計画道路「岸谷線」は住民無視の道路計画です。 大気汚染、環境破壊の岸谷線に反対します。 岸谷線建設計画の白紙撤回を強く要望します。</p>	参考	
<p>都市計画道路岸谷線は止めて下さい。北線が出来たので十分です。事業評価の徹底。</p>	参考	
<p>都市計画道路岸谷線は廃案!!とされたい。 自動車のみ優先でなく歩行者の事を考えてもらいたい。細い緑色の歩道などは人権無視だ。道路を作る前に歩道を整備せよ。</p>	参考	
<p>都市計画道路岸谷線は廃止して下さい。</p>	参考	
<p>横浜環状鉄道の推進。桜木、東戸塚線の早期整備を強く願います。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策2「都市計画道路の整備」及び主な施策5「高速鉄道3号線延伸等の事業化推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、横浜環状鉄道等については、事業性の確保に向けた検討を進めることとして、施策に盛り込んでおります。</p>
<p>政策36 交通ネットワークの充実による都市インフラの強化 神奈川県東部方面線整備事業の推進について、現状どのような経済効果があったのかを調査する計画があれば、公開してほしい。公共事業評価をいつ行うかです。沿線の住宅地の土地の価格が上昇したと見聞きました。住民が増える、商業施設ができる。税金が増えるがいいシナリオです。直接の建設費だけでなく、幅広い経済効果が出てきたと考えます。公開を。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策4「神奈川東部方面線整備事業の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、最新の事業評価結果は独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構より平成28年12月に公表されております。</p>



中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>戦略6(2)『未来を創る強靱な都市づくり』 ～市民生活と経済活動を支える都市基盤～ 鉄道網については、災害時の安全性・復旧能力、人口の流入に寄与する利便性等を視野に入れ今後の計画を進めたい。 特に東京、川崎と境を接する地域は、利便性の向上が人口の流入に寄与することから、計画路線の早期延伸、また、計画に乗っていないこどもの国線の鶴川までの延伸(しっかり黒字化し収支が見込めるうに、土地に関する問題が一番少ない)等の実現を期待したい。 災害時の交通機関の点検等に要する時間、公設施設やライフラインの早期復旧など、被災したのちの復旧につき事前の予測を市民に伝えていく、または復旧過程の情報を伝える仕掛けが人心の安定には必要。 港の問題は当然、経済力強化と共に考えることである。ハブポート化の機能を備えても、すでに東アジアに2つあるハブポートを抜いてハブ化していくには、港の24時間化、物品の流通の活発化が不可欠。設定料金を低くという事も含めて、営業力が期待される所である。 公共施設に関しては、市内業者による早急な修繕が必要である。これは即効性のある市内経済の活性化対策でもある。また、改修に必要な費用の基金化を積極的に進めることにより、生命を守るために必要な資金が必要なときに動かせる仕掛けづくりがほしい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策5「高速鉄道3号線延伸等の事業化推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>鉄道の計画、設計、着手から、開設までどのくらいかかったのか？ が知りたい。 完成は20年後と言われても。現在80歳の方は…です。例えばグリーンライン、いつ国家予算がつき、計画として成立し、いつ設計をはじめ、いつ工事を着手し、いつ完成したのか？</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策5「高速鉄道3号線延伸等の事業化推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、市営地下鉄グリーンラインの日吉～中山間については、平成13年に工事着手決定し、平成20年に開業しました。</p>
<p>1都市交通について 歴史的に人類は発生以来、移動を始め科学技術の進歩・工業化・情報化に沿って交流は深まり、地球上は勿論宇宙迄に拡大している。 特に、最近インバウンドの急増・行動様式を分析し、それに対応する方策を考える時期にある。近年、LRT・重連バス等について盛んに検討されているが、都市の骨格となる大量輸送機関については、財政問題・合意形成の困難さを背景に十分な検討がされていない。 この状況を好機と捉え、国を頼らず様々な方法を専門家・企業等と検討し、実行することを提案します。 ①現在ある法律等考えず、全く新しい視点で、どのように実現するかと言う姿勢で考えるべきである。 ②合意形成の進め方・工期短縮・コスト削減に繋がる技術開発を進める。 ③予定線の周辺地域毎に、合意形成を期間限定で纏める。 ④地域と市役所の合意書が得られると、合意書を基に、民間から事業提案を募集する。 上記の視点から、現行環状線の早期具体化、新線計画(上瀬谷・深谷を縦断し、大船駅と田園都市線を結ぶ)を提案致します。 これにより、市域内は勿論首都圏内の移動が拡がり、化に瀬谷・深谷のポテンシャルが大きく上がると思います。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>「計画のねらい」の骨子の中に「人口減少・超高齢社会が進展する中、住みたいまち・住み続けたいまちを実現する為」当自治会も日夜努力しております。そこで「38の政策」「未来を創る強靱な都市づくり」#36 交通ネットワークの充実による都市インフラの強化-横浜環状道路等の整備についてコメントします。 閑静な第一種低層住居専用地域に制限速度 50km/時の道路が推進しようとしている上郷公田線「桂台地区」は欠陥の極みです。この道路計画から騒音・排気ガス・交通事故等がもたらす案は、地域の安全安心を破壊します。横浜市道路局は「初期投資がかさ</p>	参考	<p>ご意見いただいた路線の地区において、全面掘削や全面トンネルの道路構造を採用することはできませんが、平成28年度にトンネル内の見通しなどを考慮した案を作成し、自治会をはじめとした近隣の皆様と話し合いを進めております。いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策1「横浜環状道路の整備」及び主な施策2「都市計画道路の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>む」の一点張りです。決してお金の問題ではありません。是非「地表案」を「掘割案」に改めるよう要望します。 この度“広報よこはま”特別号の機会を得られて感謝しております。</p>		
<p>横浜環状4号線バイパス(上郷・公田線)は、住宅地の真ん中を通るので、トンネル構造か掘り割り構造にしてください。計画道路の南側の住民は高齢者が多く、広い道路や信号機などは不便です。行政は誰の為の行政ですか。単なる抜け道の為の道路など地元住民にとっては不便です。 高齢者はバイパスなどが出来ても利用しません。地域、地元で日々生活しています。行政は高齢者無視ですか？</p>	参考	<p>ご意見いただいた路線の地区において、全面掘割や全面トンネルの道路構造を採用することはできませんが、平成28年度にトンネル内の見通しなどを考慮した案を作成し、自治会をはじめとした近隣の皆様と話し合いを進めております。いただいたご意見につきましては、政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策1「横浜環状道路の整備」及び主な施策2「都市計画道路の整備」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>上郷公田線桂台地区の道路構造を掘割に変更してください。私達は年を取りましたし小さな子供も障害のある人も平面交差の道路の青信号では道幅が広いので渡り切れません。(杖をついてゆっくりしか歩けません。)住民の意見を無視しないで下さい</p>	参考	
<p>高速道路につきましては東名高速に出るのが大変不便です。釜利谷JCTから先の工事を早く推進してください。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策1「横浜環状道路等の整備」に盛り込まれており、いただいたご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>・政策20に関して 瀬谷区は横浜の過疎地と呼ばれるほど交通の不便な地区です。鉄道は相鉄線1本だけでお仕事で通勤する人、なかんずくご夫婦で働く方には気のどくです。現在は市営地下鉄線はJRの中山駅でストップしています。これを中原街道地下を通り、湘南台まで延長して環状線にすると、区民に便利になるだけでなく、横浜市全体に経済効果をもたらしませんでしょうか。</p>	参考	<p>横浜環状鉄道等については、素案の政策36「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な施策5「高速鉄道3号線延伸等の事業化推進」において、事業性の確保に向けた検討を進めることとしており、ご提案の趣旨は、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>グリーンラインの延伸を積極的にすすめて欲しい。ズーシアの活性化にも寄与するはず。</p>	参考	
<p>横浜市内の都市計画を新しい目で考えて頂きたい。27年前、*本牧宮原に*入居した。地下鉄が出来る予定のマイカル駅前*道巾をとってあるという。しかし、平成12年地下鉄導入の署名活動あるが、地元*3人の反対で流れたと聞く。網の目の*本牧路面電車が廃止された* *らずー！進まない。B.Bに新たに港先まで地下鉄延長するという。* *本牧から横浜駅まで週末は渋滞1時間かかる。わずか10km余りなのに…！*だけのためだけでなく、本来の都市計画に力を注いで頂きたい。不自由に耐えている市民のためにも…！ *だけに力を注がないで、不自由している市民の為に力を注いで頂けないか？</p>	参考	
<p>排気ガス低減策を推進 市営地下鉄を延ばすべき 中山駅まで来ている地下鉄を霧ヶ丘団地(公団)から若葉台団地(県住宅公社)⇒二俣川⇒横浜と環状線にする。(相鉄線乗入れ) 現在市営バス/東急バス/相鉄バスと排気ガスをまきちらしている。</p>	参考	
<p>国道1号の拡張整備 西平沼交差点から浜松町交差点にかけて、道路に出っ張っている建物が複数あるため、用地が無駄になっており景観も良くないです。多くは空き家のように思われますが、今後もこのままなのでしょう。渋滞が発生しているのに加え、バスの蛇行などにより追突事故の危険もあると思います。拡張のために必要な広さは充分にあると思うので、利便性や安全性の向上のために片側1車線ずつ増やすための交渉・整備を早急に進めることを提案します。</p>	その他	<p>ご意見いただいた箇所は、国土交通省が事業を進めていた箇所ですが、現在休止状態となっております。本市といたしましても、整備の推進を国土交通省に対して要望しているところです。</p>
<p>政策37 国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり 「横浜川崎国際港湾株式会社」とあり、とてもいいです。民間でやれる事は民間で行い利益も雇用も作り、税金も増えるでしょう。</p>	賛同	<p>政策37「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」について、いただいたご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>クルーズが好きで、世界各国の港に行きましたが、全般論として日本の港のアクセスは平均点以下。特に横浜大棧橋の出口交通については、行った30を超える港の中で最悪です。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策37「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」の主な施策3「客船の誘致促進と受入機能の強化」を進める上で、今後の</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>多くの船は、朝入港して夕方出航ですので、実質は5～6時間の滞在になります。その中で、大棧橋を出るまでに30分以上かかる状態では、横浜の印象は、最初から最悪となってしまうことを懸念します。</p> <p>提案は、クルーズ船が到着する日は、到着の時間(9時ぐらい)から、午前中いっぱい交通規制を行うことです。</p> <p>① 交差点4箇所(開港記念館前信号、水町通り入口信号、県民ホールと産業貿易センター間の道路入口ならびに県民ホール前信号)で進入禁止。</p> <p>② 信号5箇所(開港記念館前、開港広場前、水町通り入口、産業貿易センター前ならびに県民ホール前)を点滅とする。</p> <p>③ 大棧橋から開港広場に向かう交通、元町側から県民ホール前に向かう交通を常時左折とする。</p> <p>これだけで、大棧橋から抜け出すことは出来るようになります。あとは山下公園沿いの信号3箇所(県民ホール前、山下公園中央口、山下公園東口)で右折を推奨し、山下橋で3方向に分散すれば、スムーズに市内に出られると考えます。</p> <p>マラソンなどのイベント。歩行者天国などのイベントで交通規制があるように、クルーズ船到着日も大棧橋付近で規制を行うことは問題ないと考えます。その時間内に大棧橋にアクセスする車は、開港記念館前からのアクセスだけに限定して、交通整理の元で入れていくのが良いと思います。</p>		<p>参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜「はとば」これを活かしてない。大棧橋ふ頭ビルと横浜第二港湾合同庁舎など歩道外側に駐車スペースを設け、また船の旅行者に対して日本大通駅から第二港湾合同庁舎そして大棧橋へ向かうのに第二港湾合同庁舎がバリアになり見えない、行きにくい。全国から乗船する人に対して不親切この上ないと実感しました。</p> <p>1. それでシルクセンター前、開港資料館前(開港広場前)をロータリーにすること、なぜなら船客に必須のタクシーをはじめ、バス、マイカー等の数珠繋ぎの様に諸外国の人々に対して、悪いイメージ(ヨコハマに対して)が、これから街へ向かう旬によろしくない。</p> <p>2. 一方、二方向から考えた乗船分路(なぜなら電車の前から降りる人と後ろから降りる人で出入り口が2ヶ所になってるからです)も必要です。全国から来る、この事を忘れないで下さい。</p> <p>3. 大棧橋の名称をはっきり分かりやすくして下さい。私はヨコハマ(横浜)はとばがよろしいかと考えます。</p>	<p>参考</p>	
<p>横浜港近辺の開発 客船増加に伴う交通渋滞を解決するための総合立案 計画と実行(一時的対策不可)</p>	<p>参考</p>	
<p>巨大岸壁等港湾 (1) トランシップ率の低い日本の港湾、これから先に貨物量が増える目算があるのか (2) 若しも金をかけるのであれば、機械化、自動化の近代化が欲しい。名古屋港のような・・・ (3) 客船ブースとしては大型クルーズ船の入港待ちとなるが、非常に参考になると思うのがトルコのイスタンブールの客船岸壁で、いっぺんに大型客船が4～5隻一列に並んで着岸している。しかも市街地隣である。 如何に市街地探訪と結びつけるかが課題ではないか。</p>	<p>参考</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策37「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>港の問題は当然、経済力強化と共に考えることである。ハブポート化の機能を備えても、すでに東アジアに2つあるハブポートを抜いてハブ化していくには、港の24時間化、物品の流通の活発化が不可欠。設定料金を低くという事も含めて、営業力が期待される場所である。</p>	<p>参考</p>	
<p>日本の港湾機能は国家・官公庁の管制下に置かれている為、内外民間企業との共同連携運用が難しい。国際ハブ港湾都市として釜山、上海に追いつける様な制度改革の努力が必要。</p>	<p>参考</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策37「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、横浜港では28年1月に新たな港湾運営会社である横浜川崎国際港湾株式会社が設立され、本市及び国、川崎市、民間事業者が連携して取組を行う新たな体制となっております。</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
大型クルーズ船入港可、貨物の港湾施設増強(10%)	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策37「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」に盛り込まれており、いただいたご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
37 横浜港の取扱高を向上させるため、ふ頭周辺の道路の整備をすすめる必要。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策37「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」の主な施策1「ふ頭機能の再編・強化の推進」に盛り込まれており、いただいたご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
巨大岸壁等港湾に金をかけて観光港にして世界の客船を横浜に呼ぶことだ。	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の政策37「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」の主な施策3「客船の誘致促進と受入機能の強化」に盛り込まれており、いただいたご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
37.「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」では今の港湾では不十分なんではないですか？将来のことを考えればそのお金を市民生活に回した方が賢明だと思います	参考	素案の政策37「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」では、国際的な競争が激しい海運業界においてコンテナ船の大型化や寄港地の絞り込みが顕著になっていることを踏まえ、選ばれる港づくりを推進することとしております。ご提案の趣旨は、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
横浜市は税収が豊かなのに比べ、市民への還元が少なく思います。国際コンテナ戦略港湾に基づき南本牧埠頭に大水深パース、大型ガントリークレーンの建設を進め巨額の市費を投入しているが、産業空洞化により日本発貨物の減少、貿易相手国の主要なアジア諸国である事から巨大パースは必要なく見直すべきです。	参考	素案の政策37「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」では、国際的な競争が激しい海運業界においてコンテナ船の大型化や寄港地の絞り込みが顕著になっていることを踏まえ、選ばれる港づくりを推進することとしております。ご提案の趣旨は、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。なお、大黒ふ頭においては自動車専用船岸壁が不足しているため、機能強化を進めることとしております。
巨大岸壁など港湾整備について、輸出・入量が増大する見通しがないもとの、なぜ巨大岸壁などに予算をつぎこむのでしょうか。大黒埠頭などの岸壁は空いていることが多いのではないかと。	参考	素案の政策37「国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」では、国際的な競争が激しい海運業界においてコンテナ船の大型化や寄港地の絞り込みが顕著になっていることを踏まえ、選ばれる港づくりを推進することとしております。ご提案の趣旨は、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。なお、大黒ふ頭においては自動車専用船岸壁が不足しているため、機能強化を進めることとしております。
インフラについて 大きな道路の建設も有難いのですが、身近な生活道路の補修、ペイントのし直しなどをお願いしたいです。	参考	いただいたご意見につきましては、政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」の主な施策1「計画的かつ効果的な保全・更新の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
生活に身近な市道沿いの歩道が、アスファルトが減り、粒石でザラザラとなり、高齢者や子供が転ぶ危険があります。これは、若葉台や上川井地区だけでなく、区全域の住宅地へと広がっていると思います。部分的には補修されているところもありますが、区内歩道を点検し、補修して下さることを強く望みます。	参考	いただいたご意見につきましては、政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」の主な施策1「計画的かつ効果的な保全・更新の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、市道を管理する土木事務所では定期的に徒歩によるパトロールなどを行っておりますが、具体的なご要望箇所がございましたらお住いの区の土木事務所までご連絡ください。
無駄な道路工事などを極力抑制する(たいして傷んでいない道路補修が多々ある)	参考	いただいたご意見につきましては、政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」の主な施策1「計画的かつ効果的な保全・更新の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、道路の補修については、大きな損傷が生じる前に補修を行うことによって長期的なコストの低下を図るなど、効果的な補修の実施に努めております。
「政策 38」主な施策 3(将来も見据えた時代ニーズに対応できる公共建築物の再編整備) 人口減少と財政難で、今後、既存の膨大な量の公共施設の保全・更新費用の確保が大きな問題になると考えます。そこで、利用料金値上げの前に、市民の利用実態を把握し、現在の施設の統廃合、及び県の施設との共用等を積極的に進め、経費の削減に取組むべきと考えます。 また、今後のコンパクトシティ化を念頭に、市民の利用が多い施設は街の中心部に配置するなど、既存施設の配置換えも検討いただきたい。	参考	いただいたご意見は、政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」及び財政運営3「保有資産の適正管理・戦略的活用」の主な取組3「公共建築物のマネジメントの推進～施設の多目的化や複合化等の将来を見据えた取組～」、主な取組4「市民利用施設の効率的な運営と受益者負担の適正化」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>政策38 公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新 優先度を定めるルール、ガイドライン、手続き、プロセス、特殊な判断をするケースなどを記述した文書を明確にしてください。 誰が計画を作ってもあまり変わらない。基本マニュアルどおりがいいです。記録を残してください。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」の主な施策1「計画的かつ効果的な保全・更新の推進」を進める上で、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、本市では横浜市公共施設管理基本方針に基づき、施設ごとに策定した「保全・更新計画」により、施設の確実な点検と優先度を踏まえた計画的かつ効果的な保全・更新を推進しております。</p>
<p>インフラ、公共施設の更新 施設の更新が必要なことはわかるんです。優先順位が知りたいのです。 どのような基準で、判断するのか、条件や評価テーブルを公開してほしい。「環境影響評価やアセスメント」、「介護度決定のためのアセスメント」など手法が公開されています。文献もあります。「誰が評価しても介護度がだいたい決まる」プログラムができています。 学校の更新などは、市の権限、財源でできるのですから、優先順位を決めるプログラムや手順、評価テーブルを決めれば、だれが計画しても変わらない計画ができると考えます。</p>	参考	<p>「横浜市公共施設管理基本方針」 <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/kokyo/hozenrikatuyo/kanrikihonhoushin.html">http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/kokyo/hozenrikatuyo/kanrikihonhoushin.html</a></p>
<p>各分野での計画で、優先順位を決められる事項は公開してほしい。 道路は、優先的に進めるのはどこであると決めるのは難しいと考えます。下水道と水道は比較的可能です。料金の収入があるからです。長期の見通しは解る。</p>	参考	
<p>施設に限らず、道路、トンネル、橋等の保全、更新及び廃棄</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」に盛り込まれており、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>老朽化するインフラ対策。水道管の100年* *他、電柱の地中化(20年間で実現)、橋梁の100年耐用化、</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>他自治体との連携 公共施設の相互利用などもおもしろいかと思います。</p>	参考	
<p>&lt;ハード面の対策(首都直下地震への備え)&gt; 横浜市の都市インフラは多分に更新時期(老朽化)を向えているので、適切な予算措置を講じ、スピード感のある更新を行い、災害時の被害減少化を推進することを提案します。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策34「災害に強い都市づくり(地震・風水害等対策)」及び政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」に盛り込まれており、計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>I「横浜を取り巻く状況」◆公共施設の老朽化 目標耐用年数の築70年の根拠は今ひとつわからない。70年とすると昭和40年に立った建物もあと17～18年耐用可能と考えるのか？まだ、17年あると思ったとき、早急に建て替えなければという考え方に今のシステムでなりうるか疑問である。課題への対応が先送りになっていかないことを願う。 インフラの改修・改築期に来ている横浜市は、財政上の焦点を“税収をどのようにして上げていくか”ただ1点に絞るべきで、いかに支出を減らすかに置き続けてきた重心をシフトさせるべきときに来ている。 市民からの信用を勝ち得た自治体は強い。税収をあげるためにも、必要なインフラの修繕・改築にはしっかりとお金をかけるべきである。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」の主な施策1「計画的かつ効果的な保全・更新の推進」、主な施策2「長寿命化や平準化を踏まえた計画的な建替え」及び主な施策3「将来も見据えた時代のニーズに対応できる公共建築物の再編整備」に盛り込まれており、ご意見を踏まえながら計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>小学校のトイレの改修など新しい設備計画よりも、今既存の設備の点検、改修を進めてほしい。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、教育環境の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>横浜は川が多く、すばらしいまちですが、日々その汚れも増えています。そこで、川底のヘドロも多いものと思われます。悪臭も有ります。このままだと川の近くには住めなくなります。30年事業の最初の1期4年として、川底のヘドロさらい事業を始めてもらいたいです。</p>	参考	<p>ご提案の趣旨につきましては、河川の維持管理などの具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。</p>
<p>自然を大切にす。山、海、河川が私たちが生きるのに基本的に大事だと思います。河川の汚れが気になります。表面でなく川底をきれいにしてほしいです。</p>	参考	
<p>未来を創る強靱な都市づくり についての意見及びお願い ・鶴見区下末吉第二京浜国道にかかっています歩道橋の老朽化が目立ちます。一度確認及び補修をお願いしたいと思います。 ・鶴見区(上、下)末吉道地区の歩道があまりにもひどい。人気の高い横浜の歩道とは思えません。一度点検をお願いします。出来</p>	参考	<p>ご提案の趣旨は、素案の政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」の主な施策1「計画的かつ効果的な保全・更新の推進」に含まれていると考えておりますが、いただいたご意見の趣旨を踏まえながら、計画推進の参考とさせていただきます。具体的な補修等の要望については、鶴見</p>

中長期的な戦略及び38の政策（戦略6、政策34～38）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>れば舗装して頂きたいと思います。街がきれいに見えると思います。 お願いばかりで申し訳ありません。点検だけでも実施して頂ければと思います。どうぞ宜しくお願いします。</p>		<p>区内の市道に関することについては鶴見土木事務所までご連絡ください。 なお、鶴見区下末吉の第二京浜国道に架かる歩道橋につきましては、国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所の管理になりますので、ご要望を横浜国道事務所にお伝えしました。</p>
<p>公共施設に関しては、市内業者による早急な修繕が必要である。これは即効性のある市内経済の活性化対策でもある。また、改修に必要な費用の基金化を積極的に進めることにより、生命を守るために必要な資金が必要なときに動かせる仕掛けづくりがほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>公共施設の保全・更新の重要な担い手となる市内中小企業の活性化については、素案の政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」の主な施策4「公共事業の品質確保と担い手の確保・育成に向けた取組」に盛り込まれており、ご意見を踏まえながら計画を着実に推進してまいります。 また、施設の改修等については、政策38「公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新」の各施策に基づき、着実に保全・更新を行うこととしており、それぞれ適切に対応してまいります。</p>

行財政運営（行政運営）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
市民として直接の担当者の熱意や苦労はその折々に接した職員の方々からも感じましたし残念ながらの場合もありました。行政運営に当って、たとえば、①直ぐやる事とできる事、②広域に連携して協力しなければならない事とできない事、③時間をかけて過去と将来に視野をひろげて腰をすえて取り組み続ける本来的な事等々の仕分けと担当部署を整理し、政策が期待する結果を残せず計画倒れにならないように、市民に分かり易く普及啓発の徹底を実行すると同時に市民側に立ったワンストップの相談窓口の充実とを望みます。	参考	いただいたご意見を参考に、市民の視点に立った行政サービスを提供してまいります。
行政運営は、5項目の順番について「市民の視点に立った行政サービスの提供と地域との協働」と先頭にして「働き方改革都市の将来を支える職員の確保・育成」及び「時代背景を踏まえた行政運営の見直し」を末尾にすることが計画づくりとして定石であると考えます。	参考	行政運営における5項目については、順序によって優劣をつけるものではなく、全ての項目が重要な取組であると認識しております。
「行政運営」について 市の人口が減少して行く中で、職員の能力向上とコストを意識した効率的な人材配置・業務運営を期待しております。	賛同	ご意見の趣旨につきましては、素案の行政運営編に盛り込まれており、市政の基盤となる効率的・効果的な執行体制の構築に努めてまいります。
みどり税など(増税)むだ使いなどの見直し急務ではないか。	参考	横浜みどり税につきましては、緑の保全・創造に取り組むための安定的な財源として必要であると考えております。いただいたご意見につきましては、行政運営1「時代背景を踏まえた行政運営の不断の見直し」を進める上で、参考にさせていただきます。
戦略の推進の為に現在の組織等の行政改革の必要性 掲げられた戦略は、どう見ても現状の組織としくみの継続を前提に、考え出された戦略に感じられる。現在の仕組みの中の無駄・重複等を厳しく排除しないで、次々に新規の耳に優しい構想をぶち上げると、組織は肥大化し、その為の費用が成果を上回る事になる。天下り外郭団体、ハンコ行政事なかれ主義などなど。イノベーションとは、現状を根本から変えて行くことである。カメラが、アナログからデジタルに変わったように、既得権をなくす新規な発想の事業計画が無い限り、美辞麗句のみが飛び回り成果は出ない。全てを否定する気はないが災害耐性強化の視点で、見直し再構築の方が良い。 例えば、ハンコ行政を一気に止める！等という発想が有れば、膨大な書類の作成や意味の無い報告の類が、無くなり、関連の組織も簡略化される。(ここ1-2年、何故か市関連の書類が、余計に面倒になっているし、市の担当からも、そのような意見を聞く)	参考	ご意見の趣旨につきましては、素案の行政運営1「時代背景を踏まえた行政運営の不断の見直し」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、計画を着実に推進してまいります。
生活保護受給者の方たちにたいする区役所の配置人員が少なすぎる。	参考	ご提案の趣旨は、必要な体制を整備するうえでのご意見として参考にさせていただきます。
仕事改革は官僚、議員こそ必要。民間はダメな会社は自然淘汰される。	参考	しごと改革の必要性に関するご意見ととらえ、有効性や効率性等を検証し、不断に事務事業を見直してまいります。
横浜の公務員は多すぎる。労働組合が強いのも問題である。	参考	引き続き効率的・効果的な執行体制を構築してまいります。
市職員の普段の定員と配置の見直し (1)ゴミ収集等の民間委託業務の増加に対する市職員の定員配置の見直しが必要 (2)現場重点配置の推進(事務室から現場へ、大企業病対策) 具体的課題は現場にあり	参考	効率的・効果的な執行体制の構築に努めてまいります。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
市、区役所内の仕事の平準化を徹底すること。忙しい処もあるが閑な処もあります。常に部屋中を見渡し少しでも不公平があれば即移動させること。 言わなければ、何もしないのです。業務の縦割りの悪弊です。皆が我先に仕事をするという習慣をつけることが必要です。縦割りは悪の根源です。 役所の仕事を民間に任せたら今の人員は3分の1で充分です。今後の求人を考えて下さい。	参考	
「減税による経済の活性化！」 ① 制度疲労している各組織、機構、事業を廃止 ② ダ性で継続している事業の中止 ③ 聖域的に扱われている福祉にも、常識的な対費用効果の導入を ④ 行政組織、機構の簡素化、みえる化 ⑤ 以上によって経費を節減し、その分を減税にまわせ！（住民税）（特に弱者に厚く）	参考	時代背景を踏まえ、行政運営の不断の見直しを実施してまいります。

## 行財政運営（行政運営）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
【行政運営1 時代背景を踏まえた行政運営の不断の見直し】に関して正直、全体を通して具体的に何をしているのかがわかりづらいです。なんとなく成果が出ているように読み取れるので、せっかくなのでもう少しわかりやすくまとめていただけるとありがたいです。	参考	行政運営1「時代背景を踏まえた行政運営の不断の見直し」について、いただいたご意見も参考に、成果を分かりやすく伝えるよう努めてまいります。
やる気のある職員を育てるためにも、見せかけのやっている感の事業は削減し、本当に役に立つ事業に力をいれていただきますようお願いいたします。 見せかけだけの事業としてわかりやすい例は、横浜市のホームページにはホームページ読み上げ・拡大サービスがありますが、文字の拡大はソフトを入れなくても簡単にできますし、「Windows の簡単操作」機能で文字反転や一部分の拡大もできます。Windows にデフォルトで入っている機能があるのに、横浜市しか使えない、インターネットにつながっていないと使えない機能をわざわざ使う人がいるのでしょうか。それに横浜市のホームページを開くところにたどり着くためにはパソコンの操作が必要です。本当に見えない人は横浜市のホームページにたどり着くまでどのようなパソコンを操作すると考えているのでしょうか。パソコンを立ち上げた時から読み上げが始まるようにしないと、目が見えない人は横浜市のサイトにたどり着けないでしょう。結局、見えない人は横浜市のサイトでしか読み上げができないソフトは使わないし、この機能は意味がありません。障害者へ配慮しています、というポーズにしか見えません。 (厳しいことを書きましたが、横浜市の HP がすべてダメ言っているわけではありません。この計画は、通常版のほかにもルビ付きもテキストデータ版もあり、この点では横浜市はよく取り組んでいる方だと思います。)	参考	素案の行政運営1「時代背景を踏まえた行政運営の不断の見直し」に関するご意見として、参考にさせていただきます。
公的文書においてはすべて西暦を基本にして、「諸般の事情」を考慮した場合だけ和暦を併記して下さい。文章の中で和暦(リセットされる数字である)だけの表記は、わざと歴史の連続性を混乱させようとしているか、自らが主体的に未来を構築していこうという気概がないのか、としか思えません。	その他	国の動向等を踏まえつつ適切に検討を進めてまいります。
関内市役所の職員が AM10:00 にコンビニに行くのはいかがなものか。金髪、ガムをかみながらの電話対応は市民をバカにしている。	その他	市民・社会の要請に応える行政を推進するため、職員のコンプライアンス意識の浸透・徹底に取り組んでまいります。
先日、関内で下りた三人の方男性2人女性1人地下鉄の車内で女性が政策局がどうのと、男のような言葉で男性に話していました。多分市役所の方だと思います。いやな感じでした。真面目な人がこれでは損をします。人間性のない人ですよ。職場の雰囲気明るくした方がいいです。いいたい事は職場で言って、市民の耳に入らないようにして下さい。	その他	
計画素案が、総花的になるのは仕方ないが、これらは市のどこの部所が扱うのか。その部所の体制は足りるのか。	その他	素案では所管局等を記載しており、当該所管局等を中心に取組を推進します。また、本計画の重点施策を力強く推進するために効率的・効果的な執行体制を整備してまいります。
行政運営の個所でマイナンバー制度の利活用とありますが、国はマイナンバーカードの活用として民間のポイントカードのシステムも入れて使い方を考えている(いた?)ようで、カードを何枚も持たなくても済む、という考えを出しているようですが、こんなセキュリティを高くしないといけないカードをポイントカードのように店で出すのはとても危険です。危険な割にメリットはカードをたくさん持たないで済むだけです。そしてカードには個人番号カードがかかれていますのでそれを見られないようにする必要がありますが、そんなことは現実的ではありません。そのような危ないシステムでも始めるとなると、システムをそろえ、人手も要ります。セキュリティを万全にするためにコストもかかる。新しいシステムは、それを取り入れて住民がそれを覚えるという手間をかけてもよりメリットがあるのでなければ、税金をかける意味がありません。対外的に見ただけの新しいことをやっています、というスタンスだけの制度は税の無駄になるので取り入れないでいただきたいと思えます。	参考	「市民の利便性向上」と「行政事務の効率化」に向け、いただいたご意見を踏まえながら検討を進めてまいります。
ICTを活用した行政運営に関して 公式HPのリニューアルは2016年4月公開が遅れている。確実に実行して欲しい。その際、市民ファーストの使い勝手の良いものに、市民が何をしたいかを端的に受けた検索ができるよう event oriented (ex. 出産	参考	ICTを活用した効率的な行政運営と、効果的な行政サービスの実現に取り組んでまいります。いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。



行財政運営（行政運営）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
の時の諸手続きをしたい。〇〇で困っていてその件の情報と窓口を知りたい(…)なものにして欲しい。		
AI 活用による行政の一層のペーパーレス化と迅速化、公文書の西暦化。	参考	ICTを活用した効率的な行政運営と、効果的な行政サービスの実現に取り組んでまいります。いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
15 ページ 満足度のグラフの結果は質問項目を「水害対策」のような用語で質問したらどうなりますか？ 都心と郊外に分けて集計すると違う結果が出るかもしれません。図では18 区の平均値になってしまうのです。ゴミの減量などは、区による差は少ないでしょう。  生データの公開を アンケート結果の全個票を公開してほしいのです。区別の集計でもいいです。環境分野に限らず、市の持つ各種アンケートの個票の公開を進めてほしい。データのオープン化を市民アンケート結果の公表でもやってほしい。	参考	素案の行政運営2「データ及びICTを活用した行政運営の推進」には、主な取組2「データを重視した政策形成とオープンデータの整備の推進」を掲げており、今後、様々な分野におけるオープンデータを進めてまいります。 また、環境に関する市民意識調査の結果は現在、環境創造局のホームページで公開しております。
行政運営に関し、マイナンバーの利活用などにより、事務効率化を真剣に考えて欲しい。	参考	ご提案の趣旨は、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
卑近には、死亡届を出したにも関わらず、1 か月以上たってから予防接種の案内がきたり、介護保険の普通徴収切替用紙や口座振替用紙が届いたり、と無駄でしかない事例が多すぎる。		
税の祖となる「マイナンバー」を活用させもっと合理的にならないか。	参考	
相変わらず、行政の生産性が悪いと思います。行政の効率化のためにAI、IT の活用を強力に進めることを要望します。	参考	
AI、ビッグデータに期待しすぎではないか？。(4,124,132,136 ページ他) AI、ビッグデータに期待するのはわかるのですが、現在AI(AI技術)として、有名な事例は集められるデータが多い事や、うまくコンピューターの数式で表現できるような限られた事です。一例が囲碁や将棋や銀行のコールセンターの支援などです。私はプログラムを書いていたので多少わかります。現状では、研究者、技術者の数が不足しています。データの集め方、どのように数式化するか、課題が山積しているのが、現状だと考えます。 →提案 参考書籍を市の職員には、ぜひ一読していただきたい。 市職員にもビッグデータを利用するプログラムを作れる方がいると思うのです。横浜市大にはいます。 →提案 もう少し、失敗例も含め実績例を増やし、できている事、トライしたができなかった事を解る様にしてほしい。この中計に書かなくてもいいです。詳細は〇〇局のホームページを参照でいいです。	参考	データやICTを重視した政策形成、業務効率化等を進められるよう人材育成を進めてまいります。また、政策について PDCA サイクルによりしっかりと検証しながら進めてまいります。
マイナンバーは百害あって一利無しです。横浜市での積極的使用は控えて下さい。	参考	制度の趣旨等に基づき、適切に実施してまいります。
135 ページ目 長時間労働は正の取組について、職員を増やすことを検討するという記事を記載してほしいです。見直しを進めても、職員の人数が変わらなければ、労働時間はあまり短縮されないのではないのでしょうか。	参考	限られた経営資源の中で必要な施策を推進するために、徹底した事業見直しに取り組みながら必要な執行体制の整備に取り組んでまいります。
市の職員の給料について、検討が必要だ。	参考	市職員の給与に関しては、国の動向や本市人事委員会勧告を踏まえて対応してまいります。
市職員の給与水準が高すぎる。昨今データはインターネットにより、正確に知ることができる。また、実際の働き具合は日常的に見る事ができる。役所の中での働きの程度、ゴミ集めの実態等あの程度で平均700万とはおどろきである。	参考	
最終的に横浜市の GDP をあげること。これは市の税収を上げることを最終的な目的とした考えである。積極的なインフラ投資を行い、公務員の給与も上げる。考えてみてほしい。公務員たたきが始まり、公務員の給与の削減が正義であるかのように叫ばれた時と機を同じくして日本の景気は失速した。公務員は、生活の後を心配する必要がないため、お金を積極的に使う人の集まりであった。最新の消費(トレンド)が公務員の好奇心により行われていた時期もあった(余談であるが、横浜市の公務員は流行に敏感で良いものを見る目が備わっていた。良いものは価値があること、当然価格が高いことを了解していた)。公務員の給料、必要	参考	市職員の給与に関しては、国の動向や本市人事委員会勧告を踏まえて対応してまいります。また、諸団体への補助金に関しても、指針等に基づき適切に対応してまいります。

行財政運営（行政運営）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
な福祉サービスを提供している諸団体への補助金等への積極的取り組みは経済活動を活発にし、GDP を引き上げる具体的な方策の一つでもある。		
行政運営3 専門家の育成について、あまり触れられていませんが、技術系職員、(技官)のキャリアについては、ある程度長く同じ局にいて、専門性を養うような仕組みを作ってはどうか？市にも専門家がいて外注を減らせるとか、評価の精度が上がるとかの効果を期待する。	参考	執行体制や人材育成に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
どの部署も民主的な‘Bottom-up’ができていのかはなはだ疑問である。 真摯に考え判断したことを堂々と上司や職場内で発することのできる職員を長の付く立場の人たちは積極的に創造し、また保証してゆくべきである。	参考	上司、部下、同僚などのすべての関係において、育てあい、学びあう人材育成を進め、風通しのよい職場風土づくりを実現してまいります。
134 ページ目 「子育てや介護など、職員の生活の状況に合わせた柔軟な働き方を実現し、全ての職員がいきいきと働き続けることのできる環境を整備することにより、市民サービスの向上を図ります」 について、整備状況、育休の取得状況などは市民に公開してほしいです。職員が苦しい状況で働いていたとしたら、行政の処理で問題が発生しやすくなると思います。職員が働きやすい環境になっているかを市民に公開をお願いします。	参考	必要で分かりやすい情報公開に関する意見としてとらえ、引き続き市民にとって分かりやすい情報の公開を意識してまいります。なお、育休の取得状況など一部の情報については横浜市ホームページ等で公開を行っております。
【行政運営4 民間との連携強化による「共創」の推進】に関して 民間の提案や動きは、往々にして行政のセクションを超えてくるものだと思います。その時に重要になってくるのが、市の担当者の方の力量と気概だと考えています。その意味で、事業「5. 共創を担う人材育成・拡大」には大いに期待したいです。	賛同	素案の行政運営4「民間との連携強化による「共創」の推進」に関するご期待としてとらえ、いただいたご意見を踏まえつつ計画を着実に推進してまいります。
行政運営4民間との連携強化による「共創」の推進 文献によると、横浜市と福岡市が進んでいるとあり、とてもいい。	賛同	素案の行政運営4「民間との連携強化による「共創」の推進」へのご賛同としてとらえ、引き続き、着実に取組を推進してまいります。
「行政運営で市民との協働」について述べているが全く上から目線の政策で失望。	参考	いただいたご意見につきましては、市民との協働を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
【次の世代へ「横浜」をつなぐ】ために、経験豊富で専門的知識を持つ高齢・超高齢側と未経験で新しい技術や発想で未来を担う側との双方交流・意見交換・教え合いの場と時間が欠かせません。そのための仕組みこそ、市民意識の多様化、生活の個別化等今までに見られなかった事象に起因する現状の課題解決に必要と考えます。また、行政側と一般市民との対話を活性化させることから、今後何が必要で、予算等の関係からどれだけ十分とするか、未来へのツケを残さず実質を「つなぐ」要件をみんなで話し合い協力していくことが求められていると思います。	参考	社会課題・地域課題の解決や地域活性化を図るためには、様々な主体との共創・協働の取組が重要と考えております。いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。
「民間との連携強化による共創の推進」が書かれていますが、なぜ企業と取り組むことをこれほどまでに推進や育成をする必要があるのでしょうか。 民間企業だからと言って、なんでも解決できるという幻想を抱いているようにこの文面からは見えてしまいます。 未来に向けて、職員の人材育成をきちんと行っていただきたいと願います。 なお、「市の将来を支える 職員の確保・育成」は良いと思います。 民間事業者と組んで事業者が事業を行っても、その事業者が撤退したらそこで培ってきた経験は横浜市の職員に残りません。 きちんと将来に役立てる良い人材を(単に公務員が安定しているから市役所に就職したいという人ではなく)、計画的に採用していただくよう、ぜひともお願いいたします。	参考	社会課題等の解決に向けて最適な手法を検討すると共に、「横浜市人材育成ビジョン」に基づき、全ての職員が意欲と能力を十分に発揮できるよう、人材育成を推進してまいります。
【行政運営5 市民の視点に立った行政サービスの提供と地域との協働】に関して 行政運営4と同じく、市の担当者の方がキーになると思うので、事業「1. 協働を進める庁内の環境づくり」の研修には期待したいです。実際に地域に足を運ぶぐらいまでのことは基本としてもらいたいです。	賛同	概ね連合町内会ごとに各地区の担当となった区役所職員が、地域の会合・行事などに参加して、日常的に地域と区役所をつないでおります。 素案の行政運営5「市民の視点に立った行政サービスの提供と地域との協働」に関するご期待としてとらえ、いただいたご意見を踏まえつつ着実に推進してまいります。

行財政運営（行政運営）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
行政運営5市民視点～地域との協働 市パスポートセンター、県から市への移譲はとて素晴らしい。	賛同	市パスポートセンターの設置へのご賛同として捉え、計画通りの設置に向け準備を進めてまいります。
【中期計画策定の「ねらい」の文にある『一層深化・進化』の方向性】が問題と思います。担当の所管局がいくつも書かれているのが殆どの施策である点について、主導権・責任の所在によっては、会議や連絡調整の方法・予算配分などに問題が生じたり、時間や経費の無駄がないか等々、議会のチェックはありますが役所内部システムとしても効率よくチェック機能が働くようなシステムにしていく方向性を望みます。	参考	いただいたご意見を参考に、効率的・効果的な施策の実現に向け、必要性・有効性・効率性等の視点による事業評価を踏まえ、徹底した事務事業の見直し・改善に取り組んでまいります。
市民サービスの向上について さまざまな政策提起の中で‘地域コミュニティ’、‘市民力’、‘市民との協働’などが挙げられている。システムや環境づくりはそれぞれに必要なし、否定するものではないが、一番市政として求められるのは市政に携わる者全員が、‘公僕’の精神を忘れず、常に市民の方を向いて仕事をすることである。	参考	いただいたご意見を参考に、親切・丁寧な行政サービスを、引き続き提供してまいります。
市民の視点に立つサービスとは、第一に職員は朝会つたら挨拶が出来る人を採用してもらいたい。提案をしても、その事を提案者に何も相談せず実行してしまう。仕事の進め方、対応の仕方が全く0。教育をしてもらいたい！！	参考	
行政運営 市民の視点に立った行政サービス 今のままで十分です。非常に便利でサラリーマンですが助かっています。これ以上のサービスは不要です。	参考	ご意見として今後の参考にさせていただきます。
金沢区に住んでいます。区役所はきれいになりましたが、機能と温かさを感じません。	参考	
公僕意識のある職員は何人か。他市と比較すること必要である。	参考	
市役所が移転するとき議員の図書館を充実して、市民も気楽に利用できるように要望する。	参考	
行政運営「市民の視点に立って・・・」 市職員は、自己中心の行動、市民には次にする。原発事故の小学生に対するいじめ。職員はことなかれ主義。市長は職員全員に直接、市民に『寄り添った行動』をするようくり返し話しかけよ。	その他	誰もが安心して住み続けられる地域社会を実現するため、市民の視点に立った行政サービスを親切・丁寧に提供してまいります。

## 行財政運営（財政運営）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>財政に関する意見 人口減少に備え財政規律に更に踏み込んでほしい</p>	賛同	<p>本計画では、「施策の推進」と「財政の健全性の維持」の両立を図り、多様化・複雑化する課題に的確に対応していく持続可能な財政運営を進めることとしております。</p> <p>財政運営1では、「横浜方式のプライマリーバランスの均衡確保」と「一般会計が対応する借入金残高の管理」の2つの財政目標を掲げ、将来世代に過度な負担を先送りしないよう、財政の健全性を維持してまいります。</p> <p>あわせて、本市将来人口推計などから、中・長期的な財政見通しや財政指標の見込みを作成・公表しており、引き続き、中・長期的な視点を持った財政運営を進めてまいります。</p>
<p>「財政運営」について；財務内容の実態が示されていないが、未来にツケを残さないと決意し健全財政を実現しなければならない。 ”「施策の推進と財政の健全性の維持の両立」といった瞬間に”財政健全化はほどほどに”と腰が砕けていることが問題だと考えていないということ自体が問題。</p>	参考	<p>本計画では、多様化・複雑化する課題に的確に対応しつつ、持続可能な財政運営を進める必要があることから、財政運営の方針として、「施策の推進」と「財政の健全性の維持」の両立を掲げております。</p> <p>ご意見の趣旨につきましては、財政運営1「計画的な市債活用による一般会計が対応する借入金残高の管理」に含まれていると考えております。</p> <p>「横浜方式のプライマリーバランスの均衡確保」と「一般会計が対応する借入金残高の管理」の2つの財政目標を掲げ、将来世代に過度な負担を先送りしないよう、財政の健全性を維持してまいります。</p>
<p>超高齢化社会に向け、借金を次世代に残すことなきよう、細心の管理を願いたい。地方公共団体として、国の政策とは一線を画し、経済成長へ過度の軸足を移すことなきように、市の外郭団体の債務にも適切な管理を切に要望いたします。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨は、素案の財政運営1「計画的な市債活用による一般会計が対応する借入金残高の管理」に含まれていると考えます。引き続き、将来世代に過度な負担を先送りしないよう、一般会計が対応する借入金残高を適切に管理し、「施策の推進」と「財政の健全性の維持」の両立を図ってまいります。</p>
<p>結構な“スローガン”を掲げていますが、財源はどうなるのですか？環境とかエコとかミドリといった名をかりて新しい負担(税を含む)を求められることには反対です。市民税などで市民としての義務は十分果たしています。</p>	参考	<p>引き続き、不断の行財政改革等による経費縮減・財源確保等の徹底、多様な公民連携の検討・導入などに取り組み、必要な施策を進めてまいります。</p> <p>なお、横浜みどり税については、緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは重要な課題であり、緑は一度失われると取り戻すことが困難であることから、緑を守り、つくり、育む取組を進める「横浜みどりアップ計画」の財源としてご負担をお願いしているものです。31～35年度の5年間について、課税期間を延長する条例改正案を市会に提出しました。ご理解のほど、よろしく願います。</p>
<p>何を行うにも資金が必要になります。その確保方法を考えなければなりません。高齢者で後継ぎが無く、財産をどうするか困っている人がかなりいる筈です。名前は言えませんが私も知っていますが、その人は犬が好きなのでその関係に「4 年計画ファンド」を作り上記のような人から資金を集めてはどうでしょう。</p>	参考	<p>本市では、横浜を愛する皆様や横浜市の取組にご賛同いただける皆様のお気持ちを「横浜サポーターズ寄附金」として、市民活動や社会福祉、環境保全など寄附金の使い道に応じて22の寄附メニューにより広く受け付けております。</p> <p>厳しい財政状況の中にあっても、着実な計画の推進に向け、経費縮減や財源確保を徹底するとともに、多様な公民連携手法や民間資金活用を積極的に検討し、適切に選択・導入することにより、施策・事業を着実かつ、より効率的・効果的に推進してまいります。</p>
<p>赤字と言われる市債の返還については、毎年返還が続けられれば良いのであって、返還が続けられる状態であれば、市債が増えていくこと自体に問題はないと思う。一方で市債の引受手があるかどうかの問題はある、つまり、横浜が出資しようとする者にとって魅力と可能性があるかという事の問題である。この計画期間中にどれだけ横浜の魅力を発信できるか、それを魅力と認めもらえるかが今後の横浜の方向性を占うことになるのではないかと？ 支出を抑える施策だけでは経済活動が活発にならないという事は、20年近く経験学習したので、そろそろ違う方向を、それを東京ではなく、横浜がやるところに意味があると思う。横浜は間違いなく日本のシンガポール(人・物・情報・技術・お金の集積地)になる力を秘めている。</p>	参考	<p>市債については、将来世代に過度な負担を先送りしないよう、世代間負担の公平性の観点から、中長期的な視点を持って活用していくことが重要です。本計画で掲げている「横浜方式のプライマリーバランスの均衡確保」と「一般会計が対応する借入金残高の管理」という2つの財政目標を堅持しながら、横浜の成長・発展に向けた投資や公共施設の保全・更新への本格的な対応のため、計画的に市債を活用してまいります。</p> <p>横浜の魅力を発信し、都市の持続的な成長・発展を実現するために、本計画を着実に推進してまいります。</p>

行財政運営（財政運営）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>疑問であったのは、なぜ、行政が黒字にならないといけないのかという事。そもそも、儲からず、企業が手を出さないものに行政に係るのが役所の機能。その意味では事業による高い収入が求められない仕組みのほうで、黒字化するという事は考えられない性格のもの。また、もし黒字化により、私たちの納める税金が残ったという事になれば、当然その残りは納税者に帰すべき性格のものである。正しくは、黒字にならないよう必要とところに適正に配分し、市民生活の安定向上に使用するものとする。</p>	参考	<p>今後本市においても、人口減少に転じ、高齢化率も上昇するなどの社会環境により、市税収入の増加を上回る社会保障経費の増加が見込まれ、財政運営において一層厳しさが増すことが見込まれます。</p> <p>計画期間中の財政見通しでは、▲1,290億円の収支不足を見込んでおりますが、「不断の行財政改革等による経費縮減・財源確保等の徹底」、「多様な公民連携手法・民間資金活用の検討・導入」、「施策の選択と集中や事業の平準化」などにより毎年度の予算編成で収支不足額を確実に解消しつつ、子育て、福祉・医療、教育、市内中小企業支援、防災・減災対策、道路・港湾といった基盤整備など、市民生活の安全・安心確保や市内経済を支える取組を着実に進めてまいります。</p>
<p>財政運営については「効果的な財政運営の推進」と「財政運営の透明性の確保・向上」をまず据えて、他の3点を続けるべきではないでしょうか。</p>	参考	<p>財政運営における5項目については、順序によって優劣をつけるものではなく、全ての項目が重要な取組であると認識しております。</p>
<p>財政改革も、統一された一本の基幹戦略からの視点で見直せば、一つの明確且つ具体化した方向性を持って取り組めると考えますが、如何でしょうか？</p>	参考	<p>本市では、「施策の推進」と「財政の健全性の維持」の両立を図り、多様化・複雑化する課題に的確に対応していく持続可能な財政運営に取り組んでおります。</p>
<p>効率的財政運営では、よく年末になると道路工事が増えますが、あれは建てた予算を使い切らないと翌年ももらえないというためにムダに使っているとしか思えません。家庭でなら予算以内に出来たら”エライ”と褒められます。どうして大切な税金を“ムダ使い”するのですか？それとも年中掘り返さなければならない様な手抜き工事をしているのですか？</p>	参考	<p>予算編成期だけでなく、事業予算執行段階においても、より一層の経費節減や歳入確保に取り組むことで、効率的・効果的な予算執行に努めております。</p> <p>さらに、常に事業の有効性や効率性等を検証し、不断に事務事業を見直すことで、厳しい財政状況の中でも、子育て、福祉・医療、教育、市内中小企業支援、防災・減災対策、道路・港湾といった基盤整備など、市民生活の安全・安心確保や市内経済を支える取組を着実に進めております。</p> <p>公共工事の発注・施工時期については、平準化を推進しておりますが、契約期間末に現場での施工が多くなる傾向があり、年度末までを契約期間とする工事が多いことから、結果的にご指摘の状況が生じている事実はございます。しかしながら、市民の皆様からは公共施設に関する多くのご要望や事業中箇所への早期の供用へのご期待をいただく中、予算の範囲内で最大限対応すべく、優先順位をつけながら整備を行っております。</p>
<p>財源の確保についても、中華街などでは食事をして支払時レジを打たなかったりしてレシートを出さない店も多く、ちゃんと税金を払っているのか疑いたくなります。しっかり見張って公平にとって下さい。</p>	参考	<p>市税については、今後も公平かつ適正な賦課徴収を行ってまいります。</p>
<p>市債の発行 とても難しいところだとは思いますが、市債の発行増加で対応しても良いと考えます。2018年6月現在、日本は低金利です。短い償還期間の市債を低利で発行する。先例は東京都グリーンボンドです。187ページには、～ソーシャル・インパクト・ボンドを導入～とあります。私の考えに近いと考えます。</p>	参考	<p>市債の発行にあたっては、いかなる金融情勢下においても、皆様から信頼され、「投資家に選ばれる横浜市債」として、安定的かつ有利な条件での発行を目指して取り組んでおります。</p> <p>引き続き、現下の金融環境を生かした取組を続けてまいります。</p>
<p>課税されている税金は全額納税されているのか？むやみに欠損を出しているのはよくない。まじめに払っている市民がリカを見る。なぜ、全額納税できるように制度設計をしないのか。納税できない人物は、住民票取得等など便益を受ける時に、増額して回収する様にしてはどうか？氏名を公表するとか etc. 正直者がリカを見るようなことはやめろ！！</p>	参考	<p>市税は本市の事業や施策の推進のための重要な財源として市民の皆様から納税いただいております。市税収納率は29年度には99.2%となっております。</p> <p>市税の不納欠損には、滞納処分の執行停止を行い3年が経過したものや徴収することができないことが明らかな場合で直ちに納税義務を消滅させたものなどがありますが、いずれの場合も十分な財産調査を行い、納税資力を確認し法に従って適正に執行しております。</p> <p>また、市税の滞納については、地方税法など関係法令に従って、差押えなどの滞納処分により徴収することとされております。</p> <p>引き続き、他の納税者との公平性を損なわないよう、市税の適正な賦課徴収に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p>

行財政運営（財政運営）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
諸税、他市比較、横浜本当に高い。	参考	<p>市町村が課税する市町村税は、地方税法において標準的な税率などの課税要件が定められており、原則として、市町村によって異なるものではありません。</p> <p>しかしながら、本市では、独自の政策として「横浜みどり税」を導入し、個人の納税義務者一人あたり年間900円、法人の年間均等割額の9%相当額を市民税に上乗せしてご負担いただいております。これは、市町村独自の政策として、地方税法で定める標準的な税率を超えた課税を行うことを条例で定めることができることによるものです。</p> <p>横浜市は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に緑の環境を有しております。緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは重要な課題であり、また、緑は一度失われると取り戻すことが困難です。このため、緑を守り、つくり、育む取組を進める「横浜みどりアップ計画」の重要な財源とするため、市民の皆様へ「横浜みどり税」のご負担をお願いしているものです。</p>
市民の日常生活の身近なところに、お金を継続してもっと使うべきである。 今ある施設をもっと有効に活用できないか？料金を下げるとかで利用率を上げるとかといった取り組み（工夫）してほしい。	参考	<p>市民の皆様へ納めていただいている税金により、子育て、福祉・医療、教育、市内中小企業支援、防災・減災対策、道路・港湾といった基盤整備など、市民生活の安全・安心確保や市内経済を支える取組を着実に進めております。</p> <p>ご意見の趣旨は、素案の財政運営3「保有資産の適正管理・戦略的活用」の主な取組3「公共建築物のマネジメントの推進～施設の多目的化や複合化等の将来を見据えた取組～」、主な取組4「市民利用施設の効率的な運営と受益者負担の適正化」に盛り込まれており、計画を着実に推進してまいります。</p>
南区庁舎跡地に区民のための施設を作ってください。	参考	旧南区総合庁舎跡地については、地域の皆様からいただいた意見などを踏まえ、民間事業者との対話を実施した結果、民間活用による事業の実施可能性が確認できたことから、公募売却による土地活用を行います。
南区役所のあと地は市民のために	参考	
南区役所の跡地に例えば、保育園や老人施設を作ってください。	参考	
南区庁舎跡地に区民のための施設を作ってください。	参考	
南区役所の跡地は公開空地にして！	参考	
具体的な税の増収計画が不明確。財源の確保は政策の実現のためには欠くことのできない裏付けとなるものだから。	参考	<p>個々の政策効果による税収効果を積み上げ、市税収入全体の見通しに反映することは難しいというのが実状ですが、市街地開発や企業誘致の施策を進める上では、政策効果としての税収見込みを試算し、公表しております。引き続き、市民の皆様へ市税の使いみちや政策効果をわかりやすく発信していけるよう取り組んでまいります。</p> <p>なお、本計画では、計画期間中の「主な施策（事業）」の概算見込額と財政見通しを作成しており、市税収入は30年度収入見込額をもとに、過去の実績、税制改正や今後の経済動向などを踏まえることとし、国の経済成長を勘案して試算しております。</p>
<p>財政運営4効率的な財政運営の推進</p> <p>この中計に書かれている様々な施策・事業を行っても、税収があまり伸びていかない</p> <p>原因、背景を分析説明してほしい。市のGDPは確実に上がり、土地価格も上がり、税収も増えると思うのですが、国税と地方税の分担が良くないからでしょうか。</p>	参考	<p>市税収入の見込みは、国の「中長期の経済財政に関する試算」（内閣府、30年1月）における、経済が足元の潜在成長率並みで推移する場合の経済成長（ベースラインケース）や横浜市将来人口推計（29年12月公表）のほか、雇用環境の改善傾向、企業収益の拡大傾向なども踏まえて見込んでおります。</p> <p>土地価格の上昇については、33年度評価替えて増収を見込んでおりますが、同時に家屋分は経年減価を考慮する評価替えて減収が見込まれるほか、法人市民税のさらなる一部国税化（28年度税制改正による税率の引下げ。32年度から影響）という減収要因もあります。</p> <p>国・地方間の税源配分については、真の分権型社会の実現のため国税からの税源移譲を行い、国・地方間の税の配分をまずは5:5とし、さらに、国と地方の役割分担を抜本的に見直した上で、その新たな役割分担に応じた税の配分となるよう、地方税の配分割合を高めていくことなど財源の拡充について指定都市市長会を通じて国に要望するなどしております。</p>

行財政運営（財政運営）

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>耳ざわりの良いわかりにくい文言が並んだ予算案ですが、具体的なイメージが浮かんでこないものになっています。浮かんでは困るのかもしれませんが。</p> <p>たまたま私の場合は、比較できる自治体がありましたので、他と比べいかに教育と福祉にお金をかけない予算案かがわかりますが、比較の対象をもたない人にとってはわかりにくいものです。</p> <p>政治は身近な言葉で、誰でもがわかるよう説明されるべきです。</p> <p>市民や子どもたちの立場に立って考えられた予算案とは思えませんので、もっと市民の声に立って立案していただきたいと要望します。</p>	<p>参考</p>	<p>本計画の策定に向け、パブリックコメントを実施しているほか、日頃の行政運営においても、広聴や市民意識調査をはじめ、市民の皆様の声を施策や事業に反映させるよう努めております。</p> <p>そのうえで、市民の皆様に納めていただいている税金により、子育て、福祉・医療、教育、市内中小企業支援、防災・減災対策、道路・港湾といった基盤整備など、市民生活の安全・安心確保や市内経済を支える取組を着実に進めております。</p> <p>素案の財政運営5「財政運営の透明性の確保・向上」主な取組2「わかりやすく、利活用しやすい財政情報の「見える化」の推進」に関するご意見として、参考にさせていただき、引き続き、わかりやすい財政情報の提供に向けて、取り組んでまいります。</p>

## 大都市制度

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>真の地方分権の実現 市がより市民に身近な地方政府として活躍できる制度の実現が必要と思います。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨につきましては、素案の「Ⅵ 大都市制度」に盛り込まれており、新たな大都市制度「特別自治市」の実現に向けて取り組んでまいります。</p>
<p>他自治体との広域連携について 市の方向性を実現させるために、他の自治体からの共感が得られる施策についての取り組みが必要ではないでしょうか。杞憂であればよいのですが、特に友好交流自治体への対応が、相互主義とは言えない状況であると心配しています。山梨県道志村、群馬県昭和村ともに市民生活に関わり、歴史のある、草の根レベルの交流を続けていますが、横浜市民だけが優遇され、それぞれの村民に目が向けられているとは思えません。小中学生への教育的な視点や観光や産業支援など政策的な対応は実施していますが、上から目線での事業に過ぎません。体力が違いすぎて、予算額だけの比較をしても意味がありませんが、厳しい財政状況の中で対応してくれている先方への思いやりと真心が足りず、イベント事業となっていないですか。折りにつけ、市長、職員等が訪問するなどの対応はされていますか。関係が長期になる程、村民がどう思っているか、どう思うか慮ることも必要です。 特別自治市などと言っても、いずれの県の存在を超えて、血の通った横浜市こそ適任だと外からも評価していただけることが要諦の一であり、まず隗から始めることです。 行政計画なりの言い回しで結構ですので、一抹の言及を要望いたします</p>	参考	<p>山梨県道志村・群馬県昭和村とは、今後も村民と市民が相互に活発な交流を進め、持続的な友好交流が行われるよう取組を進めるとともに、他自治体とも広域的な連携を推進してまいります。 また、本市は「特別自治市」の早期実現に向けて取り組んでおりますが、県や近隣市町村の理解と協力が大変重要と考えております。 素案の「Ⅵ 大都市制度」に関するご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>大都市制度 「横浜県を作るのがいいと考えます。」</p>	参考	<p>素案の「Ⅵ 大都市制度」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>計画にもある通り、横浜市は現在、特別自治市の実現に向けて取り組まれています。横浜市を特別自治市にする利点として、二重行政の解消による行政サービスの向上と積極的な政策展開による経済の活性化が挙げられています。(中期4カ年計画(素案)の156ページ) この点に関して、団体自治の視点が重視されており、住民自治の視点が抜けていると思うのですが、どうお考えでしょうか</p>	参考	<p>本市が目指す「特別自治市」では、「区役所機能・住民自治を強化する」とこととしており、素案の冊子の157ページに記載しております。 素案の「Ⅵ 大都市制度」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>素案 156 頁で大都市制度「特別自治市」の実現が必要としています。反対です。二重行政により県の事務の一部を担うことで発生する負担金を解消できるとしていますが、その内訳が説明されていません。負担金がなくなる代わりに新たな事務処理費用が発生すると考えますがプラスマイナスで内訳を説明すべきです。又、市が担って来た事務を県に返すことで、他の市町に負担を転嫁する事になると考えます。 特別自治市大綱の中で、身近な行政サービスを充実させるとともに、成長分野に迅速な投資を行うとしています。この文言は市民向けのリーフレットでは触れられておりません。大都市を取り巻く環境変化として人口減少・少子高齢化の進行・公共施設の老朽化を喰いながら相も変わらず大型開発に予算が集中しています。特別自治市になれば今まで以上に成長と活力を生み出すためと称して、観光、芸術施設の整備、都心部の再編にのめり込むことが予想されます。 アジア諸国と競争して港湾を整備するのは国の仕事であり、市が市民の税金を使ってやることはありません。我が国の国際競争力が低迷しているからと言って横浜市が我が国の経済をけん引していく責務があるとしていますが論理のこじつけです。外に向かって背伸びするのではなく、市民一人一人が安心して安全に暮らせる街を作ってください。 平成 27 年に都市計画の線引きの権限が県から移譲されましたが、其の途端に「開発を考えられる地区」との無謀な理由で、貴重な緑を潰し、人口減少が既に進んでいる港南区と栄区に跨る上郷猿田地区の開発を進めようとしています。この事例を見るだけでも特別自治市になった場合の市の暴走が危惧されます。中期計画から大都市制度に関する部分は削除してください。</p>	参考	<p>本市は、二重行政や不十分な税制上の措置などの課題を解消することで、市民の皆様の暮らしをしっかりと支え、経済を活性化していくために、新たな大都市制度「特別自治市」の早期実現に向けて取り組んでおります。 「特別自治市」では、現在県が横浜域で実施している事務と基礎自治体として本市が実施している事務を一元的に担います。また、本市の役割・仕事量に見合った公平な税制とするために、市域内の地方税すべてを特別自治市の税金とするなど、市域内のことが市で完結する効率的・効果的な制度です。 素案の「Ⅵ 大都市制度」に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>



いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>《先進的な公民連携の取組(P.111)》について 公共空間(公園・道路・港湾緑地等)の活用の中で、掲載されている事例写真ですが、公園名の記載はできないでしょうか？</p> <p>●修正例1 大通り公園では、「アート体験」など、～を社会実験で行っています。</p> <p>●修正例2 公園で「アート体験」など、～を社会実験で行っています。(大通り公園) ⇒意見の理由 読む人が、取組の内容をネットで検索等をする際に、参照しやすくなるため。</p>	<p>その他</p>	<p>公共空間(公園・道路・港湾緑地等)の活用については、特定の場所に限った検討ではなく、様々な公共空間における検討を進めていく必要があります。</p> <p>事例写真については、一例を紹介するために掲載したものであり、特定の公園のみでの実施という誤解を招かないよう、あえて公園名の記載をしておりません。</p>
<p>今回提示いただいた「中期4か年計画」素案 P.112「コラム:I ○ TOP 横浜、LP. 横浜の取組～イノベーションを創出するプラットフォーム」について、本文10～11行目「さらに、新たな技術の活用やサービス開発による社会課題の解決にも取り組みます。」を、以下の通り修正されることを提案いたします。</p> <p>「さらに、新たな科学技術の活用やサービス開発による社会課題の解決にも取り組みます。」</p>	<p>修正</p>	<p>ご意見の趣旨も踏まえ、より分かりやすい表現に修正しました。</p>
<p>横浜ノースドックの早期返還交渉を早急にしてください。先日のオスプレイの飛行は危険極まりないことです。</p>	<p>参考</p>	<p>素案の冊子において、「～市内米軍施設の返還と跡地利用の推進～」のコラムを掲載しております。瑞穂ふ頭/横浜ノースドックをはじめ市内米軍施設及び区域の全面返還を、引き続き国に働きかけてまいります。</p>
<p>検討すべき事は横浜港の中央の瑞穂埠頭に居座る米軍です。この基地はベトナムに攻め込む為に使われました。平和な横浜に最も相応しくありません。米軍から返却させ、客船の着ターミナルとする計画を、4か年計画に含めるべきことです。</p>	<p>参考</p>	<p>素案の冊子において、「～市内米軍施設の返還と跡地利用の推進～」のコラムを掲載しております。瑞穂ふ頭/横浜ノースドックをはじめ市内米軍施設及び区域の全面返還を、引き続き国に働きかけてまいります。</p>
<p>臨海部の都市整備は非常に重要だと思いますが、「ノースドック」の早期返還がポイントだと思います。港町横浜の顔の部分に米国の軍事基地があるのは不思議です。</p>	<p>参考</p>	<p>素案の冊子において、「～市内米軍施設の返還と跡地利用の推進～」のコラムを掲載しております。瑞穂ふ頭/横浜ノースドックをはじめ市内米軍施設及び区域の全面返還を、引き続き国に働きかけてまいります。</p>
<p>根岸米軍住宅跡地の全市民的な立場からの利用方法の検討を早急に考えるべき。現在の「森林公園」のいっそうの拡大や「みどり税」の関係からも自然環境の保全是重要。地権者や学識経験者・国県市の関係機関・市民代表・議会などを構成メンバーにした「跡地利用検討委員会」(仮称)などにより基本計画、実施計画などの作成が急がれる。</p>	<p>参考</p>	<p>米軍根岸住宅地区の跡地利用計画については、平成18年に学識経験者等を委員とする委員会からの提言を受け、その後行った市民意見募集でのご意見を参考に「米軍施設返還跡地利用指針」を策定しております。</p> <p>この指針を踏まえ、地権者が考える「まちづくり基本計画(協議会案)」が平成29年度にまとめられ、国や市に提出されました。今後は市としての跡地利用を地権者の方々とまとめ、適切な時期に皆様にご意見を伺えるよう取り組んでまいります。</p>
<p>平和維持について 横浜市内の上空を飛ぶ米軍機は、日本国の航空法を守るようにさせる。東アジアの平和の取組みに合せ、米軍飛行機、空母など縮小を働きかける。</p>	<p>その他</p>	<p>空母の配備や米軍機の飛行などが国の安全保障に関することは国の専管事項ですが、本市は米軍機に関する飛行時の安全確保、低空飛行の禁止、夜間飛行の禁止、騒音軽減、飛行経路の情報提供などについて、これまでも神奈川県及び基地関係市・厚木基地周辺市とともに国や米軍に対する要請を重ねており、市民の皆様からいただいたご意見についても、神奈川県を通じて国や米軍に伝える取組を行っております。</p> <p>なお、空母艦載機については、平成30年3月30日に厚木飛行場から岩国飛行場に部隊の移駐が完了しております。</p>
<p>今年度から始まる中期計画が未だ市議会の審議に入っていない。遅すぎます。(一般では考えられないこと)前倒審議を検討下さい。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の策定にあたっては、市民の皆様からご意見を伺うとともに、議会で議論していただく時間を十分に確保するため、原案の策定を9月としております。いただいたご意見は、今後の策定の参考にさせていただきます。</p>
<p>今ごろ中期4か年計画(2018-2021)、既に2018年6月ですよ。昨年中に作成するものです。遅すぎます。現状は計画なしで動いているのですか。それなら計画はいらないのでは・・・。</p>	<p>参考</p>	<p>計画の策定にあたっては、市民の皆様からご意見を伺うとともに、議会で議論していただく時間を十分に確保するため、原案の策定を9月としております。いただいたご意見は、今後の策定の参考にさせていただきます。</p>
<p>「広報よこはま」特別号を拝見した。これを見る限り、もっともらしい「官僚の作文」という感じがする。 美辞麗句は並んでいるが、具体的なことは全く見えてこない。計画ができなくても、中途半端でもいいわけができる書きぶりである。 それ以上に危惧するのは、一見、反対しようのない事項を列挙し、市民のコンセンサスを得たとして、都合の良い施策をおこなっていくことである。</p>	<p>参考</p>	<p>「広報よこはま」特別号は、素案の概要版であり、具体的な記載はしていませんが、素案では計画期間の4年間で重点的に推進すべき政策を「38の政策」にとりまとめ、取組の成果を分かりやすく示すため、指標を設定しております。また、中長期的な戦略、38の政策、行財政運営のそれぞれのPDCAサイクルによりしっかりと検証を行いながら、計画を着実に推進してまいります。</p> <p>ご意見は、今後の計画の広報にあたって参考とさせていただきます。</p>
<p>素案作りの過程; アンケート調査をなされたようだが、行政が誘導するような市民対象のアンケートは無意味。</p>	<p>参考</p>	<p>30年1月に計画策定の考え方や骨子をまとめた「新たな中期計画の基本的方向」を公表して以来、市民アンケート、市民意見募集、</p>

その他

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
都市計画の専門家を動員して斬新なプランを作る努力が必要。即ち以下の意見も素人の無意味なつづやきに過ぎない。		有識者ヒアリングを実施し、多くの方々からいただいた貴重なご意見を踏まえ、素案を取りまとめました。パブリックコメントによる皆様のご意見を参考にしながら原案を策定してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
「パブコメ」はアライバイ作りであっては困る。提出者と個々に話し合う位の積極性が欲しい。	参考	パブリックコメントによる皆様のご意見を参考にしながら、原案を策定してまいります。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
P162 の有識者の意見(メンバーはほとんど理系の大学教授で片寄っている)。もっと異分野の理工系・スポーツ・芸術・実業界・外国人等の実践者異分野の鋭い新しいアドバイス・指導の声を聞くべきと考えます。	参考	有識者の人選に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
有識者の意見 この人選に加え、30代前半の研究者を加えてほしい。できれば、AIの研究者。	参考	
書簡の管理もしっかりお願いします。	その他	パブリックコメントの実施にあたりご提出いただいた書簡は、「横浜市個人情報保護に関する条例」の規定に従い適正に管理いたします。
「パブリックコメント」という英語を使わず、日本語でお願いします。わからない方もいるはずです。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。なお、計画の策定・推進にあたっては、ご意見の趣旨を踏まえ、分かりやすい表現に努めてまいります。
パブリックコメントとは、何でしょうか？文章・会話は、相手に分かり易く伝える事が肝要です。日本語で標記できるのは、日本語で！！計画も大事ですが、如何に実践して行くか。「横浜が日本を変える」位の気概を持ち、前例が無ければ横浜が前例を作る。費用対効果を含め、将来の市民の為に成る事業を進めてください。	参考	計画の策定・推進にあたっては、ご意見の趣旨を踏まえ、分かりやすい表現に努めてまいります。いただいたご意見も参考に、将来に向け、横浜をさらに飛躍させるために、取組を進めてまいります。
・プライマリー・イノベーション・ガーデンネットワーク等カタカナ表記をやめてほしい。 ・SDGS も何だかわかりません。	参考	計画の策定・推進にあたっては、ご意見の趣旨を踏まえ、注釈を加えるなど、分かりやすい表現に努めてまいります。
紙面の制約があるとは存じますが、具体的な行動指針の記載がなく、何をどのくらいまでやるのか不明と思われれます。	参考	素案冊子には各政策の目標や方向性、現状と課題、政策の成果を示す指標、主な施策を掲載しております。いただいたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。
ヨコハマという都市ブランドに特化したお役人のお役人によるお役人の為の計画でしかなく、本当に市民のことを考えている計画ではないと思います。計画は書いてあることはご立派ですが、中身がスカスカで、市民の本当の希望であったり要望が何一つ組み込まれていないと感じます。その割には市民、県民税は高いし、一体何にこのお金は使われているのでしょうか？市議さん達のおこづかいではありません。もっと市民の声を心から聴いて計画して下さい。	参考	本計画の策定に向け、パブリックコメントを実施しているほか、日頃の行政運営においても、広聴や市民意識調査をはじめ、市民の皆様の声や施策や事業に反映させるよう努めております。そのうえで、市民の皆様様に納めていただいている税金により、子育て、福祉・医療、教育、市内中小企業支援、防災・減災対策、道路・港湾といった基盤整備など、市民生活の安全・安心確保や市内経済を支える取組を着実に進めております。
他の地域へ「ふるさと納税」されないように、明確な使途目的などを提唱した財源確保に真剣に取り組んでいただきたい。納税者の意見が反映されるシステム構築を期待します。	参考	ふるさと納税については、「横浜サポーターズ寄附金」として募集しており、寄附金の使途を22メニューから選択可能です。より多くの方に横浜を応援して頂けるよう、今後も取組の充実等に努めてまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
財政運営 住民税が「受益者負担」にならなくなっている「ふるさと納税」のしくみについて、その改善を国に働き掛けたほうが良い。	参考	地方自治体として、ふるさと納税制度の趣旨や法制度など国が定める枠組みの範囲内で、工夫を重ねながら行政運営を行っております。
この「ふるさと納税」なる悪法は問題点がわかっていながら改善しないのは、多分に政治的要素が大きいので「ふるさと納税」を推進したい有力議員が政府中枢にいる限り続きそうです。だからここで対抗策を提案しているのです。100%還付でなく90%還付に落とすだけで、返礼品目的の人は「ふるさと納税」なんかしなくなります。政治的要素で行われている「ふるさと納税」なので、横浜市だけがいらまれないよう周辺の都市部自治体と連携する必要があります。都市部共通の問題なので連携できるはずです。	参考	なお、ふるさと納税制度は、返礼品に注目が集まっているなど課題もあることから、本来の趣旨に沿った制度運用となるよう、指定都市市長会を通じて国に要望するなどしております。
市民税は住んでいる町で納めるのが義務で、「返礼」目的で故郷(おかし)納税するのは「寄付」行為であり税法上では扱いが矛盾している。	参考	
・ふるさと納税により市税が流出しているはずですが、これをどうやって食い止めるのか何もしられていないようです。これを食い止めず	参考	地方自治体として、ふるさと納税制度の趣旨や法制度など国が定める枠組みの範囲内で、工夫を重ねながら行政運営を行っており

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>に緑の保全税等でまじめに市税を納めている人にさらに税を課するのは方向が間違っています。</p> <p>私のアイデアは市税を払っていない人に対しての行政サービスをやめる、ということです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市税を払っていない人の水道料金を上げる、もしくは市税を払っている割合に応じて水道料金を変える。</li> <li>・地下鉄や市バスの料金を上げた上で、マイナンバー情報を使って市税を払っている人の運賃を元に戻す。(IC 乗車券にマイナンバー情報を組み込むのか、IC 乗車券情報を元に税の還付をするのか詳細までは検討していません)</li> <li>・横浜市保育室、認可保育所(他に地域ケアプラザも市行政でしょうか?)の料金を、市税を払っている人とそうでない人とで分ける(市税を払っていない人にはきちんとかかっているコストを転嫁する)</li> <li>・子ども手当、の支給をやめる(地方税納付先の自治体に請求してもらう)。</li> <li>・その他、市の住民サービスすべてについて上記と同じ考え方を適用する。</li> </ul> <p>上記は、運用するとしたら、自分の行動を棚に上げて「あとからルールを決めるのは理不尽だ」という人が出てきそうなので、確定申告の時期よりだいぶ前に告知する必要があります。急いで検討するようお願いいたします。</p>		<p>ます。</p> <p>その上で、財政運営2「財源の安定的な確保による財政基盤の強化」に基づき、税務行政の適正な推進と納税者の利便性向上により、市税収入の安定的な確保に努めてまいります。</p> <p>また、横浜みどり税については、緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは重要な課題であり、また、緑は一度失われると取り戻すことが困難であることから、緑を守り、つくり、育む取組を進める「横浜みどりアップ計画」の財源としてご負担をお願いしているものです。31～35年度の5年間について、課税期間を延長する条例改正案を市会に提出しました。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、地方自治法では、住民は等しくサービスを享受できると定められております。引き続き適切な住民サービスの実施と、市税徴収に努めてまいります。</p>
<p>横浜市は日本でも初の(唯一の)、みどり税を導入されていますが、同じ様な税を県でも、そして国でも支払う形になるそうです。これは、同じ税金の三重取りだと思えます。国が導入したら、この事についてもう少し考えて頂けないでしょうか？(税金は上がり続けますが、給与は上がらないのです。何百円の事だとは思わないで下さい！！)</p>	参考	<p>国税で創設される森林環境税は、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図ることを目的として平成36年度から課税される見込みです。一方、横浜みどり税は都市部の樹林地の保全を目的としており、森林環境税とは目的が異なっていると考えております。</p> <p>横浜みどり税は31～35年度の5年間について、課税期間を延長する条例改正案を市会に提出しました。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。</p>
<p>市税と競争力</p> <p>特徴的な市税戦略を積極的に導入することを提案する。</p> <p>米国における州税、市税などの税率の差異は、それぞれの州、市の戦略が表れており、一定の領域における競争力に繋がるものとする。(例:衣料品、食料品、ソフトウェア、法人等々に対する税率が州、市により異なる)</p>	参考	<p>本市では、地方税法の定める範囲内で、緑の保全等のための安定的な財源としてご負担いただいている横浜みどり税や、進出企業へのインセンティブとして税負担を軽減する企業立地促進条例など、課税自主権を活用した取組を行っております。引き続き、こうした取組について検討してまいります。</p>
<p>みどり税は延長を提案します。</p> <p>みどり税は、おそらく横浜市が一番進んでいて、このような自主財源はできるだけ、継続するのが良いと考えます。</p>	参考	<p>緑の保全・創造の取組には安定した財源の確保が欠かせません。その財源としての横浜みどり税について、31～35年度の5年間、課税期間を延長する条例改正案を市会に提出しました。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。</p>
<p>今年の1月娘が成人式に出席しました。若人のすごい集いでしたが、紅白まんじゅうもなく、市長の話だけで終わりました。事故で亡くなることなく、ある意味奇跡の人達です。が真逆に、お年寄は2重にお祝いがあり、不公平だと思います。自治会からは1000円も。すぐ、お菓子セット？菓子折りと杯こと手厚いので不思議に思いました。2重に祝うことはないと思います。ムダ。杯なんて遺品になるだけでムダだと思います。いっそ菓子折りをなくしたいと思います。若い人と同じように考えてみたらいかがですか？</p>	参考	<p>敬老の日のお祝いの菓子折りについては町内会などの地域の独自の事業、また、100歳を祝う杯は国からの長寿のお祝いと思われれます。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>市民からの請願を「議会だより」に掲載すべきである。</p>	参考	<p>「ヨコハマ議会だより」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>岸谷プールの存続と脱衣所などの整備をお願いします。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、公園プールの管理運営を行う上で、参考にさせていただきます。</p>
<p>38. 公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新 神奈川県立神之木台青少年会館 跡地利活用の件 40 数年前、膨大な費用をかけて丘を削り、幅広道路開発とともに上記青少年会館が建設されました。当初は図書館、文化活動拠点など青少年、近隣住民に活用されていましたが、ここ20年近く一般向け公開を止め、名称も神奈川県青少年課神之木台分館と改め、いくつかの団体、組織が入室するところになっていました。</p> <p>平成28年春からは完全閉館となり、跡地を民間に売却するとの噂が流れました。災害時の緊急避難場所としてきた近隣町内会、自治会では、</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、まちづくり関連のご意見として参考にさせていただきます。</p>

その他

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>これを極めて問題と懸念しております。古代からの地盤強固な丘の上、海拔の高さ、道路網に恵まれ、更に住宅密集地での大火災延焼対策としても当該地は緑地帯、公園に囲まれた最適、無比、二度と手に入らない高台であります。よって、跡地については災害時緊急避難場所を兼ねた公共施設、特にこの地域に不足している図書館などを要望すべく、新子安南部町内会を中心に近隣自治会と調整中であります。過去一年、県及び横浜市の意向を打診してきたところ、回答は次の通りでした。</p> <p>1. 神奈川県知事(神奈川県総務局財産経営部財産経営課長 経由) 「県としては利活用の計画なし、横浜市に照会したところ、市においても利活用の計画なしとのことで、民間への売却を予定しているところです。」</p> <p>2. 横浜市長(横浜市神奈川区 区政推進課長 経由) 「県からの照会は「跡地の利活用」ではなく、周辺緑地についてであり、その管理、運営のみ市で行うべく件と調整中です。」</p> <p>神奈川県東部における防災拠点並びに極めて不足している図書館(40数年前の発足当時と同じ)が実現できるよう切望するところです。財政厳しき折ながら是非ご検討下さい。</p>		
<p>東部連合町内会 * * ある長浜検疫所 5 年後に市内に移転すると聞いている。移転後の長浜検疫所一帯を横浜市で活用することを提案する。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、まちづくり関連のご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>学校開放事業の「市民図書館」に関わって 20 年近くになります。始めたころは、謝金(時給)が 900 円だったのが、「はまっ子」ができたころ、840 円に下がりました。更に 800 円になり、この 4 月からは 700 円になりました。そろそろメンバーを新しく補充したいところですが、最低賃金より安い謝金では誰にも声をかけられません。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、学校開放事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>誰もが自分のライフスタイルに合わせて仕事、育児、介護、地域活動に取り組み…とのフレーズはよく広報等で目にするが、一人が自分のライフスタイルを貫けば、誰かのライフスタイルを制限(制約)することが一般的であることを忘れてはならない。本当に全員が自分のライフスタイルを貫いたら日本の社会は機能不全になるように思う。特に教育や福祉といった対人支援のサービスの場合には。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、教育や福祉等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>みどり税を徴収し緑を増やそうとする一方で瀬上沢を開発し、山桜地そして小動物のいる自然豊かな緑地を壊そうとしています。人口も経済も小さくなる折、やめて欲しいです。自然は一度壊したら元に戻りません。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>環境行動都市戦略 環境を破壊する上郷開発は中止すること</p>	参考	
<p>上郷開発で、自然や埋蔵文化財(深田遺跡)を破壊し、建設会社のための政治を行なおうとしています。これからの 4 ヶ年、1 つ位、10 年先いや未来の横浜市のために役に立ったというスローガンではなく実績を残していただきたい。その 1 つは間違いなく、上郷深田製鉄遺跡の保存というのは我田引水ではないと確信します。市長はぜひ現地を一々ください。</p>	参考	
<p>上郷開発をもう一段考え直し深田遺跡を保存公開してほしいこと、計画が変更を求められる中で開発計画は中止・全面保存して欲しいこと。その為には、地主さん達に本郷駅前再開発地の地区計画付の所を優先的に活用してもらえないでしょうか。そして、舞線は陸橋に戻し、東西の緑地を一帯に戻します。湧水も豊かに残り、生物もより多様性を帯びるでしょう。水の多いところは「よし」など植えて、障害を持った方々とボランティアと共に働き、「よしず」など生産し、地域の温暖化対策に役立てます。せつかく、西側に開発を寄せてもらいましたが、元障害をもった方達の農作業の行われた「石原」は地権者の方々の「瀬上管理事務所」や埋蔵文化財に関する資料館、案内所もそこに建てることによって4号線からの入口部門として適当と考えます。結果、深田遺跡は展示可能となり、横ぜきも猿田川用水としての機能が、瀬上の池の機能が後世にもよく見える形で残されます。(おそらく江戸時代に作られた、これも大事な歴史的産物です。)</p> <p>農業はとても大切ですが、生業とするには現状はむずかしく、環境景観として農家の方の指導の方、ボランティアの協力で瀬上沢一帯を、水と緑、生活と一体の花(れんげ、菜の花など)や生物の豊かな公園とします。外国の人も市民もほっとする場所にと願います。やがて農業を志す若者も出てくることでしょう。</p>	参考	

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
銀行も店の統廃合を進めるようです。建物の密集が緩和されれば、災害にも強いまちになっていくのではないのでしょうか。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の災害に強いまちづくりの参考にさせていただきます。
ゴミ集めなど、外注に出せば若者が大いに、活動的に行う。給与の高い高年齢の公務員が行う必要はない。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
ニュージーランド、オーストラリアを船旅で感じたこと、夜景です。ベイブリッジを同色で輝かすこと。そこ(オーストラリア、ニュージーランド)は、真っ赤でした。次々に変化しましたが日本人で有名な照明デザイナーに相談してはとありますが！非日常者に夢を与えられる横浜であって欲しい。	参考	
地元の自慢の場所をガイドする活動を充実させていきたい。	参考	
<p>提言課題:1号蒸気機関車復活</p> <p>横浜市の観光の新たな目玉として「1号蒸気機関車復活」プロジェクトを提言いたします。</p> <p>横浜市内には文明開化のエピソードや記念碑が沢山あり、異国情緒の残る素敵な街です。</p> <p>しかし、「現存実在する文明開化遺産」が少ないことに気が付きます。</p> <p>最も古い「現存実在する文明開化遺産」はペリー来航時からの「外国人墓地」があります。</p> <p>これに続く「現存実在する文明開化遺産」は「1号蒸気機関車」が頭に浮かびます。</p> <p>明治5年の鉄道開業時イギリスから5種類・10台の蒸気機関車が輸入されました。</p> <p>その内の1台が鉄道博物館(さいたま市)で保存・展示されています。</p> <p>この現存する宝物を「1号蒸気機関車の復活」プロジェクトとして横浜で検討実行していただくことを提言いたします。</p> <p>子供も大人も歓喜する姿が目に見えます。</p> <p>子供達は、蒸気機関の仕組み(理科)や産業革命の歴史(社会科)を身近に勉強してくれるでしょう。</p> <p>鉄道博物館の1号蒸気機関車は国の重要文化財です。このため、復活号の導入は国内外の同世代兄弟号、レプリカ号等幅広い検討が必要かも知れません。でも市民全員が大きな夢を楽しめそうです。</p>	参考	
緑の多い環境＝山手本通り地区、根岸森林公園、横浜栄高校あたりの(無いみならず実は意味深い)森など、「整備のために創られた」緑ではなく、誰もがいつでもくつろげる緑だけではなくささいにいたたたたく存じます(飼い主マナーがひどすぎる犬の散歩は罰金含めた規正が必要だと感じています)。	参考	いただいたご意見につきましては、今後の緑の保全や市民が実感できる緑の創出・育成を進める上で、参考とさせていただきます。
<p>横浜市保育園300園、学校4校に 埋設した放射能汚染物の移設を要望します。</p> <p>この件は、「中期4か年計画2018～2021(素案)」に記載がなされていないようですが、子どもたちの命と健康を守るという市の重要課題ということで、パブリックコメントとして提出いたします。</p> <p>横浜市は、市立小中学校・保育園の敷地内の保管された福島第一原発事故由来の放射性汚染土を、2017年3月横浜市鶴見区内の北部汚泥資源化センターへ移設したものの、未だ放射性汚染土が敷地内に埋設されたままの学校・保育園が残っていると聞きます。</p> <p>市の公表では、300園と4校で、10cmの覆土で処分済みの扱いとのことですが、放射能の生物への影響は不確定的ではあるものの、命にかかわることがありうるものです。</p> <p>この度の大阪の直下型地震で、危険性が指摘されていたブロック塀が倒壊して子どもたちの命が奪われるというあってはならない事故が発生しました。</p> <p>こうした行政の不作为による事故を未然に防ぐ措置をすみやかにとっていただけるようお願いいたします。</p> <p>移設の場所としては前回同様、北部汚泥資源化センターがあると聞きますので、そちらへの移設をお願いいたします。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、子どもたちの安全・安心の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
今年3月に第7回線引きの見直しが行われましたが、市街化調整区域の見直しに不公平感を感じました。青葉区恩田町はターミナル駅である長津田駅(横浜線、田園都市線、子供の国線)から徒歩15分圏内で住宅地であるにもかかわらず、未だ市	参考	いただいたご意見につきましては、都市計画関連のご意見として参考にさせていただきます。

その他

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
街化調整区域です。当初市街化になるはずでしたが、市議の方が署名を集めたり市街化調整区域が外れないように尽力したそうです。税金は公平に集められるべきだと思います。その税金で障害者や高齢者の福祉を充実させてほしいです。5～7年に一度、線引きを見直すのではなく、不公平の強い見直しは早急に行うべきだと思います。		
インフラ整備は料金値上げも含め対応を。 市税は増えない。国の予算はつかないから、市民、事業者から集める。 具体的提案 水道も、汚水下水道のインフラ整備は、料金の値上げでも、処置、推進すべきと考えます。料金累進性の強化や、社会的弱者への配慮などをして、政治家及び行政は対応してほしい。下水道の高度処理や、横浜駅の洪水被害、汚水の逆流の水害の様な「だれが見ても必要な事業」である事は市民は理解してくれると考えます。行政には丁寧な説明を求めます。	参考	いただいた財源に関するご意見につきましては、将来にわたり安定的に下水道サービスを提供していく上で、参考とさせていただきます。
福島避難の児童のいじめに対する市の教育委員の対応はひどいものでした。こんな教育委員や教育長はすぐにやめさせることを強く要望します。	参考	ご意見として今後の参考にさせていただきます。
現役中高所得者は資産を隠して生活保護で生活することを考え始めている。 林市長は数年でいなくなる。行政マンはそのあとのことを考えて反旗を翻すべき。	参考	
“原発は安い”なんて大～ウソ、核のゴミの最終処分もきまらないうえ増え続けて、これど～するんですか？若い世代に先送りなんて無責任です。脱原発を推進して下さい。	参考	
・議員定数のさらなる削減をして調査研究費も減らす。	参考	
・年寄をいじめるな！！	参考	
・無職の若者、中高齢者や仕事しても人間関係がうまくいかず辞める人、大麻に逃げる人、そして交通事故。 ・世の中全体が余裕なく、早急な結論を求め、成績主義でストレス社会。 ・そして人間が機会の様に働き、過労死増大。 ・人殺ししても金をうばう。 人間がマジメに働いても、チャランプランでも、生きにくい。 人間が人としての価値を認められ、人と交流し励まし合って、生き、成長するような社会であって欲しい！！ 大型開発やギャンブルでなく、人間の育成にお金を(税)をかけ、戦争でなく、世界の国々と手をつないで豊かな社会であって欲しい！！平和は結論を急いではできない。「対話」で心を通わせることです。	参考	
シニアが活躍 シニアが、パソコン(コンピューター)を使用出来るよう、学習会がほしい。どんなものを買ったら良いのかからわからず、スマートフォンを使用していますが、これがわからず困っています。	参考	
シニアが活躍するまちに関して官製の老人会だけでなく、自主的サークルへの援助。利用しやすい高齢者施設の増強や補助金支給を望みます。	参考	
シルバー人材センターの手数料の10%は高い。合理化必要！	参考	
ぜんそく患者に医療の補助をして下さい。	参考	
ぜん息公害被害者数を調査し医療費助勢をすすめて下さい。	参考	
その他、色々なイベントや、企画事業も(例えばココハマウオーキングポイント等々)全て防災という観点からは、優先化をつけるべきである。あれもこれもとはやらない事である。	参考	
ブータンの国樹イトスギを観光資源として活用	参考	
安倍政治にほんろうされない地方自治を確立して下さい。横浜独自の8時間労働制を作り市民の活力につなげましょう。ビッグバーンも大企業のみ育てることも競争のためなら不要です。安倍政治は、世界に日本への信頼をおとしめるところでした。林市政は轍を踏まないで下さい。たくさんの方の市民の声(智慧)を集める努力をして下さい。	参考	

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
横浜にもアメリカの基地がありますが、最近彼らの色々な事故に対する対応が卑劣です。堂々と原因究明、保証をやって下さい。チョロイと思われてます。	参考	ご意見として今後の参考にさせていただきます。
横浜は肥大化し過ぎている。3～4 分割した上で県から独立し、県庁は他市(交通便利性からは海老名市が適任)に移転したら良い。	参考	
横浜富士見櫓の設置を！！横浜市内には富士山を美しく見られる場所がありますが、近年は土地利用が活発になり、又、高層マンションの建設が多くなって、小生の如き一般人が楽しめる場所が減少しております。例えば、旧権太坂中央寄や仏向町ケアプラザ近辺の富士見ポイントは駐車場内にあり、又、南太町四丁目近辺は墓地内にて、いずれも一般人には入りにくいのです。つきましては、この類の場所に市が富士見櫓の如きものを地権者とご相談の上設置していただきたく希望いたします。 1. 一般人が安心して富士山を見たり、カメラを楽しめる場所 2. 設備は 10 人分程度のベンチでもあれば充分 3. もし、前方に少々の障害物がある場合には数 M 程度の高さがあれば有難し。	参考	
勤勉は大切ですが、金万能世がおかしいのでは。清貧主義、ベーシックインカムについて考える時が来ているのです。 プライバシー侵害(真偽に拘わらず無責任な手段で吹いたりすることは勿論)に厳しい美しい日本を取り戻すのは先ず横浜市から。 民主主義は国民一人ひとりの為のものです。発言の機会をありがとうございました。	参考	
高齢者が増えてゆくのは防ぐことはできないが、一般に甘やかされていないか。 健康保険の本人負担が少ないからと言って安易に使っていないか。 毎日毎日自助努力なしにリハビリに通っている人がいる。	参考	
今後、急速にAIが進むため、失業者が増えることが考えられるが、既存の企業産業に従事する人々に転職しやすい教育システムを提言すること。日本人のスキルアップを図る対策が必要である。	参考	
市庁、区役所の駐車場拡張をお願いします。	参考	
女性が自立して生活できる最低賃金 1 時間 1500 円を市として定めること。	参考	
人口減で市会議員定数減員検討する必要あり	参考	
戦略 3 政策 No.15 健康づくりと健康危機管理などによる市民の安全確保について 現在通信機能を備えた電機のメーター(スマートメーター)の設置が行われております。私の知人で、その方の隣家にスマートメーターが設置されたことで大変体調が悪くなった方がいました。既にスマートメーターを導入した米国やオーストラリアでは健康被害の訴えが多数出ているとのこと。英国で最も権威のある経営者団体である「英国経営者協会」も、スマートメーターのメリットとされる省エネを達成できる信用できる証拠がない、費用対効果が疑問、サイバー攻撃を受けやすい等の理由でスマートメーター計画の廃止を求めています。電波の強さは総務省の基準値を下回っているとされていますが、私の知人のように実際にスマートメーターにより体調をくずしたという実例があります。特に体力のおとろえた高齢者には、例え自覚症状がはっきりしていなくても影響が大きいのではと思います。健康づくりの推進を目指すなら、まずこういった健康被害の恐れのあるものの設置はやめるべきではと思います。スマートメーターの設置を考えなおすよう国にはたらきかけていただきたいと願っております。	参考	
白アリ対策をしてほしい。	参考	
のら猫、ハトの害についての対策を強化しましょう。	参考	
不思議な事に歩行者の左側通行が気になります。これは JR はじめ鉄道会社の影響が大きいと思うのですが(気を付けてみて下さい。必ず左側を歩くよう指示されています。)、人々が右側ではなく左を歩くのが当然となってきているのです。小学一年生が交通安全教育で、人は右、車は左と教えられても、普段の生活の中で活かされていないのです。横浜市	参考	

その他

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
側から鉄道会社へ働きかけて頂けませんか。「習慣」は恐ろしい。多くの外国人や観光客、勿論市民の安全の為、交通ルールの再認識を！		
<p>未来へつながる魅力ある街づくり 港北区では、地域の防犯をより進めるため、民間の賛助金により自治会で防犯カメラを設置する活動を実施しています。 この活動に対して地域振興課より大変なご尽力をいただいて地域住民より多大の評価をいただいております。 安全・安心なまちづくりは、人と人をつなぎ、地域と地域をつなぎ、社会全体で取り組む必要があると思っております。 この港北区の活動、地域振興課のノウハウをモデルケースとして、横浜市全般に広げ横浜をさらに飛躍させて頂きたいと思っております。</p>	参考	ご意見として今後の参考にさせていただきます。
<p>未来へつながる魅力ある街づくり 港北区では、地域振興課が民間の提案により防犯カメラ設置について御尽力をいただき、行政と民間をつなぐ大きな役割を果たしており、地域住民より多数の評価をいただいております。 安全・安心なまちづくりは人と人をつなぎ、地域と地域をつなぎ社会全体で取り組む必要があると思っております。 この港北区の活動をモデルケースとして市政全般に広げて頂きたいと思っております。</p>	参考	
<p>福島の原因以降、公共料金が高くなったように思います。夏が苦しいです。冬の暖もそうです。引き下げをよろしくお願いします。</p>	参考	ご意見として今後の参考にさせていただきます。なお、電気やガスの料金はそれぞれの事業者が決定しております。
<p>5兆円を超える自衛隊予算と25万人の自衛隊員が働く「産業」を起こせば、ずっとプラスかと思えます。元寇以来(1274年128年)他国から侵略されたことのないのに、自衛のための軍隊が必要というのは「大きな力」がコントロールし盲目にされているのでは！！オリンピックやテーマパークを喜んでいる人が居ることを何とかしなければ。</p>	参考	ご意見として今後の参考にさせていただきます。なお、自衛隊に関するご意見につきましては、防衛省へお尋ねください。
<p>最近土手に花が植えてあるのを見かけますが、発想は良いと思いますが、雑草が多く生えせつかくの花がだいなしです。市の予算を無駄に使っている様に感じとれます。</p>	参考	ご提案の趣旨につきましては、河川の維持管理などの具体的な事業や取組を行う上で、参考にさせていただきます。
<p>植栽の管理が、必ずしも適切ではありません。5月にクチナシのつぼみを刈るよりも、その労働力で雑草の除去を行ってください。</p>	参考	ご提案の趣旨につきましては、公園や街路樹の維持管理などの具体的な事業や取組を行う上で、参考にさせていただきます。
<p>「緑にあふれる都市」というか野毛山公園など公園の木や街路樹の剪定の仕方は考え直してほしい。枝を切りすぎていて木がかわいそうですし、美しくない。街路樹は夏の暑い時期日陰もできない。</p>	参考	
<p>街中電柱が多すぎなので、何か工事をする度に、電線を埋めていったらどうですか？</p>	参考	ご提案の趣旨につきましては、具体的な事業や取組を行うにあたっての参考にさせていただきます。
<p>(「コミュニティバス」的な移動手段の検討について)経費の一部は「介護予防」関連予算や、敬老バスへの市の負担金を減らし、その分を回すようにしたら如何でしょうか(敬老バスは市の負担金が利用者負担金の5倍以上の95億円を超えとのことで、今後、制度維持の観点からも利用料金等について見直しが必要かと思われます)。</p>	参考	コミュニティバス、敬老バス等に関するご意見として、参考にさせていただきます。
<p>中期4カ年計画で横浜を活性化させ、財政基盤を確保し、都市の持続的な成長・発展を実現するために市民に身近な交通機能等の充実することが必要不可欠である。シニアの活躍支援(戦略5)するために市民の足となるバス(シニアバス)の平成30年3月より今までの2倍の値上げには理解できません。このような急激な高額の値上げによりシニアバスを購入することが出来ません。シニアの足であるバスを利用出来なければこのような行政運営に協力出来ません。 今回の値上げによりほとんどのシニアの足が奪われてシニアは何も出来ません。協力出来ません。</p>	参考	シニアバスについてのご意見として今後の参考にさせていただきます。
<p>・市営バスのシニアバスが2018年3月から2倍に引上げられ急激な値上がされたのを引下げる検討をする。同時に敬老バスは現状を最低限維持する。</p>	参考	シニアバス及び敬老バスに関するご意見として、参考にさせていただきます。
<p>バスの優待分損金が高すぎ自分で払った方が安くつく人も多いのです。</p>	参考	バスの優待についてのご意見として今後の参考にさせていただきます。
<p>敬老バスの利用者があまりに多すぎるように見受けられる。これでは市の財政は潤わないように思う。</p>	参考	敬老バスに関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>市からの敬老バスが所得によって補助があり助かっています。外出回数が増え、外出先も広がってきました。高齢化して市の財政のこともあ</p>	参考	



いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>と思いますが、心身の健康を保つには、外出がとてよよいと思います。管轄局(交通局)のみならず、介護保険、健康保険が削減できるかもしれません。これらも総合して考えていただき敬老パス継続をお願いします。年を重ねてもできるだけ自立して生きるよう努めます。</p>		
<p>敬老パスを、元の無料に戻してください。少なくとも、年金だけしか収入源のない人には、そうして下さい。</p>	参考	敬老パスに関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
<p>現在、敬老パスを便利に感謝しながら使っています。今後も、ぜひ続けて下さい。負担金も今ぐらいなら。</p>	参考	
<p>高齢者の敬老パスがなくては病院に行けなくなりますから続けて下さい。</p>	参考	
<p>シニアバス(バス、地下鉄の一年間パス)ありがたく利用しているが、赤字なので、費用の値上げをしていただいてもOKです。</p>	参考	敬老パスに関するご意見と考え、参考にさせていただきます。
<p>感謝したいこと 敬老特別乗車券は大変ありがたく、買物、トレーニングの足となり心より感謝しています。</p>	参考	敬老特別乗車証に関するご意見として、参考にさせていただきます。
<p>横浜市のシステムに感謝しています。 敬老特別乗車証(夫の入院で一ヶ月以上地下鉄・バスで恩恵を受けました)</p>	参考	
<p>私は敬老乗車証を利用しています。バスや地下鉄に乗るとこの制度を利用している高齢者の多さに驚くことがあります。この制度の維持には利用者の負担金を大幅に上回る費用が掛かっていると想像されますが、この制度があるゆえに気楽に外出し動き回る高齢者が増え、そのことが健康維持につながって医療費や介護費用の節減に役立っているのも確かだと思われまます。制度の維持・継続を望みます。</p>	参考	
<p>シルバーパスは大変助かっています。値上げしないで運営して下さい。</p>	参考	高齢者向けパスに関するご意見と考え、参考にさせていただきます。
<p>大好きな横浜市歌をジャズ風サンバ風など楽しく駅などで流してもらいたいです。</p>	参考	横浜市歌に関するご意見として、参考にさせていただきます。
<p>化学物質過敏症の人が安心して住める場所を作ってください。支援してください。近隣からの受動喫煙や香害、農薬などの被害にあっても、対処法が①自分で引越す②自分で「お願い」をする③自分で裁判を起こす、などしかありません。④自殺、も含めたほうがいいのでしょうか？心理的にも金銭的にもハードルが高く結果が伴わないことも多いです。特に集合住宅(同じ建物内)での禁煙、香害等の対策を進めるべきです。(化学物質過敏症対策といったほうがいいのかもありません。)他人の使用してるもので、まともな生活ができません。毎日何時間も苦しまされずに普通に生きたい。働くことも難しいです。実験的に少数でも禁煙及び香害、その他に配慮した市営住宅などを考えては頂けませんか？化学物質過敏症は誰もが発症し得る可能性があり、個人での対処が難しい病気です。対策を放置することは確実に労働力を奪うことになると思います。何年も苦しまされています。健康ではありません。「吸いたくない」を選べないのが現状です。</p>	参考	化学物質過敏症対策等についてのご意見として今後の参考にさせていただきます。
<p>財政健全化に関して、開港 150 周年記念行事(Y150)で財政に大穴を開けたはずですが、これに関して誰がどんな責任を負ったのか寡聞にして知りません。前回以前の4か年計画ですでに総括されているのかもしれませんが、もしそのような反省がなされているならばホームページ等で周知いただきたいです。それなくして周辺自治体にない緑の保全税を払うのは納得いきません。</p>	参考	開港 150 周年記念行事(Y150)に関するご意見として、参考にさせていただきます。
<p>横浜市開発事業の調整に関する条例の主旨の合う内容に運用について(改正願ひ)  鎌倉街道近辺に、特別養護老人ホームと分譲マンションが現在建設中です。 この両開発敷地沿線の横浜市道は、地域住民の重要な生活道路です。しかし、この両開発事業は、開発行為に当たらないとして、横浜市開発事業の調整に関する条例により進めています。条例によると、東側の特別養護老人ホームは、住宅でないので、現状の道路幅員でよい、西側の分譲マンション開発は、開発敷地とマンション戸数から、前面道路(約</p>	参考	開発事業においては「横浜市開発事業の調整等に関する条例」の基準に適合し、良好な都市環境の形成を図ることが必要です。いただいたご意見につきましては、まちづくり関連のご意見として参考にさせていただきます。

その他

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>140m)を歩道2mの公共空地を造る条件になっています。</p> <p>この狭い未整備のような道路のままで、分譲マンションと特別養護老人ホームができることは、近隣住民も新たに入居する住民の生活道路として、あらゆる面から問題があると考え、マンション開発事業者に意見書を提出、その後、再意見書を横浜市長あてに提出しましたが、すべて、否決されました。</p> <p>その内容は、条例の主旨は「2mの公共空地をとっても通行を安全する」となっていますが、分譲マンションの敷地の隣接が引き続き開発され2mの公共空地ができる可能性がある場所であれば、条例に合うでしょうが、隣接はすでに開発の済んでいる敷地で将来とも不可能に近い場所です。</p> <p>そこで、条例による開発事業者の2mの公共空地をつくる負担、約140m×2m=280㎡の用地費と2mセツト/バックする工事費(取壊しと築造)で鎌倉街道までの進入路の拡幅整備に振り替えるほうが、はるかに有効な使途であり、条例の「通行を安全する」趣旨に適合する、との考えから条例の柔軟な運用をお願いをしました。</p> <p>現在、建設工事が進行中ですが、条例がすべての場所に適合するとは限りません。このような場所こそ現地調査をして頂き、柔軟な条例の運用ができるようにして頂き他お願いします。</p>		
<p>教育委員会はなっておらん。いったい誰がその委員の人選をしているのですか？</p>	参考	<p>教育委員会委員は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、横浜市長が横浜市の同意を得て任命しております、教育行政に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>区域を越えた連携、協働を期待したい。 特に北部4区(港北、都築、青葉、緑)は100万都市で、歴史や地形に共通性が多いので、4区連携事業の推進を望む。</p>	参考	<p>区の取組に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>・同世帯に所得が290万円の人がいると所得65万円の人も3割負担になるのはおかしいと思う。(後期高齢者保健)</p>	参考	<p>後期高齢者医療制度に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>公共配布物(県・市・区のとよりとそのたぐい)の効率化とその改革について提案致します。</p> <p>① 現在の県・市・区独自の情報活動を解消して新組織により、伝達情報等の内容企画運営、伝達をつかさどる組織を再構築する。(例えば NPO 法人、官民一体で組織運営する。)そして行政間の横の連携、民間の知恵、専門家の技術面の導入も検討する。特に最近の情報技術は、急激の進化は驚かされます。(AI、IoT)</p> <p>② 住民の何らかの形でこの改革に参画して、要望、意見も反映させる。(アンケートも含め)</p> <p>③ 一方高齢化は進み、高齢者の行動、考え方も硬直化し柔軟性がない人も存在して地域の自治会活動もままならず、行き詰っている地域もあると聞いている。従って結論としては、多くの住民にとって欠かすことが出来ない公共情報のあり方から内容の企画、運営と伝達方法が今以上に、誰にも公平に情報の認識が出来るよう改善されることを願って提案させていただきます。</p>	参考	<p>広報に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>市の PR 紙には、かつて上部に市及び県の行政上の基礎データが常に記載され、自分の住む地域の規模が分かり便利でした。 例 1. 人口(男女) 2. 所帯数 3. 人口増減 4. 予算 等々です。 是非復活させて下さい。</p>	参考	<p>広報よこはまへのご意見として、参考にさせていただきます。なお、人口、世帯数については、表紙の右下部に記載しております。</p>
<p>地方行政の核心は福祉政策・地域の活力増進政策にあり！市政だよりなど、市民からの feedback を受けて、読ませるものにしなさい。配達している人に、紙くずの配布と思わせない、内容のある広報紙としなさい。その為に、フィードバックのシステムを作りなさい。</p>	参考	<p>広報紙に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>私立高校の就学支援金について 横浜に 50 年近く住み、税金も納め、横浜を愛して住んでることに誇りを持っています。 現在、横浜市の支援金は「横浜の教育を受けてよかったと思ってもらえるように市内の学校に通っている人にしか支援出来ない」という記事を読みました。 我が家の 2 人の子供は都内の私立に理由があって通っています。東京都は都内在住なら他県に通う人にも同一の支援を行っています。交通費をかけて勉強しているのに不公平だと思います。横浜も東京に怠ること</p>	参考	<p>高等学校等就学支援金は国の制度であり、市外の学校に通っていても対象となります。私立学校については、そのほかに都道府県が授業料の支援を行っております。また、本市では、保護者が横浜市内にお住いの高校生等を対象に、成績要件等はありますが、市内・市外、公立・私立を問わず奨学金を支給しております。いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
なく教育支援にもう少し力を入れてくれることを切に願います。 2人分3年間の支援が無いのなら東京都内に引越すしか対策が無いのが悲しいです。残念な県ですね。		
年寄の医療費 2 倍になったら病院へ行けない老人が増えます。長年市のために働いてきた年寄に冷たい市！年寄は病院に行けず死ぬ！という事に等しいです。	参考	高齢者の医療費に関するご意見として、参考にさせていただきます。
「アベノミクスの下請けそのもので、行政の自主性を放棄するもの」が、何で悪いのか解らない。国と自治体は基本的に協力し合うのが、我々の国、生活する所の発展にとって必要でしょう。	参考	国と自治体は基本的に協力し合うことが必要というご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
(3)健康保険料等の保険料負担額の上限の廃止 財政負担の現状と税の累進制を比較すると余りにアンバランスである(厚生年金保険料の場合は、給付に反映されるので理解できますが、健保はそれがありません)	参考	国民健康保険に関するご意見として、参考にさせていただきます。
国保の負担は非正規の人にとっては厳しいものとなっています。市民に返ってくる税金の使い道を政策に反映して下さい。	参考	
住民の生活を優先する地方自治を進めてください。 いま、私たち年金暮らしの高齢者の暮しは大変です。若者も大変です。国保料の値上げにならないように税金の使い方を改めてほしいです。	参考	国民健康保険等に関するご意見として、参考にさせていただきます。
国保料の値下げをしてほしい。国保料が高すぎて払いきれません。ぜひ、下げてください。	参考	国民健康保険料に関するご意見として、参考にさせていただきます。
東京／大阪の地下鉄が民営化されようとしている時、横浜地下鉄をどうするのかという方向性を中期計画で出す必要がある。	参考	市営交通に関するご意見として、参考にさせていただきます。
高齢者の市営交通利用料を有料とする。と同時に、市バスが 220 円均一料金だが、距離によって料金を変える方式がよい。例 本牧車庫⇄横浜 8 km以上 220 円、本牧車庫⇄小港約 2.3 km 220 円 以上のように、距離が倍以上であるのに同じ料金は不公平。よって、本牧車庫⇄横浜 300 円、本牧車庫⇄小港 150 円のようにする。高齢も無料ではなく、最低半額以上とする。	参考	市営交通利用料に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
各区にある老人施設やプールも、現状を何とか維持すると言う発想のみでは、老朽化した施設の維持のみに視点が行き益々重荷になる。しかし、これらの施設を、災害時の緊急避難場所や、特別対応の施設に転用すると言う発想に置き換えれば、例えば壊れたお風呂を修繕して置く事を計画せねばならない。運転費用がかかるとするなら、無料ではなく、お風呂だけでも有料にするとか、其の場合も必ず防災施設としての意味づけを利用者に周知させて、防災の意識を植え付けるようにする。同じ様な、意味合いで言えば、プールの水を、緊急時の消火用水とする事も考え、ポンプ車が入れるようにプールの構造を考慮しなければならない。現状の諸施設を災害耐性強化の視点から、見直せばもっと活用出来るはずである。	参考	市民利用施設に関するご意見として、防災施策を進める上で、参考にさせていただきます。
安くて市民が気軽に利用できる施設の充実 既存の施設を市民が気軽に安く利用できるように改善してほしいし、身近なところにコンパクトな施設を設置して増やしてほしい。 私が利用する例では、温水プールと、釣りなどで海辺で安く親しめる施設が川崎市と比較して見劣りがする。温水プールでは、「ふれーゆ」は更衣室のロッカー利用料が100円だがリターン式にしてほしい。「横浜西スポーツセンター」の温水プールの料金が安い。川崎市の堤根温水プールの料金に近づけられないものか？ 大黒・本牧・磯子海づり施設は料金が安く、気軽に利用できるとはいえない。 回数券を買わないと安くならないシステムはおかしい。	参考	施設の管理に関するご意見として、参考にさせていただきます。
高齢化社会での市施設の運営 1. 利用可能時間の延長 17 時前までは早い。20H 位まで希望 2. 施設の設備点検期間が長い ボイラーでは3～4 日以内に、1W は長過ぎる。尚、風呂温度は 40.5～41.5℃ 3. 施設の修理やメンテを こわれたら、金がないから故障のままという。(運動機器。マッサージチェアー3コ故障。その他) 4. 昼食の為に電子レンジの使用を 5. 施設にゴミ(簡易なもの)すててよいようにする。家ですてても市にとっては同じ。ムリに運ばせるな。	参考	施設運営に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

その他

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
6. 金がないなら、物は家庭にはたくさんある。寄付を募集すること。以上福寿荘に主に行っていて困っていること。		
自治会組織の強化対応 「地域おける絆」は地域力の根源であり、自治会を始め多くの地域ボランティア活動(消防団など)がこれを支えています。その中核として自治会が機能するのが望ましい姿であり、住民は自治会に加入し地域社会の一員として絆を育むための積極的な対策を進めることを提案します。	参考	自治会町内会に関するご意見として、参考にさせていただきます。
防災に強くなるために、自治会の加入促進策を強化すべきである。	参考	
31. 障害者福祉の充実について 私は視覚障害者の方に、音声訳ボランティアをしている者です。いつも新年度になる度に話題にのぼるのは、会員の会費問題です。年会費3,600円を支払い時間と手間をかけ、CDにするための録音にあたりCFカードを購入することが必要で、更に機器(不足で)を購入する場合もあります。 ボランティアなのに、何故そもそも会費が必要なのか。又それでも足りず、様々なバザー用品を持ち寄り販売してその収入を充当している状態です。ボランティアの1/2以上は年金暮らしの高齢者、そうした出金が原因で辞めた方もいらっしゃいます。金銭的豊かさが無いこうしたボランティアも自由に来れないのかと、議員さんたちの豊かな調査費用等話題にのぼるたび、理不尽という不満が沸き上がります。どうか皆の善意が弱者の皆さんに助け合いの中で十分生かされますよう、予算をもう少し分けて下さいませ。	参考	障害者福祉の充実に関するご意見として、参考にさせていただきます。
借金に対する対策は、生産年齢人口がその自治体に住み続けること、若しくは、適切にその対象者が流動し、数を減らすことなく入れ替わることが大切である。持続可能な社会であるためにはここがポイントで、仮に自治体の面積が同じままで、財政規模が縮小していくという事は、ハード面の老朽化をそのままにし、市民の生活に対するリスクを増やすことにつながる。これは、将来居住区域を縮小・限定して狭い範囲に集まって皆で住むことにより、必要な経費を削減するという究極の縮小型生活モデルをイメージさせるものである(将来に向けては、個人のエゴを受け付けられない強権的な自治体による強制移住的な生活が待っているかもしれないが)。	参考	人口減少社会の到来や超高齢社会の進展などの直面する課題を乗り越え、都市の持続的な成長・発展を実現するため、様々な取組を連動させながら実行してまいります。
政策局が主管するさまざまな審査委員会、審議会のありようが市民目線から見て適正かを検証し、必要な変更を追求すること。関係する条例や要綱もそれに合わせて改訂する必要がある。 また、Home Pageにおいてその背景や理由も含めて情報開示すること。	参考	政策局が主管する審査委員会、審議会の運営に関するご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。
32. 生活保護を充実してほしい。働きたくても働けない人によりそってあげてほしいです。福祉部門の職員が少なく一人がかかえる件数が多い。	参考	生活保護制度に関するご意見として、参考にさせていただきます。
低所得者、生活保護基準以下の市民への医療費軽減、教育費の援助、敬老パスの無料化をすすめる。	参考	低所得の方への支援に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
選挙の投票所についてです。私の住む杉の子会の会館を加えていただきたいのです。勿論立会人の方々のことや場所の費用など問題が出て来るとは思いますが、年をとって足元が危なくなってきた者にとって少しでも近い所を望みます。ご一考していただければ幸いです。	参考	投票所についてのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
ガーデンネックレス横浜の推進は素晴らしい政策だと思いますが、犬猫保護や虐待防止、動物保護団体の存在については一切盛り込まれていなかったの、意見させていただきたいと思えます。 まず私が提案したいのは、ペットショップの廃止です。ペットショップで売られている子たちは、劣悪な繁殖場で、ろくにご飯も与えられず、産ませるだけ産ませられ、生まれた子は親といるべき時に競りにかけられ、産めなくなったら、モノのように処分、売れ残った子犬子猫たちは引き取り屋に引き取られ、狭いケージの中で死ぬまで生き殺し。売れる限り、この状況は変わりません。ペットショップで購入するということは、この負のサイクルに加担しているということです。その現実を知らない人たちが世の中には多すぎます。 神奈川県知事の黒岩さんも既に色々提案し、行動されてはいますが、実際たくさんの犬猫が保護されても、多くが里親が見つからず殺処分されています。殺処分ゼロ、とうたっている、保護団体さんたちの存	参考	動物の愛護及び保護に関するご意見として参考にさせていただきます。

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>在なしではとても間違いなく実現できません。しかしたくさん保護団体がいくら動物を保護しても資金や寄付金が足りず、現在崩壊しています。不幸な罪のない動物たちを減らすには、蛇口閉めが一番重要だと思ひ、人間の都合で利益だけを追求するペットショップはみな廃業すべきだと思います。</p> <p>ペットショップ全廃に時間がかかるのであれば、とりあえず私たちが払っている税金を、確実に保護団体さんたちに流れる仕組みをつくってほしいです。</p> <p>人間の為の政策ばかりもいいけど、この地球上には他の動物とも共存していることを考慮に入れていただきたいです。今特に子供の数より、ペットの数の方が多き時代です。是非ご検討お願いいたします。</p>		
<p>横浜市は東京都23区に次ぐ政令指定都市であります。</p> <p>日本の中心として時には東京都よりも先端を走るべき自治体と期待いたします。</p> <p>しかし、動物保護についての政策についてのお取り組みが私には見えてこないように思ひます。</p> <p>神奈川県黒岩知事は犬猫殺処分ゼロを明言され、その具体的活動にも尽力しているように見えます。横浜市としてのお取り組みが見えてきません。</p> <p>私たち人間はこのように物申せませんが、動物たちは何も言えませんが、命の重さには変わりはないとも言えます。</p> <p>是非、動物保護に関して日本中の先端を行く政策をお打ち出し頂けないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットの生体販売の禁止</li> <li>・ペットの競り売りの禁止</li> <li>・悪徳ブリーダーへの厳罰</li> <li>・動物虐待禁止の徹底</li> <li>・ペット飼育の教育と資格制度の導入</li> <li>・保護団体への公的資金による援助</li> <li>・高額医療費請求獣医の排除</li> <li>・狂犬病防止法の改善(国内に感染事例無しの現実を踏まえ)</li> </ul> <p>先進国に後れを取っている日本を横浜市から改善していただけないでしょうか。</p> <p>宜しくお願い申し上げます。</p>	参考	動物の愛護及び保護に関するご意見として参考にさせていただきます。
<p>・国民年金では生きられない 餓死する。私は国民年金のみで生活しています。私の収入では生活保護と対象となるはずですが。</p> <p>申請しない理由は、支給できるための制約が多いからです。自宅所有、海外会議参加など。現在は貯金の取り崩しで生活しています。</p> <p>生活保護は国が利用の抑制をし、受けさせにくくしています。保護の対象になっながら申請していない人が、支給を受けている人数の数倍になるはずですが。こういった調査を役場はする気がないでしょう。</p> <p>いろいろな住民の交流とかを企画するようですが、めしが食えなければ、参加できません。枝葉のことをするよりも、死なないために根幹の身体維持をしなければ、孤独死をふやすばかりです。</p> <p>仕事をして収入を得たいのですが、「年よりは雇ってくれない」と必ず忠告されます。</p> <p>餓死しない年金支給額を早急に検討してほしい。私の命が終わらない前に。</p>	参考	年金制度や生活保護の制度に関するご意見として今後の参考にさせていただきます。
<p>福祉の政策について注文</p> <p>たしか富山の話だと思ひますが、老人と身障者と小さい子供と一緒に遊んだり学んだり出来る大きな集合施設が有り、とても良いと思ひました。</p> <p>老人も子供と遊んだり、身障者の相手をしたり、子供も老人や身障者と接する事で、社会の構成を自然と学ぶことが出来て、とても良い事だと思ひました。ぜひ横浜にもこの様な施設が各区に数ヶ所づつ出来る様に働きかけていただきたいと思ひています。</p>	参考	福祉の政策に関するご意見として今後の参考にさせていただきます。
<p>自治の拡充に関する意見</p> <p>大都市の大きな問題は市民参加がほとんどなく、自治が形骸化していることです。ヨーロッパでは基礎自治体＝市町村の人口は数千人から1万人程度です。横浜で言えば連合町内会単位の人口です。こうした観点からすれば横浜市のあり方は次のような自治拡充をすべきです。横浜市</p>	参考	本市では、新たな大都市制度「特別自治市」(市内のことが市で完結する、横浜市の一休性をいかした効率的・効果的な制度)の早期実現に向けて取り組んでおります。いただいたご意見につきましては、区の機能強化や区の行政運営に関するご意見として、参考にさせていただきます。

その他

いただいたご意見	分類	ご意見に対する考え方
<p>の分割は現実的ではないので現行の自治法を使って自治を拡充する方法として                      ①各区を地方自治法に基づく区自治区とし、公選で委員を選出する                      ②各区を総合区とし区長を準公選とする                      ③連合町内会単位を地域自治区とし、委員は公選か公募・町内会役員から選出する</p>		
<p>何かの機会に『横浜市の一般会計・特別会計についての貸借対照表・損益計算書・債務負担行為額』を過年度に遡って開示願えないか≫…(『ハマの台所事情』には平成28年度末だけ一部開示あり)</p>	その他	<p>過年度の財務書類(貸借対照表、行政コスト計算書など)や債務負担行為は、財政局財政課の Web サイトに掲載 ※しております。引き続き、わかりやすく、利活用しやすい財政情報の「見える化」を進めてまいります。                      ※掲載箇所                      過年度の財務書類:決算「財務書類」(27年度以前は総務省方式改訂モデルで作成しております)                      債務負担行為:予算「予算に関する説明書」中に掲載</p>
<p>いつも疑問に感じている事ですが、年に数回医療費の明細が送られて来ます。これは何が目的でやっているのでしょうか。やる仕事がないためなののでしょうか。</p>	その他	<p>医療費の明細(医療費通知)は、国民健康保険の医療費のしくみや皆様の健康に関する認識を深めていただくためにお送りしております。                      また、医療機関から保険者に対して請求があった内容について確認していただく目的もあります</p>
<p>市民生活を守るため、国に対して消費税率10%への引き上げの中止を求めて下さい。そのことこそが横浜市の経済発展に大きく役立つものと考えます。</p>	その他	<p>消費税は、24年8月の法改正<sup>(※)</sup>により、引上げ分の全額を社会保障の充実・安定化に充てることとされております。                      今後、高齢化が進む中で、福祉・保健・医療サービスに対するニーズは増大が見込まれ、若い世代の夢や希望につながる、子ども・子育てなどの取組も充実していく必要があります。                      そうした社会保障施策の財源として、本市でも有効に活用してまいります。                       ※社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法等の一部を改正する等の法律、社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律</p>
<p>憲法を無視したアベノミクスを遂行することは、アベには政治をつかさどる市民をあざむき私物化は資格がない。                      市政と併せて安倍を一刻も早く退陣させることが今課せられた使命と考えてます。</p>	その他	<p>中期4か年計画のどの部分へのご意見か特定できませんので、ご意見に対する考え方を示すことができません。</p>
<p>安倍政権に顔を向けてないで市民に顔を向けて市を良くすることを考えることだ。与党は安倍政権一辺倒ではなく市独自のことを考えよ。</p>	その他	<p>中期4か年計画を着実に推進してまいります。</p>
<p>2013年、見送られていた海外視察が県議員6名、シンガポール方面へと8日間出かけることと報じられたので、私は二度行った経験から、二度目に行った時横断歩道の信号がカウント式に変わっていてとても良いと思った。老人の交通事故に大きな関心があったので、「なぜかえたか、換えてどうなったか」とみて調べて来て欲しいと知事さんを通じお願いした。知事室から「伝えた」とのお返事を頂いた。が、議員からは50円のはがき1枚報告はないし、横浜の信号に何の変更もない。議員達はマリーナベイサンズのカジノの視察でもして来たのでしょうか。国民の交通の安全とカジノとどちらが大切なのでしょうか。一体議員は誰の為に政治をしているのか?</p>	その他	<p>中期4か年計画を着実に推進してまいります。なお、県議会や県政につきましては該当の県へお問い合わせください。</p>
<p>経団連に賃上げを強要させ、見返りに高度プロフェッショナル制度を無理押しするのはおかしい。幾つもある法案、ろくに審議をせず通せば役人としてゆけない、すなわちずさん。</p>	その他	<p>中期4か年計画を着実に推進してまいります。なお、高度プロフェッショナル制度を含む国の働き方改革につきましては、厚生労働省へお問い合わせください。</p>
<p>国もぜひ国民1人1人にお金をかけて下さい。原発や* *にばかり金を使わないで下さい。</p>	その他	<p>中期4か年計画を着実に推進してまいります。なお、国政につきましては担当の省庁へお尋ねください。</p>
<p>水道管の件について、市道、私道どちらかは自分には判断しかねるが、とにかく道路側の水道管破れがあり、修理すると漏れはなくなる。その度に個人負担になり、新管設置となると係の人に言われる。水道料金値上げもあるみたいなのに、こういう状態はどう解決をすべきなのかきちんと教えて欲しい。数年置きに破裂しているのです。</p>	その他	<p>道路内水道管の漏水修理は、水道局の費用で実施しておりますが、老朽化に伴う布設替は、お客様の費用負担となります。なお、水道管の種類や状況により水道局で施工できる場合もありますので、お問い合わせください。</p>





平成 30 年 9 月

編集・発行 横浜市 政策局 政策課

〒231-0017 横浜市中区港町 1 丁目 1 番地

電 話: 045(671)2197

F A X: 045(663)4613

ホームページ: [http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chuki2018-/](http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chuki2018/)